【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	令和６年６月28日
【計算期間】	第15期（自　令和５年１月１日　至　令和５年12月31日）
【ファンド名】	スーパーファンド・ジャパン （Superfund Japan）
【発行者名】	スーパーファンド・ジャパン・トレーディング （ケイマン）リミテッド （Superfund Japan Trading (Cayman) Limited）
【代表者の役職氏名】	取締役 テニソン・ブリッグス （Tennyson Briggs, Director）
【本店の所在の場所】	ケイマン諸島、KY1－9010、グランド・ケイマン、 クリケット・スクエア、ウィロー・ハウス４階、 キャンベルズ・コーポレート・サービシーズ・リミテッド気付 （c/o Campbells Corporate Services Limited, Floor 4, Willow House, Cricket Square, Grand Cayman, KY1-9010, Cayman Islands）
【代理人の氏名又は名称】	弁護士　　森　下　国　彦
【代理人の住所又は所在地】	東京都千代田区大手町一丁目１番１号 大手町パークビルディング アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業
【事務連絡者氏名】	弁護士　　青　野　紘　子 弁護士　　千　葉　幹　大
【連絡場所】	東京都千代田区大手町一丁目１番１号 大手町パークビルディング アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業
【電話番号】	03（6775）1000
【縦覧に供する場所】	該当事項なし

（注１）本書中における米ドル及びユーロの円貨換算は、別段の表示のない限り、2024年５月31日現在の株式会社三菱UFJ銀行によって公表された対顧客電信売買相場の仲値（１米ドル＝156.74円、１ユーロ＝169.78円）による。
（注２）円貨への換算は、本書において該当する各数値につき、所定の為替換算レートで単純計算の上、必要に応じて四捨五入している。したがって、本書中の同一情報につき異なった数値で円貨表示がなされている場合がある。

第一部【ファンド情報】

第１【ファンドの状況】

１【ファンドの性格】

（１）【ファンドの目的及び基本的性格】

スーパーファンド・ジャパン（以下「当ファンド」という。）は、ケイマン諸島の法律に基づき、ハーニーズ・フィデューシャリー（ケイマン）リミテッド（以下「受託会社」という。）及びスーパーファンド・ジャパン・トレーディング（ケイマン）リミテッド（以下「管理会社」という。）らにより署名されたユニット型投資信託証書（その後随時行われる改正及び／又は追補を含む。）（以下「信託証書」という。）によって設立されたマルチ・クラス（以下に定義する。）のユニット・トラストである。当ファンドは、ケイマン諸島のミューチュアル・ファンド法（その後の改正を含む。）（以下「ミューチュアル・ファンド法」という。）上、登録義務を負うものではないため、同法第４項に定める「ミューチュアル・ファンド」として登録されていない。

当ファンドは下記に詳説する投資活動に従事すべく組成されている。

（注１）当ファンドは、各資産及び負債のプールに応じた持分を表章する１つ以上のクラス（以下それぞれ「クラス」という。）から成る単一の異なる通貨建てのサブファンド（以下それぞれ「サブファンド」という。）に分割されるアンブレラ・ファンドとして構成されている。各サブファンドは他のサブファンドと分別して管理され、各サブファンドの資産は当ファンドの投資目的と投資戦略に従って管理会社により投資される。各サブファンドにつき１つ以上のクラスが設定され、各クラスは各発行日（以下に定義する。）に発行される。

（注２）本書において、「受益証券」とは、当該クラスの受益証券により表章される、当該サブファンドの一定の持分又はかかる持分の端数部分をいう。

（注３）なお、当ファンドは、当ファンドの財務書類に対するケイマン諸島金融管理局（以下「CIMA」という。）からの監督を強化する目的から、現在、ミューチュアル・ファンド法第４項（３）に定める「登録ミューチュアル・ファンド」としてCIMAへ登録するための準備を進めている。

当ファンドはアンブレラ・ファンドであり、１つ以上のサブファンドを設立することができる。各サブファンドは独立した資産及び負債のプールとして、他のサブファンドと分別して管理される。また、各サブファンドにつき１つ又はそれ以上のクラスが設定される。

当ファンドは、本書の日付現在、グリーン、グリーンC及びレインボー・オールシーズンズの３つのサブファンドから構成され、各サブファンドにつき１つ又は複数のクラスを有する。

各サブファンドの資産は管理会社により運用され、管理会社は各サブファンドの資産の基本的にすべてを、以下のようにそれぞれ対応するマスターファンド（以下「マスターファンド」という。）の分別ポートフォリオの発行する株式の対応するクラスに投資する。マスターファンドは、いずれもケイマン諸島における分別ポートフォリオを運用する適用免除有限責任会社（exempted limited liability company）として登録され、投資会社としての活動を行うものであって投資以外の事業は行っていない。

サブファンド	マスターファンド／分別ポートフォリオ
グリーン	スーパーファンド・グリーンSPC／分別ポートフォリオB スーパーファンド・グリーン・ゴールドSPC／分別ポートフォリオB
グリーンC	スーパーファンド・グリーンSPC／分別ポートフォリオC
レインボー・オールシーズンズ	スーパーファンドSPC／分別ポートフォリオ・レインボー・オールシーズンズ

当ファンドのサブファンドの１つであるレインボー・オールシーズンズについては、マスターファンドであるスーパーファンドSPC（分別ポートフォリオ・レインボー・オールシーズンズ）が直接市場に投資している。

同マスターファンドの主な目的は、先物及び／又は先渡契約のレバレッジ取引を通じて資産増加を達成することである。マスターファンドは、主にシャープパリティ戦略を採用することによりその目的達成を追求する。シャープパリティ戦略とは、リスク・リターン・レシオが最大となる市場セグメントをポートフォリオ内で最も重くウェイト付けするロングオンリーのリスクパリティ戦略である。株式、債券、商品市場へのバランス投資を行うシャープパリティ戦略は、スーパーファンドにより独自開発されたコンピューターによる完全自動化トレーディングシステムにより運用される。

投資戦略を構成する一つの要素として、投資顧問会社であるスーパーファンド・キャピタル・マネジメント・インク（以下「マスターファンド投資顧問会社」という。）はすべて又は一部の投資ポートフォリオにつき、リスクパリティ戦略を利用することができる。シャープパリティ戦略は、相関性のない投資を組み合わせるかたちのロングオンリー戦略を用いる。マスターファンドの分別ポートフォリオは、将来的に、投資における市場リスクを減らすために別の手法を用いる場合がある。マスターファンド投資顧問会社がこのシャープパリティ戦略をどの程度利用するかは市場の状況によって異なる。

さらに、マスターファンド投資顧問会社は、他の戦略を、限られた範囲内で取り入れる場合がある。こうしたその他の戦略では、先物及び／又は先渡契約を空売りする場合もある。

マスターファンド投資顧問会社は、独自の完全自動化トレーディングシステムを使用して取引を決定する。このシステムは、世界各地の市場のテクニカル指標を常に監視し、売買シグナルを自動的に生成する。

当該取引システムは、市場が常に効率的又はランダムであるとは限らず、実際に生じてきたパターンやトレンドを追うことで利益を得られるようになるほど、特定の方向に一定期間動き続ける傾向があるという原則に基づいている。当該システムはテクニカル分析を用い、市場におけるこうした動きを特定し、これらの動きに基づいて取引シグナルを生成する。当該システムは、マスターファンドの分別ポートフォリオによって取引される市場に関して取ることができるポジションの中から、他の市場、先物及び通貨よりも高い利益を生み出す可能性のあるトレード及びポジションを通知するように設計されている。各システムは、現在及び過去の価格、移動平均、トレンドライン、回帰及びチャネルブレイクアウト、フィボナッチ・リトレースメント・レベル、ボリンジャーバンド、相対強度指数インジケーター、並びに分析時の移動平均収束／拡散パターンのうち１つ又は複数を用いることができる。リスクを監視し、特定された動きを検証するため、ボラティリティとボリュームの指標も使用される。

マスターファンドの分別ポートフォリオがエクスポージャーを持つ可能性のある地理的地域に制限はなく、マスターファンドの分別ポートフォリオは新興国市場においても取引が可能である。一方で、マスターファンドの分別ポートフォリオのポートフォリオが１つないし複数の地域に著しく集中する可能性も常に存在する。

マスターファンド投資顧問会社は、金融デリバティブ商品の使用を通じ、マスターファンドの分別ポートフォリオの投資目標の達成を追求する。このようなデリバティブ商品には、取引所に上場されている又は店頭において取引される、先物及び先物契約が含まれるが、これらに限定されない。マスターファンド投資顧問会社は株式の取引も、マスターファンドの目的を実行する上で最も実用的と思われる割合にて、直接又は金融デリバティブ商品を通じて間接的に行うことができる。

マスターファンドの分別ポートフォリオは、有価証券を直接購入するために必要な資産のごく一部のみを使用して、金融デリバティブ商品を購入することができる。マスターファンドの分別ポートフォリオは、金融デリバティブ商品の使用の結果として、レバレッジをかけられる可能性がある。

マスターファンドの分別ポートフォリオについては、主に上記の投資商品に投資することが意図されているが、例外的な事態に陥った場合、又はマスターファンド投資顧問会社が、投資機会が不十分であると判断した場合は、マスターファンドの分別ポートフォリオはマスターファンド投資顧問会社の決定

により、マスターファンドの分別ポートフォリオが保有する資金の大部分を現金及び／又はその他の流動資産として保持する場合がある。

さらに、マスターファンドの分別ポートフォリオのクラスＢジャパン（ゴールド・ユーロ）シェアは、通貨とは独立した金価格に連動する投資対象に保有資産の一部を投資することを希望する投資家向けに設計されている。現在、同シェア・クラスは金先物でロングポジションを維持しており、その名目元本又は額面価額はシェア・クラスの純資産価額にほぼ等しいが、将来的には同シェア・クラスは金為替取引ファンド（「ETF」）にも投資する可能性がある。マスターファンド投資顧問会社は、マスターファンドの分別ポートフォリオのクラスＢジャパン（ゴールド・ユーロ）シェアに代わって、直接又は間接的に他の貴金属（現物を含む。）（プラチナ及び金並びにこれらの関連商品を含むが、これらに限らない。）に投資することもできる。

マスターファンドの分別ポートフォリオの金先物契約又は銀先物契約への投資に関し、分別ポートフォリオレベルで管理報酬、成功報酬、購入手数料又は販売報酬が課されることはない。

サブファンドのうちグリーン及びグリーンＣについては、マスターファンド（その各分別ポートフォリオ）は、その資産の一部を分別ポートフォリオ会社として登録されている２つのケイマン諸島の適用免除有限責任会社である、スーパーファンド・グリーン・マスター及びスーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPC（以下、それぞれを「アンダーライング・マスターファンド」という。）の株式に投資する。当ファンドの３つのサブファンド（すなわち、グリーン、グリーンＣ及びレインボー・オールシーズンズ）、マスターファンド、及びアンダーライング・マスターファンドとの関係については、下記（３）「ファンドの仕組み」の「当ファンドの運用ストラクチャー」を参照のこと。アンダーライング・マスターファンドは、投資会社としての活動を行うものであって投資以外の実質的な事業は行っていない。

当ファンドのサブファンドのうち「グリーン」のマスターファンドについては、スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオＢ及びスーパーファンド・グリーン・ゴールド分別ポートフォリオＢは、それぞれその資産の約75%をアンダーライング・マスターファンドの株式に投資する。サブファンド「グリーンＣ」のマスターファンドについては、マスターファンドの分別ポートフォリオであるスーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオＣは、その資産の約100%をアンダーライング・マスターファンドの株式に投資する。マスターファンドに保有される資産のうちアンダーライング・マスターファンドに投資されていない残額は、債券、現金、金先物及び金現物に投資される。

サブファンドであるグリーン及びグリーンＣのマスターファンドの目的及び各アンダーライング・マスターファンドの目的は、株式及び固定利付証券市場の動向から独立した投資形態をそれぞれの投資家に提供することであり、株式及び固定利付証券市場との相関関係が低く、通貨とは無関係の、金先物及び金現物に連動する投資を通じて、長期的な資本増価による平均以上の収益の確保も期待されるものである。

アンダーライング・マスターファンドは、上記の目的を達成するため、マスターファンドの投資顧問会社でもあるマスターファンド投資顧問会社が随時選定するテクニカル分析ソフトウェアを使用したトレーディング・シグナルを導入している。かかるソフトウェアは、マスターファンド投資顧問会社により管理される。

マスターファンド及びアンダーライング・マスターファンドは、投資機会を活かし、最新のトレーディング戦略を利用する予定であるため、将来の運用について、現時点で既定されたものはなく、またいかなる制限を受けるものでもない。

マスターファンド投資顧問会社は、上記アンダーライング・マスターファンドが、上場先物及び店頭デリバティブ（外国為替取引を含む。）の取引において、レバレッジを用いることにより高い収益が見

込めると判断したときに、レバレッジを利用する。アンダーライング・マスターファンドは借入を行う権限を有し、マスターファンド投資顧問会社が適当であるとみなす場合に資金を借り入れる。

当ファンドも借入を行う権限を有し、為替ヘッジ取引に関連して借入を行うことがある。当ファンドが借入を行った場合、かかる借入金を担保するために当ファンドの資産に担保を設定することができる。各サブファンドは、当該サブファンドの純資産価額の10%を上限として借入を行うことができる。

（２）【ファンドの沿革】

2009年６月５日	信託証書締結及び当ファンドの設立
2009年６月８日	ケイマン諸島における適用免除信託としての当ファンドの登録
2009年８月３日	当ファンドの運用開始
2011年６月24日	当ファンドの名称をスーパーファンド・ゴールド・ジャパンから スーパーファンド・グリーン・ゴールド・ジャパンに変更
2015年５月８日	受託会社の変更及び事務管理会社の任命
2017年９月26日	当ファンドのサブファンドである「ブルー（Superfund Blue Japan）」及び「レッド（Superfund Red Japan）」の設定
2018年１月１日	当ファンドの名称をスーパーファンド・グリーン・ゴールド・ジャパンから スーパーファンド・ジャパンに変更
2018年６月13日	当ファンドのサブファンドである「グリーンＣ（Superfund Green C Japan）」の設定
2018年７月１日	当ファンドの管理会社が設定・運用するスーパーファンド・グリーン・ジャパンの各ファンドの受益証券が償還され、それに代わるものとして、それぞれ当ファンドの対応するサブファンドの該当クラスの受益証券が発行された（以下「ファンド統合」という。）
2019年７月５日	ケイマン諸島の金融当局における当ファンドの登録廃止
2020年１月１日	サブファンド「ブルー」の名称をサブファンド「シャープパリティ」に変更
2021年１月１日	サブファンド「グリーンＢ」の名称をサブファンド「グリーン」に変更。 サブファンド「グリーンＡ」の受益証券は、当該サブファンドの登録受益権者による決議等の手続を経た上で償還され、サブファンド「グリーンＡ」の受益者には償還手続の過程においてサブファンド「グリーン」（旧サブファンド「グリーンＢ」）の該当クラスの受益証券が発行された。その結果、サブファンド「グリーンＡ」は終了した。
2021年７月１日	サブファンド「シャープパリティ」の名称をサブファンド「システマティック・オールウェザー」に変更
2022年４月１日	事務管理会社の変更
2022年９月１日	サブファンド「グリーン」に新たなクラス（シルバー米ドル・クラス及びシルバー円・クラス）を設定。 サブファンド「レッド」の受益証券は、当該サブファンドの登録受益権者による決議等の手続を経た上で償還され、サブファンド「レッド」の受益者には償還手続の過程においてサブファンド「グリーン」の該当クラスの受益証券が発行された。その結果、サブファンド「レッド」は終了した。
2023年７月１日	サブファンド「システマティック・オールウェザー」の名称をサブファンド「レインボー・オールシーズンズ」に変更

（3）【ファンドの仕組み】

（ⅰ）マスターファンド

マスターファンドは投資会社として設立され、投資事業を営むものであり、投資以外の実質的な事業は行っていない。

（ⅱ）アンダーライング・マスターファンド

アンダーライング・マスターファンドは投資会社として設立され、投資事業を営むものであり、投資以外の実質的な事業は行っていない。

（ⅲ）ファンドの仕組み

各サブファンドはすべての利用可能な資産を、マスターファンドの対応する分別ポートフォリオ（「サブファンド」と称することもある。）の株式に投資する。

グリーンのマスターファンドの各分別ポートフォリオは、その資産の一部をアンダーライング・マスターファンドの株式に投資する。レインボー・オールシーズンズのマスターファンドの分別ポートフォリオはその資産を直接市場で運用し、グリーンCのマスターファンドの分別ポートフォリオはその資産のすべてを対応するアンダーライング・マスターファンドに投資する。マスターファンドに保有される資産のうちアンダーライング・マスターファンドに投資されていない残額は、債券、現金、金現物及び先物に投資することができる。

アンダーライング・マスターファンドに対する投資についての記述は、マスターファンド及びアンダーライング・マスターファンド並びにマスターファンド及びアンダーライング・マスターファンドが随時投資する集合投資スキームを通じた、当ファンドによる直接又は間接の投資を含むものである。

マスターファンドの各分別ポートフォリオは、いかなる点においても、管理会社が運用するその他のサブファンド又はその他のファンドから独立した個別のものとして管理され、本書において明示的に定める場合を除き、いかなる方法でも混合されてはならない。

（ⅳ）関係法人

（a）管理会社

管理会社であるスーパーファンド・ジャパン・トレーディング（ケイマン）リミテッドは、当ファンドの運用及び投資の指図を行う。

管理会社は、2004年10月８日にケイマン諸島の会社法（その後の改正を含む。）に基づいて設立され、ケイマン諸島、KY1－9010、グランド・ケイマン、クリケット・スクエア、ウィロー・ハウス４階、キャンベルズ・コーポレート・サービシーズ・リミテッド気付に登記上の事務所を置く投資運用会社である。管理会社の授権資本の総額50,000,000円は、議決権付き、利益参加型、買戻し可能な額面各１円の50,000,000株の株式に分割される。

管理会社の株主は以下のとおりである。

氏　名	住　所	所　有 株式数	発行済株式数に対する 所有株式数の比率
スーパーファンド・ ホールディング・アーゲー	リヒテン シュタイン	1	100%

また、管理会社は、受益証券の発行者としても行為する。

（注）同社は、現在、ケイマン諸島の有価証券投資事業法（その後の改正を含む。）に定める「登録者」としてCIMAへ登録するための準備を進めている。

（b）受託会社

受託会社であるハーニーズ・フィデューシャリー（ケイマン）リミテッドは、管理会社と受託会社らとの間の信託証書に従って当ファンドの受託会社を務める。受託会社の主たる所在地は、ケイマン諸島、KY1－1002、グランド・ケイマン、私書箱10240、サウス・チャーチ・ストリート103、ハーバー・プレース４階である。受託会社は、ケイマン諸島の銀行及び信託会社法（その後の改正

を含む。）に従いケイマン諸島の金融当局によって発行された信託会社免許を保有する。受託会社は、当ファンドの受託者として行為する。本書に記載のとおり、受託会社は管理会社、事務管理会社及びスーパーファンド・ジャパン株式会社（以下「販売会社」という。）に特定の職務を委託する。

信託証書は、いかなる種類又は性質のものであれ、信託証書に基づく義務の履行において事務管理会社により負担されるか又は事務管理会社に対して主張できるすべての負債、債務、損失、損害、処罰、法的措置、判決、訴訟、経費、費用又は支払いに対する受託会社並びにその取締役、役員及び従業員の補償（受託会社又はその取締役、役員、従業員若しくは代理人の不誠実不正、重過失行為又は故意の不履行に起因するものを除く。）につき規定する。受託会社は、90日前の書面による通知によりその役務を終了することができる。

当ファンドの受益証券が、すべての適用ある証券等に関する法律を遵守して市場で取引され、売却されているかの判断については、受託会社でなく、販売会社及び管理会社が責任を負っている。

受託会社は信託証書に基づき、受託会社と管理会社との間で締結された役務提供契約の規定において合意された手数料を受け取ることができる。

信託証書は、ケイマン諸島の法令に準拠する。

（ｃ）事務管理会社

NAVコンサルティング・インク及びNAVファンド・サービシズ（ケイマン）リミテッド（これらを併せて、以下「事務管理会社」という。）は、受託会社との間で締結された役務提供契約（以下「事務管理契約」という。）に従って、事務管理会社として活動する。NAVコンサルティング・インクは、いずれも純資産価額の計算に係る契約に記載のとおり、とりわけ当ファンドの純資産価額の計算並びにその他特定の会計、事務、データ処理業務及び関連する専門業務の遂行を担っている。NAVファンド・サービシズ（ケイマン）リミテッドは、事務管理契約に記載のとおり、（ｉ）当ファンドの受益権者名簿の維持管理並びに当ファンドの受益証券の発行及び名義変更処理、（ii）受益権者に対する財務情報の発信、（iii）受益証券の償還請求の処理、（iv）当ファンドの帳簿及び記録の作成及び保持、並びに（ｖ）当ファンドの事務管理に関するその他の業務の遂行を担っている。

NAVコンサルティング・インクの主たる所在地は、米国、60181、イリノイ州、オークブルック・テラス、スイート400、トランスAMプラザ・ドライブ１である。NAVファンド・サービシズ（ケイマン）リミテッドの主たる所在地は、ケイマン諸島、KY1-1202、グランド・ケイマン、私書箱30464、ハーバー・プレース５階である。

事務管理契約は、米国イリノイ州の法律に準拠する。

NAVコンサルティング・インクは、事務管理解約の一部を構成する契約（以下「純資産価額の計算に係る契約」という。）に従い、純資産価額計算代理人として以下の会計役務を提供する。

- 非監査による会計
- 費用の配分
- 損益の配分
- 管理報酬及び成功報酬の計算（下記、『４ 手数料等及び税金 （４）その他の手数料等 （ｉ）マスターファンド及びアンダーライング・マスターファンドから支払われるべき手数料』に記載）
- バランスシートの作成
- 損益計算書の作成
- 当ファンドの運用実績の分析結果の報告書
- 純資産価額の計算

NAVファンド・サービシズ（ケイマン）リミテッドは、ミューチュアル・ファンド法（2021年改正）及びプライベート・ファンド法（2021年改正）上の義務に基づき、当ファンドの登録兼名義変更代理人／管理者として以下の役務を提供する。

- 当ファンドの受益証券（又はリミテッド・パートナーシップ持分）の発行、名義変更及び償還に関連する登録兼名義変更代理人／管理者としての業務
- 受益権者名簿（又はパートナーシップ持分の登録簿）の維持管理
- 受益権者（又はリミテッド・パートナー）に対する財務情報の発信及び報告
- 受益権者（又はリミテッド・パートナー）の識別情報に関する記録の保持
- マネー・ロンダリング防止規則において要求される取引監視（不審な動きについては当ファンドのマネー・ロンダリング防止担当者に報告する）

当ファンドは、同様の役務に係る事務管理会社の標準料金表（最低月額が設定されている。）に従い、当ファンドの資産から、原則としてファンドの規模に応じて事務管理会社に対する報酬を支払う。

いずれの当事者も、90日前までの書面による通知又は特定の事由の発生により事務管理契約を終了することができる。

受益権者は当ファンドに問い合わせることにより事務管理契約を参照することができる。但し、事務管理会社は当該契約に基づき支払われる報酬を非開示とする権利を留保する。

（ｄ）販売会社

販売会社であるスーパーファンド・ジャパン株式会社は、管理会社との間で締結された2009年６月５日付受益証券販売・買戻契約並びに2017年12月６日付、2018年６月６日付、2019年12月20日付、2020年12月３日付、2021年６月21日付、2022年８月１日付及び2023年５月26日付受益証券販売・買戻契約変更契約（これらを併せて、以下「受益証券販売・買戻契約」という。）（注１）に従って、当ファンドに係る受益証券の販売業務を行うとともに、当ファンドに関する全般的な問い合わせを取り扱う。販売会社は、受益証券の名義上及び受益権者名簿上の保有者であり、日本の投資家（本書内において「受益権者」ともいう。）のために受益証券を保有するものである。販売会社は、マネー・ロンダリングの防止及び販売会社に適用されるマネー・ロンダリングの防止に関する規則の遵守について責任を負い、受託会社はかかる責任は負わない。本書における受益権者に関する記述は、実質的受益権者たる各投資家についての記述である。販売会社は、投資家に代わって取得された受益証券についての実質的権利の譲渡の全記録を保管する。

スーパーファンド・ジャパン株式会社は、管理会社との間で締結された2009年６月５日付代行協会員契約並びに2015年６月15日付及び2018年６月６日付代行協会員契約変更契約（これらを併せて、以下「代行協会員契約」という。）に従って、日本における受益証券の募集に関する代行協会員（以下「代行協会員」という。）（注２）（注３）として選任されている。

（注１）受益証券販売・買戻契約とは、管理会社によって任命された日本における販売会社が、日本における受益証券の販売及び買戻業務並びに当ファンドに関する全般的な問い合わせ等の業務を提供することを約する契約である。

（注２）代行協会員契約とは、管理会社によって任命された代行協会員が、当ファンドに対し、受益証券に関する日本語の目論見書及び運用報告書の配布、受益証券１口当たり純資産価額の公表、当ファンドの財務書類の配布等の業務を提供することを約する契約である。

（注３）代行協会員は、代行協会員及び管理会社の間で締結された代行協会員契約に基づき、受益証券１口当たりの純資産価額の公表並びに決算報告書の日本証券業協会（以下「JSDA」という。）及び他の販売会社への提出又は送付を行う代理人である。

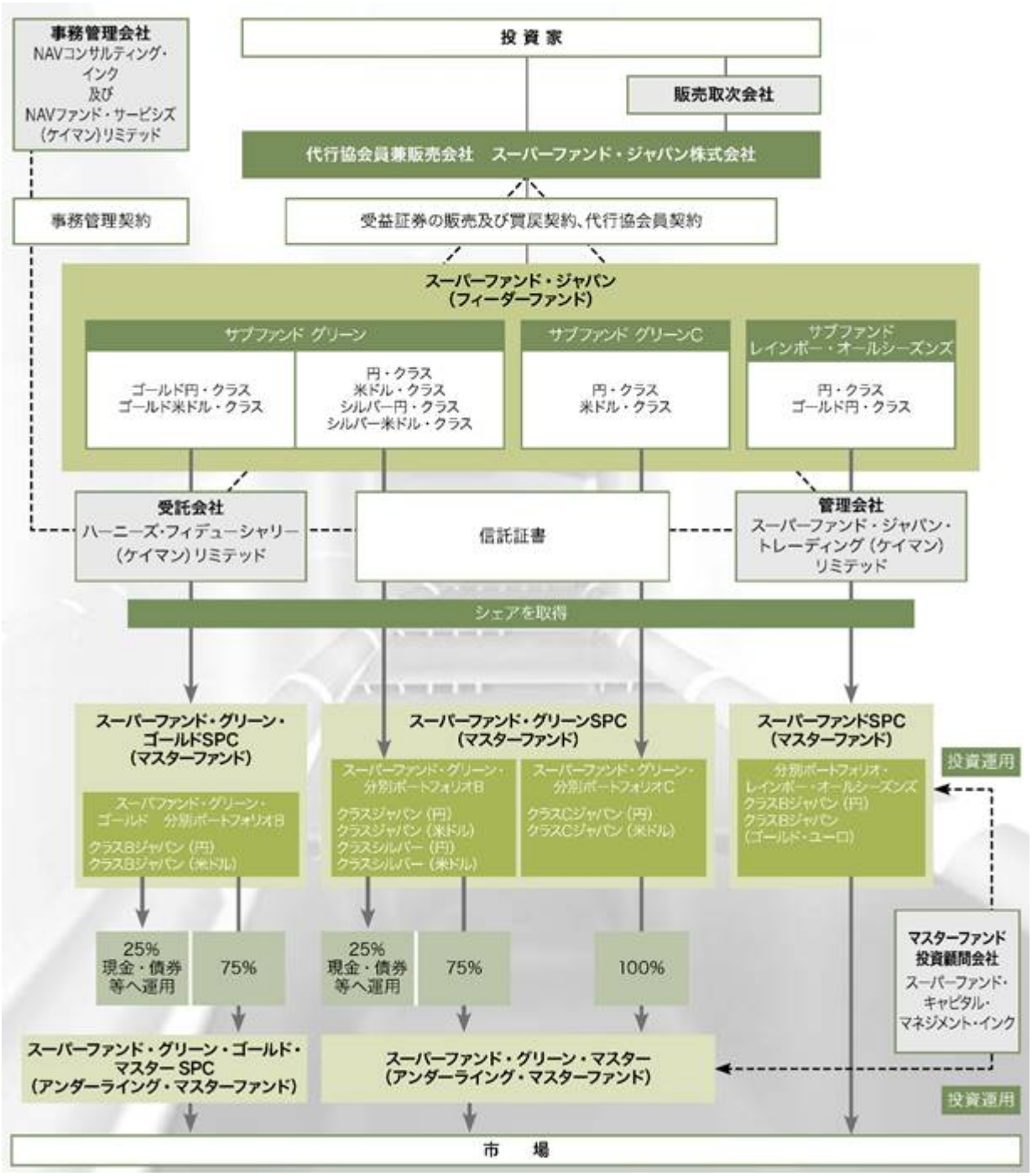
（ｅ）販売取次会社

販売会社は、当ファンド及び受益証券の販売業務並びに当ファンドに関する全般的な問い合わせの処理について責任を有する１又は複数の販売取次会社（以下「販売取次会社」という。）を随時任命することができる。販売取次会社は、マネー・ロンダリングの防止及び販売取次会社に適用されるマネー・ロンダリングの防止に関する規則の遵守について責任を負い、受託会社はかかる責任を負わない。

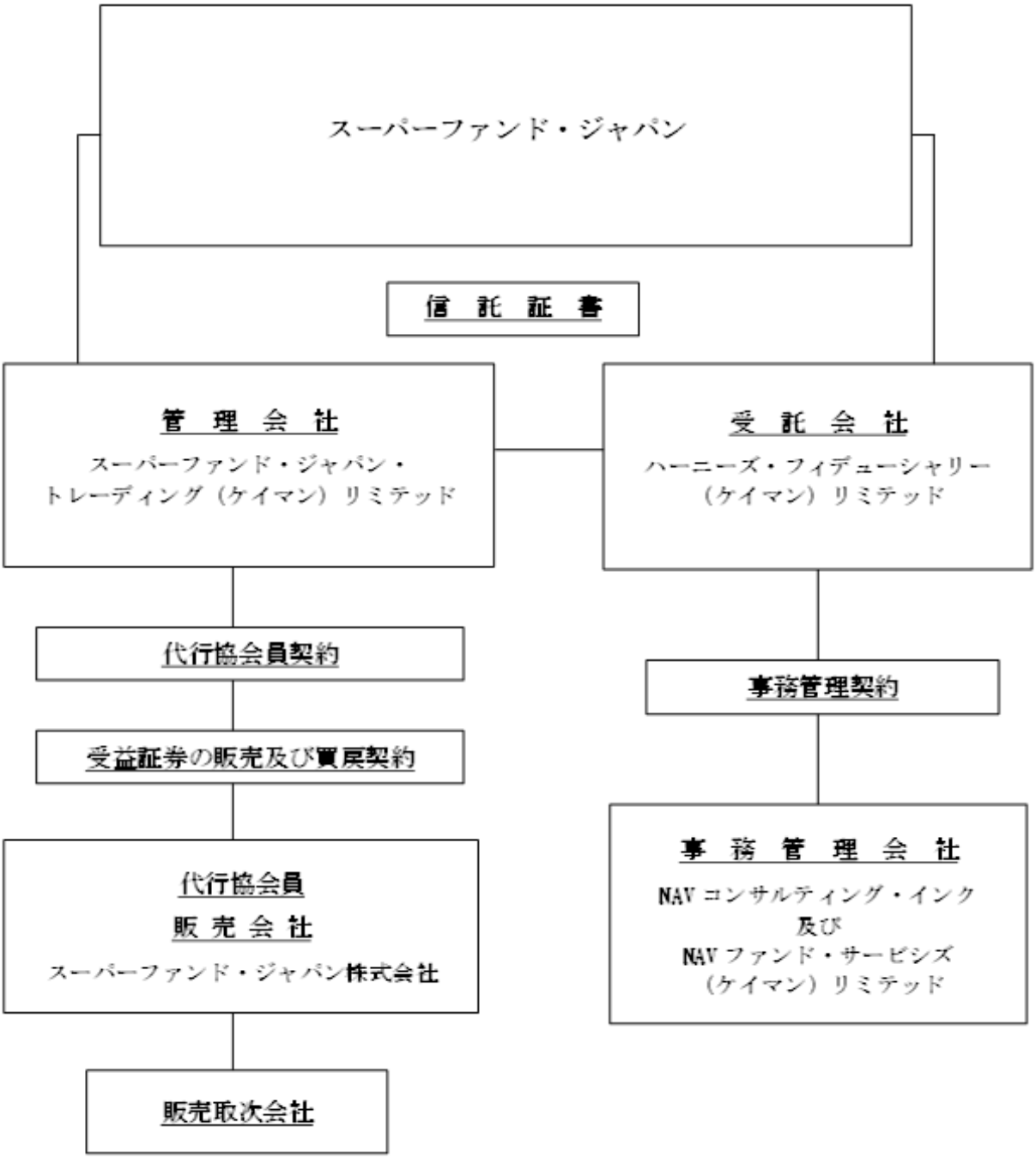
（ｆ）監査人

当ファンド、マスターファンド及びアンダーライング・マスターファンドは、BDOケイマンリミテッドを監査人として任命している。

次に記載する図は当ファンドの運用ストラクチャー及び関係法人を図式化したものである。



当ファンドの関係法人


スーパーファンド・ジャパン
信　託　証　書
管　理　会　社
スーパーファンド・ジャパン・
トレーディング（ケイマン）リミテッド
受　託　会　社
ハーニーズ・フィデューシャリー
（ケイマン）リミテッド
代行協会員契約
事務管理契約
受益証券の販売及び買戻契約
事　務　管　理　会　社
NAV コンサルティング・インク
及び
NAV ファンド・サービシズ
（ケイマン）リミテッド
代行協会員
販　売　会　社
スーパーファンド・ジャパン株式会社
販売取次会社

（４）【ファンドに係る法制度の概要】

当ファンドは、ミューチュアル・ファンド法上、登録義務を負うものではないため、同法第４項に定める「ミューチュアル・ファンド」として登録されていない。

（注）なお、当ファンドは、当ファンドの財務書類に対するCIMAからの監督を強化する目的から、現在、ミューチュアル・ファンド法第４項（３）に定める「登録ミューチュアル・ファンド」としてCIMAへ登録するための準備を進めている。

当ファンドはケイマン諸島の信託法（改正済み）（以下「信託法」という。）に基づき、適用免除信託として登録されている。当該信託法に基づき、信託登録機関は当ファンドに関して一定の権限を有しており、これには当ファンドに対して信託登録機関が随時要求する説明、議事録及び情報の提出を求める権限も含まれる。

（５）【開示制度の概要】

（Ａ）ケイマン諸島における開示

（ｉ）受益権者に対する報告

事務管理会社は、販売会社に対して、各受益権者の受益証券の純資産価額を明記した週次及び月末時点の計算書並びに当ファンドの年次の運用報告書を提出するものとする。

（Ｂ）日本における開示

（ｉ）監督官庁に対する開示

（ａ）金融商品取引法により要求される開示

一定の金額を上回る当ファンドの受益証券を日本において募集する場合、信託証書の写しを添付書類として添付した上で有価証券届出書を関東財務局長に提出しなければならない。投資家及びその他の希望者は、関東財務局の閲覧室及び電子開示システム上でこれらの文書を閲覧することができる。管理会社の日本における代理人は、当ファンドに関して必要なすべての書類の提出を財務省関東財務局に対して行うことに同意した。

販売会社は、投資家が投資を決定する際に特に重要となる情報を内容とする交付目論見書を投資家に交付する。交付目論見書に記載するよう求められている事項は、１）基本情報（（ｉ）ファンドの名称、（ii）管理会社等の情報、（iii）ファンドの目的・特色、（iv）投資リスク、（ｖ）運用実績、（vi）手続・手数料等）及び、２）追加的情報である。また、投資家から請求があった場合は、有価証券届出書と概ね同一の内容を記載した目論見書（請求目論見書）を交付しなければならない。管理会社は、当ファンドの財務状況等を開示するため、各会計年度終了後６ヶ月以内に有価証券報告書を、各会計年度の上半期終了後３ヶ月以内に半期報告書を、日本における代理人を通して関東財務局長に提出するほか、当ファンドにつき重要な変更が生じた場合には、遅滞なく臨時報告書を関東財務局長に提出する。投資家及びその他の希望者は、関東財務局の閲覧室及び電子開示システム上で、これらの文書を閲覧することができる。

（ｂ）投資信託及び投資法人に関する法律に基づく届出書等

当ファンドの受益証券の募集を開始する前に、管理会社は、投資信託及び投資法人に関する法律（昭和26年法律第198号）（以下「投資信託法」という。）に基づいて、日本における代理人を通じて、当ファンドに関する特定の情報を金融庁長官に提出しなければならない。さらに、信託証書につき変更がされる場合には、管理会社は、日本における代理人を通してその旨及びその変更内容をあらかじめ金融庁長官に届け出る。また、事務管理会社及び販売会社の協力の下、管理会社は、投資信託法に基づいて、当ファンドの計算期間の末日後速やかに当ファンドの資産に関する交付運用報告書及び運用報告書（全体版）を作成し、日本における代理人を通じて金融庁長官に提出する。

（ii）受益権者に対する開示

信託証書に重要な変更が行われる場合には、管理会社は日本における代理人を通じて当該変更の２週間以上前に、日本における知られたる受益権者に当該変更について書面による通知をしなければならない。

日本の受益権者の地位に重大な影響を及ぼす事実は、販売会社を通じて日本の受益権者に通知される。

販売会社は、当ファンドに関する交付運用報告書を日本における知れたる受益権者に交付する。運用報告書（全体版）は、販売会社のウェブサイト上で開示される。

（６）【監督官庁の概要】

該当なし。

2【投資方針】

（1）【投資方針】

各サブファンドはすべての利用可能な資産を、マスターファンドの対応する分別ポートフォリオ（サブファンド）の株式に投資する。

続いて、グリーンのマスターファンドの各分別ポートフォリオはその資産の一部をアンダーライング・マスターファンドの株式に投資する。レインボー・オールシーズンズのマスターファンドの分別ポートフォリオはその資産を直接市場で運用し、グリーンCのマスターファンドの分別ポートフォリオはその資産のすべてを対応するアンダーライング・マスターファンドに投資する。

マスターファンドの分別ポートフォリオに保有される資産のうちアンダーライング・マスターファンドに投資されていない残額は、債券、現金、金現物及び先物に投資される。

マスターファンドの各分別ポートフォリオの目的及びアンダーライング・マスターファンドの目的は、上述したところに従って、長期的な投資元本の増価により平均以上の収益の確保を目指すことである。アンダーライング・マスターファンドは、上記の目的を達成するため、マスターファンド投資顧問会社が随時選定するテクニカル分析ソフトウェアを使用したトレーディング・シグナルを導入している。かかるソフトウェアは、マスターファンド投資顧問会社により管理される。

マスターファンド及びアンダーライング・マスターファンドは、投資機会を活かし、最新のトレーディング戦略を利用する予定であるため、将来の運用について、現時点で既定されたものはなく、またいかなる制限を受けるものでもない。マスターファンド投資顧問会社は、アンダーライング・マスターファンド（レインボー・オールシーズンズの場合はマスターファンド）が、上場先物及び店頭デリバティブ（外国為替取引を含む。）の取引においてレバレッジを用いることにより高い収益が見込めると判断したときに、レバレッジを利用することができる。

別段の記載がある場合を除き、本書において各サブファンドの投資及び投資プログラムに言及した場合、マスターファンド及びアンダーライング・マスターファンドの投資及び投資プログラムに対する言及を含む。

スーパーファンド・グリーン・マスター及びスーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPCは、中長期トレンドフォロー戦略を中核とした複数のテクニカル分析に基づくマネージドフューチャーズ戦略を採用する。マネージドフューチャーズ戦略は、金融先物と商品先物双方への分散投資を行い、スーパーファンドにより独自開発されたコンピューターによる完全自動化トレーディングシステムにより運用される。

また、スーパーファンドSPC（分別ポートフォリオ・レインボー・オールシーズンズ）は、リスク・リターン・レシオが最大となる市場セグメントをポートフォリオ内で最も重くウェイト付けするシャープパリティ戦略を採用する。株式、債券、商品市場へのバランス投資を行うシャープパリティ戦略は、スーパーファンドにより独自開発されたコンピューターによる完全自動化トレーディングシステムにより運用される。

（2）【投資対象】

各サブファンドはすべての利用可能な資産を、マスターファンドの対応する分別ポートフォリオ（サブファンド）の株式に投資する。

続いて、グリーンのマスターファンドの各分別ポートフォリオはその資産の一部をアンダーライング・マスターファンドの株式に投資する。レインボー・オールシーズンズのマスターファンドの分別ポートフォリオはその資産を直接市場で運用し、グリーンCのマスターファンドの分別ポートフォリオはその資産のすべてを対応するアンダーライング・マスターファンドに投資する。

（3）【運用体制】

当ファンドは管理会社により運用されている。管理会社は取締役により運営されており、現在、取締役はテニソン・ブリッグス氏及びヨセフ・ホルツァー氏である。テニソン・ブリッグス氏は、金融業界の主に金融サービスソフトウェア分野において22年余の経験を有し、ヨセフ・ホルツァー氏は、金融業界、主に金融サービス及び投資ファンドの分野において16年以上の経験を有する。取締役は、当ファンドの資産のすべてについてのマスターファンドへの投資を監督する。必要な範囲において、取締役は、当ファンドによるマスターファンドへの投資についてマスターファンド投資顧問会社と連絡をとる。取締役はまた当ファンドの運営の全体的な管理を調整する。

現在、テニソン・ブリッグス氏及びヨセフ・ホルツァー氏が務めている、マスターファンドの取締役は、マスターファンドの資産のアンダーライング・マスターファンドへの投資を監視する。テニソン・ブリッグス氏及びヨセフ・ホルツァー氏は、アンダーライング・マスターファンドの取締役を兼務している。

（４）【分配方針】

現段階では分配を行う予定はないが、管理会社はその裁量により分配を行う権利を留保している。

（５）【投資制限】

JSDAが制定した日本における外国投資信託受益証券の販売に関する選別基準等を遵守するため、管理会社は、各サブファンドが常に下記投資制限を遵守することを請け負う。

（ｉ）空売りを行った証券の時価総額が、当該サブファンドの直近の純資産価額（空売りを行った証券の総額を含む。）を超えるものでないこと。

（ii）サブファンドにおける借入額並びにマスターファンド及びアンダーライング・マスターファンドにおける借入額のうち当ファンドの持分に相当する借入額の総額は、ファンドの期間中のいかなる時点においても当該サブファンドの直近の純資産価額の10%を超えるものでないこと（ここで留意すべきは、借入額を決定するに際しては、当ファンドが負担した当ファンドの投資対象の購入に関連する信用取引に関する借入れが含まれないことである。）。

（iii）受託会社が投資顧問又は管理会社を務める（単独で投資顧問又は管理会社の資格を有する場合に限り、単に受託会社又はカストディアンである場合を含まない。）各ファンドの総投資額の合計で、一発行会社の議決権の50%を超えて当該会社の株式に投資するものでないこと（但し、この制限はマスターファンド及びアンダーライング・マスターファンドを含む投資会社により発行された株式には適用されない。）。

（iv）管理会社が投資顧問又は管理会社を務める（単独で投資顧問又は管理会社の資格を有する場合に限り、単に受託会社又はカストディアンである場合を含まない。）各ファンドの総投資額の合計で、一発行会社の議決権の50%を超えて当該会社の株式に投資するものでないこと（但し、この制限はマスターファンド及びアンダーライング・マスターファンドを含む投資会社により発行された株式には適用されない。）。

（ｖ）（直接又はマスターファンド及びアンダーライング・マスターファンドを通じて）サブファンドに組み入れられる証券又は持分の85%以上は、上場されている株式又は純資産価額が少なくとも四半期毎に報告されているファンドの持分から構成されること。

（vi）管理会社及び受託会社は、自己又は当ファンドの受益権者以外の第三者の利益をはかる目的で行う取引等、受益者の保護に欠け、又は投資信託財産の運用の適正を害する取引を行わないこと。

（vii）サブファンドの資産のうち50%以上が投資信託法及びこれに基づく規則に定義される「特定資産」であること。ここでいう特定資産には、（Ａ）金融商品取引法に定義される「有価証券」（国内外の株式、国債、地方債、社債、投資信託受益証券、ワラント、米国預託証券等を含む。）、（Ｂ）国内又は海外の、上場又は店頭のデリバティブ取引に係る権利、（Ｃ）金銭債権、（Ｄ）約束手形、（Ｅ）当事者の一方が相手方の行う前各号に掲げる資産の運用のために出

資を行い、相手方がその出資された財産を主として当該資産に対する投資として運用し、当該運用から生じる利益の分配を行うことを約する契約に係る出資の持分及び（Ｆ）日本の商品先物取引法に定義される「商品」が含まれるが、これらに限定されない。

（viii）当ファンドはデリバティブ取引等を利用していない。

さらに、管理会社は、マスターファンド投資顧問会社が、マスターファンド（レインボー・オールシーズンズの場合。以下同じ）及びアンダーライング・マスターファンドの運用を行うに当たって常に下記投資制限を遵守することを請け負う。

マスターファンド及びアンダーライング・マスターファンドは、金融商品にのみ投資を行い、美術品には投資を行わない。投資ファンドが発行するシェア又はユニット以外の有価証券への投資を行う場合、マスターファンド及びアンダーライング・マスターファンドは以下の事項を行わない。

ａ）証券取引所に上場しておらず、また他の規制市場で取引もされていない証券又は短期金融資産にサブファンドの純資産額の10%を超える投資を行うこと。

ｂ）同一の発行体により発行された同じ種類の有価証券又は短期金融資産の10%超を取得すること。

ｃ）同一の発行体により発行された有価証券又は短期金融資産にサブファンドの純資産額の20%を超える投資を行うこと。

上記の制限は、OECD加盟国又はその各国自治体若しくはEUの国際機関（規模が局地的か世界的かを問わない。）によって発行又は保証された有価証券には適用されない。

受託会社ではなく、管理会社が、かかる投資制限について監視する責任を負う。

3【投資リスク】

（1）リスク要因

当ファンドに対する投資には、他のオルタナティブ投資にはないリスクを伴う場合がある。投資された資本の総額が損失を被る可能性は排除できない。投資家は、損失をまかなえる以上に、投資すべきでない。投資の長期的な利点を享受するためには、３年以上保有することを推奨する。

投資家は以下に説明するリスク要因について、他の要因と併せて注意深く検討すべきである。下記のリスク要因は当ファンドの投資に関連するすべてのリスクを網羅的に列挙することを意図したものではない。下記のリスク要因は、各サブファンドがすべての資産をマスターファンドの分別ポートフォリオの株式に投資すること、並びにグリーン及びグリーンＣについてはそのマスターファンドの各分別ポートフォリオがその資産の一部をアンダーライング・マスターファンドの株式に投資するという事実について記述されている。

投資リスク

当ファンド、マスターファンド又はアンダーライング・マスターファンドがその投資目的を達成するという保証はない。金の先物及び金の現物並びに／又は異なる国の企業及び政府により、異なる通貨で発行された証券は一定のリスクを伴い、それにより受益証券の価値が下落する場合がある。受益証券の価値は、アンダーライング・マスターファンドが投資する先物等の価格変動に連動するマスターファンド及びアンダーライング・マスターファンドの株式の価値と連動して増減する場合がある。当ファンド及びアンダーライング・マスターファンドの投資収益は、当該ファンドが所有する資産から得た収入から負担した費用を控除した額に基づく。したがって、当ファンド、マスターファンド及びアンダーライング・マスターファンドの投資収益はかかる収入又は費用に応じて変動することが予想される。

商品先物・オプションへの投資

マスターファンドの分別ポートフォリオは、直接、又はアンダーライング・マスターファンドを通じて、商品先物取引及びこれに対するオプションに投資することができる。商品市場は極めて不安定である。かかる投資の収益性は投資顧問会社の商品市場に対する正確な分析能力に依存しており、その能力は需給関係の変動、天候、商品価格に影響を及ぼすことを目的とした政府、農業、商業及び貿易計画並びに方針、世界の政治的・経済的事象及び利率の変動等による影響を受けている。さらに、商品先物及びオプション取引への投資は、レバレッジ（通常利ざやは取引額面のわずか５－15%であり、エクスポージャーは無制限に近い。）を含むがこれに限定されない付加的なリスクが関係する。CFTC及び先物為替取引所は、特定の商品において誰もが所有若しくは支配が可能なネット・ロング・ポジション又はネット・ショート・ポジションの最大値に関して、「投機的ポジション制限」と称される制限値を制定した。マスターファンドの分別ポートフォリオ又はアンダーライング・マスターファンドにより所有又は管理されている口座が保有するポジションすべては、ポジション制限を遵守しているか判断するため集約される。かかる制限を超過することを避けるため、マスターファンドの分別ポートフォリオが保有するポジションを流動化しなければならない可能性がある。そのような変更又は流動化（必要な場合）は、分別ポートフォリオの経営及び利益性に悪影響を及ぼしかねない。

金、銀及びその他貴金属への投資

マスターファンドの分別ポートフォリオは、金、銀、プラチナ及びその他の貴金属の現物並びにその関連商品に投資することができる。金、銀及びその他の貴金属の価格は大幅に変動し、以下の多数の要因の影響を受ける。（ⅰ）世界的及び地政学的な経済・財務状況、（ⅱ）将来のインフレ率、及び世界の株式市場、金融市場、不動産市場の動きに関する投資家の予測、（ⅲ）世界における金、銀及び貴金属の需給動向（需給は、生産者による産出量と先渡し売買高、中央銀行による売買、貴金属の実需、再

利用貴金属の供給、投機的需要と産業向け需要など、数多くの要因によって影響を受ける。）、（ⅳ）金利及び為替レート、特にユーロ及び米ドルの動向及び信頼度、並びに（ⅴ）ヘッジファンド、商品ファンド等の投機筋の投資及び取引活動等の数多くの要因による影響を受ける。

ゴールドクラス又はシルバークラスの株価は、米ドル建て金又は銀価格の変動により直接影響を受ける。これは、ヘッジが全面的に導入された場合、米ドル建て金・銀価格の５％の上昇が各クラスの株式の純資産価額を５％増加させ、逆に米ドル建て金・銀価格の５％の下落は各クラスの株式の純資産価額を５％減少させるということを意味している。

各クラスの株式の投資資産の全体が、金又は銀価格に対して常にフルヘッジされるという保証はない。

為替リスク

当ファンドのサブファンドは円建て又は米ドル建てであり、その資産は円建て又は米ドル建てのマスターファンドのクラスに投資されるが、マスターファンドがその資産の一部をアンダーライング・マスターファンドの米ドル建て又はユーロ建ての株式に投資する。よってマスターファンドは米ドルと円との間の為替変動に起因する損失を被る可能性がある。また、アンダーライング・マスターファンドの機能通貨は米ドル又はユーロであるが、円以外の通貨建ての債券、現金、金先物及び金現物並びに米ドル以外の通貨を参照してその価格が決定するその他金融商品にも投資する。その価格は米ドル又は円以外の通貨を参照して決定される。マスターファンド及びアンダーライング・マスターファンドの資産価値は、米ドル、ユーロ及び円の為替レートの変動並びに各国の市場及び通貨におけるアンダーライング・マスターファンドの投資対象の価格変動に伴い変動する。外国為替市場における変動は、マスターファンド及びアンダーライング・マスターファンドの業績に大きな影響を与える可能性がある。アンダーライング・マスターファンドが投資するその他通貨に対する米ドル又はユーロの価値の上昇は、米ドル又はユーロ相当額において、アンダーライング・マスターファンドが保有する米ドル又はユーロ以外の通貨建ての資産の価格上昇の効果を縮小し、価格下落の効果を拡大させる。反対に、米ドル又はユーロの価値の下落は、米ドル又はユーロ相当額において、アンダーライング・マスターファンドが保有する米ドル又はユーロ以外の通貨建ての資産の価格下落の効果を縮小し、価格上昇の効果を拡大する。アンダーライング・マスターファンドは、為替リスクをヘッジするために各種の金融デリバティブ商品（オプション、先物、先渡し及びスワップを含むが、これに限定されない。）を組み込むことができるものとする。かかるヘッジ取引が効果的であるという保証はない。為替リスクの管理により、アンダーライング・マスターファンドの業績がマイナスの影響を受ける可能性がある。サブファンド、マスターファンドの分別ポートフォリオ又はアンダーライング・マスターファンドのクラスと異なる通貨建てのすべての受益証券又は株式のクラスに対し、上記に記載されたところと同様のことが当てはまる。

フィーダーファンドに投資することのリスク

各サブファンドは、マスターファンドの分別ポートフォリオに投資し、グリーン及びグリーンCのマスターファンドの各分別ポートフォリオについては、その資産の一部をアンダーライング・マスターファンドの株式に投資する。当ファンドの投資家はアンダーライング・マスターファンドに直接投資した場合には適用されない追加の事務手数料を負担することとなる。但し、前記にかかわらず、管理会社は当ファンドについて手数料を受領するのみであり、マスターファンドへの投資を実行した結果として通常受けられることとなる追加の申込手数料及びその他手数料については放棄する。さらに、マスターファンドは、マスターファンドへの投資の結果として当ファンドに通常課せられることとなる申込手数料は放棄する。アンダーライング・マスターファンドのレベルでは、マスターファンド投資顧問会社はマスターファンドのレベルの手数料のみを受領する（アンダーライング・マスターファンドのレベルではない。）。さらに、ファンドから発生する受益証券の購入の申込（以下「申込」という。）に関し、アンダーライング・マスターファンドは、アンダーライング・マスターファンドへの投資を実行した場合において通常マスターファンドが負担することとなる申込手数料については放棄する（下記「４　手数料等及び税金」参照）。

偶発的投資集中

同一又は異なる投資顧問会社が運用する複数のファンド（当ファンド、マスターファンド及び／又はアンダーライング・マスターファンドを含む。）が、同時期に同一の有価証券等を相当数組み入れることが起こりうる。この偶発的な投資集中は、アンダーライング・マスターファンドの、投資分散という目標を妨げるものである。アンダーライング・マスターファンドはかかる偶発的な投資集中を、定期的な監視及び再配分プロセスの一環で軽減しようとしている。なお、異なる投資顧問会社により運用されている複数の特定のファンドを選択することが、単独の投資顧問会社により運用されているファンドを選択するよりも、より良い運用結果又は投資分散をもたらすという保証はない。

マスターファンド投資顧問会社が使用する特別な技術のリスク

マスターファンド投資顧問会社は、アンダーライング・マスターファンドの投資に際して特別な投資技術を用いるが、かかる特別な投資技術により、アンダーライング・マスターファンド（並びに結果としてマスターファンド及び当ファンド）は、株式及び固定利付証券への投資に内在するリスクとは異なるリスクに曝されている。アンダーライング・マスターファンドの投資は、金融市場全体と相互に関連するように設定されたものではなく、また株式投資又は固定利付債投資の代替とみなされるべきものでもない。

投資の流動性

いくつかの取引市場で、契約価格の１日の変動率が、「１日当たり価格変動制限」又は「日次制限」と言われる規制により制限されている。これにより１取引日において、かかる日次制限を超過した価格で取引することはできない。ある市場の価格が日次制限と同等の割合で上昇又は下落した場合、取引業者が当該変動制限と同等又はその範囲内の割合で取引を実行することを希望しない限り、投資ポジションを取得又は換金できない。過去においては、価格が連日日次制限一杯まで推移したため、取引がほとんど行われないか又は全く行われなかった例もある。同様の状況により、アンダーライング・マスターファンド又はマスターファンドが速やかに不利なポジションを売却できないおそれがあり、その結果アンダーライング・マスターファンド又はマスターファンドが多額の損失を被る可能性がある。

ヘッジによる損失

マスターファンド及びアンダーライング・マスターファンドは、為替レートの変動並びに株式市場、市場金利及びその他の事由における変動により生じたポートフォリオ・ポジションの価値の減少をヘッジするために、金融商品（先物契約、オプション及び金利スワップ並びにキャップ・アンド・フロア等）を使用することができる。ポートフォリオ・ポジションの価値の減少に対するヘッジは、かかるポジションの価値が減少してしまった場合、ポートフォリオ・ポジションの価値の変動を抑え、又はかかる価値の変動による損失を回避することはできない。しかしながら、当該ポジションの価値の減少により利益が得られるように作られたその他のポジションにより、ポートフォリオ・ポジションの価値の減少は相殺される。またかかるヘッジ取引は、ヘッジされたポートフォリオ・ポジションの価値が増加した場合、利益幅を制限する。さらに、マスターファンド又はアンダーライング・マスターファンドは、価格変動により予想されるポートフォリオ・ポジションの価値の減少を、それぞれの資産価値を保全するのに充分な価格でヘッジすることができない可能性がある。これに加えて、特定のリスクを全くヘッジすることができない可能性もある。

マスターファンド投資顧問会社は、ポートフォリオ・ポジションのヘッジを行う義務を負わず、またこれを差控えることができる。ヘッジ取引が成立する限り、ヘッジの成功は、為替レート、金利及び株式市場の動向又はヘッジの対象となるその他の事由の発生及びその時期を正確に予測するマスターファンド投資顧問会社の能力に依存する。マスターファンド投資顧問会社が不正確な決断をした場合、マスターファンド又はアンダーライング・マスターファンドは、マスターファンド投資顧問会社がかかるヘッジ取引を行っていなかった場合よりも全体的に低い投資業績となる可能性がある。また、ヘッジ戦略に用いられた商品の価格変動とポートフォリオ・ポジションの価値の変動における相関の度合は異なることがある。さらにマスターファンド投資顧問会社は、様々な理由により、特定のポートフォリオをヘッジし、又はヘッジ商品とヘッジの対象となるポートフォリオ資産の完全な相関関係を築くことを望まない場合がある。相関関係が不完全であることにより、企図されるヘッジからマスターファンド若しくはアンダーライング・マスターファンドが利益を受けることが妨げられ、又はマスターファンド若しくはアンダーライング・マスターファンドがさらなる損失リスクに曝される可能性がある。ヘッジの使用及びリスク管理取引を成功させるためには、マスターファンド又はアンダーライング・マスターファンドにおけるポートフォリオの選択に必要な技量と相互補完的な技量が必要である。

デリバティブ一般

デリバティブ商品（「デリバティブ」）には、１つ以上の原証券、金融ベンチマーク、通貨若しくはインデックスから派生し、又は価値がこれらに連動しているオプション、スワップ、仕組み証券並びにその他商品及び契約が含まれる。一般的にデリバティブは、原資産に投資した場合の費用よりも低い費用で特定の証券、金融ベンチマーク、通貨、インデックス又は商品の価格変動をヘッジ又は投機対象とすることを可能にする。アンダーライング・マスターファンドが取得したいと考えるデリバティブが特定の時期に、納得のいく条件で取得できるという保証はなく、またその取得自体も保証はできない。

デリバティブの価格は原資産の価格変動に大きく左右される。したがって、原資産の取引について生じうる多くのリスクは、かかる資産のデリバティブについても生じ得る。但し、デリバティブ取引にはその他多くのリスクが伴う。例えば、多くのデリバティブはレバレッジがかかっていることから、取引の開始時に支払った、又は預託した金銭よりも多くの市場リスクを伴い、市場の比較的小さい不利な変動でも投資額すべての損失につながるだけではなく、投資額を超える損失を負うリスクにアンダーライング・マスターファンドを曝す可能性がある。

クレジットリスク

デリバティブその他の契約（債券その他確定利付証券等）は、マスターファンド又はアンダーライング・マスターファンドを、マスターファンド又はアンダーライング・マスターファンドが取引を行う相手方当事者の信用リスクに曝す。財政上又はその他の理由により相手方当事者がかかる契約を履行しな

かった場合、取引そのものが有益であったか否かを問わず、マスターファンド又はアンダーライング・マスターファンド、ひいては当ファンドは、損失を被る可能性がある。またデリバティブは、履行されたデリバティブ契約を終了又は処分する流動的な市場がない場合、投資家を流動性リスクに曝す可能性がある。

確定利付証券

マスターファンド及びアンダーライング・マスターファンドは、米国及び米国以外の発行者が発行する債券又はその他の確定利付証券に投資することがある。確定利付証券は、確定、可変又は変動する金利が付されている。マスターファンド又はアンダーライング・マスターファンドが投資する確定利付証券の価値は、金利の変動によって変化する。さらに、一定の確定利付証券の価値は、信用度、政治的安定度又は経済政策の健全性の認識に応じて変動する可能性がある。確定利付証券は、発行者の元本及び利息の支払能力が失われるリスク（すなわち信用リスク）、並びに金利感応度や発行者の信用度に係る市場の認識及び市場の一般的な流動性（すなわち市場リスク）等の要因による価格のボラティリティの影響を受ける。

オプション及びスワップ

オプション契約における価格変動及びスワップ契約に基づく支払いは、金利、需給関係の変化、政府による貿易、財政、金融及び為替の管理プログラム及び方針、並びに国内外における政治的・経済的な事由及び方針に影響を受ける。オプション及びスワップ契約の価値は、それらの原証券及び通貨の価格に依存する。また、アンダーライング・マスターファンドは、ポジション取引が行われる取引所又はアンダーライング・マスターファンドの手形交換所若しくは相手方当事者の不履行に伴うリスクに曝されている。

アンダーライング・マスターファンドは、とりわけ米国及び米国以外の国の商品取引所及び証券取引所、並びに米国及び米国以外の国の店頭市場で取引される株式及び通貨に対するオプションを売買することができる。カバード・プット・オプションの売主は、原証券又は通貨の市場価格が、原証券又は通貨の（売りポジションを設立するための）販売価格に受領したプレミアムを加えた額を上回るリスクを負い、プット・オプションの権利行使価格を下回る価格にて原証券又は通貨の利益を得る機会を放棄することとなる。カバーされていないプット・オプションの売主は、原証券又は通貨の市場価格がオプションの権利行使価格を下回るリスクを負う。プット・オプションの買主は、プット・オプションに対する投資の全額を失うリスクを負う。

カバード・コール・オプションの売主は、対象株式又は通貨の市場価格が、原証券又は通貨の価格から受領したプレミアムを控除した額を下回るリスクを負い、オプションの権利行使価格を上回る価格にて原証券又は通貨の利益を得る機会を放棄することになる。カバーされていないコール・オプションの売主は、原証券又は通貨がオプションの権利行使価格を理論的には無制限に上回るリスクを負う。またカバーされていないコール・オプションの行使に必要な証券が、大幅に高い価格でしか購入できない場合がある。カバーされていないコール・オプションを行使するため証券を購入することは、時としてそれ自体が証券の価格を大幅に上昇させ、それにより損失を増大させる可能性がある。コール・オプションの買主は、コール・オプションに対する投資の全額を失うリスクを負う。

店頭市場のオプションは一般的に、それに関与している当事者間での合意でしか譲渡できず、いかなる当事者又は購入者もかかる譲渡を承認する義務を負わない。オプションの店頭市場は特にアンダーライング・マスターファンドがその投資戦略において行う比較的小規模の取引において、相対的に非流動的である。

レバレッジ

アンダーライング・マスターファンドの取引活動には、高いレバレッジを有する市場における投資及び／又は投資手法が含まれる。レバレッジには高いリスクを伴うが、より高い利回り及び総利回りを得る機会を与えてくれる。アンダーライング・マスターファンドは、資本の留保戦略及び投資の分散化により、レバレッジによる取引活動のリスク管理に努める。

一般的に、予期されるアンダーライング・マスターファンドによる短期証拠金借入の利用は、マスターファンドひいては当ファンドのリスク増大につながる。例を挙げれば、アンダーライング・マスターファンドの信用取引口座を担保するためにブローカーに差し入れられた有価証券の価値が減損した場合、又はアンダーライング・マスターファンドが借入を受けているブローカーがその維持証拠金を引き上げた場合（若しくは融資枠のパーセンテージを引き下げた場合）、アンダーライング・マスターファンドは追証の差入れを求められることがあり、その場合はブローカーに対し追加の資金を預託するか又は担保として差し入れられた有価証券の全部若しくは一部を減損価値の補填のために強制的に清算しなければならない。アンダーライング・マスターファンドが管理する資産の価値が急落した場合には、かかるファンドが証拠金債務の支払いに間に合うように資産を換金できるとは限らず、下落傾向の市場において比較的低い価格で強制的にポジションの清算を行った結果、相当の損失を被る可能性もある。

金利リスク

アンダーライング・マスターファンド及びマスターファンドは金利の変動に伴うリスクに曝されている。金利が下落すると、転換証券の利息や空売りの手取金からアンダーライング・マスターファンド及びマスターファンドが受け取るべき収入が減少する可能性がある。一方、金利が上昇すると、アンダーライング・マスターファンド及びマスターファンドが保有する転換証券の価値が減少する可能性がある。固定利付債券からのキャッシュフローが事前に分かる範囲において、当該キャッシュフローの現在価値（すなわち割引価値）は利率が増加するに従い減少する。当該キャッシュフローが偶発的である範囲において、米ドル建ての受取額はその時々の市場金利に左右される可能性がある。さらに、多くの固定利付証券の価値は、特定時点の金利だけではなく、利回り曲線の形状に左右される。したがって、例えば、３ヶ月LIBORなどの短期金利に応じてクーポンが変化する任意償還条項付証券のキャッシュフローは、長期金利が低下すると受取り期間が短くなる（すなわち証券が期限前償還される。）。このように、かかる証券は長期金利と短期金利の差によるリスクに曝されている。またアンダーライング・マスターファンド及びマスターファンドは変動利付証券に投資することができる。これらの投資商品の価値はかかる金利の絶対値又はかかる金利の変動に関する市場予測に密接に関係する。そのため、特定の金利の変動に伴い、ヘッジが困難又は不可能であるリスク要因が新たに発生するほか、かかるリスク要因は期限前償還リスクとも複雑に相互作用する。

相手方当事者のリスク

アンダーライング・マスターファンド及びマスターファンド（場合により）が取引を行う市場のいくつかは「店頭」市場又は「ディーラー間」市場である。かかる市場の参加者は、「取引ベース」市場のメンバーと異なり、一般的に信用査定又は規制機関による監督の対象外である。アンダーライング・マスターファンド及びマスターファンドは相手方当事者が信用又は流動性の問題により取引を決済せず、これによりアンダーライング・マスターファンド及びマスターファンドが損失を被ることとなるリスクを負う。これに加えてアンダーライング・マスターファンド及びマスターファンドは、取引のデフォルトに直面した場合、代替取引が実行されるに際し厳しい市場状況に曝される可能性がある。このような「相手方当事者によるリスク」は、長期にわたる契約でその間に取引の決済を妨げる様々な事由が起こりうること、又はアンダーライング・マスターファンド及びマスターファンドが取引の相手方を単一若しくは少数のグループに集中させることにより増大する。しかしながらアンダーライング・マスターファンド及びマスターファンドは、特定の相手方と取引を行うこと、及び単一の相手方に一部又はすべ

ての取引を集中させることについて制限を受けない。また、アンダーライング・マスターファンド及びマスターファンドは、相手方の信用力を査定する内部の査定機能を有していない。アンダーライング・マスターファンド及びマスターファンドが損失を被る可能性は、アンダーライング・マスターファンド及びマスターファンドが単一又は複数の相手方と取引できること、かかる取引の相手方の財務能力を有意義に、かつ独立して査定する機能を有さないこと、また決済を促進する規制市場が存在しないこと等の理由により、増大する可能性がある。

仲介機関の財政破綻

当ファンド、マスターファンド若しくはアンダーライング・マスターファンドが取引を行い、又は証券の保管を預託している金融機関（ブローカー及び銀行を含む。）には、常に、かかる機関の経営能力を低下させ、又は当ファンド、マスターファンド及びアンダーライング・マスターファンドに損失をもたらす財政難に陥る可能性がある。

空売り

空売りとは、売主が所有していない証券（又はこれに交換可能な証券）を後日より低い価格で購入することを予定して売却することである。買主に証券を引き渡すために、売主は証券を一時的に借入れ、後日当該証券を実際に購入して貸主に返却しなければならない。空売りを行った場合、売主は売却代金をブローカーに預け、現行の証拠金取引規則に従い、借りている証券を返却する義務を担保するために必要な現金又は米国債をブローカーに供託しなければならない。米国外の市場において空売りが行われた場合、当該取引は現地の法律に準拠する。空売りは、理論上証券の市場価格が無制限に上昇するリスクを伴う。空売りのために借入れた証券は、後に市場での購入により返却する必要があるため、かかる証券の市場価格の上昇（潜在的には無制限である。）はすべて、損失につながることになる。空売りポジションの手仕舞いのために証券を購入すること自体、かかる証券の市場価値を上昇させる要因となる可能性があり、その場合さらに損失が増大することになる。さらに空売りは、他の調達源から当該証券を借りることができない時期に貸主に返却しなければならないリスクを伴い、よって不適当な時期に、又は不利な状況で空売りを手仕舞わなければならない可能性がある。アンダーライング・マスターファンドは、空売りを行った借入証券の返却義務を担保するために必要な資本額を制限しない方針である。

ポートフォリオの投下資本回転率

アンダーライング・マスターファンドは通常、ポートフォリオ投下資本回転率の制限により取引の実行が制限されることはない。アンダーライング・マスターファンドの投資目的及び投資方針によると、アンダーライング・マスターファンドのポートフォリオ投下資本回転率が年100%を超える可能性は十分にあり、この場合、アンダーライング・マスターファンドは多額の取引コストを負うことになる。

投資の集中と分散

アンダーライング・マスターファンドが一つの企業体、業界又は国に対して投資できる資産について制限は設けられていない。アンダーライング・マスターファンドが適切な分析に基づき、アンダーライング・マスターファンドの投資を特定の発行体、業界又は国に集中することを選択した場合、アンダーライング・マスターファンドは当該発行体、業界又は国に影響を与える不利な経済状況による価格変動の影響を受けやすくなる。

規制されていないファンド及びファンドの投資顧問会社

当ファンド、管理会社、マスターファンド、アンダーライング・マスターファンド及び／又はマスターファンド投資顧問会社は、規制当局による実質的又は永続的な規制を受けない可能性がある。投資家は、規制されていないファンド（又は規制されていない投資顧問会社の助言を受けたファンド）への

投資は、規制されたファンド（又は規制された投資顧問会社の助言を受けたファンド）への投資よりも高リスクであると認識されていることに留意する必要がある。かかるリスクとしては、特に、会計基準の欠如並びに当ファンド及びそのアドバイザーに諸規則を適用する規制当局の不在が挙げられる。

規制されていない取引

アンダーライング・マスターファンドにより取引される特定の商品は通常、取引所において取引されておらず、かかる取引は政府機関により規制されていない。したがって、投資取引を行うに当たり、かかる規制による保護は受けられない。マスターファンド投資顧問会社が適当であると判断した場合、かかる投資取引はアンダーライング・マスターファンドの資産の相当な部分を占める場合があるが、アンダーライング・マスターファンドの資産の15%を超えることはない。

取引停止

各取引所は通常、上場しているすべての証券の取引を停止又は制限する権利を有している。かかる取引停止により、アンダーライング・マスターファンド及びマスターファンドがポジションを清算することが不可能になり、損害を被ることとなりうる。また、必ずしも取引所以外の市場がアンダーライング・マスターファンド及びマスターファンドがポジションを清算できる程度の流動性を維持するとは限らない。

ヘッジファンドの事業リスク及び規制リスク

当ファンド期間中、当ファンド、マスターファンド又はアンダーライング・マスターファンドに不利な影響を与える法律、税制及び規制の変更が行われる場合がある。ヘッジファンドの規制環境は変化しており、ヘッジファンドの規制の改正は、当ファンド、マスターファンド又はアンダーライング・マスターファンドが保有している投資の価値及び当ファンド、マスターファンド又はアンダーライング・マスターファンドが通常であれば取得できるレバレッジ又は各々の取引戦略を追求する能力に不利な影響を与える場合がある。また、証券市場及び先物市場は総じて、法律、規則、証拠金率の規制に服する。米国証券取引委員会（以下「SEC」という。）、その他の国際的な規制機関、自主規制組織及び取引所は市場に緊急事態が発生した場合、臨時の措置をとることができる。デリバティブ取引及びかかる取引を行うファンドに関する規制は発展中の法律分野であり、政府及び司法上の行為による変更の対象となる。当ファンド、マスターファンド又はアンダーライング・マスターファンドに関する規制の今後の変更は重要かつ不利な影響を及ぼしうる。

アンダーライング・マスターファンドが主に投資を行う市場及び特定の投資手段は、その時々により非常に不安定になることがある。例えば、政府による税制及び外貨送金に関する突然の政策転換又は企業の外国資本出資率に関連する法律の改正が不安定化要因として挙げられるが、かかる市場の不安定性は、買戻請求又はその他の資金需要を満たすために換金されるポジションの価格に影響を与えることがある。また、一部の新興市場は現在急成長の段階にあり、これらの市場は世界のその他の先進株式市場よりも規制が緩くなっている。一般的にかかる新興株式市場は流動性が低く、そのため確立された市場の大半と比べて投資の売買に要する時間が長くなることがあり、また不利な価格にて取引を行う必要が生じることもある。有価証券への投資はすべて、証券市場に係る一般的なリスクに曝される。さらに、個々の有価証券への投資により、市場全体と同規模かそれを上回る損失が生じないという保証はない。

政府規制

当ファンドが非米国投資信託として構成され、マスターファンド及びアンダーライング・マスターファンドが非米国投資会社として構成されているため、米国の1940年投資会社法（その後の改正を含む。）に基づき投資信託又は投資会社として登録する必要はなく、また登録を行う予定もない。したがって、1940年投資会社法の規定は適用されない。さらに、当ファンド、マスターファンド及びアン

ダーライング・マスターファンドはいずれも、ケイマン諸島及び日本以外の管轄の証券取引所又は政府当局の登録又は規制を受けておらず、今後も登録又は規制を受ける予定はない。また、マスターファンド及びアンダーライング・マスターファンドにおける受益証券又は株式は、政府当局により登録されておらず、今後も登録される予定はない。とりわけ、マスターファンド及びアンダーライング・マスターファンドの株式及び当ファンドの受益証券は、SECに登録される予定はない。マスターファンド投資顧問会社は、日本、米国若しくはいかなる地域の証券取引所又は政府当局による登録もされておらず、規制も受けていない。

受益証券の大量買戻しによる不利な影響の可能性

限られた期間内で受益証券又はマスターファンド又はアンダーライング・マスターファンドの株式が大量に償還又は買い戻された場合、マスターファンド投資顧問会社は、その資産配分及び取引戦略を、突然削減された運用資産額に適合させることが困難となる場合がある。かかる状況下で、買戻し及び償還に伴う手取金の支払いに必要な資金を手当てするため、マスターファンド又はアンダーライング・マスターファンドは、不適切な時期に、又は不利な条件で、ポジションを解消する必要に迫られ、その結果、間接的に、残りの受益権者にとって受益証券１口当たりの純資産価額が下がり、買戻しの対象証券を保有する受益権者にとっての資産価値が削減されることがある。それ以降、大量の買戻し又は償還が生じた期間にかかわらず、より少ない資産ベースでの運営によってマスターファンド又はアンダーライング・マスターファンドが追加利益を創出することはより困難となり、また、ファンドの買戻し又は償還に資金提供するために資産を整理した結果、マスターファンド又はアンダーライング・マスターファンドに残されたポートフォリオはより流動性の低いものとなる可能性がある。

受益証券の換金規制

現在、受益証券のための市場はなく、かつその創設も予定されていない。その結果、受益権者は、緊急事態の発生その他の理由による自己の投資資産の換金ができないことがあり、受益証券はローンの担保として容易には受諾されない場合がある。

受益権者は、下記「第２　管理及び運営、２　買戻し手続等」に記載されたとおり、毎月自己の受益証券を処分することができる。受益権者が買戻しの通知を行った時点から次の償還可能日までの間、当ファンドへの投資の価値が低下するリスクは受益権者が負う。受益権者は、相当な期間、自己の受益証券を所有し、自己の投資のリスクを負う準備をしておかなければならない。管理会社はいかなる受益証券の譲渡についても、事前に、書面により同意をしなければならない（かかる同意は管理会社又は受託会社の単独の裁量で留保することができる。）。かかる受益証券は、1933年米国証券法（その後の改正を含む。）上、登録されず、又は日本以外の管轄内の法律上、売出し登録はなされない。

管理会社は、（受託会社の委託を受けて）信託証書規定の一定の状況下で、買戻権を一時差し止めることができる。受益証券を譲渡した結果、譲渡人が不利な税務上の影響を受ける場合がある。

管理会社の買戻請求権

管理会社は、一定の条件下（下記「第２　管理及び運営、３　資産管理等の概要、（５）その他、（ⅱ）強制買戻し」に掲げる事由）において、誠意ある判断により、受益権者が保有する受益証券の買戻しを強制することができ、かかる強制的買戻しの結果としてかかる受益権者が損失を伴う売却を余儀なくされる場合がある。

マスターファンド投資顧問会社の報酬

マスターファンド投資顧問会社は、下記「４　手数料等及び税金、（４）その他の手数料等、（ｉ）マスターファンド及びアンダーライング・マスターファンドから支払われるべき手数料」に記載の成功報酬を受領する権限を有する。パフォーマンスベースの報酬を支払うことにより、マスターファンド投資顧問会社がマスターファンドの分別ポートフォリオ又はアンダーライング・マスターファンドに対

し、マスターファンド投資顧問会社が固定報酬のみの支払いを受ける場合よりも高いリスクで投機的な投資を行わせる意欲を生じさせる可能性がある。さらに、成功報酬はマスターファンドの分別ポートフォリオの資産の未実現増価を基に計算されるので、かかる手数料額は、成功報酬が実現利益のみを基にした場合より高額になる場合がある。

報酬及び手数料は業績にかかわらず課される

アンダーライング・マスターファンド及びマスターファンドの各分別ポートフォリオには、マスターファンドの各分別ポートフォリオの業績に基づき支払う成功報酬（マスターファンドのレベルのみ）に加え、業績にかかわらず相当額の費用が課せられる。これらの費用には、管理、編成・募集、仲介手数料及び運営費が含まれる。アンダーライング・マスターファンドの先物取引の際、アンダーライング・マスターファンドにより支払われる仲介手数料に加え、アンダーライング・マスターファンドの先物契約及びスワップ契約について決定される価格には、それぞれ相手方当事者により、売買スプレッド及び主要仲介手数料が組み込まれている。アンダーライング・マスターファンドは、相手方当事者がその先物取引及びスワップ取引において上げている収益を確定することができないため、アンダーライング・マスターファンドが支払う売買スプレッド及び主要仲介手数料を数値化することはできない。かかるスプレッドは、場合によっては大きくなることがある。

マスターファンド投資顧問会社が分析するのは市場のテクニカル・データのみであり、市場価格の外部に位置する経済要因は分析対象ではない

マスターファンド投資顧問会社が使用する取引システムは、過去の実績において相関性のない様々な金融商品を組み入れたテクニカルな手法である。この取引システムによる収益性は、とりわけ、先物価格及び先渡価格に顕著な上昇又は下落が発生するかどうかに依存する。このような価格トレンドは明確に発生しないこともある。特定の市場では、過去にそのような顕著な価格変動が発生しない時期があった。市場外部の要因が価格に重要な影響を及ぼすような時期には、収益機会が大幅に失われる可能性がある。そのような時期においては、マスターファンド投資顧問会社が行う過去の実績に基づく価格分析によって、市場外部の要因による価格動向に沿わないポジションが構築される可能性がある。マスターファンド投資顧問会社が使用する取引システムは、2010年７月１日より改訂された。かかる取引システムに関する情報については、下記「（２）リスク管理」を参照。

運用資産の増加は売買決定に影響を及ぼすことがある

マスターファンド投資顧問会社が運用する資産が増加するほど、価格及びパフォーマンスに不利益な影響を及ぼすことなく大量のポジションを売買することが難しくなるため、収益性の高い売買をすることが困難になる可能性がある。したがって、運用資産のかかる増加によって、マスターファンド投資顧問会社は、売買決定の修正が必要となることがあり、その結果、アンダーライング・マスターファンドの収益性が悪影響を受ける可能性がある。

売買取引は透明性を有しない

マスターファンド投資顧問会社は、アンダーライング・マスターファンドに代わり売買決定を行う。マスターファンド投資顧問会社は、決済仲介業者から取引確認書を毎日受け取る一方、投資家には売買・損益を通算したネットの取引結果のみが月単位で報告される。したがって、マスターファンドの分別ポートフォリオへの投資を通したアンダーライング・マスターファンドへの投資では、個人の取引口座で提供されるのと同等の透明性（すなわち、すべての投資ポジションを毎日確認できること）が投資家に提供されない。

パフォーマンス

マスターファンド投資顧問会社による投資活動では、運用対象を分散すること及び取引ソフトウェアの管理者を慎重に選定することを通じて、リスクを抑えることを目指す。しかし、アンダーライング・マスターファンド又はマスターファンドの分別ポートフォリオが投資目的を達成する保証はない。機械的なテクニカル・トレーディングを行うソフトウェアを利用することで、一定の状況下では、アンダーライング・マスターファンドが被る悪影響が増大する可能性がある。

当ファンド、マスターファンド若しくはアンダーライング・マスターファンド、又は同一若しくは類似の取引戦略を採用するその他のファンドの過去の実績を参照することができる場合であっても、高いリターンを挙げるために過去に採用された戦略がその後も好成績を挙げ続けるという保証はなく、当ファンドのサブファンド、マスターファンドの分別ポートフォリオ又はアンダーライング・マスターファンドの行う投資に係るリターンが、当ファンドのサブファンド、マスターファンドの分別ポートフォリオ若しくはアンダーライング・マスターファンド、又は同一若しくは類似の取引戦略を採用するその他のファンドが過去に達成したリターンと類似の結果を挙げるという保証はない。

純資産価額の計算

アンダーライング・マスターファンドが保有するいかなる資産の最新評価額も、独立の又は公式な情報源から入手することはできず、アンダーライング・マスターファンドの取締役会は、慎重で誠意ある判断に基づき価値を決定することが必要とされる。

マスターファンド投資顧問会社への依拠

アンダーライング・マスターファンド及びマスターファンドの分別ポートフォリオは、日々の取引及び各々の投資ポートフォリオの投資活動に関するすべての投資助言につき、マスターファンド投資顧問会社に専ら依拠している。アンダーライング・マスターファンド及びマスターファンドの分別ポートフォリオの成功、そして結果として当ファンドのサブファンドの成功は、マスターファンド投資顧問会社の専門知識、とりわけ利用された財務分析ソフトの専門技術に相当に依拠するものである。

マスターファンド投資顧問会社のサービスが、何らかの理由により提供不可能な場合、又はマスターファンド若しくはアンダーライング・マスターファンドとマスターファンド投資顧問会社との間で締結されたいずれかの投資顧問契約が終了した場合、マスターファンド又はアンダーライング・マスターファンド（いずれか該当するもの）の議決権を保有する株主は、マスターファンド又はアンダーライング・マスターファンドを清算することができる。また、マスターファンド又はアンダーライング・マスターファンドもまたマスターファンド投資顧問会社以外の顧問を選任することができる。かかる顧問の交代は、アンダーライング・マスターファンド及び／又はマスターファンドの分別ポートフォリオ並びに、結果として当ファンドのサブファンドの業績に悪影響を及ぼすこともある。

投資家は、テニソン・ブリッグス氏がマスターファンド投資顧問会社の唯一の取締役であること、またマスターファンド及びアンダーライング・マスターファンドの運営の成功は、マスターファンド投資顧問会社の業務を行う同氏の能力に依拠することに留意すべきである。

利益相反

マスターファンド投資顧問会社のその他の活動及び投資に関する制限又は同社により運用されるその他の投資ポートフォリオ活動に関する制限はない。マスターファンド投資顧問会社及び／又は同社の取締役は、現在及び将来において、マスターファンド又はアンダーライング・マスターファンドに類似する運用及び目的を有するその他のファンドの運営に関与することを許可されている。かかるその他のファンドの活動はマスターファンド及びアンダーライング・マスターファンドの活動と競合する可能性があり、かかるその他のファンドの利益となるようなマスターファンド投資顧問会社の活動は利益相反とみなされる可能性がある。

マスターファンド投資顧問会社は、いつでも、衡平かつ公正な方法で、責務を果たすものとする。上記の一般性を害することなく、マスターファンド投資顧問会社は、アンダーライング・マスターファンド及びマスターファンドの分別ポートフォリオの事業及び活動を促進するために合理的に必要な時間のみを費やすことが要求される。

マスターファンドにより、マスターファンド投資顧問会社に支払われる報酬は、独立当事者間での交渉により決定されたものではない。マスターファンドにより、マスターファンド投資顧問会社に支払われる成功報酬は、かかる報酬がない場合よりリスクが高く、より投機的な投資を行わせる意欲を生ぜしめる可能性がある。

テニソン・ブリッグス氏及びヨセフ・ホルツァー氏は、いずれも管理会社、マスターファンド及びアンダーライング・マスターファンドの取締役である。

テニソン・ブリッグス氏及びヨセフ・ホルツァー氏は、マスターファンド投資顧問会社、販売会社並びにマスターファンド及びアンダーライング・マスターファンドのマネジメント株式の株主と関係を有する。

（注）ファンドのマネジメント株式の保有者は、ファンドの実際の所有者である。マネジメント株式には議決権が付随するのに対し、パーティシペーティング株式には議決権が付随しない。ファンドの投資家はパーティシペーティング株式を保有しているため、議決権を有しない。

その他のリスク

市場及び経済状況の悪化（金利、インフレ率、産業状況、政府規制、競合、技術発展、政治上及び外交上の事象並びに傾向等を含む。）、又は税金その他の法令若しくは会計基準の不利な変更は、当ファンドの投資並びに受益証券を所有することによる価値及びその結果に悪影響を及ぼすことがある。現在のところ、かかる悪化が生じるのかどうか、またどの程度これらの変化が当ファンドの事業に悪影響を及ぼすのかを予測することはできず、またこれらの事情はいずれも投資顧問会社の支配下にない。

受益証券１口当たり又は（マスターファンドの）株式１株当たりの純資産価額は、上昇するだけではなく下落することがあり、想定される最悪の場合では、受益証券又は株式総額の損失となる可能性もあるという事実に留意すべきである。投資家は、特に、受益証券又は株式が発行直後で、手数料を課せられた直後に償還される場合は、投資額元金を受領できないこともある。為替レートの変動もまた、投資家の基準通貨（以下に定義する。）における受益証券１口当たり又は株式１株当たりの純資産価額の上昇又は下落を引き起こしうる。将来の実績又は将来のリターンが得られるという保証は、当ファンド、管理会社、マスターファンド、アンダーライング・マスターファンド、若しくはマスターファンド投資顧問会社、又は上記のいずれの管理者若しくは取締役からも得られない。

（注）有価証券届出書に基づき募集が行われる各サブファンドの基準通貨は円及び米ドルである（以下それぞれを「基準通貨」という。）。

各サブファンドの資産及び負債は、計算書類作成のために、他のサブファンドの資産及び負債とは分別して記録される。また、信託証書は各サブファンドの資産が他の各サブファンドと分別されることを定めている。但し、債権者はかかる制限を認識していない可能性があり、かかる状況において、サブファンドの資産は他のサブファンドの負債に充当するために用いられる可能性がある。

当ファンドは、マスターファンドに投資し、さらにアンダーライング・マスターファンドに投資するため、当ファンドへの投資はマスターファンド及びアンダーライング・マスターファンドに関連して記述されているリスクと同様のリスクを負うものである。

リスク要因の上記列挙は、当ファンドへの投資に関係するすべてのリスク及び重大な事柄の網羅的な列挙又は説明を目的とするものではない。潜在的な投資家は、受益証券に投資を行うことを決定する前に、本書全体を読むべきであり、自身の法律、経済、税務その他の顧問に相談するべきである。

（２）リスク管理

管理会社、マスターファンド投資顧問会社及びマスターファンド投資顧問会社のポートフォリオ・マネージャーは、当ファンド、マスターファンド及びアンダーライング・マスターファンドのポートフォリオ運用につき、上記「２　投資方針」記載の投資方針を厳格に遵守する。また、マスターファンド投資顧問会社のコンプライアンス担当者は、マスターファンド及びアンダーライング・マスターファンドが投資方針を遵守していることを監視・確認する。さらに、マスターファンド投資顧問会社のポートフォリオ・マネージャーは、特定の投資戦略について投資方針を補完する内部ガイドラインを有する。これらの内部ガイドラインは、戦略及びポジションの分散、ボラティリティの抑制及び適度のレバレッジ等を要求するものである。

マスターファンド投資顧問会社は、リスク管理に加え、投資決定についても、完全に系統化された取引システムを使用している。

取引システムは、下記の４つの基本方針に基づく投資運用を行う。

独自のテクニカル分析

先物市場のヒストリカル・データと多岐に渡る独自のテクニカル指標に基づき、高い収益機会をもたらす可能性のある価格パターン（トレーディング・シグナル）を見つけ出す。これらのトレーディング・シグナルに基づき、取引システムが自動的に売買注文を決定する。

マネージドフューチャーズ戦略及びシャープパリティ戦略

取引システムは、現在「マネージドフューチャーズ戦略」と「シャープパリティ戦略」を採用している。各マスターファンド及びアンダーライング・マスターファンドにより周期は短期から中長期と限定若しくはバランスされ、また、市場の上昇パターン又は下降パターンにかかわらず収益を得ることを目指している。

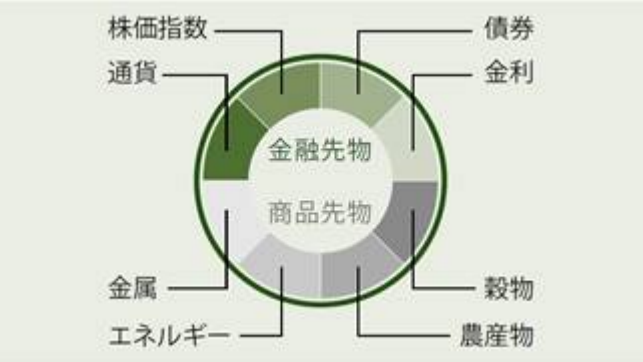
厳格なリスク管理

取引システムに組み込まれた厳格な取引ルールに基づき、取引に関する意思決定から人間の感情移入による誤算を排除する。個々の取引ポジションの金額を制限し、損失を早期に切り捨てる。各取引の初期リスクの上限を分別ポートフォリオの資産の一定割合に事前に設定し、リスク量を毎日継続的に監視する。

分散投資

マネージドフューチャーズ戦略では、世界中の流動性の高い金融先物市場及び商品先物市場を取引対象として、買いポジションと売りポジションの両方を使用した分散投資を行う。このような分散投資により、相互に独立した動きを示す数多くの異なる先物市場にリスクを分散させることを目指している。シャープパリティ戦略では、複数あるトレーディングシステムが、株式、債券、商品市場へのバランス投資による付加価値を通じ、安定した長期的なパフォーマンスを生み出す。市場のウェイト付けは、いわゆるシャープ・レシオを使用して調整される。当該指標は、投資の収益が資産のリスクに匹敵するかどうかを示すものである。 スーパーファンド・シャープパリティ戦略では、リスク・リターン・レシオが最大となる市場セグメントをポートフォリオ内で最も重くウェイト付けする。これにより、戦略を様々な市場変動に適応させることができる。収益確保の機会をより生かすため、ファンドのサブシステムが各マーケットの下落に対してヘッジする可能性もある。

マネージドフューチャーズ戦略の概念図



上記は単なる概念図である。
実際の分散投資比率は、市場の状況・マスターファンド毎の戦略に応じて継続的に調整される。

マスターファンド投資顧問会社のポートフォリオ・マネージャーは、投資決定に関する裁量権を持たず、取引システムの要求に正確に従うことが求められる。かかる取引システムを使用することにより、経常的な投資決定プロセスにおいて人間の感情はほとんど除外される。

取引システムは、利益の最大化より資金の維持を優先させるよう設定されている。システムリスクを軽減するため、基準となる変数を多様化し、さらに、ポジションが形成される前に、市場の相関関係及びボラティリティに基づきかかるポジション毎の最大の未確定リスクを示す。ポジションは、ストップ・アウト、上記の市場のボラティリティ又は相関関係の変化を受けての調整又は利益を確定するためにクローズして決済されるが、かかるシステムが先例と同様の結果をもたらす保証はない。

またかかるシステムは、世界中の主要な市場にて取引を行うことによる地域市場に関連したリスクの軽減も行っている。市場の効率性は定期的に再査定され、特定の市場が市場ポートフォリオへ追加され、又は市場ポートフォリオから削除される。マスターファンド投資顧問会社が所在する地域における災害に関連するリスクを最小限に抑えるため、かかる取引システムの予備システムが、マスターファンド投資顧問会社とは地理的に異なる場所で保守されている。管理会社又はマスターファンド投資顧問会社の従業員は、取引の発注に関与した結果又は取引システムに関与した結果得た情報を他の目的に使用してはならない。上記の記載に限らず、管理会社又はマスターファンド投資顧問会社の従業員は、自己のため又はその他の第三者のために取引活動を行ってはならない。管理会社及びマスターファンド投資顧問会社の従業員には、すべて契約により厳格な秘密保持義務が課せられている。

マスターファンド及びアンダーライング・マスターファンドの事務管理会社はマスターファンド及びアンダーライング・マスターファンドの週次の運用報告書を作成し、当該報告書にはマスターファンド又はアンダーライング・マスターファンド（いずれか該当するもの）の純資産価額、月末又は当該週の純資産価額評価日時点（いずれか該当するもの）の純収益、及び当該会計年度の初めから当該日時点までの純収益を記載するものとする。管理会社の財務諸表は、マスターファンド及びアンダーライング・マスターファンドの財務諸表と同様、独立会計事務所により毎年監査される。

管理会社の取締役会は、管理会社のために、特定のリスク管理に係る問題についての方針を定め、これを実施するものとし、かかる方針には相手方当事者の与信承認、相手方当事者の制限及び従業員の取引方針が含まれるがこれらに限らない。

ファンドの年間騰落率及び分配金再投資1口当たり純資産価額の推移

ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較

グラフは、ファンドと代表的な資産クラスのリスクを定量的に比較できるように作成したものです。

■ グリーン(円・クラス)（2019年1月～2023年12月）





※2020年12月31日までの名称：サブファンド「グリーンB（円・クラス）」

■ グリーン(米ドル・クラス)（2019年1月～2023年12月）





※2020年12月31日までの名称：サブファンド「グリーンB（米ドル・クラス）」

■ グリーン(ゴールド円・クラス)（2019年1月～2023年12月）





※2017年12月31日までの名称：スーパーファンド・グリーン・ゴールド・ジャパン　サブファンドB　円建てクラス
※2018年1月1日～2020年12月31日までの名称：サブファンド「グリーンB（ゴールド円・クラス）」

■ グリーン(ゴールド米ドル・クラス)（2019年1月～2023年12月）





※2020年12月31日までの名称：サブファンド「グリーンB（ゴールド米ドル・クラス）」

＊分配金再投資1口当たり純資産価額は分配金（税引前）を再投資したものとみなして計算されており、実際の1口当たり純資産価額と異なる場合があります。
＊ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算されており、実際の1口当たり純資産価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
＊ファンドの年間騰落率は、設定から1年未満の時点では算出されません。

＊全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。
＊2019年1月から2023年12月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値をファンド及びほかの代表的な資産クラスについて表示したものです。

■ グリーン(シルバー円・クラス)(2019年1月～2023年12月)





■ グリーン(シルバー米ドル・クラス)(2019年1月～2023年12月)





■ グリーンC(円・クラス)(2019年1月～2023年12月)





■ グリーンC(米ドル・クラス)(2019年1月～2023年12月)





＊分配金再投資1口当たり純資産価額は分配金（税引前）を再投資したものとみなして計算されており、実際の1口当たり純資産価額と異なる場合があります。
＊ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算されており、実際の1口当たり純資産価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
＊ファンドの年間騰落率は、設定から1年未満の時点では算出されません。

＊全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。
＊2019年1月から2023年12月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値をファンド及びほかの代表的な資産クラスについて表示したものです。

■ レインボー・オールシーズンズ（円・クラス）（2019年1月～2023年12月）





※2019年12月31日までの名称：サブファンド「ブルー（円ヘッジ有・クラス）」
※2020年1月1日～2021年6月30日までの名称：サブファンド「シャープパリティ（円・クラス）」
※2021年7月1日～2023年6月30日までの名称：サブファンド「システマティック・オールウェザー（円・クラス）」

■ レインボー・オールシーズンズ（ゴールド円・クラス）（2019年1月～2023年12月）





※2019年12月31日までの名称：サブファンド「ブルー（ゴールド円・クラス）」
※2020年1月1日～2021年6月30日までの名称：サブファンド「シャープパリティ（ゴールド円・クラス）」
※2021年7月1日～2023年6月30日までの名称：サブファンド「システマティック・オールウェザー（ゴールド円・クラス）」

＊分配金再投資1口当たり純資産価額は分配金（税引前）を再投資したものとみなして計算されており、実際の1口当たり純資産価額と異なる場合があります。
＊ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算されており、実際の1口当たり純資産価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
＊ファンドの年間騰落率は、設定から1年未満の時点では算出されません。
＊すべての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。
＊2019年1月から2023年12月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値をファンド及びほかの代表的な資産クラスについて表示したものです。

※グリーンC（円・クラス、米ドル・クラス）は2018年7月1日に運用を開始したため、2019年6月以前の年間騰落率は記載していません。
※グリーン（シルバー円・クラス、シルバー米ドル・クラス）は2022年9月1日に運用を開始したため、2023年8月以前の年間騰落率は記載していません。

○ 円建てクラスの指数
円・クラス／ゴールド円・クラス／シルバー円・クラス
日 本 株……東証株価指数（TOPIX）（配当込）
先進国株……MSCI-KOKUSAI指数（配当込）（円ベース）
新興国株……MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込）（円ベース）
日本国債……JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス（日本）（円ベース）
先進国債……JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス（除く日本）（円ベース）
新興国債……JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド
※新興国債の指数は、各月末時点の為替レートにより円換算しています。

○ 米ドル建てクラスの指数
米ドル・クラス／ゴールド米ドル・クラス／シルバー米ドル・クラス
日 本 株……東証株価指数（TOPIX）（配当込）
先進国株……MSCI-KOKUSAI指数（配当込）（米ドルベース）
新興国株……MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込）（米ドルベース）
日本国債……JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス（日本）（米ドルベース）
先進国債……JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス（除く日本）（米ドルベース）
新興国債……JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド（米ドルベース）
※日本株の指数は、各月末時点の為替レートにより米ドル換算しています。

4【手数料等及び税金】

（1）【申込手数料】

販売会社、代行協会員及び／又は管理会社は、それぞれ単独の裁量において、関連するすべての料金及び／又は手数料の一部又は全部の支払いを免除することができる。販売会社（販売取次会社を含む。）は、申込手数料を受領する権利を有する。

各申込に適用される申込手数料は、当該投資家の各クラスの購入申込総額（以下「申込金額」という。）に基づき計算される。各申込に適用される申込手数料は、当該申込についての申込金額に上限5.50%（税抜５%）の申込手数料率を乗じた額とする。

申込手数料は、金融商品販売時における、投資家に対する資料提供及び説明、受発注取次事務、約定及び受渡し関連事務・連絡等の役務に対する費用・報酬として支払われる。

（注）上記申込手数料には、上記申込手数料に課される日本において適用される現行の法定消費税率である10%の消費税相当額が含まれている。投資家が受益証券について実際に支払う金額（申込金）は、（ｉ）申込金額及び（ii）申込手数料（かかる申込手数料に課される消費税相当額等を含む。）の合計額となる。

（2）【買戻し手数料】

受益証券の買戻請求が当初の申込時から12ヶ月以内になされた場合又は強制買戻しが当ファンドによってなされた場合、買戻価格の２%の買戻し手数料（以下「買戻し手数料」という。）が、当ファンドから、受益権者に対して、管理会社の裁量により、課される場合がある。かかる買戻し手数料は、当ファンドの利益のために留保される。

買戻手数料は、投資家が保有するファンド資産の買い戻し手続のための資金をファンドから捻出するために、コストが発生した場合、その金額に充てるものとして支払われる。

同様に、マスターファンドの株式の当ファンドによる償還が申込時から12ヶ月以内になされた場合又はマスターファンドの取締役による強制償還が行われた場合、別途当ファンドに対し支払われる償還価格の２%の償還手数料が、マスターファンドの取締役の裁量により、マスターファンドの当該分別ポートフォリオによって課される場合がある。かかる償還手数料は、マスターファンド投資顧問会社に対して（マスターファンドの投資顧問会社としての資格において）支払われる。

償還手数料は、投資家が保有するファンド資産の買い戻し手続のための資金をファンドから捻出するために、マスターファンドレベルにおいてコストが発生した場合、その金額に充てるものとして支払われる。

買戻し手数料又は償還手数料は、取締役が買戻し手数料の支払を免除した場合を除き、買戻金の支払時に課される（すなわち、買戻金から買戻し手数料又は償還手数料が差し引かれる。）。

マスターファンドによる償還につき、アンダーライング・マスターファンドレベルで課される買戻し又は償還費用はない。

（3）【管理報酬等】

（ｉ）管理報酬

管理会社は、受益証券に関し、合計額が各サブファンドの純資産価額の0.1%（年率）相当の管理報酬を受領する権限を有する。かかる報酬は、日々発生し、各評価日（以下に定義する。）において計算され、毎月後払いで支払われる。

（注１）「評価日」とは、各週水曜日の直前のファンド営業日（以下に定義する。）（但し、各月の最終週については当該月の最後のファンド営業日）、又は、管理会社及び／若しくは受託会社が随時定める別の日をいう。

（注２）「ファンド営業日」とは、土曜日、日曜日以外の東京、ニューヨーク州ニューヨーク市、英国及びケイマン諸島における通常の銀行営業日をいう。

「本邦営業日」とは、土曜日、日曜日以外の東京における通常の銀行営業日をいう。

「マスターファンド営業日」とは、土曜日、日曜日以外のニューヨーク州ニューヨーク市、英国ロンドン及びケイマン諸島における通常の銀行営業日をいう。

管理報酬は、受託会社、事務管理会社及びカストディアンその他の者との間のやりとり、当ファンドの活動に関連する契約の管理、申込及び償還を含む投資活動の運用管理の対価として支払われる。

（ⅱ）受託会社報酬

受託会社報酬は、受託会社に対し、各サブファンドの資産から毎年前払いにて下記のとおり支払われる。

各サブファンドにつき、年間11,000米ドル（約1,724,140円）。

受託会社報酬は、信託証書第31条に定める報酬の請求に基づき、受託会社が当ファンドの受託会社として行為することへの対価として支払われる。

受託会社はまた、取引報酬を含めて業務遂行において生じた立替費用の清算金を受領する権限を有する。

（ⅲ）事務管理会社報酬

単位：米ドル

	サブファンド	当ファンドの事務管理及び振替代行報酬（年間）	年次財務諸表の作成（年間）	ポータルサイトへのFATCAデータのアップロード	ポータルサイトへのCRSデータのアップロード
スーパーファンド・ジャパン	サブファンド「グリーン」	5,400	1,500	500	500
	サブファンド「グリーンC」	5,400			
	サブファンド「レインボー・オールシーズンズ」	5,400			

当ファンドの事務管理及び振替代行報酬は、事務管理契約に別紙Ｂとして添付されている一覧に記載される、各評価日における純資産価額の計算、受益権者名簿の管理、締結された申込に係る契約及び申込の受領並びに処理、電磁的方法による受益証券の発行証明及び保有報告書の作成並びに送付などの役務の対価として毎月後払いにて支払われる。当該役務は、両当事者の合意により適宜修正される場合がある。年次報告書及び監査手配報酬は、関連する規制に則した年次財務諸表（監査済み）の作成及びその補助の対価として毎月後払いにて支払われる。事務管理会社は、100米ドルを超える費用につき事前の承認を得ずに払戻しを受ける権利を有する。費用は原則として、郵送及び／又は翌日配送便にて送付される書類に係る郵送料及び最小限の手数料に限定される。

（ⅳ）代行協会員報酬

代行協会員は、代行協会員としての役割（日本の投資家に対する目論見書及び財務諸表の交付（日本法及びJSDAの規則により義務づけられるもの）、並びに各サブファンドについての各シリーズの純資産価額の公表等）に関連する報酬（以下「代行協会員報酬」という。）を受領する権限を有する。代行協会員報酬は、各サブファンドの純資産価額の0.1%（年率）とする。かかる報酬は、日々発生し、各評価日において計算され、毎月後払いで支払われる。

（ⅴ）販売会社報酬

サブファンド「レインボー・オールシーズンズ」について、販売会社は純資産価額の0.6%（年率）に相当する額の販売報酬を徴収する権限を有する。日々発生する当該販売報酬は、各評価日に算出され毎月支払われる。

販売会社は、販売会社としての立場では、サブファンド「グリーン」及び「グリーンＣ」に関して、当ファンドのレベルで報酬を受領する予定はない。

販売会社は、サブファンド「グリーン」及び「グリーンＣ」については、マスターファンドのレベルにおいて徴収される、当該各サブファンドの純資産価額の1.8%（年率）に相当する金額の販売報酬を、受領する権限を有する。日々発生する当該販売報酬は、各評価日に算出され、マスターファンドのレベルで毎月後払いで支払われる。

販売報酬は、販売の手配を行うことへの対価として支払われる。

（4）【その他の手数料等】

（ｉ）マスターファンド及びアンダーライング・マスターファンドから支払われるべき手数料

マスターファンド投資顧問会社は、管理報酬として、マスターファンドの各分別ポートフォリオに属する各クラスのマスターファンド株式の純資産総額の、グリーン及びグリーンＣにおいては毎月0.16%（年2.0%）、レインボー・オールシーズンズにおいては毎月0.08%（年1.0%）相当額をマスターファンドの各分別ポートフォリオに対して請求する。当該報酬は毎月後払いにて、当該マスターファンドの各分別ポートフォリオから支払われる。管理報酬は、マスターファンドの投資管理を行うことへの対価として支払われる。

さらに、毎月の最終マスターファンド営業日（以下「マスターファンド評価日」という。）時点におけるマスターファンドの各分別ポートフォリオに属する各クラスの株式の純資産価額の増加額につき、その20%（以下「成功報酬」という。）が、毎月マスターファンドの各分別ポートフォリオからマスターファンド投資顧問会社に対して支払われる。各クラスの株式の純資産価額の増加額とは、各分別ポートフォリオに属する当該クラスの株式のマスターファンド評価日毎における純資産価額（成功報酬支払前）がそれまでのハイウォータマークを上回った場合における差額（もしあれば）を意味する。疑義を避けるために付言すれば、成功報酬は、累積ベース、すなわちハイウォータマーク基準で計算され、当該株式の純資産価額が、同株式のそれまでの純資産価額の最高値（ハイウォータマーク）を上回らない限りは支払われない。ハイウォータマークが更新される度に、成功報酬を支払う上での基準値も変わる。本項において「ハイウォータマーク」は、マスターファンド投資顧問会社に支払われる成功報酬を差し引いた後の、株式の純資産価額を意味する。

成功報酬はすべての他の報酬及び費用が支払われた後に算出される。マスターファンド投資顧問会社は、何らかの理由（例えば、受益権者に対して提供された役務や受益権者が提供した役務を考慮するため、あるいは受益証券の発行に関連する理由等）により、受領した報酬の一部を第三者（サブファンドの受益権者等を含む。）に対して支払う場合がある。

成功報酬は、ハイウォータマークを超えるマスターファンドの良好な投資成果への対価として支払われる。

マスターファンドによる申込につきアンダーライング・マスターファンドによりマスターファンド投資顧問会社に支払われる管理報酬又は成功報酬はない。

マスターファンドの販売会社は、サブファンド「グリーン」及び「グリーンＣ」については当該各サブファンドの純資産価額の1.8%（年率）に相当する額の販売報酬を受領する権限を有する。日々発生する当該販売報酬は、各評価日に算出され、マスターファンドレベルで毎月後払いで支払われる。サブファンド「レインボー・オールシーズンズ」については、マスターファンドにおいて徴収される販売報酬はない。

販売報酬は、販売の手配を行うことへの対価として支払われる。

マスターファンド及びアンダーライング・マスターファンドの事務管理会社（以下「マスターファンド事務管理会社」という。）は、下表に示す年間報酬を受領する権限を有する。

単位：米ドル

		分別ポートフォリオに係る事務管理報酬（年間）	年次財務諸表の作成（年間）（企業単位）	ポータルサイトへのFATCAデータのアップロード（企業単位）	ポータルサイトへのCRSデータのアップロード（企業単位）

マスターファンド	スーパーファンド・グリーン・ゴールドＳＰＣ　Ｂ	5,700	1,500	500	500
	スーパーファンド・グリーンＳＰＣ　Ｂ	5,400	1,500	500	500
	スーパーファンド・グリーンＳＰＣ　Ｃ	5,400			
	スーパーファンドＳＰＣレインボー・オールシーズンズ	18,000	1,500	500	500

単位：米ドル

		事務管理報酬（年間）	年次財務諸表の作成（年間）	ポータルサイトへのFATCAデータのアップロード	ポータルサイトへのCRSデータのアップロード
アンダーライング・マスターファンド	スーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターＳＰＣ	純資産の4.2ベーシスポイント／年間0.042%（毎月4.2ベーシスポイントの12分の１） 但し、各ファンドにつき最低毎月1,375米ドル ファンドの純資産の50百万米ドルを超える部分：2.45ベーシスポイント ファンドの純資産の100百万米ドルを超える部分：0.7ベーシスポイント	1,500	500	500
	スーパーファンド・グリーン・マスター	純資産の4.2ベーシスポイント／年間0.042%（毎月4.2ベーシスポイントの12分の１） 但し、各ファンドにつき最低毎月1,500米ドル ファンドの純資産の50百万米ドルを超える部分：2.45ベーシスポイント ファンドの純資産の100百万米ドルを超える部分：0.7ベーシスポイント	1,500	500	500

当該年間報酬は、事務管理契約の別紙Ａとして添付される一覧に記載される、各評価日における純資産価額の計算、受益権者名簿の管理、締結された申込に係る契約及び申込の受領並びに処理、電磁的方法による受益証券の発行証明及び保有報告書の作成並びに送付などの役務の対価として、マスターファンド事務管理会社に対し毎月後払いにて支払われる。当該役務は、両当事者の合意により適宜修正される場合がある。マスターファンド事務管理会社はまた、マスターファンド及びアンダーライング・マスターファンドに係る年次報告書及び監査手配報酬として上表に示す年間報酬を受領する資格を有する。年次報告書及び監査手配報酬は、関連する規制に則した年次財務諸表（監査済み）の作成及びその補助の対価として毎月後払いにて支払われる。

また、マスターファンド事務管理会社（又はその関連会社）は、マスターファンド及びアンダーライング・マスターファンドの登録事務所としての活動並びに役員及び秘書役サービスの提供に対する報酬として、マスターファンド及びアンダーライング・マスターファンドそれぞれにつき上表に示す報酬を毎年前払いにて受領することもできる。マスターファンド事務管理会社（又はその関連会社）はまた、ミューチュアル・ファンド法の第４項（１）（ｂ）項に規定される、マスターファンドの主たる事務所として行為することにより、上表に示す報酬を毎年前払いにて受領する。

さらにマスターファンド事務管理会社は、100米ドルを超える費用につき事前の承認を得ずに払戻しを受ける権利を有する。費用は原則として、郵送及び／又は翌日配送便にて送付される書類に係る郵送料及び最小限の手数料に限定される。

マスターファンド及びアンダーライング・マスターファンドは、通常の業務においてマスターファンド若しくはアンダーライング・マスターファンド（場合により）により負担されるべき、又はマスターファンド若しくはアンダーライング・マスターファンド（場合により）のために負担されたすべての費用を支払う。かかる費用には、コンサルティング費、調査費、投資関連旅費、サービスその他の運営費、継続募集関連費用、保管及び管理事務代行費、印刷費、弁護士費用、会計・監査費用、支払利息、銀行手数料、仲介手数料、短期配当金、その他同様の費用並びに臨時費用が含まれる（但し、これらに限られるものではない。）。アンダーライング・マスターファンドから清算会社に支払われる仲介手数料の一部は、管理会社及び／又はマスターファンド投資顧問会社の関連会社である１つ以上の取次ぎ及び／又は執行を行ったブローカーでシェアされる場合がある。

（ⅱ）諸費用

各サブファンドは、その運用及び業務に付帯するその他すべての費用を負担し、かかる費用には、（ｉ）仲介手数料及び費用、引受手数料並びに類似の費用、（ⅱ）カストディアン費用及び決済機関費用、（ⅲ）借入金及び借方残高に対する支払利息及び約定手数料、（ⅳ）所得税、源泉徴収税、譲渡税及びその他政府により課される費用及び税、（ⅴ）当ファンドの法律顧問及び独立監査人への報酬（当該サブファンド分）、（ⅵ）ケイマン諸島に登記された、当ファンドの主たる事務所の維持費（当該サブファンド分）、（ⅶ）受益権者に対する募集資料並びに報告書及び通知の、印刷及び配布費用、（ⅷ）設立費用、並びに、（ⅸ）各サブファンドが投資したファンド（マスターファンドを含むがそれに限られない。）の費用（当該サブファンド分）が含まれる。

（５）【課税上の取扱い】

本書の内容は、情報の提供のみを目的として、受益権者となるべき投資家に対するケイマン諸島及び日本の税効果について記載したものである。当ファンドへの投資に関する課税上の問題については、それぞれの専門の税務アドバイザーに相談されることを推奨する。税効果は、受益権者となるべき各投資家の状況によって異なる。また、当ファンドの直接的受益権者ではないが、特定のルールが適用された結果、受益証券の保有者とみなされる投資家については、（本書に記載されていない）特別な検討が必要となる場合がある。本書の議論は、課税上のアドバイスではなく、また、受益権者は課税上のアドバイスとして、本書の議論の一部に依拠することのないように留意されたい。

（ｉ）ケイマン諸島の課税上の取扱い

現行のケイマン諸島の法律においては、当ファンドが支払義務を負う所得税、相続税、譲渡税、売上税その他の税金、又は当ファンドによる分配金若しくは受益証券の買戻代金の支払いに適用される源泉徴収税はない。

当ファンドはケイマン諸島の信託法（その後の改正を含む。）第74条に基づき、適用免除信託として登録されている。前述したとおり、納税義務を課す税制は現在のところケイマン諸島にはないが、当ファンドは、法律の改正の有無を問わず、信託証書の日付より50年以内であれば、所得又はキャピタル・ゲインについて将来課されるいかなる税金又は義務からもファンドが免除されるという旨の、ケイマン諸島の総督が署名した誓約の適用を受けている。

米国外国口座税務コンプライアンス法

米国内国歳入法の第1471項から第1474項（FATCAと称される。）は、さまざまな情報報告要件が満たされている場合を除いて、当ファンド及び各サブファンドを含む特定の「外国金融機関」に対して支払われる米国源泉金額の合計金額に30%の源泉徴収税を課している。この規則に基づき源泉徴収の対象となる金額は通常、米国源泉の配当金及び利子所得の総額、米国国内の財源から配当金又は利子所得を生み出す財産の売却による総収益、及び「参加外国金融機関」から「非協力口座保有者」に対するその他の支払い（いわゆる「外国パススルー支払い」）を含む。

ケイマン諸島政府は、米国とモデル１政府間協定（以下「米国IGA」という。）を締結し、FATCA遵守を促進するための国内規制を実施した。適用ある法令に基づく義務を遵守するため、受託会社は当ファンド及び各サブファンドのために、FATCAに関する情報をケイマン諸島の税務情報局（以下「ケイマン諸島税務情報局」という。）に報告することが義務づけられ、ケイマン諸島税務情報局が関連情報を米国内国歳入庁（以下「IRS」という。）に報告する。FATCAに基づく源泉徴収税を回避するため、受託会社は当ファンド及び各サブファンドのために、受益権者及び実質的所有者に追加の情報を要求して（これはケイマン諸島税務情報局及びIRSに開示されることがある。）、受益証券が直接又は間接的に「特定米国人」（米国IGAに定められる。）に保有されているかどうかを確認する。当ファンドが（１人以上の受益権者が十分な情報の提供を怠ったためか否かにかかわらず、）米国IGAに基づく報告要件を遵守できなかった場合、FATCAに基づく30%の源泉徴収税が当ファンド及び各サブファンドに課される可能性がある。

税務報告に関するOECD共通報告基準の要件

「共通報告基準」（以下「CRS」という。）は、関係する法域間で財務会計情報を自動的に交換するための世界基準とするためにOECDによって策定された。CRSを導入するすべての法域（以下それぞれを「参加法域」という。）が、所轄官庁多国間合意（以下「MCAA」という。）又は特定の参加法域との間の所轄官庁二国間合意に署名する。

MCAA（又は該当する二国間合意）に基づき、参加法域は適切な国内規制を施行し、必要な行政及びITインフラ（いずれも情報を収集及び交換し、機密性を保持し、データを保護するためのもの）を設

け、情報交換に係る必要な通知を行った時点で「報告対象法域」となる。参加法域は、関連する情報を収集し、報告対象法域と情報交換を行わなければならない。

ケイマン諸島政府は、MCAAに署名しており、税務情報局（国際税務コンプライアンス）（共通報告基準）の規則（改正済み）（以下「CRS規則」という。）にCRSを採用している。CRS規則に基づき、受託会社は当ファンド及び各サブファンドのために、報告対象法域に居住し課税対象となる受益権者及び／又はその「管理者」が報告対象法域に居住し課税対象となる受益権者（但し、CRS規則における限定的な適用除外規定が１つ以上適用される者を除く。）につき、ケイマン諸島の税務情報局に対して年次報告を行うことを義務づけられている。

ケイマン諸島税務情報局のウェブサイトであるhttps://www.ditc.ky/frameworks/crs/page/5/において、ケイマン諸島における報告対象法域の一覧を閲覧することができる。

受益権者への予想される影響

米国IGA、MCAA及び関連する国内法令（以下「AEOI法令」と総称する。）を遵守するため、当ファンドは、受益権者から提供された機密情報を関連するケイマン諸島以外の国の財政当局（以下「海外財政当局」という。）又はケイマン諸島税務情報局に開示することがあり、その機密情報は関連する海外財政当局に報告されることがある。さらに、受託会社は当ファンド及び各サブファンドのために、受託会社が当ファンド及び各サブファンドのためにケイマン諸島税務情報局及び／又は関連する海外財政当局に開示を要求される可能性がある追加的情報及び／又は書類の提供を受益権者に対して何時でも要求することがある。

受益権者が要求された情報及び／又は書類を提供しない場合、当ファンドによる法令遵守違反又は当ファンドが源泉徴収税若しくはその他の責任を負うリスクに実際につながるか否かにかかわらず、当ファンドは、自由にあらゆる措置を講じ、及び／又は救済を求めることができる。かかる措置又は救済には、関係している受益権者が保有する受益証券の一部又は全部の強制償還を含む。受益権者が情報等を提供しないことにより当ファンドが何らかの費用若しくは源泉徴収税を負担し、又は受益権者に対して源泉徴収税を適用することが法律によって要求される範囲内において、当該額を当ファンドが受益権者に対して負う支払額と相殺し、また当該受益権者が保有する受益証券に対して当該金額を分配することができる。AEOI法令を遵守するため当ファンドによって又は当ファンドを代表して行われた措置又は求められた救済によって発生した一切の損害又は負債に対し、当該措置又は救済の影響を受ける受益権者は、当ファンドに対する請求権を有しないものとする。

受益権者は、サブファンドの受益証券への投資に対する、AEOI法令の適用の可能性及びこれらの想定される影響について、自らのアドバイザーに相談することが奨励される。

（ⅱ）日本の課税上の取扱い

日本の投資家は、各受益証券の申込の時点において適用される有価証券税制を個別に確認されたい。本書の日付現在、日本の税法で定義されている、日本で公募される外国株式投資信託（いわゆる「公募外国株式投資信託」）に関する税制は、下記のとおりである。日本の投資家は、所得税法、法人税法、租税特別措置法及びその他の税法の変更により、課税率及び課税方法も変更の対象となることに留意すべきである。

（ａ）個人受益権者に支払われる当ファンドの分配金について、その課税方法は以下のとおりとなる。

個人に支払われるファンドの分配金については、20%（所得税15%、住民税５%）の税率による源泉徴収が行われる。受益権者の選択により、申告不要とすることも、配当所得として確定申告をすることもできる。また、2024年１月１日以降に取得した有価証券に係る分配金については、少額上場株式等に係る配当所得及び譲渡所得等の非課税措置を利用した場合、一定の要件下で、成長投資枠の非課税保有限度額（総枠）1,200万円の範囲内で、年間240万円を上限と

する投資については配当所得が非課税となる。

受益権者は、申告不要を選択した場合、20%（所得税15%、住民税５%）の税率で源泉徴収された税額のみで課税関係は終了する。

申告不要を選択せず、確定申告を行う場合、総合課税又は申告分離課税を選択することになる。申告分離課税を選択した場合の税率は、20%（所得税15%、住民税５%）となる。

なお、申告分離課税を選択した場合（源泉徴収選択口座におけるファンドの分配金について申告分離課税を選択した場合を含む。）、その年分の上場株式等の譲渡損失又はその年の前年以前３年内の各年に生じた上場株式等の譲渡損失（前年以前に既に控除したものを除く。）を控除することができる。

但し、上記の税率は、復興特別措置法に基づき、2014年１月１日から2037年12月31日までは20.315%（所得税15.315%、住民税５%）、2038年１月１日以降は20%（所得税15%、住民税５%）となる。

（ｂ）法人（公共法人等を除く。）が分配金を受け取る場合は、15%（所得税のみ）の税率による源泉徴収が行われる。法人の益金不算入の適用は認められない。

但し、上記の税率は、復興特別措置法に基づき、2014年１月１日から2037年12月31日までは15.315%（所得税のみ）、2038年１月１日以降は15%（所得税のみ）となる。

（ｃ）個人が受益証券を譲渡・買戻請求した場合、その課税方法は以下のとおりとなる。

譲渡損益における申告分離課税での税率は20%（所得税15%、住民税５%）となり、申告分離課税の上場株式等の譲渡による所得及び上場株式等の配当所得等との損益通算が可能となる。

また、2024年１月１日以降に取得した有価証券に係る譲渡所得については、少額上場株式等に係る配当所得及び譲渡所得等の非課税措置を利用した場合、一定の要件下で、成長投資枠の非課税保有限度額（総枠）1,200万円の範囲内で、年間240万円を上限とする投資については譲渡所得が非課税となる。

源泉徴収選択口座における譲渡による所得について申告不要を選択した場合は、20%（所得税15%、住民税５%）の税率で源泉徴収された税額のみで課税関係は終了する。

但し、上記の税率は、復興特別措置法に基づき、2014年１月１日から2037年12月31日までは20.315%（所得税15.315%、住民税５%）、2038年１月１日以降は20%（所得税15%、住民税５%）となる。

（ｄ）上記の分配金及び譲渡・買戻しの対価につき、一定の場合、支払調書が税務署長に提出される。

（ｅ）当ファンドの償還についても譲渡があったものとみなされ、（ｃ）と同様の扱いとなる。

当ファンドは、日本で公募される株式投資信託（公募外国株式投資信託）として取扱われる。但し、当ファンドの受益権者が課税当局により異なる扱いを受ける可能性があることに留意するべきである。上記の課税上の取扱いは、税法又は課税当局の決定の変更によって影響を受けることがある。

5【運用状況】

（1）【投資状況】

（2024年３月31日現在）

	資産の種類	国　名	時価合計 円	投資比率
グリーン	スーパーファンド・グリーン・ゴールドSPC Bの株式（クラスＢ・ジャパン） 及びスーパーファンド・グリーンSPC Bの 株式（クラス・ジャパン及びクラス・シルバー）	ケイマン諸島	2,438,370,813	99.73%
	現金、受取債権及びその他の資産 （負債控除後）	該当なし	6,624,827	0.27%
	純資産総額		2,444,995,640	100%
	資産の種類	国　名	時価合計 円	投資比率
グリーンC	スーパーファンド・グリーンSPC Cの株式 （クラスC・ジャパン）	ケイマン諸島	169,142,834	93.97%
	現金、受取債権及びその他の資産 （負債控除後）	該当なし	10,853,180	6.03%
	純資産総額		179,996,014	100%
	資産の種類	国　名	時価合計 円	投資比率
レインボー・オールシーズンズ	スーパーファンドSPCの株式 （分別ポートフォリオ・レインボー・オールシーズンズ・クラスＢ・ジャパン）	ケイマン諸島	395,206,993	97.25%
	現金、受取債権及びその他の資産 （負債控除後）	該当なし	11,173,670	2.75%
	純資産総額		406,380,663	100%

（注１）円貨への換算は、対応する数字につき所定の換算率で単純計算の上、小数点第１位を四捨五入している。したがって、合計の数字が一致しない場合がある。

（２）【投資資産】

①【投資有価証券の主要銘柄】

（2024年３月31日現在）

サブファンド	発行地	銘柄	業種	数量	金額（簿価）		金額（時価）		投資比率
グリーン	ケイマン諸島	スーパーファンド・グリーン・ゴールドSPC Bの株式（クラスB・ジャパン）及びスーパーファンド・グリーンSPC Bの株式（クラス・ジャパン及びクラス・シルバー）	分別ポートフォリオ会社	1,958,342.41	2,597,104,134円		2,438,370,813円		100%
					単価	1,326.17円	単価	1,245.12円	
グリーンC	ケイマン諸島	スーパーファンド・グリーンSPC Cの株式（クラスC・ジャパン）	分別ポートフォリオ会社	229,023.81	257,983,267円		169,142,834円		100%
					単価	1,126.45円	単価	738.54円	
レインボー・オールシーズンズ	ケイマン諸島	スーパーファンドSPCの株式（分別ポートフォリオ・レインボー・オールシーズンズ・クラスB・ジャパン）	分別ポートフォリオ会社	114,812.32	340,662,357円		395,206,993円		100%
					単価	2,967.12円	単価	3,442.20円	

（注１）金額（単価を除く。）は小数点第１位を四捨五入している。

②【投資不動産物件】

該当なし

③【その他投資資産の主要なもの】

該当なし

（３）【運用実績】

①【純資産の推移】

（ａ）純資産総額の推移

	サブファンド「グリーン」（円・クラス）	サブファンド「グリーン」（米ドル・クラス）	サブファンド「グリーン」（ゴールド円・クラス）	サブファンド「グリーン」（ゴールド米ドル・クラス）	サブファンド「グリーン」（シルバー円・クラス）	サブファンド「グリーン」（シルバー米ドル・クラス）
	純資産総額（円）	純資産総額（米ドル）	純資産総額（円）	純資産総額（米ドル）	純資産総額（円）	純資産総額（米ドル）
2021年12月	626,784,346	1,699,137.36	1,308,157,520	243,293.78	－	－
2022年12月	625,993,630	1,286,536.92	1,271,056,197	611,559.43	155,248,277	2,623,062.63
2023年４月	489,987,545	953,908.90	1,155,738,585	524,743.51	134,865,263	2,161,386.62
５月	485,925,170	944,233.28	1,146,502,999	510,041.26	131,457,039	2,048,671.42
６月	491,070,649	954,075.70	1,158,772,176	506,429.81	135,065,835	2,020,175.60
７月	454,581,685	898,476.45	1,146,505,861	506,913.65	139,865,635	2,109,056.37
８月	415,642,590	824,283.61	1,054,146,361	455,108.82	129,936,098	1,904,665.52
９月	416,601,753	829,757.55	1,038,382,710	436,075.32	125,819,504	1,786,084.82
10月	396,398,335	801,610.89	1,096,893,714	453,328.20	127,195,465	1,766,873.71
11月	384,900,341	794,119.02	1,095,780,902	458,944.29	131,894,524	1,880,300.99
12月	353,193,972	830,529.30	1,111,607,719	487,331.51	126,658,771	1,885,737.53
2024年１月	342,306,592	799,572.21	1,099,940,850	461,737.84	123,937,006	1,760,185.59
２月	360,087,859	837,219.31	1,173,116,060	482,528.90	132,173,973	1,827,309.49
３月	378,713,261	904,713.37	1,377,035,290	560,273.03	148,821,598	2,105,604.82

	サブファンド「グリーンC」（円・クラス）	サブファンド「グリーンC」（米ドル・クラス）
	純資産総額（円）	純資産総額（米ドル）
2021年12月	227,675,117	1,318,083.95
2022年12月	134,790,697	866,931.50
2023年４月	97,773,895	636,622.84
５月	94,050,314	630,405.12
６月	95,189,153	639,627.52
７月	92,094,621	621,904.40
８月	82,190,051	556,975.41
９月	82,813,864	562,897.17
10月	76,284,639	541,917.41
11月	74,860,682	535,800.88
12月	79,021,516	570,141.42
2024年１月	75,446,776	542,882.35
２月	79,766,912	576,263.67
３月	84,052,050	633,901.77

	サブファンド「レインボー・オールシーズンズ」（円・クラス）	サブファンド「レインボー・オールシーズンズ」（ゴールド円・クラス）
	純資産総額（円）	純資産総額（円）
2021年12月	187,748,935	244,374,590
2022年12月	154,083,753	248,008,244
2023年４月	154,557,177	278,509,047
５月	151,570,204	277,253,956
６月	77,261,115	273,267,233
７月	76,179,616	272,084,176
８月	71,652,253	255,720,688
９月	67,183,906	238,620,831
10月	63,508,481	243,818,528
11月	69,908,260	262,385,129
12月	65,336,276	272,114,655
2024年１月	61,218,680	276,664,792
２月	63,273,130	292,434,319
３月	67,343,455	339,037,208

（注１）サブファンド「ブルー」円ヘッジ有・クラス及びサブファンド「ブルー」ゴールド円・クラスは、2020年１月１日付で、サブファンド「シャープパリティ」円・クラス及びサブファンド「シャープパリティ」ゴールド円・クラスとそれぞれ名称が変更された。その後、サブファンド「シャープパリティ」は、2021年７月１日付で、サブファンド「システマティック・オールウェザー」と名称が変更され、さらに2023年７月１日付でサブファンド「レインボー・オールシーズンズ」と名称が変更された。

（注２）サブファンド「グリーンB」は、2021年１月１日付で、サブファンド「グリーン」と名称が変更された。

（注３）サブファンド「グリーン」シルバー円・クラス及びシルバー米ドル・クラスについては、新設クラスとして2022年９月より運用が開始されたため、2022年８月以前の情報がない。

（b）１口当たりの純資産価額の推移

	サブファンド「グリーン」（円・クラス）	サブファンド「グリーン」（米ドル・クラス）	サブファンド「グリーン」（ゴールド円・クラス）	サブファンド「グリーン」（ゴールド米ドル・クラス）	サブファンド「グリーン」（シルバー円・クラス）	サブファンド「グリーン」（シルバー米ドル・クラス）
	１口当たりの純資産価額（円）	１口当たりの純資産価額（米ドル）	１口当たりの純資産価額（円）	１口当たりの純資産価額（米ドル）	１口当たりの純資産価額（円）	１口当たりの純資産価額（米ドル）
2021年12月	80.12	0.97	140.71	1.29	－	－
2022年12月	69.48	0.75	130.32	1.01	99.55	1.12
2023年４月	54.70	0.59	116.24	0.86	85.27	0.93
５月	54.49	0.59	115.50	0.84	82.63	0.88
６月	55.31	0.59	117.96	0.83	84.38	0.87
７月	53.92	0.58	116.42	0.83	86.87	0.90
８月	49.59	0.53	106.91	0.74	80.24	0.82
９月	50.30	0.54	105.14	0.71	77.22	0.77
10月	48.92	0.52	110.99	0.74	77.57	0.76
11月	48.05	0.52	109.78	0.75	80.66	0.81
12月	49.55	0.55	110.95	0.80	76.99	0.81
2024年１月	48.19	0.53	109.51	0.75	74.86	0.75
２月	50.79	0.55	116.81	0.79	79.32	0.78
３月	55.03	0.60	136.88	0.91	92.25	0.90

	サブファンド「グリーンＣ」（円・クラス）	サブファンド「グリーンＣ」（米ドル・クラス）
	１口当たりの純資産価額（円）	１口当たりの純資産価額（米ドル）
2021年12月	82.54	0.85
2022年12月	65.30	0.60
2023年４月	47.37	0.44
５月	46.80	0.44
６月	47.37	0.45
７月	45.83	0.43
８月	40.90	0.39
９月	41.21	0.39
10月	39.56	0.38
11月	38.82	0.37
12月	40.98	0.40
2024年１月	39.13	0.38
２月	41.37	0.40
３月	45.37	0.44

	サブファンド「レインボー・オールシーズンズ」（円・クラス）	サブファンド「レインボー・オールシーズンズ」（ゴールド円・クラス）
	１口当たりの純資産価額（円）	１口当たりの純資産価額（円）
2021年12月	47.51	76.18
2022年12月	36.18	64.79
2023年４月	36.20	72.64
５月	35.48	72.41
６月	35.31	74.31
７月	34.78	73.96
８月	32.66	69.82
９月	30.59	65.13
10月	28.87	66.70
11月	31.73	71.75
12月	34.27	74.37
2024年１月	33.30	75.59
２月	34.42	79.87
３月	36.64	92.57

（注１）サブファンド「ブルー」円ヘッジ有・クラス及びサブファンド「ブルー」ゴールド円・クラスは、2020年１月１日付で、サブファンド「シャープパリティ」円・クラス及びサブファンド「シャープパリティ」ゴールド円・クラスとそれぞれ名称が変更された。その後、サブファンド「シャープパリティ」は、2021年７月１日付で、サブファンド「システマティック・オールウェザー」と名称が変更され、さらに2023年７月１日付でサブファンド「レインボー・オールシーズンズ」と名称が変更された。

（注２）サブファンド「グリーンＢ」は、2021年１月１日付で、サブファンド「グリーン」と名称が変更された。

（注３）サブファンド「グリーン」シルバー円・クラス及びシルバー米ドル・クラスについては、新設クラスとして2022年９月より運用が開始されたため、2022年８月以前の情報がない。

②【分配の推移】

該当なし

③【収益率の推移】

サブファンド「グリーン」

	収益率					
	円・クラス	米ドル・クラス	ゴールド 円・クラス	ゴールド 米ドル・クラス	シルバー 円・クラス	シルバー 米ドル・クラス
自2021年 1月1日 至2021年 12月31日	11.96%	1.04%	18.29%	7.50%	－	－
自2022年 1月1日 至2022年 12月31日	－13.28%	－22.68%	－7.38%	－21.71%	－0.45%	12.00%
自2023年 1月1日 至2023年 12月31日	－28.68%	－26.67%	－14.86%	－20.79%	－22.66%	－27.68%

サブファンド「グリーンC」

	収益率	
	円・クラス	米ドル・クラス
自2021年 1月1日 至2021年 12月31日	13.11%	2.41%
自2022年 1月1日 至2022年 12月31日	－20.89%	－29.41%
自2023年 1月1日 至2023年 12月31日	－37.24%	－33.33%

サブファンド「レインボー・オールシーズンズ」

	収益率	
	円・クラス	ゴールド 円・クラス
自2021年 1月1日 至2021年 12月31日	10.41%	16.82%
自2022年 1月1日 至2022年 12月31日	－23.85%	－14.95%
自2023年 1月1日 至2023年 12月31日	－5.28%	14.78%

（注１）サブファンド「ブルー」円ヘッジ有・クラス及びサブファンド「ブルー」ゴールド円・クラスは、2020年１月１日付で、サブファンド「シャープパリティ」円・クラス及びサブファンド「シャープパリティ」ゴールド円・クラスとそれぞれ名称が変更された。その後、サブファンド「シャープパリティ」は、2021年７月１日付で、サブファンド「システマティック・オールウェザー」と名称が変更され、さらに2023年７月１日付でサブファンド「レインボー・オールシーズンズ」と名称が変更された。

（注２）サブファンド「グリーンB」は、2021年１月１日付で、サブファンド「グリーン」と名称が変更された。

（注３）サブファンド「グリーン」シルバー円・クラス及びシルバー米ドル・クラスについては、新設クラスとして2022年９月より運用が開始されたため、2022年８月以前の情報がない。そのため、当該クラスの2022年の収益率については、2022年９月１日から2022年12月31日の期間の収益率を表示している。

（４）【販売及び買戻しの実績】

（自2021年１月１日至2021年12月31日）

サブファンド	クラス	販売受益証券数（口）	買戻受益証券数（口）	発行済受益証券数（口）
グリーン	円・クラス	1,008,690.48 (1,008,690.48)	1,438,818 (1,438,818)	7,823,069.73 (7,823,069.73)
	米ドル・クラス	114,455 (114,455)	192,913 (192,913)	1,751,688 (1,751,688)
	ゴールド円・クラス	3,108,484.12 (3,108,484.12)	2,705,775 (2,705,775)	9,296,834.05 (9,296,834.05)
	ゴールド米ドル・クラス	39,674.72 (39,674.72)	87,173 (87,173)	199,421.13 (199,421.13)
グリーンC	円・クラス	－ (－)	462,669 (462,669)	2,758,361 (2,758,361)
	米ドル・クラス	－ (－)	104,935 (104,935)	1,550,687 (1,550,687)
システマティック・オールウェザー	円・クラス	2,561,089.20 (2,561,089.20)	162,000 (162,000)	3,951,777.20 (3,951,777.20)
	ゴールド円・クラス	333,384.74 (333,384.74)	27,011 (27,011)	3,207,857.58 (3,207,857.58)

（注１）（）は、本邦内で行われたものを内数で表している。
（注２）サブファンド「グリーンＢ」は、2021年１月１日付で、サブファンド「グリーン」と名称が変更された。
（注３）サブファンド「シャープパリティ」は、2021年７月１日付で、サブファンド「システマティック・オールウェザー」と名称が変更された。

（自2022年１月１日至2022年12月31日）

サブファンド	クラス	販売受益証券数（口）	買戻受益証券数（口）	発行済受益証券数（口）
グリーン	円・クラス	1,842,957.16 (1,842,957.16)	656,728 (656,728)	9,009,298.89 (9,009,298.89)
	米ドル・クラス	211,721.93 (211,721.93)	237,937 (237,937)	1,725,472.93 (1,725,472.93)
	ゴールド円・クラス	3,285,341.49 (3,285,341.49)	2,828,697 (2,828,697)	9,753,478.54 (9,753,478.54)
	ゴールド米ドル・クラス	500,756.16 (500,756.16)	91,740 (91,740)	608,437.29 (608,437.29)
	シルバー円・クラス	1,569,438.54 (1,569,438.54)	10,000 (10,000)	1,559,438.54 (1,559,438.54)
	シルバー米ドル・クラス	2,333,353.47 (245,061.28)	－ (－)	2,333,353.47 (245,061.28)
グリーンC	円・クラス	－ (－)	694,247 (694,247)	2,064,114 (2,064,114)
	米ドル・クラス	－ (－)	115,148 (115,148)	1,435,539 (1,435,539)
システマティック・オールウェザー	円・クラス	556,757.96 (556,757.96)	249,958 (249,958)	4,258,577.16 (4,258,577.16)
	ゴールド円・クラス	792,272.60 (792,272.60)	172,317 (172,317)	3,827,813.18 (3,827,813.18)

（注１）（ ）は、本邦内で行われたものを内数で表している。
（注２）サブファンド「グリーン」シルバー円・クラス及びシルバー米ドル・クラスについては、新設クラスとして2022年９月より運用が開始されたため、2022年９月１日から2022年12月31日の期間の実績を表示している。
（注３）サブファンド「システマティック・オールウェザー」の名称は、2023年７月１日付でサブファンド「レインボー・オールシーズンズ」に変更される予定である。

（自2023年１月１日至2023年12月31日）

サブファンド	クラス	販売受益証券数（口）	買戻受益証券数（口）	発行済受益証券数（口）
グリーン	円・クラス	57,177.58 (57,177.58)	1,938,654.00 (1,938,654.00)	7,127,873.62 (7,127,873.62)
	米ドル・クラス	－ (－)	204,285.93 (204,285.93)	1,521,187.00 (1,521,187.00)
	ゴールド円・クラス	613,722.48 (613,722.48)	348,277.00 (348,277.00)	10,019,119.93 (10,019,119.93)
	ゴールド米ドル・クラス	4,191.38 (4,191.38)	－ (－)	612,628.67 (612,628.67)
	シルバー円・クラス	108,804.04 (108,804.04)	23,116.00 (23,116.00)	1,645,161.66 (1,645,161.66)
	シルバー米ドル・クラス	5.72 (5.72)	－ (－)	2,333,359.19 (245,067.00)
グリーンC	円・クラス	－ (－)	135,833.00 (135,833.00)	1,928,281.00 (1,928,281.00)
	米ドル・クラス	－ (－)	－ (－)	1,435,539.00 (1,435,539.00)
レインボー・オールシーズンズ	円・クラス	35,284.67 (35,284.67)	2,387,235.17 (2,387,235.17)	1,906,626.66 (1,906,626.66)
	ゴールド円・クラス	17,216.65 (17,216.65)	186,396.22 (186,396.22)	3,658,633.61 (3,658,633.61)

（注１）（ ）は、本邦内で行われたものを内数で表している。
（注２）サブファンド「システマティック・オールウェザー」の名称は、2023年７月１日付でサブファンド「レインボー・オールシーズンズ」に変更された。

第２【管理及び運営】

１【申込（販売）手続等】

（１）受益証券の価格

サブファンド	クラス	
グリーン	円・クラス	１口100円
	米ドル・クラス	１口１米ドル
	ゴールド円・クラス	１口100円
	ゴールド米ドル・クラス	１口１米ドル
	シルバー円・クラス	１口100円
	シルバー米ドル・クラス	１口１米ドル
グリーンC	円・クラス	１口100円
	米ドル・クラス	１口１米ドル
レインボー・オールシーズンズ	円・クラス	１口100円
	ゴールド円・クラス	１口100円

（注１）各発行日（以下に定義する。）に発行された各クラスの受益証券は、当該発行日に係る評価日に当該クラスの既発行分と即座に統合され、当該評価日における当該クラスの純資産価額に応じて、受益証券の申込希望者（以下「申込者」とい

う。）に発行された受益証券数が調整される。そのため、最終的には、各クラスの受益証券は、各発行日に係る評価日現在における当該クラスの１口当たりの純資産価額により、当該評価日に発行されることになる。

（注２）「発行日」とは、申込及び申込金の支払の直後に到来する評価日を意味する。

（２）最小申込単位

サブファンド	クラス	最小申込単位
グリーン	円・クラス	5,000口以上、100口単位
	米ドル・クラス	5,000口以上、100口単位
	ゴールド円・クラス	5,000口以上、100口単位
	ゴールド米ドル・クラス	5,000口以上、100口単位
	シルバー円・クラス	5,000口以上、100口単位
	シルバー米ドル・クラス	5,000口以上、100口単位
グリーンＣ	円・クラス	100,000口以上、100口単位
	米ドル・クラス	100,000口以上、100口単位
レインボー・オールシーズンズ	円・クラス	5,000口以上、100口単位
	ゴールド円・クラス	5,000口以上、100口単位

（注１）月の最終ファンド営業日にあたる評価日では、最小申込単位は、（サブファンド「グリーンＣ」を除き）各クラスとも1,000口以上、100口単位である。

（３）申込手数料

各申込に適用する申込手数料は、当該申込についての申込金額に上限5.50%（税抜５%）の申込料率を乗じた額とする。

（注）上記申込手数料には、上記申込手数料に課される日本において適用される現行の法定消費税率である10%の消費税相当額が含まれている。投資家が受益証券について実際に支払う金額（申込金）は、（ｉ）申込金額及び（ii）申込手数料（かかる申込手数料に課される消費税相当額等を含む。）の合計額となる。

（４）申込の方法

申込者は、販売会社（販売取次会社を含む。）と「外国証券の取扱いに関する契約」を締結する。販売会社（販売取次会社を含む。）は「外国証券取引口座約款」を申込者それぞれに交付し、申込者は当該約款に基づき取引口座の開設を申し込む旨を記載した申込書を提出する。

申込者は、それぞれの評価日の２ファンド営業日前の期日までに、申込用紙を販売会社へ提出する。その後、申込金（申込金額及び申込手数料）は、国内受渡日までに販売会社へ支払われるものとする。受益証券の発行及び登録は、当該申込に係る払込期日に、申込金額の全額の支払いが当ファンド又は該当サブファンドの勘定分として事務管理会社により確認されたときに法的に有効となるものとする。

（注１）上記手続に従ってなされる申込は、申込金額の受領が当ファンド又は該当サブファンドの勘定分として事務管理会社によって確認されたことをもって有効となる。マスターファンドは、申込が当ファンド又は該当サブファンドの勘定分として事務管理会社によって受け付けられた場合でも、その裁量により申込を拒否することができる。したがって、申込がマスターファンドにより受け付けられる保証はない。マスターファンドに受け付けられなかった金額、及びマスターファンドに対するサブファンドの持分につき強制買戻しされた場合の金員は、当該申込者へ利息なしに払い戻される。

（注２）受益証券はそれぞれの発行日まで発行されないが、支払金は直ちに当ファンドに預託され、利子を付されることなく保管される。

2【買戻し手続等】

（1）買戻しの方法

受益権者は、販売会社に対してそれぞれの評価日の２ファンド営業日前までに事前に通知することで、各「買戻日」（それぞれの評価日の翌ファンド営業日、又は管理会社が当該受益証券の償還を行うことを許可したその他の日）に保有する受益証券のすべて又は一部の償還を当ファンドの販売会社に対して請求することができる。かかる償還は、当該評価日時点における受益証券１口当たりの純資産価額にて行われるものとする。

受益証券の買戻請求が当初の申込時から12ヶ月以内になされた場合又は強制償還が当ファンドによってなされた場合、買戻価格の２％の買戻し手数料（以下「買戻し手数料」という。）が、当ファンドから、受益権者に対して、管理会社の裁量により、課される場合がある。かかる買戻し手数料は、当ファンドの利益のために留保される。同様に、マスターファンドの株式の当ファンドによる償還が申込時から12ヶ月以内になされた場合又はマスターファンドの取締役による強制償還が行われた場合、別途当ファンドに対し支払われる償還価格の２％の償還手数料が、マスターファンドの取締役の裁量により、マスターファンドの当該分別ポートフォリオによって課される場合がある。かかる償還手数料は、マスターファンド投資顧問会社に対して（マスターファンドの投資顧問会社としての資格において）支払われる。

本書に記載される一定の条件に従い、当ファンド又は当該サブファンドの勘定につき活動する事務管理会社は、事務管理会社が取引計算書及び適用される買戻し手数料に係る情報を販売会社に交付した日から２本邦営業日以内に販売会社に対して買戻金を送金する。日本における買戻しの約定日は、販売会社が取引計算書及び適用される買戻金に係る情報を同日の正午（東京時間）までに受領し、確認した日である。買戻金は、販売会社又は販売取次会社が約定日（同日を含む。）から４本邦営業日以内に受益権者に支払う。支払日が確定し次第、事務管理会社は取引計算書を販売会社に送付した後、買戻金を送金する。なお、買戻日から実際の支払日までの間については、利息は付されない。

マスターファンドによる償還につき、アンダーライング・マスターファンドレベルで課される買戻し又は償還費用はない。

（2）買戻額

受益権者は、管理会社による単独の裁量で承諾されない限り、当該買戻請求の結果、当該受益権者が保有する受益証券数が、各クラスについて初回申込の最小申込口数未満になるような場合には、部分的な買戻請求を行うことはできない。

受益権者は、いずれの買戻日においても、買戻日の２ファンド営業日前までに通知（以下「買戻通知」という。）することにより、当該受益権者の保有する受益証券の全部の買戻し又は本書に記載の投資最低額の規制に従った一部の買戻しにつき、販売会社を通じて管理会社及び事務管理会社に対して請求することができる。かかる買戻通知はいずれも、受託会社の書面による事前の承認がある場合を除き、取り消すことができない。

各クラスの受益証券の買戻価格（以下「買戻価格」という。）は、各買戻日のいずれにおいても当該買戻日に係る評価日の受益証券１口当たりの純資産価額とする。

本書に記載される一定の条件に従い、事務管理会社は、当該ファンドのために当該ファンドに代わり、買戻日以降、取引計算書及び適用される買戻価格を事前に販売会社に送付した翌々本邦営業日（２本邦営業日目）以内に買戻代金を送金する。日本における買戻しの約定日（「国内約定日」）は、販売会社が事務管理会社から取引計算書及び買戻代金を同日の正午（東京時間）までに受領し、確認した日である。買戻し金は、販売会社又は販売取次会社が買戻金支払期日までに受益権者に支払う。上述の手続、及び最低保有額（又は最低保有口数）に関する規定は、将来変更される可能性がある。

（注）買戻請求の手続及び買戻し代金の支払等に関する詳細については、販売会社又は販売取次会社に問い合わせされたい。

なお、管理会社は、受益権者の保有する受益証券を当ファンドが買い戻すために、将来発生しうる債務（訴訟費用その他の費用を含む。）のための準備金を設けたり、償還された受益証券について、上記のとおり支払われる額から一定額を留保したりする必要があると判断する場合がある。かかる準備金は、例えば、受益権者が保有する受益証券の販売、買戻し又はその他の取引に関して当ファンドが訴訟の対象となった場合に設置することがある。管理会社はまた、当ファンド又は受益権者の利益を保全するのに最良の方法であると確信する場合は、買戻し返戻金の支払いを遅らせる権利を留保する。

（注）受益証券は、各買戻日において消却されることとなるが、買戻金は支払いが完了するまで、当ファンド中に利息を付さずに保持されることになる。

（３）管理会社が買戻しを制限する権利

管理会社は、全受益権者の利益を保護するため、１以上のクラスにおける買戻可能受益証券総数、又は特定の買戻日に買い戻される可能性のあるサブファンドに関する各クラスにおける買戻可能受益証券総数を、発行済の当該クラスの各受益証券の純資産価額総額の20%に相当する数まで制限することができる。かかる制限が行われた場合、通常、当該買戻請求が販売会社に受領された順に、買戻しが有効となる。また、販売会社の裁量により、該当するクラスの受益権者の受益証券保有割合に応じて按分比例により買戻制限を適用することもできるものとする。特定の買戻日に、管理会社による買戻制限を理由として買戻請求が受け付けられなかった受益証券は、次回の当該クラスの受益証券の買戻日に買い戻されるものとするが、20%制限は引き続き適用されるものとする。買戻請求がこうして繰り延べられた場合、管理会社は販売会社に対して、当該買戻日から７日以内に、当該受益証券の買戻しがなされなかったこと及び当該受益証券は次回の該当するクラスの買戻日に買い戻されるが、20%の買戻制限の適用を引き続き受ける旨の通知を行う。販売会社及び販売取次会社は、当該受益権者に通知を回送するものとする。

3【資産管理等の概要】

（1）【資産の評価】

（ⅰ）資産の評価

純資産価額及び受益証券１口当たりの純資産価額の計算は、事務管理会社により行われる。

サブファンドの純資産価額とは、サブファンドの受益証券の各クラスに帰属せしめられるサブファンドの資産を公正な市場価格で評価したものをいい、既発生かつ未払の費用及び特定の状況のための留保金を含む一切の負債を差し引いて評価される。「受益証券１口当たりの純資産価額」とは、当該受益証券がその一部を形成する、受益証券の各クラスに適正に帰属せしめられるサブファンドの純資産価額を、発行済未償還の各クラスの受益証券数で除したものをいう。受益証券１口当たりの純資産価額は、円建てのクラス及び米ドル建てのクラスに関しては小数点第２位まで計算する。純資産価額の計算結果は、代行協会員によってJSDAに毎月報告され、受益権者に開示される。費用、手数料及びその他の負債は、実行可能な限り、米国の一般会計原則に従って処理されるものとする。

各サブファンドの資産の評価において、市場の相場が容易に入手可能である上場株式については、その購入価格にかかわらず、決定する日の最終の売値で評価されるものとする。かかる売値が付かなかった上場有価証券及び非上場株式は、現在の取引値、又はブルームバーグ（取得可能な場合）での現在の気配値（もしあれば）における売り注文及び買い注文の仲値で決定される。60日以下の償還期限の短期投資は、経過利息を加えた償却原価で評価される。市場の相場が容易に入手可能であるその他の証券は、時価で評価される。その他の証券及び資産は、マスターファンド投資顧問会社により誠実に決定された公正な価格で評価される。サブファンドが投資会社へ投資し、当該投資会社の現在の純資産価額の計算値が入手できない場合、マスターファンド投資顧問会社は、かかる投資会社により提供される計算日現在において直近の純資産価額の見積額を決定し、かかる見積額を、当該サブファンドの純資産価額の決定に用いるものとする。アンダーライング・マスターファンドの取締役会、マスターファンドの取締役会、マスターファンド投資顧問会社、管理会社及び事務管理会社は、サブファンドが資産を投資している投資会社のマネージャーにより提供された、純資産価額の見積額等の評価に依拠することができる。

サブファンドの純資産価額を決定することができない又は上記の手続に従ってサブファンドの純資産価額を決定することが実行不可能若しくは不適切である場合、純資産価額はアンダーライング・マスターファンドの取締役会が規定する方法で誠実に決定された公正な評価額によるものとする。アンダーライング・マスターファンドの取締役会、マスターファンドの取締役会、管理会社、受託会社、事務管理会社又はマスターファンド投資顧問会社は、その下した決定又はその他の作為若しくは不作為につき、意図的な不正行為、悪意又は過失によらないものについては、一切責任を負わない。

（注）直近に計算された純資産価額は、代行協会員により、毎月10日又は10日が本邦営業日でない場合にはその直後の本邦営業日に、JSDAに報告される。

（ⅱ）評価及び取引の停止

受託会社は、下記の期間中、純資産価額の計算及びサブファンドの受益証券の買戻しを停止することができる。

（ａ）当該サブファンドの投資について相場が決定される証券取引所又は商品取引所が通常の休業日又は週末以外で閉鎖されている期間及び取引が制限又は停止されている期間

（ｂ）関連するサブファンドによる投資対象の処分が、合理的に実行不可能である又は買戻しをしていないサブファンドの受益権者を害する可能性があると受託会社が考える事象が発生している期間

（ｃ）関連するサブファンドの投資対象の価格若しくは価値又は前述した証券取引所若しくは商品取引所における時価につき、これらの決定に通常用いられる通信手段に支障が生じている期間

（ｄ）資金の移動又は投資対象の取得に伴う換金を通常の為替レートで行うことができないと受託会社が判断する期間

（ｅ）マスターファンド又はアンダーライング・マスターファンドが純資産額の計算及び当ファンド若しくはマスターファンド（場合により）が投資している株式の買戻しの制限を宣言した期間

受託会社が停止を宣言した場合、受託会社は宣言後可及的速やかにその停止の旨を事務管理会社及び販売会社に通知するものとする。それを受けて販売会社は、受益証券の実質的所有者及び受益証券の買戻しの申込停止により影響を受ける一切の者に対して、停止が宣言された旨の通知を行うものとする。停止期間中に受益証券は買い戻されず、また買戻代金は支払われない。

（２）【保管】

受益証券の所有権について、証書は発行されない。事務管理会社は、受益証券の申込及び買戻しについてのすべての記録を維持するものとする。

（３）【信託期間】

信託証書に従って関連する当事者により終了された場合を除き、当ファンドは、信託証書の日付より150年後の日に終了するものとする。

（４）【計算期間】

当ファンドの最初の計算期間は2009年12月31日に終了し、以降の計算期間は、毎年12月31日に終了する。

（５）【その他】

（ｉ）報告

各サブファンドのクラスの純資産価額は、事務管理会社によって毎週計算される。月末時点の純資産価額は代行協会員によってJSDAに報告され、受益権者に開示される。なお、販売会社は、法令に従って、取引残高報告書及び年次運用報告書を受益権者に交付する。当ファンドの監査済財務諸表は、米国において一般に公正妥当と認められた会計原則に従い、BDOケイマンリミテッドにより作成される。

（ii）強制買戻し

当ファンドは、当該サブファンドが下記について決定した場合又は下記のとおりとする理由が存すると判断した場合、10日を下回らない事前の書面による通知の上で、販売会社に対して、当ファンドが保有する当該サブファンドの受益証券のすべて又は一部を買い戻すよう請求する権利を留保する。

（ａ）信託証書に反して当該サブファンドの受益証券の一部を移転した又は移転を試みた場合

（ｂ）当該受益証券の所有により、当ファンド又はサブファンドが、米国若しくはその他該当する法域の有価証券若しくは商品に関する法又は当ファンド若しくはサブファンドに適用のある自主規制機関の規則に違反する場合、又はそれに基づきサブファンドの受益証券の登録が必要となり又は当ファンド、サブファンド、管理会社、販売会社、マスターファンド投資顧問会社若しくは受託会社がさらなる規制に服することとなる場合

（ｃ）受益証券の継続的な所有が、当ファンド、サブファンド、管理会社、販売会社、マスターファンド投資顧問会社若しくは受託会社の事業若しくは世評に悪影響を及ぼす等有害である場合、又は当ファンド、サブファンド若しくはその他の受益権者に過度のリスク若しくは不利な税効果若しくは会計上の効果をもたらす可能性のある場合

（ｄ）受益証券の取得に関する表明及び保証のいずれかが、行われた時点において事実に反する場合、又は重要な点において事実に反することとなった場合

（ｅ）受益証券の部分的な償還により、その発行済償還対象受益証券の属するサブファンドについて必要とされる最小投資単位に満たない純資産価額総額のみ保有することとなる場合

さらに、当ファンドは、サブファンドの資産の一部の投資を効果的に実行できないと判断した場合、当該サブファンドの受益証券の強制買戻しを請求する権利を有する。かかる状況の下で、サブファンドは、販売会社の名義で、適当と認められる方法により受益証券を償還する権利を有し、かかる権利は撤回されないものとする。

強制買戻しにおいて、買戻価格は、買戻し手数料を差し引いた、買戻日の営業終了時の当該サブファンドの受益証券１口当たりの純資産価額をいう。かかる買戻し手数料は、当ファンドの利益のために留保される。

強制買戻しが行われた場合、販売会社は、買戻価格を利息の支払いなく受領する権利を除き、買戻価格が計算される日の営業終了時間後に買い戻される受益証券に関する権利を有しない。

（iii）主要契約等の更改等に関する手続及び変更した場合の開示

①　受益証券販売・買戻契約

受益証券販売・買戻契約は、他方当事者に対し３ヶ月前に書面で通知することにより本契約を終了することができる。上記にかかわらず、管理会社又は販売会社は、受益証券販売・買戻契約に規定されるその他の状況においても終了することができる。

②　代行協会員契約

代行協会員契約は、他方当事者に対し３ヶ月前に書面で通知することにより本契約を終了することができる。上記にかかわらず、管理会社又は代行協会員は、代行協会員契約に規定されるその他の状況においても終了することができる。

代行協会員及び／又は販売会社は、管理会社と協議の上、新たなサブファンドの設立その他、当ファンドに影響を与える契約等のすべての重要な変更について、受益権者に対して適切に開示する。

（iv）ファンドの終了

（ａ）受託会社による終了

受託会社は、以下のいずれかの事由の場合に、当ファンド又はいずれかのサブファンドを終了させることができる。

（ｉ）当ファンドの運用を違法と定める法律が成立し、又は受託会社が当ファンドを継続させるのは実行不可能又は得策ではないと合理的に判断する場合。但し、管理会社及び販売会社は、受託会社から後任の受託会社を任命する事前の機会を与えられる。

（ii）信託証書の定めるところにより管理会社が解任され、かかる解任から30日以内に、後任の管理会社が任命されていない場合。

（iii）販売会社の破産その他信託証書に記載された事由に基づき、管理会社又は受託会社により販売会社が解任されてから30日以内に、後任の販売会社が任命されない場合。

（iv）受託会社が辞任することを選択したものの、受託会社が管理会社及び販売会社に対して辞任することを選択した旨を通知してから90日以内に、管理会社及び販売会社が後任の受託会社を任命していない場合。

（ｖ）販売会社が辞任することを選択したものの、販売会社が管理会社及び受託会社に対して辞任することを選択した旨を通知してから６ヶ月以内に、管理会社及び受託会社が後任の販売会社を任命していない場合。

（ｂ）管理会社による終了

管理会社は、受託会社及び販売会社に対して通知を行うことにより、その絶対的な裁量をもって当ファンド又はいずれかのサブファンドを終了させることができる。

（ｃ）共同での終了

受託会社は、販売会社及び管理会社から当ファンドを終了するよう共同で指図する書面を受領した場合、当ファンドを速やかに終了させる。

受託会社、管理会社又は販売会社のいずれかが信託証書の規定に基づき解任され、当該当事者の職務を遂行する後任の者が解任の効力発生日より30日以内に任命されない場合、信託証書の残りの当事者は合意により当ファンドを終了させることができる。

（ｄ）販売会社による終了

販売会社は、販売会社が辞任する旨を選択したにもかかわらず、管理会社及び受託会社に対しかかる選択について通知してから６ヶ月以内に、管理会社及び受託会社が後任販売会社を任命していない場合に、受託会社及び管理会社に対して通知を行うことにより、その絶対的かつ自由な裁量をもって当ファンドを終了させることができる。

（ｅ）終了の通知

信託証書の規定に基づき、受託会社、管理会社又は販売会社が、当ファンド又はサブファンドを終了させる場合、当該当事者は、終了する旨の通知をその他の当事者に対し交付し、かかる通知において当ファンドの終了の効力発生日を定めるものとする（当該日は、当該通知の送達後６ヶ月目以降の日とする。）。但し、信託証書の特定の規定に基づき終了した場合には、かかる終了は終了する旨の通知の交付後、実行可能となり次第効力が発生する。信託証書に従い、販売会社は、受益権者に通知を行い、また清算日の１ヶ月前までに日本の主要新聞紙一紙上にかかる清算に関する公告を掲載し、かかる公告に要する経費は受託会社が当ファンドの資産から支払う。

（ｆ）終了手続

当ファンドが終了した場合、受託会社は以下に従って手続を行うものとする。

（ｉ）管理会社は、当該時点において当ファンドを構成するすべての証券を換価するものとし、かかる換価は、受託会社及び管理会社が望ましいと判断する当ファンドの終了後の期間において、望ましいと判断する方法により遂行され、完了する。

（ii）換価が行われた場合、受託会社は、その手取金（下記（vi）項に服することを条件とする。）を、当ファンドのクラス間で、当該終了日の直前の評価日現在における各純資産価額の比例割合にて割り当てる。

（iii）受託会社は、販売会社に対して、上記（ii）項に従い得られた正味の手取金のうち（下記（iv）及び（ｖ）に従うことを条件として）分配の目的のために供される金額を適宜分配し、かかる分配は、販売会社が有するクラスの受益証券数との比例割合にて行われる。

（iv）分配に関する一切の支払いは、信託証書に従って行われる。

（ｖ）受託会社は、最終の分配の場合を除き、当該時点においてサブファンドを構成する金員のうち、受益証券１口につき１米ドルに相当する額に満たない金額については分配の義務を負わない。

（vi）受託会社は、サブファンドを構成する金員から、受託会社が当ファンド、又は当ファンドの終了に関して負担し、行い、開始し、認識したあらゆる経費、賦課金、費用、請求、要求、訴訟及び手続の全額に充当することを受託会社が決定する金額を留保する権利を有し、かつ留保した金員から、当該経費、賦課金、費用、請求、要求、訴訟及び手続についての補償及び免責を受ける。

（vii）関連する受益権者の同意を得ることを条件として、受託会社は、受益権者が受領すべき金額の全部又は一部を、現物で分配することができる。

（viii）受取請求のなされない手取金、その他本書の規定に基づき受託会社が保有する本書に記載する金員は、当該金員が支払可能となった日から12ヶ月の期間が満了した時点で、裁判所に供託することができる。この場合、受託会社は、供託に際して受託会社が負担した費用を、受取請求のなされない手取金から控除することができる。

販売会社は、上記（iii）項に従って支払われた手取金を、当ファンドの各クラスの受益権を保有する受益権者に対して分配する。かかる手取金は当該クラスについて販売会社が各受益権者に代わって保有している受益権の口数に応じて配分される。

4【受益者の権利等】

（1）【受益者の権利等】

当ファンドの発行済受益権数は、受益権者名簿に記載され、受益権者名簿は事務管理会社が管理するものとする。受益権者名簿には、受益権の保有者として販売会社が登録される。受益権者の要請に応じて、受益権者には受益証券の所有権を証明する書面が発行されることがあるが、受益証券証書は発行されない。

当ファンドの法的所有権及び当ファンドにより何らかの取引を行う権利は、受託会社又はその代理人に授与されており、受益権者はこの権利を有せず、ただ受益証券が付与する受益権のみを持つ。受益権者は当ファンドの財産、収入、権利又は持分を分割又は分配するよう要求するいかなる権利を持たない一方、受益権者が当ファンドの損失を分担若しくは負担するよう要求されること、又は受益証券の所有を理由として何らかの負担を課されることはない。受益証券は個人的財産であって、当ファンドを構成する信託証書に存する権利のみを与えるものとする。受益権者は、自身の受益証券を用いた自身の取引に由来するものを除き、個人として、当ファンド又は当ファンドの取引、債務若しくは事務に関連して、いかなる債務をも負うことはないものとする。

登録された受益権者は、本書の記載及び信託証書の規定するところに従い、書面による通知後、自らの受益証券を償還することができる。

登録された受益権者は、当ファンドの管理会社及び受託会社の事前の書面による承認なしに、自らの受益証券を譲渡してはならない。

（2）【為替管理上の取扱い】

ケイマン諸島には、日本その他の国における受益権者に係る受益証券に関する配当及び償還金の支払いについて外国為替管理規制はない。

（3）【本邦における代理人】

下記法律事務所は、以下の目的のために日本において当ファンドを代理する真正かつ合法的な代理人である。

（ⅰ）法律上及びJSDAの規則上の問題に関する、一切の書簡、請求、訴状その他訴訟関係書類の受領

（ⅱ）当ファンドの受益証券の日本における募集、販売及び買戻しに関係する取引に関する、一切の紛争、論争又は意見の差違に関連した裁判上及び裁判外の行為

財務省関東財務局長に対する受益証券の当初募集に関する届出及び継続開示に関する代理人は、下記のとおりとする。

東京都千代田区大手町一丁目１番１号　大手町パークビルディング
アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業
弁護士　　森　下　国　彦
電話番号　03（6775）1000

（4）【裁判管轄等】

当ファンドの受益証券の日本における募集、販売及び買戻しに関連する取引に関して、日本の投資家が提起する訴訟に限って、その裁判管轄権は下記の裁判所が有し、日本法が適用される。

東京都千代田区霞ヶ関一丁目１番４号
東京地方裁判所

第３【ファンドの経理状況】

１．スーパーファンド・ジャパン（以下「第３　ファンドの経理状況」において「当ファンド」という。）の2023年及び2022年12月31日に終了した期間の財務書類は、米国において一般に公正妥当と認められる会計原則に準拠して作成された財務書類を、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）第328条第５項但書の規定に従って日本文に翻訳して作成されたものである。

２．当ファンドの2023年及び2022年12月31日に終了した期間の財務書類の原文は、本国における独立監査人であり、外国監査法人等（公認会計士法（昭和23年法律第103号）第１条の３第７項に規定される外国監査法人等をいう。）であるBDOケイマンリミテッドから監査証明に相当すると認められる証明を受けており、当該監査証明に相当すると認められる証明に係る監査報告書に相当するものを添付のとおり受領している。

３．BDOケイマンリミテッドの監査報告書に相当するものは、専らファンドによる利用にのみ供される。また、同監査報告書に相当するものは、それぞれ2024年６月21日付及び2023年６月29日付で作成されており、BDOケイマンリミテッドは、同日以降、それぞれの日付を延長するようないかなる性質の手続も行っていない。

４．当ファンドの2023年及び2022年12月31日に終了した期間の原文の財務書類の一部は、米ドルで開示されている。翻訳された日本文の財務書類には主要な金額について円換算額が併記されている。この日本円による金額は、2024年５月31日の株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値（１米ドル＝156.74円）を用いて換算され、千円未満を四捨五入して表示されている。したがって、合計数値は関係数値の合計額と必ずしも一致しない。

１【財務諸表】

（１）【貸借対照表】

①2023年12月31日終了年度

スーパーファンド・ジャパン－サブファンド・グリーン

貸借対照表

2023年12月31日現在

（単位：日本円）

	注記	
資産		
ファンドへの投資（公正価値）		
（原価：2,535,960,721円）	2(b),3,11	2,041,021,119
投資先ファンドからの未収金		1,637,515
現金		51,944,995
外貨建て現金（原価：4,939,609円）		4,668,694
その他の資産		679,462
		2,099,951,785
負債		
前受申込金		3,800,000
投資先ファンドへの未払金		4,013,640
未払買戻金		45,013,731
未払金及び未払費用	5,8,10	5,256,090
		58,083,461
純資産		2,041,868,324

添付の注記は、これらの財務諸表の重要な一部である。

	米ドル	円
ゴールド円クラス受益証券１口当たり純資産：		
発行済 10,019,120口に基づく		
（2023年12月31日現在におけるゴールド円クラスの株式の価値合計：3,820.35オンス（金））	―	110.95
（2023年12月31日現在の金価格：290,970.38円）	0.000オンス（金）	
シルバー円クラス受益証券１口当たり純資産：		
発行済 1,645,162口に基づく		
（2023年12月31日現在におけるシルバー円クラスの株式の価値合計：37,738.99オンス（銀））		
（2023年12月31日現在の銀価格：3,356.18円）	―	76.99
	0.023オンス（銀）	
円・クラス受益証券１口当たり純資産：		
発行済 7,127,874口に基づく（単位：円）	―	49.55
ゴールド米ドル・クラス受益証券１口当たり純資産：		
発行済 612,637口に基づく		
（2023年12月31日現在におけるゴールド米ドル・クラスの株式の価値合計：236.23オンス（金））	0.80	125.39
（2023年12月31日現在の金価格：290,970.38円）	0.000オンス（金）	
シルバー米ドル・クラス受益証券１口当たり純資産：		
発行済 2,333,359口に基づく		
（2023年12月31日現在におけるシルバー米ドル・クラスの株式の価値合計：79,248.32オンス（銀））	0.81	126.96
2023年12月31日現在の銀価格：3,356.18円）	0.034オンス（銀）	
米ドル・クラス受益証券１口当たり純資産：		
発行済 1,521,168口に基づく（単位：米ドル）	0.55	86.21

添付の注記は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・ジャパン－サブファンド・グリーン
投資明細書

2023年12月31日現在
（単位：日本円）

銘柄（純資産における%）	償還条件	株式数	原価	公正価値
ファンドへの投資（公正価値）（99.93%）				
マネージドフューチャーズ				
スーパーファンド・グリーン・ゴールド SPC B：クラスBジャパン（円）及びクラスBジャパン（米ドル）（57.71%）	週次	980,420.27	1,386,332,027	1,179,140,941
スーパーファンド・グリーン SPC B：クラスBジャパン（円）、クラスBジャパン（米ドル）、クラスBジャパン（シルバー米ドル）及びクラスBジャパン（シルバー円）（42.18%）	週次	1,001,531.80	1,149,628,694	861,880,178
ファンドへの合計投資額（公正価値）（99.89%）		円	2,535,960,721	2,041,021,119

添付の注記は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・ジャパンーサブファンド・グリーン
損益計算書

2023年12月31日に終了した年度
（単位：日本円）

	注記	
費用		
事務管理報酬	10	1,095,619
専門家報酬		11,894,692
受託会社報酬	9	1,795,806
代行協会員報酬	8	2,222,887
管理報酬	5	2,222,841
その他の費用		6,976,209
		26,208,054
正味投資損失		(26,208,054)
投資及び外貨に係る正味実現損失及び未実現損失の変動		
投資及び外貨に係る正味実現損失		(58,109,311)
投資及び外貨に係る未実現損失の変動		(443,690,539)
		(501,799,850)
営業活動から生じた純資産の正味減少額		(528,007,904)

添付の注記は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・ジャパンーサブファンド・グリーン
純資産変動計算書

2023年12月31日に終了した年度
（単位：日本円）

営業活動	
正味投資損失	(26,208,054)
投資及び外貨に係る正味実現損失	(58,109,311)
投資及び外貨に係る未実現損失の変動	(443,690,539)
	(528,007,904)
資本取引	
ゴールド円クラス受益証券の発行	71,570,000
シルバー円クラス受益証券の発行	9,100,000
円クラス受益証券の発行	3,200,000
ゴールド米ドル・クラス受益証券の発行	487,669
ゴールド円クラス受益証券の買戻し	(41,351,993)
円クラス受益証券の買戻し	(99,273,047)
シルバー円クラス受益証券の買戻し	(1,809,069)
米ドル・クラス受益証券の買戻し	(17,128,835)
	(75,205,275)
当期純資産増減少額	(603,213,179)
期首純資産残高	2,645,081,503
期末純資産残高	2,041,868,324
期末純資産の内訳：	
ゴールド円クラス	1,111,607,719
ゴールド米ドル・クラス	68,735,052
円クラス	351,754,396
米ドル・クラス	117,140,943
シルバー円クラス	126,658,771
シルバー米ドル・クラス	265,971,443
	2,041,868,324

添付の注記は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・ジャパン－スーパーファンド・グリーンCジャパン
貸借対照表

2023年12月31日現在
（単位：日本円）

	注記	
資産		
マスターファンドへの投資		150,340,968
現金		10,662,534
		161,003,502
負債		
未払金及び未払費用	3,5,7	1,567,117
		1,567,117
純資産		159,436,385

	米ドル	円
円クラス受益証券１口当たり純資産：		
発行済 1,928,281口に基づく（単位：日本円）	－	40.98
米ドル・クラス受益証券１口当たり純資産：		
発行済 1,435,539口に基づく（単位：米ドル）	0.40	62.70

添付の注記並びにスーパーファンド・グリーンSPC及びスーパーファンド・グリーン・マスターの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・ジャパン－スーパーファンド・グリーンCジャパン
損益計算書

2023年12月31日に終了した年度
（単位：日本円）

	注記	
マスターファンドから配分された正味投資損失		
受取利子		4,512,702
費用		(9,301,237)
		(4,788,535)
サブファンドの費用		
事務管理報酬	10	1,095,619
受託会社報酬	9	1,617,332
代行協会員報酬	8	183,299
管理報酬	5	183,295
専門家報酬		2,534,941
その他費用		688,355
		6,302,841
正味投資損失		(11,091,376)
サブファンドの外貨に係る実現利益及び未実現利益の変動		
外貨に係る正味実現利益		285,603
		285,603
マスターファンドから配分された投資及び外貨に係る正味実現損失及び未実現利益の変動		
投資及び外貨に係る正味実現損失		(75,412,338)
投資及び外貨に係る未実現利益の変動		3,007,227
		(72,405,111)
営業活動から生じた純資産の正味減少額		(83,210,884)

添付の注記並びにスーパーファンド・グリーンSPC及びスーパーファンド・グリーン・マスターの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・ジャパン－スーパーファンド・グリーンCジャパン
純資産変動計算書

2023年12月31日に終了した年度
（単位：日本円）

営業活動	
正味投資損失	**(11,091,376)**
投資及び外貨に係る正味実現損失	**(75,126,735)**
投資及び外貨に係る未実現利益の変動	**3,007,227**
	(83,210,884)
資本取引	
円クラス受益証券の買戻し	**(5,809,549)**
	(5,809,549)
当期純資産減少額	**(89,020,433)**
期首純資産残高	**248,456,818**
期末純資産残高	**159,436,385**
期末純資産の内訳：	
円クラス	**79,021,516**
米ドル・クラス	**80,414,869**
	159,436,385

添付の注記並びにスーパーファンド・グリーンSPC及びスーパーファンド・グリーン・マスターの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・ジャパン－スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・レインボー・オールシーズンズ

貸借対照表

2023年12月31日現在
（単位：日本円）

	注記	
資産		
マスターファンドへの投資		327,267,003
マスターファンドからの未収金		9,654,000
現金		12,047,320
外貨建て現金（原価：36,790円）		40,676
その他資産		2
		349,009,001
負債		
未払買戻金		11,994,641
前受申込金		100,000
未払金及び未払費用	3,5,7	1,804,070
		13,898,711
純資産		335,110,290

ゴールド円クラス受益証券１口当たり純資産
発行済 3,658,634口に基づく
（単位：日本円） 74.37円

円クラス受益証券１口当たり純資産
発行済 1,838,327口に基づく
（単位：日本円） 34.27円

添付の注記並びにスーパーファンドSPCの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・ジャパン－スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・レインボー・オールシーズンズ

損益計算書

2023年12月31日に終了した年度
（単位：日本円）

	注記	
マスターファンドから配分された正味投資損失		
受取利息		963,475
費用		(7,842,845)
		(6,879,370)
サブファンドの費用		
受託会社報酬	9	1,805,333
販売報酬	7	2,219,539
専門家報酬		3,232,441
事務管理報酬	10	1,196,669
管理報酬	5	369,869
代行協会員報酬	8	369,923
その他の費用		1,287,487
		10,481,261
正味投資損失		(17,360,631)
サブファンドの外貨に係る実現損失及び未実現損失の変動		
外貨に係る正味実現損失		(579,862)
外貨に係る未実現損失の変動		(31,235)
		(611,097)
マスターファンドから配分された投資及び外貨に係る正味実現損失及び未実現利益の変動		
投資及び外貨に係る正味実現損失		(4,355,260)
投資及び外貨に係る未実現利益の変動		53,894,779
		49,539,519
営業活動から生じた純資産の正味増加額		31,567,791

添付の注記並びにスーパーファンドSPCの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・ジャパン－スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・レインボー・オールシーズンズ

純資産変動計算書

2023年12月31日に終了した年度
（単位：日本円）

営業活動	
正味投資損失	**(17,360,631)**
投資及び外貨に係る正味実現損失	**(4,935,122)**
投資及び外貨に係る未実現利益の変動	**53,863,544**
	31,567,791
資本取引	
ゴールド円クラス受益証券の発行	**1,200,000**
円クラス受益証券の発行	**1,200,000**
ゴールド円クラス受益証券の買戻し	**(13,480,004)**
円クラス受益証券の買戻し	**(87,469,493)**
	(98,549,497)
当期純資産減少額	**(66,981,706)**
期首純資産残高	**402,091,996**
期末純資産残高	**335,110,290**
期末純資産残高の内訳：	
ゴールド円クラス	**272,114,655**
円クラス	**62,995,635**
	335,110,290

添付の注記並びにスーパーファンドSPCの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・ジャパン

財務諸表注記

2023年12月31日現在

（単位：日本円及び米ドル）

１．設立及び主な活動

スーパーファンド・ジャパン（以下、「当信託」という。）は、UBSファンド・サービシズ（ケイマン）リミテッド（以下、「退任受託会社」という。）及びスーパーファンド・ジャパン・トレーディング（ケイマン）リミテッド（以下、「管理会社」という。）の間で締結された信託証書（以下、「信託証書」という。）に従ってケイマン諸島の法律に基づいて設立された。当信託は、信託証書に従ってケイマン諸島の信託法に基づいて2009年６月５日に組織され、2009年６月29日にケイマン諸島のミューチュアル・ファンド法セクション４（１）（ｂ）に基づいて登録された。退任・指名・変更証書に従い、2015年５月８日付でハーニーズ・フィデューシャリー（ケイマン）リミテッド（以下、「受託会社」という。）が当信託の受託会社に指名された。受託会社の当信託に関する主な営業拠点はケイマン諸島である。

当信託はオープン・エンド型のアンブレラ・ファンドであり、スーパーファンド・ジャパン　サブファンド・グリーン、スーパーファンド・グリーンＣジャパン及びスーパーファンド・ジャパン　サブファンド・レインボー・オールシーズンズ（以下、それぞれ「サブファンド」、及び総称して「サブファンズ」という。）が設定されている。各サブファンドは独立した資産及び負債のプールとして、他のサブファンドと分別して管理されている。

スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーンは、その資産のほぼすべてをケイマン諸島の適用免除会社であるスーパーファンド・グリーンSPC及びスーパーファンド・グリーン・ゴールドSPCの分別ポートフォリオＢに投資している。

スーパーファンド・グリーンＣジャパンは、「マスター・フィーダー」構造の一部であり、その資産のほぼすべてをケイマン諸島の適用免除会社であるスーパーファンド・グリーンSPC（以下、「グリーン・マスターファンド」という。）の分別ポートフォリオＣに投資している。グリーン・マスターファンド、すなわちスーパーファンド・グリーンSPCは、「マスター・フィーダー」構造の一部であり、その資産のほぼすべてをケイマン諸島の適用免除会社であるスーパーファンド・グリーン・マスター（以下、「グリーン・アンダーライング・マスターファンド」という。）に投資している。グリーン・アンダーライング・マスターファンドの目的は、株式及び証券市場の動きの影響を受けない投資形態として、平均以上の長期的なキャピタル・ゲインを達成するための投資を投資家に提供することである。グリーン・アンダーライング・マスターファンドは、投資機会及び取引戦略を利用する意向であるため、対象とする先物投資の特性に関する見解を事前に決めているわけではなく、どのような制約も受けることはない。

スーパーファンド・グリーン・ゴールドSPCは、「マスター・フィーダー」構造の一部であり、その資産のほぼすべてをケイマン諸島の適用免除会社であるスーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPC（以下、「グリーン・ゴールド・マスターファンド」という。）のスーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスター・分別ポートフォリオに投資している。グリーン・ゴールド・マスターファンドの目的は、テクニカル分析の利用を通じて長期のキャピタル・ゲインを達成することである。グリーン・ゴールド・マスターファンドは、金先物を含む様々な種類の先物契約にその資産を投資しており、金現物にも投資する場合がある。

2023年７月１日付で、スーパーファンド・システマティック・オールウェザーは、その名称をスーパーファンド・ジャパン・サブファンド・レインボー・オールシーズンズへ変更した。

スーパーファンド・ジャパン　サブファンド・レインボー・オールシーズンズは、「マスター・フィーダー」構造の一部であり、その資産のほぼすべてをケイマン諸島の適用免除会社であるスーパーファンド

SPC（以下、「レインボー・オールシーズンズ・マスターファンド」という。）の分別ポートフォリオであるレインボー・オールシーズンズ・ファンドに投資している。

レインボー・オールシーズンズ・マスターファンドの主な目的は、先物及び／又は先渡契約のレバレッジ取引を通じて資産増加を達成することである。レインボー・オールシーズンズ・ファンド分別ポートフォリオは主にロングオンリーのリスクパリティ戦略を採用し、この目的を追求する。この戦略は、スーパーファンドにより独自開発されたコンピューターによる完全自動化トレーディングシステムにより運用される。さらに他の戦略も限られた重みづけで合わせて使用される可能性がある。また、これらの戦略は、先物及び/又は先渡契約を空売りする可能性がある。

グリーン・マスターファンド及びレインボー・オールシーズンズ・マスターファンドを総称して「マスターファンド」という。グリーン・アンダーライング・マスターファンドは「アンダーライング・マスターファンド」という。

管理会社は、代行協会員契約に従って、スーパーファンド・ジャパン株式会社（以下、「販売会社」という。）を当信託の日本における代行協会員に選任している。代行協会員は１口当たり純資産価額を公表し、日本証券業協会（以下、「JSDA」という。）に財務諸表を提出する責任を有している。当信託の年次監査済財務諸表は、日本における開示義務の一環として有価証券報告書及び有価証券届出書に含まれており、関東財務局に提出されている。グリーン・マスターファンド、グリーン・アンダーライング・マスターファンド及びレインボー・オールシーズンズ・マスターファンドの財務諸表は本報告書に含まれており、当信託の財務諸表と共に読まれるべきである。

２．重要な会計方針

当財務諸表は、米国会計基準審議会（以下、「FASB」という。）の会計基準編纂書（以下、「ASC」という。）に詳述される米国で一般に公正妥当と認められる会計原則（以下、「GAAP」という。）に従って作成されている。当信託はGAAPにおける投資会社に該当するため、FASB ASC 946「金融サービス－投資会社」に規定される投資会社向けの会計・報告指針に従っている。

当信託が適用した重要な会計方針は以下のとおりである。

（ａ）見積りの使用

GAAPに準拠した財務諸表の作成にあたって、経営陣は、財務諸表日現在の資産及び負債の報告金額並びに偶発資産及び負債の開示、並びに当報告期間中の収益及び費用の報告額に影響を及ぼす見積り及び仮定を行うことが求められている。実際の結果は、それらの見積りとは異なる可能性がある。

（ｂ）ファンドへの投資（公正価値）

投資ファンドへの投資は、その純資産価額（以下、「NAV」という。）で表示されており、投資ファンドの経営陣により報告される。投資ファンドに適用される契約上の買戻し及び流動性に関する条件に基づいて、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーンが保有する投資ファンドにおける持分を売却する際には、当該投資ファンドのNAV報告額のうち該当する金額で、当該投資ファンドと共に取引が行われる。ASU－2015－07により、実務上の簡便法としてNAVを用いて投資対象の公正価値を測定し、これらのすべての投資対象を公正価値の階層に分類するための要件が撤廃された。実務上の簡便法としてNAVを用いて算出された2023年12月31日現在の資産額は、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーンが2,041,021,119円であった。

添付の損益計算書において、投資ファンドへの投資に係る正味実現利益及び未実現利益は、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーンに対して生じた利息、配当、費用、有価証券の取引に係る実現損益及び未実現損益、並びに投資ファンドからの報酬の持分相当額を含めて計上した。評価には不確実性を伴うため、NAVの見積もりは、既存の証券市場が存在した場合に使用されると考えられる価値、又は自己売買により得られる可能性のある価値と異なる場合があり、その差異が大きい可能性がある。

（ｃ）マスターファンドの分別ポートフォリオへの投資

マスターファンドの分別ポートフォリオへの投資は、取引日基準で会計処理されている。投資は当初は原価で測定され、当初認識後は公正価値で測定される。公正価値は、当信託に帰属する純資産（マスターファンドの事務管理会社により報告される。）に基づき決定される。投資に係る実現損益及び未実現損益は、損益計算書に計上される。マスターファンド及びアンダーライング・マスターファンドの投資に関する評価方針は、本報告書に含まれているマスターファンド及びアンダーライング・マスターファンドの財務諸表注記に記載されている。

（ｄ）投資収益及び費用

各サブファンドは、期首現在のマスターファンドの分別ポートフォリオの純資産価額に対する持分割合に基づき、マスターファンドの分別ポートフォリオの収益、費用並びに実現損益及び未実現損益の持分相当額を、週次で損益計算書に計上している。また、各サブファンドの収益及び費用についても発生主義で計上している。

（ｅ）１口当たり純資産価額

１口当たり純資産価額（以下、「１口当たりNAV」という。）は、日本円、米ドル及び金の単位オンスで表示されており、特定のクラスに帰属するサブファンドの純資産価額を、計算時における当該クラスの発行済み受益証券口数で除し、金の単位オンスで表示されている受益証券については、さらに評価日におけるロンドンの金１オンス当たりの午前決め値で除することで計算される。

（ｆ）受取利息及び支払利息

受取利息及び支払利息は発生主義で計上されている。

（ｇ）現金

現金は日本円建て及び外貨建ての要求払いの預金及び利付預金から構成されており、いずれも当初の満期が３ヶ月以内で流動性が高いとみなされている。

（ｈ）外貨

外貨建て又は外貨で会計処理される資産及び負債は、貸借対照表日現在で適用される為替レートで日本円に換算される。外貨建て取引は取引日の為替レートで日本円に換算される。換算によって生じる実現損益及び未実現損益は、損益計算書に含まれる。当信託は投資に係る為替レートの変動により生じる損益と保有有価証券の市場価格の変動により生じる損益を区別していない。このような変動は、投資及び外貨に係る正味実現損益及び未実現損益に含まれる。

（ｉ）法人税等

ケイマン諸島では、収益又は利益に対して課税されることはなく、当信託は、税制優遇措置法第６条に従って、2059年６月５日までの期間における将来の収益又は利益に関するすべての現地における税金を免除する旨の誓約をケイマン諸島の総督より受け取っている。よって、法人税等に関する引当金はこれらの財務諸表に含まれていない。

当信託は、税務調査が実施された場合に、テクニカル・メリットに基づいて容認される可能性が高い（50%超の確率）不特定のタックス・ポジションについてのみ税務便益を認識している。当信託は、すべての主要な税管轄区域におけるすべての税務調査対象年度について分析を行っている。税務調査対象年度とは、各管轄区域の出訴期限法で定義された税務当局による税務調査の対象となりうる年度である。

経営陣は、当信託のタックス・ポジションを分析した結果、未確定のタックス・ポジションに関して、税務費用に係る負債又は税務便益に係る資産を計上する必要はないと判断した。さらに経営陣は、今後12ヶ月の間に未認識の税務便益の合計額が著しく変化する合理的な可能性のあるタックス・ポジションも存在しないと考えている。

（ｊ）収益及び費用の配分

特定のサブファンドに関連付けることが可能な収益及び費用は、純資産価額の算定において、各サブファンドに配分又は費用計上されている。その他の収益及び費用は、サブファンド間で比例配分されるか、あるいは受託会社の判断により配分されている。

（ｋ）ファンドへの投資に関する未収金

未収金は、買戻通知で請求する金額が確定した時点で資産に計上される。一般的に、未払金は、その請求の性質に応じて、対象投資ファンドが当該通知を受領した時点又は会計年度の最終日の時点で発生する場合がある。

（ｌ）マスターファンドからの未収金

マスターファンドからの未収金は、マスターファンドからの未払買戻金である。

（m）前受申込金

前受申込金は申込みの通知を受理し、申込金額を受領した時点で計上されている。

（n）公正価値による投資の評価　－　定義及び階層

USGAAPは公正価値の階層を規定しており、公正価値を測定する際に用いられる評価手法への入力データの優先順位を、以下に説明される３つのレベルに分類している。

レベル１：　活発な市場における同一資産又は負債について経営陣が入手可能な未調整の相場価格に基づく評価。レベル１の有価証券に対しては、評価調整及び大量保有による割引価値の利用は適用されない。評価は活発な市場において容易にかつ定期的に入手可能な相場価格に基づいているため、当該レベルに分類される有価証券の評価については重要な判断は必要とされない。

レベル２：　活発でない市場における相場価格、あるいは重要なデータがすべて直接又は間接的に観察可能な価格に基づく評価。

レベル３：　公正価値測定の全体に対して重要であるが観察不能なデータに基づく評価。

マスターファンド及びアンダーライング・マスターファンドが保有する投資の公正価値の階層については、本報告書に含まれているそれぞれの財務諸表の注記に開示されている。

（o）最近の会計基準

公開企業に対し、ASU2022-03は、2023年12月15日以降に開始する会計年度およびその会計年度内の中間期間から適用される。その他の企業に対しては、ASU2022-03は、2024年12月15日以降に開始する会計年度およびその会計年度内の中間期間から適用される。この会計基準は、まだ発行されていない、又は発行可能な状態になっていない中間財務諸表と年次財務諸表のどちらに対しても早期適用することが認められている。ASC946の投資会社に該当する企業は、適用日以降に実行又は変更される契約上の売却制限を付された持分証券への投資にASU2022-03を適用しなければならない。ASIJ2022-03の適用日前に締結された契約上売却制限の対象となる持分証券を保有する投資会社は、契約上の制限の終了又は変更まで、ASIJ2022-03の適用前に適用されていた会計方針で持分証券の会計処理を継続する必要がある（つまり、投資会社が公正価値の測定に売却制限の影響を組み込んでいた場合、その会計方針を継続することになる）。

経営陣は、本基準の適用がサブファンドの経営成績、キャッシュ・フロー、財政状態に重要な影響を与えるとは考えていない。

３．金融商品

市場リスク、信用リスク及び流動性リスク

スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン

通常の事業の過程において、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーンは、市場リスク、信用リスク及び流動性リスクを招く可能性のある様々な金融商品を売買しており、そのリスクの金額は、財務諸表からは明白ではない。

市場リスクとは、金利、為替レート又は株式及びコモディティ価格の変動が、投資対象ファンド、結果的にスーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーンが保有しているポジションに影響を及ぼすリスクである。スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーンは、これらのファンドが保有している投資対象を通じて、市場価格で評価されている金融商品に関して市場リスクにさらされている。

信用リスクとは、契約相手が債務不履行に陥るリスクである。信用リスクは、通常、取引所外で金融商品の取引を行う場合に高くなる。これは、取引所外で取引される金融商品の契約相手は、取引所清算機関の履行保証を受けていないためである。

流動性リスクとは、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーンが目的を達成するために行う資金調達において困難が生じるリスクである。流動性リスクは、公正価値に近い金額で投資対象を速やかに売却できなかったことにより生じる場合がある。管理会社は、ファンドへの投資に際して、その株式又は受益証券を合理的な期間内に買い戻すための機会を提供するファンドを選んで投資することを目指すものの、買戻しが請求された際に、常に、その請求どおりに買戻し処理を行うのに十分なほど当該投資ファンドの投資対象が流動的であるとの保証はない。流動性が不足すると、受益証券の流動性及び投資価値に影響を及ぼす場合がある。

スーパーファンド・グリーンCジャパン及びスーパーファンド・ジャパン　サブファンド・レインボー・オールシーズンズ

スーパーファンド・グリーンCジャパン及びスーパーファンド・ジャパン　サブファンド・レインボー・オールシーズンズのマスターファンドへの投資は、これらを通じて間接的に、マスターファンドの投資対象である金融商品及び市場に関連する多様なリスクにさらされている。

スーパーファンド・グリーンCジャパン及びスーパーファンド・ジャパン　サブファンド・レインボー・オールシーズンズがさらされている金融リスクの種類は、市場リスク、信用リスク及び流動性リスクである。スーパーファンド・グリーンCジャパン及びスーパーファンド・ジャパン　サブファンド・レインボー・オールシーズンズがさらされている金融リスクに関しては、マスターファンドの財務諸表を参照のこと。

マスターファンドが保有する投資に関する詳細（投資を公正価値で測定する際に用いられる市場価格の観察可能性のレベルに関する内訳を含む。）については、本報告書に含まれているマスターファンドの財務諸表の注記２に開示されている。

４．受益証券保有者資本

	口数
スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン	
ゴールド円クラス：	
期首残高	9,753,479
期中の発行	613,918
期中の買戻し	(348,277)
	10,019,120

	口数
スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン	
シルバー円クラス：	
期首残高	**1,559,439**
期中の発行	**108,839**
期中の買戻し	**(23,116)**
	1,645,162
スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン	
円クラス：	
期首残高	**9,009,299**
期中の発行	**57,229**
期中の買戻し	**(1,967,707)**
	7,098,821
ゴールド米ドル・クラス：	
期首残高	**608,437**
期中の発行	**4,200**
	612,637
スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン	
シルバー米ドル・クラス：	
期首残高	**2,333,353**
期中の発行	**6**
	2,333,359
スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン	
米ドル・クラス：	
期首残高	**1,725,473**
期中の発行	**8**
期中の買戻し	**(204,313)**
	1,521,168
スーパーファンド・グリーンCジャパン	
円クラス：	
期首残高	**2,064,114**
期中の買戻し	**(135,833)**
	1,928,281

	口数
スーパーファンド・グリーンCジャパン	
米ドル・クラス：	
期首残高	**1,435,539**
	1,435,539
スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・レインボー・オールシーズンズ	
ゴールド円クラス：	
期首残高	**3,827,813**
期中の発行	**17,235**
期中の買戻し	**(186,414)**
	3,658,634
スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・レインボー・オールシーズンズ	
円クラス：	
期首残高	**4,258,577**
期中の発行	**35,297**
期中の買戻し	**(2,455,547)**
	1,838,327

各サブファンドには、最低申込単位が設定されている。スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン及びスーパーファンド・ジャパン　サブファンド・レインボー・オールシーズンズは、5,000口以上で100口ごとに申込みが可能で、スーパーファンド・グリーンCジャパンは、100,000口以上で100口ごとに申込みが可能である。販売会社は、管理会社と協議のうえ、特定の申込みについてはこれらの条件の全体又は一部を免除することができる。

信託証書に記載されている場合を除き、すべての受益証券は平等であり、ほぼ同等の権利及び条件を有している。

受益証券の申込みには申込手数料が適用される。特定の投資家の申込みに適用される申込手数料は、当該投資家による各シリーズの申込総額（以下、「購入金額」という。）に基づき決定される。各申込みに適用される申込手数料は、購入金額に5.50%（税抜きでは５%）を上限とする料率を乗じた金額である。

受益証券保有者は、通常、当信託の販売会社に書面による事前の通知を提示することにより、毎月最終日付ですべて又は一部の受益証券の買戻しを要求することができる。当該買戻しは、該当月の最終日に決定される受益証券１口当たり純資産価額で行われる。

当初申込みから12ヶ月以内に買戻請求が行われるか、あるいは当信託による強制的な買戻しが行われる場合、管理会社の単独の裁量により、当信託から受益証券保有者に対して、買戻価格の２%の買戻手数料が請求される可能性がある。当該買戻手数料の請求は当信託の利益のために行われる。

管理会社の単独の裁量により認められる場合を除き、受益証券保有者は、いかなる状況においても、買戻後の保有残高が各シリーズにおける最低当初投資額を下回るような一部買戻しを請求することはできない。

５．管理報酬

当信託の投資活動は、共通支配下に置かれている関連当事者である管理会社により管理されている。投資顧問契約に基づいて、管理会社は、各サブファンドの純資産価額の0.1%（年率）相当の月次管理報酬を後払いで受領している。

2023年12月31日現在の未払金及び未払費用に含まれている未払管理報酬は、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーンが38,443円、スーパーファンド・グリーンＣジャパンが13,471円、スーパーファンド・ジャパン　サブファンド・レインボー・オールシーズンズが28,439円である。

６．成功報酬

各サブファンドのレベルで支払われる成功報酬はない。マスターファンドが支払う成功報酬については、本報告書に添付されているマスターファンドの財務諸表注記に開示されている。

７．販売会社報酬

関連会社であるスーパーファンド・ジャパン株式会社（「販売会社」）はスーパーファンド・ジャパン　サブファンド・レインボー・オールシーズンズの販売会社として、スーパーファンド・ジャパン　サブファンド・レインボー・オールシーズンズ純資産価額の0.6%（年率）相当の報酬を毎月受領する権利を有している。

2023年12月31日現在、未払金及び未払費用に含まれている未払販売会社報酬は、スーパーファンド・ジャパン　サブファンド・レインボー・オールシーズンズの199,107円であり、そのほかのサブファンドについては未払販売会社報酬はない。その他のサブファンドにつきマスターファンドが支払う販売会社報酬については、本報告書に添付されているマスターファンドの財務諸表注記に開示されている。

８．代行協会員報酬

代行協会員は、各サブファンドの純資産価額の0.1%（年率）相当の報酬を受領する権利を有している。

2023年12月31日現在、未払金及び未払費用に含まれている未払代行協会員報酬は、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーンが173,337円、スーパーファンド・グリーンＣジャパンが13,472円、スーパーファンド・ジャパン　サブファンド・レインボー・オールシーズンズが28,444円である。

９．受託会社報酬

2015年５月８日付で、ハーニーズ・フィデューシャリー（ケイマン）リミテッド（以下、「受託会社」という。）が、当信託の受託会社となった。

信託証書に規定されたとおり、当信託は、各サブファンドにつき年間8,500米ドルの報酬を受託会社に支払うことに合意している。

2023年12月31日に終了した年度において、サブファンドであるスーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン、スーパーファンド・グリーンＣジャパン及びスーパーファンド・ジャパン　サブファンド・レインボー・オールシーズンズに対する未払受託会社報酬はない。

10．事務管理報酬

NAVファンド・アドミニストレーション・グループが、当信託の事務管理会社に任命されている（以下、「当事務管理会社」という。）。事務管理契約に基づいて、当信託はNAVファンド・アドミニストレーション・グループに対し、毎月最終評価日において計算された報酬を後払いで支払っており、その金額はスーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン、スーパーファンド・グリーンＣジャパン及びスーパーファンド・ジャパン　サブファンド・レインボー・オールシーズンズそれぞれにつき年間6,900米ドルである。

2023年12月31日現在の未払金及び未払費用に含まれている未払事務管理報酬は、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーンが275,035円、スーパーファンド・グリーンＣジャパンが275,035円、スーパーファンド・ジャパン　サブファンド・レインボー・オールシーズンズが275,035円である。

11．関連当事者間取引

管理会社及び販売会社は、共通支配下に置かれている関連当事者である。管理会社及び販売会社に支払われる報酬は、独立第三者間条件に基づく交渉により設定されたものではない。

当信託は、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーンを通じて、スーパーファンドの投資会社グループの一部である対象ファンドへの投資を実行した。管理会社の取締役であるテニソン・ブリッグス（Tennyson Briggs）及びヨセフ・ホルツァー（Josef Holzer）が、対象ファンドの取締役も務めている。2023年12月31日現在、この対象ファンドが保有するスーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーンの純資産の公正価値は、純資産において99.89%を占める2,041,021,119円である。期中において、その他のスーパーファンドの関連投資会社の売却と外貨建て取引に係る実現損失は、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーンが58,109,311円であった。

12. 公正価値

2023年12月31日現在、経営陣は、各クラスの金融商品の公正価値を見積るために以下の手法及び仮定を使用した。現金、外貨建て現金、ファンドへの投資に関する未収金、マスターファンドからの未収金、その他の資産、未払買戻金、前受申込金並びに未払金及び未払費用を含む当信託の特定の金融商品に関しては、これらの金融商品が直ちに期日を迎える又は短期的な性質のものであるため、帳簿価額は公正価値に近似している。

公正価値の見積りは、市況及び金融商品に関する情報に基づいて、特定の時点に行われる。これらの見積りは本来主観的なものであり、不確定要因及び重要な判断を伴うため、正確に行えるものではない。仮定の変更により、見積りに重要な影響を及ぼす可能性がある。マスターファンド及びアンダーライング・マスターファンドが保有する投資の公正価値測定の分類に関する情報については、マスターファンド及びアンダーライング・マスターファンドの財務諸表を参照のこと。

次へ

スーパーファンド・ジャパン
財務諸表注記（続き）
2023年12月31日現在（単位：日本円及び米ドル）

13. 財務ハイライト

スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン	**ゴールド円クラス**	**円クラス**	**シルバー円クラス**
１株当たりの業績（期中発行済み受益証券１口に関して）（1）	（円）	（円）	（円）
期首受益証券１口当たりの純資産価額	130.32	69.48	99.55
投資活動による収入			
正味投資損失	(4.38)	(2.17)	(3.31)
投資及び外貨に係る正味実現及び未実現損失の変動	(14.99)	(17.76)	(19.25)
投資活動による損失合計	(19.37)	(19.93)	(22.56)
期末受益証券１口当たり純資産価額	110.95	49.55	76.99
総利回り（2）	(14.86)%	(28.68)%	(22.66)%
補足情報：			
平均純資産比率			
営業費用及びその他費用	1.09 %	1.22 %	1.26 %
正味投資損失	(3.82)%	(3.96)%	(4.03)%

（1）期中平均発行済み口数に基づく。
（2）各投資家の利回りは、受益証券の申込み及び買戻しの時期により変動する可能性がある。

スーパーファンド・ジャパン
財務諸表注記（続き）
2023年12月31日現在（単位：日本円及び米ドル）

13. 財務ハイライト（続き）

スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン（続き）	**ゴールド米ドルクラス**	**米ドルクラス**	**シルバー米ドルクラス**
１株当たりの業績（期中発行済み受益証券に関して）（1）	（米ドル）	（米ドル）	（米ドル）
期首受益証券１口当たり純資産価額	1.01	0.75	1.12
投資活動による収入			
正味投資損失	(0.02)	(0.02)	(0.03)
投資及び外貨に係る正味実現及び未実現損失の変動	(0.19)	(0.18)	(0.28)
投資活動による（損失）／利益 合計	(0.21)	(0.20)	(0.31)
期末受益証券１口当たり純資産価額	0.80	0.55	0.81
総利回り（2）	(20.86)%	(27.84)%	(28.11)%
補足情報：			
平均純資産比率			
営業費用及びその他費用	2.79 %	3.05 %	3.04 %
正味投資損失	(2.78)%	(3.04)%	(3.03)%

（1）期中平均発行済み口数に基づく。
（2）各投資家の利回りは、受益証券の申込み及び買戻しの時期により変動する可能性がある。

スーパーファンド・ジャパン
財務諸表注記（続き）
2023年12月31日現在（単位：日本円及び米ドル）

13. 財務ハイライト（続き）

スーパーファンド・グリーンCジャパン	**円クラス**	**米ドルクラス**
１株当たりの業績（期中発行済み受益証券１口に関して）（1）	（円）	（米ドル）
期首受益証券１口当たり純資産価額	65.30	0.60
投資活動による収入		
正味投資損失	(2.83)	(0.03)
投資及び外貨に係る正味実現及び未実現損失の変動	(21.49)	(0.17)
投資活動による損失合計	(24.32)	(0.20)
期末受益証券１口当たり純資産価額	40.98	0.40
総利回り（2）	(37.25)%	(34.23)%
補足情報：		
平均純資産比率		
営業費用及びその他費用	8.44 %	8.48 %
正味投資損失	(6.00)%	(6.03)%

（1）期中平均発行済み口数に基づく。
（2）各投資家の利回りは、受益証券の申込み及び買戻しの時期により変動する可能性がある。

スーパーファンド・ジャパン
財務諸表注記（続き）
2023年12月31日現在（単位：日本円及び米ドル）

13. 財務ハイライト（続き）

スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・レインボー・オールシーズンズ	**ゴールド円クラス**	**円クラス**
１株当たりの業績（期中発行済み受益証券１口に関して）（1）	（円）	（円）
期首受益証券１口当たり純資産価額	64.79	36.18
投資活動による収入		
正味投資損失	(3.37)	(1.52)
投資及び外貨に係る正味実現及び未実現利益／（損失）の変動	12.95	(0.39)
投資活動による利益／（損失）合計	9.58	(1.91)
期末受益証券１口当たり純資産価額	74.37	34.27
総利回り（2）	14.79 %	(5.28)%
補足情報：		
平均純資産比率		
営業費用及びその他費用	(5.05)%	(4.67)%
正味投資損失	(4.79)%	(4.40)%

（１）期中平均発行済み口数に基づく。
（２）各投資家の利回りは、受益証券の申込み及び買戻しの時期により変動する可能性がある。

次へ

スーパーファンド・ジャパン
財務諸表注記（続き）
2023年12月31日現在
（単位：日本円及び米ドル）

14. 後発事象

これらの財務諸表を作成するにあたり、経営陣は、当該財務諸表の公表が可能となった2024年６月21日までのすべての重要な後発事象を評価し開示した。

2023年12月31日より後に、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン・ゴールド円クラスに対し16,600,000円、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン円クラスに対し1,200,000円、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン・シルバー円クラスに対し4,600,000円、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・システマティック・オールウェザー・ゴールド円クラスに対し400,000円の申込みが処理された。

スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン・ゴールド円クラスに対し約30,525,525円、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン円クラスに対し約17,227,865円、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン・シルバー円クラスに対し約5,210,182円、スーパーファンド・グリーン　米ドル・クラスに対し約5,404米ドル、スーパーファンド・グリーンＣ円クラスに対し約3,133,033円、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・システマティック・オールウェザー・ゴールド円クラスに対し約4,346,697円、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・システマティック・オールウェザー円クラスに対し約3,130,221円の買戻しが処理された。

次へ

スーパーファンド・グリーン・ゴールドSPC － スーパーファンド・グリーン・ゴールド
分別ポートフォリオ A
貸借対照表

2023年12月31日現在
（単位：米ドル）

	注記	米ドル	千円
資産			
MMFへの投資（原価：2,155,080米ドル）	2(b)	2,155,080	337,787
マスターファンドへの投資	2(c),4	3,032,618	475,333
現金		135,295	21,206
ブローカーに対する債権	3	545,305	85,471
未決済先物契約に係る未実現利益	2(g),4,5	40,686	6,377
その他の資産		1,850	290
		5,910,834	926,464
負債			
未払買戻金	2(l)	27,018	4,235
未払金及び未払費用	7,9,10	34,676	5,435
		61,694	9,670
純資産		5,849,140	916,794

	米ドル	円
クラスA参加型株式１株当たり純資産：		
発行済 5,784.66 株に基づく		
（単位：米ドル）	800.61	125,487.61
（単位：オンス（金））	0.39オンス	
クラスA２参加型株式１株当たり純資産：		
発行済 1,548.89 株に基づく		
（単位：米ドル）	786.28	123,241.53
（単位：オンス（金））	0.38オンス	

添付の注記及びスーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPCの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・グリーン・ゴールドSPC － スーパーファンド・グリーン・ゴールド

分別ポートフォリオ A

要約投資明細書

2023年12月31日現在

（単位：米ドル）

銘柄（純資産における%）	数量	原価	公正価値
MMFへの投資（36.84%）			
ブラックロック・インスト・米ドル・リクイディティ・コア（9.21%）	538,769.72	538,770	538,770
ゴールドマンサックス・米ドル・リキッド・リザーブズ・インスト（9.21%）	538,769.72	538,770	538,770
インベスコ・グローバル・米ドル・コーポ1937（9.21%）	538,769.72	538,770	538,770
JPモルガン・米ドル・リクイディティ・インストU39（9.21%）	538,770.56	538,770	538,770
MMFへの投資合計		米ドル	2,155,080

銘柄（純資産における%）	満期	想定元本	公正価値
先物契約（0.70%）			
金（0.70%）	2024年２月	2,900,520	40,686
先物契約に係る未実現利益		米ドル	40,686

添付の注記及びスーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPCの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・グリーン・ゴールドSPC － スーパーファンド・グリーン・ゴールド
分別ポートフォリオ A
損益計算書

2023年12月31日に終了した年度
（単位：米ドル）

	注記	米ドル	千円
マスターファンドから配分された正味投資損失			
収益		65,755	10,306
費用		(12,266)	(1,923)
		53,489	8,384
ファンド収益			
受取利息		142,857	22,391
		142,857	22,391
ファンド費用			
管理報酬	7	183,177	28,711
販売会社報酬	9	109,948	17,233
専門家報酬		9,820	1,539
事務管理報酬	10	7,200	1,129
一般管理費		4,054	635
		314,199	49,248
正味投資損失		(117,853)	(18,472)
ファンドの投資及び外貨に係る実現利益及び未実現損失の変動			
投資及び外貨に係る正味実現利益		295,422	46,304
投資及び外貨に係る未実現損失の変動		(73,673)	(11,548)
		221,749	34,757

添付の注記及びスーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPCの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・グリーン・ゴールドSPC － スーパーファンド・グリーン・ゴールド
分別ポートフォリオ A
損益計算書（続き）

2023年12月31日に終了した年度
（単位：米ドル）

	注記	米ドル	千円
マスターファンドから配分された投資及び外貨に係る正味実現損失及び未実現損失の変動			
投資及び外貨に係る正味実現損失		(834,653)	(130,824)
投資及び外貨に係る未実現損失の変動		(112,080)	(17,567)
		(946,733)	(148,391)
営業活動から生じた純資産の正味減少額		(842,837)	(132,106)

添付の注記及びスーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPCの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・グリーン・ゴールドSPC－スーパーファンド・グリーン・ゴールド
分別ポートフォリオA
純資産変動計算書

2023年12月31日に終了した年度
（単位：米ドル）

	注記	米ドル	千円
営業活動			
正味投資損失		(117,853)	(18,472)
投資及び外貨に係る正味実現損失		(539,231)	(84,519)
投資及び外貨に係る未実現損失の変動		(185,753)	(29,115)
		(842,837)	(132,106)
資本取引			
参加型株式の買戻しに係る支払い：			
クラスＡ２（米ドル）		(291,225)	(45,647)
		(291,225)	(45,647)
当期純資産減少額		(1,134,062)	(177,753)
期首純資産残高		6,983,202	1,094,547
期末純資産残高		5,849,140	916,794

期末純資産の内訳：	米ドル	千円
クラスA（米ドル）株式	4,631,275	725,906
クラスＡ２（米ドル）株式	1,217,865	190,888
	5,849,140	916,794

添付の注記及びスーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPCの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・グリーン・ゴールドSPC－スーパーファンド・グリーン・ゴールド

分別ポートフォリオＢ

貸借対照表

2023年12月31日現在

（単位：米ドル）

	注記	米ドル	千円
資産			
MMFへの投資（原価：1,492,314米ドル）	2(b)	1,492,314	233,905
マスターファンドへの投資	2(c),4	6,643,242	1,041,262
現金		101,033	15,836
ブローカーに対する債権	3	439,966	68,960
未決済先物契約に係る未実現利益	2(g),4,5	30,373	4,761
クラスＢジャパン（円）からの未収金		31,865	4,995
その他資産		1,850	290
資産合計		8,740,643	1,370,008
負債			
マスターファンドへの未払金		44	7
未決済先物契約に係る未実現損失	2(g),4,5	505	79
未払買戻金	2(l)	17,134	2,686
未払金及び未払費用	7,9,10	41,461	6,499
		59,144	9,270
純資産		8,681,499	1,360,738

	米ドル	円
クラスＢ参加型株式１株当たり純資産：		
発行済 467.1 株に基づく		
（単位：米ドル）	724.73	113,594.18
（単位：オンス（金））	0.35オンス	

	米ドル	円
クラスＢジャパン（米ドル）参加型株式１株当たり純資産：		
発行済 538.01 株に基づく		
（単位：円）	903.03	141,540.92
（単位：オンス（金））	0.44オンス	

	米ドル	円
クラスＢジャパン（円）参加型株式１株当たり純資産：		
発行済 977,872.11 株に基づく		
（単位：円）	－	1,133.28
（単位：オンス（金））	－	

添付の注記及びスーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPCの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・グリーン・ゴールドSPC－スーパーファンド・グリーン・ゴールド
分別ポートフォリオＢ
要約投資明細書

2023年12月31日現在
（単位：米ドル）

銘柄（純資産における％）	数量	原価	公正価値
ＭＭＦへの投資（17.16%）			
ブラックロック・インスト・米ドル・リクイディティ・コア（4.29%）	373,078.29	373,078	373,078
ゴールドマンサックス・米ドル・リキッド・リザーブズ・インスト 499（4.29%）	373,078.29	373,078	373,078
インベスコ・グローバル・米ドル・コーポ1937（4.29%）	373,078.29	373,078	373,078
JPモルガン・米ドル・リクイディティ・インストU39（4.29%）	373,078.97	373,079	373,079
ＭＭＦへの投資合計		米ドル	1,492,314

銘柄（純資産における％）	満期	想定元本	公正価値
先物契約（0.35%）			
金（0.35%）	2024年２月	2,071,800	30,373
先物契約に係る未実現利益		米ドル	30,373

銘柄（純資産における％）	満期	想定元本	公正価値
先物契約（－0.01%）			
金（－0.01%）	2024年２月	207,180	(505)
先物契約に係る未実現利益		米ドル	(505)

添付の注記及びスーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPCの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・グリーン・ゴールドSPC－スーパーファンド・グリーン・ゴールド
分別ポートフォリオＢ
損益計算書

2023年12月31日に終了した年度
（単位：米ドル）

	注記	米ドル	千円
マスターファンドから配分された正味投資利益			
収益		146,747	23,001
費用		(27,252)	(4,271)
		119,495	18,730
ファンド収益			
受取利息		104,072	16,312
		104,072	16,312
ファンド費用			
管理報酬	7	183,190	28,713
販売会社報酬	9	161,460	25,307
専門家報酬		12,454	1,952
事務管理報酬	10	7,200	1,129
一般管理費		8,323	1,305
		372,627	58,406
正味投資損失		(149,060)	(23,364)
ファンドの投資及び外貨に係る実現利益及び未実現損失の変動			
投資及び外貨に係る正味実現利益		223,014	34,955
投資及び外貨に係る未実現損失の変動		(54,444)	(8,534)
		168,570	26,422

添付の注記及びスーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPCの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・グリーン・ゴールドSPC－スーパーファンド・グリーン・ゴールド

分別ポートフォリオＢ

損益計算書（続き）

2023年12月31日に終了した年度

（単位：米ドル）

	注記	米ドル	千円
マスターファンドから配分された投資及び外貨に係る実現損失及び未実現損失の変動			
投資及び外貨に係る正味実現損失		(1,877,367)	(294,259)
投資及び外貨に係る未実現損失の変動		(308,835)	(48,407)
		(2,186,202)	(342,665)
営業活動から生じた純資産の正味減少額		(2,166,692)	(339,607)

添付の注記及びスーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPCの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・グリーン・ゴールドSPC－スーパーファンド・グリーン・ゴールド
分別ポートフォリオB
純資産変動計算書

2023年12月31日に終了した年度
（単位：米ドル）

	米ドル	千円
営業活動		
正味投資損失	(149,060)	(23,364)
投資及び外貨に係る正味実現損失	(1,654,353)	(259,303)
投資及び外貨に係る未実現損失の変動	(363,279)	(56,940)
	(2,166,692)	(339,607)
資本取引		
参加型株式の発行に係る収入：		
クラスBジャパン（円）	512,931	80,397
クラスBジャパン（米ドル）	3,221	505
参加型株式の買戻しに係る支払い：		
クラスB（米ドル）	(127,443)	(19,975)
クラスBジャパン（円）	(384,534)	(60,272)
クラスBジャパン（米ドル）	(5,575)	(874)
	(1,400)	(219)
当期純資産減少額	(2,168,092)	(339,827)
期首純資産残高	10,849,591	1,700,565
期末純資産残高	8,681,499	1,360,738

期末純資産の内訳：	米ドル	千円
クラスB（米ドル）株式	338,523	53,060
クラスBジャパン（米ドル）株式	485,838	76,150
クラスBジャパン（円）株式	7,857,138	1,231,528
	8,681,499	1,360,738

添付の注記及びスーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPCの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

財務諸表注記

2023年12月31日（単位：米ドル）

１．設立及び主な活動

スーパーファンド・グリーン・ゴールドSPC（以下、「当社」という。）は、2004年10月８日にケイマン諸島の会社法に基づいて適用免除会社として設立され、2005年９月28日にケイマン諸島のミューチュアル・ファンド法に基づいて登録された。

当社の目的は、テクニカル分析の利用を通じて長期のキャピタル・ゲインを達成することである。当社の資産は一般的な会社資産と分別ポートフォリオ資産に分けることができる。分別ポートフォリオに帰属する資産の内訳は、分別ポートフォリオに帰属する株式資本及び剰余金と分別ポートフォリオに帰属する又は保有されるその他の資産である。一般資産は、分別ポートフォリオ資産ではない当社の資産である。特定の分別ポートフォリオに関する取引において負債が生じ、当該分別ポートフォリオに十分な資産がない場合、一般資産は遡求の対象となるが、その他の分別ポートフォリオの資産が遡求対象となることはない。

当社は複数クラス型ファンドであり、以下の株式の販売を通じて投資家に独立型投資ポートフォリオを提供している。クラスＡ参加型株式（スーパーファンド・グリーン・ゴールド分別ポートフォリオＡの持分）及びクラスＢ参加型株式（スーパーファンド・グリーン・ゴールド分別ポートフォリオＢの持分）、（以下、総称して「当ファンド」という。）。

分別ポートフォリオは「マスター・フィーダー」ファンド構造の一部であり、その資産のほぼすべてをケイマン諸島の適用免除有限会社であるスーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターファンドSPC（以下、「マスターファンド」という。）のスーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスター分別ポートフォリオに投資している。マスターファンドの財務諸表（要約投資明細表を含む。）は、本報告書に含まれており、当社の財務諸表と共に読まれるべきである。

2023年12月31日現在、スーパーファンド・グリーン・ゴールド分別ポートフォリオＡ（以下、「分別ポートフォリオＡ」という。）、スーパーファンド・グリーン・ゴールド分別ポートフォリオＢ（以下、「分別ポートフォリオＢ」という。）は、マスターファンドのそれぞれ20%、43.81%を保有している。

２．重要な会計方針

当財務諸表は、米国会計基準審議会（以下、「FASB」という。）の会計基準編纂書（以下、「ASC」という。）に詳述される米国で一般に公正妥当と認められる会計原則（以下、「USGAAP」という。）に従って作成されている。当社はUSGAAPにおける投資会社に該当するため、FASBASC946「金融サービス－投資会社」に規定される投資会社向けの会計・報告指針に従っている。

当社が適用した重要な会計方針は以下のとおりである。

（ａ）見積りの使用

USGAAPに準拠した財務諸表の作成にあたって、経営陣は、財務諸表日現在の資産及び負債の報告金額並びに偶発資産及び負債の開示、並びに当報告期間中の収益及び費用の報告額に影響を及ぼす見積り及び仮定を行うことが求められている。実際の結果は、それらの見積りとは異なる可能性がある。

（ｂ）MMF（マネー・マーケット・ファンド）への投資

マネー・マーケット・ファンドへの投資は取引日基準で会計処理されている。投資は当初原価で測定される。当初認識後の投資は、公正価値で測定される。公正価値は、各マネー・マーケット・ファンドによって報告されている通りにマスターファンドに帰属する純資産として決定される。未実現損益の実現及び変動は損益計算書に含まれている。

（ｃ）マスターファンドへの投資

マスターファンドへの投資は、取引日基準で会計処理されている。投資は当初は原価で測定され、当初認識後は公正価値で測定される。

公正価値は、当ファンドに帰属する純資産（実務的にはマスターファンドの事務管理会社により報告される。）が使用される。投資に係る実現損益及び未実現損益の変動は、損益計算書に計上される。マスターファンドへの投資の評価は、本報告書に含まれるマスターファンドの財務諸表の注記に記載されている。

（ｄ）投資収益及び費用

各分別ポートフォリオは、マスターファンドの純資産価額に対する持分割合に基づき、マスターファンドの収益、費用並びに実現損益及び未実現損益の変動の持分相当額を損益計算書に計上している。また、各分別ポートフォリオの収益及び費用についても発生主義で計上している。

（ｅ）１株当たり純資産価額

１株当たり純資産価額（以下、「１株当たりNAV」という。）は、金の単位オンスで表示されており、特定のクラスに帰属する分別ポートフォリオの純資産価額を、計算時における当該クラスの発行済み株式数で除し、金の単位オンスで表示されている株式については、さらにロンドンの金１オンス当たりの午前決め値で除することで計算される。

（ｆ）先物契約

未決済先物契約は、契約価格と、公表レート又は適切なレートが容易に入手できない場合はブローカーが提供するレートに基づく市場価値との差額として計算された公正価値で計上される。実現損益及び未実現損益の変動は、損益計算書に計上される。

（ｇ）公正価値による投資の評価－定義及び階層

USGAAPは公正価値の階層を規定しており、公正価値を測定する際に用いられる評価手法への入力データの優先順位を、以下に説明される３つのレベルに分類している。

レベル１：　活発な市場における同一資産又は負債について経営陣が入手可能な未調整の相場価格に基づく評価。レベル１の有価証券に対しては、評価調整及び大量保有による割引価値の利用は適用されない。評価は活発な市場において容易にかつ定期的に入手可能な相場価格に基づいているため、当該レベルに分類される有価証券の評価については重要な判断は必要とされない。

レベル２：　活発でない市場における相場価格、あるいは重要なデータがすべて直接又は間接的に観察可能な価格に基づく評価。

レベル３：　公正価値測定の全体に対して重要であるが観察不能なデータに基づく評価。

下表は、上述の公正価値の階層に基づく2023年12月31日現在の当ファンドの投資に係る評価の概要である。

分別ポートフォリオA	合計（米ドル）	レベル１（米ドル）	レベル２（米ドル）
MMFへの投資	2,155,080	2,155,080	－
未決済先物契約に係る未実現利益	40,686	40,686	－
合計	2,195,766	2,195,766	－

分別ポートフォリオB	合計（米ドル）	レベル１（米ドル）	レベル２（米ドル）
MMFへの投資	1,492,314	1,492,314	－
未決済先物契約に係る未実現利益	30,373	30,373	－
未決済先物契約に係る未実現損失	505	505	－
合計	1,522,182	1,522,182	－

マスターファンドが保有する投資の公正価値の階層は、マスターファンドの財務諸表の注記２（ｆ）に開示されている。

（ｈ）受取利息

受取利息は発生主義で計上される。

（ｉ）外貨

外貨建て又は外貨で会計処理される資産及び負債は、貸借対照表日現在で適用される為替レートで米ドルに換算される。外貨建て取引は取引日の為替レートで米ドルに換算される。換算によって生じる実現損益及び未実現損益の変動は、損益計算書に計上される。

当ファンドは投資に係る為替レートの変動により生じる損益と保有有価証券の市場価格の変動により生じる損益を区別していない。このような変動は、投資及び外貨に係る正味実現損益及び未実現損益の変動に含まれている。

（ｊ）法人税等

ケイマン諸島では、収益又は利益に対して課税されることはなく、当社は、税制優遇措置法第６条の規定に従って、将来の収益又は利益に関する現地におけるすべての税金を免除する旨の誓約をケイマン諸島の総督から受け取っている。よって、法人税等に関する引当金は当財務諸表に含まれていない。

当ファンドは、税務調査が実施された場合に、テクニカル・メリットに基づいて容認される可能性が高い（50%超の確率）特定のタックス・ポジションについてのみ税務便益を認識している。当ファンドは、すべての主要な税管轄区域におけるすべての税務調査対象年度について分析を行っている。税務調査対象年度とは、各管轄区域の出訴期限法で定義された税務当局による税務調査の対象となりうる年度である。

経営陣は当ファンドのタックス・ポジションを分析した結果、未確定のタックス・ポジションに関する未認識の税務便益について負債を計上する必要はないと判断した。さらに経営陣は、今後12ヶ月の間に未認識の税務便益の合計額が著しく変化する合理的な可能性のあるタックス・ポジションも存在しないと考えている。

（ｋ）収益及び費用の配分

特定の分別ポートフォリオに関連付けることが可能な収益及び費用は、純資産価額の算定において、該当する分別ポートフォリオに対して配分又は費用計上される。その他の収益及び費用は、分別ポートフォリオ間で比例配分されるか、あるいは取締役の判断により配分される。

（ｌ）未払買戻金

当ファンドの保有者の選択により買い戻される株式は、買戻請求を受領し、買戻金額が確定した時点で未払買戻金として分類される。

（ｍ）相殺

金融資産及び負債（未決済先物契約に係る未実現損益を含む。）は、当ファンドが認識された金額を相殺する法的な権利を有しており、当該取引を純額ベース又は同時に決済する意図がある場合は相殺され、純額で貸借対照表に計上される。当期、当ファンドは相殺の要件を満たしていない。

（ｎ）最近の会計基準

公開企業に対し、ASU2022-03は、2023年12月15日以降に開始する会計年度およびその会計年度内の中間期間から適用される。その他の企業に対しては、ASU2022-03は、2024年12月15日以降に開始する会計年度およびその会計年度内の中間期間から適用される。この会計基準は、まだ発行されていない、又は発行可能な状態になっていない中間財務諸表と年次財務諸表のどちらに対しても早期適用することが認められている。ASC946の投資会社に該当する企業は、適用日以降に実行又は変更される契約上の売却制限を付された持分証券への投資にASU2022-03を適用しなければならない。

ASIJ2022-03の適用日前に締結された契約上売却制限の対象となる持分証券を保有する投資会社は、契約上の制限の終了又は変更まで、ASIJ2022-03の適用前に適用されていた会計方針で持分証券の会計処理を継続する必要がある（つまり、投資会社が公正価値の測定に売却制限の影響を組み込んでいた場合、その会計方針を継続することになる）。

当ファンドは、本基準の適用が当ファンドの経営成績、キャッシュ・フロー、財政状態に重要な影響を与えるとは考えていない。

３．ブローカーに対する債権

ブローカーに対する債権には、ＡＤＭインベスター・サービシズ・インクに預けている現金残高（未決済の証券取引に関する未払金控除後）が含まれ、未決済先物契約に関して担保として差し入れられている証拠金が分別ポートフォリオＡに関して127,820米ドル及び分別ポートフォリオＢに関して100,430米ドル含まれている。

４．金融商品

市場リスク、信用リスク及び流動性リスク

通常の事業の過程において、当ファンドは、市場リスク及び信用リスクを招く可能性のある様々な金融商品を売買しており、そのリスクの金額は、財務諸表からは明白ではない。

市場リスクとは、金利、為替レート又は株式及びコモディティ価格の変動が、当ファンドの保有しているポジションに影響を及ぼすリスクである。当ファンドは、直接保有している金融商品の市場リスク、及び、マスターファンドが保有し市場価格で評価されている投資に係る市場リスクにさらされている。

投資戦略の一環として、当ファンドはＭＭＦ及び先物契約を締結している。当ファンドはＭＭＦに投資している。ＭＭＦは、非常に流動的な現金及び自己勘定請求書、コマーシャルペーパー及び預金証書などの高い信用格付けを有する現金同等物にのみ投資する。これらのファンドは主に13ヶ月未満の短期満期で、非常に低いレベルのリスクで高い流動性を提供している債務証券に投資している。

先物契約は組織化された取引所で売買されており、現金又は市場性のある有価証券による証拠金（担保）が要求される。当初証拠金は日次で時価評価される先物契約の価値の変動を反映するために調整される。先物契約保有者にとって契約内容の履行に関する相手先は相殺ポジションを保有する事業体ではなく取引所である。

市場リスクは、金融商品の基礎となる為替レート、指数、コモディティ及び有価証券の価値の潜在的変動により生じる。その他の市場リスクには、契約の価値の変動が、基礎となる通貨、コモディティ又は株式指標の価値の変動と直接相関していない可能性が含まれる。先物契約の取引には、当ファンドの投資収益率が上がるとともに通常の投資リスクを上回る特定のリスクが伴う可能性がある。

先物市場は変動が非常に大きく、需給関係の変動、政府のプログラム及び政策、国内外の政治及び経済事象、並びに金利の変動等の要因による影響を受ける。さらに、通常、先物取引において要求される証拠金比率は低いため、先物商品勘定のレバレッジ率が高くなる傾向がある。

その結果、先物契約における比較的少額の価格変動が契約当事者に多額の損失を発生させる可能性がある。また先物取引の流動性が低い可能性もある。特定の先物取引所は特定の先物契約に関して、１日の取引における価格変動の制限値を越える価格での取引を認めていない。この１日の取引における価格変動の制限値を超えて価格が変動した場合、当ファンドは不利なポジションを即時に処分することができず、多額の損失を被る可能性がある。

信用リスクとは、契約相手が債務不履行に陥るリスクである。信用リスクは、通常、取引所外で金融商品の取引を行う場合に高くなる。これは、取引所外で取引される金融商品の契約相手は、取引所清算機関の履行保証を受けていないためである。当ファンドのマスターファンドの分別ポートフォリオへの投資は取引所外の取引である。

投資戦略の一環として、マスターファンドはレバレッジを利用している。レバレッジの概念は、マスターファンドの借入費用が、一般的に、保有する投資の収益率を下回るという前提に基づいている。レバレッジの利用により、マスターファンドが投資した株主資本に対する収益率が上がる可能性がある一方で、当該資本の損失リスクも増える。

スーパーファンド・キャピタル・マネジメント・インク（以下、「投資顧問会社」という。）が当社の投資顧問会社を務めている。投資顧問会社は、レバレッジ水準を維持するための内部指針及び制限値を設定している。

当ファンドは、マスターファンドへの投資により、間接的に、マスターファンドの投資対象である金融商品及び市場に関連する多様なリスクにさらされている。

当ファンドがさらされている金融リスクの種類は、市場リスク、信用リスク及び流動性リスクである。当ファンドがさらされている金融リスクに関しては、マスターファンドの財務諸表の注記４を参照のこと。

マスターファンドは、投資運用戦略に基づき、様々なデリバティブ及び非デリバティブ金融商品のポジションを維持している。2023年12月31日現在のマスターファンドの投資ポートフォリオには、先物契約、先渡契約、ＭＭＦ及びその他投資商品が含まれている。

マスターファンドへの投資は、公正価値で計上されており、当該公正価値はマスターファンドに帰属する純資産（マスターファンドの事務管理会社により報告される。）に基づいている。マスターファンドは、マスターファンドの収益、費用、並びに実現及び未実現利益及び損失の持分相当額を計上している。

マスターファンドが保有する投資に関する詳細（投資を公正価値で測定する際に用いられる市場価格の観察可能性のレベルに関する内訳を含む。）については、添付されているマスターファンドの財務諸表注記に開示されている。

５．デリバティブ契約

当ファンドはトレーディング目的で金先物取引を行っているため、当社がさらされている主要なリスク・エクスポージャーは金の価格である。これらのリスクに加えて、デリバティブ契約への投資は、その投資全体又は一部に損失を生じさせる可能性のある別のリスクにもさらされている。

当ファンドはデリバティブ取引を時価評価している。公正価値は市場価格を用いて決定されている。2023年12月31日現在でマスターファンドが保有しているデリバティブ契約の詳細（2023年12月31日に終了した年度におけるこれらのデリバティブ契約に関連する損益を含む。）については、マスターファンドの財務諸表の注記５を参照のこと。

2023年12月31日現在における金先物契約の公正価値は要約投資明細表に含まれている。下表は、2023年12月31日に終了した年度の損益計算書において、投資及び外貨に係る正味実現利益／（損失）、並びに投資及び外貨に係る未実現利益／（損失）の変動に含まれている、金先物に係る利益及び損失を示したものである。

	資産デリバティブ	想定元本	負債デリバティブ	想定元本	未実現利益／（損失）	実現利益／（損失）
	米ドル	米ドル	米ドル	米ドル	米ドル	米ドル
先物契約						
分別ポートフォリオA	40,686	2,900,520	－	－	(73,673)	295,422
分別ポートフォリオB	30,373	2,071,800	505	(207,180)	(54,444)	223,917
	71,059	4,972,320	505	(207,180)	(128,117)	519,339

2023年12月31日現在の保有デリバティブ商品及びその損益計算書への影響額は、当期中における当社のデリバティブ取引高を示している。

６．株式資本

	米ドル
授権株式：	
１株当たり額面0.01米ドルの発起人株式100株	1
１株当たり額面0.01米ドルの参加型株式4,999,900株	49,999
	50,000

	株式数
発行済み及び全額払込済み：	
発起人株式	1

分別ポートフォリオA

クラスA（米ドル）参加型株式：	
期首残高	5,784.66
期中の買戻し	－
期末残高	5,784.66

分別ポートフォリオA

クラスＡ２（米ドル）参加型株式：	
期首残高	1,920.59
期中の買戻し	(371.70)
期末残高	1,548.89

分別ポートフォリオB

クラスB（米ドル）参加型株式：

期首残高	628.65
期中の買戻し	(161.55)
期末残高	467.10

分別ポートフォリオB

クラスBジャパン（米ドル）参加型株式：

期首残高	540.79
期中の発行	3.42
期中の買戻し	(6.20)
期末残高	538.01

	株式数
分別ポートフォリオB	
クラスBジャパン（円）参加型株式：	
期首残高	963,477.28
期中の発行	59,733.05
期中の買戻し	(45,338.22)
期末残高	977,872.11

発起人株式

発起人株式は、額面価額でのみ発行することが可能で、株主の選択により買戻すことはできない。発起人株式は、１株当たり１票の議決権を有し、当社の解散時には以下に記載されている権利が与えられるが、当社の利益又は資産に関するその他の権利は与えられていない。2023年12月31日現在、当社の発起人株式は、当社の投資顧問会社の株主によって保有されている。

参加型株式

クラスA、クラスＡ２及びクラスB参加型株式は、それぞれの１株当たり純資産価額で毎週発行される。分別ポートフォリオA及びBには日本円建て株式クラスがあるが、その他の株式クラスはすべて米ドル建てである。クラスA及びクラスB参加型株式の申込みは米ドル、日本円、ユーロ又はスイスフランで受け付けられているが、当社は受領した申込金を米ドル又は日本円に転換している（該当する株式クラスの通貨に応じて）。

米ドル建て株式クラスに関して当社が受け付ける最低当初申込金額は、クラスA参加型株式は5,000米ドル、クラスＡ２参加型株式は20,000米ドル、クラスB参加型株式は50,000米ドルである。日本円建て株式クラスに関して当社が受け付ける最低当初申込金額は、クラスA参加型株式は500,000円及びクラスB参加型株式は5,000,000円である。

取締役は、単独の裁量により、これらの最低当初申込金額を下回る金額で当初申込を受け付けることができる。参加型株式は、毎週水曜日の前営業日、又は毎月最終週の最終営業日、毎月の最終営業日、又は取締役がその時々に決定する日に、該当する分別ポートフォリオの１株当たり純資産価額で買い戻すことができるが、定款で認められている事項に関する場合を除き議決権は与えられていない。参加型株式の株主は、保有株式に対して払い込んだ金額の割合に応じて、配当を受け取る権利を有している。

株式に付随する権利は、分別ポートフォリオの発行済み株式のすべての株主による書面での同意をもって、あるいは該当する分別ポートフォリオの株主総会において４分の３以上の同意により可決した特別決議の承認をもって変更することができる。

当社が解散する際に、分別ポートフォリオ及び一般資産はまず、それぞれ分別ポートフォリオの債権者及び一般債権者の債権の弁済に充当される。一般資産の残高がある場合は、発起人株式の払込済みの額面

金額返済に使用され、残りは各分別ポートフォリオの純資産価額に基づき、分別ポートフォリオに割り当てられる。

各分別ポートフォリオの資産は、保有株式数に応じて各分別ポートフォリオの株主に支払われる。分別ポートフォリオに複数クラスの参加型株式が存在する場合、分別ポートフォリオの資産は、関連する純資産価額に基づき各クラスに比例配分された後、保有しているクラスの参加型株式数に応じて株主に支払われる。

2023年12月31日現在、クラスＢジャパン（円）参加型株式977,872.11株、クラスＢ（米ドル）参加型株式467.10株及びクラスＢジャパン（米ドル）参加型株式538.01株が関連当事者によって保有されている。

７．管理報酬

当ファンドの投資活動は、共通支配下に置かれている関連当事者である投資顧問会社により管理されている。投資顧問契約の条件に基づいて、投資顧問会社は、クラスＡ（米ドル）、クラスＡ２（米ドル）及びクラスＢ（米ドル）の各参加型株式の純資産価額の３％（年率）の管理報酬を月次で後払いで受領している。クラスＡジャパン（円）、クラスＢジャパン（円）、クラスＢジャパン（米ドル）の各参加型株式については、純資産価額の２％（年率）の管理報酬を月次で後払いで受領している。

2023年12月31日現在、未払金及び未払費用に含まれている未払管理報酬は、分別ポートフォリオＡに関しては14,571米ドル、分別ポートフォリオＢに関しては14,648米ドルである。

８．成功報酬

投資顧問会社はまた、それぞれの株式クラスに関して年度末で有効な投資顧問契約の定義に基づき、各株式クラスの１株当たり純資産価額が過去の最高水準を上回った部分について、クラスＡ（米ドル）、クラスＡ２（米ドル）及びクラスＡ（円）は増加分の20%、クラスＡジャパン（円）は増加分の15%、クラスＢ（米ドル）及びクラスＢ（円）は増加分の25%、クラスＢジャパン（米ドル）及びクラスＢジャパン（円）は20%を成功報酬として受け取る権利を有している。成功報酬は、分別ポートフォリオに関するその他のすべての報酬及び費用を控除後の純資産価額に基づいて計算され、月次で支払われる。

2023年12月31日現在、分別ポートフォリオＡ及びＢに関する未払成功報酬はない。

９．販売会社報酬

共通支配下に置かれている関連当事者であるスーパーファンド・ディストリビューション・アンド・インベストメント・インク（以下、「販売会社」という。）は、当社株式の販売会社として業務を行っており、各分別ポートフォリオの参加型株式の純資産価額の1.8%（年率）相当の販売会社報酬を月次で後払いで受け取る権利を有している。

2023年12月31日現在、未払金及び未払費用に含まれている未払販売会社報酬は、分別ポートフォリオＡに関しては8,746米ドル、分別ポートフォリオＢに関しては12,937米ドルである。

販売会社は、取締役の判断により、各申込に関して７%を上限とした申込手数料を受け取る権利を有している。

2023年12月31日現在、分別ポートフォリオＡ及びＢに関する未払申込手数料はない。

10．事務管理報酬

NAVファンド・アドミニストレーション・グループが当信託の事務管理会社に任命されている（以下、「当事務管理会社」という。）。事務管理契約に基づいて、当信託はNAVファンド・アドミニストレーション・グループに対し、分別ポートフォリオ毎に毎月650米ドルを事務管理報酬として支払っている。

2023年12月31日現在の未払金及び未払費用に含まれている未払事務管理報酬は、分別ポートフォリオＡにつき1,975米ドル、分別ポートフォリオＢにつき1,975米ドルである。

11. 株式買戻手数料

当初申込から12ヶ月以内にクラスＡ又はクラスＢ参加型株式の買戻しが行われるか、あるいは取締役による強制的な買戻しが行われる場合、取締役の判断により、買戻価格の２％の買戻手数料が請求され、投資顧問会社に支払われる可能性がある。

クラスＡ２参加型株式の買戻しが行われるか、あるいは取締役による強制的な買戻しが行われる場合、取締役の判断により、以下のとおり買戻価格に対する買戻手数料が請求され、投資顧問会社に支払われる。

・当初申込から12ヶ月以内に買戻しが行われる場合、５％の買戻手数料
・当初申込から24ヶ月以内に買戻しが行われる場合、４％の買戻手数料
・当初申込から36ヶ月以内に買戻しが行われる場合、３％の買戻手数料
・当初申込から48ヶ月以内に買戻しが行われる場合、２％の買戻手数料
・当初申込から60ヶ月以内に買戻しが行われる場合、１％の買戻手数料
・当初申込から60ヶ月を超えて買戻しが行われる場合、買戻手数料なし

2023年12月31日現在、未払買戻手数料は分別ポートフォリオＡが０米ドル、分別ポートフォリオＢが０米ドルである。

12. 関連当事者間取引

投資顧問会社及び販売会社は共通の支配下にある関連当事者である。投資顧問会社及び販売会社に対する未払報酬は、独立した第三者間の交渉により設定されたものではない。投資顧問会社に対して支払われる成功報酬は、かかる契約がない場合に比べてリスクが高い、又はより投機的な投資を行う誘因となる可能性がある。

13. 公正価値

2023年12月31日現在、経営陣は、各クラスの金融商品の公正価値を見積るために以下の手法及び仮定を使用した。現金、未払金及び未払費用、並びに未払買戻金を含む当ファンドの特定の金融商品に関しては、これらの金融商品が直ちに決済される又は短期的な性質のものであるため、帳簿価額は公正価値に近似している。

ＭＭＦへの投資は、相場価格又はディーラー相場に基づく時価で計上されるため、帳簿価額は公正価値に近似している。

先物契約の未決済残高は、市場価格又はディーラーによる提示価格に基づいて市場価値で計上されているため、帳簿価額は公正価値に近似している。

公正価値の見積りは、市況及び金融商品に関する情報に基づいて、特定の時点に行われる。これらの見積りは本来主観的なものであり、不確定要因及び重要な判断を伴うため、正確に行えるものではない。仮定の変更により、見積りに重要な影響を及ぼす可能性がある。マスターファンドが保有する投資の公正価値測定の分類に関する情報については、マスターファンドの財務諸表注記を参照のこと。

次へ

14. 財務ハイライト

分別ポートフォリオA

１株当たりの業績（期中発行済参加型株式に関して）(1)	クラスA （米ドル）	クラスA２ （米ドル）
期首の参加型株式１株当たり純資産価額	910.35	894.06
投資活動による収入		
正味投資損失	(15.71)	(15.37)
投資及び外貨に係る正味実現及び未実現損失	(94.03)	(92.41)
投資取引による損失合計	(109.74)	(107.78)
期末の参加型株式１株当たり純資産価額	800.61	786.28
総利回り(2)	(12.05)%	(12.05)%
補足情報：		
平均純資産比率		
営業及びその他費用	(5.34)%	(5.32)%
正味投資損失	(1.93)%	(1.91)%

（１）期中の参加型株式の平均発行済み株式数に基づく。

（２）各投資家の利回りは、株式の申込及び買戻の時期により異なる可能性がある。

分別ポートフォリオＢ

１株当たりの業績（期中発行済参加型株式に関して）（1）	クラスＢ（米ドル）	クラスＢジャパン（米ドル）	クラスＢジャパン（円）
期首の参加型株式１株当たり純資産価額	913.93	1,127.48	1,315.36
投資活動による収入			
正味投資損失	(19.70)	(15.13)	(18.85)
投資及び外貨に係る正味実現及び未実現損失	(169.49)	(209.32)	(163.23)
投資取引による利益合計	(189.19)	(224.45)	(182.08)
期末の参加型株式１株当たり純資産価額	724.74	903.03	1,133.28
総利回り（2）	(20.70)%	(19.90)%	(13.84)%
補足情報：			
平均純資産比率			
営業費用及びその他の費用	(5.38)%	(4.41)%	(4.41)%
成功報酬	0.00 %	0.00 %	0.00 %
費用合計	(5.38)%	(4.41)%	(4.41)%
正味投資損失	(2.60)%	(1.62)%	(1.62)%

（１）期中の参加型株式の平均発行済み株式数に基づく。

（２）各投資家の利回りは、株式の申込及び買戻の時期により異なる可能性がある。

次へ

15. 後発事象

これらの財務諸表を作成するにあたり、経営陣は、当該財務諸表の発行が可能となった2024年６月14日までのすべての重要な後発事象を評価し開示した。

2023年12月31日より後、分別ポートフォリオＡに対して約38,055米ドルの買戻しが処理された。

次へ

スーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPC －
スーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスター分別ポートフォリオ
貸借対照表

2023年12月31日現在
（単位：米ドル）

	注記	米ドル	千円
資産			
MMFへの投資（原価：4,078,245米ドル）	2(b)	4,078,245	639,224
有価証券への投資（原価：1,025,144米ドル）	2(c)	1,025,144	160,681
現金		1,042,270	163,365
ブローカーに対する債権	3	8,664,317	1,358,045
未決済先物契約に係る未実現利益	2(g),4,5	1,230,276	192,833
未決済先渡契約に係る未実現利益	2(g),4,5	196,811	30,848
その他の資産		15,860	2,486
		16,252,923	2,547,483
負債			
ブローカーに対する債務	3	223,398	35,015
未決済先物契約に係る未実現損失	2(g),4,5	561,852	88,065
未決済先渡契約に係る未実現損失	2(g),4,5	280,135	43,908
未払買戻金		278,071	43,585
スーパーファンド・グリーン・ゴールド分別ポートフォリオAに対する未払金		4,902	768
未払金及び未払費用	8	18,838	2,953
		1,367,196	214,294
純資産		14,885,727	2,333,189

	米ドル	円
参加型株式１株当たり純資産：発行済7,286.38株に基づく	2,042.95	320,212.98

添付の財務諸表注記参照。

スーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPC －

スーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスター分別ポートフォリオ

要約投資明細書

2023年12月31日現在

（単位：米ドル）

銘柄（純資産における%）	数量	原価	公正価値
MMFへの投資（27.40%）			
ブラックロック・インスト・米ドル・リクイディティ・コア（6.85%）	1,019,560.89	1,019,562	1,019,562
ゴールドマンサックス・米ドル・リキッド・リザーブズ・インスト（6.85%）	1,019,560.89	1,019,561	1,019,561
インベスコ・グローバル・米ドル・コーポ1937（6.85%）	1,019,560.89	1,019,561	1,019,561
JPモルガン・米ドル・リクイディティ・インストU39（6.85%）	1,019,561.59	1,019,561	1,019,561
MMFへの投資合計		米ドル	4,078,245

銘柄（純資産における%）	元本	原価	公正価値
有価証券への投資（6.89%）			
米国財務省短期証券（ＴＢ）、0.0%、満期日2024年3月19日（6.89%）	1,037,000	1,025,144	1,025,144
有価証券への投資合計		米ドル	1,025,144

銘柄（純資産における%）	満期	想定元本	公正価値
先物契約（8.26%）			
債券先物（2.10%）	2024年２月～2025年３月	64,000,864	313,059
コモディティ（0.10%）	2024年２～３月	1,431,669	15,302
通貨（0.49%）	2024年３月	6,093,370	73,458
インデックス（1.93%）	2024年１～３月	14,162,072	286,735
食品／繊維／木材／ゴム（0.34%）	2024年３月	1,428,069	51,314
金（1.47%）	2024年２～８月	15,398,087	218,247
金属（1.43%）	2024年３～10月	5,655,674	213,595
エネルギー（0.39%）	2024年１～５月	1,332,916	58,566
先物契約に係る未実現利益		米ドル	1,230,276

添付の財務諸表注記参照。

スーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPC －
スーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスター分別ポートフォリオ
要約投資明細書（続き）

2023年12月31日現在
（単位：米ドル）

銘柄（純資産における%）	満期	想定元本	公正価値
先物契約（－3.77%）			
債券先物（－0.47%）	2024年２～12月	31,805,902	(70,514)
コモディティ（－0.13%）	2024年２～３月	1,146,835	(19,204)
通貨（－0.21%）	2024年１～３月	5,277,525	(30,914)
インデックス（－0.82%）	2024年１～３月	12,833,240	(121,954)
食品／繊維／木材／ゴム（－0.10%）	2024年３～５月	843,420	(14,588)
金（－0.06%）	2024年２～10月	1,583,807	(8,787)
金属（－1.66%）	2024年３月	4,221,663	(247,206)
エネルギー（－0.33%）	2024年２～５月	1,378,368	(48,685)
先物契約に係る未実現損失		米ドル	(561,852)

銘柄（純資産における%）	満期	想定元本	公正価値
先渡契約（1.32%）			
外国為替（1.32%）	2024年３月	15,306,059	196,811
先渡契約に係る未実現利益		米ドル	196,811

銘柄（純資産における%）	満期	想定元本	公債価値
先渡契約（－1.88%）			
外国為替（－1.88%）	2024年３月	20,868,835	(280,135)
先渡契約に係る未実現損失		米ドル	(280,135)

添付の財務諸表注記参照。

スーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPC －
スーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスター分別ポートフォリオ
損益計算書

2023年12月31日に終了した年度
（単位：米ドル）

	注記	米ドル	千円
収益			
受取利息		338,427	53,045
		338,427	53,045
費用			
事務管理報酬	8	18,000	2,821
専門家報酬		17,262	2,706
支払利息		8,129	1,274
その他の費用		19,388	3,039
		62,779	9,840
正味投資収益		275,648	43,205
投資及び外貨に係る正味実現損失及び未実現損失の変動			
投資及び外貨に係る正味実現損失		(4,341,784)	(680,531)
投資及び外貨に係る未実現損失の変動		(739,669)	(115,936)
		(5,081,453)	(796,467)
営業活動から生じた純資産の正味減少額		(4,805,805)	(753,262)

添付の財務諸表注記参照。

スーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPC －
スーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスター分別ポートフォリオ
純資産変動計算書

2023年12月31日に終了した年度
（単位：米ドル）

	注記	米ドル	千円
営業活動			
正味投資収益		275,648	43,205
投資及び外貨に係る正味実現損失		(4,341,784)	(680,531)
投資及び外貨に係る未実現損失の変動		(739,669)	(115,936)
		(4,805,805)	(753,262)
資本取引			
参加型株式の発行		2,103,898	329,765
参加型株式の買戻し		(1,152,299)	(180,611)
		951,599	149,154
当期純資産減少額		(3,854,206)	(604,108)
期首純資産残高		18,739,933	2,937,297
期末純資産残高		14,885,727	2,333,189

添付の財務諸表注記参照。

財務諸表注記

2023年12月31日現在（単位：米ドル）

１．設立及び主な活動

スーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPC（以下、「マスターファンド」という。）は、2004年９月６日にケイマン諸島の会社法に基づいて適用免除会社として設立され、2013年６月12日にケイマン諸島のミューチュアル・ファンド法に基づいて登録された。

マスターファンドの目的は、テクニカル分析の利用を通じて長期のキャピタル・ゲインを達成することである。マスターファンドはその資産を、金先物を含む様々な種類の先物契約に投資し、また金現物にも投資することができる。

マスターファンドの資産は一般資産と分別ポートフォリオ資産に分けることができる。分別ポートフォリオに帰属する資産の内訳は、分別ポートフォリオに帰属する株式資本及び剰余金と分別ポートフォリオに帰属する又は保有されるその他の資産である。一般資産は、分別ポートフォリオ資産ではないマスターファンドの資産である。特定の分別ポートフォリオに関する取引において負債が生じ、当該分別ポートフォリオに十分な資産がない場合、一般資産は遡求の対象となるが、その他の分別ポートフォリオの資産が遡求対象となることはない。2023年12月31日現在、マスターファンドは一般資産を保有していない。

2023年12月31日現在、マスターファンドが保有している分別ポートフォリオは、2006年に設立されたスーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスター分別ポートフォリオの１種類である。マスターファンドは、その資産を、金先物を含む様々な先物に投資し、また金現物にも投資することができる。マスターファンドの株式は、「マスター・フィーダー」構造の一部として、スーパーファンド・グリーン・ゴールドSPC（以下、「フィーダー・ファンド」という。）に販売されている。フィーダー・ファンドは、複数クラス型ファンドであり、以下の株式の販売を通じて投資家に独立型投資ポートフォリオを提供している。クラスＡ参加型株式（スーパーファンド・グリーン・ゴールド分別ポートフォリオＡの持分）及びクラスＢ参加型株式（スーパーファンド・グリーン・ゴールド分別ポートフォリオＢの持分）。2023年12月31日現在、スーパーファンド・グリーン・ゴールド分別ポートフォリオＡとスーパーファンド・グリーン・ゴールド分別ポートフォリオＢは、マスターファンドのそれぞれ20.00%と43.81%を保有していた。

２．重要な会計方針

当財務諸表は、米国会計基準会（以下、「FASB」という。）の会計基準編纂書（以下、「ASC」という。）に詳述される米国で一般に公正妥当と認められる会計原則（以下、「US GAAP」という。）に従って作成されている。マスターファンドはUS GAAPにおける投資会社に該当するため、FASB ASC 946「金融サービス－投資会社」に規定される投資会社向けの会計・報告指針に従っている。

マスターファンドが適用した重要な会計方針は以下の通りである。

（ａ）見積りの使用

US GAAPに準拠した財務諸表の作成にあたって、経営陣は、財務諸表日現在の資産及び負債の報告金額並びに偶発資産及び負債の開示、並びに報告年度中の収益及び費用の報告額に影響を及ぼす見積り及び仮定を行うことが求められている。実際の結果は、それらの見積りとは異なる可能性がある。

（ｂ）ＭＭＦへの投資

ＭＭＦへの投資は取引日基準で会計処理されている。投資は当初原価で測定される。当初認識後の投資は、公正価値で測定される。公正価値は、それぞれのマネーマーケットファンドによって報告されるマスターファンドに帰属する純資産として決定される。 実現および未実現利益と損失の変動は、損益計算書に含まれている。

（ｃ）有価証券への投資

マスターファンドの有価証券への投資は、米国財務省短期証券（T-Bill）への投資で構成されている。これらの投資は活発な市場における相場価格を用いて評価される。実現損益および未実現損益は損益計算書に含まれている。

（ｄ）公正価値によるファンドへの投資

投資ファンドへの投資は、投資ファンドの経営陣によって報告された純資産価額（「NAV」）で表示される。 投資ファンドの運用契約の償還および流動性の条件に従って、マスターファンドの投資ファンドに対する持分の売却は、当該投資ファンドの報告されたNAVで取引される。ASU-2015-07では、実務上便宜的にNAVを用いて公正価値を測定しているすべての投資について、公正価値ヒエラルキーに分類する要件が削除された。2023年12月31日時点で、マスターファンドは投資ファンドの未決済残高を保有していなかった。

（ｅ）先物契約

未決済先物契約は、契約価格と、公表レート又は適切なレートが容易に入手できない場合はブローカーが提供するレートに基づく市場価値との差額として計算された公正価値で計上される。実現損益及び未実現損益の変動は、損益計算書に計上される。

（ｆ）先渡契約

未決済先渡契約は、契約価格と、該当する公表フォワード・レートとの差額として計算された市場価値にて計上される。実現損益と未実現損益の変動額は損益計算書に計上される。

（ｇ）公正価値による投資の評価　－　定義及び階層

USGAAPは公正価値の階層を規定しており、公正価値を測定する際に用いられる評価手法への入力データの優先順位を、以下に説明される３つのレベルに分類している。

レベル１：　活発な市場における同一資産又は負債について経営陣が入手可能な未調整の相場価格に基づく評価。レベル１の有価証券に対しては、評価調整及び大量保有による割引価値の利用は適用されない。評価は活発な市場において容易にかつ定期的に入手可能な相場価格に基づいているため、当該レベルに分類される有価証券の評価については重要な判断は必要とされない。

レベル２：　活発でない市場における相場価格、あるいは重要なデータがすべて直接又は間接的に観察可能な価格に基づく評価。

レベル３：　公正価値測定の全体に対して重要であるが観察不能なデータに基づく評価。

下表は、上述の公正価値の階層に基づく2023年12月31日現在のマスターファンドの投資に係る評価の要約である。

資産	合計	レベル１	レベル２
	（米ドル）	（米ドル）	（米ドル）
MMFへの投資	4,078,245	4,078,245	－
有価証券への投資	1,025,144	1,025,144	－
未決済先物契約に係る未実現利益	1,230,276	1,230,276	－
未決済先渡契約に係る未実現利益	196,811	－	196,811
合計	6,530,476	6,333,665	196,811

負債	合計	レベル１	レベル２
	（米ドル）	（米ドル）	（米ドル）
未決済先物契約に係る未実現損失	(561,852)	(561,852)	－
未決済先渡契約に係る未実現損失	(280,135)	－	(280,135)
合計	(841,987)	(561,852)	(280,135)

（h）受取利息及び支払利息

受取利息及び支払利息は発生主義で計上される。

（i）外貨

外貨建て又は外貨で会計処理される資産及び負債は、貸借対照表日現在で適用される為替レートで米ドルに換算される。外貨建て取引は取引日の為替レートで米ドルに換算される。換算によって生じる実現損益及び未実現損益の変動は、損益計算書に計上される。

マスターファンドは投資及び現金に係る為替レートの変動により生じる損益と、保有有価証券の市場価格の変動により生じる損益を区別していない。このような変動は、損益計算書の投資及び外貨に係る正味実現利益（損失）及び未実現利益（損失）の変動に含まれる。

（j）法人税等

ケイマン諸島では、収益又は利益に対して課税されることはなく、マスターファンドは、税制優遇措置法第６条の規定に従って、将来の収益又は利益に関するすべての現地における税金を免除する旨の誓約をケイマン諸島の総督から受け取っている。よって、法人税等に関する引当金は当財務諸表に含まれていない。

マスターファンドは、税務調査が実施された場合に、テクニカル・メリットに基づいて容認される可能性が高い（50%超の確率）特定のタックス・ポジションについてのみ税務便益を認識している。マスターファンドは、すべての主要な税管轄区域におけるすべての税務調査対象年度について分析を行っている。税務調査対象年度とは、各管轄区域の出訴期限法で定義された税務当局による税務調査の対象となりうる年度である。

経営陣はマスターファンドのタックス・ポジションを分析した結果、未確定のタックス・ポジションに関する未認識の税務便益について負債を計上する必要はないと判断した。さらに経営陣は、今後12ヶ月の間に未認識の税務便益の合計額が著しく変化する合理的な可能性のあるタックス・ポジションも存在しないと考えている。

（k）収益及び費用の配分

特定の分別ポートフォリオに関連付けることが可能な収益及び費用は、純資産価額の算定において、各分別ポートフォリオに配分又は費用計上される。その他の収益及び費用は、分別ポートフォリオ間で比例配分されるか、あるいは取締役の判断により配分される。

（l）相殺

金融資産及び負債（未決済先物契約に係る未実現損益を含む。）は、マスターファンドが認識された金額を相殺する法的な権利を有しており、当該取引を純額ベース又は同時に決済する意図がある場合は相殺され、純額で貸借対照表に計上される。当期、マスターファンドは相殺の要件を満たしていない。

（m）未払買戻金

保有者又はマスターファンドの選択により償還された参加株式は、償還要求が受領され、償還額が決定された時点で未払買戻金として分類される。

（n）最近の会計基準

ASU2022-03は、公開企業に対し、2023年12月15日以降に開始する会計年度およびその会計年度内の中間期間から適用される。その他の企業に対しては、ASU2022-03は、2024年12月15日以降に開始する会計年度およびその会計年度内の中間期間から適用される。この会計基準は、まだ発行されていない、又は発行可能な状態になっていない中間財務諸表と年次財務諸表のどちらに対しても早期適用することが認められている。ASC946の投資会社に該当する企業は、適用日以降に実行又は変更される契約上の売却制限を付された持分証券への投資にASU2022-03を適用しなければならない。ASIJ2022-03の適用日前に締結された契約上売却制限の対象となる持分証券を保有する投資会社は、契約上の制限の終了又は変更まで、ASIJ2022-03の適用前に適用されていた会計方針で持分証券の会計処理を継続する必要がある（つまり、投資会社が公正価値の測定に売却制限の影響を組み込んでいた場合、その会計方針を継続することになる）。

マスターファンドは、本基準の適用がマスターファンドの経営成績、キャッシュ・フロー、財政状態に重要な影響を与えるとは考えていない。

３．ブローカーに対する債権及び債務

ブローカーに対する債権及び債務には、ＡＤＭインベスター・サービシズ・インク及びＩＮＴＬ・ＦＣストーン・ファイナンシャル・インクに預けている現金残高が含まれ、未決済先物契約及び先渡契約に関して担保として差し入れられている証拠金4,315,436米ドルが含まれる。2023年12月31日現在、ブローカーに対する債権・債務には、未決済取引に関する未収金及び未払金は含まれていない。

４．金融商品

市場リスク、信用リスク及び流動性リスク

通常の事業の過程において、マスターファンドは、市場リスク、信用リスク及び流動性リスクを招く可能性のある様々な金融商品を売買しており、そのリスクの金額は、財務諸表からは明白ではない。

市場リスクとは、金利、為替レート又は株式及びコモディティ価格の変動が、マスターファンドの保有しているポジションに影響を及ぼすリスクである。マスターファンドは、市場価格で評価されている金融商品に関する市場リスクにさらされている。

投資戦略の一環として、マスターファンドは先物契約を締結している。先物契約は組織化された取引所で売買されており、現金又は市場性のある有価証券による証拠金（担保）が要求される。証拠金は日次で時価評価される先物契約の価値の変動を反映するために調整される。先物契約保有者にとって契約内容の履行に関する相手先は相殺ポジションを保有する事業体ではなく取引所である。

マスターファンドは先渡契約を締結している。先渡契約の場合、契約期間終了時まで様々な契約相手先について未実現評価益に係る信用リスク（但し担保分を除いた額）を内包する。マスターファンドは、先

渡契約については、取引を信用に値する契約相手先に限定することにより信用リスクの軽減を図っている。

マスターファンドは、マネーマーケットファンドに投資する。ＭＭＦは、財務省証券、コマーシャルペーパー、預金証書などの高い信用格付けを備えた流動性の高い現金および現金同等物にのみ投資する。マネーマーケットミューチュアルファンドとも呼ばれるこれらのファンドは、主に13か月未満の短期満期でかつ、非常に低いレベルのリスクで高い流動性を提供する債券ベースの証券に投資する。

マスターファンドは、米国財務省短期証券に投資する。米国財務省短期証券は13か月未満の短期満期でかつ、非常に低いレベルのリスクで高い流動性を提供する。

市場リスクは、金融商品の基礎となる為替レート、指標、コモディティ及び有価証券の価値の潜在的変動により生じる。その他の市場リスクには、契約の価値の変動が、基礎となる通貨、コモディティ又は株式指標の価値の変動と直接相関していない可能性が含まれる。先物契約の取引には、マスターファンドの投資収益率が上がるとともに通常の投資リスクを上回る特定のリスクが伴う可能性がある。

信用リスクとは、契約相手が債務不履行に陥るリスクである。信用リスクは、通常、取引所外で金融商品の取引を行う場合に高くなる。これは、取引所外で取引される金融商品の契約相手は、取引所清算機関の履行保証を受けていないためである。マスターファンドは信用リスクの影響を最小限に抑えるために多数のブローカーを利用している。経営陣はブローカーの信用格付け及び取引結果をレビューし、マスターファンドの信用リスクの集中について問題はないと考えている。

先物市場は変動が非常に大きく、需給関係の変動、政府のプログラム及び政策、国内外の政治及び経済事象、並びに金利の変動等の要因による影響を受ける。さらに、通常、先物取引において要求される証拠金比率は低いため、先物商品勘定のレバレッジ率が高くなる傾向がある。

その結果、先物契約における比較的少額の価格変動がマスターファンドに多額の損失を発生させる可能性がある。また先物取引の流動性が低い可能性もある。特定の先物取引所は特定の先物契約に関して、１日の取引における価格変動の制限値を越える価格での取引を認めていない。この１日の取引における価格変動の制限値を超えて価格が変動した場合、マスターファンドは不利なポジションを即時に処分することができず、多額の損失を被る可能性がある。

投資戦略の一環として、マスターファンドはレバレッジを利用している。レバレッジの概念は、マスターファンドの借入費用が、一般的に、保有する投資の収益率を下回るという前提に基づいている。レバレッジの利用により、マスターファンドに投資された株主資本に対する収益率が上がる可能性がある一方で、当該株主資本の損失リスクも増える。

スーパーファンド・キャピタル・マネジメント・インク（以下、「投資顧問会社」という。）が、マスターファンドの投資顧問会社を務めている。投資顧問会社は、レバレッジ水準を維持するための内部指針及び制限値を設定している。

５．デリバティブ契約

マスターファンドは様々な先物契約及び先渡契約をトレーディング目的で行っており、これらの金融商品は主に金利、為替レート、株価及びコモディティ価格に関するリスクにさらされている。これらのリスクに加えて、デリバティブ契約への投資は、その投資全体又は一部に損失を生じさせる可能性のある別のリスクにもさらされている。

マスターファンドはデリバティブ取引を時価評価している。公正価値は市場価格を用いて決定されている。2023年12月31日現在でマスターファンドが保有しているデリバティブの公正価値は、貸借対照表に個別項目として記載されている。

下表は、2023年12月31日現在におけるデリバティブ契約の公正価値を、資産及び負債価値並びに契約種類ごとに分けて示したものである。当該金額は、貸借対照表の未決済先物契約及び未決済先渡契約に係る未実現損益に含まれている。また下表は、デリバティブに関する実現損益及び未実現損益を契約種類ごと

に示しており、当該金額は損益計算書の投資及び外貨に係る正味実現損益並びに投資及び外貨に係る未実現損益の変動に含まれている。

また下表は、2023年12月31日現在の未決済契約の想定元本も契約種類ごとに示している。

	デリバティブ資産	想定元本	デリバティブ負債	想定元本	未実現利益／（損失）	実現利益／（損失）
	米ドル	米ドル	米ドル	米ドル	米ドル	米ドル
先物契約						
債券先物	313,059	64,000,864	(70,514)	31,805,902	(250,114)	61,332
コモディティ	15,302	1,431,669	(19,204)	1,146,835	(74,639)	358,248
通貨	73,458	6,093,370	(30,914)	5,277,525	55,866	(1,040,690)
インデックス	286,735	14,162,072	(121,954)	12,833,240	(19,191)	(513,482)
食品／繊維／木材／ゴム	51,314	1,428,069	(14,588)	843,420	22,230	(448,385)
金	218,247	15,398,087	(8,787)	1,583,807	(397,191)	1,291,089
金属	213,595	5,655,674	(247,206)	4,221,663	(54,651)	(669,349)
エネルギー	58,566	1,332,916	(48,685)	1,378,368	(94,132)	(2,207,776)
合計	**1,230,276**	**109,502,721**	**(561,852)**	**59,090,760**	**(811,822)**	**(3,169,014)**

	デリバティブ資産	想定元本	デリバティブ負債	想定元本	未実現利益／（損失）	実現利益／（損失）
	米ドル	米ドル	米ドル	米ドル	米ドル	米ドル
先渡契約						
外国為替	196,811	15,306,059	(280,135)	20,868,835	(82,698)	(593,067)
合計	**196,811**	**15,306,059**	**(280,135)**	**20,868,835**	**(82,698)**	**(593,067)**

2023年12月31日現在の保有デリバティブ商品及びその損益計算書への影響額は、当期中におけるマスターファンドのデリバティブ取引高を示している。

６．株式資本

授権株式：

１株当たり額面0.01米ドルの参加型株式5,000,000株	50,000米ドル

	株式数
参加型株式：	
期首残高	6,864.33
期中の発行	958.86
期中の買戻し	(536.81)
期末残高	7,286.38

参加型株式

参加型株式には議決権が与えられており、各歴月の最初の営業日又は取締役会の定める日に、各分別ポートフォリオの１株当たり純資産価額で買戻すことができる。参加型株式の株主は、保有株式に対して払い込んだ金額の割合に応じて、宣言され支払われる配当を受け取る権利を有している。

株式に付随する権利は、分別ポートフォリオの発行済み株式のすべての株主による書面での同意をもって、あるいは分別ポートフォリオの株主総会において４分の３以上の同意により可決した特別決議の承認をもって変更することができる。

マスターファンドが解散する際、分別ポートフォリオ及び一般資産は、それぞれ分別ポートフォリオ債権者及び一般債権者の債権に対して支払われる。一般資産の残高がある場合は、各分別ポートフォリオの純資産価額に基づき、分別ポートフォリオに割り当てられる。各分別ポートフォリオの資産は、保有株式数に応じて各分別ポートフォリオの株主に支払われる。分別ポートフォリオに複数クラスの参加型株式が存在する場合、分別ポートフォリオの資産は、関連する純資産価額に基づき各クラスに比例配分された後、保有しているクラスの参加型株式数に応じて株主に支払われる。

７．公正価値

2023年12月31日現在、経営陣は、各クラスの金融商品の公正価値を見積るために以下の手法及び仮定を使用した。現金並びに未払金及び未払費用を含むマスターファンドの一部の金融商品に関しては、これらの金融商品が直ちに換金可能又は短期的な性質のものであるため、帳簿価額は公正価値に近似している。

ＭＭＦへの投資は、市場価格又はディーラーによる提示価格に基づいて市場価値で計上されているため、帳簿価額は公正価値に近似している。

米国財務省証券への投資は、活発な市場における相場価格を用いて公正価値で測定している。

先物契約の未決済残高は、市場価格又はディーラーによる提示価格に基づいて市場価値で計上されているため、帳簿価額は公正価値に近似している。

未決済先渡契約への投資は、デリバティブ契約締結日の公正価値にて初めて認識される。先渡契約の公正価値の変動から増価又は減価が生じたときは、直接損益計算書に反映される。当初計測の後は先渡契約は公正価値にて計測される。

ファンドへの投資は、アンダーライング・ファン及び／又はその事務管理会社から提示された価額が、実務上便宜的に公正価値として計上されている。

公正価値の見積りは、市況及び金融商品に関する情報に基づいて、特定の時点に行われる。これらの見積りは本来主観的なものであり、不確定要因及び重要な判断を伴うため、正確に行えるものではない。仮定の変更により、見積りに重要な影響を及ぼす可能性がある。

８．事務管理報酬

NAVファンド・アドミニストレーション・グループが当信託の事務管理会社を務めている。（以下、「当事務管理会社」という。）。事務管理契約に基づいて、当信託は当事務管理会社に対し、事務管理報酬を支払っている。金額は、マスターファンドの純資産価額の総額が０米ドルから5,000万米ドルの間の場合は年率0.042%（毎月4.2ベーシスポイントの12分の１）、マスターファンドの純資産価額の総額が5,000万米ドルから１億米ドルの間の場合は年率2.45ベーシスポイント、マスターファンドの純資産価額の総額が１億米ドル超の場合は年率0.7ベーシスポイントで、最低事務管理報酬は月額1,375米ドルである。

2023年12月31日現在の未払金及び未払費用に含まれている未払事務管理報酬は、2,875米ドルである。

９．財務ハイライト

	米ドル
１株当たりの業績（期中発行済み参加型株式に関して）(1)：	
期首の参加型株式１株当たり純資産価額	2,730.09
投資活動による収入：	
正味投資収入	38.21
投資及び外貨に係る正味実現損失及び未実損失の変動	(725.31)
投資活動による損失合計	(687.10)
期末の１株当たり純資産価額	2,042.99
総利回り(2)	(25.16)%
補足情報：	
平均純資産比率	
費用	0.41%
正味投資収入	1.80%

（１）期中平均発行済み株式数に基づく。

（２）各投資家の利回りは、株式の申込み及び買戻しの時期により異なる可能性がある。

10. 関連当事者間取引

2023年12月31日現在、関連当事者によって保有されているマスターファンド参加型株式は2,686.28株であった。

マスターファンドは、投資会社のスーパーファンド・グループに属するスーパーファンド・クリプト・ファンドに投資していた。マスターファンドの投資顧問は、スーパーファンド・クリプト・ファンドの投資顧問も兼ねている。スーパーファンド・クリプト・ファンドへの投資は年度中に187,146米ドルで償還され、152,766米ドルの実現損となった。

11. 後発事象

これらの財務諸表を作成するにあたり、経営陣は、当該財務諸表の公表が可能となった2024年６月14日までのすべての重要な後発事象を評価し開示した。2023年12月31日より後に処理された買戻しはなかった。

次へ

スーパーファンド・グリーンSPC－スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオA
貸借対照表

2023年12月31日現在
（単位：米ドル）

	注記	米ドル	千円
資産			
MMFへの投資（原価：44,273米ドル）	2(l)	44,273	6,939
スーパーファンド・グリーン・マスターへの投資	13	124,169	19,462
現金	3	72,233	11,322
その他資産		4,796	752
		245,471	38,475
負債			
未払金及び未払費用	7,9,10	7,349	1,152
		7,349	1,152
純資産	米ドル	238,122	37,323

	米ドル	円
クラスA（米ドル）株式１株当たり純資産：発行済 45,325.66 株に基づく	5.25	822.89

添付の注記及びスーパーファンド・グリーン・マスターの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・グリーンSPC－スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオA
要約投資明細書

2023年12月31日現在
（単位：米ドル）

銘柄（純資産における%）	数量	原価	公正価値
MMFへの投資（18.60%）			
ブラックロック・インスト・米ドル・リクイディティ・コア（4.65%）	11,068.24	11,068	11,068
ゴールドマンサックス・米ドル・リキッド・リザーブズ・インスト499（4.65%）	11,068.24	11,068	11,068
インベスコ・グローバル・米ドル・コーポ1937（4.65%）	11,068.24	11,068	11,068
JPモルガン・リクイディティ・米ドル・リクイディティ インスト U39（4.65%）	11,069.17	11,069	11,069
MMFへの投資合計		米ドル	44,273

添付の注記及びスーパーファンド・グリーン・マスターの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・グリーンSPC－スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオA

損益計算書

2023年12月31日に終了した年度

（単位：米ドル）

	注記	米ドル	千円
スーパーファンド・グリーン・マスターから配分された正味投資収入			
受取利息		3,446	540
費用		(531)	(83)
		2,915	457
サブファンドの収益			
その他の収益		2,126	333
		2,126	333
サブファンド費用			
管理報酬	7	7,807	1,224
販売会社報酬	9	4,686	734
事務管理報酬	10	6,900	1,082
専門家報酬		2,900	455
一般管理費		10,501	1,646
		32,794	5,140
正味投資損失		(27,753)	(4,350)
スーパーファンド・グリーン・マスターから配分された投資及び外貨に係る正味実現損失及び未実現損失の変動			
投資及び外貨に係る正味実現損失		(49,723)	(7,794)
投資及び外貨に係る未実現損失の変動		(2,475)	(388)
		(52,198)	(8,182)
営業活動から生じた純資産の正味減少額		(79,951)	(12,532)

添付の注記及びスーパーファンド・グリーン・マスターの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・グリーンSPC－スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオA
純資産変動計算書

2023年12月31日に終了した年度
（単位：米ドル）

	米ドル	千円
営業活動		
正味投資損失	(27,753)	(4,350)
投資及び外貨に係る正味実現損失	(49,723)	(7,794)
投資及び外貨に係る未実現損失の変動	(2,475)	(388)
	(79,951)	(12,532)
期首純資産残高	318,073	49,855
期末純資産残高	238,122	37,323
期末純資産残高の内訳：		
クラスA（米ドル）株式	238,122	37,323
	238,122	37,323

添付の注記及びスーパーファンド・グリーン・マスターの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・グリーンSPC－スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオＢ
貸借対照表

2023年12月31日現在
（単位：米ドル）

	注記	米ドル	千円
資産			
MMFへの投資（原価：607,192米ドル）	2(l)	607,192	95,171
スーパーファンド・グリーン・マスターへの投資	13	4,682,550	733,943
ブローカーへの債権	4	1,213,149	190,149
未決済先物契約に係る未実現利益	2(l),5 13	5	0
マスターファンド及び他のファンドからの未収買戻金		8,410	1,318
その他資産		4,795	752
現金	3	27,552	4,319
		6,543,653	1,025,652
負債			
未払買戻金		38,134	5,977
未決済先物契約に係る未実現損失	2(l),5 13	98,831	15,491
未払金及び未払費用	7,9,10	45,081	7,066
		182,046	28,534
純資産		6,361,607	997,118

	米ドル	円
クラスＢ（米ドル）株式１株当たり純資産：発行済 22,967.00 株に基づく	6.16	965.52
クラスジャパン（円）株式１株当たり純資産：発行済513,490.30株に基づく	―	686.87
クラスジャパン（米ドル）株式１株当たり純資産：発行済 146,677.96 株に基づく	5.66	887.15
クラスシルバー（米ドル）株式１株当たり純資産：発行済 233,453.44 株に基づく	8.15	1,277.43
クラスシルバー（円）株式１株当たり純資産：発行済 110,122.38 株に基づく	8.15	1,277.43
	ユーロ	**円**
クラスＢ（ユーロ）株式１株当たり純資産：発行済 11,519.76 株に基づく	7.19	1,220.72

添付の注記及びスーパーファンド・グリーン・マスターの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・グリーンSPC－スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオB
要約投資明細書

2023年12月31日現在
（単位：米ドル）

銘柄（純資産における%）	数量	原価	公正価値
MMFへの投資（9.56%）			
ブラックロック・米ドル・リクイディティ・コア（2.39%）	151,797.77	151,798	151,798
ゴールドマンサックス・米ドル・リキッド・リザーブズ・インスト499（2.39%）	151,797.77	151,798	151,798
インベスコ・グローバル・米ドル・コーポ1937（2.39%）	151,797.77	151,798	151,798
JPモルガン・リクイディティ・米ドル・リクイディティ インスト U39（2.39%）	151,798.43	151,798	151,798
MMFへの投資合計		米ドル	607,192

銘柄（純資産における%）	満期	想定元本	公正価値
先物契約（0.01%）			
金属（0.01%）	2024年３月	120,430	5
先物契約に係る未実現利益		米ドル	5

銘柄（純資産における%）	満期	想定元本	公正価値
先物契約（－1.55%）			
金属（－1.55%）	2024年３月	2,047,310	(98,831)
先物契約に係る未実現損失		米ドル	(98,831)

添付の注記及びスーパーファンド・グリーン・マスターの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・グリーンSPC－スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオB
損益計算書

2023年12月31日に終了した年度
（単位：米ドル）

	注記	米ドル	千円
スーパーファンド・グリーン・マスターから配分された正味投資利益			
受取利息		148,374	23,256
費用		(22,583)	(3,540)
		125,791	19,716
サブファンドの収益			
その他の収益		65,055	10,197
		65,055	10,197
サブファンド費用			
管理報酬	7	153,217	24,015
販売会社報酬	9	135,586	21,252
事務管理報酬	10	8,036	1,260
専門家報酬		7,752	1,215
一般管理費		22,619	3,545
		327,210	51,287
正味投資損失		(136,364)	(21,374)
サブファンドの外貨に係る利益			
外貨に係る正味実現利益		308,196	48,307
外貨に係る未実現損失の変動		(414,906)	(65,032)
		(106,710)	(16,726)
スーパーファンド・グリーン・マスターから配分された投資及び外貨に係る正味実現損失及び未実現損失の変動			
投資及び外貨に係る正味実現損失		(2,451,546)	(384,255)
投資及び外貨に係る未実現損失の変動		(325,595)	(51,034)
		(2,777,141)	(435,289)
営業活動から生じた純資産の正味減少額		(3,020,215)	(473,388)

添付の注記及びスーパーファンド・グリーン・マスターの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・グリーンSPC－スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオB
純資産変動計算書

2023年12月31日に終了した年度
（単位：米ドル）

	米ドル	千円
営業活動		
正味投資損失	(136,364)	(21,374)
投資及び外貨に係る正味実現損失	(2,143,350)	(335,949)
投資及び外貨に係る未実現損失の変動	(740,501)	(116,066)
	(3,020,215)	(473,388)
資本取引		
クラスジャパン（円）参加型株式の発行による収入	22,988	3,603
クラスシルバー（円）参加型株式の発行による収入	64,638	10,131
クラスB（米ドル）参加型株式の買戻し	(20,926)	(3,280)
クラスジャパン（円）参加型株式の買戻し	(704,986)	(110,500)
クラスジャパン（米ドル）参加型株式の買戻し	(133,158)	(20,871)
クラスシルバー（米ドル）参加型株式の買戻し	(19,189)	(3,008)
クラスシルバー（円）参加型株式の買戻し	(21,653)	(3,394)
	(812,286)	(127,318)
当期純資産減少額	(3,832,501)	(600,706)
期首純資産残高	10,194,108	1,597,824
期末純資産残高	6,361,607	997,118
期末純資産残高の内訳：		
クラスB（米ドル）株式	141,378	22,160
クラスジャパン（円）株式	2,500,639	391,950
クラスジャパン（米ドル）株式	829,655	130,040
クラスシルバー（米ドル）株式	1,901,500	298,041
クラスシルバー（円）株式	896,957	140,589
クラスB（ユーロ）株式	91,478	14,338
	6,361,607	997,118

添付の注記及びスーパーファンド・グリーン・マスターの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・グリーンSPC－スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオC

貸借対照表

2023年12月31日現在

（単位：米ドル）

	注記	米ドル	千円
資産			
スーパーファンド・グリーン・マスターへの投資	13	2,197,872	344,494
現金	3	70,051	10,980
その他資産		4,898	768
		2,272,821	356,242
負債			
未払金及び未払費用	7,9,10	21,003	3,292
		21,003	3,292
純資産		2,251,818	352,950
		米ドル	円
クラスC（米ドル）株式１株当たり純資産：			
発行済 241,749.68 株に基づく		4.44	695.93
		－	円
クラスCジャパン（円）１株当たり純資産：			
発行済 121,047.04株に基づく			616.40
		米ドル	円
クラスCジャパン（米ドル）株式１株当たり純資産：			
発行済 116,907.45 株に基づく		4.59	719.44
		ユーロ	円
クラスC（ユーロ）株式１株当たり純資産：			
発行済 23,904.42 株に基づく		4.29	728.36

添付の注記及びスーパーファンド・グリーン・マスターの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・グリーンSPC－スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオC
損益計算書

2023年12月31日に終了した年度
（単位：米ドル）

	注記	米ドル	千円
スーパーファンド・グリーン・マスターから配分された正味投資収益			
受取利息		66,228	10,381
費用		(10,114)	(1,585)
		56,114	8,795
サブファンド費用			
管理報酬	7	63,851	10,008
販売会社報酬	9	45,757	7,172
専門家報酬		7,368	1,155
事務管理報酬	10	6,900	1,082
一般管理費		15,828	2,481
		139,704	21,897
正味投資損失		(83,590)	(13,102)
サブファンドの外貨に係る利益／（損失）			
外貨に係る正味実現利益		202	32
		202	32
スーパーファンド・グリーン・マスターから配分された投資及び外貨に係る正味実現損失及び未実現損失の変動			
投資及び外貨に係る正味実現損失		(1,067,927)	(167,387)
投資及び外貨に係る未実現損失の変動		(129,312)	(20,268)
		(1,197,239)	(187,655)
営業活動から生じた純資産の正味減少額		(1,280,627)	(200,725)

添付の注記及びスーパーファンド・グリーン・マスターの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・グリーンSPC－スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオC
純資産変動計算書

2023年12月31日に終了した年度
（単位：米ドル）

	米ドル	千円
営業活動		
正味投資損失	(83,590)	(13,102)
投資及び外貨に係る正味実現損失	(1,067,725)	(167,355)
投資及び外貨に係る未実現損失の変動	(129,312)	(20,268)
	(1,280,627)	(200,725)
資本取引		
クラスCジャパン（円）参加型株式の発行	16,020	2,511
クラスCジャパン（米ドル）参加型株式の発行	11,104	1,740
クラスCジャパン（円）参加型株式の買戻し	(69,551)	(10,901)
クラスCジャパン（米ドル）参加型株式の買戻し	(35,730)	(5,600)
	(78,157)	(12,250)
当期純資産減少額	(1,358,784)	(212,976)
期首純資産残高	3,610,602	565,926
期末純資産残高	2,251,818	352,950
期末純資産残高の内訳：		
クラスC（米ドル）株式	1,072,595	168,119
クラスCジャパン（円）株式	529,009	82,917
クラスCジャパン（米ドル）株式	536,909	84,155
クラスC（ユーロ）株式	113,305	17,759
	2,251,818	352,950

添付の注記及びスーパーファンド・グリーン・マスターの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

財務諸表注記

2023年12月31日現在（単位：米ドル）

１．設立及び主な活動

スーパーファンド・グリーンSPC（以下、「当社」という。）は、2003年３月24日にケイマン諸島の会社法に基づいて適用免除会社として設立され、2003年４月１日にケイマン諸島のミューチュアル・ファンド法に基づいて登録された。

当社は分別ポートフォリオ会社として設立され、以下の株式の販売を通じて投資家に独立型投資ポートフォリオを提供している。クラスＡ参加型株式（スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオＡの持分）、クラスＢ参加型株式（スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオＢの持分）、クラスＣ参加型株式（スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオＣの持分）（以下、総称して「サブファンド」という。）。

当社は、「マスター・フィーダー」構造の一部であり、その資産のほぼすべてをケイマン諸島の適用免除会社であるスーパーファンド・グリーン・マスター（以下、「マスターファンド」という。）のクラスＢ、クラスＣ及びクラスＥマスター株式に投資している。マスターファンドの財務諸表（要約投資明細表を含む）は、本報告書に含まれており、当社の財務諸表と共に読まれるべきである。2023年12月31日現在、当社はクラスＢマスター株式の100%、クラスＣマスター株式の2.01%、及びクラスＥマスター株式の100%を保有している。

当社の目的は、投資家に対して、資本及び有価証券市場の発展とは関係なく、平均以上の長期的キャピタル・ゲインを達成しうる投資を提供することである。

当社の資産は一般的な会社資産と分別ポートフォリオ資産に分けることができる。分別ポートフォリオに帰属する資産の内訳は、分別ポートフォリオに帰属する株式資本及び剰余金と分別ポートフォリオに帰属する又は保有されるその他の資産である。一般資産は、分別ポートフォリオ資産ではない当社の資産である。特定の分別ポートフォリオに関する取引において負債が生じ、当該分別ポートフォリオに十分な資産がない場合、一般資産は遡求の対象となるが、その他の分別ポートフォリオの資産が遡求対象となることはない。2023年12月31日現在の一般資産残高は、発起人株式（注記６を参照）の発行時に受領した現金１米ドルだけであり、今日までに一般資産に帰属する収益又は費用が発生していないため、貸借対照表、損益計算書及び純資産変動計算書において一般資産は個別に表示されていない。

２．重要な会計方針

当財務諸表は、米国会計基準審議会（以下、「FASB」という。）の会計基準編纂書（以下、「ASC」という。）に詳述される米国で一般に公正妥当と認められる会計原則（以下、「US GAAP」という。）に従って作成されている。当社はUS GAAPにおける投資会社に該当するため、FASB ASC 946「金融サービス－投資会社」に規定される投資会社向けの会計・報告指針に従っている。

当社が適用した重要な会計方針は以下のとおりである。

（ａ）見積りの使用

US GAAPに準拠した財務諸表の作成にあたって、経営陣は、財務諸表日現在の資産及び負債の報告金額並びに偶発資産及び負債の開示、並びに報告年度中の収益及び費用の報告額に影響を及ぼす見積り及び仮定を行うことが求められている。実際の結果は、それらの見積りとは異なる可能性がある。

（ｂ）マスターファンドへの投資

マスターファンドへの投資は、取引日基準で会計処理されている。投資は当初は原価で測定される。当初認識後は、投資は公正価値で測定される。公正価値は、当社に帰属する純資産（実務的な手段として、マスターファンドの事務管理会社により報告される。）に基づき決定される。投資に係る実現損益及び未実現損益は、損益計算書に計上される。マスターファンドの投資の評価については、本報告書に含まれるマスターファンドの財務諸表の注記に記載されている。

（ｃ）ＭＭＦへの投資

ＭＭＦへの投資は取引日基準で会計処理されている。投資は当初原価で測定される。当初認識後の投資は、公正価値で測定される。公正価値は、それぞれのマネーマーケットファンドによって報告される当社に帰属する純資産として決定される。実現および未実現利益と損失の変動は、損益計算書に含まれている。

（ｄ）先物契約

未決済先物契約は、契約価格と、公表レート又は適切なレートが容易に入手できない場合はブローカーが提供するレートに基づく市場価値との差額として計算された公正価値で計上される。実現損益及び未実現損益の変動は、損益計算書に計上される。

（ｅ）投資収益及び費用

各分別ポートフォリオは、マスターファンドの純資産価額に対する持分割合に基づき、マスターファンドの収益、費用並びに実現損益及び未実現損益変動の持分相当額を、損益計算書に計上している。また、各分別ポートフォリオの収益及び費用についても発生主義で計上している。

（ｆ）受取利息

受取利息は発生主義で計上される。

（ｇ）外貨

外貨建て又は外貨で会計処理される資産及び負債は、貸借対照表日現在で適用される為替レートで米ドルに換算される。外貨建て取引は取引日の為替レートで米ドルに換算される。換算によって生じる実現損益及び未実現損益の変動は、損益計算書に計上される。

当社は投資に係る為替レートの変動により生じる損益と保有有価証券の市場価格の変動により生じる損益を区別していない。このような変動は、投資及び外貨に係る正味実現損益及び未実現損益の変動に含まれる。

（ｈ）法人税等

ケイマン諸島では、収益又は利益に対して課税されることはなく、当社は、税制優遇措置法第６条の規定に従って、将来の収益又は利益に関する現地におけるすべての税金を免除する旨の誓約をケイマン諸島の総督から受け取っている。よって、法人税等に関する引当金は当財務諸表に含まれていない。

当社は、税務調査が実施された場合に、テクニカル・メリットに基づいて容認される可能性が高い（50%超の確率）未確定のタックス・ポジションについてのみ税務便益を認識している。当社は、すべての主要な税管轄区域におけるすべての税務調査対象年度について分析を行っている。税務調査対象年度とは、各管轄区域の出訴期限法で定義された税務当局による税務調査の対象となりうる年度である。

経営陣は当社のタックス・ポジションを分析した結果、未確定のタックス・ポジションに関して税金費用についての負債又は税務便益に対する資産を計上する必要はないと判断した。さらに経営陣は、今後12ヶ月の間に未認識の税務便益の合計額が著しく変化する合理的な可能性のあるタックス・ポジションも存在しないと考えている。

（ｉ）収益及び費用の配分

特定の分別ポートフォリオに関連付けることが可能な収益及び費用は、純資産価額の算定において、該当する分別ポートフォリオに対して配分又は費用計上される。その他の収益及び費用は、分別ポートフォリオ間で比例配分されるか、あるいは取締役会の判断により配分される。

（ｊ）相殺

金融資産及び負債（未決済先物契約に係る未実現損益を含む。）は、当社が認識された金額を相殺する法的な権利を有しており、当該取引を純額ベース又は同時に決済する意図がある場合は相殺され、純額で貸借対照表に計上される。当期、当社は相殺の要件を満たしていない。

（ｋ）未払買戻金

保有者又は当社の選択により買い戻される参加型株式は、買戻請求を受領し、買戻金額が確定した時点で未払買戻金として分類される。

（ｌ）公正価値による投資の評価　－　定義及び階層

USGAAPは公正価値の階層を規定しており、公正価値を測定する際に用いられる評価手法への入力データの優先順位を、以下に説明される３つのレベルに分類している。

レベル１：　活発な市場における同一資産又は負債について経営陣が入手可能な未調整の相場価格に基づく評価。レベル１の有価証券に対しては、評価調整及び大量保有による割引価値の利用は適用されない。評価は活発な市場において容易にかつ定期的に入手可能な相場価格に基づいているため、当該レベルに分類される有価証券の評価については重要な判断は必要とされない。

レベル２：　活発でない市場における相場価格、あるいは重要なデータがすべて直接又は間接的に観察可能な価格に基づく評価。

レベル３：　公正価値測定の全体に対して重要であるが観察不能なデータに基づく評価。

下表は、上述の公正価値の階層に基づく2023年12月31日現在のマスターファンドの投資に係る評価の概要である。

分別ポートフォリオA	合計	レベル１	レベル２
	（米ドル）	（米ドル）	（米ドル）
MMFへの投資	44,273	44,273	－
合計	44,273	44,273	－

分別ポートフォリオB－資産	合計	レベル１	レベル２
	（米ドル）	（米ドル）	（米ドル）
MMFへの投資	607,192	607,192	－
先物契約に係る未実現利益	5	5	－
合計	607,197	607,197	－

分別ポートフォリオB－負債	合計	レベル１	レベル２
	（米ドル）	（米ドル）	（米ドル）
先物契約に係る未実現損失	(98,831)	－	(98,831)

合計	(98,831)	－	(98,831)

マスターファンドによって保有される投資に関する公正価値の階層については、マスターファンドの財務諸表の注記２（ｆ）に開示されている。

３．現金

現金には、要求払いの預金が含まれる。

４．ブローカーに対する債権

ブローカーに対する債権には、ＡＤＭインベスター・サービシズ・インクに預けている現金残高が含まれている。スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオＢのブローカーに対する債権には、未決済先物契約に関して担保として差し入れられている証拠金178,200米ドルが含まれる

５．デリバティブ契約

スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオＢは、様々な先物契約及び先渡契約をトレーディング目的で行っており、これらの金融商品は主に金利、為替レート、株価及びコモディティ価格に関するリスクにさらされている。これらのリスクに加えて、デリバティブ契約への投資は、その投資全体又は一部に損失を生じさせる可能性のある別のリスクにもさらされている。

スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオＢはデリバティブ取引を時価評価している。公正価値は市場価格を用いて決定されている。2023年12月31日現在でスーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオＢが保有しているデリバティブの公正価値は、貸借対照表に個別項目として記載されている。

下表は、2023年12月31日現在におけるデリバティブ契約の公正価値を、資産及び負債価値並びに契約種類ごとに分けて示したものである。当該金額は、貸借対照表の未決済先物契約及び未決済先渡契約に係る未実現損益に含まれている。また下表は、デリバティブに関する実現損益及び未実現損益を契約種類ごとに示しており、当該金額は損益計算書の投資及び外貨に係る正味実現損益並びに投資及び外貨に係る未実現損益の変動に含まれている。

また下表は、2023年12月31日現在の未決済契約の想定元本も契約種類ごとに示している。

	デリバティブ資産	想定元本	デリバティブ負債	想定元本	未実現利益／（損失）	実現利益／（損失）
	米ドル	米ドル	米ドル	米ドル	米ドル	米ドル
先物契約						
金属	5	120,430	(98,831)	2,047,310	(414,906)	315,186
合計	**5**	**120,430**	**(98,831)**	**2,047,310**	**(414,906)**	**315,186**

2023年12月31日現在の保有デリバティブ商品及びその損益計算書への影響額は、当期中におけるスーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオＢのデリバティブ取引高を示している。

６．正味払込資本

	米ドル
授権株式：	
１株当たり額面0.01米ドルの発起人株式100株	1
１株当たり額面0.01米ドルの参加型株式99,999,900株	999,999
	1,000,000

	株式数
発行済み及び全額払込済み：	
発起人株式	**100**
スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオA	
クラスA（米ドル）株式：	
期首残高	**45,325.66**
期末残高	**45,325.66**
スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオB	
クラスB（米ドル）株式：	
期首残高	**26,433.13**
期中の買戻し	**(3,476.13)**
期末残高	**22,967.00**

	株式数
スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオB	
クラスジャパン（円）株式：	
期首残高	**655,418.42**
期中の発行	**4,158.67**
期中の買戻し	**(146,086.79)**
期末残高	**513,490.30**
スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオB	
クラスジャパン（米ドル）株式：	
期首残高	**168,020.69**
期中の買戻し	**(21,342.73)**
期末残高	**146,677.96**
スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオB	
クラスシルバー（米ドル）株式：	
期首残高	**235,733.95**
期中の買戻し	**(2,280.51)**
期末残高	**233,453.44**
スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオB	
クラスシルバー（円）株式：	
期首残高	**105,414.19**
期中の発行	**7,344.84**
期中の買戻し	**(2,636.65)**
期末残高	**110,122.38**
スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオB	
クラスB（ユーロ）株式：	
期首残高	**11,519.76**
期末残高	**11,519.76**
スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオC	
クラスC（米ドル）株式：	
期首残高	**241,749.68**
期末残高	**241,749.68**
スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオC	
クラスC（ユーロ）株式：	
期首残高	**23,904.42**
期末残高	**23,904.42**

	株式数
スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオC	
クラスCジャパン（円）株式：	
期首残高	**132,938.04**
期中の発行	**3,417.86**
期中の買戻し	**(15,308.86)**
期末残高	**121,047.04**

スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオC	
クラスCジャパン（米ドル）株式：	
期首残高	**121,598.56**
期中の発行	**2,596.94**
期中の買戻し	**(7,288.05)**
期末残高	**116,907.45**

2023年12月31日現在、当社の発起人株式は、当社の元取締役でもあるスーパーファンド・キャピタル・マネジメント・インク（以下、「投資顧問会社」という。）の株主が保有している。

当該株式に付随する権利は以下のとおりである。

発起人株式

発起人株式は、額面価額でのみ発行することが可能で、保有者の選択により買戻すことはできない。発起人株式は、１株当たり１票の議決権を有し、当社の解散時には以下に記載されている権利が与えられるが、当社の利益又は資産に関するその他の権利は与えられていない。

参加型株式

取締役会の決議により、当社は2018年４月１日から毎週換金できるようになった。参加型株式は、クラスA（米ドル）株式、クラスAジャパン（円）株式、クラスB（ユーロ）株式、クラスB（米ドル）株式、クラスジャパン（米ドル）株式、クラスシルバー（米ドル）株式、クラスB（円）株式、クラスジャパン（円）株式、クラスシルバー（円）株式、クラスC（米ドル）株式、クラスC（ユーロ）株式、クラスCジャパン（円）株式及びクラスCジャパン（米ドル）株式につき、該当する取引日ごとに、あるいは取締役の裁量により、各分別ポートフォリオの１株当たり純資産価額で買戻すことができるが、定款で認められている事項に関する場合を除き議決権は与えられていない。参加型株式の保有者は、保有株式に対して払い込んだ金額の割合に応じて、宣言され支払われる配当を受け取る権利を有している。

株式に付随する権利は、分別ポートフォリオの発行済み株式のすべての株主による書面での同意をもって、あるいは該当する分別ポートフォリオの株主総会において４分の３以上の同意により可決した特別決議の承認をもって変更することができる。

当社が解散する際に、分別ポートフォリオ及び一般資産はまず、それぞれ分別ポートフォリオの債権者及び一般債権者の債権の弁済に充当される。一般資産の残高がある場合は、発起人株式の払込済みの額面金額返済に使用され、残りは純資産価額に基づき、分別ポートフォリオに割り当てられる。各分別ポートフォリオの資産は、保有株式数に応じて各分別ポートフォリオの株主に支払われる。分別ポートフォリオに複数クラスの参加型株式が存在する場合、分別ポートフォリオの資産は、関連する純資産価額に基づき各クラスに比例配分された後、保有しているクラスの参加型株式数に応じて株主に支払われる。

７．管理報酬

当社の投資活動は、共通支配下に置かれている関連当事者である投資顧問会社により管理されている。

投資顧問契約の条件に基づいて、投資顧問会社は、クラスＡジャパン（円）株式、クラスジャパン（米ドル）株式、クラスジャパン（円）株式、クラスシルバー（円）株式、クラスシルバー（米ドル）株式、クラスＣジャパン（円）株式、クラスＣジャパン（米ドル）株式の純資産価額の２％（年率）の管理報酬を、それ以外の株式クラスに関してはそれぞれの純資産の３％（年率）の管理報酬を月次で後払いで受領している。

2023年12月31日現在、未払金及び未払費用に含まれている未払管理報酬は、スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオＡに関しては603米ドル、スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオＢに関しては10,872米ドル、スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオＣに関しては4,723米ドルである。

８．成功報酬

また、投資顧問会社は、投資顧問契約で定義されているとおり、各株式クラスの１株当たり純資産価額の増加分に対して、スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオＡのクラスＡ（米ドル）については20%、クラスＡジャパン（円）については15%、スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオＢのクラスＢ（ユーロ）、クラスＢ（米ドル）、クラスＢ（円）については25%、クラスジャパン（米ドル）、クラスジャパン（円）、クラスシルバー（米ドル）、クラスシルバー（円）については20%、スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオＣのクラスＣ（米ドル）及びクラスＣ（ユーロ）については30%、クラスＣジャパン（円）、クラスＣジャパン（米ドル）については20%を成功報酬として受け取る権利を有している。成功報酬は、分別ポートフォリオに関するその他のすべての報酬及び費用を控除後の純資産価額に基づいて計算され、月次で支払われる。

2023年12月31日に終了した年度において成功報酬は発生せず、また、年度末時点でスーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオＡ、Ｂ及びＣに関する未払成功報酬の残高はなかった。

成功報酬は、独立第三者間の交渉により設定されたものではないため、投資顧問会社に対して支払われる成功報酬は、かかる契約がない場合に比べてリスクが高い、又はより投機的な投資を行う誘因となる可能性がある。

９．販売会社報酬

共通支配下に置かれている関連当事者であるスーパーファンド・ディストリビューション・アンド・インベストメント・インク（以下、「販売会社」という。）は、当社株式の販売会社として業務を行っており、各分別ポートフォリオの参加型株式の純資産価額の1.8%（年率）相当の販売会社報酬を月次で後払いで受け取る権利を有している。

2023年12月31日現在、未払金及び未払費用に含まれている未払販売会社報酬は、スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオＡに関しては362米ドル、スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオＢに関しては9,614米ドル、スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオＣに関しては3,262米ドルである。

販売会社は、取締役の判断により、各申込に関して７％を上限とした申込手数料を受け取る権利を有している。当期中に申込手数料は発生していない。

10．事務管理報酬

事務管理契約に基づいて、マスターファンドはＮＡＶファンド・アドミニストレーション・グループ（以下、「当管理会社」という。）に対し、マスターファンドの純資産価額の総額が０米ドルから5,000万米ドルの間の場合は年率0.042%、マスターファンドの純資産価額の総額が5,000万米ドルから１億米ドルの間の場合は年率0.0245%、マスターファンドの純資産価額の総額が１億米ドル超の場合は年率0.007%の事務管理報酬を毎月後払いで支払っており、最低事務管理報酬は月額1,500米ドルである。

2023年12月31日現在、未払となっている事務管理報酬はスーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオＡにつき2,049米ドル、分別ポートフォリオＢにつき2,049米ドル、分別ポートフォリオＣにつき1,950米ドルである。

11. 株式買戻手数料

当初申込から12ヶ月以内に買戻しが行われるか、あるいは取締役による強制的な買戻しが行われる場合、取締役の判断により、買戻価格の２％の買戻手数料が発生し、投資顧問会社に支払われる可能性がある。

2023年12月31日現在、未払買戻手数料の残高はない。

12. 関連当事者間取引

2023年12月31日現在、クラスＡ（米ドル）株式811.47株、クラスＢジャパン（円）株式513,490.14株、クラスＢジャパン（米ドル）株式146,677.96株、クラスＢシルバー（米ドル）株式231,241.16株、クラスＢシルバー（円）株式110,122.38株、クラスＣジャパン（円）株式121,047.04株、クラスＣジャパン（米ドル）株式116,907.45株、及びクラスＣ（ユーロ）株式23,903.44株が、関連当事者によって保有されている。

投資顧問及び販売会社は共通支配下に置かれている関連当事者である。投資顧問及び販売会社に対して未払いの手数料は、独立第三者間の交渉により設定されたものではない。

13. 金融商品及び関連するリスク

当社のマスターファンドへの投資は、間接的に、マスターファンドの投資対象である金融商品及び市場に関連する多様なリスクにさらされている。

当社がさらされている金融リスクの種類は、市場リスク、信用リスク及び流動性リスクである。マスターファンドがさらされている金融リスクに関しては、マスターファンドの財務諸表を参照のこと。

マスターファンドが保有する投資に関する詳細（投資を公正価値で測定する際に用いられる市場価格の観察可能性のレベル、並びに2023年12月31日に終了した年度にマスターファンドが保有していたデリバティブに関連する損益に関する内訳を含む）については、本報告書に含まれているマスターファンドの財務諸表注記に開示されている。

市場リスク、信用リスク及び流動性リスク

通常の事業の過程において、スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオＢは、市場リスク、信用リスク及び流動性リスクを招く可能性のある様々な金融商品を売買しており、そのリスクの金額は、財務諸表からは明白ではない。市場リスクとは、金利、為替レート又は株式及びコモディティ価格の変動が、マスターファンドの保有しているポジションに影響を及ぼすリスクである。スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオＢは、市場価格で評価されている金融商品に関する市場リスクにさらされている。

投資戦略の一環として、スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオＢは先物契約を締結している。先物契約は組織化された取引所で売買されており、現金又は市場性のある有価証券による証拠金（担保）が要求される。証拠金は日次で時価評価される先物契約の価値の変動を反映するために調整される。先物契約保有者にとって契約内容の履行に関する相手先は相殺ポジションを保有する事業体ではなく取引所である。

当社は、マネーマーケットファンドに投資する。ＭＭＦは、財務省証券、コマーシャルペーパー、預金証書などの高い信用格付けを備えた流動性の高い現金および現金同等物にのみ投資する。マネーマーケットミューチュアルファンドとも呼ばれるこれらのファンドは、主に13か月未満の短期満期でかつ、非常に低いレベルのリスクで高い流動性を提供する債券ベースの証券に投資する。

市場リスクは、金融商品の基礎となる為替レート、指標、コモディティ及び有価証券の価値の潜在的変動により生じる。その他の市場リスクには、契約の価値の変動が、基礎となる通貨、コモディティ又は株式指標の価値の変動と直接相関していない可能性が含まれる。先物契約の取引には、マスターファンドの投資収益率が上がるとともに通常の投資リスクを上回る特定のリスクが伴う可能性がある。

信用リスクとは、契約相手が債務不履行に陥るリスクである。信用リスクは、通常、取引所外で金融商品の取引を行う場合に高くなる。これは、取引所外で取引される金融商品の契約相手は、取引所清算機関の履行保証を受けていないためである。経営陣はブローカーの信用格付け及び取引結果をレビューし、当社の信用リスクの集中について問題はないと考えている。

先物市場は変動が非常に大きく、需給関係の変動、政府のプログラム及び政策、国内外の政治及び経済事象、並びに金利の変動等の要因による影響を受ける。さらに、通常、先物取引において要求される証拠金比率は低いため、先物商品勘定のレバレッジ率が高くなる傾向がある。その結果、先物契約における比較的少額の価格変動がマスターファンドに多額の損失を発生させる可能性がある。また先物取引の流動性が低い可能性もある。特定の先物取引所は特定の先物契約に関して、１日の取引における価格変動の制限値を越える価格での取引を認めていない。この１日の取引における価格変動の制限値を超えて価格が変動した場合、当社は不利なポジションを即時に処分することができず、多額の損失を被る可能性がある。

投資戦略の一環として、当社はレバレッジを利用している。レバレッジの概念は、当社の借入費用が、一般的に、保有する投資の収益率を下回るという前提に基づいている。レバレッジの利用により、当社に投資された株主資本に対する収益率が上がる可能性がある一方で、当該株主資本の損失リスクも増える。

経営陣は、レバレッジ水準を維持するための内部指針及び制限値を設定している。

14. 財務ハイライト

スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオA（米ドル）	米ドル
１株当たりの業績（期中発行済み参加型株式に関して）（1）	
期首の参加型株式１株当たり純資産価額	7.02
投資活動による収入	
正味投資損失	(0.60)
投資及び外貨に係る正味実現損失及び未実現損失の変動	(1.17)
投資活動による損失合計	(1.77)
期末の参加型株式１株当たり純資産価額	5.25
総利回り（2）	(25.14)%
補足情報：	
平均純資産比率	
営業及びその他費用	(12.77)%
正味投資損失（成功報酬を除く）	(10.64)%

（１）期中平均発行済み株式数に基づく。
（２）各投資家の利回りは、株式の申込み及び買戻しの時期により異なる可能性がある。

スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオB（米ドル）	米ドル
１株当たりの業績（期中発行済み参加型株式に関して）（1）	
期首の参加型株式１株当たり純資産価額	8.39
投資活動による収入	
正味投資損失	(0.15)
投資及び外貨に係る正味実現損失及び未実現損失の変動	(2.08)
投資活動による損失合計	(2.23)
期末の参加型株式１株当たり純資産価額	6.16
総利回り（2）	(26.65)%
補足情報：	
平均純資産比率	
営業及びその他費用	(5.58)%
正味投資損失（成功報酬除く）	(2.88)%

（１）期中平均発行済み株式数に基づく。

（２）各投資家の利回りは、株式の申込み及び買戻しの時期により異なる可能性がある。

スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオＢジャパン（円）	円
１株当たりの業績（期中発行済み参加型株式に関して）（1）	
期首の参加型株式１株当たり純資産価額	952.25
投資活動による収入	
正味投資損失	(8.79)
投資及び外貨に係る正味実現損失及び未実現損失の変動	(256.59)
投資活動による損失合計	(265.38)
期末の参加型株式１株当たり純資産価額	686.87
成功報酬前総利回り	(27.87)%
成功報酬	0.00 %
総利回り（2）	(27.87)%
補足情報：	
平均純資産比率	
営業及びその他費用	(4.59)%
成功報酬	0.00 %
費用合計	(4.59)%
正味投資損失（成功報酬を除く）	(1.88)%

（１）発行以降の当期中の平均発行済み株式数に基づく。

（２）各投資家の利回りは、株式の申込み及び買戻しの時期により異なる可能性がある。

スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオＢジャパン（米ドル）	米ドル
１株当たりの業績（期中発行済み参加型株式に関して）（1）	
期首の参加型株式１株当たり純資産価額	7.63
投資活動による収入	
正味投資損失	(0.06)
投資及び外貨に係る正味実現損失及び未実現損失の変動	(1.91)
投資活動による損失合計	(1.97)
期末の参加型株式１株当たり純資産価額	5.66
成功報酬前総利回り	(25.82)%
成功報酬	0.00 %

総利回り（2）	(25.82)%

補足情報：

平均純資産比率	
営業及びその他費用	(4.58)%
成功報酬	0.00 %
費用合計	(4.58)%
正味投資損失（成功報酬を除く）	(1.90)%

（１）発行以降の当期中の平均発行済み株式数に基づく。
（２）各投資家の利回りは、株式の申込み及び買戻しの時期により異なる可能性がある。

スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオＢシルバー（米ドル）	米ドル
１株当たりの業績（期中発行済み参加型株式に関して）（1）	
期首の参加型株式１株当たり純資産価額	11.20
投資活動による収入	
正味投資損失	(0.16)
投資及び外貨に係る正味実現及び未実現損失の変動	(2.89)
投資活動による損失合計	(3.05)
期末の参加型株式１株当たり純資産価額	8.15
成功報酬前総利回り	(27.23)%
成功報酬	0.00 %
総利回り（2）	(27.23)%

補足情報：

平均純資産比率	
営業及びその他費用	(4.59)%
正味投資損失（成功報酬を除く）	(1.87)%

（１）発行以降の当期中の平均発行済み株式数に基づく。
（２）各投資家の利回りは、株式の申込み及び買戻しの時期により異なる可能性がある。

スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオＢシルバー（円）	米ドル
１株当たりの業績（期中発行済み参加型株式に関して）（1）	
期首の参加型株式１株当たり純資産価額	11.20

投資活動による収入	
正味投資損失	(0.17)
投資及び外貨に係る正味実現損失及び未実現損失の変動	(2.88)
投資活動による損失合計	(3.05)
期末の参加型株式１株当たり純資産価額	8.15
成功報酬前総利回り	(27.23)%
成功報酬	0.00 %
総利回り（2）	(27.23)%
補足情報：	
平均純資産比率	
営業及びその他費用	(4.59)%
正味投資損失（成功報酬を除く）	(1.87)%

（１）発行以降の当期中の平均発行済み株式数に基づく。
（２）各投資家の利回りは、株式の申込み及び買戻しの時期により異なる可能性がある。

スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオB クラスB（ユーロ）	ユーロ
１株当たりの業績（期中発行済み参加型株式に関して）（1）	
期首の参加型株式１株当たり純資産価額	8.83
投資活動による収入	
正味投資利益	0.49
投資及び外貨に係る正味実現損失及び未実現損失の変動	(2.13)
投資活動による損失合計	(1.64)
期末の参加型株式１株当たり純資産価額	7.19
成功報酬前総利回り	(18.50)%
成功報酬	0.00 %
総利回り（2）	(18.50)%
補足情報：	
平均純資産比率	
営業及びその他費用	(5.59)%
成功報酬	0.00 %
費用合計	(5.59)%
正味投資損失（成功報酬を除く）	6.70 %

（１）発行以降の当期中の平均発行済み株式数に基づく。
（２）各投資家の利回りは、株式の申込み及び買戻しの時期により異なる可能性がある。
（３）株式は2023年９月21日に１口当たり10ユーロで発行された。

（４）平均純資産比率は年換算されていない。

スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオC（米ドル）	米ドル
１株当たりの業績（期中発行済み参加型株式に関して）（1）	
期首の参加型株式１株当たり純資産価額	6.70
投資活動による収入	
正味投資損失	(0.18)
投資及び外貨に係る正味実現損失及び未実現損失の変動	(2.08)
投資活動による損失合計	(2.26)
期末の参加型株式１株当たり純資産価額	4.44
総利回り（2）	(33.73)%
補足情報：	
平均純資産比率	
営業及びその他費用	(6.35)%
正味投資損失（成功報酬を除く）	(3.76)%

（１）期中平均発行済み株式数に基づく。
（２）各投資家の利回りは、株式の申込み及び買戻しの時期により異なる可能性がある。

スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオCジャパン（円）	円
１株当たりの業績（（期中発行済み参加型株式に関して）1）	
期首の参加型株式１株当たり純資産価額	972.04
投資活動による収入	
正味投資損失	(19.32)
投資及び外貨に係る正味実現損失及び未実現損失の変動	(336.32)
投資活動による損失合計	(355.64)
期末の参加型株式１株当たり純資産価額	616.40
成功報酬前総利回り	(36.59)%
成功報酬	0.00 %
総利回り（2）	(36.59)%
補足情報：	
平均純資産比率	
営業及びその他費用	(5.35)%
成功報酬	0.00 %
費用合計	(5.35)%

正味投資損失（成功報酬を除く）	(2.76)%

（１）発行以降の当期中の平均発行済み株式数に基づく。
（２）各投資家の利回りは、株式の申込み及び買戻しの時期により異なる可能性がある。

スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオC（ユーロ）	ユーロ
１株当たりの業績（期中発行済み参加型株式に関して）(1)	
期首の参加型株式１株当たり純資産価額	6.60
投資活動による収入	
正味投資損失	(0.19)
投資及び外貨に係る正味実現損失及び未実現損失の変動	(2.12)
投資活動による損失合計	(2.31)
期末の参加型株式１株当たり純資産価額	4.29
総利回り(2)	(35.00)%
補足情報：	
平均純資産比率	
営業及びその他費用	(6.35)%
正味投資損失（成功報酬を除く）	(3.75)%

（１）期中平均発行済み株式数に基づく。
（２）各投資家の利回りは、株式の申込み及び買戻しの時期により異なる可能性がある。

スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオCジャパン（米ドル）	米ドル
１株当たりの業績（期中発行済み参加型株式に関して）(1)	
期首の参加型株式１株当たり純資産価額	6.87
投資活動による収入	
正味投資損失	(0.13)
投資及び外貨に係る正味実現損失及び未実現損失の変動	(2.15)
投資活動による損失合計	(2.28)
期末の参加型株式１株当たり純資産価額	4.59
成功報酬前総利回り	(33.16)%
成功報酬	0.00 %
総利回り(2)	(33.16)%

補足情報：

平均純資産比率（４）

営業及びその他費用	(5.35)%
成功報酬	0.00 %
費用合計	(5.35)%
正味投資損失（成功報酬を除く）	(2.76)%

（１）発行以降の当期中の平均発行済み株式数に基づく。

（２）各投資家の利回りは、株式の申込み及び買戻しの時期により異なる可能性がある。

15. 後発事象

これらの財務諸表を作成するにあたり、経営陣は、当該財務諸表の公表が可能となった2024年６月14日までのすべての重要な後発事象を評価し、開示した。

2023年12月31日の後に処理された申込はなく、分別ポートフォリオＡに対し682米ドル、分別ポートフォリオＢに対し51,462米ドルの買戻しが処理された。

次へ

スーパーファンド・グリーン・マスター
賃借対照表

2023年12月31日現在
（単位：米ドル）

	注記	米ドル	千円
資産			
MMFへの投資（原価：7,353,773米ドル）	2(g),4	7,353,773	1,152,630
有価証券への投資（原価：1,146,738米ドル）	2(g)	1,146,738	179,740
現金		99,180	15,545
ブローカーに対する債権	3	25,861,459	4,053,525
未決済先物契約に係る未実現利益	2(f),4,5	1,200,154	188,112
未決済先渡契約に係る未実現利益	2(f),4,5	203,120	31,837
その他の資産		9,811	1,538
		35,874,235	5,622,928
負債			
ブローカーに対する債務	3	18,213,275	2,854,749
未決済先物契約に係る未実現損失	2(f),4,5	611,489	95,845
未決済先渡契約に係る未実現損失	2(f),4,5	299,070	46,876
未払買戻金		50,672	7,942
未払金及び未払費用	8,10	29,437	4,614
		19,203,943	3,010,026
純資産		16,670,292	2,612,902

	米ドル	円
クラスA株式１株当たり純資産：（発行済 30,035.96 株に基づく）	46.22	7,244.52
クラスBマスター株式１株当たり純資産：（発行済 24,235.13 株に基づく）	184.82	28,968.69

	ユーロ	円
クラスCマスター株式１株当たり純資産：（発行済 51,997.07 株に基づく）	148.01	25,129.14

	円
クラスEマスター株式１株当たり純資産：（発行済 37,657.22 株に基づく）	8,640.98

添付の財務諸表注記参照。

スーパーファンド・グリーン・マスター

要約投資明細書

2023年12月31日現在

（単位：米ドル）

銘柄（純資産における%）	株数	原価	公正価値
MMFへの投資（51.00%）			
ブラックロック・インスト・米ドル・リクイディティ・コア（11.03%）	1,838,443.03	1,838,443	1,838,443
ゴールドマンサックス・米ドル・リキッド・リザーブズ・インスト499（11.03%）	1,838,443.03	1,838,443	1,838,443
インベスコ・グローバル・米ドル・コーポ1937（11.03%）	1,838,442.98	1,838,443	1,838,443
JPモルガン・米ドル・リクイディティインスト U39（11.03%）	1,838,443.77	1,838,444	1,838,444
MMFへの投資合計		米ドル	7,353,773

銘柄（純資産における%）	元本	原価	公正価値
有価証券への投資（6.88%）			
米国財務省短期証券（ＴＢ）、0.0%、満期日2024年３月19日（6.88%）	1,160,000	1,146,738	1,146,738
有価証券への投資合計		米ドル	1,146,738

銘柄（純資産における%）	満期	想定元本	公正価値
先物契約（7.19%）			
債券先物（1.98%）	2024年２月～2025年３月	69,183,163	330,766
通貨（0.81%）	2024年３月	17,930,719	134,200
コモディティ（0.11%）	2024年２～３月	1,471,983	18,465
エネルギー（0.49%）	2024年１～４月	1,634,224	81,917
食品／繊維／木材／ゴム（0.35%）	2024年３月	1,594,684	59,144
金（0.00%）	2024年２～10月	614,688	575
インデックス（2.08%）	2024年１～３月	16,208,429	346,260
金属（1.37%）	2024年３～10月	6,098,862	228,827
先物契約に係る未実現利益		米ドル	1,200,154

銘柄（純資産における%）	満期	想定元本	公正価値
先物契約（−3.66%）			
債券先物（−0.51%）	2024年１～９月	39,521,988	(84,643)
通貨（−0.21%）	2024年１～３月	6,152,302	(34,676)
コモディティ（−0.13%）	2024年２～３月	1,339,005	(22,150)
エネルギー（−0.30%）	2024年２～５月	1,451,638	(50,395)
食品／繊維／木材／ゴム（−0.09%）	2024年３～５月	1,006,730	(15,340)
金（−0.06%）	2024年２～10月	1,443,394	(10,210)
インデックス（−0.76%）	2024年１～３月	13,121,888	(127,262)
金属（−1.60%）	2024年３月	4,780,005	(266,813)
先物契約に係る未実現損失		米ドル	(611,489)

銘柄（純資産における%）	満期	想定元本	公正価値
先渡契約（1.22%）			
外国為替（1.22%）	2024年３月	16,453,917	203,120
先渡契約に係る未実現利益		米ドル	203,120

銘柄（純資産における%）	満期	想定元本	公正価値
先渡契約（−1.79%）			
外国為替（−1.79%）	2024年３月	22,723,473	(299,070)
先渡契約に係る未実現損失		米ドル	(299,070)

添付の財務諸表注記参照。

スーパーファンド・グリーン・マスター
損益計算書

2023年12月31日に終了した年度
（単位：米ドル）

	注記	米ドル	千円
収益			
受取利息		508,733	79,739
		508,733	79,739
費用			
事務管理報酬	10	19,500	3,056
専門家手数料		25,614	4,015
管理報酬	8	14,892	2,334
支払利息		12,229	1,917
その他費用		20,398	3,197
		92,633	14,519
正味投資収入		416,100	65,220
投資及び外貨に係る正味実現損失及び未実現損失の変動			
投資及び外貨に係る正味実現損失		(7,829,168)	(1,227,144)
投資及び外貨に係る未実現損失の変動		(812,527)	(127,355)
		(8,641,695)	(1,354,499)
営業活動から生じた純資産の正味減少額		(8,225,595)	(1,289,280)

添付の財務諸表注記参照。

スーパーファンド・グリーン・マスター
純資産変動計算書

2023年12月31日に終了した年度
（単位：米ドル）

	米ドル	千円
営業活動		
正味投資収入	416,100	65,220
投資及び外貨に係る正味実現損失	(7,829,168)	(1,227,144)
投資及び外貨に係る未実現損失の変動	(812,527)	(127,355)
	(8,225,595)	(1,289,280)
資本取引		
クラスＢマスター株式の発行による収入	1,770,396	277,492
クラスＣマスター株式の発行による収入	826,698	129,577
クラスＥマスター株式の発行による収入	490,773	76,924
クラスＢマスター株式の買戻しに係る支払	(1,206,262)	(189,070)
クラスＣマスター株式の買戻しに係る支払	(1,354,806)	(212,352)
クラスＥマスター株式の買戻しに係る支払	(969,367)	(151,939)
	(442,568)	(69,368)
当期純資産減少額	(8,668,163)	(1,358,648)
期首純資産残高	25,338,455	3,971,549
期末純資産残高	16,670,292	2,612,902
期末純資産残高の内訳		
クラスＡ株式	1,388,338	217,608
クラスＢマスター株式	4,479,215	702,072
クラスＣマスター株式	8,495,685	1,331,614
クラスＥマスター株式	2,307,054	361,608
	16,670,292	2,612,902

添付の財務諸表注記参照。

財務諸表注記

2023年12月31日現在（単位：米ドル）

１．設立及び主な活動

スーパーファンド・グリーン・マスター（以下、「マスターファンド」という。）は、2001年３月22日にケイマン諸島の会社法に基づいて適用免除会社として設立され、2001年４月２日にケイマン諸島のミューチュアル・ファンド法に基づいて登録された。

2023年12月31日現在、マスターファンドはクラスＡ、クラスＢ、クラスＣ及びクラスＥの４種類の有効な株式を発行しており、そのうちクラスＢ、クラスＣ及びクラスＥについては、それぞれクラスＢマスター株式、クラスＣマスター株式及びクラスＥマスター株式（以下、総称して「マスター株式」という。）を販売している。2023年12月31日に終了した年度において、クラスＤ又はＦマスター株式は発行されていない。マスター株式は、「マスター・フィーダー」構造の一部として販売され、クラスＢ、クラスＣ及びクラスＥは、スーパーファンド・グループの他のファンドのマスターファンドとしての役割を担っている。クラスＡ株式については、依然として追加販売は行われていない。

スーパーファンド・キャピタル・マネジメント・インク（以下、「投資顧問会社」という。）が、投資顧問契約に基づいて、マスターファンドの投資顧問会社を務めている。マスターファンドの目的は、投資家に対して、資本及び有価証券市場の発展とは関係なく、平均以上の長期的キャピタル・ゲインを達成するための投資を提供することである。マスターファンドは、投資の機会及び取引戦略を有効に利用する予定であるため、将来の投資の性質に関してあらかじめ見通しを立てておらず、制限条項もない。

２．重要な会計方針

当財務諸表は、米国会計基準審議会（以下、「FASB」という。）の会計基準編纂書（以下、「ASC」という。）に詳述される米国で一般に公正妥当と認められる会計原則（以下、「US GAAP」という。）に従って作成されている。マスターファンドはUS GAAPにおける投資会社に該当するため、FASB ASC 946「金融サービス－投資会社」に規定される投資会社向けの会計・報告指針に従っている。

マスターファンドが適用した重要な会計方針は以下のとおりである。

（ａ）見積りの使用

GAAPに準拠した財務諸表の作成にあたって、経営陣は、財務諸表日現在の資産及び負債の報告金額並びに偶発資産及び負債の開示、並びに報告期間中の収益及び費用の報告額に影響を及ぼす見積り及び仮定を行うことが求められている。実際の結果は、それらの見積りとは異なる可能性がある。

（ｂ）ＭＭＦへの投資

ＭＭＦへの投資は、取引日基準で会計処理される。投資は当初取得原価で測定される。当初認識の後、投資は公正価値で測定される。公正価値は、各マネー・マーケット・ファンドによって報告されている通りにマスターファンドに帰属する純資産として決定される。未実現損益の実現及び変動は損益計算書に含まれている。

（ｃ）有価証券への投資

マスターファンドの有価証券への投資は、米国財務省短期証券（T-Bill）への投資で構成されている。これらの投資は活発な市場における相場価格を用いて評価される。実現損益および未実現損益は損益計算書に含まれている。

（ｄ）ファンドへの投資

投資ファンドへの投資は、投資ファンドの経営陣によって報告された純資産価額（「NAV」）で表示される。投資ファンドの運用契約の償還および流動性の条件に従って、マスターファンドの投資ファンドに対する持分の売却は、当該投資ファンドの報告されたNAVで取引される。ASU-2015-07では、実務上便宜的にNAVを用いて公正価値を測定しているすべての投資について、公正価値ヒエラルキーに分類する要件が削除された。2023年12月31日時点で、マスターファンドは投資ファンドへの投資残高を保有していなかった。

（ｅ）先物契約

未決済先物契約は、契約価格と、公表レート又は適切なレートが容易に入手できない場合はブローカーが提供するレートに基づく市場価値との差額として計算された公正価値で計上される。実現損益及び未実現損益の変動は、損益計算書に計上される。

（ｆ）先渡契約

未決済先渡契約は、公表フォーワード・レートと売買レートとの差額として計算された公正価値で計上される。実現損益及び未実現損益の変動は、損益計算書に計上される。

（ｇ）公正価値による投資の評価　－　定義及び階層

USGAAPは公正価値の階層を規定しており、公正価値を測定する際に用いられる評価手法への入力データの優先順位を、以下に説明される３つのレベルに分類している。

レベル１：　活発な市場における同一資産又は負債について経営陣が入手可能な未調整の相場価格に基づく評価。レベル１の有価証券に対しては、評価調整及び大量保有による割引価値の利用は適用されない。評価は活発な市場において容易にかつ定期的に入手可能な相場価格に基づいているため、当該レベルに分類される有価証券の評価については重要な判断は必要とされない。

レベル２：　活発でない市場における相場価格、あるいは重要なデータがすべて直接又は間接的に観察可能な価格に基づく評価。

レベル３：　公正価値測定の全体に対して重要であるが観察不能なデータに基づく評価。

下表は、上述の公正価値の階層に基づく2023年12月31日現在のマスターファンドの投資に係る評価の概要である。

資産	合計	レベル１	レベル２
	米ドル	米ドル	米ドル
ＭＭＦへの投資	7,353,773	7,353,773	－
有価証券への投資	1,146,738	1,146,738	
未決済先物契約に係る未実現利益	1,200,154	1,200,154	－
未決済先渡契約に係る未実現利益	203,120	－	203,120
合計	9,903,785	9,700,665	203,120

負債	合計	レベル１	レベル２
	米ドル	米ドル	米ドル
未決済先物契約に係る未実現損失	(611,489)	(611,489)	－
未決済先渡契約に係る未実現損失	(299,070)	－	(299,070)
合計	(910,559)	(611,489)	(299,070)

2023年12月31日に終了した年度において、レベル３として指定された投資及びレベル間での振替はない。

（ｈ）受取利息

受取利息は発生主義で計上される。

（ｉ）外貨

外貨建て又は外貨で会計処理される資産及び負債は、貸借対照表日現在で適用される為替レートで米ドルに換算される。外貨建て取引は取引日の為替レートで米ドルに換算される。換算によって生じる実現損失及び未実現損失の変動は、損益計算書に計上される。

マスターファンドは投資及び現金に係る為替レートの変動により生じる損失と、保有有価証券の市場価格の変動により生じる損失を区別していない。このような変動は損益計算書の投資及び外貨に係る正味実現利益／（損失）及び未実現利益／（損失）の変動に含まれる。

（ｊ）法人税等

ケイマン諸島では、収益又は利益に対して課税されることはなく、当社は、税制優遇措置法第６条の規定に従って、2039年８月20日までの期間における将来の収益又は利益に関するすべての現地における税金を免除する旨の誓約をケイマン諸島の総督から受け取っている。よって、法人税等に関する引当金は当財務諸表に含まれていない。

マスターファンドは、税務調査が実施された場合に、テクニカル・メリットに基づいて容認される可能性が高い（50%超の確率）未確定の申告内容についてのみ税務便益を認識している。マスターファンドは、すべての主要な税管轄区域におけるすべての税務調査対象年度について分析を行っている。税務調査対象年度とは、各管轄区域の出訴期限法で定義された税務当局による税務調査の対象となりうる年度である。

経営陣はマスターファンドの申告内容を分析した結果、未確定の申告内容に関して、税務費用のための負債又は税務便益について資産を計上する必要はないと判断した。さらに経営陣は、今後12ヶ月の間に未認識の税務便益の合計額が著しく変化する合理的な可能性のある申告内容も存在しないと考えている。

（ｋ）収益及び費用の配分

異なるクラス間の利益、損失、収益及び費用（特定の株式クラスに帰属する費用を除く。）の配分は、純資産価額の相対的な割合に基づいて行われている。

（l）相殺

金融資産及び負債（未決済先物契約に係る正味未実現利益（損失）を含む。）は、マスターファンドが認識された金額を相殺する法的な権利を有しており、当該取引を純額ベース又は同時に決済する意図がある場合は相殺され、純額で貸借対照表に計上される。当期、マスターファンドは相殺の要件を満たしていない。

（m）未収買戻金

保有者又はマスターファンドの選択により償還された参加株式は、償還要求が受領され、償還額が決定された時点で未収買戻金として分類される。

（n）最近の会計基準

公開企業に対し、ASU2022-03は、2023年12月15日以降に開始する会計年度およびその会計年度内の中間期間から適用される。その他の企業に対しては、ASU2022-03は、2024年12月15日以降に開始する会計年度およびその会計年度内の中間期間から適用される。この会計基準は、まだ発行されていない、又は発行可能な状態になっていない中間財務諸表と年次財務諸表のどちらに対しても早期適用することが認められている。ASC946の投資会社に該当する企業は、適用日以降に実行又は変更される契約上の売却制限を付された持分証券への投資にASU2022-03を適用しなければならない。ASIJ2022-03の適用日前に締結された契約上売却制限の対象となる持分証券を保有する投資会社は、契約上の制限の終了又は変更まで、ASIJ2022-03の適用前に適用されていた会計方針で持分証券の会計処理を継続する必要がある（つまり、投資会社が公正価値の測定に売却制限の影響を組み込んでいた場合、その会計方針を継続することになる）。

当ファンド／マスターファンドは、本基準の適用が当ファンド／マスターファンドの経営成績、キャッシュ・フロー、財政状態に重要な影響を与えるとは考えていない。

３．ブローカーに対する債権・債務

ブローカーに対する債権・債務には、ADMインベスター・サービシズ・インク及びINTL FCストーンフィナンシャル・インクに預けている現金残高が含まれ、未決済先物契約及び未決済先渡契約に関して担保として差し入れられている証拠金4,045,461米ドルが含まれる。

４．金融商品及び関連するリスク

市場リスク、信用リスク及び流動性リスク

通常の事業の過程において、マスターファンドは、市場リスク、信用リスク及び流動性リスクを招く可能性のある様々な金融商品を売買しており、そのリスクの金額は財務諸表からは明白ではない。

市場リスクとは、金利、為替レート又は株式及びコモディティ価格の変動が、マスターファンドの保有しているポジションに影響を及ぼすリスクである。マスターファンドは、市場価格で評価されている金融商品に関する市場リスクにさらされている。

投資戦略の一環として、マスターファンドは先物契約を締結している。先物契約は組織化された取引所で売買されており、現金又は市場性のある有価証券による当初証拠金（担保）が要求される。当初証拠金は日次で時価評価される先物契約の価値の変動を反映するために調整される。

マスターファンドは先渡契約を締結している。先渡契約は保有される担保の正味額について契約期間中に様々な契約相手から未実現評価増を受けるリスクを含んでいる。当社は、信用力のある契約相手とのみ取引を行うことにより先渡契約の信用リスクを軽減するよう努めている。

マスターファンドはMMFに投資している。マネー・マーケット・ファンドは、非常に流動的な現金及び自己勘定請求書、コマーシャルペーパー及び預金証書などの高い信用格付けを有する現金同等物にのみ投資する。これらのファンドは主に13ヶ月未満の短期満期を有し、非常に低いレベルのリスクで高い流動性を提供している債務証券に投資している。

マスターファンドは、米国財務省短期証券に投資する。米国財務省短期証券は13か月未満の短期満期でかつ、非常に低いレベルのリスクで高い流動性を提供する

マスターファンドは、他の投資ファンドに投資している。2023年12月31日に終了した年度の期間中、マスターファンドの唯一のファンド投資は、スーパーファンド・グリーン・ゴールド・セグリゲイテッド・ポートフォリオ・クリプト・ファンド（以下、「SF Crypto Fund」という。）である。SF Crypto Fundの投資目的は、主要な流動性のある「暗号通貨」の取引所取引先物契約を体系的に取引することで、大きなプラスのリターンを達成することであった。2023年12月31日現在、投資ファンドへの投資はない。

市場リスクは、金融商品の基礎となる為替レート、指数、コモディティ及び有価証券の価値の潜在的変動により生じる。その他の市場リスクには、契約価値の変動が、基礎となる通貨、コモディティ又は株式指標の価値の変動と直接相関していない可能性が含まれる。先物契約の取引には、マスターファンドの投資収益率が上がるとともに通常の投資リスクを上回る特定のリスクが伴う可能性がある。

信用リスクとは、契約相手が債務不履行に陥るリスクである。信用リスクは、一般的に、取引所取引以外の金融商品が含まれる場合に高くなる。これは、取引所外で取引される金融商品の契約相手は、取引所清算機関の履行保証を受けていないためである。マスターファンドは信用リスクの影響を最小限に抑えるために多数のブローカーを利用している。経営陣はブローカーの信用格付け及び取引結果をレビューし、マスターファンドの信用リスクの集中について問題はないと考えている。

先物市場は変動が非常に大きく、需給関係の変動、政府のプログラム及び政策、国内外の政治及び経済事象、並びに金利の変動等の要因による影響を受ける。さらに、通常、先物取引において要求される証拠金比率は低いため、先物商品勘定のレバレッジ率が高くなる傾向がある。その結果、先物契約における比較的少額の価格変動が契約当事者に多額の損失を発生させる可能性がある。また先物取引の流動性が低い可能性もある。特定の先物取引所は特定の先物契約に関して、１日の取引における価格変動の制限値を越える価格での取引を認めていない。この１日の取引における価格変動の制限値を超えて価格が変動した場合、マスターファンドは不利なポジションを即時に処分することができず、多額の損失を被る可能性がある。

投資戦略の一環として、マスターファンドはレバレッジを利用している。レバレッジの概念は、マスターファンドの借入費用が、一般的に、保有する投資の収益率を下回るという前提に基づいている。レバレッジの利用により、マスターファンドが投資した株主資本に対する収益率が上がる可能性がある一方で、当該株主資本の損失リスクも増える。

投資顧問会社は、レバレッジを管理するための内部指針及び制限値を設定している。

５．デリバティブ契約

マスターファンドは様々な先物契約及び先渡契約をトレーディング目的で行っており、これらの金融商品は主に金利、為替レート、株価及びコモディティ価格に関するリスクにさらされている。またデリバティブ契約への投資は、その投資全体又は一部に損失を生じさせる可能性のある別のリスクにもさらされている。

マスターファンドはデリバティブ取引を時価評価ベースで計上している。公正価値は市場価格に基づき決定されている。2023年12月31日現在でマスターファンドが保有しているデリバティブの公正価値は、貸借対照表に個別項目として記載されている。

下表は、2023年12月31日現在におけるデリバティブ契約の公正価値を、資産及び負債価値並びに契約種類ごとに分けて示したものである。当該金額は、貸借対照表の未決済先物契約及び先渡契約に係る未実現

損益に含まれている。また下表には、損益計算書の投資及び外貨に係る正味実現利益（損失）に含まれている契約種類ごとのデリバティブの実現損益が含まれている。

さらに下表は、2023年12月31日現在の未決済契約の想定元本も契約種類ごとに示している。

先渡契約	デリバティブ資産	想定元本	デリバティブ負債	想定元本	未実現利益／（損失）	実現利益／（損失）
債券先物	330,766	69,183,163	(84,643)	39,521,988	(443,606)	47,887
通貨	134,200	17,930,719	(34,676)	6,152,302	(193,819)	(1,382,826)
コモディティ	18,465	1,471,983	(22,150)	1,339,005	(99,240)	489,038
エネルギー	81,917	1,634,224	(50,395)	1,451,638	(123,425)	(2,950,450)
食品／繊維／木材／ゴム	59,144	1,594,684	(15,340)	1,006,730	36,596	(573,379)
金	575	614,688	(10,210)	1,443,394	(20,767)	(265,615)
インデックス	346,260	16,208,429	(127,262)	13,121,888	(8,087)	(696,684)
金属	228,827	6,098,862	(266,813)	4,780,005	(67,709)	(946,801)
米ドル合計	**1,200,154**	**114,736,752**	**(611,489)**	**68,816,950**	**(920,057)**	**(6,278,830)**

先渡契約	デリバティブ資産	想定元本	デリバティブ負債	想定元本	未実現利益／（損失）	実現利益／（損失）
外国為替	203,120	16,453,917	(299,070)	22,723,473	(98,089)	(740,017)
米ドル合計	**203,120**	**16,453,917**	**(299,070)**	**22,723,473**	**(98,089)**	**(740,017)**

2023年12月31日現在、保有デリバティブ商品及びその損益計算書への影響額は、当期中におけるマスターファンドのデリバティブ取引高を示している。

６．株式資本

	2023年
授権株式：	
１株当たり額面0.01米ドルの発起人株式100株	１米ドル
１株当たり額面0.01米ドルの参加型株式99,999,900株	999,999米ドル
	1,000,000米ドル
１株当たり額面0.01ユーロの参加型株式25,000,000株	250,000ユーロ

７．正味払込資本

	株数
発行済み及び全額払込済み：	
発起人株式	1
クラスＡ株式：	
期首残高	30,035.96
期末残高	30,035.96
クラスＢ株式：	
期首残高	22,100.57
期中の発行	8,095.68
期中の買戻し	(5,961.12)
期末残高	24,235.13
クラスＣ株式：	
期首残高	55,683.22
期中の発行	4,546.70
期中の買戻し	(8,232.85)
期末残高	51,997.07
クラスＥ株式：	
期首残高	46,153.18
期中の発行	7,666.18
期中の買戻し	(16,162.14)
期末残高	37,657.22

マスターファンドの発起人株式は投資顧問会社の株主が保有している。クラスＡ株式27,692.88株は、関連会社が保有している。

当該株式に付随する権利は以下のとおりである。

発起人株式

発起人株式は、額面価額でのみ発行することが可能で、株主の選択により買戻すことはできない。発起人株式は、１株当たり１票の議決権を有し、マスターファンドの解散時には以下に記載されている権利が与えられるが、マスターファンドの利益又は資産に関するその他の権利は与えられていない。

参加型株式

参加型株式は、関連する取引日における各株式クラスの１株当たり純資産価額で買戻すことができるが、定款で認められている事項に関する場合を除き議決権は与えられていない。参加型株式の株主は、保有株式に対して払い込んだ金額の割合に応じて、宣言され支払われる配当を受け取る権利を有している。

株式に付随する権利は、クラスの発行済み株式のすべての株主による書面の同意をもって、あるいは該当するクラスの株主総会において４分の３以上の同意により可決した決議の承認をもって変更することができる。

マスターファンドが解散する際に、株主に分配可能な資産は、債権者に対する支払い並びに投資顧問会社、事務管理会社、又はその他の専門的アドバイザーに対する未払報酬の支払いに充当された後、以下の優先順位で支払われる。

・　第一に、参加型株式の保有者に対して、払込済の額面金額相当額が支払われる。
・　第二に、発起人株式の保有者に対して、払込済の額面金額相当額が支払われる。
・　第三に、参加型株式の保有者に対して、保有株式数に応じて残高が支払われる。

2023年12月31日現在、マスターファンドのクラスＣ（ユーロ）参加型株式17,305.63株が関連当事者によって保有されている。

８．管理報酬

マスターファンドの投資活動は、共通支配下に置かれている関連当事者である投資顧問会社により管理されている。投資顧問契約の条件に基づいて、投資顧問会社は、クラスＡ株式の純資産価額の１％（年率）相当の管理報酬を月次で後払いで受領している。

2023年12月31日現在、未払金及び未払費用に含まれている未払管理報酬は1,154米ドルである。

９．成功報酬

また、投資顧問会社は、投資顧問契約で定義されているとおり、クラスＡ株式の純資産価額が過去の最高水準を上回った部分について、増加分の35%を成功報酬として受け取る権利を有している。成功報酬は月次で計算され、後払いされる。2023年12月31日現在、未払成功報酬残高は０米ドルである。

投資顧問会社に対する成功報酬は、独立第三者間の交渉により設定されたものではないため、投資顧問会社に対して支払われる成功報酬は、かかる契約がない場合に比べてリスクが高い、又は投機的な投資を行う誘因となる可能性がある。

10．事務管理報酬

事務管理契約に基づいて、マスターファンドはＮＡＶファンド・アドミニストレーション・グループ（以下、「当管理会社」という。）に対し、マスターファンドの純資産価額の総額が０米ドルから5,000万米ドルの間の場合は年率0.042%、マスターファンドの純資産価額の総額が5,000万米ドルから１億米ドルの間の場合は年率0.0245%、マスターファンドの純資産価額の総額が１億米ドル超の場合は年率0.007%の事務管理報酬を毎月後払いで支払っており、最低事務管理報酬は月額1,500米ドルである。

2023年12月31日現在の未払金及び未払費用に含まれている未払事務管理報酬は3,493米ドルである。

11．公正価値

2023年12月31日現在、経営陣は、金融商品の各クラスの公正価値を見積るにあたり以下の手法及び仮定を使用した。現金、未払買戻金、並びに未払金及び未払費用を含むマスターファンドの特定の金融商品に関しては、これらの金融商品が直ちに期日を迎える又は短期的な性質のものであるため、帳簿価額は公正価値に近似している。

ＭＭＦへの投資は公正価値で測定されている。公正価値は、当該ＭＭＦによって報告されたとおりに、マスターファンドに帰属する純資産として決定される。

米国財務省証券への投資は、活発な市場における相場価格を用いて公正価値で測定している。

未決済の先物契約のポジションは、市場価格又はディーラーによる提示価格に基づく市場価値で計上されているため、帳簿価額は公正価値に近似している。関連プライベート投資ファンドへの投資の公正価値は、実務手段として、投資先ファンド及び／又はその事務管理会社から提供される価値で計上されている。

未決済の先渡契約への投資は、デリバティブ契約が締結された日の公正価値で当初認識されている。先渡契約の公正価値の変動により生じる評価増減は、損益計算書に直接計上されている。当初測定の後は、先渡契約は公正価値で測定されている。

ファンドへの投資は、アンダーライング・ファン及び／又はその事務管理会社から提示された価額が、実務上便宜的に公正価値として計上されている。

公正価値の見積りは、市況及び金融商品に関する情報に基づいて、特定の時点に行われる。これらの見積りは本来主観的なものであり、不確定要因及び重要な判断を伴うため、正確に行えるものではない。仮定の変更により、見積に重要な影響を及ぼす可能性がある。

12. 関連当事者

投資顧問会社は、共通支配下に置かれている関連当事者である。投資顧問会社に支払われる報酬は、独立第三者間の交渉により設定されたものではない。

マスターファンドは、投資会社のスーパーファンド・グループに属するSF Crypto Fundに投資していた。マスターファンドの投資顧問は、SF Crypto Fundの投資顧問も兼ねている。当年度中、この投資の249,242米ドルの売却が行われ、202,843米ドルの実現損失が発生した。

13. 財務ハイライト

	クラスA	クラスB	クラスC	クラスE
	米ドル	米ドル	ユーロ	円
１株当たりの業績（期中発行済み参加型株式に関して）（1）：				
期首の参加型株式１株当たり純資産価額	66.96	265.07	215.71	13,099.64
投資事業による収入				
正味投資利益／（損失）	0.63	4.46	3.61	215.43
投資に係る正味実現損失及び未実現損失の変動	(21.37)	(84.71)	(71.31)	(4,674.09)
投資事業による損失合計	(20.74)	(80.25)	(67.70)	(4,458.66)
期末の参加型株式１株当たり純資産価額	46.22	184.82	148.01	8,640.98
成功報酬前総利回り	(30.97)%	(30.27)%	(31.38)%	(34.04)%
成功報酬	0.00%	0.00 %	0.00 %	0.00 %
総利回り（2）	(30.97)%	(30.27)%	(31.38)%	(34.04)%
補足情報：				
平均純資産比率				
営業費用及びその他費用	(1.40)%	(0.41)%	(0.41)%	(0.41)%
成功報酬	0.00 %	0.00 %	0.00 %	0.00 %
費用合計	(1.40)%	(0.41)%	(0.41)%	(0.41)%
正味投資（損失）／収入（成功報酬を除く）	1.26 %	2.25 %	2.26 %	2.27 %

（１）期中の平均発行済み株式数に基づく。

（２）各投資家の利回りは、株式の申込み及び買戻しの時期により異なる可能性がある。

14. 後発事象

これらの財務諸表を作成するにあたり、経営陣は、当該財務諸表の公表が可能となった2024年６月14日までのすべての重要な後発事象を評価し、開示した。

2023年12月31日より後に処理された申込はなく、約1,196,596米ドルの買戻しが処理された。

次へ

スーパーファンド ＳＰＣ －分別ポートフォリオ・レインボー・オールシーズンズ（旧称「スーパーファンド ＳＰＣ －分別ポートフォリオ・システマティック・オールウェザー・ファンド」

（Superfund SPCの分別ポートフォリオ）

貸借対照表

2023年12月31日現在

（単位：ユーロ）

		2023年	
	注記	ユーロ	千円
資産			
MMFへの投資（原価：337,612ユーロ）		337,612	57,320
現金		2,947,964	500,505
ブローカーに対する債権	3	3,105,779	527,299
未決済先物契約に係る未実現利益	2(e),4,5	382,022	64,860
未決済先渡契約に係る未実現利益	2(e),4,5	46,618	7,915
その他の資産		11,903	2,021
		6,831,898	1,159,920
負債			
ブローカーに対する債務	3	552,128	93,740
未決済先物契約に係る未実現損失	2(e),4,5	64,215	10,902
未決済先渡契約に係る未実現損失	2(e),4,5	51,108	8,677
未払買戻金		79,934	13,571
スーパーファンド・ジャパン サブファンド・レインボー・オールシーズンズへの未払金	12	61,489	10,440
未払金及び未払費用	7,9	27,821	4,723
		836,695	142,054
純資産		5,995,203	1,017,866

	2023年	
	ユーロ	円
クラスＳ（ユーロ）株式１株当たり純資産：（発行済 4,179.68株に基づく）	933.28	158,452.28
クラスＢジャパン（円）株式１株当たり純資産：（発行済 117,596.87 株に基づく）	―	537.22
クラスＢジャパン（ゴールド・ユーロ）株式１株当たり純資産：（発行済 2,084.97株に基づく）		
2023年12月31日現在のクラスＢジャパン（ゴールド・ユーロ）株式の価値合計：822.20オンス（金）	0.39オンス	
2023年12月31日現在の金の価格：2,062.98ユーロ		

添付の財務諸表注記参照。

スーパーファンド ＳＰＣ －分別ポートフォリオ・レインボー・オールシーズンズ（旧称「スーパーファンド ＳＰＣ －分別ポートフォリオ・システマティック・オールウェザー・ファンド」）

（Superfund SPCの分別ポートフォリオ）

要約投資明細書

2023年12月31日現在

（単位：ユーロ）

銘柄（純資産における%）	元本	原価	公正価値
有価証券への投資（5.63%）			
国債（5.63%）			
米国財務省短期証券（ＴＢ）、0.0%、満期日2024年3月19日（5.63%）	338,222	337,612	337,612
有価証券への投資合計		ユーロ	337,612

銘柄（純資産における%）	満期	想定元本	公正価値
先物契約（6.36%）			
債券（2.64%）	2024年２月～2025年５月	9,677,686	158,503
コモディティ（0.00%）	2024年３月	17,867	140
通貨（0.55%）	2024年３月	4,092,281	32,882
エネルギー（0.14%）	2024年１～３月	209,123	8,603
食品／繊維／木材／ゴム（0.11%）	2024年２～３月	314,827	6,409
金（0.64%）	2024年２月	3,026,851	38,610
インデックス（1.80%）	2024年１～３月	4,519,771	107,902
金属（0.48%）	2024年３～10月	747,429	28,973
先物契約に係る未実現利益合計		ユーロ	382,022

銘柄（純資産における%）	満期	想定元本	公正価値
先物契約（－1.07%）			
債券（－0.08%）	2024年３～６月	2,043,414	(4,717)
通貨（－0.15%）	2024年３月	2,510,188	(8,812)
エネルギー（－0.10%）	2024年３月	181,015	(6,166)
食品／繊維／木材／ゴム（0.00%）	2024年２～３月	102,592	(130)
金（－0.01%）	2024年２月	376,212	(530)
インデックス（－0.33%）	2024年１～３月	2,732,125	(19,582)

添付の財務諸表注記参照。

スーパーファンド ＳＰＣ －分別ポートフォリオ・レインボー・オールシーズンズ（旧称「スーパーファンド ＳＰＣ －分別ポートフォリオ・システマティック・オールウェザー・ファンド」）
（Superfund SPCの分別ポートフォリオ）
要約投資明細書

2023年12月31日現在
（単位：ユーロ）

	満期	想定元本	公正価値
金属（－0.40%）	2024年３月	327,791	(24,278)
先物契約に係る未実現損失合計		ユーロ	(64,215)

銘柄（純資産における%）	満期	想定元本	公正価値
先渡契約（0.78%）			
外国為替（0.78%）	2024年３月	3,536,639	46,618
先渡契約に係る未実現利益合計		ユーロ	46,618

銘柄（純資産における%）	満期	想定元本	公正価値
先渡契約（－0.85%）			
外国為替（－0.85%）	2024年３月	4,285,780	(51,108)
先渡契約に係る未実現損失合計		ユーロ	(51,108)

添付の財務諸表注記参照。

スーパーファンド ＳＰＣ －分別ポートフォリオ・レインボー・オールシーズンズ（旧称「スーパーファンド ＳＰＣ －分別ポートフォリオ・システマティック・オールウェザー・ファンド」）

（Superfund SPCの分別ポートフォリオ）

損益計算書

2023年12月31日に終了した年度

（単位：ユーロ）

	注記	2023年 ユーロ	2023年 千円
投資収益			
その他収益		16,054	2,726
		16,054	2,726
費用			
投資顧問報酬	7	61,174	10,386
専門家報酬		35,036	5,948
事務管理報酬	9	20,749	3,523
支払利息		5,833	990
その他費用		9,635	1,636
		132,427	22,483
正味投資損失		(116,373)	(19,758)
投資及び外貨に係る実現損失及び未実現利益			
投資及び外貨に係る正味実現損失		(75,130)	(12,756)
投資及び外貨に係る未実現利益の変動		317,220	53,858
		242,090	41,102
営業活動から生じた純資産の正味増加額		125,717	21,344

添付の財務諸表注記参照。

スーパーファンド ＳＰＣ －分別ポートフォリオ・レインボー・オールシーズンズ（旧称「スーパーファンド ＳＰＣ －分別ポートフォリオ・システマティック・オールウェザー・ファンド」）

（Superfund SPCの分別ポートフォリオ）

純資産変動計算書

2023年12月31日に終了した年度

（単位：ユーロ）

	2023年	
	ユーロ	千円
営業活動		
正味投資損失	(116,373)	(19,758)
投資及び外貨に係る正味実現損失	(75,130)	(12,756)
投資及び外貨に係る未実現利益の変動	317,220	53,858
	125,717	21,344
資本取引		
参加型株式の発行による収入：		
クラスＢジャパン（ゴールド・ユーロ）	144,960	24,611
クラスＢジャパン（円）	83,588	14,192
参加型株式の買戻しによる支払い：		
クラスＢジャパン（ゴールド・ユーロ）	(272,978)	(46,346)
クラスＢジャパン（円）	(642,175)	(109,028)
	(686,605)	(116,572)
当期純資産減少額	(560,888)	(95,228)
期首純資産残高	6,556,091	1,113,093
期末純資産残高	5,995,203	1,017,866
期末純資産残高の内訳：		
クラスＳ（ユーロ）利益参加シェア	3,900,812	662,280
クラスＢジャパン（ゴールド・ユーロ）利益参加シェア	1,696,110	287,966
クラスＢジャパン（円）利益参加シェア	398,281	67,620
	5,995,203	1,017,866

添付の財務諸表注記参照。

財務諸表注記

2023年１月１日から2023年12月31日までの期間

（単位：ユーロ）

１．設立及び主な活動

スーパーファンドＳＰＣ分別ポートフォリオ・レインボー・オールシーズンズ（旧称「スーパーファンドＳＰＣ分別ポートフォリオ・システマティック・オールウェザー・ファンド」）（「以下、「当ファンド」という。）は、スーパーファンドSPC（以下、「当社」という。）の分別ポートフォリオの一つである。当社は、2005年１月４日にケイマン諸島の会社法に基づいて適用免除分別ポートフォリオ会社として設立され、2005年１月18日にケイマン諸島のミューチュアル・ファンド法に基づいて登録された。

当ファンドの投資目的は、先物、先渡契約又はオプションのレバレッジ取引を通じて、キャピタル・ゲインを達成することである。当ファンドは、主にロング・オンリーのリスクパリティ戦略を通じて投資目的を達成する。この戦略はスーパーファンド・グループの関連会社が独自に開発した運用戦略である。また、他の戦略が限られた重しづけで用いられることもある。他の戦略には、先物／先渡契約の短期売り戦略も含まれている。

当社の資産は、一般資産または分別ポートフォリオ資産のいずれかである。分別ポートフォリオに帰属する資産は、分別ポートフォリオに帰属する株式資本および準備金を表す資産と、その分別ポートフォリオに帰属または保有するその他の資産で構成されている。一般資産は、分別ポートフォリオ資産ではない当社の資産で構成されている。特定の分別ポートフォリオに関する取引から発生し、その分別ポートフォリオ内に十分な資産がない場合の負債は、他の分別ポートフォリオの資産からではなく、一般資産でまかなう。

2023年12月31日現在、当社は１つの分別ポートフォリオ、すなわち、スーパーファンドＳＰＣ分別ポートフォリオ・レインボー・オールシーズンズ（旧称「スーパーファンドＳＰＣ分別ポートフォリオ・システマティック・オールウェザー・ファンド」）を有している。2023年６月１日付で、当ファンドはスーパーファンドＳＰＣ分別ポートフォリオ・システマティック・オールウェザー・ファンドからスーパーファンドＳＰＣ分別ポートフォリオ・レインボー・オールシーズンズへと名称を変更した。当ファンドは３つの参加株式クラスを発行している。すなわち、クラスＳ（ユーロ）、クラスＢジャパン（ゴールド・ユーロ）、クラスＢジャパン（円）である。

スーパーファンド・キャピタル・マネジメント・インク（以下、「投資顧問会社」という。）が、投資顧問契約に基づき、当社の投資顧問を務めている。

２．重要な会計方針

当財務諸表は、米国会計基準審議会（以下、「FASB」という。）の会計基準編纂書（以下、「ASC」という。）に詳述される米国で一般に公正妥当と認められる会計原則（以下、「US GAAP」という。）に従って作成されている。当ファンドはUS GAAPにおける投資会社に該当するため、FASB ASC 946「金融サービス－投資会社」に規定される投資会社向けの会計・報告指針に従っている。

当ファンドが適用した重要な会計方針は以下のとおりである。

（ａ）見積りの使用

US GAAPに準拠した財務諸表の作成にあたって、経営陣は、財務諸表日現在の資産及び負債の報告金額並びに偶発資産及び負債の開示、並びに当報告期間中の収益及び費用の報告額に影響を及ぼす見積り及び仮定を行うことが求められている。実際の結果は、それらの見積りとは異なる可能性がある。

（ｂ）先物契約

未決済先物契約は、契約価格と、公表レート又は適切なレートが容易に入手できない場合はブローカーが提供するレートに基づく市場価値との差額として計算された公正価値で計上される。実現損益及び未実現損益の変動は、損益計算書に計上される。

（ｃ）先渡契約

未決済先渡契約は、契約価格と、該当する公表フォワード・レートとの差額として計算された市場価値にて計上される。実現損益と未実現損益の変動額は損益計算書に計上される。

（ｄ）有価証券への投資

当ファンドの有価証券への投資は、米国財務省短期証券（T-Bill）への投資で構成されている。これらの投資は活発な市場における相場価格を用いて評価される。実現損益および未実現損益は損益計算書に含まれている。

（ｅ）公正価値による投資の評価　－　定義及び階層

USGAAPは公正価値の階層を規定しており、公正価値を測定する際に用いられる評価手法への入力データの優先順位を、以下に説明される３つのレベルに分類している。

レベル１：　活発な市場における同一資産又は負債について経営陣が入手可能な未調整の相場価格に基づく評価。レベル１の有価証券に対しては、評価調整及び大量保有による割引価値の利用は適用されない。評価は活発な市場において容易にかつ定期的に入手可能な相場価格に基づいているため、当該レベルに分類される有価証券の評価については重要な判断は必要とされない。

レベル２：　活発でない市場における相場価格、あるいは重要なデータがすべて直接又は間接的に観察可能な価格に基づく評価。

レベル３：　公正価値測定の全体に対して重要であるが観察不能なデータに基づく評価。

下表は、上述の公正価値の階層に基づく当ファンドの投資に係る評価の要約である。

資産	合計	レベル１	レベル２
	（ユーロ）	（ユーロ）	（ユーロ）
未決済先物契約に係る未実現利益	382,022	382,022	－
未決済先渡契約に係る未実現利益	46,618	－	46,618
合計	428,640	382,022	46,618

負債	合計	レベル１	レベル２
	（ユーロ）	（ユーロ）	（ユーロ）
未決済先物契約に係る未実現損失	(64,215)	(64,215)	－
未決済先渡契約に係る未実現損失	(51,108)	－	(51,108)
合計	(115,323)	(64,215)	(51,108)

2023年12月31日に終わった年度において、レベル間での移動はなかった。

（ｆ）受取利息及び支払利息

受取利息及び支払利息は発生主義で計上される。

（ｇ）外貨

外貨建て又は外貨で会計処理される資産及び負債は、貸借対照表日現在で適用される為替レートでユーロに換算される。外貨建て取引は取引日の為替レートでユーロに換算される。換算によって生じる実現損益及び未実現損益の変動は、損益計算書に計上される。

当ファンドは外貨建ての有価証券への投資及び現金に係る為替レートの変動により生じる損益と、保有有価証券の市場価格の変動により生じる損益を区別していない。このような変動は投資及び外貨に係る正味実現利益／（損失）及び未実現利益／（損失）の変動に含まれる。

（ｈ）法人税等

ケイマン諸島では、収益又は利益に対して課税されることはなく、当社は、税制優遇措置法第６条の規定に従って、2025年１月18日までの期間における将来の収益又は利益に関するすべての現地における税金を免除する旨の誓約をケイマン諸島の総督から受け取っている。したがって、法人税等に関する引当金はこれらの財務諸表に含まれていない。当ファンドは、税務調査が実施された場合に、テクニカル・メリットに基づいて容認される可能性が高い（50%超の確率）特定のタックス・ポジションについてのみ税務便益を認識している。当ファンドは、すべての主要な税管轄区域におけるすべての税務調査対象年度について分析を行っている。

税務調査対象年度とは、各管轄区域の出訴期限法で定義された税務当局による税務調査の対象となりうる年度である。

経営陣は当ファンドのタックス・ポジションを分析した結果、未確定のタックス・ポジションに関して、未認識の税務便益について負債を計上する必要はないと判断した。さらに経営陣は、今後12ヵ月の間に未認識の税務便益の合計額が著しく変化する合理的な可能性のあるタックス・ポジションも存在しないと考えている。

（ｉ）収益及び費用の配分

特定の分別ポートフォリオに関連付けることが可能な収益及び費用は、純資産価額の算定において、各分別ポートフォリオに配分又は費用計上される。その他の収益及び費用は、分別ポートフォリオ間で比例配分されるか、あるいは取締役会の判断により配分される。

（ｊ）相殺

金融資産及び負債（未決済先物契約に係る未実現損益を含む。）は、当ファンドが認識された金額を相殺する法的な権利を有しており、当該取引を純額ベース又は同時に決済する意図がある場合は相殺され、純額で貸借対照表に計上される。当期、当ファンドは相殺の要件を満たしていない。

（ｋ）１株当たり純資産価額

１株当たり純資産価額（以下、「１株当たりNAV」という。）は、クラスＳ（ユーロ）参加シェアではユーロで、クラスＢジャパン（円）参加シェアでは円で表示されている。クラスＢジャパン（ゴールド・ユーロ）参加シェアは金の単位オンスで表示されており、特定のクラスに帰属する分別ポートフォリオの純資産価額を、計算時における当該クラスの発行済み株式数で除し、金の単位オンスで表示されている株式については、さらにロンドンの金１オンス当たりの午前決め値で除することで計算される。

（ｌ）未払買戻金

当ファンドの保有者の選択により買い戻される株式は、買戻請求を受領し、買戻金額が確定した時点で未払買戻金として分類される。

（ｍ）未受領申込金

未受領申込金は、2023年12月31日以前に発行された株式に関して保有者から受領する予定の金額を表す。

（ｎ）最近の会計基準

公開企業に対し、ASU2022-03は、2023年12月15日以降に開始する会計年度およびその会計年度内の中間期間から適用される。その他の企業に対しては、ASU2022-03は、2024年12月15日以降に開始する会計年度およびその会計年度内の中間期間から適用される。この会計基準は、まだ発行されていない、又は発行可能な状態になっていない中間財務諸表と年次財務諸表のどちらに対しても早期適用することが認められている。ASC946の投資会社に該当する企業は、適用日以降に実行又は変更される契約上の売却制限を付された持分証券への投資にASU2022-03を適用しなければならない。ASIJ2022-03の適用日前に締結された契約上売却制限の対象となる持分証券を保有する投資会社は、契約上の制限の終了又は変更まで、ASIJ2022-03の適用前に適用されていた会計方針で持分証券の会計処理を継続する必要がある（つまり、投資会社が公正価値の測定に売却制限の影響を組み込んでいた場合、その会計方針を継続することになる）。経営陣は、本基準の適用が当ファンドの経営成績、キャッシュ・フロー、財政状態に重要な影響を与えるとは考えていない。

３．ブローカーに対する債権／ブローカーに対する債務

ブローカーに対する債権には、ＡＤＭインベスター・サービシズ・インク及びＩＮＴＬ　ＦＣストーン・ファイナンシャル・インクに預けている現金残高（未決済の証券取引に関する未払金控除後）が含まれ、未決済先物契約に関して担保として差し入れられている証拠金が1,061,959ユーロ含まれている。2023年12月31日現在、ブローカーに対する債権には、未決済取引に関する未収金及び未払金は含まれていない。

４．金融商品

市場リスク、信用リスク及び流動性リスク

通常の事業の過程において、当ファンドは、市場リスク及び信用リスクを招く可能性のある様々な金融商品を売買しており、そのリスクの金額は、財務諸表からは明白ではない。

市場リスクとは、金利、為替レート又は株式及びコモディティ価格の変動が、当ファンドの保有しているポジションに影響を及ぼすリスクである。当ファンドは、市場価格で評価されている金融商品に関する市場リスクにさらされている。

先物契約は組織化された取引所で売買されており、現金又は市場性のある有価証券による証拠金（担保）が要求される。証拠金は日次で時価評価される先物契約の価値の変動を反映するために調整される。先物契約保有者にとって契約内容の履行に関する相手先は相殺ポジションを保有する事業体ではなく取引所である。したがって、先物契約の契約相手先の不履行によるリスクは最小限である。

為替予約は取引所取引以外の契約であり、ファンドが将来の合意された期日に、合意された価格で一定量の外貨を受け取る、または引き渡すことに合意するものである。リスクは、契約相手先が契約条件を満たせない可能性や、通貨・証券価値および金利の変動から生じる。

当ファンドは、米国財務省短期証券に投資する。米国財務省短期証券は13か月未満の短期満期でかつ、非常に低いレベルのリスクで高い流動性を提供する。

市場リスクは、金融商品の基礎となる為替レート、指数、コモディティ及び有価証券の価値の潜在的変動により生じる。その他の市場リスクには、契約の価値の変動が、基礎となる通貨、コモディティ又は株式指標の価値の変動と直接相関していない可能性が含まれる。先物契約の取引には、当ファンドの投資収益率が上がるとともに通常の投資リスクを上回る特定のリスクが伴う可能性がある。

信用リスクとは、契約相手が債務不履行に陥るリスクである。信用リスクは、一般的に、取引所取引以外の金融商品が含まれる場合に高くなる。これは、取引所外で取引される金融商品の契約相手については、取引所清算機関の履行保証がないためである。当ファンドは信用リスクの影響を最小限に抑えるために多数のブローカーを利用している。経営陣はブローカーの信用格付け及び取引結果をレビューし、当ファンドの信用リスクの集中について問題はないと考えている。

流動性リスクとは、当ファンドが責務を果たすための資金調達において困難に遭遇するリスクである。流動性リスクは、公正価値に近い金額で投資を迅速に売却できないことから生じる可能性がある。

先物市場は変動が非常に大きく、需給関係の変動、政府のプログラム及び政策、国内外の政治及び経済事象、並びに金利の変動等の要因による影響を受ける。さらに、通常、先物取引において要求される証拠金比率は低いため、先物商品勘定のレバレッジ率が高くなる傾向がある。その結果、先物契約における比較的少額の価格変動が取引当事者に多額の損失を発生させる可能性がある。また先物取引の流動性が低い可能性もある。特定の先物取引所は特定の先物契約に関して、１日の取引における価格変動の制限値を越える価格での取引を認めていない。この１日の取引における価格変動の制限値を超えて価格が変動した場合、当ファンドは不利なポジションを即時に処分することができず、多額の損失を被る可能性がある。

投資戦略の一環として、当ファンドはレバレッジを利用している。レバレッジの概念は、当ファンドの借入費用が、一般的に、保有する投資の収益率を下回るという前提に基づいている。レバレッジの利用により、当ファンドに投資された株主資本に対する収益率が上がる可能性がある一方で、当該株主資本の損失リスクも増える。

投資顧問会社は、適切なレバレッジ水準を維持するための内部指針及び制限値を設定している。

5．デリバティブ契約

当ファンドは様々な先物及びスワップ契約をトレーディング目的で行っており、これらの金融商品は主に金利、為替レート、株価及びコモディティ価格に関するリスクにさらされている。これらのリスクに加えて、デリバティブ契約への投資は、その投資全体又は一部に損失を生じさせる可能性のある別のリスクにもさらされている。

当ファンドはデリバティブ取引を時価評価している。公正価値は市場価格を用いて決定されている。

2023年12月31日現在、当ファンドはいかなるデリバティブポジションも保有していなかった。

下表には、契約種類ごとのデリバティブ契約の実現損益及び未実現損益を含んでいる。この金額は2023年12月31日に終了した年度の損益計算書の投資及び外貨に係る正味実現利益、並びに投資及び外貨に係る未実現利益の変動に含まれている。

	デリバティブ資産		デリバティブ負債		未実現利益（損失）	実現利益（損失）
	公正価値	想定元本	公正価値	想定元本		
	ユーロ	ユーロ	ユーロ	ユーロ	ユーロ	ユーロ
先物契約						
債券先物	158,503	9,677,686	(4,717)	2,043,414	164,719	(23,371)
コモディティ	140	17,867	—	—	(4,889)	56,072
通貨	32,882	4,092,281	(8,812)	2,510,188	(31,764)	(133,591)
エネルギー	8,603	209,123	(6,166)	181,015	(24,551)	(203,987)
食品／繊維／木材／ゴム	6,409	314,827	(130)	102,592	(2,267)	(21,404)
金	38,610	3,026,851	(530)	376,212	(16,609)	(35,763)
インデックス	107,902	4,519,771	(19,582)	2,732,125	225,935	447,850
金属	28,973	747,429	(24,278)	327,791	4,765	(23,716)
合計	**382,022**	**22,605,835**	**(64,215)**	**8,273,337**	**315,339**	**62,090**

	デリバティブ資産	想定元本	デリバティブ負債	想定元本	未実現損失	実現損失
	ユーロ	ユーロ	ユーロ	ユーロ	ユーロ	ユーロ
先渡契約						
外国為替	46,618	3,536,639	(51,108)	4,285,780	1,881	(137,220)
合計	**46,618**	**3,536,639**	**(51,108)**	**4,285,780**	**1,881**	**(137,220)**

6．株式資本

	2023年
	ユーロ
授権株式：	
１株当たり額面0.01ユーロの経営株式（100株）	1

	2023年
	ユーロ
１株当たり0.001ユーロの参加型株式（99,999,000株）	99,999
	100,000

	株式数
発行済み及び全額払込済み：	

経営株式	100
クラスＢジャパン（ゴールド・ユーロ）株式：	
期首残高	2,254.74
期中の発行	188.95
期中の買戻し	(358.71)
期末残高	2,084.98
クラスＢジャパン（円）株式：	
期首残高	271,632.72
期中の発行	23,774.65
期中の買戻し	(177,810.49)
期末残高	117,596.88
クラスＳ（ユーロ）株式：	
期首残高	4,179.67
期末残高	4,179.67

当該株式に付随する権利は以下のとおりである。

経営株式

経営株式は、額面価額でのみ発行され、所有者の選択による償還はできない。当経営株式は、１株につき１票の議決権を有し、下記のような解散の際にその保有者に権利を付与するが、その他に当ファンドの利益や資産に参加する権利は付与されない。2023年12月31日現在、経営株式は投資顧問会社の関連会社が保有していた。

参加型株式

分別ポートフォリオ・システマティック・オールウェザー・ファンドの初回の最小購入金額は、クラスＢジャパン（ゴールド・ユーロ）株式では50,000ユーロ、クラスＢジャパン（円）株式では5,000,000円である。既存の株主によるその後の購入には、クラスＢジャパン（ゴールド・ユーロ）株式は5,000ユーロ、クラスＢジャパン（円）株式は500,000円の最低購入額が必要となる。

目論見書に記載されている最低投資額及び保有額は、通貨の変動または同様の変化を考慮して、取締役が独自の裁量で随時調整することができるものとする。

参加型株式は、任意の償還日にそれぞれの種類の株式１株当たりの純資産額で償還することができ、定款で認められた事項を除き、議決権を持たない。参加型株式の保有者は、それぞれ保有する株式の払込金額に応じて、宣言され支払われる配当を受け取る権利を有している。2023年12月31日時点で、クラスＳ（ユーロ）3,337.62株、クラスＢジャパン（ゴールド・ユーロ）2,084.97株、クラスＢジャパン（円）117,597.02株がそれぞれ関連会社によって保有されている。

当社の清算時には、分別ポートフォリオ及び一般資産は、まず最初に分別ポートフォリオ債権者及び一般債権者の請求を返済する。一般資産の残高がある場合は、経営株式の名目払込資本金の返済に充てられ、残額は各分別ポートフォリオの純資産価額に応じて分別ポートフォリオに移転される。各分別ポートフォリオの資産は、それぞれの分別ポートフォリオの株主に対して、保有する株式数に応じて支払われる。分別ポートフォリオに複数の種類の参加株式がある場合、分別ポートフォリオの資産は、相対的な純資産価値に応じて各種類に比例して配分され、保有する当該種類の参加株式の数に応じて株主に支払われる。

７．投資顧問報酬

当ファンドの投資活動は、共通の支配下にあることから関連当事者である投資顧問会社によって管理されている。投資顧問契約の条件に基づき、投資顧問会社は、分別ポートフォリオ・システマティック・オールウェザー・ファンド内の各クラスの株式の純資産価値の年率1.0%の投資顧問報酬を、毎月、前月の最終評価日から15日以内に受け取る。

2023年12月31日現在、未払い金及び未払費用には、4,979ユーロの未払投資顧問報酬が含まれている。

８．成功報酬

投資顧問会社は、目論見書で定義される通り、各株式クラスの１株当たり純資産価額が過去の最高水準を上回った部分について、クラスＢ及びクラスＳは増加額の20%を成功報酬として受け取る権利を有している。クラスＳ（ユーロ）は利益が当初インデックス値の150%を上回った場合にのみ支払われる。成功報酬はそれぞれ月次で計算され後払いされる。

ゴールド・クラスの株式に関しては、１株当たりの純資産価額及びハイ・ウォーターマークは、当該クラスの関連通貨建て及び金オンスの両方で計算される。ハイ・ウォーターマークを基準とする成功報酬の計算方法においては、投資顧問会社が他の全ての投資対象で新たな取引利益を達成した期間中に関連通貨建ての金価格が下落した場合、成功報酬が支払われる際の基準となる１株当たりの関連通貨建て価額が、過去に達成された１株当たりの関連通貨建て価額の最高値を下回るような可能性がある。この成功報酬の計算方法においては、金価格の上昇のみに起因する関連通貨建ての１株当たりの純資産価値の上昇は、成功報酬の対象にならない。

2023年12月31日現在、当期中に請求された成功報酬はなかった。

投資顧問会社に支払われる成功報酬は、独立第三者間の交渉により設定されたものではないため、この成功報酬が存在することにより、当該契約が存在しない場合と比べて、よりリスクの高い又はより投機的な性質の強い投資を行う誘因となる可能性がある。

９．事務管理報酬

ＮＡＶファンド・アドミニストレーション・グループ（以下、「当事務管理会社」という。）が当ファンドの事務管理会社を務めている。

当期中に発生した事務管理報酬は20,749ユーロであり、2023年12月31日現在で6,632ユーロが未払いとなっていた。

10．公正価値

2023年12月31日現在において、経営陣が金融商品の各クラスの公正価値の見積もりに用いた手法と想定条件は以下の通りである。当ファンドの金融商品の一定部分の簿価は、現金、未払い買戻金、対ブローカー未収金・未払金、未払金・未払費用を含め、直ちに換金可能又は短期的な性質のものであるため、公正価値に極めて近い。

米国財務省証券への投資は、活発な市場における相場価格を用いて公正価値で測定している。

先物契約の未決済残高は、市場からの気配値又はディーラーからの気配値に基づいて時価にて形状される。従って簿価は公正価値に近似している。関連プライベート投資ファンドへの投資は、公正価値についての実際的な便宜地として投資先ファンド又はその事務管理会社から提供される価値にて計上される。

未決済の先渡契約に対する投資は、デリバティブ契約の締結日の公正価値にて初めて認識される。先渡契約の公正価値の変動から増価又は減価が生じた時は、直接損益計算書に計上される。当初計測の後は先渡契約は公正価値にて測定される。

公正価値の見積もりは、市場の状況と金融商品に関する情報に基づいて、特定の時点において行われる。この見積もりは本来主観的なものであり、不確定要因及び重要な判断を伴うため、正確に行えるものではない。仮定の変更により、見積りに重要な影響を及ぼす可能性がある。

11. 販売会社報酬

スーパーファンド・ディストリビューション・アンド・インベストメント・インク（以下、「販売会社」という。）は、当ファンドの販売会社を務めている。販売会社は販売会社報酬を一切課さないことに同意している。

12. 関連当事者間取引

投資顧問会社及び販売会社は、共通支配下に置かれている関連当事者である。投資顧問会社及び販売会社に対する支払報酬は、独立第三者間条件に基づく交渉により設定されたものではない。

スーパーファンド・ジャパンへの未払金－スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・レインボー・オールシーズンズには、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・レインボー・オールシーズンズのために当ファンドが支払う予定の未払買戻金61,489ユーロが含まれる。

次へ

13. 財務ハイライト

スーパーファンド ＳＰＣ －分別ポートフォリオ・レインボー・オールシーズンズ（旧称「スーパーファンド ＳＰＣ －分別ポートフォリオ・システマティック・オールウェザー・ファンド」
（Superfund SPCの分別ポートフォリオ）

分別ポートフォリオ・レインボー・オールシーズンズ	クラスＳ（ユーロ）	クラスＢジャパン（円）	クラスＢジャパン（ゴールド・ユーロ）
	ユーロ	円	金オンス
１株当たりの業績（期中発行済み参加型株式に関して）（1）			
期首の参加型株式１株当たり純資産価額	906.92	547.67	0.44
正味投資損失	(16.95)	(9.99)	(0.01)
投資及び外貨に係る正味実現及び未実現利益／（損失）の変動	43.31	(0.46)	(0.04)
投資活動による利益／（損失）合計	26.36	(10.45)	(0.05)
期末の参加型株式１株当たり純資産価額	933.28	537.22	0.39
総利回り（2）	2.91%	(1.91)%	(11.36)%
補足情報：			
平均純資産比率			
営業費用及びその他の費用	2.17 %	2.16 %	2.16 %
成功報酬	―	―	―
費用合計	2.17 %	2.16 %	2.16 %
正味投資損失	(1.91)%	(1.88)%	(1.90)%

（１）期中平均発行済み参加型株式数に基づく。

（２）各投資家の利回りは、株式の申込み及び買戻しの時期により異なる可能性がある。

次へ

14. 後発事象

これらの財務諸表を作成するにあたり、経営陣は、当該財務諸表の公表が可能となった2024年６月14日までのすべての重要な後発事象を評価し、開示した。

2023年12月31日より後に、122,125ユーロの買戻しが処理された。

次へ

SUPERFUND JAPAN – SUPERFUND JAPAN SUB-FUND GREEN
Statement of Assets and Liabilities

December 31, 2023
(stated in Japanese Yen)

	Note	
Assets		
Investment in funds, at fair value (Cost: ¥2,535,960,721)	2(b),3,11	2,041,021,119
Receivables from investment in funds		1,637,515
Cash		51,944,995
Cash denominated in foreign currencies (Cost: ¥4,939,609)		4,668,694
Other assets		679,462
		2,099,951,785
Liabilities		
Subscriptions received in advance		3,800,000
Payable to investment in funds		4,013,640
Redemptions payable		45,013,731
Accounts payable and accrued expenses	5,8,10	5,256,090
		58,083,461
Net assets		¥ 2,041,868,324

The accompanying notes are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND JAPAN – SUPERFUND JAPAN SUB-FUND GREEN

Statement of Assets and Liabilities (continued)

December 31, 2023
(stated in Japanese Yen)

Net assets per Class Gold JPY Units,		
based on 10,019,120 units outstanding (the total		
value of Class Gold JPY Shares in ounces of gold at		
December 31, 2023 is 3,820.35 Oz and the price of	¥	110.95
gold at December 31, 2023 is ¥290,970.38)	Oz	0.000
Net assets per Class Silver JPY Units,		
based on 1,645,162 units outstanding (the total		
value of Class Silver JPY Shares in ounces of silver at		
December 31, 2023 is 37,738.99 Oz and the price of	¥	76.99
silver at December 31, 2023 is ¥3,356.18)	Oz	0.023
Net assets per Class JPY Units,		
based on 7,127,874 units outstanding		
expressed in Japanese Yen	¥	49.55
Net assets per Class Gold USD Units,		
based on 612,637 units outstanding (the total		
value of Class Gold USD Shares in ounces of gold at		
December 31, 2023 is 236.23 Oz and the price of	US$	0.80
gold at December 31, 2023 is ¥290,970.38)	Oz	0.000
Net assets per Class Silver USD Units,		
based on 2,333,359 units outstanding (the total		
value of Class Silver USD Shares in ounces of silver at		
December 31, 2023 is 79,248.32 Oz and the price of	US$	0.81
silver at December 31, 2023 is ¥3,356.18)	Oz	0.034
Net assets per Class USD Units,		
based on 1,521,168 units outstanding		
expressed in US$	US$	0.55

The accompanying notes are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND JAPAN – SUPERFUND JAPAN SUB-FUND GREEN

Schedule of Investments

December 31, 2023
(stated in Japanese Yen)

Description (% of net assets)	Redemption Term	Number of shares	Cost	Fair value
INVESTMENTS IN FUNDS, at fair value (99.93%)				
Managed Futures				
Superfund Green Gold SPC B, Class B Japan (JPY) and Class B Japan (USD) (57.71%)	Weekly	980,420.27	1,386,332,027	1,179,140,941
Superfund Green SPC B, Class B Japan (JPY), Class B Japan (USD), Class B Japan (Silver USD) and Class B Japan (Silver JPY) (42.18%)	Weekly	1,001,531.80	1,149,628,694	861,880,178
Total investments in funds, at fair value (99.89%)			2,535,960,721	2,041,021,119

The accompanying notes are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND JAPAN – SUPERFUND JAPAN SUB-FUND GREEN

Statement of Operations

Year ended December 31, 2023
(stated in Japanese Yen)

	Note	
Expenses		
Administration fees	10	1,095,619
Professional fees		11,894,692
Trustee fees	9	1,795,806
Agent member company fees	8	2,222,887
Management fees	5	2,222,841
Other expenses		6,976,209
		26,208,054
Net investment loss		(26,208,054)
Net realized loss and movement in unrealized loss on investments and foreign currency		
Net realized loss on investments and foreign currency		(58,109,311)
Movement in unrealized loss on investments and foreign currency		(443,690,539)
		(501,799,850)
Net decrease in net assets resulting from operations	¥	(528,007,904)

The accompanying notes are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND JAPAN – SUPERFUND JAPAN SUB-FUND GREEN

Statement of Changes in Net Assets

Year ended December 31, 2023
(stated in Japanese Yen)

Operations	
Net investment loss	(26,208,054)
Net realized loss on investments and foreign currency	(58,109,311)
Movement in unrealized loss on investments and foreign currency	(443,690,539)
	(528,007,904)
Capital transactions	
Proceeds from issue of Class Gold JPY Units	71,570,000
Proceeds from issue of Class Silver JPY Units	9,100,000
Proceeds from issue of Class JPY Units	3,200,000
Proceeds from issue of Class Gold USD Units	487,669
Payments for redemption of Class Gold JPY Units	(41,351,993)
Payments for redemption of Class JPY Units	(99,273,047)
Payments for redemption of Class Silver JPY Units	(1,809,069)
Payments for redemption of Class USD Units	(17,128,835)
	(75,205,275)
Decrease in net assets for year	(603,213,179)
Net assets at beginning of year	2,645,081,503
Net assets at end of year	¥ 2,041,868,324
Net assets at end of year consist of:	
Class Gold JPY	1,111,607,719
Class Gold USD	68,735,052
Class JPY	351,754,396
Class USD	117,140,943
Class Silver JPY	126,658,771
Class Silver USD	265,971,443
	¥ 2,041,868,324

The accompanying notes are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND JAPAN – SUPERFUND GREEN C JAPAN

Statement of Assets and Liabilities

December 31, 2023
(stated in Japanese Yen)

	Note		
Assets			
Investment in Master Fund			150,340,968
Cash			10,662,534
			161,003,502
Liabilities			
Accounts payable and accrued expenses	3,5,7		1,567,117
			1,567,117
Net assets		¥	159,436,385
Net assets per Class JPY Units, based on 1,928,281 units outstanding expressed in Japanese Yen		¥	40.98
Net assets per Class USD Units, based on 1,435,539 units outstanding expressed in US$		US$	0.40

The accompanying notes and the attached financial statements of Superfund Green SPC and Superfund Green Master are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND JAPAN – SUPERFUND GREEN C JAPAN

Statement of Operations

Year ended December 31, 2023
(stated in Japanese Yen)

	Note	
Net investment loss allocated from Master Fund		
Interest income		4,512,702
Expenses		(9,301,237)
		(4,788,535)
Sub-Fund expenses		
Administration fees	10	1,095,619
Trustee fees	9	1,617,332
Agent member company fees	8	183,299
Management fees	5	183,295
Professional fees		2,534,941
Other expenses		688,355
		6,302,841
Net investment loss		(11,091,376)
Sub-Fund realized gain and movement in unrealized gain on foreign currency		
Net realized gain on foreign currency		285,603
		285,603
Net realized loss and movement in unrealized gain on investments and foreign currency allocated from Master Fund		
Net realized loss on investments and foreign currency		(75,412,338)
Movement in unrealized gain on investments and foreign currency		3,007,227
		(72,405,111)
Net decrease in net assets resulting from operations	¥	(83,210,884)

The accompanying notes and the attached financial statements of Superfund Green SPC and Superfund Green Master are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND JAPAN – SUPERFUND GREEN C JAPAN

Statement of Changes in Net Assets

Year ended December 31, 2023
(stated in Japanese Yen)

Operations		
Net investment loss		(11,091,376)
Net realized loss on investments and foreign currency		(75,126,735)
Movement in unrealized gain on investments and foreign currency		3,007,227
		(83,210,884)
Capital transactions		
Payments for redemption of Class JPY Units		(5,809,549)
		(5,809,549)
Decrease in net assets for year		(89,020,433)
Net assets at beginning of year		248,456,818
Net assets at end of year	¥	159,436,385
Net assets at end of year consist of:		
Class JPY		79,021,516
Class USD		80,414,869
	¥	159,436,385

The accompanying notes and the attached financial statements of Superfund Green SPC and Superfund Green Master are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND JAPAN – SUPERFUND JAPAN SUB-FUND RAINBOW ALL SEASONS

Statement of Assets and Liabilities

December 31, 2023
(stated in Japanese Yen)

	Note		
Assets			
Investment in Master Fund			327,267,003
Receivable from Master Fund			9,654,000
Cash			12,047,320
Cash denominated in foreign currencies (Cost: ¥36,790)			40,676
Other assets			2
			349,009,001
Liabilities			
Redemption payable			11,994,641
Subscriptions received in advance			100,000
Accounts payable and accrued expenses	3,5,7		1,804,070
			13,898,711
Net assets		¥	335,110,290
Net assets per Class Gold JPY Units, based on 3,658,634 units outstanding expressed in Japanese Yen		¥	74.37
Net assets per Class JPY Units, based on 1,838,327 units outstanding expressed in Japanese Yen		¥	34.27

The accompanying notes and the attached financial statements of Superfund SPC are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND JAPAN – SUPERFUND JAPAN SUB-FUND RAINBOW ALL SEASONS

Statement of Operations

Year ended December 31, 2023
(stated in Japanese Yen)

	Note	
Net investment loss allocated from Master Fund		
Interest income		963,475
Expenses		(7,842,845)
		(6,879,370)
Sub-Fund expenses		
Trustee fees	9	1,805,333
Distribution fees	7	2,219,539
Professional fees		3,232,441
Administration fees	10	1,196,669
Management fees	5	369,869
Agent member company fees	8	369,923
Other expenses		1,287,487
		10,481,261
Net investment loss		(17,360,631)
Sub-Fund realized loss and movement in unrealized loss on foreign currency		
Net realized loss on foreign currency		(579,862)
Movement in unrealized loss on foreign currency		(31,235)
		(611,097)
Net realized loss and movement in unrealized gain on investments and foreign currency allocated from Master Fund		
Net realized loss on investments and foreign currency		(4,355,260)
Movement in unrealized gain on investments and foreign currency		53,894,779
		49,539,519
Net increase in net assets resulting from operations	¥	31,567,791

The accompanying notes and the attached financial statements of Superfund SPC Segregated Portfolio All Seasons are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND JAPAN – SUPERFUND JAPAN SUB-FUND RAINBOW ALL SEASONS

Statement of Changes in Net Assets

Year ended December 31, 2023
(stated in Japanese Yen)

Operations		
Net investment loss		(17,360,631)
Net realized loss on investments and foreign currency		(4,935,122)
Movement in unrealized gain on investments and foreign currency		53,863,544
		31,567,791
Capital transactions		
Proceeds from issue of Class Gold JPY Units		1,200,000
Proceeds from issue of Class JPY Units		1,200,000
Payments for redemption of Class Gold JPY Units		(13,480,004)
Payments for redemption of Class JPY Units		(87,469,493)
		(98,549,497)
Decrease in net assets for year		(66,981,706)
Net assets at beginning of year		402,091,996
Net assets at end of year	¥	335,110,290
Net assets at end of year consist of:		
Class Gold JPY		272,114,655
Class JPY		62,995,635
	¥	335,110,290

The accompanying notes and the attached financial statements of Superfund SPC Segregated Portfolio All Seasons are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND JAPAN

Notes to Financial Statements

December 31, 2023
(stated in Japanese Yen and United States Dollars)

1. Incorporation and principal activity

Superfund Japan (the "Trust") was established under the laws of the Cayman Islands by a trust deed (the "Trust Deed") executed by UBS Fund Services (Cayman) Ltd. (the "Retiring Trustee") and Superfund Japan Trading (Cayman) Limited (the "Manager"). The Trust was formed under the Trusts Act of the Cayman Islands pursuant to the Trust Deed on June 5, 2009 and was registered on June 29, 2009 under Section 4(1) (b) of the Mutual Funds Act of the Cayman Islands. Pursuant to a Deed of Retirement, Appointment and Variation, effective May 8, 2015, Harneys Fiduciary (Cayman) Limited (the "Trustee") has been appointed to be the trustee of the Trust. The Trustee provides the principal place of business for the Trust in the Cayman Islands.

The Trust is structured as an open-ended umbrella fund and has established Superfund Japan Sub-Fund Green, Superfund Green C Japan and Superfund Japan Sub-Fund Rainbow All Seasons (each a "Sub-Fund" and collectively the "Sub-funds"). Each Sub-Fund represents a separate pool of assets and liabilities which are managed separately from the other Sub-Fund.

Superfund Japan Sub-Fund Green invests substantially all of its assets in the segregated portfolio B of Superfund Green Gold SPC and Superfund Green SPC, Cayman Islands exempted Companies.

Superfund Green C Japan is part of a "master-feeder" structure, whereby it invests substantially all of its assets in the segregated portfolio C of Superfund Green SPC (the "Greens Master Fund"), a Cayman Islands exempted Company. The Green Master Fund, Superfund Green SPC is part of a "master-feeder" structure whereby it invests substantially all of its assets in Superfund Green Master (the "Green Ultimate Master Fund"), a Cayman Islands exempted company. The Green Ultimate Master Fund's objective is to provide investors with a form of investment independent of the development of equity and securities markets, and which potentially will achieve above average returns on long term capital appreciation. The Green Ultimate Master Fund intends to take advantage of investment opportunities and trading strategies and therefore has no pre-determined views on the characteristics of its future investments and is not subject to any restrictions.

Superfund Green Gold SPC, is part of a "master-feeder" structure whereby it invests substantially all of its assets in Superfund Green Gold Master Segregated Portfolio of Superfund Green Gold Master SPC (the "Green Gold Master Fund"), a Cayman Islands exempted company. The Green Gold Master Fund's objective is long term capital appreciation through the use of technical analysis. The Green Gold Master Fund invests its assets in a variety of futures contracts, including gold futures and may also invest in physical gold.

1. Incorporation and principal activity (continued)

On July 1, 2023, the name of the Superfund Systematic All Weather fund was changed to Superfund Japan Sub-Fund Rainbow All Seasons.

Superfund Japan Sub-Fund Rainbow All Seasons is part of a "master-feeder" structure, whereby it invests substantially all of its assets in Rainbow All Seasons Fund, a segregated portfolio of Superfund SPC (the "Rainbow All Seasons Master Fund"), a Cayman Islands exempted Company.

The Rainbow All Seasons Master Fund's objective is to achieve capital appreciation through the leveraged trading of futures and forward contracts. The Segregated Portfolio Rainbow All Seasons Fund will pursue its objective mainly by employing a long-only risk parity strategy that utilizes proprietary trading strategies developed by members of the Superfund group of affiliated companies. Additionally, other strategies may be mixed-in with limited weight. These, other, strategies may also short-sell futures and/or forward contracts.

The Green Master Fund and the Rainbow All Seasons Master Fund are collectively referred to as the "Master Funds". The Green Ultimate Master Fund is referred to as the "Ultimate Master Fund".

The Manager has appointed Superfund Japan Co. Ltd. (the "Distributor"), as the Agent Member Company for the Trust in Japan pursuant to an Agent Member Company Agreement. The Agent Member Company is responsible for publicizing the net asset value per unit and submitting the financial statements to Japan Securities Dealers Association ("JSDA"). The Trust's annual audited financial statements are included in the Annual Securities Report and Securities Registration Statements and filed with the Kanto Local Finance Bureau, as part of Japanese filing requirements. The accompanying financial statements of the Green Master Fund, the Green Ultimate Master Fund and the Rainbow all Seasons Master Fund are included in this report and should be read in conjunction with the Trust's financial statements.

2. Significant accounting policies

The financial statements are prepared in conformity with accounting principles generally accepted in the United States of America ("GAAP") as detailed in Financial Accounting Standards Board's ("FASB") Accounting Standard Codification ("ASC"). The Trust qualifies as an investment company under GAAP and follows the accounting and reporting guidance applicable to investment companies in FASB ASC 946, *Financial Services – Investment Companies.*

The significant accounting policies adopted by the Trust are as follows:

(a) Use of estimates

The preparation of financial statements in accordance with GAAP requires management to make estimates and assumptions that affect the reported amounts of assets and liabilities and disclosure of contingent assets and liabilities at the date of the financial statements, and the reported amounts of revenues and expenses during the reporting period. Actual results could differ from those estimates.

2. Significant accounting policies (continued)

(b) Investments in funds, at fair value

Investments in investment funds are presented at their net asset value ("NAV") as reported by the management of the investment funds. In accordance with the redemption and liquidity terms of the governing agreements of the investment funds, a divestment of Superfund Japan Sub-Fund Green's ownership interest in an investment fund is transacted with such investment fund at the applicable reported NAV of the investment fund. ASU-2015-07 removed the requirement to categorize within the fair value hierarchy all investments for which fair value is measured using the NAV practical expedient. The amount of assets measured using the NAV practical expedient at December 31, 2023, was ¥2,041,021,119 of Superfund Japan Sub-Fund Green.

Net realized and unrealized gain on investments in investment funds in the accompanying statement of operations included Superfund Japan Sub-Fund Green's proportionate share of interest, dividends, expenses, realized and unrealized gains and losses on security transactions and fees from the investment funds. Because of the uncertainty of the valuation, the estimated NAVs may differ from the value that would have been used had a ready market for the securities existed or from the value that could be received in a principal to principal transaction, and the difference could be material.

(c) Investments in the Master Funds' Segregated Portfolios

Investments in the Master Funds' Segregated Portfolios are accounted for on a trade date basis. Investments are initially measured at cost. Subsequent to initial recognition, investments are measured at fair value. Fair value is determined as the net assets attributable to the Trust, as reported by the Master Fund's administrator. Realized and unrealized gains and losses on investments are included in the statement of operations. The valuation policy of the Master Funds' and Ultimate Master Funds' investments are discussed in the notes to the Master Funds' and Ultimate Master Funds' financial statements included in this report.

(d) Investment income and expenses

Each Sub-Fund records its proportionate share of the Master Funds' Segregated Portfolios income, expenses and realized and unrealized gains and losses in its statement of operations weekly based on the value of its respective share of the net asset value of the Master Funds' Segregated Portfolio at the beginning of the period. In addition, each Sub-Fund also accrues its own income and expenses.

(e) Net asset value per unit

The net asset value per unit (the "NAV per unit") is expressed in both Japanese Yen, United States Dollars and ounces of gold and calculated by dividing the net asset value of the relevant Sub-Fund attributable to a particular class by the number of units of that class outstanding then, for units expressed in ounces of gold, further dividing the value obtained by the London AM gold fixing per ounce price prevailing on the relevant valuation day.

(f) Interest income and expense

Interest income and expense are recorded on an accrual basis.

2. Significant accounting policies (continued)

(g) Cash

Cash is comprised of cash denominated in Japanese Yen and foreign currency due on demand as well as interest bearing deposits, all of which are considered to be highly liquid with original maturities of three months or less.

(h) Foreign currency

Assets and liabilities denominated or accounted for in foreign currencies are translated into Japanese Yen at the applicable exchange rates at the date of the statements of assets and liabilities.

Foreign currency transactions are translated into Japanese Yen at the rate of exchange ruling at the date of the transaction. Realized and unrealized gains and losses arising from translation are included in the statement of operations. The Trust does not isolate that portion of the results of operations resulting from changes in foreign exchange rates on investments from the fluctuations arising from changes in market prices of investments held. Such fluctuations are included with the net realized and unrealized gain or loss from investments and foreign currency.

(i) Taxation

There are no taxes on income or gains in the Cayman Islands and, in accordance with the provisions of Section 6 the Tax Concessions Act, the Trust has received an undertaking from the Governor in Cabinet of the Cayman Islands exempting it from all local taxation on future profits, income or gains until June 5, 2059. Accordingly, no provision for income taxes is included in these financial statements.

The Trust recognizes the tax benefits of uncertain tax positions only where the position is more-likely-than-not (i.e. greater than 50 percent) to be sustained assuming examination by a tax authority based on the technical merits of the position. The Trust analyzes all open tax years for all major taxing jurisdictions. Open tax years are those that are open for exam by taxing authorities, as defined by the statute of limitations in each jurisdiction.

Management has analyzed the Trust's tax positions and has concluded that no liability for tax expenses or assets for tax benefits should be recorded in relation to uncertain tax positions. Further, management is not aware of any tax positions for which it is reasonably possible that the total amounts of unrecognized tax benefits will significantly change in the next twelve months.

(j) Allocation of income and expenses

Income and expenses that are identifiable with a particular Sub-Fund are allocated to or charged against the Sub-Fund in computing its net asset value. Other income and expenses are allocated pro-rata between the Sub-Funds or otherwise at the discretion of the Trustee.

(k) Receivable from investments in funds

Receivables are recognized as assets when the amounts requested in the redemption notice become fixed. This generally may occur either at the time of the receipt of the notice by the underlying investment fund, or on the last day of a fiscal period, depending on the nature of the request.

2. Significant accounting policies (continued)

(l) Receivable from Master Funds

Receivable from Master Funds represent redemptions payable from the Master Funds.

(m) Subscriptions received in advance

Subscriptions received in advance are recognized when the subscription request and subscription amount have been received.

(n) Valuation of investments at fair value - definition and hierarchy

US GAAP establishes a fair value hierarchy that prioritizes the inputs to valuation techniques used to measure fair value into three broad levels explained below:

Level 1: Valuations based on the unadjusted quoted prices in active markets for identical assets or liabilities that management has the ability to access. Valuation adjustments and block discounts are not applied to Level 1 securities. Since valuations are based on quoted prices that are readily and regularly available in an active market, valuation of these securities does not entail a significant degree of judgment.

Level 2: Valuations based on quoted prices in markets that are not active or for which all significant inputs are observable, either directly or indirectly.

Level 3: Valuations based on inputs that are unobservable and significant to the overall fair value measurement.

The fair value hierarchy for the investments held by the Master Funds and the Ultimate Masters Funds are disclosed in the notes to their respective financial statements, included elsewhere in this report.

(o) Recent Accounting Pronouncement

For public business entities, ASU 2022-03 is effective for fiscal years beginning after 15 December 2023, and interim periods within those fiscal years. For all other entities, ASU 2022-03 is effective for fiscal years beginning after 15 December 2024, and interim periods within those fiscal years. Early adoption is permitted for both interim and annual financial statements that have not yet been issued or made available for issuance. An entity that qualifies as an investment company under ASC 946 should apply ASU 2022-03 to an investment in an equity security subject to a contractual sale restriction that is executed or modified on or after the date of adoption. An investment company with an equity security subject to a contractual sale restriction that was executed before the date of adoption should continue to account for the equity security until the contractual restrictions expire or are modified using the accounting policy applied before the adoption of ASIJ 2022-03 (that is if an investment company was incorporating the effects of the restriction in the measurement of fair value, it would continue to do so).

Management does not expect that the adoption of this guidance will have a significant impact on the Sub-Fund's results of operations and financial position.

3. Financial instruments (continued)

Market risk, credit risk and liquidity risk

Superfund Japan Sub-Fund Green

In the normal course of its business, Superfund Japan Sub-Fund Green purchases and sells various financial instruments which may result in both market, credit and liquidity risks, the amount of which is not apparent from the financial statements.

Market risk is the risk that changes in interest rates, foreign exchange rates or equity and commodity prices will affect the positions held by the underlying investment funds and consequently, Superfund Japan Sub-Fund Green. Superfund Japan Sub-Fund Green is exposed to market risk on financial instruments that are valued at market prices through the underlying investments held by these funds.

Credit risk is the risk of counterparty default. Credit risk is generally higher when a non-exchange traded financial instrument is involved because the counterparty for non-exchange traded financial instruments is not backed by an exchange clearing house.

Liquidity risk is the risk that Superfund Japan Sub-Fund Green will encounter difficulty in raising funds to meet commitments. Liquidity risk may result from the inability to sell investments quickly at an amount close to fair value. Although the Manager will seek to select investments in funds that offer the opportunity to have their shares or units redeemed within a reasonable timeframe, there can be no assurance that the liquidity of the investments of such investment funds will always be sufficient to meet redemption requests as, and when, made. Any lack of liquidity may affect the liquidity of the Units and the value of their investments.

Superfund Green C Japan and Superfund Japan Sub-Fund Rainbow All Seasons

Superfund Green C Japan and Superfund Japan Sub-Fund Rainbow All Seasons investment in the Master Funds, indirectly exposes the funds to various types of risk, which are associated with the financial instruments and markets in which the Master Funds invest.

The types of financial risk to which the Superfund Green C Japan and Superfund Japan Sub-Fund Rainbow All Seasons are exposed to are market risk, credit risk and liquidity risk. Refer to the Master Funds' financial statements for information regarding financial risk to which Superfund Green C Japan and Superfund Japan Sub-Fund Rainbow All Seasons are exposed.

Details of the investments held by the Master Funds, including a breakdown of the levels of their market price observability used in measuring investments at fair value, are disclosed in Note 2 of the Master Funds' financial statements included elsewhere in this report.

SUPERFUND JAPAN

Notes to Financial Statements

December 31, 2023
(stated in Japanese Yen and United States Dollars)

4. Unitholders' capital

	Number of units
SUPERFUND JAPAN SUB-FUND GREEN	
Class Gold JPY:	
Balance at beginning of year	9,753,479
Issued during the year	613,918
Redeemed during year	(348,277)
	10,019,120
SUPERFUND JAPAN SUB-FUND GREEN	
Class Silver JPY:	
Balance at beginning of year	1,559,439
Issued during the year	108,839
Redeemed during year	(23,116)
	1,645,162
SUPERFUND JAPAN SUB-FUND GREEN	
Class JPY:	
Balance at beginning of year	9,009,299
Issued during the year	57,229
Redeemed during year	(1,967,707)
	7,098,821
SUPERFUND JAPAN SUB-FUND GREEN	
Class Gold USD:	
Balance at beginning of year	608,437
Issued during the year	4,200
	612,637

SUPERFUND JAPAN

Notes to Financial Statements

December 31, 2023
(stated in Japanese Yen and United States Dollars)

4. Unitholders' capital (continued)

SUPERFUND JAPAN SUB-FUND GREEN	
Class Silver USD:	
Balance at beginning of year	2,333,353
Issued during the year	6
	2,333,359

SUPERFUND JAPAN SUB-FUND GREEN	
Class USD:	
Balance at beginning of year	1,725,473
Issued during the year	8
Redeemed during year	(204,313)
	1,521,168

SUPERFUND GREEN C JAPAN	
Class JPY:	
Balance at beginning of year	2,064,114
Redeemed during year	(135,833)
	1,928,281

SUPERFUND GREEN C JAPAN	
Class USD	
Balance at beginning of year	1,435,539
	1,435,539

SUPERFUND JAPAN

Notes to Financial Statements

December 31, 2023
(stated in Japanese Yen and United States Dollars)

4. Unitholders' capital (continued)

SUPERFUND JAPAN SUB-FUND RAINBOW ALL SEASONS	
Class Gold JPY:	
Balance at beginning of year	3,827,813
Issued during the year	17,235
Redeemed during year	(186,414)
	3,658,634

SUPERFUND JAPAN SUB-FUND RAINBOW ALL SEASONS	
Class JPY	
Balance at beginning of year	4,258,577
Issued during the year	35,297
Redeemed during year	(2,455,547)
	1,838,327

Each Sub-Fund is subject to a minimum investment amount for each series: for Superfund Japan Sub-Fund Green and Superfund Japan Sub-Fund Rainbow All Seasons, the minimum amount for subscription is 5,000 units or more in increments of 100 units respectively, for Superfund Green C Japan, the minimum amount for subscription is 100,000 units or more in increments of 100 units. The Distributor may, in consultation with the Manager, waive such minimums in whole or in part for certain subscriptions at their discretion.

All of the units shall, except as described in the Trust Deed, rank parri passu and have substantially the same rights, terms and conditions.

There is a sales charge applicable to subscriptions of units. The sales charges applicable to a particular investor's subscription is based upon the aggregate purchase price for the relevant subscription for each series by the investor (the "Purchase Amount"). The sales charges applicable to each subscription is an amount equal to the Purchase Amount for such subscription multiplied by a rate of up to 5.50% (5% without tax)

The unitholders will generally be permitted to request to repurchase all or some of their units effective as at the last day of each month, by providing a prior written notice to the Distributor of the Trust. Any such repurchase will take place at the net asset value per unit, determined on the last day of a given month.

Where requests for repurchase of the units are made within twelve months of initial subscription or where a compulsory redemption is made by the Trust, a repurchase fee of two percent of the repurchase price may be charged by the Trust to the unitholder, at the sole discretion of the Manager. Such repurchase fee shall be for the benefit of the Trust.

4. Unitholders' capital (continued)

In no event may a unitholder make a partial repurchase request that would result in such unitholder holding units that are less than the amount of the relevant minimum initial investment for each series, unless otherwise waived by the Manager in their sole discretion.

5. Management fees

The Trust's investment activities are managed by the Manager, a related party by virtue of common control. Under the terms of the Advisory Agreement, the Manager receives a management fee monthly in arrears at the rate of 0.1% per annum of the net asset value of each Sub-Fund.

Included in accounts payable and accrued expenses at December 31, 2023, are management fees payable of ¥38,443 for Superfund Japan Sub-Fund Green, ¥13,471 for Superfund Green C Japan and ¥28,439 for Superfund Japan Sub-Fund Rainbow All Seasons.

6. Incentive fees

There are no incentive fees payable at the Sub-Fund level. The Master Funds pay incentive fees as disclosed in the notes of their financial statements, which are attached elsewhere in this report.

7. Distribution fees

Superfund Japan Co., Ltd. (the "Distributor"), a related party by virtue of common control, acts as distributor of the Sub-Fund Superfund Japan Sub-Fund Rainbow All Seasons shares and is entitled to a distribution fee monthly in arrears at the rate of 0.6% per annum of the net asset value of the Sub-Fund Superfund Japan Sub-Fund Rainbow All Seasons.

Included in accounts payable and accrued expenses at December 31, 2023, are distribution fee payable of ¥199,107 for Superfund Japan Sub-Fund Rainbow All Seasons and there were no distribution fees payable in respect of other Sub-Fund. For other Sub-Fund the Master Funds pay distribution fees as disclosed in the notes of their financial statements, which are attached elsewhere in this report.

8. Agent member company fees

The Agent Member Company is entitled to receive a fee of 0.1% per annum of the net asset value of each Sub-Fund.

Included in accounts payable and accrued expenses at December 31, 2023, are agency fees payable of ¥173,337 for Superfund Japan Sub-Fund Green, ¥13,472 for Superfund Green C Japan and ¥28,444 for Superfund Japan Sub-Fund Rainbow All Seasons.

9. Trustee fees

Effective May 8, 2015, Harneys Fiduciary (Cayman) Limited (the "Trustee") has been appointed to be the trustee of the Trust.

9. Trustee fees (continued)

As defined in the Trust Deed, the Trust has agreed to pay the Trustee a fee of US$8,500 per annum per Sub-Fund.

There were no trustee fees payable in the Sub-Fund Superfund Japan Sub-Fund Green, Superfund Green C Japan and Superfund Japan Sub-Fund Rainbow All Seasons for the year ended December 31, 2023.

10. Administration fees

NAV Fund Administration Group is appointed as administrator of the Trust (the "Administrator"). Under the terms of the Administration Agreement, the Trust pays to NAV Fund Administration Group a fee calculated at the last valuation day in each month in arrears at the rate of US$6,900 per annum for each of Sub-Fund Green, Superfund Green C Japan and Superfund Japan Sub-Fund Rainbow All Seasons.

Included in accounts payable and accrued expenses at December 31, 2023 are administration fees payable of ¥275,035 for Sub-Fund Green, ¥275,035 for Superfund Green C Japan and ¥275,035 for Superfund Japan Sub-Fund Rainbow All Seasons.

11. Related party transactions

The Manager and the Distributor are related parties by virtue of common control. Fees payable to the Manager and to the Distributor have not been set by arms-length negotiations.

The Trust, through Superfund Japan Sub-Fund Green has invested into underlying funds, which are part of the Superfund group of investment companies. Tennyson Briggs and Josef Holzer, directors of the Manager, are also directors of these underlying fund. As at December 31, 2023, these funds have a fair value of ¥2,041,021,119 representing 99.89% of the net assets of Superfund Japan Sub-Fund Green. During the year a realized loss of ¥58,109,311 was made by Superfund Japan Sub-Fund Green on the sale of other Superfund investment companies and foreign currency transactions.

12. Fair value

At December 31, 2023, the following methods and assumptions were used by management to estimate the fair value of each class of financial instruments. For certain of the Trust's financial instruments, including cash, cash denominated in foreign currency, receivables from investment in funds, receivable from Master Fund, Other assets, redemptions payable, subscription in advance and accounts payable and accrued expenses, the carrying amounts approximate fair value due to the immediate or short-term nature of these financial instruments.

Fair value estimates are made at a specific point in time, based on market conditions and information about the financial instruments. These estimates are subjective in nature and involve uncertainties and matters of significant judgement and therefore, cannot be determined with precision. Changes in assumptions could significantly affect the estimates. Refer to the Master Funds' and the Ultimate Master Funds' financial statements for information in relation to fair value measurements classification of investments held by the Master Funds and the Ultimate Master Funds.

13. Financial highlights

SUPERFUND JAPAN SUB-FUND GREEN	Class Gold JPY	Class JPY	Class Silver JPY
Per share operating performance			
(for a Unit outstanding throughout the year)[1]	(¥)	(¥)	(¥)
Net asset value per Unit at beginning of year	130.32	69.48	99.55
Income from investment operations			
Net investment loss	(4.38)	(2.17)	(3.31)
Net realized and movement in unrealized loss on investments and foreign currency	(14.99)	(17.76)	(19.25)
Total loss from investment operations	(19.37)	(19.93)	(22.56)
Net asset value per Unit at end of year	110.95	49.55	76.99
Total return[2]	(14.86)%	(28.68)%	(22.66)%
Supplemental data:			
Ratio to average net assets			
Operating and other expenses	1.09%	1.22%	1.26%
Net investment loss	(3.82)%	(3.96)%	(4.03)%

(1) Based on average units outstanding during the year.

(2) An individual investor's return may vary due to the timing of unit subscriptions and redemptions.

13. Financial highlights (continued)

SUPERFUND JAPAN SUB-FUND GREEN (continued)	Class Gold USD	Class USD	Class Silver USD
Per share operating performance			
(for a Unit outstanding throughout the year)[1]	(US$)	(US$)	(US$)
Net asset value per Unit at beginning of year	1.01	0.75	1.12
Income from investment operations			
Net investment loss	(0.02)	(0.02)	(0.03)
Net realized and movement in unrealized loss on investments and foreign currency	(0.19)	(0.18)	(0.28)
Total (loss)/gain from investment operations	(0.21)	(0.20)	(0.31)
Net asset value per Unit at end of year	0.80	0.55	0.81
Total return[2]	(20.86)%	(27.84)%	(28.11)%
Supplemental data:			
Ratio to average net assets			
Operating and other expenses	2.79%	3.05%	3.04%
Net investment loss	(2.78)%	(3.04)%	(3.03)%

(1) Based on average units outstanding during the year.

(2) An individual investor's return may vary due to the timing of unit subscriptions and redemptions.

208/618

スーパーファンド・ジャパン・トレーディング（ケイマン）リミテッド(E23303)
有価証券報告書（外国投資信託受益証券）
EDINET提出書類

13. Financial highlights (continued)

SUPERFUND GREEN C JAPAN	Class JPY	Class USD
Per share operating performance		
(for a Unit outstanding throughout the year)[1]	(¥)	(US$)
Net asset value per Unit at beginning of year	65.30	0.60
Income from investment operations		
Net investment loss	(2.83)	(0.03)
Net realized and movement in unrealized loss on investments and foreign currency	(21.49)	(0.17)
Total loss from investment operations	(24.32)	(0.20)
Net asset value per Unit at end of year	40.98	0.40
Total return[2]	(37.25)%	(34.23)%
Supplemental data:		
Ratio to average net assets		
Operating and other expenses	8.44%	8.48%
Net investment loss	(6.00)%	(6.03)%

(1) Based on average units outstanding during the year.

(2) An individual investor's return may vary due to the timing of unit subscriptions and redemptions.

EDINET提出書類
スーパーファンド・ジャパン・トレーディング（ケイマン）リミテッド(E23303)
有価証券報告書（外国投資信託受益証券）

13. Financial highlights (continued)

SUPERFUND JAPAN SUB-FUND RAINBOW ALL SEASONS	Class Gold JPY	Class JPY
Per share operating performance		
(for a Unit outstanding throughout the year)[1]	(¥)	(¥)
Net asset value per Unit at beginning of year	64.79	36.18
Income from investment operations		
Net investment loss	(3.37)	(1.52)
Net realized and movement in unrealized gain/(loss) on investments and foreign currency	12.95	(0.39)
Total gain/(loss) from investment operations	9.58	(1.91)
Net asset value per Unit at end of year	74.37	34.27
Total return[2]	14.79%	(5.28)%
Supplemental data:		
Ratio to average net assets		
Operating and other expenses	(5.05)%	(4.67)%
Net investment loss	(4.79)%	(4.40)%

(1) Based on average units outstanding during the year.

(2) An individual investor's return may vary due to the timing of unit subscriptions and redemptions.

EDINET提出書類
スーパーファンド・ジャパン・トレーディング（ケイマン）リミテッド(E23303)
有価証券報告書（外国投資信託受益証券）

14. Subsequent events

In preparing these financial statements, management has evaluated and disclosed all material subsequent events up to June 21, 2024, which is the date that the financial statements were available for issue.

Subsequent to December 31, 2023, ¥16,600,000, ¥1,200,000, ¥4,600,000, and ¥400,000, subscriptions were processed for Superfund Japan Sub-Fund Green Class Gold JPY, Superfund Japan Sub-Fund Green Class JPY, Superfund Japan Sub-Fund Green Class Silver JPY, and Superfund Japan Sub-Fund Rainbow All Seasons Class Gold JPY respectively.

Redemptions in the amount of approximately ¥30,525,525, ¥17,227,865, ¥5,210,182, US$5,404, ¥3,133,033, ¥4,346,697 and ¥3,130,221 were processed for Superfund Japan Sub-Fund Green Class Gold JPY, Superfund Japan Sub-Fund Green Class JPY, Superfund Japan Sub-Fund Green Class Silver JPY, Superfund Japan Sub-Fund Green Class USD, Superfund Japan Sub-Fund Green C Class JPY, Superfund Japan Sub-Fund Rainbow All Seasons Class Gold JPY and Superfund Japan Sub-Fund Rainbow All Seasons Class JPY respectively.

SUPERFUND GREEN GOLD SPC – SUPERFUND GREEN GOLD SEGREGATED PORTFOLIO A

Statement of Assets and Liabilities

December 31, 2023
(stated in United States dollars)

	Notes		
Assets			
Investment in money market funds (cost: US$2,155,080)	2(b)		2,155,080
Investment in Master Fund	2(c),4		3,032,618
Cash			135,295
Due from broker	3		545,305
Unrealized gain on open futures contracts	2(g),4,5		40,686
Other assets			1,850
			5,910,834
Liabilities			
Redemptions payable	2(l)		27,018
Accounts payable and accrued expenses	7,9,10		34,676
			61,694
Net assets		US$	5,849,140
Net assets per Class A Participating Share, based on 5,784.66 shares outstanding			
expressed in United States dollars		US$	800.61
expressed in ounces of gold		Oz.	0.39
Net assets per Class A2 Participating Share, based on 1,548.89 shares outstanding			
expressed in United States dollars		US$	786.28
expressed in ounces of gold		Oz.	0.38

The accompanying notes and the attached financial statements of Superfund Green Gold Master SPC are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND GREEN GOLD SPC – SUPERFUND GREEN GOLD SEGREGATED PORTFOLIO A

Condensed Schedule of Investments

December 31, 2023
(stated in United States dollars)

Description (% of net assets)	Number of Shares	Cost	Fair value
FUND INVESTMENT (36.84%)			
Blackrock Inst US Dol Core Iulad (9.21%)	538,769.72	538,770	538,770
Goldman Liq Reserve Inst (9.21%)	538,769.72	538,770	538,770
Invesco Global USD Corp 1937 (9.21%)	538,769.72	538,770	538,770
JP Morgan USD Liq Inst U39 (9.21%)	538,770.56	538,770	538,770
Total money market funds		US$	2,155,080

Description (% of net assets)	Expiration dates	Notional amount	Fair value
FUTURES CONTRACTS (0.70%)			
Gold (0.70%)	February 2024	2,900,520	40,686
Unrealized gain on open futures contracts		US$	40,686

The accompanying notes and the attached financial statements of Superfund Green Gold Master SPC are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND GREEN GOLD SPC – SUPERFUND GREEN GOLD SEGREGATED PORTFOLIO A

Statement of Operations

Year ended December 31, 2023
(stated in United States dollars)

	Note	
Net investment income allocated from Master Fund		
Income		65,755
Expenses		(12,266)
		53,489
Fund income		
Interest income		142,857
		142,857
Fund expenses		
Management fee	7	183,177
Distribution fees	9	109,948
Professional fees		9,820
Administration fees	10	7,200
General and administrative expenses		4,054
		314,199
Net investment loss		(117,853)
Fund realized gain and movement in unrealized loss on investments and foreign currency		
Net realized gain on investments and foreign currency		295,422
Movement in unrealized loss on investments and foreign currency		(73,673)
		221,749
Net realized loss and movement in unrealized loss on investments and foreign currency allocated from Master Fund		
Net realized loss on investments and foreign currency		(834,653)
Movement in unrealized loss on investments and foreign currency		(112,080)
		(946,733)
Net decrease in net assets resulting from operations	US$	(842,837)

The accompanying notes and the attached financial statements of Superfund Green Gold Master SPC are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND GREEN GOLD SPC – SUPERFUND GREEN GOLD SEGREGATED PORTFOLIO A

Statement of Changes in Net Assets

Year ended December 31, 2023
(stated in United States dollars)

Operations		
Net investment loss		(117,853)
Net realized loss on investments and foreign currency		(539,231)
Movement in unrealized loss on investments and foreign currency		(185,753)
		(842,837)
Capital transactions		
Payments for redemptions of Participating Shares:		
Class A2 (USD)		(291,225)
		(291,225)
Decrease in net assets for year		(1,134,062)
Net assets at beginning of year	US$	6,983,202
Net assets at end of year	US$	5,849,140
Net assets at year end consist of:		
Class A (USD) Shares		4,631,275
Class A2 (USD) Shares		1,217,865
	US$	5,849,140

The accompanying notes and the attached financial statements of Superfund Green Gold Master SPC are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND GREEN GOLD SPC – SUPERFUND GREEN GOLD SEGREGATED PORTFOLIO B

Statement of Assets and Liabilities

December 31, 2023
(stated in United States dollars)

	Note		
Assets			
Investment in money market funds (cost: US$1,492,314)	2(b)		1,492,314
Investment in Master Fund	2(c), 4		6,643,242
Cash			101,033
Due from broker	3		439,966
Unrealized gain on open futures contracts	2(g),4,5		30,373
Receivable from Class B Japan JPY			31,865
Other assets			1,850
Total assets			8,740,643
Liabilities			
Payable to Master Fund			44
Unrealized loss on open futures contracts	2(g),4,5		505
Redemptions payable	2(l)		17,134
Accounts payable and accrued expenses	7,9,10		41,461
			59,144
Net assets		US$	8,681,499
Net assets per Class B Participating Share, based on 467.1 shares outstanding			
expressed in United States dollars		US$	724.73
expressed in ounces of gold		Oz.	0.35
Net assets per Class B Japan USD Participating Share, based on 538.01 shares outstanding			
expressed in United States dollars		US$	903.03
expressed in ounces of gold		Oz.	0.44
Net assets per Class B Japan JPY Participating Share, based on 977,872.11 shares outstanding			
expressed in Japanese Yen		JPY	1,133.28
expressed in ounces of gold		Oz.	-

The accompanying notes and the attached financial statements of Superfund Green Gold Master SPC are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND GREEN GOLD SPC – SUPERFUND GREEN GOLD SEGREGATED PORTFOLIO B

Condensed Schedule of Investments

December 31, 2023
(stated in United States dollars)

Description (% of net assets)	Number of Shares	Cost	Fair value
FUND INVESTMENT (17.16%)			
Blackrock Inst US Dol Core Iulad (4.29%)	373,078.29	373,078	373,078
Goldman Liq Reserve Inst 499 (4.29%)	373,078.29	373,078	373,078
Invesco Global USD Corp 1937 (4.29%)	373,078.29	373,078	373,078
JP Morgan USD Liq Inst U39 (4.29%)	373,078.97	373,079	373,079
Total money market funds		US$	1,492,314

Description (% of net assets)	Expiration dates	Notional amount	Fair value
FUTURES CONTRACTS (0.35%)			
Gold (0.35%)	February 2024	2,071,800	30,373
Unrealized gain on open futures contracts		US$	30,373

Description (% of net assets)	Expiration dates	Notional amount	Fair value
FUTURES CONTRACTS (-0.01%)			
Gold (-0.01%)	February 2024	207,180	(505)
Unrealized loss on open futures contracts		US$	(505)

The accompanying notes and the attached financial statements of Superfund Green Gold Master SPC are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND GREEN GOLD SPC – SUPERFUND GREEN GOLD SEGREGATED PORTFOLIO B

Statement of Operations

Year ended December 31, 2023
(stated in United States dollars)

	Note	
Net investment income allocated from Master Fund		
Income		146,747
Expenses		(27,252)
		119,495
Fund income		
Interest income		104,072
		104,072
Fund expenses		
Management fee	7	183,190
Distribution fees	9	161,460
Professional fees		12,454
Administration fees	10	7,200
General and administrative expenses		8,323
		372,627
Net investment loss		(149,060)
Fund realized gain and movement in unrealized loss on investments and foreign currency		
Net realized gain on investments and foreign currency		223,014
Movement in unrealized loss on investments and foreign currency		(54,444)
		168,570
Net realized loss and movement in unrealized loss on investments and foreign currency allocated from Master Fund		
Net realized loss on investments and foreign currency		(1,877,367)
Movement in unrealized loss on investments and foreign currency		(308,835)
		(2,186,202)
Net decrease in net assets resulting from operations	US$	(2,166,692)

The accompanying notes and the attached financial statements of Superfund Green Gold Master SPC are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND GREEN GOLD SPC – SUPERFUND GREEN GOLD SEGREGATED PORTFOLIO B

Statement of Changes in Net Assets

Year ended December 31, 2023
(stated in United States dollars)

Operations		
Net investment loss		(149,060)
Net realized loss on investments and foreign currency		(1,654,353)
Movement in unrealized loss on investments and foreign currency		(363,279)
		(2,166,692)
Capital transactions		
Proceeds from issue of Participating Shares:		
Class B Japan (JPY)		512,931
Class B Japan (USD)		3,221
Payments for redemptions of Participating Shares:		
Class B (USD)		(127,443)
Class B Japan (JPY)		(384,534)
Class B Japan (USD)		(5,575)
		(1,400)
Decrease in net assets for year		(2,168,092)
Net assets at beginning of year	US$	10,849,591
Net assets at end of year	US$	8,681,499
Net assets at end of year consist of:		
Class B (USD) Shares		338,523
Class B Japan (USD) Shares		485,838
Class B Japan (JPY) Shares		7,857,138
	US$	8,681,499

The accompanying notes and the attached financial statements of Superfund Green Gold Master SPC are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND GREEN GOLD SPC

Notes to Financial Statements

December 31, 2023
(stated in United States dollars)

1. Incorporation and principal activity

Superfund Green Gold SPC (the "Company") was incorporated as an exempted company under the Companies Act of the Cayman Islands on October 8, 2004 and was registered under the Mutual Funds Act of the Cayman Islands on September 28, 2005.

The Company's objective is long-term capital appreciation through the use of technical analysis. The assets of the Company can either be general assets or segregated portfolio assets. The assets attributable to a segregated portfolio comprise assets representing the share capital and reserves attributable to the segregated portfolio and other assets attributable to or held within that segregated portfolio. The general assets comprise the assets of the Company which are not segregated portfolio assets. Where a liability arises from a transaction in respect of a particular segregated portfolio and there are insufficient assets within that segregated portfolio, then there will be recourse to the general assets, but not to the assets of any other segregated portfolio.

The Company is a multi-class fund which has established separate and distinct portfolios of investments available to investors through the offering of Class A Participating Shares (representing interests in Superfund Green Gold Segregated Portfolio A) and Class B Participating Shares (representing interests in Superfund Green Gold Segregated Portfolio B), (collectively the "Funds").

The segregated portfolios are part of a "master-feeder" fund structure whereby they invest substantially all of their assets in the Superfund Green Gold Master Segregated Portfolio of Superfund Green Gold Master Fund SPC (the "Master Fund"), a Cayman Islands exempted limited company. The financial statements of the Master Fund, including the condensed schedule of investments, are included in this report and should be read in conjunction with the Company's financial statements.

At December 31, 2023, Superfund Green Gold Segregated Portfolio A ("Segregated Portfolio A") and Superfund Green Gold Segregated Portfolio B ("Segregated Portfolio B") held 20% and 43.81% of the Master Fund, respectively.

2. Significant accounting policies

The financial statements are prepared in conformity with accounting principles generally accepted in the United States of America ("US GAAP") as detailed in the Financial Accounting Standards Board's ("FASB") Accounting Standards Codification ("ASC"). The Company qualifies as an investment company under US GAAP and follows the accounting and reporting guidance applicable to investment companies in FASB ASC 946, *Financial Services – Investment Companies*.

2. Significant accounting policies (continued)

The significant accounting policies adopted by the Funds are as follows:

(a) Use of estimates

The preparation of financial statements in accordance with US GAAP requires management to make estimates and assumptions that affect the reported amounts of assets and liabilities and disclosure of contingent assets and liabilities at the date of the financial statements, and the reported amounts of revenues and expenses during the reporting period. Actual results could differ from those estimates.

(b) Investment in money market funds

Investments in money market funds are accounted for on the trade date basis. Investments are initially measured at cost. Subsequent to initial recognition, investments are measured at fair value. Fair value is determined as the net assets attributable to the Funds, as reported by the respective money market fund. Realized and movement in unrealized gains and losses are included in the statement of operations.

(c) Investment in Master Fund

Investments in the Master Fund are accounted for on a trade date basis. Investments are initially measured at cost. Subsequent to initial recognition, investments are measured at fair value.

Fair value is determined as the net assets attributable to the Funds, as a practical expedient, as reported by the Master Fund's administrator. Realized and movement in unrealized gains and losses on investments are included in the statement of operations. The valuation of the Master Fund's investments is discussed in the notes to the Master Fund's financial statements included in this report.

(d) Investment income and expenses

Each segregated portfolio records its proportionate share of the Master Fund's income, expenses and realized and movement in unrealized gains and losses in its statement of operations based on the value of its respective share of the net asset value of the Master Fund. In addition, each segregated portfolio also accrues its own income and expenses.

(e) Net asset value per share

The net asset value per share ("NAV per Share") is expressed in ounces of gold and calculated by dividing the net assets of the relevant segregated portfolio attributable to a particular class by the number of shares of that class outstanding then, for shares expressed in ounces of gold, further dividing the value obtained by the London AM gold fixing per ounce price.

(f) Futures contracts

Open futures contracts are carried at fair value calculated as the difference between the contract price and the market value based upon rates reported in published sources or those provided by the broker, if applicable rates are not readily available. Realized and movement in unrealized gains and losses are included in the statement of operations.

2. Significant accounting policies (continued)

(g) Valuation of investments at fair value – definition and hierarchy

US GAAP establishes a fair value hierarchy that prioritizes the inputs to valuation techniques used to measure fair value into three broad levels explained below:

Level 1: Valuations based on the unadjusted quoted prices in active markets for identical assets or liabilities that management has the ability to access. Valuation adjustments and block discounts are not applied to Level 1 securities. Since valuations are based on quoted prices that are readily and regularly available in an active market, valuation of these securities does not entail a significant degree of judgment.

Level 2: Valuations based on quoted prices in markets that are not active or for which all significant inputs are observable, either directly or indirectly.

Level 3: Valuations based on inputs that are unobservable and significant to the overall fair value measurement.

The following table summarizes the valuation of the Funds' investments based on the fair value hierarchy described above as at December 31, 2023.

Segregated Portfolio A		Total	Level 1	Level 2
Investment in money market funds		2,155,080	2,155,080	-
Unrealized gain on open futures contracts		40,686	40,686	-
Total	US$	2,195,766	2,195,766	-

Segregated Portfolio B		Total	Level 1	Level 2
Investment in money market funds		1,492,314	1,492,314	-
Unrealized gain on open futures contracts		30,373	30,373	-
Unrealized loss on open futures contracts		505	505	-
Total	US$	1,523,192	1,523,192	-

The Fair value hierarchy for the investment held by the Master Fund is disclosed in Note 2(f) of the Master Fund's financial statements.

(h) Interest income

Interest income is recorded on an accrual basis.

(i) Foreign currency

Assets and liabilities denominated or accounted for in foreign currencies are translated into United States dollars at the applicable exchange rates at the date of the statement of assets and liabilities. Foreign currency transactions are translated into United States dollars at the rate of exchange ruling at the date of the transaction. Realized and movement in unrealized gains and losses arising from translation is included in the statement of operations.

The Funds do not isolate that portion of the results of operations resulting from changes in foreign exchange rates on investments from the fluctuations arising from changes in market prices of securities held. Such fluctuations are included with the net realized and movement in unrealized gain or loss from investments and foreign currency.

2. Significant accounting policies (continued)

(j) Taxation

There are no taxes on income or gains in the Cayman Islands and in accordance with the provisions of section 6 of the Tax Concessions Act, the Company has received an undertaking from the Governor in Cabinet of the Cayman Islands exempting it from all local taxation on future profits and income or gains. Accordingly, no provision for income taxes is included in these financial statements.

The Funds recognize the tax benefits of uncertain tax positions only where the position is more-likely-than-not (i.e. greater than 50-percent) to be sustained assuming examination by a tax authority based on the technical merits of the Position. The Funds analyses all open tax years for all major taxing jurisdictions. Open tax years are those that are open for examination by taxing authorities, as defined by the statute of limitations in each jurisdiction.

Management has analyzed the Funds' tax positions and has concluded that no liability for unrecognized tax benefits should be recorded related to uncertain tax positions. Further, management is not aware of any tax positions for which it is reasonably possible that the total amounts of unrecognized tax benefits will significantly change in the next twelve months.

(k) Allocation of income and expenses

Income and expenses that are identifiable with a particular segregated portfolio are allocated to or charged against the segregated portfolio in computing its net asset value. Other income and expenses are allocated pro-rata between the segregated portfolios or otherwise at the discretion of the Directors.

(l) Redemptions payable

Shares redeemed at the option of the holder of the Funds are classified as redemptions payable when a redemption request has been received and the redemption amount determined.

(m) Offsetting

Financial assets and liabilities including unrealized gain or loss on open futures contracts are offset and the net amount is reported in the statement of assets and liabilities when the Funds have a legally enforceable right to offset the recognized amounts and the transactions are intended to be settled on a net basis or simultaneously. The Funds did not meet the requirements for offsetting during the year.

(n) Recent accounting pronouncement

For public business entities, ASU 2022-03 is effective for fiscal years beginning after 15 December 2023, and interim periods within those fiscal years. For all other entities, ASU 2022-03 is effective for fiscal years beginning after 15 December 2024, and interim periods within those fiscal years. Early adoption is permitted for both interim and annual financial statements that have not yet been issued or made available for issuance. An entity that qualifies as an investment company under ASC 946 should apply ASU 2022-03 to an investment in an equity security subject to a contractual sale restriction that is executed or modified on or after the date of adoption.

2. Significant accounting policies (continued)

(n) Recent accounting pronouncement (continued)

An investment company with an equity security subject to a contractual sale restriction that was executed before the date of adoption should continue to account for the equity security until the contractual restrictions expire or are modified using the accounting policy applied before the adoption of ASIJ 2022-03 (that is if an investment company was incorporating the effects of the restriction in the measurement of fair value, it would continue to do so).

The Fund does not expect that the adoption of this guidance will have a significant impact on the Fund's results of operations, cash flows, and financial position.

3. Due from broker

Due from broker includes cash balances maintained at ADM Investor Services, Inc., net of amounts due for unsettled trades in securities and includes margin cash of US$127,820 for Segregated Portfolio A and US$100,430 for Segregated Portfolio B pledged as collateral against open future contracts.

4. Financial instruments

Market risk, credit risk and liquidity risk

In the normal course of its business, the Funds purchase and sell various financial instruments which may result in both market and credit risks, the amount of which is not apparent from the financial statements.

Market risk is the risk that changes in interest rates, foreign exchange rates or equity and commodity prices will affect the positions held by the Funds. The Funds are exposed to market risk on financial instruments held directly as well as investments held by the Master Fund that are valued at market prices.

As part of its investment strategy, the Funds enters into money market funds and futures contracts. The Funds invests into money market funds. Money market funds invest only in highly liquid cash and cash equivalent securities that have high credit ratings such as treasury bills, commercial paper and certificates of deposit. These funds invest primarily in debt-based securities which have a short-term maturity of less than 13 months and offer high liquidity with very low level of risk.

Futures contracts are traded on organized exchanges and require initial margin (collateral) in the form of cash or marketable securities. The initial margin is adjusted to reflect changes in the value of the futures contracts which is marked to market on a daily basis. Holders of futures contracts look to the exchange for performance under the contract and not to the entity holding the offsetting futures position.

Market risks arise due to the possible movement in foreign exchange rates, indices, commodities and securities' values underlying these instruments. Other market risks include the possibility that a change in the value of the contract may not directly correlate with changes in the value of the underlying currencies, commodities or stock indices. Certain risks exist when trading in futures contracts as they may increase the total return of the Funds' investments but may also entail greater than ordinary investment risks.

4. Financial instruments (continued)

Market risk, credit risk and liquidity risk (continued)

Futures markets are highly volatile and are influenced by factors such as changing supply and demand relationships, governmental programmes and policies, national and international political and economic events and changes in interest rates. In addition, because of the low margin deposits normally required in futures trading, a high degree of leverage may be typical of a futures trading account.

As a result, a relatively small price movement in a futures contract may result in substantial losses to the trader. Futures trading may also be illiquid. Certain futures exchanges do not permit trading in particular futures contracts at prices that represent a fluctuation in price during a single day's trading beyond certain set limits. If prices fluctuate during a single day's trading beyond those limits, the Funds could be prevented from promptly liquidating unfavourable positions and thus be subject to substantial losses.

Credit risk is the risk of counterparty default. Credit risk is generally higher when a non-exchange traded financial instrument is involved because the counterparty for non-exchange traded financial instruments is not backed by an exchange clearing house. The Funds' investment in the segregated portfolio of the Master Fund is not exchange traded.

As part of its investment strategy, the Master Fund utilizes leverage. The concept of leveraging is based on the premise that the Master Fund's cost of borrowing will be at rates that normally will be lower than the rate of return earned on the investments it holds. While the use of leverage may increase the returns on equity capital invested by the Master Fund, the use of leverage also increases the risk of loss of such capital.

Superfund Capital Management Inc. (the "Investment Adviser") acts as the investment adviser of the Funds. The Investment Adviser has internal guidelines and limits to maintain levels of leverage.

The Funds' investment in the Master Fund indirectly exposes it to various types of risk, which are associated with the financial instruments and markets in which the Master Fund invests.

The types of financial risk to which the Funds are exposed are market risk, credit risk and liquidity risk. Refer to Note 4 of the Master Fund's financial statements for information regarding financial risk to which the Funds are exposed.

The Master Fund maintains positions in a variety of derivative and non-derivative financial instruments as dictated by its investment management strategy. The Master Fund's investment portfolio as at December 31, 2023 is comprised of futures, forwards, money market funds, United States Treasury Bills and other investment funds.

The investment in the Master Fund is recorded at fair value and is based on the net assets attributable to the Master Fund as reported by the Master Fund's administrator. The Master Fund records its proportionate share of the Master Fund's income, expenses, and realized and unrealized gains and losses.

Details of the investments held by the Master Fund, including a breakdown of the levels of their market price observability used in measuring investments at fair value, are disclosed in the notes to the Master Fund's financial statements which are attached.

5. Derivative contracts

The Funds transact in gold futures contracts for trading purposes and hence its primary risk exposure is gold prices. Investments in derivative contracts are subject to additional risks that can result in a loss of all or part of an investment.

The Funds records its derivative activities on a mark-to-market basis. Fair values are determined by using quoted market prices. Refer to Note 5 of the Master Fund's financial statements for details of the derivative contracts held by the Master Fund as at December 31, 2023, including the gains and losses on these contracts for the year ended December 31, 2023.

The fair value amounts of gold future contracts as at December 31, 2023 has been included in the condensed schedules of investments. The table below indicates the gains and losses on gold futures, as included in net realized gain/(loss) on investments and foreign currency and movement in unrealized gain/(loss) on investments and foreign currency within the statements of operations for the year ended December 31, 2023:

	Asset derivatives	Notional amounts	Liability derivatives	Notional amounts	Unrealized gain/(loss)	Realized gain/(loss)
Futures contracts						
Segregated Portfolio A	40,686	2,900,520	-	-	(73,673)	295,422
Segregated Portfolio B	30,373	2,071,800	505	(207,180)	(54,444)	223,917
	71,059	4,972,320	505	(207,180)	(128,117)	519,339

The derivative instruments held as at December 31, 2023 and their effect on the statement of operations are indicative of the volume of derivative activity of the Funds during the year.

6. Share capital

Authorized:		
100 Founder Shares of US$0.01 each		1
4,999,900 Participating Shares of US$0.01 each		49,999
	US$	50,000

6. Share capital (continued)

	Number of shares
Issued and fully paid:	
Founder Shares	1
Segregated Portfolio A	
Class A (USD) Participating Shares:	
Balance at beginning of year	5,784.66
Redeemed during year	-
Balance at end of year	5,784.66
Segregated Portfolio A	
Class A2 (USD) Participating Shares:	
Balance at beginning of year	1,920.59
Redeemed during year	(371.70)
Balance at end of year	1,548.89
Segregated Portfolio B	
Class B (USD) Participating Shares:	
Balance at beginning of year	628.65
Redeemed during year	(161.55)
Balance at end of year	467.10
Segregated Portfolio B	
Class B Japan (USD) Participating Shares:	
Balance at beginning of year	540.79
Issued during year	3.42
Redeemed during year	(6.20)
Balance at end of year	538.01
Segregated Portfolio B	
Class B Japan (JPY) Participating Shares:	
Balance at beginning of year	963,477.28
Issued during year	59,733.05
Redeemed during year	(45,338.22)
Balance at end of year	977,872.11

6. Share capital (continued)

Founder Shares

Founder Shares may only be issued at par value and are not redeemable at the option of the holder. They carry one vote per share and confer on the holder thereof rights in a winding up as described below but confer no other right to participate in the profits or assets of the Company. At December 31, 2023, the Company's Founder Shares were held by a shareholder of the Investment Adviser.

Participating Shares

Classes A, A2 and B Participating Shares are issued on a weekly basis at the relevant net asset value per share. There is a Japanese yen ("JPY") share class in Segregated Portfolios A and B, all other share classes are denominated in United States dollars. Subscriptions for Classes A and B Participating Shares are accepted in United States dollars, Japanese yen, Euro or Swiss francs however, the Company converts subscription payments received to United States dollars or Japanese yen (as the case may be).

The minimum initial subscription which is accepted by the Company in respect of USD share class is US$5,000 for Class A Participating Shares, US$20,000 for Class A2 Participating Shares and US$50,000 for Class B Participating Shares. The minimum initial subscription which is accepted by the Company in respect of JPY share classes is JPY500,000 for Class A Participating Shares, and JPY5,000,000 for Class B Participating Shares.

The Directors may in their sole discretion accept initial subscriptions in lesser amounts. Participating Shares are redeemable at the net asset value per share of their respective segregated portfolio on the last business day before each Wednesday or, in the last week of each month, the last business day of the month, or such other day as the Directors may from time to time determine and are non-voting except for matters allowed by the articles of association. Holders of Participating Shares are entitled to receive all dividends and are paid in proportion to the amounts paid up on shares held by them respectively.

The rights attached to any shares may be varied with the consent in writing of all the holders of the issued shares of the segregated portfolio, or with the sanction of a special resolution passed by three fourths of the votes cast at a meeting of the holders of the shares of that segregated portfolio.

On a winding up of the Company, segregated portfolio and general assets will be applied first in satisfaction of claims of the segregated portfolio creditors and general creditors, respectively. The balance of general assets, if any, will be used to repay the nominal paid-in capital on the Founder Shares, with any balance transferred to the segregated portfolios in proportion to the net asset value of each segregated portfolio.

The assets of each segregated portfolio will be paid to the shareholders of the respective segregated portfolio in proportion to the number of shares held. If there is more than one class of Participating Shares in a segregated portfolio, the assets of the segregated portfolio will be allocated pro rata to each class according to the relative net asset values and then paid to the shareholders in proportion to the number of Participating Shares of the relevant class held.

At December 31, 2023, 977,872.11 of Class B Japan (JPY) Shares, 467.10 of Class B (USD) shares and 538.01 of Class B Japan (USD) Shares were held by related parties.

7. Management fees

The Funds' investment activities are managed by the Investment Adviser, a related party by virtue of common control. Under the terms of the Investment Advisory Agreement, the Investment Adviser receives a management fee monthly in arrears at the rate of 3% per annum of the net asset value of Class A (USD), Class A2 (USD) and Class B (USD) Participating Shares. For Class A Japan (JPY), Class B Japan (JPY) and Class B Japan (USD) Participating Shares the management fee is charged at the rate of 2% per annum of the net asset value of these Participating Shares.

Included in accounts payable and accrued expenses at December 31, 2023 are management fees payable of US$14,571 for Segregated Portfolio A and US$14,648 for Segregated Portfolio B.

8. Incentive fees

The Investment Adviser is also entitled to receive an incentive fee of 20% of the increase in the NAV per Share of Class A (USD), Class A2 (USD) and Class A (JPY), 15% of the increase in the NAV per Share of Class A Japan (JPY), 25% of the increase in the NAV per Share of Class B (USD) and Class B (JPY) and 20% for Class B Japan (USD) and Class B Japan (JPY) above the previous high watermarks, as defined in the Investment Advisory Agreement in force at year end, of the respective share class. Incentive fees are calculated based on the net asset value after all other fees and expenses of the segregated portfolios and are payable monthly.

As at December 31, 2023 there were no incentive fees payable for Segregated Portfolios A and B.

9. Distribution fees

Superfund Distribution and Investment, Inc. (the "Distributor"), a related party by virtue of common control, acts as distributor of the Company's shares and is entitled to a distribution fee monthly in arrears at the rate of 1.8% per annum of the net asset value of each segregated portfolio's Participating Shares.

Included in accounts payable and accrued expenses at December 31, 2023 are distribution fees payable of US$8,746 for Segregated Portfolio A and US$12,937 for Segregated Portfolio B.

The Distributor is entitled, at the discretion of the Directors, to receive a subscription charge of up to 7% of each subscription.

As at December 31, 2023, there were no subscription fees payable for Segregated Portfolios A and B.

10. Administration fees

NAV Fund Services (Cayman) Ltd. serves as an administrator (the "Administrator") of the Funds. Under the terms of the administration agreement, the Funds pays to the Administrator administration fees at the rate of US$650 per month for the Segregated Portfolio.

Included in accounts payable and accrued expenses at December 31, 2023 are administration fees payable of US$1,975 for Segregated Portfolio A and US$1,975 for Segregated Portfolio B.

11. Share redemption fees

At the discretion of the Directors, when a redemption of Class A or Class B Participating Shares is made within twelve months of the initial subscription or any compulsory redemption is made by the Directors, a redemption charge of 2% of the redemption price may be charged and paid to the Investment Adviser.

At the discretion of the Directors, when a redemption of Class A2 Participating Shares is made or any compulsory redemption is made by the Directors, a redemption charge of the redemption price may be charged and paid to the Investment Adviser as follows:

- redemption is made less than 12 months from initial subscription, 5% redemption charge
- redemption is made less than 24 months from initial subscription, 4% redemption charge
- redemption is made less than 36 months from initial subscription, 3% redemption charge
- redemption is made less than 48 months from initial subscription, 2% redemption charge
- redemption is made less than 60 months from initial subscription, 1% redemption charge
- redemption is made greater than 60 months from initial subscription, no redemption charge

At December 31, 2023, there were redemption fees payable of US$nil and US$nil for Segregated Portfolios A and B.

12. Related party transactions

The Investment Advisor and the Distributor are related parties by virtue of common control. The fees payable to the Investment Adviser and the Distributor have not been set by arms-length negotiations. The incentive fee payable to the Investment Adviser may create an incentive to make investments which are riskier or more speculative than would be the case in the absence of such an arrangement.

13. Fair value

At December 31, 2023, the following methods and assumptions were used by management to estimate the fair value of each class of financial instruments. For certain of the Funds' financial instruments, including cash, accounts payable and accrued expenses and redemptions payable, the carrying amounts approximate fair value due to the immediate or short-term nature of these financial instruments.

Investment in money market funds are recorded at market values based on quoted market prices or dealer quotes and therefore, the carrying amount approximates fair value.

Investments in open futures contract positions are recorded at market values based on quoted market prices or dealer quotes and therefore, the carrying amount approximates fair value.

Fair value estimates are made at a specific point in time, based on market conditions and information about the financial instruments. These estimates are subjective in nature and involve uncertainties and matters of significant judgment and therefore, cannot be determined with precision. Changes in assumptions could significantly affect the estimates. Refer to the notes of the Master Fund's financial statements for information in relation to fair value measurement classification of the investments held by the Master Fund.

SUPERFUND GREEN GOLD SPC

Notes to Financial Statements (continued)

December 31, 2023
(stated in United States dollars)

14. Financial highlights

Segregated Portfolio A	**Class A**	**Class A2**
Per share operating performance (for a Participating Share outstanding throughout the year)[1]	US$	US$
Net asset value per share at beginning of year	910.35	894.06
Income from investment operations		
Net investment loss	(15.71)	(15.37)
Net realized and movement in unrealized loss on investments and foreign currency	(94.03)	(92.41)
Total loss from investment operations	(109.74)	(107.78)
Net asset value per share at end of year	800.61	786.28
Total return[2]	(12.05) %	(12.05) %
Supplemental data:		
Ratio to average net assets		
Operating and other expenses	(5.34) %	(5.32) %
Net investment loss	(1.93) %	(1.91) %

[1] Based on average shares outstanding during the year.
[2] An individual investor's return may vary due to the timing of transactions.

SUPERFUND GREEN GOLD SPC

Notes to Financial Statements (continued)

December 31, 2023
(stated in United States dollars)

14. Financial highlights (continued)

Segregated Portfolio B	**Class B**	**Class B Japan**	**Class B Japan JPY**
Per share operating performance (for a Participating Share outstanding throughout the year)[1]	US$	US$	JPY
Net asset value per share at beginning of year	913.93	1,127.48	1,315.36
Income from investment operations			
Net investment loss	(19.70)	(15.13)	(18.85)
Net realized and movement in unrealized loss on investments and foreign currency	(169.49)	(209.32)	(163.23)
Total loss from investment operations	(189.19)	(224.45)	(182.08)
Net asset value per share at end of year	724.74	903.03	1,133.28
Total return[2]	(20.70) %	(19.90) %	(13.84) %
Supplemental data:			
Ratio to average net assets			
Operating and other expenses	(5.38) %	(4.41) %	(4.41) %
Incentive fee	0.00 %	0.00 %	0.00 %
Total operating and other expenses	(5.38) %	(4.41) %	(4.41) %
Net investment loss	(2.60) %	(1.62) %	(1.62) %

[1] Based on average shares outstanding during the year.

[2] An individual investor's return may vary due to the timing of share subscriptions and redemptions.

15. Subsequent events

In preparing these financial statements, management has evaluated and disclosed all material subsequent events up to June 14, 2024, which is the date the financial statements were available to be issued.

Subsequent to December 31, 2023, redemptions in the amount of approximately US$38,055 were paid for Segregated Portfolio A.

SUPERFUND GREEN GOLD MASTER SPC – SUPERFUND GREEN GOLD MASTER SEGREGATED PORTFOLIO

Statement of Assets and Liabilities

December 31, 2023
(stated in United States dollars)

	Notes		
Assets			
Investments in money market funds (cost US$4,078,245)	2(b)		4,078,245
Investment in securities (cost US$1,025,144)	2(c)		1,025,144
Cash			1,042,270
Due from brokers	3		8,664,317
Unrealized gain on open futures contracts	2(g),4,5		1,230,276
Unrealized gain on open forward contracts	2(g),4,5		196,811
Other assets			15,860
			16,252,923
Liabilities			
Due to brokers	3		223,398
Unrealized loss on open futures contracts	2(g),4,5		561,852
Unrealized loss on open forward contracts	2(g),4,5		280,135
Redemptions payable			278,071
Payable to Superfund Green Gold Segregated Portfolio A			4,902
Accounts payable and accrued expenses	8		18,838
			1,367,196
Net assets		US$	14,885,727
Net assets per Participating Shares, based on 7,286.38 shares outstanding		US$	2,042.95

See accompanying notes to financial statements.

SUPERFUND GREEN GOLD MASTER SPC – SUPERFUND GREEN GOLD MASTER SEGREGATED PORTFOLIO

Condensed Schedule of Investments

December 31, 2023
(stated in United States dollars)

Description (% of net assets)	Number of shares	Cost	Fair value
INVESTMENT IN MONEY MARKET FUNDS (27.40%)			
Blackrock Inst US Dol Core Iulad (6.85%)	1,019,560.89	1,019,562	1,019,562
GS USD Liq Res-Inst (6.85%)	1,019,560.89	1,019,561	1,019,561
Invesco Global USD Corp 1937 (6.85%)	1,019,560.89	1,019,561	1,019,561
JP Morgan USD Liq Inst U39 (6.85%)	1,019,561.59	1,019,561	1,019,561
Total investment in money market funds		US$	4,078,245

Description (% of net assets)	Principal	Cost	Fair value
INVESTMENT IN SECURITIES (6.89%)			
United States Treasury Bill, 0.0%, due 19/3/24 (6.89%)	1,037,000	1,025,144	1,025,144
Total investment in securities		US$	1,025,144

Description (% of net assets)	Expiration Dates	Notional amount	Fair value
FUTURES CONTRACTS (8.26%)			
Bond futures (2.10%)	February 2024 - March 2025	64,000,864	313,059
Commodity (0.10%)	February 2024 - March 2024	1,431,669	15,302
Currencies (0.49%)	March 2024	6,093,370	73,458
Index (1.93%)	January 2024 - March 2024	14,162,072	286,735
Food/Fibers/Lumber/Rubber (0.34%)	March 2024	1,428,069	51,314
Gold (1.47%)	February 2024 - August 2024	15,398,087	218,247
Metals (1.43%)	March 2024 - October 2024	5,655,674	213,595
Energy (0.39%)	January 2024 - May 2024	1,332,916	58,566
Unrealized gain on futures contracts		US$	1,230,276

See accompanying notes to financial statements

SUPERFUND GREEN GOLD MASTER SPC – SUPERFUND GREEN GOLD MASTER SEGREGATED PORTFOLIO

Condensed Schedule of Investments (continued)

December 31, 2023
(stated in United States dollars)

Description (% of net assets)	Expiration Dates	Notional amount	Fair value
FUTURES CONTRACTS (-3.77%)			
Bond futures (-0.47%)	February 2024 - December 2024	31,805,902	(70,514)
Commodity (-0.13%)	February 2024 - March 2024	1,146,835	(19,204)
Currencies (-0.21%)	January 2024 - March 2024	5,277,525	(30,914)
Index (-0.82%)	January 2024 - March 2024	12,833,240	(121,954)
Food/Fibers/Lumber/Rubber (-0.10%)	March 2024 - May 2024	843,420	(14,588)
Gold (-0.06%)	February 2024 - October 2024	1,583,807	(8,787)
Metals (-1.66%)	March 2024	4,221,663	(247,206)
Energy (-0.33%)	February 2024 - May 2024	1,378,368	(48,685)
Unrealized loss on futures contracts	US$		(561,852)

Description (% of net assets)	Expiration date	Notional amount	Fair value
FORWARD CONTRACTS (1.32%)			
Foreign exchange (1.32%)	March 2024	15,306,059	196,811
Unrealized gain on forward contracts	US$		196,811

Description (% of net assets)	Expiration date	Notional amount	Fair value
FORWARD CONTRACTS (-1.88%)			
Foreign exchange (-1.88%)	March 2024	20,868,835	(280,135)
Unrealized loss on forward contracts	US$		(280,135)

See accompanying notes to financial statements.

SUPERFUND GREEN GOLD MASTER SPC – SUPERFUND GREEN GOLD MASTER SEGREGATED PORTFOLIO

Statement of Operations

Year ended December 31, 2023
(stated in United States dollars)

	Note	
Income		
Interest income		338,427
		338,427
Expenses		
Administration fees	8	18,000
Professional fees		17,262
Interest expense		8,129
Other expenses		19,388
		62,779
Net investment income		275,648
Net realized loss and movement in unrealized loss on investments and foreign currency		
Net realized loss on investments and foreign currency		(4,341,784)
Movement in unrealized loss on investments and foreign currency		(739,669)
		(5,081,453)
Net decrease in net assets resulting from operations	US$	(4,805,805)

See accompanying notes to financial statements.

SUPERFUND GREEN GOLD MASTER SPC – SUPERFUND GREEN GOLD MASTER SEGREGATED PORTFOLIO

Statement of Changes in Net Assets

Year ended December 31, 2023
(stated in United States dollars)

Operations		
Net investment income		275,648
Net realized loss on investments and foreign currency		(4,341,784)
Movement in unrealized loss on investments and foreign currency		(739,669)
		(4,805,805)
Capital transactions		
Proceeds from issue of Participating Shares		2,103,898
Payments for redemption of Participating Shares		(1,152,299)
		951,599
Decrease in net assets for year		(3,854,206)
Net assets at beginning of year	US$	18,739,933
Net assets at end of year	US$	14,885,727

See accompanying notes to financial statements.

SUPERFUND GREEN GOLD MASTER SPC – SUPERFUND GREEN GOLD MASTER SEGREGATED PORTFOLIO

Notes to Financial Statements

December 31, 2023
(stated in United States dollars)

1. Incorporation and principal activity

Superfund Green Gold Master SPC (the "Master Fund") was incorporated as an exempted company under the Companies Act of the Cayman Islands on September 6, 2004 and was registered under the Mutual Funds Act of the Cayman Islands on June 12, 2013.

The Master Fund's objective is long-term capital appreciation through the use of technical analysis. The Master Fund invests its assets in a variety of futures contracts, including gold futures, and may also invest in physical gold.

The assets of the Master Fund can either be general assets or segregated portfolio assets. The assets attributable to a segregated portfolio comprise assets representing the share capital and reserves attributable to the segregated portfolio and other assets attributable to or held within that segregated portfolio. The general assets comprise the assets of the Master Fund which are not segregated portfolio assets. Where a liability arises from a transaction in respect of a particular segregated portfolio and there are insufficient assets within that segregated portfolio, then there will be recourse to the general assets, but not to the assets of any other segregated portfolio. The Master Fund had no general assets at December 31, 2023.

At December 31, 2023, the Master Fund had one segregated portfolio which was established in 2006, the Superfund Green Gold Master Segregated Portfolio. The Master Fund invests its assets in a variety of futures, including gold futures and also may invest in physical gold. The Master Fund's shares are offered to Superfund Green Gold SPC (the "Feeder Fund") as part of a "master-feeder" structure. The Feeder Fund is a multi-class fund which has established separate and distinct portfolios of investments available to investors through the offering of Class A Participating Shares (representing interests in Superfund Green Gold Segregated Portfolio A) and Class B Participating Shares (representing interests in Superfund Green Gold Segregated Portfolio B). At December 31, 2023, Superfund Green Gold Segregated Portfolio A and Superfund Green Gold Segregated Portfolio B held 20.00% and 43.81% of the Master Fund, respectively.

2. Significant accounting policies

The financial statements are prepared in conformity with accounting principles generally accepted in the United States of America ("US GAAP") as detailed in the Financial Accounting Standards Board's ("FASB") Accounting Standards Codification ("ASC"). The Master Fund qualifies as an investment company under US GAAP and follows the accounting and reporting guidance applicable to investment companies in FASB ASC 946, Financial Services – Investment Companies.

2. Significant accounting policies (continued)

The significant accounting policies adopted by the Master Fund are as follows:

(a) Use of Estimates

The preparation of financial statements in accordance with US GAAP requires management to make estimates and assumptions that affect the reported amounts of assets and liabilities and disclosure of contingent assets and liabilities at the date of the financial statements, and the reported amounts of revenues and expenses during the reporting year. Actual results could differ from those estimates.

(b) Investment in money market funds

Investments in money market funds are accounted for on the trade date basis. Investments are initially measured at cost. Subsequent to initial recognition, investments are measured at fair value. Fair value is determined as the net assets attributable to the Master Fund, as reported by the respective money market fund. Realized and movement in unrealized gains and losses are included in the statement of operations.

(c) Investment in securities

The Master Fund's investments in securities are comprised of investments in United States Treasury Bills. These investments are valued using quoted prices in active markets. Realized and movement in unrealized gains and losses are included in the statement of operations.

(d) Investments in funds, at fair value

Investments in investment funds are presented at their net asset value ("NAV") as reported by the management of the investment funds. In accordance with the redemption and liquidity terms of the governing agreements of the investment funds, a divestment of the Master Fund's ownership interest in an investment fund is transacted with such investment fund at the applicable reported NAV of the investment fund. ASU-2015-07 removed the requirement to categorize within the fair value hierarchy all investments for which fair value is measured using the NAV practical expedient. As at December 31, 2023, the Master Fund did not hold any open investment funds.

(e) Futures contracts

Open futures contracts are carried at fair value calculated as the difference between the contract price and the market value based upon rates reported in published sources or those provided by the broker, if applicable rates are not readily available. Realized and movement in unrealized gains and losses are included in the statement of operations.

(f) Forward contracts

Open forward contracts are carried at fair value calculated as the difference between the prevailing forward exchange rates and the deal rate. Realized and movement in unrealized gains and losses are included in the statement of operations.

SUPERFUND GREEN GOLD MASTER SPC – SUPERFUND GREEN GOLD MASTER SEGREGATED PORTFOLIO

Notes to Financial Statements (continued)

December 31, 2023
(stated in United States dollars)

2. Significant accounting policies (continued)

(g) Valuation of investments at fair value – definition and hierarchy

US GAAP establishes a fair value hierarchy that prioritizes the inputs to valuation techniques used to measure fair value into three broad levels explained below:

Level 1: Valuations based on the unadjusted quoted prices in active markets for identical assets or liabilities that management has the ability to access. Valuation adjustments and block discounts are not applied to Level 1 securities. Since valuations are based on quoted prices that are readily and regularly available in an active market, valuation of these securities does not entail a significant degree of judgment.

Level 2: Valuations based on quoted prices in markets that are not active or for which all significant inputs are observable, either directly or indirectly.

Level 3: Valuations based on inputs that are unobservable and significant to the overall fair value measurement.

The following table summarizes the valuation of the Master Fund's investments based on the fair value hierarchy described above as at December 31, 2023.

Assets		Total	Level 1	Level 2
Investments in money market fund		4,078,245	4,078,245	-
Investment in securities		1,025,144	1,025,144	-
Unrealized gain on open futures contracts		1,230,276	1,230,276	-
Unrealized gain on open forward contracts		196,811	-	196,811
Total	US$	6,530,476	6,333,665	196,811

Liabilities		Total	Level 1	Level 2
Unrealized loss on open futures contracts		(561,852)	(561,852)	-
Unrealized loss on open forward contracts		(280,135)	-	(280,135)
Total	US$	(841,987)	(561,852)	(280,135)

(h) Interest income and expense

Interest income and expense are recorded on an accrual basis.

(i) Foreign currency

Assets and liabilities denominated or accounted for in foreign currencies are translated into United States dollars at the applicable exchange rates at the date of the statement of assets and liabilities. Foreign currency transactions are translated into United States dollars at the rate of exchange ruling at the date of the transaction. Realized and movement in unrealized gains and losses arising from translation is included in the statement of operations.

2. Significant accounting policies (continued)

(i) Foreign currency (continued)

The Master Fund does not isolate that portion of the results of operations resulting from changes in foreign exchange on investments and cash from the fluctuations arising from changes in market prices of securities held. Such fluctuations are included with the net realized loss and movement in unrealized gain on investments and foreign currency in the statement of operations.

(j) Taxation

There are no taxes on income or gains in the Cayman Islands and in accordance with the provisions of section 6 of the Tax Concessions Act, the Master Fund has received an undertaking from the Governor in Cabinet of the Cayman Islands exempting it from all local taxation on future profits and income or gains. Accordingly, no provision for income taxes is included in these financial statements.

The Master Fund recognizes the tax benefits of uncertain tax positions only where the position is more-likely-than-not (i.e. greater than 50-percent) to be sustained assuming examination by a tax authority based on the technical merits of the position. The Master Fund analyzes all open tax years for all major taxing jurisdictions. Open tax years are those that are open for examination by taxing authorities, as defined by the statute of limitations in each jurisdiction.

Management has analyzed the Master Fund's tax positions and has concluded that no liability for unrecognized tax benefits should be recorded related to uncertain tax positions. Further, management is not aware of any tax positions for which it is reasonably possible that the total amounts of unrecognized tax benefits will significantly change in the next twelve months.

(k) Allocation of income and expenses

Income and expenses that are identifiable with a particular segregated portfolio are allocated to or charged against the segregated portfolio in computing its net asset value. Other income and expenses are allocated pro-rata between the segregated portfolios or otherwise at the discretion of the Directors.

(l) Offsetting

Financial assets and liabilities including unrealized gain or loss on open futures contracts are offset and the net amount is reported in the statement of assets and liabilities when the Master Fund has a legally enforceable right to offset the recognized amounts and the transactions are intended to be settled on a net basis or simultaneously. The Master Fund did not meet the requirements for offsetting during the year.

(m) Redemptions payable

Participating Shares redeemed at the option of the holder or the Master Fund are classified as redemptions payable when a redemption request has been received and the redemption amount determined.

2. Significant accounting policies (continued)

(n) Recent accounting pronouncement

For public business entities, ASU 2022-03 is effective for fiscal years beginning after 15 December 2023, and interim periods within those fiscal years. For all other entities, ASU 2022-03 is effective for fiscal years beginning after 15 December 2024, and interim periods within those fiscal years. Early adoption is permitted for both interim and annual financial statements that have not yet been issued or made available for issuance. An entity that qualifies as an investment company under ASC 946 should apply ASU 2022-03 to an investment in an equity security subject to a contractual sale restriction that is executed or modified on or after the date of adoption. An investment company with an equity security subject to a contractual sale restriction that was executed before the date of adoption should continue to account for the equity security until the contractual restrictions expire or are modified using the accounting policy applied before the adoption of ASIJ 2022-03 (that is if an investment company was incorporating the effects of the restriction in the measurement of fair value, it would continue to do so).

The Master Fund does not expect that the adoption of this guidance will have a significant impact on the Master Fund's results of operations, cash flows, and financial position.

3. Due from/to brokers

Due from/to brokers include cash balances maintained at ADM Investor Services, Inc. and INTL FC Stone Financial Inc. and includes margin cash of US$4,315,436 pledged as collateral against open future contracts and forwards contracts. At December 31, 2023 due from/to brokers included amounts receivable and payable for unsettled trades of US$Nil and US$Nil, respectively.

4. Financial instruments

Market risk, credit risk and liquidity risk

In the normal course of its business, the Master Fund purchases and sells various financial instruments which may result in market, credit and liquidity risks, the amount of which is not apparent from the financial statements.

Market risk is the risk that changes in interest rates, foreign exchange rates or equity and commodity prices will affect the positions held by the Master Fund. The Master Fund is exposed to market risk on financial instruments that are valued at market prices.

As part of its investment strategy, the Master Fund enters into futures contracts. Futures contracts are traded on organized exchanges and require initial margin (collateral) in the form of cash or marketable securities. The initial margin is adjusted to reflect changes in the value of the futures contracts which is marked to market on a daily basis. Holders of futures contracts look to the exchange for performance under the contract and not to the entity holding the offsetting futures position.

4. Financial instruments (continued)

Market risk, credit risk and liquidity risk (continued)

The Master Fund enters into forward contracts. Forward contracts contain credit risk for unrealized appreciation from various counterparties for the duration of the contract, net of collateral held. The Master Fund seeks to reduce its credit risk for forward contracts by only transacting with creditworthy counterparties.

The Master Fund invests into money market funds. Money market funds invest only in highly liquid cash and cash equivalent securities that have high credit ratings such as treasury bills, commercial paper and certificates of deposit. These funds invest primarily in debt-based securities which have a short-term maturity of less than 13 months, and offer high liquidity with very low level of risk.

The Master Fund invests into United States Treasury Bills which have a short-term maturity of less than 13 months, and offer high liquidity with very low level of risk.

Market risks arise due to the possible movement in foreign exchange rates, indices, commodities and securities' values underlying these instruments. Other market risks include the possibility that a change in the value of the contract may not directly correlate with changes in the value of the underlying currencies, commodities or stock indices. Certain risks exist when trading in futures contracts as they may increase the total return of the Master Fund's investments but may also entail greater than ordinary investment risks.

Credit risk is the risk of counterparty default. Credit risk is generally higher when a non-exchange traded financial instrument is involved because the counterparty for non-exchange traded financial instruments is not backed by an exchange clearing house. In order to minimize the impact of credit risk, the Master Fund utilizes a number of brokers. Management reviews the credit rating and results of the brokers and is comfortable with the concentration of credit risk by the Master Fund.

Futures markets are highly volatile and are influenced by factors such as changing supply and demand relationships, governmental programs and policies, national and international political and economic events and changes in interest rates. In addition, because of the low margin deposits normally required in futures trading, a high degree of leverage may be typical of a futures trading account.

As a result, a relatively small price movement in a futures contract may result in substantial losses to the Master Fund. Futures trading may also be illiquid. Certain futures exchanges do not permit trading in particular futures contracts at prices that represent a fluctuation in price during a single day's trading beyond certain set limits. If prices fluctuate during a single day's trading beyond those limits, the Master Fund could be prevented from promptly liquidating unfavourable positions and thus be subject to substantial losses.

As part of its investment strategy, the Master Fund utilizes leverage. The concept of leveraging is based on the premise that the Master Fund's cost of borrowing will be at rates that normally will be lower than the rate of return earned on the investment it holds. While the use of leverage may increase the returns on equity capital invested in the Master Fund, the use of leverage also increases the risk of loss on such capital.

Superfund Capital Management Inc. (the "Investment Advisor") acts as the investment advisor of the Master Fund. The Investment Advisor has internal guidelines and limits to maintain levels of leverage.

5. Derivative contracts

The Master Fund transacts in a variety of futures contracts and forward contracts for trading purposes with each instrument's primary risk exposure being interest rate, foreign currency exchange rate, equity price and commodity price risks. Investments in derivative contracts are subject to additional risks that can result in a loss of all or part of an investment.

The Master Fund records its derivative activities on a mark-to-market basis. Fair values are determined by using quoted market prices. The fair value of derivative instruments held by the Master Fund as at December 31, 2023 is included as a separate line item in the statement of assets and liabilities.

The following table indicates the fair value amounts of derivative contracts as at December 31, 2023, disaggregated by asset and liability values and by contract type. The amounts are included in unrealized gain or loss on open futures contracts and open forwards contracts within the statement of assets and liabilities. The table also includes the realised gains and losses and unrealised gains and losses on derivatives by contract type, as included in the net realised gain or loss on investments and foreign currency and the movement in unrealized gain or loss on and investments and foreign currency within the statement of operations.

The table also includes the notional amount of open contracts, by contract type as at December 31, 2023:

		Asset derivatives	Notional amount	Liability derivatives	Notional amount	Unrealized gain/(loss)	Realized gain/(loss)
Futures contracts							
Bond futures		313,059	64,000,864	(70,514)	31,805,902	(250,114)	61,332
Commodity		15,302	1,431,669	(19,204)	1,146,835	(74,639)	358,248
Currencies		73,458	6,093,370	(30,914)	5,277,525	55,866	(1,040,690)
Index		286,735	14,162,072	(121,954)	12,833,240	(19,191)	(513,482)
Food/Fibers/Lumber/ Rubber		51,314	1,428,069	(14,588)	843,420	22,230	(448,385)
Gold		218,247	15,398,087	(8,787)	1,583,807	(397,191)	1,291,089
Metals		213,595	5,655,674	(247,206)	4,221,663	(54,651)	(669,349)
Energy		58,566	1,332,916	(48,685)	1,378,368	(94,132)	(2,207,776)
Total	**US$**	**1,230,276**	**109,502,721**	**(561,852)**	**59,090,760**	**(811,822)**	**(3,169,014)**

Forward contracts		Asset derivatives	Notional Amount	Liability derivatives	Notional Amount	Unrealized gain/(loss)	Realized gain/(loss)
Foreign Exchange		196,811	15,306,059	(280,135)	20,868,835	(82,698)	(593,067)
Total	**US$**	**196,811**	**15,306,059**	**(280,135)**	**20,868,835**	**(82,698)**	**(593,067)**

The derivative instruments held as at December 31, 2023 and their effect on the statement of operations are indicative of the volume of derivative activity of the Master Fund during the year.

6. Share capital

Authorized:		
5,000,000 Participating Shares of US$0.01 each	US$	50,000

	Number of Shares
Participating Shares:	
Balance at beginning of year	6,864.33
Issued during year	958.86
Redeemed during year	(536.81)
Balance at end of year	7,286.38

Participating Shares

Participating Shares carry voting rights and are redeemable at the net asset value per share of their respective segregated portfolio on the first business day of each calendar month or such other day as the directors may determine. Holders of Participating Shares are entitled to receive all dividends declared and paid in proportion to the amounts paid up on shares held by them respectively.

The rights attached to any shares may be varied with the consent in writing of all the holders of the issued shares of the segregated portfolio, or with the sanction of a special resolution passed by three fourths of the votes cast at a meeting of the holders of the shares of that segregated portfolio.

On a winding up of the Master Fund, segregated portfolio and general assets will be applied first in satisfaction of claims of the segregated portfolio creditors and general creditors, respectively. The balance of general assets, if any, will be transferred to the segregated portfolios in proportion to the net asset value of each segregated portfolio. The assets of each segregated portfolio will be paid to the shareholders of the respective segregated portfolio in proportion to the number of shares held. If there is more than one class of Participating Shares in a segregated portfolio, the assets of the segregated portfolio will be allocated pro-rata to each class according to the relative net asset values and then paid to the shareholders in proportion to the number of Participating Shares of the relevant class held.

7. Fair value

At December 31, 2023, the following methods and assumptions were used by management to estimate the fair value of each class of financial instruments. For certain of the Master Fund's financial instruments, including cash and accounts payable and accrued expenses, the carrying amounts approximate fair value due to the immediate or short-term nature of these financial instruments.

Investment in money market funds are recorded at market values based on quoted market prices or dealer quotes and therefore, the carrying amount approximates fair value.

7. Fair value (continued)

Investments in United States Treasury Bills are measured at fair value using quoted prices in active markets.

Investments in open futures contract positions are recorded at market values based on quoted market prices or dealer quotes and therefore, the carrying amount approximates fair value.

Investments in open forward contracts are recognized initially at fair value on the date the derivative contract is entered into. Any appreciation or depreciation arising from changes in fair value of forward contracts are taken directly to the statement of operations. Subsequent to initial measurement, forward contracts are measured at fair value.

Investments in funds are recorded at the value provided by the underlying funds and/or their administrator, as a practical expedient for fair value.

Fair value estimates are made at a specific point in time, based on market conditions and information about the financial instruments. These estimates are subjective in nature and involve uncertainties and matters of significant judgment and therefore, cannot be determined with precision. Changes in assumptions could significantly affect the estimates.

8. Administration fees

NAV Fund Services (Cayman) Ltd. serves as an administrator (the "Administrator") of the Master Fund. Under the terms of the administration agreement, the Master Fund pays to the Administrator administration fees at the rate of 4.2 basis points 0.042% per annum (1/12 of 4.2 bps per month) of net assets of the Master Fund US$0 and US$50 million, 2.45 basis points per annum when the gross net asset value of the Master Fund is between US$50 million to US$100 million, 0.7 basis points per annum when the gross net asset value of the Master Fund is over US$100 million, subject to minimum of US$1,375 per month.

Included in accounts payable and accrued expenses at December 31, 2023 are administration fees payable of US$2,875.

9. Financial highlights

Per share operating performance (for a Participating Share outstanding throughout the year) [1]		
Net asset value per Participating Share at beginning of year		2,730.09
Income from investment operations		
Net investment income		38.21
Net realized loss and movement in unrealized loss on investments and foreign currency		(725.31)
Total loss from investment operations		(687.10)
Net asset value per Participating Share at end of year	**US$**	2,042.99
Total return [2]		(25.16)%
Supplemental data:		
Ratio to average net assets		
Expenses		0.41%
Net investment income		1.80%

[1] Based on average shares outstanding during the year.

[2] An individual investor's return may vary due to the timing of share subscriptions and redemptions.

10. Related party transactions

At December 31, 2023, 2,686.28 Participating Shares of the Master Fund were held by a related party.

The Master Fund had invested into the SF Crypto Fund which is part of the Superfund group of investment companies. The Investment Adviser of the Master Fund is also the investment adviser of the SF Crypto Fund. The investment in the SF Crypto Fund was redeemed during the year for proceeds of US$187,146, incurring a realized loss of US$152,766.

11. Subsequent events

In preparing these financial statements, management has evaluated and disclosed all material subsequent events up to June 14, 2024, which is the date that the financial statements were available to be issued. Subsequent to December 31, 2023, redemptions in the amount of US$nil were paid.

SUPERFUND GREEN SPC - SUPERFUND GREEN SEGREGATED PORTFOLIO A

Statement of Assets and Liabilities

December 31, 2023
(stated in United States dollars)

	Note		
Assets			
Investment in money market funds (cost: $44,273)	2(l)		44,273
Investment in Superfund Green Master	13		124,169
Cash	3		72,233
Other assets			4,796
			245,471
Liabilities			
Accounts payable and accrued expenses	7,9,10		7,349
			7,349
Net assets		US$	238,122
Net assets per Class A (USD) Share, based on 45,325.66 shares outstanding		US$	5.25

The accompanying notes and the attached financial statements of Superfund Green Master are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND GREEN SPC - SUPERFUND GREEN SEGREGATED PORTFOLIO A

Condensed Schedule of Investments

December 31, 2023
(stated in United States dollars)

Description (% of net assets)	Number of Shares	Cost	Fair value
FUND INVESTMENT (18.60%)			
Blackrock Inst Cash SR Inst (4.65%)	11,068.24	11,068	11,068
GS USD Liq Res-Inst 499 (4.65%)	11,068.24	11,068	11,068
Invesco Global USD Corp 1937(4.65%)	11,068.24	11,068	11,068
JPM Li-USD Liq Inst U39 (4.65%)	11,069.17	11,069	11,069
Total money market funds		US$	44,273

The accompanying notes and the attached financial statements of Superfund Green Master are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND GREEN SPC - SUPERFUND GREEN SEGREGATED PORTFOLIO A

Statement of Operations

Year ended December 31, 2023
(stated in United States dollars)

	Note	
Net investment income allocated from Superfund Green Master		
Interest income		3,446
Expenses		(531)
		2,915
Sub-Fund income		
Other income		2,126
		2,126
Sub-Fund expenses		
Management fees	7	7,807
Distribution fees	9	4,686
Administration fees	10	6,900
Professional fees		2,900
General and administrative expenses		10,501
		32,794
Net investment loss		(27,753)
Net realized loss and movement in unrealized loss on investments and foreign currencies allocated from Superfund Green Master		
Net realized loss on investments and foreign currencies		(49,723)
Movement in unrealized loss on investments and foreign currencies		(2,475)
		(52,198)
Net decrease in net assets resulting from operations	US$	(79,951)

The accompanying notes and the attached financial statements of Superfund Green Master are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND GREEN SPC - SUPERFUND GREEN SEGREGATED PORTFOLIO A

Statement of Changes in Net Assets

Year ended December 31, 2023
(stated in United States dollars)

	Note	
Operations		
Net investment loss		(27,753)
Net realized loss on investments and foreign currencies		(49,723)
Movement in unrealized loss on investments and foreign currencies		(2,475)
		(79,951)
Net assets at beginning of year		318,073
Net assets at end of year	US$	238,122
Net assets at end of year consist of:		
Class A (USD) Shares		238,122
	US$	238,122

The accompanying notes and the attached financial statements of Superfund Green Master are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND GREEN SPC - SUPERFUND GREEN SEGREGATED PORTFOLIO B

Statement of Assets and Liabilities

December 31, 2023
(stated in United States dollars)

	Note		
Assets			
Investment in money market funds (cost: $607,192)	2(f)		607,192
Investment in Superfund Green Master	13		4,682,550
Due from broker	4		1,213,149
Unrealized gain on open futures contracts	2(f),5,13		5
Redemption receivable from Master Fund and other Funds			8,410
Other assets			4,795
Cash	3		27,552
			6,543,653
Liabilities			
Redemptions payable			38,134
Unrealized loss on open futures contracts	2(f),5,13		98,831
Accounts payable and accrued expenses	7,9,10		45,081
			182,046
Net assets		US$	6,361,607
Net assets per Class B (USD) Share, based on 22,967.00 shares outstanding		US$	6.16
Net assets per Class Japan (JPY) Share, based on 513,490.30 shares outstanding		JPY	686.87
Net assets per Class Japan (USD) Share, based on 146,677.96 shares outstanding		US$	5.66
Net assets per Class Silver (USD) Share, based on 233,453.44 shares outstanding		US$	8.15
Net assets per Class Silver (JPY) Share, based on 110,122.38 shares outstanding		US$	8.15
Net assets per Class B (EUR) Share, based on 11,519.76 shares outstanding		EUR	7.19

The accompanying notes and the attached financial statements of Superfund Green Master are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND GREEN SPC - SUPERFUND GREEN SEGREGATED PORTFOLIO B

Condensed Schedule of Investments

December 31, 2023
(stated in United States dollars)

Description (% of net assets)	Number of Shares	Cost	Fair value
INVESTMENT IN MONEY MARKET FUNDS (9.56%)			
Blackrock Intl Cash SR Inst (2.39%)	151,797.77	151,798	151,798
GS USD Liq Res-Inst 499 (2.39%)	151,797.77	151,798	151,798
Invesco Global USD Corp 1937 (2.39%)	151,797.77	151,798	151,798
JPM Li-USD Liq Inst U39 (2.39%)	151,798.43	151,798	151,798
Total investment in money market funds		US$	607,192

Description (% of net assets)	Expiration date	Notional Amount	Fair Value
FUTURES CONTRACTS (0.01%)			
Metals (0.01%)	March 2024	120,430	5
Unrealized gain on futures contracts		US$	5

Description (% of net assets)	Expiration date	Notional Amount	Fair Value
FUTURES CONTRACTS (-1.55%)			
Metals (-1.55%)	March 2024	2,047,310	(98,831)
Unrealized loss on futures contracts		US$	(98,831)

The accompanying notes and the attached financial statements of Superfund Green Master are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND GREEN SPC - SUPERFUND GREEN SEGREGATED PORTFOLIO B

Statement of Operations

Year ended December 31, 2023
(stated in United States dollars)

	Note	
Net investment income allocated from Superfund Green Master		
Interest income		148,374
Expenses		(22,583)
		125,791
Sub-Fund income		
Other income		65,055
		65,055
Sub-Fund expenses		
Management fees	7	153,217
Distribution fees	9	135,586
Administration fees	10	8,036
Professional fees		7,752
General and administrative expenses		22,619
		327,210
Net investment loss		(136,364)
Sub-Fund gain on foreign currency		
Net realized gain on foreign currencies		308,196
Movement in unrealized loss on foreign currencies		(414,906)
		(106,710)
Net realized loss and movement in unrealized loss on investments and foreign currencies allocated from Superfund Green Master		
Net realized loss on investments and foreign currencies		(2,451,546)
Movement in unrealized loss on investments and foreign currencies		(325,595)
		(2,777,141)
Net decrease in net assets resulting from operations	US$	(3,020,215)

The accompanying notes and the attached financial statements of Superfund Green Master are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND GREEN SPC - SUPERFUND GREEN SEGREGATED PORTFOLIO B

Statement of Changes in Net Assets

Year ended December 31, 2023
(stated in United States dollars)

Operations		
Net investment loss		(136,364)
Net realized loss on investments and foreign currencies		(2,143,350)
Movement in unrealized loss on investments and foreign currencies		(740,501)
		(3,020,215)
Capital transactions		
Proceeds from issue of Class Japan (JPY) Participating Shares		22,988
Proceeds from issue of Class Silver (JPY) Participating Shares		64,638
Redemption of Class B (USD) Participating Shares		(20,926)
Redemption of Class Japan (JPY) Participating Shares		(704,986)
Redemption of Class Japan (USD) Participating Shares		(133,158)
Redemption of Class Silver (USD) Participating Shares		(19,189)
Redemption of Class Silver (JPY) Participating Shares		(21,653)
		(812,286)
Decrease in net assets for year		(3,832,501)
Net assets at beginning of year		10,194,108
Net assets at end of year	US$	6,361,607
Net assets at end of year consist of:		
Class B (USD) Shares		141,378
Class Japan (JPY) Shares		2,500,639
Class Japan (USD) Shares		829,655
Class Silver (USD) Shares		1,901,500
Class Silver (JPY) Shares		896,957
Class B (EUR) Shares		91,478
	US$	6,361,607

The accompanying notes and the attached financial statements of Superfund Green Master are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND GREEN SPC - SUPERFUND GREEN SEGREGATED PORTFOLIO C

Statement of Assets and Liabilities

December 31, 2023
(stated in United States dollars)

	Note		
Assets			
Investment in Superfund Green Master	13		2,197,872
Cash	3		70,051
Other assets			4,898
			2,272,821
Liabilities			
Accounts payable and accrued expenses	7,9,10		21,003
			21,003
Net assets		US$	2,251,818
Net assets per Class C (USD) Share, based on 241,749.68 shares outstanding		US$	4.44
Net assets per Class C Japan (JPY) Share, based on 121,047.04 shares outstanding		JPY	616.40
Net assets per Class C Japan (USD) Share, based on 116,907.45 shares outstanding		US$	4.59
Net assets per Class C (EUR) Share, based on 23,904.42 shares outstanding		EUR	4.29

The accompanying notes and the attached financial statements of Superfund Green Master are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND GREEN SPC - SUPERFUND GREEN SEGREGATED PORTFOLIO C

Statement of Operations

Year ended December 31, 2023
(stated in United States dollars)

	Note	
Net investment income allocated from Superfund Green Master		
Interest income		66,228
Expenses		(10,114)
		56,114
Sub-Fund expenses		
Management fees	7	63,851
Distribution fees	9	45,757
Professional fees		7,368
Administration fees	10	6,900
General and administrative expenses		15,828
		139,704
Net investment loss		(83,590)
Sub-Fund gain/(loss) on foreign currency		
Net realized gain on foreign currencies		202
		202
Net realized loss and movement in unrealized loss on investments and foreign currencies allocated from Superfund Green Master		
Net realized loss on investments and foreign currencies		(1,067,927)
Movement in unrealized loss on investments and foreign currencies		(129,312)
		(1,197,239)
Net decrease in net assets resulting from operations	US$	**(1,280,627)**

The accompanying notes and the attached financial statements of Superfund Green Master are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND GREEN SPC - SUPERFUND GREEN SEGREGATED PORTFOLIO C

Statement of Changes in Net Assets

Year ended December 31, 2023
(stated in United States dollars)

Operations		
Net investment loss		(83,590)
Net realized loss on investments and foreign currencies		(1,067,725)
Movement in unrealized loss on investments and foreign currencies		(129,312)
		(1,280,627)
Capital transactions		
Proceeds from issue of Class C Japan (JPY) Participating Shares		16,020
Proceeds from issue of Class C Japan (USD) Participating Shares		11,104
Redemption of Class C Japan (JPY) Participating Shares		(69,551)
Redemption of Class C Japan (USD) Participating Shares		(35,730)
		(78,157)
Decrease in net assets for year		(1,358,784)
Net assets at beginning of year		3,610,602
Net assets at end of year	US$	2,251,818
Net assets at end of year consist of:		
Class C (USD) Shares		1,072,595
Class C Japan (JPY) Shares		529,009
Class C Japan (USD) Shares		536,909
Class C (EUR) Shares		113,305
	US$	2,251,818

The accompanying notes and the attached financial statements of Superfund Green Master are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND GREEN SPC

Notes to Financial Statements

December 31, 2023
(stated in United States dollars)

1. Incorporation and principal activity

Superfund Green SPC (the "Company") was incorporated as an exempted company under the Companies Act of the Cayman Islands on March 24, 2003 and was registered under the Mutual Funds Act of the Cayman Islands on April 1, 2003.

The Company is organized in the form of a segregated portfolio company which has established separate and distinct portfolios of investments available to investors through the offering of Class A Participating Shares (representing interests in Superfund Green Segregated Portfolio A), Class B Participating Shares (representing interests in Superfund Green Segregated Portfolio B), and Class C Participating Shares (representing interests in Superfund Green Segregated Portfolio C), (collectively "the Sub–Funds").

The Company is part of a "master–feeder" structure whereby it invests substantially all of its assets in Class B, Class C and Class E Master Shares of Superfund Green Master (the "Master Fund") a Cayman Islands exempted company. The financial statements of the Master Fund, including the condensed schedule of investments, are included in this report and should be read in conjunction with the Company's financial statements. As at December 31, 2023 the Company held 100% of the Class B Master Shares, 2.01% of Class C Master Shares and 100% of the Class E Master Shares.

The Company's objective is to provide investors with a form of investment independent of the development of equity and securities markets, which is expected achieve above average returns on long term capital appreciation.

The assets of the Company can either be general company or segregated portfolio assets. The assets attributable to a segregated portfolio comprise assets representing the share capital and reserves attributable to the segregated portfolio and other assets attributable to or held within that segregated portfolio. The general assets comprise the assets of the Company which are not segregated portfolio assets. Where a liability arises from a transaction in respect of a particular segregated portfolio and there are insufficient assets within that segregated portfolio, then there will be recourse to the general assets, but not to the assets of any other segregated portfolio. At December 31, 2023, the general assets are not presented separately on the statements of assets and liabilities, operations and changes in net assets as there is only a cash balance of US$1, representing the amount received upon issuance of the Founder Shares (see note 6), and no income or expenses have been attributed to the general assets to date.

2. Significant accounting policies

The financial statements are prepared in conformity with accounting principles generally accepted in the United States of America ("US GAAP") as detailed in the Financial Accounting Standards Board's ("FASB") Accounting Standards Codification ("ASC"). The Company qualifies as an investment company under US GAAP and follows the accounting and reporting guidance applicable to investment companies in FASB ASC 946, *Financial Services – Investment Companies*.

The significant accounting policies adopted by the Company are as follows:

(a) Use of estimates

The preparation of financial statements in accordance with US GAAP requires management to make estimates and assumptions that affect the reported amounts of assets and liabilities and disclosure of contingent assets and liabilities at the date of the financial statements, and the reported amounts of revenues and expenses during the reporting year. Actual results could differ from those estimates.

(b) Investment in the Master Fund

Investments in the Master Fund are accounted for on a trade date basis. Investments are initially measured at cost. Subsequent to initial recognition, investments are measured at fair value. Fair value is determined as the net assets attributable to the Company, as a practical expedient, as reported by the Master Fund's administrator. Realized and unrealized gains and losses on investments are included in the statement of operations. The valuation of the Master Fund's investments is discussed in the notes to the Master Fund's financial statements included elsewhere in this report.

(c) Investment in money market funds

Investments in money market funds are accounted for on the trade date basis. Investments are initially measured at cost. Subsequent to initial recognition, investments are measured at fair value. Fair value is determined as the net assets attributable to the Company, as reported by the respective money market fund. Realized and movement in unrealized gains and losses are included in the statement of operations.

(d) Futures contracts

Open futures contracts are carried at fair value calculated as the difference between the contract price and the market value based upon rates reported in published sources or those provided by the broker if applicable rates are not readily available. Realized and movement in unrealized gains and losses are included in the statement of operations.

2. Significant accounting policies (continued)

(e) Investment income and expenses

Each segregated portfolio records its proportionate share of the Master Fund's income, expenses and realized and movement in unrealized gains and losses in its statement of operations based on the value of its respective share of the net asset value of the Master Fund. In addition, each segregated portfolio also accrues its own income and expenses.

(f) Interest income

Interest income is recorded on an accrual basis.

(g) Foreign currency

Assets and liabilities denominated or accounted for in foreign currencies are translated into United States dollars at the applicable exchange rates at the date of the statement of assets and liabilities. Foreign currency transactions are translated into United States dollars at the rate of exchange ruling at the date of the transaction. Realized and movement in unrealized gains and losses arising from translation is included in the statement of operations.

The Company does not isolate that portion of the results of operations resulting from changes in foreign exchange rates on investments from the fluctuations arising from changes in market prices of securities held. Such fluctuations are included within the net realized and movement in unrealized gain or loss on investments and foreign currencies.

(h) Taxation

There are no taxes on income or gains in the Cayman Islands and, in accordance with the provisions of Section 6 of the Tax Concessions Act, the Company has received an undertaking from the Governor in Cabinet of the Cayman Islands exempting it from all local taxation on future profits, and income or gains. Accordingly, no provision for income taxes is included in these financial statements.

The Company recognizes the tax benefits of uncertain tax positions only where the position is more-likely-than-not (i.e. greater than 50-percent) to be sustained assuming examination by a tax authority based on the technical merits of the position. The Company analyzes all open tax years for all major taxing jurisdictions. Open tax years are those that are open for examination by taxing authorities, as defined by the statute of limitations in each jurisdiction.

Management has analyzed the Company's tax positions, and has concluded that no liability for tax expenses or assets for tax benefits should be recorded in relation to uncertain tax positions. Further, management is not aware of any tax positions for which it is reasonably possible that the total amounts of unrecognized tax benefits will significantly change in the next twelve months.

2. Significant accounting policies (continued)

(i) Allocation of income and expenses

Income and expenses that are identifiable with a particular segregated portfolio is allocated to or charged against the segregated portfolio in computing its net asset value. Other income and expenses are allocated pro rata between the segregated portfolios or otherwise at the discretion of the Board of Directors.

(j) Offsetting

Financial assets and liabilities including net unrealized gain/(loss) on open futures contracts are offset and the net amount is reported in the statement of assets and liabilities when the Company has a legally enforceable right to offset the recognized amounts and the transactions are intended to be settled on a net basis or simultaneously. The Company did not meet the requirements for offsetting during the year.

(k) Redemptions payable

Participating Shares redeemed at the option of the holder or the Company are classified as redemptions payable when a redemption request has been received and the redemption amount has been determined.

(l) Valuation of investments at fair value - definition and hierarchy

US GAAP establishes a fair value hierarchy that prioritizes the inputs to valuation techniques used to measure fair value into three broad levels explained below:

Level 1: Valuations based on the unadjusted quoted prices in active markets for identical assets or liabilities that management has the ability to access. Valuation adjustments and block discounts are not applied to Level 1 securities. Since valuations are based on quoted prices that are readily and regularly available in an active market, valuation of these securities does not entail a significant degree of judgment.

Level 2: Valuations based on quoted prices in markets that are not active or for which all significant inputs are observable, either directly or indirectly.

Level 3: Valuations based on inputs that are unobservable and significant to the overall fair value measurement.

2. Significant accounting policies (continued)

(l) Valuation of investments at fair value - definition and hierarchy (continued)

The following table summarizes the valuation of the Company's investments based on the fair value hierarchy described above as at December 31, 2023.

Segregated Portfolio A		Total	Level 1	Level 2
Investment in money market fund		44,273	44,273	-
Total	US$	44,273	44,273	-

Segregated Portfolio B - Assets		Total	Level 1	Level 2
Investment in money market fund		607,192	607,192	-
Unrealized gain on futures contracts		5	5	-
Total	US$	607,197	607,197	-

Segregated Portfolio B - Liabilities		Total	Level 1	Level 2
Unrealized loss on futures contracts		(98,831)	-	(98,831)
Total	US$	(98,831)	-	(98,831)

The fair value hierarchy of the investments held by the Master Fund is disclosed in Notes 2(f) of the Master Fund's financial statements.

3. Cash

Cash consists of cash due on demand.

4. Due from broker

Due from broker include cash balances maintained at ADM Investor Services, Inc. Due from broker in Superfund Green Segregated Portfolio B includes margin cash of US$178,200 pledged as collateral against open future contracts.

5. Derivative contracts

Superfund Green Segregated Portfolio B transacts in a variety of futures contracts for trading purposes with each instrument's primary risk exposure being commodity price risk. Investments in derivative contracts are subject to additional risks that can result in a loss of all or part of an investment.

Superfund Green Segregated Portfolio B records its derivative activities on a mark-to-market basis. Fair values are determined by using quoted market prices. The fair value of derivative instruments held by the Superfund Green Segregated Portfolio B as at December 31, 2023 is included as a separate line item in the statement of assets and liabilities.

SUPERFUND GREEN SPC

Notes to Financial Statements (continued)

December 31, 2023
(stated in United States dollars)

5. Derivative contracts (continued)

The following table indicates the fair value amounts of derivative contracts as at December 31, 2023, disaggregated by asset and liability values and by contract type. The amounts are included in unrealized gain or loss on open futures within the statement of assets and liabilities. The table also includes the realised gains and losses on derivatives by contract type, as included in the net realised gain or loss on investments and foreign currency within the statement of operations.

The table also includes the notional amount of open contracts, by contract type as at December 31, 2023:

Futures contracts		Asset derivatives	Notional Amount	Liability derivatives	Notional Amount	Unrealized gain/(loss)	Realized gain/(loss)
Metals		5	120,430	(98,831)	2,047,310	(414,906)	315,186
Total	US$	5	120,430	(98,831)	2,047,310	(414,906)	315,186

The derivative instruments held as at December 31, 2023 and their effect on the statement of operations are indicative of the volume of derivative activity of Superfund Green Segregated Portfolio B during the year.

6. Net paid in capital

Authorized:		
100 Founder Shares of US$0.01 each		1
99,999,900 Participating Shares of US$0.01 each		999,999
	US$	1,000,000

	Number
Issued and fully paid:	
Founder Shares	100
Superfund Green Segregated Portfolio A	
Class A (USD) Shares:	
Balance at beginning of year	45,325.66
Balance at end of year	45,325.66
Superfund Green Segregated Portfolio B	
Class B (USD) Shares:	
Balance at beginning of year	26,443.13
Redeemed during year	(3,476.13)
Balance at end of year	22,967.00

6. Net paid in capital (continued)

Superfund Green Segregated Portfolio B	
Class Japan (JPY) Shares:	
Balance at beginning of year	655,418.42
Issued during the year	4,158.67
Redeemed during year	(146,086.79)
Balance at end of year	513,490.30

Superfund Green Segregated Portfolio B	
Class Japan (USD) Shares:	
Balance at beginning of year	168,020.69
Redeemed during year	(21,342.73)
Balance at end of year	146,677.96

Superfund Green Segregated Portfolio B	
Class Silver (USD) Shares:	
Balance at beginning of year	235,733.95
Redeemed during year	(2,280.51)
Balance at end of year	233,453.44

Superfund Green Segregated Portfolio B	
Class Silver (JPY) Shares:	
Balance at beginning of year	105,414.19
Issued during the year	7,344.84
Redeemed during year	(2,636.65)
Balance at end of year	110,122.38

Superfund Green Segregated Portfolio B	
Class B (EUR) Shares:	
Balance at beginning of year	11,519.76
Balance at end of year	11,519.76

Superfund Green Segregated Portfolio C	
Class C (USD) Shares:	
Balance at beginning of year	241,749.68
Balance at end of year	241,749.68

6. Net paid in capital (continued)

Superfund Green Segregated Portfolio C	
Class C (EUR) Shares:	
Balance at beginning of year	23,904.42
Balance at end of year	23,904.42

Superfund Green Segregated Portfolio C	
Class C Japan (JPY) Shares:	
Balance at beginning of year	132,938.04
Issued during the year	3,417.86
Redeemed during year	(15,308.86)
Balance at end of year	121,047.04

Superfund Green Segregated Portfolio C	
Class C Japan (USD) Shares:	
Balance at beginning of year	121,598.56
Issued during the year	2,596.94
Redeemed during year	(7,288.05)
Balance at end of year	116,907.45

At December 31, 2023, the Company's Founder Shares are held by a shareholder of Superfund Capital Management, Inc. (the "Investment Adviser") who is also a former director of the Company.

The rights attaching to the shares are as follows:

Founder shares

Founder Shares may only be issued at par value and are not redeemable at the option of the holder. They carry one vote per share and confer on the holder thereof rights in a winding up as described below, but confer no other right to participate in the profits or assets of the Company.

Participating shares

Per director's resolution the Company moved to weekly liquidity from April 1, 2018. Participating Shares are redeemable at the net asset value per share of their respective segregated portfolio on the relevant dealing day for Class A (USD) Shares, Class A Japan (JPY) Shares, Class B (EUR) Shares, Class B (USD) Shares, Class Japan (USD) Shares, Class Silver (USD) Shares, Class B (JPY) Shares, Class Japan (JPY) Shares, Class Silver (JPY) Shares, Class C (USD) Shares, Class C (EUR) Shares, Class C Japan (JPY) Shares and Class C Japan (USD) or otherwise at the discretion of the Directors, and are non-voting except for matters allowed by the Articles of Association. Holders of Participating Shares are entitled to receive all dividends declared and paid in proportion to the amounts paid up on shares held by them respectively.

6. Net paid in capital (continued)

Participating shares (continued)

The rights attached to any shares may be varied with the consent in writing of all the holders of the issued shares of the segregated portfolio, or with the sanction of a special resolution passed by three-fourths of the votes cast at a meeting of the holders of the shares of that segregated portfolio.

On a winding up of the Company, segregated portfolio and general assets will be applied first in satisfaction of claims of the segregated portfolio creditors and general creditors, respectively. The balance of general assets, if any, will be used to repay the nominal paid-in capital on the Founder Shares, with any balance transferred to the segregated portfolios in proportion to the net asset value of each segregated portfolio. The assets of each segregated portfolio will be paid to the shareholders of the respective segregated portfolio in proportion to the number of shares held. If there is more than one class of Participating Shares in a segregated portfolio, the assets of the segregated portfolio will be allocated pro-rata to each class according to the relative net asset values and then paid to the shareholders in proportion to the number of Participating Shares of the relevant class held.

7. Management fees

The Company's investment activities are managed by the Investment Adviser, a related party by virtue of common control.

Under the terms of the Investment Advisory Agreement, the Investment Adviser receives a management fee paid monthly in arrears at the rate of 2% per annum of the net asset value for Class A Japan (JPY), Class Japan (USD), Class Japan (JPY), Class Silver (JPY), Class Silver (USD), Class C Japan (JPY), Class C Japan (USD) and 3% for all other share classes.

Included in accounts payable and accrued expenses at December 31, 2023, are management fees payable of US$603 for Superfund Green Segregated Portfolio A, US$10,872 for Superfund Green Segregated Portfolio B and US$4,723 for Superfund Green Segregated Portfolio C.

8. Incentive fees

The Investment Adviser is also entitled to receive an incentive fee of 20% of the increase in the net asset value per Superfund Green Segregated Portfolio A Class A (USD) and 15% of the increase in the net asset value per Class A Japan (JPY), 25% of the increase in the net asset value per Superfund Green Segregated Portfolio B Class B (EUR), Class B (USD) and Class B (JPY) and 20% of the increase in the net asset value per Class Japan (USD), Class Japan (JPY), Class Silver (JPY) and Class Silver (USD) and 30% of the increase in the net asset value per Superfund Green Segregated Portfolio C Class C (USD) Shares and Class C (EUR) and 20% of the increase in net asset value per Class C Japan (JPY) and Class C Japan (USD) Shares as defined in the Investment Advisory Agreement. Incentive fees are calculated based on the net asset value after all other fees and expenses of the segregated portfolios and are payable monthly. For the year ended December 31, 2023, no incentive fees were charged and payable at the year-end for Superfund Green Segregated Portfolios A, B and C respectively.

8. Incentive fees (continued)

The incentive fees have not been set by arms-length negotiations and therefore the incentive fees payable to the Investment Adviser may create an incentive to make investments that are riskier or more speculative than would be the case in the absence of such an arrangement.

9. Distribution fees

Superfund Distribution and Investment Inc. (the "Distributor"), a related party by virtue of common control, acts as distributor of the Company's shares and is entitled to a distribution fee monthly in arrears at the rate of 1.8% per annum of the net asset value of each segregated portfolio's Participating Shares.

Included in accounts payable and accrued expenses at December 31, 2023, are distribution fees payable of US$362 for Superfund Green Segregated Portfolio A, US$9,614 for Superfund Green Segregated Portfolio B and US$3,262 for Superfund Green Segregated Portfolio C.

The Distributor is entitled, at the discretion of the Directors, to receive a subscription charge of up to 7% of each subscription.

10. Administration fees

Under the terms of the Administration Agreement, the Company pays to NAV Fund Services (Cayman) Ltd (the "Administrator") monthly in arrears a fee calculated at the rate of 0.042% per annum when the gross net asset value of the Master Fund is between $0 and $50 million, 0.0245% per annum when the gross net asset value of the Master Fund is between $50 million to $100 million, 0.007% per annum when the gross net asset value of the Master Fund is over $100 million, subject to a minimum monthly fee of US$1,500.

As at December 31, 2023, administration fees payable of US$2,049 for Superfund Green Segregated Portfolio A, US$2,049 for Superfund Green Segregated Portfolio B and US$1,950 for Superfund Green Segregated Portfolio C.

11. Share redemption fees

At the discretion of the Directors, when a redemption is made within twelve months of the initial subscription or any compulsory redemption is made by the Directors, a redemption charge of 2% of the redemption price may be charged and paid to the Investment Adviser.

There were no redemption fees payable at December 31, 2023.

12. Related party transactions

At December 31, 2023, 811.47 of Class A (USD) shares, 513,490.14 of Class B Japan (JPY) shares, 146,677.96 of Class B Japan (USD) shares, 231,241.16 of Class B Silver (USD) shares, 110,122.38 of Class B Silver (JPY) shares, 121,047.04 of Class C Japan (JPY), 116,907.45 of Class C Japan (USD) shares and 23,903.44 of Class C (EUR) shares were held by related parties.

The Investment Adviser and the Distributor are related parties by virtue of common control. Fees payable to the Investment Adviser and to the Distributor have not been set by arms-length negotiations.

13. Financial instruments and associated risk

The Company's investment in the Master Fund indirectly exposes it to various types of risk, which are associated with the financial instruments and markets in which the Master Fund invests.

The types of financial risk to which the Company is exposed are market risk, credit risk and liquidity risk. Refer to the Master Fund's financial statements for information regarding financial risk to which the Master Fund is exposed.

Details of the investments held by the Master Fund, including a breakdown of the levels of their market price observability used in measuring investments at fair value and gains/losses associated with derivative instruments held by the Master Fund during the year ended December 31, 2023, are disclosed in the notes to the Master Fund's financial statements included elsewhere in this report.

Market risk, credit risk and liquidity risk

In the normal course of its business, Superfund Green Segregated Portfolio B purchases and sells various financial instruments which may result in market, credit and liquidity risks, the amount of which is not apparent from the financial statements. Market risk is the risk that changes in interest rates, foreign exchange rates or equity and commodity prices will affect the positions held by the Superfund Green Segregated Portfolio B. Superfund Green Segregated Portfolio B is exposed to market risk on financial instruments that are valued at market prices.

As part of its investment strategy, Superfund Green Segregated Portfolio B enters into futures contracts. Futures contracts are traded on organized exchanges and require initial margin (collateral) in the form of cash or marketable securities. The initial margin is adjusted to reflect changes in the value of the futures contracts, which is marked to market on a daily basis. Holders of futures contracts look to the exchange for performance under the contract and not to the entity holding the offsetting futures position.

The Company invests into money market funds. Money market funds invests only in highly liquid cash and cash equivalent securities that have high credit ratings such as treasury bills, commercial paper and certificates of deposit. These funds invest primarily in debt-based securities which have a short term maturity of less than 13 months, and offer high liquidity with very low level of risk.

13. Financial instruments and associated risk (continued)

Market risk, credit risk and liquidity risk (continued)

Market risks arise due to the possible movement in foreign exchange rates, indices, commodities and securities' values underlying these instruments. Other market risks include the possibility that a change in the value of the contract may not directly correlate with changes in the value of the underlying currencies, commodities or stock indices. Certain risks exist when trading in futures contracts as they may increase the total return of the Company's investments but may also entail greater than ordinary investment risks.

Credit risk is the risk of counterparty default. Credit risk is generally higher when a non-exchange traded financial instrument is involved because the counterparty for non-exchange traded financial instruments is not backed by an exchange clearing house. Management reviews the credit ratings and results of the broker and is comfortable with the concentration of credit risk by the Company.

Futures markets are highly volatile and are influenced by factors such as changing supply and demand relationships, governmental programs and policies, national and international political and economic events and changes in interest rates. In addition, because of the low margin deposits normally required in futures trading, a high degree of leverage may be typical of a futures trading account. As a result, a relatively small price movement in a futures contract may result in substantial losses to the trader. Futures trading may also be illiquid. Certain futures exchanges do not permit trading in particular futures contracts at prices that represent a fluctuation in price during a single day's trading beyond certain set limits. If prices fluctuate during a single day's trading beyond those limits, the Company could be prevented from promptly liquidating unfavourable positions and thus be subject to substantial losses.

As part of its investment strategy, the Company utilizes leverage. The concept of leveraging is based on the premise that the Company's cost of borrowing will be at rates that normally will be lower than the rate of return earned on the investments it holds. While the use of leverage may increase the returns on equity capital invested by the Company, the use of leverage also increases the risk of loss of such capital.

Management has internal guidelines and limits to manage leverage.

14. Financial highlights

Superfund Green - Segregated Portfolio A (USD)	
Per share operating performance (for a Participating Share outstanding throughout the year) [1]	
Net asset value per Participating Share at beginning of year	7.02
Income from investment operations	
Net investment loss	(0.60)
Net realized loss and movement in unrealized loss on investments and foreign currencies	(1.17)
Total loss from investment operations	(1.77)
Net asset value per Participating Share at end of year	US$5.25
Total return [2]	(25.14) %
Supplemental data:	
Ratio to average net assets	
Operating and other expenses	(12.77) %
Net investment loss (excluding incentive fee)	(10.64) %

[1] Based on average shares outstanding during the year.
[2] An individual investor's return may vary due to the timing of share subscriptions and redemptions.

14. Financial highlights (continued)

Superfund Green - Segregated Portfolio B (USD)	
Per share operating performance (for a Participating Share outstanding throughout the year) [1]	
Net asset value per Participating Share at beginning of year	8.39
Income from investment operations	
Net investment loss	(0.15)
Net realized loss and movement in unrealized loss on investments and foreign currencies	(2.08)
Total loss from investment operations	(2.23)
Net asset value per Participating Share at end of year	US$6.16
Total return [2]	(26.58) %
Supplemental data:	
Ratio to average net assets	
Operating and other expenses	(5.58) %
Net investment loss (excluding incentive fee)	(2.88) %

[1] Based on average shares outstanding during the year.
[2] An individual investor's return may vary due to the timing of share subscriptions and redemptions.

14. Financial highlights (continued)

Superfund Green - Segregated Portfolio B Japan (JPY)	
Per share operating performance (for a Participating Share outstanding throughout the year) [1]	
Net asset value per Participating Share at beginning of year	952.25
Income from investment operations	
Net investment loss	(8.79)
Net realized loss and movement in unrealized loss on investments and foreign currencies	(256.59)
Total loss from investment operations	(265.38)
Net asset value per Participating Share at end of year	JPY686.87
Total return before incentive fee	(27.87) %
Incentive fee	0.00 %
Total return [2]	(27.87) %
Supplemental data:	
Ratio to average net assets	
Operating and other expenses	(4.59) %
Incentive fee	0.00 %
Total expenses	(4.59) %
Net investment loss (excluding incentive fee)	(1.88) %

[1] Based on average shares outstanding during the year.
[2] An individual investor's return may vary due to the timing of share subscriptions and redemptions.

14. Financial highlights (continued)

Superfund Green - Segregated Portfolio B Japan (USD)	
Per share operating performance (for a Participating Share outstanding throughout the year) [1]	
Net asset value per Participating Share at beginning of year	7.63
Income from investment operations	
Net investment loss	(0.06)
Net realized loss and movement in unrealized loss on investments and foreign currencies	(1.91)
Total loss from investment operations	(1.97)
Net asset value per Participating Share at end of year	US$5.66
Total return before incentive fee	(25.82) %
Incentive fee	0.00 %
Total return [2]	(25.82) %
Supplemental data:	
Ratio to average net assets	
Operating and other expenses	(4.58) %
Incentive fee	0.00 %
Total expenses	(4.58) %
Net investment loss (excluding incentive fee)	(1.90) %

[1] Based on average shares outstanding during the year.

[2] An individual investor's return may vary due to the timing of share subscriptions and redemptions.

14. Financial highlights (continued)

Superfund Green - Segregated Portfolio B Silver (USD)	
Per share operating performance (for a Participating Share outstanding throughout the year) [1]	
Net asset value per Participating Share at beginning of year	11.20
Income from investment operations	
Net investment loss	(0.16)
Net realized loss and movement in unrealized loss on investments and foreign currencies	(2.89)
Total loss from investment operations	(3.05)
Net asset value per Participating Share at end of year	US$8.15
Total return before incentive fee	(27.23) %
Incentive fee	0.00 %
Total return [2]	(27.23) %
Supplemental data:	
Ratio to average net assets	
Operating and other expenses	(4.59) %
Net investment loss (excluding incentive fee)	(1.87) %

[1] Based on average shares outstanding during the year.

[2] An individual investor's return may vary due to the timing of share subscriptions and redemptions.

14. Financial highlights (continued)

Superfund Green - Segregated Portfolio B Silver (JPY)	
Per share operating performance (for a Participating Share outstanding throughout the year) [1]	
Net asset value per Participating Share at beginning of year	11.20
Income from investment operations	
Net investment loss	(0.17)
Net realized loss and movement in unrealized loss on investments and foreign currencies	(2.88)
Total loss from investment operations	(3.05)
Net asset value per Participating Share at end of year	US$8.15
Total return before incentive fee	(27.23) %
Incentive fee	0.00 %
Total return [2]	(27.23) %
Supplemental data:	
Ratio to average net assets	
Operating and other expenses	(4.59) %
Net investment loss (excluding incentive fee)	(1.87) %

[1] Based on average shares outstanding during the year.

[2] An individual investor's return may vary due to the timing of share subscriptions and redemptions.

14. Financial highlights (continued)

Superfund Green - Segregated Portfolio B Class B (EUR)	
Per share operating performance (for a Participating Share outstanding throughout the year) [1]	
Net asset value per Participating Share at beginning of year	8.83
Income from investment operations	
Net investment income	0.49
Net realized loss and movement in unrealized loss on investments and foreign currencies	(2.13)
Total loss from investment operations	(1.64)
Net asset value per Participating Share at end of year	EUR7.19
Total return before incentive fee	(18.50) %
Incentive fee	0.00 %
Total return [2]	(18.50) %
Supplemental data:	
Ratio to average net assets	
Operating and other expenses	(5.59) %
Incentive fee	0.00 %
Total expenses	(5.59) %
Net investment income (excluding incentive fee)	6.70 %

[1] Based on average shares outstanding during the year.
[2] An individual investor's return may vary due to the timing of share subscriptions and redemptions.

14. Financial highlights (continued)

Superfund Green - Segregated Portfolio C (USD)	
Per share operating performance (for a Participating Share outstanding throughout the year) [1]	
Net asset value per Participating Share at beginning of year	6.70
Income from investment operations	
Net investment loss	(0.18)
Net realized loss and movement in unrealized loss on investments and foreign currencies	(2.08)
Total loss from investment operations	(2.26)
Net asset value per Participating Share at the end of the year	US$4.44
Total return [2]	(33.73) %
Supplemental data:	
Ratio to average net assets	
Operating and other expenses	(6.35) %
Net investment loss (excluding incentive fee)	(3.76) %

[1] Based on average shares outstanding during the year.
[2] An individual investor's return may vary due to the timing of share subscriptions and redemptions.

SUPERFUND GREEN SPC

Notes to Financial Statements (continued)

December 31, 2023
(stated in United States dollars)

14. Financial highlights (continued)

Superfund Green - Segregated Portfolio C Japan (JPY)	
Per share operating performance (for a Participating Share outstanding throughout the year) [1]	
Net asset value per Participating Share at beginning of year	972.04
Income from investment operations	
Net investment loss	(19.32)
Net realized loss and movement in unrealized loss on investments and foreign currencies	(336.32)
Total loss from investment operations	(355.64)
Net asset value per Participating Share at the end of year	JPY616.4
Total return before incentive fee	(36.59) %
Incentive fee	0.00 %
Total return [2]	(36.59) %
Supplemental data:	
Ratio to average net assets	
Operating and other expenses	(5.35) %
Incentive fee	0.00 %
Total expenses	(5.35) %
Net investment loss (excluding incentive fee)	(2.76) %

[1] Based on average shares outstanding during the year.

[2] An individual investor's return may vary due to the timing of share subscriptions and redemptions.

14. Financial highlights (continued)

Superfund Green - Segregated Portfolio C (EUR)	
Per share operating performance (for a Participating Share outstanding throughout the year) [1]	
Net asset value per Participating Share at beginning of year	6.60
Income from investment operations	
Net investment loss	(0.19)
Net realized loss and movement in unrealized loss on investments and foreign currencies	(2.12)
Total loss from investment operations	(2.31)
Net asset value per Participating Share at the end of year	EUR4.29
Total return [2]	(35.00) %
Supplemental data:	
Ratio to average net assets	
Operating and other expenses	(6.35) %
Net investment loss (excluding incentive fee)	(3.75) %

[1] Based on average shares outstanding during the year.
[2] An individual investor's return may vary due to the timing of share subscriptions and redemptions.

SUPERFUND GREEN SPC

Notes to Financial Statements (continued)

December 31, 2023
(stated in United States dollars)

14. Financial highlights (continued)

Superfund Green - Segregated Portfolio C Japan (USD)	
Per share operating performance (for a Participating Share outstanding throughout the year) [1]	
Net asset value per Participating Share at beginning of year	6.87
Income from investment operations	
Net investment loss	(0.13)
Net realized loss and movement in unrealized loss on investments and foreign currencies	(2.15)
Total loss from investment operations	(2.28)
Net asset value per Participating Share at the end of year	US$4.59
Total return before incentive fee	(33.16) %
Incentive fee	0.00 %
Total return [2]	(33.19) %
Supplemental data:	
Ratio to average net assets	
Operating and other expenses	(5.35) %
Incentive fee	0.00 %
Total expenses	(5.35) %
Net investment loss (excluding incentive fee)	(2.76) %

[1] Based on average shares outstanding during the year.
[2] An individual investor's return may vary due to the timing of share subscriptions and redemptions.

15. Subsequent events

In preparing these financial statements, management has evaluated and disclosed all material subsequent events up to June 14, 2024, which is the date that the financial statements were available to be issued.

Subsequent to December 31, 2023, US$Nil subscriptions were processed. Redemptions in the amount of approximately US$682 for Segregated Portfolio A and $51,462 for Segregated Portfolio B were made.

SUPERFUND GREEN MASTER

Statement of Assets and Liabilities

December 31, 2023
(stated in United States dollars)

	Note		
Assets			
Investments in money market funds (cost: US$7,353,773)	2(g), 4		7,353,773
Investments in securities (cost: US$1,146,738)	2(g)		1,146,738
Cash			99,180
Due from brokers	3		25,861,459
Unrealized gain on open futures contracts	2(f),4,5		1,200,154
Unrealized gain on open forwards contracts	2(f),4,5		203,120
Other assets			9,811
			35,874,235
Liabilities			
Due to brokers	3		18,213,275
Unrealized loss on open futures contracts	2(f),4,5		611,489
Unrealized loss on open forwards contracts	2(f),4,5		299,070
Redemptions payable			50,672
Accounts payable and accrued expenses	8,10		29,437
			19,203,943
Net assets		US$	16,670,292
Net assets per Class A Master Share, based on 30,035.96 shares outstanding		US$	46.22
Net assets per Class B Master Share, based on 24,235.13 shares outstanding		US$	184.82
Net assets per Class C Master Share, based on 51,997.07 shares outstanding		€	148.01
Net assets per Class E Master Share, based on 37,657.22 shares outstanding		¥	8,640.98

See accompanying notes to financial statements.

SUPERFUND GREEN MASTER

Condensed Schedule of Investments

December 31, 2023
(stated in United States dollars)

Description (% of net assets)	Number of shares	Cost	Fair Value
INVESTMENTS IN MONEY MARKET FUNDS (51.00%)			
Blackrock Inlt Cash SR Inst (11.03%)	1,838,443.03	1,838,443	1,838,443
GS Liq Res-Inst 499 (11.03%)	1,838,443.03	1,838,443	1,838,443
Invesco Global USD Corp 1937 (11.03%)	1,838,442.98	1,838,443	1,838,443
JPM USD Liq Inst U39 (11.03%)	1,838,443.77	1,838,444	1,838,444
Total investments in money market funds		US$	7,353,773

Description (% of net assets)	Principal	Cost	Fair Value
Investments in Securities (6.88%)			
United States Treasury Bill, 0.0%, due 19/03/24 (6.88%)	1,160,000	1,146,738	1,146,738
Total Investments in Securities		US$	1,146,738

Description (% of net assets)	Expiration dates	Notional Amount	Fair Value
FUTURES CONTRACTS (7.19%)			
Bond futures (1.98%)	February 2024 - March 2025	69,183,163	330,766
Currencies (0.81%)	March - 2024	17,930,719	134,200
Commodity (0.11%)	February 2024 - March 2024	1,471,983	18,465
Energy (0.49%)	January 2024 - April 2024	1,634,224	81,917
Food/Fibers/Lumber/Rubber (0.35%)	March - 2024	1,594,684	59,144
Gold (0.00%)	February 2024 - October 2024	614,688	575
Index (2.08%)	January 2024 - March 2024	16,208,429	346,260
Metals (1.37%)	March 2024 - October 2024	6,098,862	228,827
Unrealized gain on futures contracts		US$	1,200,154

See accompanying notes to financial statements.

SUPERFUND GREEN MASTER

Condensed Schedule of Investments (continued)

December 31, 2023
(stated in United States dollars)

Description (% of net assets)	Expiration dates	Notional Amount	Fair Value
FUTURES CONTRACTS (-3.66%)			
Bond futures (-0.51%)	January 2024 - September 2024	39,521,988	(84,643)
Currencies (-0.21%)	January 2024 - March 2024	6,152,302	(34,676)
Commodity (-0.13%)	February 2024 - March 2024	1,339,005	(22,150)
Energy (-0.30%)	February 2024 - May 2024	1,451,638	(50,395)
Food/Fibers/Lumber/Rubber (-0.09%)	March 2024 - May 2024	1,006,730	(15,340)
Gold (-0.06%)	February 2024 - October 2024	1,443,394	(10,210)
Index (-0.76%)	January 2024 - March 2024	13,121,888	(127,262)
Metals (-1.60%)	March - 2024	4,780,005	(266,813)
Unrealized loss on futures contracts		US$	(611,489)

Description (% of net assets)	Expiration date	Notional Amount	Fair Value
FORWARD CONTRACTS (1.22%)			
Foreign Exchange (1.22%)	March 2024	16,453,917	203,120
Unrealized gain on forward contracts		US$	203,120

Description (% of net assets)	Expiration date	Notional Amount	Fair Value
FORWARD CONTRACTS (-1.79%)			
Foreign Exchange (-1.79%)	March 2024	22,723,473	(299,070)
Unrealized loss on forward contracts		US$	(299,070)

See accompanying notes to financial statements.

SUPERFUND GREEN MASTER

Statement of Operations

Year ended December 31, 2023
(stated in United States dollars)

	Note	
Income		
Interest income		508,733
		508,733
Expenses		
Administration fees	10	19,500
Professional fees		25,614
Management fees	8	14,892
Interest expense		12,229
Other expenses		20,398
		92,633
Net investment income		416,100
Net realized loss and movement in unrealized gain/(loss) on investments and foreign currencies		
Net realized loss on investments and foreign currencies		(7,829,168)
Movement in unrealized loss on investments and foreign currencies		(812,527)
		(8,641,695)
Net decrease in net assets resulting from operations	US$	(8,225,595)

See accompanying notes to financial statements.

SUPERFUND GREEN MASTER

Statement of Changes in Net Assets

Year ended December 31, 2023
(stated in United States dollars)

Operations		
Net investment income		416,100
Net realized loss on investments and foreign currencies		(7,829,168)
Movement in unrealized loss on investments and foreign currencies		(812,527)
		(8,225,595)
Capital transactions		
Proceeds from issue of Class B Master Shares		1,770,396
Proceeds from issue of Class C Master Shares		826,698
Proceeds from issue of Class E Master Shares		490,773
Payments for redemptions of Class B Master Shares		(1,206,262)
Payments for redemptions of Class C Master Shares		(1,354,806)
Payments for redemptions of Class E Master Shares		(969,367)
		(442,568)
Decrease in net assets for year		**(8,668,163)**
Net assets at beginning of year		25,338,455
Net assets at end of year	US$	**16,670,292**
Net assets at end of year consist of:		
Class A Shares		1,388,338
Class B Master Shares		4,479,215
Class C Master Shares		8,495,685
Class E Master Shares		2,307,054
	US$	16,670,292

See accompanying notes to financial statements.

SUPERFUND GREEN MASTER

Notes to Financial Statements

December 31, 2023
(stated in United States dollars)

1. Incorporation and principal activity

Superfund Green Master (the "Master Fund") was incorporated as an exempted company under the Companies Act of the Cayman Islands on March 22, 2001 and was registered under the Mutual Funds Act of the Cayman Islands on April 2, 2001.

At December 31, 2023, the Master Fund has four active classes namely Class A, Class B, Class C and Class E Shares, of which Class B, Class C and Class E shares offer Class B Master Shares, Class C Master Shares and Class E Master Shares (collectively, the "Master Shares") respectively. No Class D or F Master Shares were in issue during the year ended December 31, 2023. The Master Shares are offered as part of "master-feeder" structures whereby Class B, Class C and Class E act as master funds for other funds in the Superfund group. The Class A Shares remain closed to subscriptions.

Superfund Capital Management, Inc. (the "Investment Adviser") acts as the Master Fund's investment adviser pursuant to an Investment Advisory Agreement. The Master Fund's objective is to provide investors with a form of investment independent of the development of equity and securities markets, and which potentially will achieve above average returns on long term capital appreciation. The Master Fund intends to take advantage of investment opportunities and trading strategies and therefore has no pre-determined views on the characteristics of its future investments and is not subject to any restrictions.

2. Significant accounting policies

The financial statements are prepared in conformity with accounting principles generally accepted in the United States of America ("US GAAP") as detailed in the Financial Accounting Standards Board's ("FASB") Accounting Standards Codification ("ASC"). The Master Fund qualifies as an investment company under US GAAP and follows the accounting and reporting guidance applicable to investment companies in FASB ASC 946, *Financial Services – Investment Companies*.

The significant accounting policies adopted by the Master Fund are as follows:

(a) Use of Estimates

The preparation of financial statements in accordance with US GAAP requires management to make estimates and assumptions that affect the reported amounts of assets and liabilities and disclosure of contingent assets and liabilities at the date of the financial statements, and the reported amounts of revenues and expenses during the reporting period. Actual results could differ from those estimates.

(b) Investments in money market funds

Investments in money market funds are accounted for on the trade date basis. Investments are initially measured at cost. Subsequent to initial recognition, investments are measured at fair value. Fair value is determined as the net assets attributable to the Master Fund, as reported by the respective money market fund. Realized and movement in unrealized gains and losses are included in the statement of operations.

2. Significant accounting policies (continued)

(c) Investments in securities

The Master Fund's investments in securities are comprised of investments in United States Treasury Bills. These investments are valued using quoted prices in active markets. Realized and movement in unrealized gains and losses are included in the statement of operations.

(d) Investments in funds

Investments in investment funds are presented at their net asset value ("NAV") as reported by the management of the investment funds. In accordance with the redemption and liquidity terms of the governing agreements of the investment funds, a divestment of the Master Fund's ownership interest in an investment fund is transacted with such investment fund at the applicable reported NAV of the investment fund. ASU-2015-07 removed the requirement to categorize within the fair value hierarchy all investments for which fair value is measured using the NAV practical expedient. As at December 31, 2023, the Master Fund did not hold any investment in funds.

(e) Futures contracts

Open futures contracts are carried at fair value calculated as the difference between the contract price and the market value based upon rates reported in published sources or those provided by the broker if applicable rates are not readily available. Realized and movement in unrealized gains and losses are included in the statement of operations.

(f) Forward contracts

Open forward contracts are carried at fair value calculated as the difference between the prevailing forward exchange rates and the deal rate. Realized and movement in unrealized gains and losses are included in the statement of operations.

(g) Valuation of investments at fair value-definition and hierarchy

US GAAP establishes a fair value hierarchy that prioritizes the inputs to valuation techniques used to measure fair value into three broad levels explained below:

Level 1: Valuations based on the unadjusted quoted prices in active markets of identical assets or liabilities that management has the ability to access. Valuation adjustments and block discounts are not applied to Level 1 securities. Since valuations are based on quoted prices that are readily and regularly available in an active market, valuation of these securities does not entail a significant degree of judgment.

Level 2: Valuations based on quoted prices in markets that are not active or for which all significant inputs are observable, either directly or indirectly.

Level 3: Valuations based on inputs that are unobservable and significant to the overall fair value measurement.

2. Significant accounting policies (continued)

(g) Valuation of investments at fair value-definition and hierarchy (continued)

The following table summarizes the valuation of the Master Fund's investments based on the fair value hierarchy as described above as at December 31, 2023.

Assets		Total	Level 1	Level 2
Investments in money market funds		7,353,773	7,353,773	-
Investments in securities		1,146,738	1,146,738	-
Unrealized gain on open futures contracts		1,200,154	1,200,154	-
Unrealized gain on open forward contracts		203,120	-	203,120
Total	US$	9,903,785	9,700,665	203,120

Liabilities		Total	Level 1	Level 2
Unrealized loss on open futures contracts		(611,489)	(611,489)	-
Unrealized loss on open forward contracts		(299,070)	-	(299,070)
Total	US$	(910,559)	(611,489)	(299,070)

There were no investments designated as Level 3 and there were no transfers in or out from level 3 during the year ended December 31, 2023.

(h) Interest income

Interest income is recorded on an accrual basis.

(i) Foreign currency

Assets and liabilities denominated or accounted for in foreign currencies are translated into United States dollars at the applicable exchange rates at the date of the statement of assets and liabilities. Foreign currency transactions are translated into United States dollars at the rate of exchange ruling at the date of the transaction. Realized and movement in unrealized losses arising from translation is included in the statement of operations.

The Master Fund does not isolate that portion of the results of operations resulting from changes in foreign exchange rates on investments and cash from the fluctuations arising from changes in market prices of securities held. Such fluctuations are included in the net realized gain/(loss) and movement in unrealized gain/(loss) on investments and foreign currencies in the statement of operations.

(j) Taxation

There are no taxes on income or gains in the Cayman Islands and in accordance with the provisions of section 6 of the Tax Concessions Act, the Master Fund has received an undertaking from the Governor in Cabinet of the Cayman Islands exempting it from all local taxation on future profits, income or gains until August 20, 2039. Accordingly, no provision for income taxes is included in these financial statements.

2. Significant accounting policies (continued)

(j) Taxation (continued)

The Master Fund recognizes the tax benefits of uncertain tax positions only where the position is more-likely-than-not (i.e. greater than 50-percent) to be sustained assuming examination by a tax authority based on the technical merits of the position. The Master Fund analyses all open tax years for all major taxing jurisdictions. Open tax years are those that are open for examination by taxing authorities, as defined by the statute of limitations in each jurisdiction.

Management has analysed the Master Fund's tax positions and has concluded that no liability for tax expenses or assets for tax benefits should be recorded in relation to uncertain tax positions. Further, management is not aware of any tax positions for which it is reasonably possible that the total amounts of unrecognized tax benefits will significantly change in the next twelve months.

(k) Allocation of income and expenses

Gains, losses, income and expenses (other than expenses attributable to a specific share class) are allocated among different share classes based on their relative weighting in the net asset value.

(l) Offsetting

Financial assets and liabilities including net unrealized gain/(loss) on open futures contracts are offset and the net amount is reported in the statement of assets and liabilities when the Master Fund has a legally enforceable right to offset the recognized amounts and the transactions are intended to be settled on a net basis or simultaneously. The Master Fund did not meet the requirements for offsetting during the year.

(m) Redemptions payable

Participating Shares redeemed at the option of the holder or the Master Fund are classified as redemptions payable when a redemption request has been received and the redemption amount determined.

(n) Recent Accounting Pronouncement

For public business entities, ASU 2022-03 is effective for fiscal years beginning after 15 December 2023, and interim periods within those fiscal years. For all other entities, ASU 2022-03 is effective for fiscal years beginning after 15 December 2024, and interim periods within those fiscal years. Early adoption is permitted for both interim and annual financial statements that have not yet been issued or made available for issuance. An entity that qualifies as an investment company under ASC 946 should apply ASU 2022-03 to an investment in an equity security subject to a contractual sale restriction that is executed or modified on or after the date of adoption. An investment company with an equity security subject to a contractual sale restriction that was executed before the date of adoption should continue to account for the equity security until the contractual restrictions expire or are modified using the accounting policy applied before the adoption of ASIJ 2022-03 (that is if an investment company was incorporating the effects of the restriction in the measurement of fair value, it would continue to do so).

The Master Fund does not expect that the adoption of this guidance will have a significant impact on the Master Fund's results of operations, cash flows, and financial position.

3. Due from/to brokers

Due from/to brokers include cash balances maintained at ADM Investor Services, Inc. and INTL FC Stone Financial Inc., and includes margin cash of US$4,045,461 pledged as collateral against open future and forwards contracts.

4. Financial instruments and associated risks

Market risk, credit risk and liquidity risk

In the normal course of its business, the Master Fund purchases and sells various financial instruments which may result in market, credit and liquidity risks, the amount of which is not apparent from the financial statements.

Market risk is the risk that changes in interest rates, foreign exchange rates or equity and commodity prices will affect the positions held by the Master Fund. The Master Fund is exposed to market risk on financial instruments that are valued at market prices.

As part of its investment strategy, the Master Fund enters into futures contracts. Futures contracts are traded on organized exchanges and require initial margin (collateral) in the form of cash or marketable securities. The initial margin is adjusted to reflect changes in the value of the futures contracts, which is marked to market on a daily basis. Holders of futures contracts look to the exchange for performance under the contract and not to the entity holding the offsetting futures position.

The Master Fund enters into forward contracts. Forward contracts contain credit risk for unrealized appreciation from various counterparties for the duration of the contract, net of collateral held. The Master Fund seeks to reduce its credit risk for forward contracts by only transacting with creditworthy counterparties.

The Master Fund invests into money market funds. Money market funds invests only in highly liquid cash and cash equivalent securities that have high credit ratings such as treasury bills, commercial paper and certificates of deposit. These funds invest primarily in debt-based securities which have a short-term maturity of less than 13 months, and offer high liquidity with very low level of risk.

The Master Fund invests into United States Treasury Bills which have a short-term maturity of less than 13 months, and offer high liquidity with very low level of risk.

The Master Fund invests into other investment funds. During the year ended December 31, 2023, the Master Fund's invested Superfund Green Gold Segregated Portfolio Crypto Fund (the "SF Crypto Fund"). The SF Crypto Fund's investment objective was to achieve significant positive returns by systematically trading exchange traded futures contracts on major liquid "cryptocurrencies". As of December 31, 2023, there is no investment in investment funds.

Market risks arise due to the possible movement in foreign exchange rates, indices, commodities and securities' values underlying these instruments. Other market risks include the possibility that a change in the value of the contract may not directly correlate with changes in the value of the underlying currencies, commodities or stock indices. Certain risks exist when trading in futures contracts as they may increase the total return of the Master Fund's investments but may also entail greater than ordinary investment risks.

4. Financial instruments and associated risks (continued)

Market risk, credit risk and liquidity risk (continued)

Credit risk is the risk of counterparty default. Credit risk is generally higher when a non-exchange traded financial instrument is involved because the counterparty for non-exchange traded financial instruments is not backed by an exchange clearing house. In order to minimize the impact of credit risk, the Master Fund utilizes a number of brokers. Management reviews the credit ratings and results of the brokers and is comfortable with the concentration of credit risk by the Master Fund.

Futures markets are highly volatile and are influenced by factors such as changing supply and demand relationships, governmental programs and policies, national and international political and economic events and changes in interest rates. In addition, because of the low margin deposits normally required in futures trading, a high degree of leverage may be typical of a futures trading account. As a result, a relatively small price movement in a futures contract may result in substantial losses to the trader. Futures trading may also be illiquid. Certain futures exchanges do not permit trading in particular futures contracts at prices that represent a fluctuation in price during a single day's trading beyond certain set limits. If prices fluctuate during a single day's trading beyond those limits, the Master Fund could be prevented from promptly liquidating unfavourable positions and thus be subject to substantial losses.

As part of its investment strategy, the Master Fund utilizes leverage. The concept of leveraging is based on the premise that the Master Fund's cost of borrowing will be at rates that normally will be lower than the rate of return earned on the investments it holds. While the use of leverage may increase the returns on equity capital invested by the Master Fund, the use of leverage also increases the risk of loss of such capital.

The Investment Adviser has internal guidelines and limits to manage leverage.

5. Derivative contracts

The Master Fund transacts in a variety of futures contracts and forward contacts for trading purposes with each instrument's primary risk exposure being interest rate, foreign currency exchange rate, equity price and commodity price risks. Investments in derivative contracts are subject to additional risks that can result in a loss of all or part of an investment.

The Master Fund records its derivative activities on a mark-to-market basis. Fair values are determined by using quoted market prices. The fair value of derivative instruments held by the Master Fund as at December 31, 2023 is included as a separate line item in the statement of assets and liabilities.

The following table indicates the fair value amounts of derivative contracts as at December 31, 2023, disaggregated by asset and liability values and by contract type. The amounts are included in unrealized gain or loss on open futures and forward contracts within the statement of assets and liabilities. The table also includes the realised gains and losses on derivatives by contract type, as included in the net realised gain or loss on investments and foreign currency within the statement of operations.

SUPERFUND GREEN MASTER

Notes to Financial Statements (continued)

December 31, 2023
(stated in United States dollars)

5. Derivative contracts (continued)

The table also includes the notional amount of open contracts, by contract type as at December 31, 2023:

Futures contracts		Asset derivatives	Notional Amount	Liability derivatives	Notional Amount	Unrealized gain/(loss)	Realized gain/(loss)
Bond futures		330,766	69,183,163	(84,643)	39,521,988	(443,606)	47,887
Currencies		134,200	17,930,719	(34,676)	6,152,302	(193,819)	(1,382,826)
Commodity		18,465	1,471,983	(22,150)	1,339,005	(99,240)	489,038
Energy		81,917	1,634,224	(50,395)	1,451,638	(123,425)	(2,950,450)
Food/Fibers/Lumber/Rubber		59,144	1,594,684	(15,340)	1,006,730	36,596	(573,379)
Gold		575	614,688	(10,210)	1,443,394	(20,767)	(265,615)
Index		346,260	16,208,429	(127,262)	13,121,888	(8,087)	(696,684)
Metals		228,827	6,098,862	(266,813)	4,780,005	(67,709)	(946,801)
Total	**US$**	**1,200,154**	**114,736,752**	**(611,489)**	**68,816,950**	**(920,057)**	**(6,278,830)**

Forward contracts		Asset derivatives	Notional Amount	Liability derivatives	Notional Amount	Unrealized gain/(loss)	Realized loss
Foreign Exchange		203,120	16,453,917	(299,070)	22,723,473	(98,089)	(740,017)
Total	**US$**	**203,120**	**16,453,917**	**(299,070)**	**22,723,473**	**(98,089)**	**(740,017)**

The derivative instruments held as at December 31, 2023 and their effect on the statement of operations are indicative of the volume of derivative activity of the Master Fund during the year.

6. Share capital

		2023
Authorized:		
100 Founder Shares of US$0.01 each		1
99,999,900 Participating Shares of US$0.01 each		999,999
	US$	1,000,000
25,000,000 Participating Shares of €0.01 each	€	250,000

7. Net paid in capital

	Number of shares
Issued and fully paid:	
Founder Shares	1
Class A Shares:	
Balance at beginning of year	30,035.96
Balance at end of year	30,035.96
Class B Shares:	
Balance at beginning of year	22,100.57
Issued during year	8,095.68
Redeemed during year	(5,961.12)
Balance at end of year	24,235.13
Class C Shares:	
Balance at beginning of year	55,683.22
Issued during year	4,546.70
Redeemed during year	(8,232.85)
Balance at end of year	51,997.07
Class E Shares:	
Balance at beginning of year	46,153.18
Issued during year	7,666.18
Redeemed during year	(16,162.14)
Balance at end of year	37,657.22

The Master Fund's Founder Shares are held by a shareholder of the Investment Adviser. 27,692.88 Class A Shares are held by a related party.

The rights attaching to the shares are as follows:

Founder Shares

Founder Shares may only be issued at par value and are not redeemable at the option of the holder. They carry one vote per share and confer on the holder thereof rights in a winding up as described below but confer no other right to participate in the profits or assets of the Master Fund.

7. Net paid in capital (continued)

Participating Shares

Participating Shares are redeemable at the net asset value per share of their respective share class on the relevant dealing day and are non-voting except for matters allowed by the Articles of Association. Holders of Participating Shares are entitled to receive all dividends declared and paid in proportion to the amounts paid up on shares held by them respectively.

The rights attached to any shares may be varied with the consent in writing of all the holders of the issued shares of the class, or with the sanction of a resolution passed by three-fourths of the votes cast at a meeting of the holders of the shares of that class.

On a winding up of the Master Fund, the assets available for distribution among the shareholders will be applied in the following priority after the satisfaction of all claims of creditors and payment of outstanding fees to the Investment Adviser, administrator, or other professional advisers:

- First, in payment to the holders of the Participating Shares a sum equivalent to the nominal amount paid up thereon;
- Second, in payment to the holders of the Founder Shares a sum equivalent to the nominal amount paid up thereon; and
- Third, in payment of the balance to the holders of the Participating Shares in proportion to the number of shares held by each shareholder.

At December 31, 2023, 17,305.63 Class C (EUR) shares of the Master Fund were held by related parties.

8. Management fees

The Master Fund's investment activities are managed by the Investment Adviser, a related party by virtue of common control. Under the terms of the Investment Advisory Agreement, the Investment Adviser receives a management fee monthly in arrears at the annual rate of 1% of the net asset value of the Class A Shares.

Included in accounts payable and accrued expenses at December 31, 2023 are management fees payable of US$ 1,154.

9. Incentive fees

The Investment Adviser is also entitled to receive an incentive fee of 35% of the increase in net asset value of the Class A Shares above the previous high watermark, as defined in the Investment Advisory Agreement, calculated and payable monthly in arrears. As at December 31, 2023, there were no incentive fees payable. For the year ended December 31, 2023, no incentive fees were charged and payable at the year-end.

The incentive fees to be paid to the Investment Adviser have not been set by arms-length negotiations and therefore the incentive fees payable to the Investment Adviser may create an incentive to make investments that are riskier or more speculative than would be the case in the absence of such an arrangement.

10.Administration fees

Under the terms of the Administration Agreement, the Master Fund pays to NAV Fund Services (Cayman) Ltd (the "Administrator") monthly in arrears a fee calculated at the rate of 0.042% per annum when the gross net asset value of the Master Fund is between $0 and $50 million, 0.0245% per annum when the gross net asset value of the Master Fund is between $50 million to $100 million, 0.007% per annum when the gross net asset value of the Master Fund is over $100 million, subject to a minimum monthly fee of US$1,500.

Included in accounts payable and accrued expenses at December 31, 2023 are administration fees payable of US$3,493.

11. Fair value

At December 31, 2023, the following methods and assumptions were used by management to estimate the fair value of each class of financial instruments. For certain of the Master Fund's financial instruments, including cash, redemptions payable and accounts payable and accrued expenses, the carrying amounts approximate fair value due to the immediate or short term nature of these financial instruments.

Investments in money market funds are measured at fair value. Fair value is determined as the net assets attributable to the Master Fund, as reported by the respective money market fund.

Investments in United States Treasury Bills are measured at fair value using quoted prices in active markets.

Investments in open futures contract positions are recorded at market values based on quoted market prices or dealer quotes and therefore, the carrying amount approximates fair value.

Investments in open forward contracts are recognized initially at fair value on the date the derivative contract is entered into. Any appreciation or depreciation arising from changes in fair value of forward contracts are taken directly to the statement of operations. Subsequent to initial measurement, forward contracts are measured at fair value.

Investment in Funds are recorded at the value provided by the underlying funds and/or their administrator, as a practical expedient for fair value.

Fair value estimates are made at a specific point in time, based on market conditions and information about the financial instruments. These estimates are subjective in nature and involve uncertainties and matters of significant judgment and therefore, cannot be determined with precision. Changes in assumptions could significantly affect the estimates.

12. Related party transactions

The Investment Adviser is a related party by virtue of common control. Fees payable to the Investment Adviser have not been set by arms-length negotiations.

The Master Fund had invested into the SF Crypto Fund which is part of the Superfund group of investment companies. The Investment Adviser of the Master Fund is also the investment adviser of the SF Crypto Fund. The investment in SF Crypto Fund was redeemed during the year for proceeds of US$249,242, incurring a realized loss of US$202,843.

13. Financial highlights

	Class A (USD)	Class B (USD)	Class C (EUR)	Class E (JPY)
Per share operating performance (for a Participating Share outstanding throughout the year) [1]:				
Net asset value per Participating Share at beginning of year	66.96	265.07	215.71	13,099.64
Income from investment operations				
Net investment (loss)/income	0.63	4.46	3.61	215.43
Net realized loss and movement unrealized loss on investments	(21.37)	(84.71)	(71.31)	(4,674.09)
Total loss from investment operations	(20.74)	(80.25)	(67.70)	(4,458.66)
Net asset value per Participating Share at end of year	US$46.22	US$184.82	€ 148.01	¥ 8640.98
Total return before incentive fees	(30.97) %	(30.27) %	(31.38) %	(34.04) %
Incentive fees	0.00 %	0.00 %	0.00 %	0.00 %
Total return [2]	(30.97) %	(30.27) %	(31.38) %	(34.04) %
Supplemental data:				
Ratio to average net assets				
Operating and other expenses	(1.40) %	(0.41) %	(0.41) %	(0.41) %
Incentive fee	0.00 %	0.00 %	0.00 %	0.00 %
Total expenses	(1.40) %	(0.41) %	(0.41) %	(0.41) %
Net investment (loss)/income (excluding incentive fee)	1.26 %	2.25 %	2.26 %	2.27 %

[1] Based on average shares outstanding during the year.
[2] An individual investor's return may vary due to the timing of share subscriptions and redemptions.

14. Subsequent events

In preparing these financial statements, management has evaluated and disclosed all material subsequent events up to June 14, 2024, which is the date that the financial statements were available for issue.

Subsequent to December 31, 2023, subscriptions in the amount of approximately US$Nil and redemptions in the amount of approximately US$1,196,596 were made.

SUPERFUND SPC SEGREGATED PORTFOLIO RAINBOW ALL SEASONS (FORMERLY KNOWN AS SUPERFUND SPC SEGREGATED PORTFOLIO SYSTEMATIC ALL WEATHER FUND)
(a Segregated Portfolio of Superfund SPC)

Statement of Assets and Liabilities

December 31, 2023
(stated in Euro)

	Note		
Assets			
Investment in securities (cost €337,612)			337,612
Cash			2,947,964
Due from brokers	3		3,105,779
Unrealized gain on open futures contracts	2(e),4,5		382,022
Unrealized gain on open forward contracts	2(e),4,5		46,618
Other assets			11,903
			6,831,898
Liabilities			
Due to brokers	3		552,128
Unrealized loss on open futures contracts	2(e),4,5		64,215
Unrealized loss on open forward contracts	2(e),4,5		51,108
Redemptions payable			79,934
Payable to Superfund Japan – Superfund Japan Sub-Fund Rainbow All Seasons	12		61,489
Accounts payable and accrued expenses	7,9		27,821
			836,695
Net assets		€	5,995,203
Net assets per Class S (EUR) Share, based on 4,179.68 shares outstanding		€	933.28
Net assets per Class B Japan (JPY) Share, based on 117,596.87 shares outstanding		JPY	537.22
Net assets per Class B Japan (Gold EUR) Share, based on 2,084.97 shares outstanding (the total value of Class B Japan (Gold EUR) Shares in ounces of gold at December 31, 2023 is 822.20 Oz and the price of gold at December 31, 2023 is € 2,062.98)		Oz	0.39

See accompanying notes to financial statements.

SUPERFUND SPC SEGREGATED PORTFOLIO RAINBOW ALL SEASONS (FORMERLY KNOWN AS SUPERFUND SPC SEGREGATED PORTFOLIO SYSTEMATIC ALL WEATHER FUND)
(a Segregated Portfolio of Superfund SPC)

Condensed Schedule of Investments

December 31, 2023
(stated in Euro)

Description (% of net assets)	Principal	Cost	Fair value
INVESTMENT IN SECURITIES (5.63%)			
T-BILLS (5.63%)			
United States Treasury Bill, 0.0%, due March 19, 2024 (5.63%)	338,222	337,612	337,612
Total investment in securities		€	337,612

Description (% of net assets)	Expiration dates	Notional amount	Fair value
FUTURES CONTRACTS (6.36%)			
Bond Futures (2.64%)	February 2024 - March 2025	9,677,686	158,503
Commodity (0.00%)	March 2024	17,867	140
Currencies (0.55%)	March 2024	4,092,281	32,882
Energy (0.14%)	January - March 2024	209,123	8,603
Food/Fibers/Lumber/Rubber (0.11%)	February - March 2024	314,827	6,409
Gold (0.64%)	February 2024	3,026,851	38,610
Index (1.80%)	January - March 2024	4,519,771	107,902
Metals (0.48%)	March - October 2024	747,429	28,973
Unrealized gain on futures contracts		€	382,022

Description (% of net assets)	Expiration dates	Notional amount	Fair value
FUTURES CONTRACTS (-1.07%)			
Bond Futures (-0.08%)	March - June 2024	2,043,414	(4,717)
Currencies (-0.15%)	March 2024	2,510,188	(8,812)
Energy (-0.10%)	March 2024	181,015	(6,166)
Food/Fibers/Lumber/Rubber (0.00%)	February - March 2024	102,592	(130)
Gold (-0.01%)	February 2024	376,212	(530)
Index (-0.33%)	January - March 2024	2,732,125	(19,582)
Metals (-0.40%)	March 2024	327,791	(24,278)
Unrealized loss on futures contracts		€	(64,215)

See accompanying notes to financial statements.

SUPERFUND SPC SEGREGATED PORTFOLIO RAINBOW ALL SEASONS (FORMERLY KNOWN AS SUPERFUND SPC SEGREGATED PORTFOLIO SYSTEMATIC ALL WEATHER FUND)
(a Segregated Portfolio of Superfund SPC)

Condensed Schedule of Investments (continued)

December 31, 2023
(stated in Euro)

Description (% of net assets)	Expiration dates	Notional amount	Fair value
FORWARD CONTRACTS (0.78%)			
Foreign Exchange (0.78%)	March 2024	3,536,639	46,618
Unrealized gain on forward contracts		€	46,618

Description (% of net assets)	Expiration dates	Notional amount	Fair value
FORWARD CONTRACTS (-0.85%)			
Foreign Exchange (-0.85%)	March 2024	4,285,780	(51,108)
Unrealized loss on forward contracts		€	(51,108)

See accompanying notes to financial statements

SUPERFUND SPC SEGREGATED PORTFOLIO RAINBOW ALL SEASONS (FORMERLY KNOWN AS SUPERFUND SPC SEGREGATED PORTFOLIO SYSTEMATIC ALL WEATHER FUND)
(a Segregated Portfolio of Superfund SPC)

Statement of Operations

Year ended December 31, 2023
(stated in Euro)

	Note	
Investment income		
Other income		16,054
		16,054
Expenses		
Management fees	7	61,174
Professional fees		35,036
Administration fees	9	20,749
Interest expenses		5,833
Other expenses		9,635
		132,427
Net investment loss		(116,373)
Net realized loss and movement in unrealized gain on investments and foreign currencies		
Net realized loss on investments and foreign currencies		(75,130)
Movement in unrealized gain on investments and foreign currencies		317,220
		242,090
Net increase in net assets resulting from operations	€	125,717

See accompanying notes to financial statements.

SUPERFUND SPC SEGREGATED PORTFOLIO RAINBOW ALL SEASONS (FORMERLY KNOWN AS SUPERFUND SPC SEGREGATED PORTFOLIO SYSTEMATIC ALL WEATHER FUND)
(a Segregated Portfolio of Superfund SPC)

Statement of Changes in Net Assets

Year ended December 31, 2023
(stated in Euro)

Operations		
Net investment loss		(116,373)
Net realized loss on investments and foreign currencies		(75,130)
Movement in unrealized gain on investments and foreign currencies		317,220
		125,717
Capital transactions		
Proceeds from issue of participating shares		
Class B Japan (Gold EUR)		144,960
Class B Japan (JPY)		83,588
Payments for redemptions of participating shares		
Class B Japan (Gold EUR)		(272,978)
Class B Japan (JPY)		(642,175)
		(686,605)
Decrease in net assets during the year		**(560,888)**
Net assets at beginning of year		6,556,091
Net assets at end of year	€	**5,995,203**
Net assets at end of year consist of:		
Class S (EUR) Participating Share		3,900,812
Class B Japan (Gold EUR) Participating Share		1,696,110
Class B Japan (JPY) Participating Share		398,281
	€	5,995,203

See accompanying notes to financial statements.

SUPERFUND SPC SEGREGATED PORTFOLIO RAINBOW ALL SEASONS (FORMERLY KNOWN AS SUPERFUND SPC SEGREGATED PORTFOLIO SYSTEMATIC ALL WEATHER FUND)
(a Segregated Portfolio of Superfund SPC)

Notes to Financial Statements

December 31, 2023
(stated in Euro)

1. Incorporation and principal activity

Superfund SPC Segregated Portfolio Rainbow All Seasons (formerly known as Superfund SPC Segregated Portfolio Systematic All Weather Fund) (the "Fund"), is a segregated portfolio of Superfund SPC (the "Company"), which was incorporated as an exempted segregated portfolio company under the Companies Act of the Cayman Islands on January 4, 2005 and was registered under the Mutual Funds Act of the Cayman Islands on January 18, 2005.

The investment objective of the Fund is to achieve capital appreciation through the leveraged trading of futures and forward contracts. The Fund pursues its objective mainly by employing a long-only risk parity strategy that utilizes proprietary trading strategies developed by members of the Superfund group of affiliated companies. Additionally, other strategies may be mixed-in with limited weight. These, other, strategies are also short-sell futures and/or forward contracts.

The assets of the Company can either be general assets or segregated portfolio assets. The assets attributable to a segregated portfolio comprise assets representing the share capital and reserves attributable to the segregated portfolio and other assets attributable to or held within that segregated portfolio. The general assets comprise the assets of the Company which are not segregated portfolio assets. Where a liability arises from a transaction in respect of a particular segregated portfolio and there are insufficient assets within that segregated portfolio, then there will be recourse to the general assets, but not to the assets of any other segregated portfolio.

As at December 31, 2023, the Company has one segregated portfolio namely, Superfund SPC Segregated Portfolio Rainbow All Seasons (formerly known as Superfund SPC Segregated Portfolio Systematic All Weather Fund). Effective June 1, 2023, the Fund has changed its name from Superfund SPC Segregated Portfolio Systematic All Weather Fund to Superfund SPC Segregated Portfolio Rainbow All Seasons. The Fund had issued three participating share classes: Class S (EUR), Class B Japan (Gold EUR), Class B Japan (JPY).

Superfund Capital Management, Inc. (the "Investment Adviser") acts as the Fund's investment adviser pursuant to an Investment Advisory Agreement.

2. Significant accounting policies

The financial statements are prepared in conformity with accounting principles generally accepted in the United States of America ("US GAAP") as detailed in the Financial Accounting Standards Board's ("FASB") Accounting Standards Codification ("ASC"). The Fund qualifies as an investment company under US GAAP and follows the accounting and reporting guidance applicable to investment companies in FASB ASC 946, *Financial Services – Investment Companies*.

The significant accounting policies adopted by the Fund are as follows:

2. Significant accounting policies (continued)

(a) Use of estimates

The preparation of financial statements in accordance with US GAAP requires management to make estimates and assumptions that affect the reported amounts of assets and liabilities and disclosure of contingent assets and liabilities at the date of the financial statements, and the reported amounts of revenues and expenses during the reporting period. Actual results could differ from those estimates.

(b) Futures contracts

Open futures contracts are carried at fair value calculated as the difference between the contract price and the market value based upon rates reported in published sources or those provided by the broker if applicable rates are not readily available. Realized and movement in unrealized gains and losses are included in the statement of operations.

(c) Forward contracts

Open forward contracts are carried at fair value calculated as the difference between the prevailing forward exchange rates and the deal rate. Realized and movement in unrealized gains and losses are included in the statement of operations.

(d) Investment in securities

The Fund's investments in securities are comprised of investments in United States treasury bills. These investments are valued using quoted prices in active markets. Realized and movement in unrealized gains and losses are included in the statement of operations.

(e) Valuation of investments at fair value-definition and hierarchy

US GAAP establishes a fair value hierarchy that prioritizes the inputs to valuation techniques used to measure fair value into three broad levels explained below:

Level 1: Valuations based on the unadjusted quoted prices in active markets of identical assets or liabilities that management has the ability to access. Valuation adjustments and block discounts are not applied to Level 1 securities. Since valuations are based on quoted prices that are readily and regularly available in an active market, valuation of these securities does not entail a significant degree of judgment.

Level 2: Valuations based on quoted prices in markets that are not active or for which all significant inputs are observable, either directly or indirectly.

Level 3: Valuations based on inputs that are unobservable and significant to the overall fair value measurement.

2. Significant accounting policies (continued)

The following table summarizes the valuation of the Fund's investments based on the fair value hierarchy as described above.

		Total	Level 1	Level 2
Unrealized gain on open futures contracts		382,022	382,022	-
Unrealized gain on open forward contracts		46,618	-	46,618
Total	€	428,640	382,022	46,618

		Total	Level 1	Level 2
Unrealized loss on open futures contracts		(64,215)	(64,215)	-
Unrealized loss on open forward contracts		(51,108)	-	(51,108)
Total	€	(115,323)	(64,215)	(51,108)

They were no transfers between the levels during the year ended December 31, 2023.

(f) Interest income and expense

Interest income and expense are recorded on an accruals basis.

(g) Foreign currency

Assets and liabilities denominated or accounted for in foreign currencies are translated into Euro at the applicable exchange rates at the date of the statement of assets and liabilities. Foreign currency transactions are translated into Euro at the rate of exchange ruling at the date of the transaction. Realized and movement in unrealized gains and losses arising from translation are included in the statement of operations.

The Fund does not isolate that portion of the results of operations resulting from changes in foreign exchange rates on investments and cash from the fluctuations arising from changes in market prices of securities held. Such fluctuations are included in the net realized gain/(loss) and movement in unrealized gain/(loss) on investments and foreign currencies in the statement of operations.

(h) Taxation

There are no taxes on income or gains in the Cayman Islands and in accordance with the provisions of section 6 of the Tax Concessions Act, the Company has received an undertaking from the Governor in Cabinet of the Cayman Islands exempting it from all local taxation on future profits, income or gains until January 18, 2025. Accordingly, no provision for income taxes is included in these financial statements. The Fund recognizes the tax benefits of uncertain tax positions only where the position is more-likely-than-not (i.e. greater than 50-percent) to be sustained assuming examination by a tax authority based on the technical merits of the position. The Fund analyzes all open tax years for all major taxing jurisdictions.

2. Significant accounting policies (continued)

(h) Taxation (continued)

Open tax years are those that are open for examination by taxing authorities, as defined by the statute of limitations in each jurisdiction.

Management has analyzed the Fund's tax positions and has concluded that no liability for tax expenses or assets for tax benefits should be recorded in relation to uncertain tax positions. Further, management is not aware of any tax positions for which it is reasonably possible that the total amounts of unrecognized tax benefits will significantly change in the next twelve months.

(i) Allocation of income and expenses

Gains, losses, income and expenses (other than expenses attributable to a specific share class) are allocated among different share classes based on their relative net asset value.

(j) Offsetting

Financial assets and liabilities including net unrealized gain/(loss) on open futures contracts are offset and the net amount is reported in the statement of assets and liabilities when the Fund has a legally enforceable right to offset the recognized amounts and the transactions are intended to be settled on a net basis or simultaneously. The Fund did not meet the requirements for offsetting during the year.

(k) Net asset value per unit

The net asset value per unit (the "NAV per unit") is expressed in Euro for Class S (EUR) Participating Shares and JPY for Class B Japan (JPY) Participating Shares. The NAV per unit for Class B (Gold EUR) Participating Shares is expressed in ounces of gold and calculated by dividing the net asset value by the number of units of that class outstanding then, for units expressed in ounces of gold, further dividing the value obtained by the London AM gold fixing per ounce price prevailing on the relevant valuation day.

(l) Redemptions payable

Participating Shares redeemed at the option of the holder or the Fund are classified as redemptions payable when a redemption request has been received and the redemption amount determined.

(m) Subscription receivable

Subscriptions receivable represent amounts due from shareholders in respect of shares issued to them before December 31, 2023.

(n) Recent Accounting Pronouncement
For public business entities, ASU 2022-03 is effective for fiscal years beginning after 15 December 2023, and interim periods within those fiscal years. For all other entities, ASU 2022-03 is effective for fiscal years beginning after 15 December 2024, and interim periods within those fiscal years. Early adoption is permitted for both interim and annual financial statements that have not yet been issued or made available for issuance. An entity that qualifies as an investment

2. Significant accounting policies (continued)

(n) Recent Accounting Pronouncement (continued)
company under ASC 946 should apply ASU 2022-03 to an investment in an equity security subject to a contractual sale restriction that is executed or modified on or after the date of adoption. An investment company with an equity security subject to a contractual sale restriction that was executed before the date of adoption should continue to account for the equity security until the contractual restrictions expire or are modified using the accounting policy applied before the adoption of ASIJ 2022-03 (that is if an investment company was incorporating the effects of the restriction in the measurement of fair value, it would continue to do so). Management does not expect that the adoption of this guidance will have a significant impact on the Fund's results of operations and financial position.

3. Due from/to brokers

Due from/to brokers includes cash balances maintained at ADM Investor Services, Inc. and INTL FCStone Financial Inc., net of amounts due for unsettled trades in securities and includes margin cash of €1,061,959 pledged as collateral against open futures contracts. At December 31, 2023, there are no amounts receivable and payable for unsettled trades included within due from/to brokers.

4. Financial instruments

Market risk, credit risk and liquidity risk

In the normal course of its business, the Fund purchases and sells various financial instruments which may result in market, credit and liquidity risks, the amount of which is not apparent from the financial statements.

Market risk is the risk that changes in interest rates, foreign exchange rates or equity and commodity prices will affect the positions held by the Fund. The Fund is exposed to market risk on financial instruments that are valued at market prices.

Futures contracts are traded on organized exchanges and require initial margin (collateral) in the form of cash or marketable securities. The initial margin is adjusted to reflect changes in the value of the futures contracts, which is marked to market on a daily basis. Holders of futures contracts look to the exchange for performance under the contract and not to the entity holding the offsetting futures position. Accordingly, the amount of risk due to non-performance of counterparties to futures contracts is minimal.

Forward foreign currency contracts are non-exchange traded contracts whereby the Fund agrees to receive or deliver a fixed quantity of foreign currency for an agreed-upon price on an agreed future date. Risks arise from the possible inability of counterparties to meet the terms of their contracts and from movements in currency and securities values and interest rates.

The Fund invests into United States treasury bills which have a short-term maturity of less than 13 months, and offer high liquidity with very low level of risk.

4. Financial instruments (continued)

Market risk, credit risk and liquidity risk (continued)

Market risks arise due to the possible movement in foreign exchange rates, indices, commodities and securities' values underlying these instruments. Other market risks include the possibility that a change in the value of the contract may not directly correlate with changes in the value of the underlying currencies, commodities or stock indices. Certain risks exist when trading in futures contracts as they may increase the total return of the Fund's investments, but may also entail greater than ordinary investment risks.

Credit risk is the risk of counterparty default. Credit risk is generally higher when a non-exchange traded financial instrument is involved because the counterparty for non-exchange traded financial instruments is not backed by an exchange clearing house. In order to minimize the impact of credit risk, the Fund utilizes a number of brokers. Management reviews the credit ratings and results of the brokers and is comfortable with the concentration of credit risk by the Fund.

Liquidity risk is the risk that the Fund will encounter difficulty in raising funds to meet commitments. Liquidity risk may result from the inability to sell investments quickly at an amount close to fair value.

Futures markets are highly volatile and are influenced by factors such as changing supply and demand relationships, governmental programs and policies, national and international political and economic events and changes in interest rates. In addition, because of the low margin deposits normally required in futures trading, a high degree of leverage may be typical of a futures trading account. As a result, a relatively small price movement in a futures contract may result in substantial losses to the trader. Futures trading may also be illiquid. Certain futures exchanges do not permit trading in particular futures contracts at prices that represent a fluctuation in price during a single day's trading beyond certain set limits. If prices fluctuate during a single day's trading beyond those limits, the Fund could be prevented from promptly liquidating unfavourable positions and thus be subject to substantial losses.

As part of its investment strategy, the Fund utilizes leverage. The concept of leveraging is based on the premise that the Fund's cost of borrowing will be at rates that normally will be lower than the rate of return earned on the investments it holds. While the use of leverage may increase the returns on equity capital invested by the Fund, the use of leverage also increases the risk of loss of such capital.

The Investment Adviser has internal guidelines and limits to maintain levels of leverage.

5. Derivative contracts

The Fund transacts in a variety of futures for trading purposes with each instrument's primary risk exposure being interest rate, foreign currency exchange rate, equity price and commodity price risks. Investments in derivative contracts are subject to additional risks that can result in a loss of all or part of an investment.

SUPERFUND SPC SEGREGATED PORTFOLIO RAINBOW ALL SEASONS (FORMERLY KNOWN AS SUPERFUND SPC SEGREGATED PORTFOLIO SYSTEMATIC ALL WEATHER FUND)
(a Segregated Portfolio of Superfund SPC)

Notes to Financial Statements (continued)

December 31, 2023
(stated in Euro)

5. Derivative contracts (continued)

The Fund records its derivative activities on a fair value basis. Fair values are determined by using quoted market prices. The fair value of derivative instruments held by the Fund is included as a separate line item in the statement of assets and liabilities.

The following table indicates the fair value amounts of derivative contracts as at December 31, 2023, disaggregated by asset and liability values and by contract type. The amounts are included in unrealized gain on open futures contracts and unrealized loss on open futures contracts within the statement of assets and liabilities.

The table also includes the notional amount of open contracts, by contract type as at December 31, 2023, and their effect on the statement of operations and are indicative of the volume of derivative activity of the Fund during the year.

	Derivative Assets		Derivative Liabilities			
Futures contracts	Asset derivatives	Notional amount	Liability derivatives	Notional amount	Movement in unrealized gain/(loss)	Realized gain/ (loss)
Bond Futures	158,503	9,677,686	(4,717)	2,043,414	164,719	(23,371)
Commodity	140	17,867	-	-	(4,889)	56,072
Currencies	32,882	4,092,281	(8,812)	2,510,188	(31,764)	(133,591)
Energy	8,603	209,123	(6,166)	181,015	(24,551)	(203,987)
Food/Fibers/Lumber /Rubber	6,409	314,827	(130)	102,592	(2,267)	(21,404)
Gold	38,610	3,026,851	(530)	376,212	(16,609)	(35,763)
Index	107,902	4,519,771	(19,582)	2,732,125	225,935	447,850
Metals	28,973	747,429	(24,278)	327,791	4,765	(23,716)
Total €	**382,022**	**22,605,835**	**(64,215)**	**8,273,337**	**315,339**	**62,090**

Forward contracts	Asset derivatives	Notional amount	Liability derivatives	Notional amount	Unrealized loss	Realized gain
Foreign Exchange	46,618	3,536,639	(51,108)	4,285,780	1,881	(137,220)
Total €	**46,618**	**3,536,639**	**(51,108)**	**4,285,780**	**1,881**	**(137,220)**

6. Net paid in capital

Authorized:		
100 Management Shares of €0.01 each		1
99,999,000 Participating Shares of €0.001 each		99,999
	€	100,000

SUPERFUND SPC SEGREGATED PORTFOLIO RAINBOW ALL SEASONS (FORMERLY KNOWN AS SUPERFUND SPC SEGREGATED PORTFOLIO SYSTEMATIC ALL WEATHER FUND)
(a Segregated Portfolio of Superfund SPC)

Notes to Financial Statements (continued)

December 31, 2023
(stated in Euro)

6. Net paid in capital (continued)

	Number of shares
Issued and fully paid:	
Management shares	100
Class B Japan (Gold EUR) Shares:	
Balance at beginning of year	2,254.74
Issued during the year	188.95
Redeemed during the year	(358.71)
Balance at end of year	2,084.98
Class B Japan (JPY) Shares:	
Balance at beginning of year	271,632.72
Issued during the year	23,774.65
Redeemed during the year	(177,810.49)
Balance at end of year	117,596.88
Class S (EUR) Shares:	
Balance at beginning of year	4,179.67
Balance at end of year	4,179.67

Management Shares

Management Shares may only be issued at par value and are not redeemable at the option of the holder. They carry one vote per share and confer on the holder thereof rights in a winding up as described below but confer no other right to participate in the profits or assets of the Company. At December 31, 2023, the Company's Management Shares were held by affiliates of the Investment Adviser.

Participating Shares

The minimum initial subscription amount is €50,000 for Class B Japan (Gold EUR) Shares and JPY5,000,000 for Class B Japan (JPY) Shares of the Segregated Portfolio Rainbow All Seasons (Formerly known as Segregated Portfolio Systematic All Weather Fund). Subsequent purchases by existing shareholders will be subject to a minimum purchase requirement of €5,000 for Class B Japan (Gold EUR) Shares and JPY500,000 for Class B Japan (JPY) Shares.

6. Net paid in capital (continued)

Participating Shares (continued)

The minimum investment and holding amounts set forth as per Offering Memorandum may be adjusted by the Directors from time to time, in their sole discretion, to account for currency alterations or similar changes.

Participating Shares may be redeemed at the net asset value per share of their respective share class on any redemption date and are non-voting except for matters allowed by the articles of association. Holders of Participating Shares are entitled to receive all dividends declared and paid in proportion to the amounts paid up on shares held by them respectively. At December 31, 2023, 3,337.62, 2,084.97 and 117,597.02 of Class S (EUR), Class B Japan (Gold EUR), Class B Japan (JPY) shares were held by related parties respectively.

On a winding up of the Company, segregated portfolio and general assets will be applied first in satisfaction of claims of the segregated portfolio creditors and general creditors, respectively. The balance of general assets, if any, will be used to repay the nominal paid-in capital on the Management Shares, with any balance transferred to the segregated portfolios in proportion to the net asset value of each segregated portfolio. The assets of each segregated portfolio will be paid to the shareholders of the respective segregated portfolio in proportion to the number of shares held. If there is more than one class of Participating Shares in a segregated portfolio, the assets of the segregated portfolio will be allocated pro-rata to each class according to the relative net asset values and then paid to the shareholders in proportion to the number of Participating Shares of the relevant class held.

7. Management fees

The Fund's investment activities are managed by the Investment Adviser, a related party by virtue of common control. Under the terms of the Investment Advisory Agreement, the Investment Adviser receives a management fee of 1.0% per annum of the net asset value of each class of Shares within the Superfund SPC Segregated Portfolio Rainbow All Seasons payable monthly within 15 days following the last valuation date of the month.

Included in the accounts payable and accrued expenses at December 31, 2023 are management fees payable of €4,979.

8. Performance fees

The Investment Adviser is entitled to receive a performance fee of 20% of the increase in the net asset value per Class B and Class S (EUR) will pay only if profits are above 150% of the initial index value, as defined in the Offering Memorandum, calculated and payable monthly in arrears respectively.

8. Performance fees (continued)

With respect to the classes of Gold Shares, both the net asset value per share and high watermark of the Shares are calculated in both the relevant currency of such classes of Shares and ounces of gold. The calculation of the performance fees on a high watermark basis may lead to a situation where, if the gold price in relevant currency declines during a period in which the Investment Adviser achieves new trading profits with all of its other investments, the relevant currency value per share on which the performance fee is paid out may be below a previously achieved currency value per share. This method of calculating the performance fees ensures that any net asset value per share increase in relevant currency that is solely due to rising gold prices will not be charged a performance fee.

As at December 31, 2023, no performance fees were charged.

The performance fees to be paid to the Investment Adviser have not been set by arms-length negotiations and therefore the performance fees payable to the Investment Adviser may create an incentive to make investments that are riskier or more speculative than would be the case in the absence of such an arrangement.

9. Administration fees

NAV Fund Services (Cayman) Ltd. (the "Administrator") serves as the Administrator of the Fund.

The administration fees incurred for the financial year amounted to €20,749 of which €6,632 is payable as at December 31, 2023.

10. Fair value

At December 31, 2023, the following methods and assumptions were used by management to estimate the fair value of each class of financial instruments. For certain of the Fund's financial instruments, including cash, subscription received in advance, redemptions payable, amounts due from/to brokers and accounts payable and accrued expenses, the carrying amounts approximate fair value due to the immediate or short-term nature of these financial instruments.

Investments in United States treasury bills are measured at fair value using quoted prices in active markets.

Investments in open futures contract positions are recorded at market values based on quoted market prices or dealer quotes and therefore, the carrying amount approximates fair value. Investments in affiliated private investment funds are recorded at the value provided by the underlying funds and/or their administrator, as a practical expedient for fair value.

Investments in open forward contracts are recognized initially at fair value on the date the derivative contract is entered into. Any appreciation or depreciation arising from changes in fair value of forward contracts are taken directly to the statement of operations. Subsequent to initial measurement, forward contracts are measured at fair value.

10. Fair value (continued)

Fair value estimates are made at a specific point in time, based on market conditions and information about the financial instruments. These estimates are subjective in nature and involve uncertainties and matters of significant judgment and therefore, cannot be determined with precision. Changes in assumptions could significantly affect the estimates.

11. Distribution Fees

Superfund Distribution and Investment Inc. (the "Distributor") acts as distributor of the Fund's shares. The Distributor has agreed not to charge any distribution fees.

12. Related party transactions

The Investment Adviser and the Distributor are related parties by virtue of common control. Fees payable to the Investment Adviser and to the Distributor have not been set by arms-length negotiations.

Payable to Superfund Japan – Superfund Japan Sub-Fund Systematic All Seasons include amount of €61,489 for redemption payable by the Fund on behalf of the Superfund Japan – Superfund Japan Sub-Fund Rainbow All Seasons.

SUPERFUND SPC SEGREGATED PORTFOLIO RAINBOW ALL SEASONS (FORMERLY KNOWN AS SUPERFUND SPC SEGREGATED PORTFOLIO SYSTEMATIC ALL WEATHER FUND)
(a Segregated Portfolio of Superfund SPC)

Notes to Financial Statements (continued)

December 31, 2023
(stated in Euro)

13. Financial highlights

Segregated Portfolio Rainbow All Seasons Fund	Class S (EUR)	Class B Japan (JPY)	Class B Japan (Gold EUR)
Per share operating performance (for a Participating Share outstanding throughout the year) [1]:	**(€)**	**(JPY)**	**(ounces of Gold)**
Net asset value per Participating Share at beginning of year	906.92	547.67	0.44
Net investment loss	(16.95)	(9.99)	(0.01)
Net realized and movement in unrealized gain/(loss) on investments and foreign currencies	43.31	(0.46)	(0.04)
Total gain/(loss) from investment operations	26.36	(10.45)	(0.05)
Net asset value per Participating Share at end of year	933.28	537.22	0.39
Total return [2]	2.91%	(1.91)%	(11.36)%
Supplemental data:			
Ratio to average net assets			
Operating and other expenses	2.17%	2.16%	2.16%
Performance fees	-	-	-
Total expenses	2.17%	2.16%	2.16%
Net investment loss	(1.91)%	(1.88)%	(1.90)%

[1] The amounts are based on the average number of Participating Shares outstanding during the year.

[2] An individual investor's return may vary due to the timing of share subscriptions and redemptions.

14. Subsequent events

In preparing these financial statements, management has evaluated and disclosed all material subsequent events up to June 14, 2024, which is the date that the financial statements were available for issue.

Subsequent to December 31, 2023 redemptions of €122,125 were processed.

次へ

②2022年12月31日終了年度

スーパーファンド・ジャパン－サブファンド・グリーン

貸借対照表

2022年12月31日現在

（単位：日本円）

	注記	
資産		
ファンドへの投資（公正価値）		
（原価：2,694,563,551円）	2(b),3,11	2,643,192,097
ファンドへの投資に関する未収金		779,526
現金		16,689,058
外貨建て現金（原価：2,894,168円）		2,745,644
その他の資産		1,797,354
		2,665,203,679
負債		
前受申込金		5,120,000
投資有価証券の取得に係る支出		10,779,526
未払金及び未払費用	5,8,10	4,222,650
		20,122,176
純資産		2,645,081,503

添付の注記は、これらの財務諸表の重要な一部である。

	米ドル	円
ゴールド円クラス受益証券１口当たり純資産：		
発行済9,753,479口に基づく		
（2022年12月31日現在におけるゴールド円クラスの株式の価値合計：5,314.82オンス（金））	**－**	**130.32**
（2022年12月31日現在の金価格：239,153.01円）	**0.001オンス（金）**	
シルバー円クラス受益証券１口当たり純資産：		
発行済1,559,439口に基づく		
（2022年12月31日現在におけるシルバー円クラスの株式の価値合計：49,449.93オンス（銀））		
（2022年12月31日現在の銀価格：3,139.50円）	**－**	**99.55**
	0.032オンス（銀）	
円・クラス受益証券１口当たり純資産：		
発行済9,009,299口に基づく（単位：円）	**－**	**69.48**
ゴールド米ドル・クラス受益証券１口当たり純資産：		
発行済608,437口に基づく		
（2022年12月31日現在におけるゴールド米ドル・クラスの株式の価値合計：335.28オンス（金））	**1.01**	**158.31**
（2022年12月31日現在の金価格：239,153.01円）	**0.001オンス（金）**	
シルバー米ドル・クラス受益証券１口当たり純資産：		
発行済2,333,353口に基づく		
（2022年12月31日現在におけるシルバー米ドル・クラスの株式の価値合計：109,545.32オンス（銀））	**1.12**	**175.55**
（2022年12月31日現在の銀価格：3,139.50円）	**0.047オンス（銀）**	
米ドル・クラス受益証券１口当たり純資産：		
発行済 1,725,473口に基づく（単位：米ドル）	**0.75**	**117.56**

添付の注記は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・ジャパン－サブファンド・グリーン
投資明細書

2022年12月31日現在
（単位：日本円）

銘柄（純資産における%）	償還条件	株式数	原価	公正価値
ファンドへの投資（公正価値）（99.93%）				
マネージドフューチャーズ				
スーパーファンド・グリーン・ゴールド SPC B：クラスBジャパン（円）及び クラスBジャパン（米ドル）（51.02%）	週次	964,285.25	1,376,419,063	1,349,491,742
スーパーファンド・グリーン SPC B：クラスBジャパン（円）、 クラスBジャパン（米ドル）、 クラスBジャパン（シルバー米ドル）及び クラスBジャパン（シルバー円）（48.91%）	週次	1,166,114.46	1,318,144,488	1,293,700,355
ファンドへの合計投資額（公正価値）（99.93%）		円	2,694,563,511	2,643,192,097

添付の注記は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・ジャパンーサブファンド・グリーン
損益計算書

2022年12月31日に終了した年度
（単位：日本円）

	注記	
費用		
事務管理報酬	10	1,207,500
専門家報酬		4,997,804
受託会社報酬	9	1,333,635
代行協会員報酬	8	2,476,095
管理報酬	5	2,476,014
その他の費用		1,280,083
		13,771,131
正味投資損失		(13,771,131)
投資及び外貨に係る正味実現及び未実現利益/（損失）の変動		
投資及び外貨に係る正味実現利益		238,845,135
投資及び外貨に係る未実現損失の変動		(383,483,310)
		(144,638,175)
営業活動から生じた純資産の正味減少額		(158,409,306)

添付の注記は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・ジャパン－サブファンド・グリーン
純資産変動計算書

2022年12月31日に終了した年度
（単位：日本円）

営業活動	
正味投資損失	(13,771,131)
投資及び外貨に係る正味実現利益	238,845,135
投資及び外貨に係る未実現損失の変動	(383,483,310)
	(158,409,306)
資本取引	
ゴールド円クラス受益証券の発行	493,860,024
シルバー円クラス受益証券の発行	161,464,268
円クラス受益証券の発行	141,949,268
ゴールド米ドル・クラス受益証券の発行	75,935,090
米ドル・クラス受益証券の発行	23,831,957
シルバー米ドル・クラス受益証券の発行	324,257,014
ゴールド円クラス受益証券の買戻し	(474,844,264)
円クラス受益証券の買戻し	(52,332,047)
シルバー円クラス受益証券の買戻し	(1,033,000)
ゴールド米ドル・クラス受益証券の買戻し	(13,582,154)
米ドル・クラス受益証券の買戻し	(28,980,529)
	650,525,627
当期純資産増加額	492,116,321
期首純資産残高	2,152,965,182
期末純資産残高	2,645,081,503
期末純資産の内訳：	
ゴールド円クラス	1,271,056,197
ゴールド米ドル・クラス	80,183,485
円クラス	625,993,630
米ドル・クラス	168,681,909
シルバー円クラス	155,248,277
シルバー米ドル・クラス	343,918,005
	2,645,081,503

添付の注記は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・ジャパン－スーパーファンド・グリーンCジャパン
貸借対照表

2022年12月31日現在
（単位：日本円）

	注記	
資産		
マスターファンドへの投資		238,951,236
現金		10,421,288
		249,372,524
負債		
未払金及び未払費用	3,5,7	915,706
		915,706
純資産		248,456,818

	米ドル	円
円クラス受益証券１口当たり純資産：		
発行済2,064,114口に基づく（単位：日本円）	－	65.30
米ドル・クラス受益証券１口当たり純資産：		
発行済1,435,539口に基づく（単位：米ドル）	0.60	94.04

添付の注記並びにスーパーファンド・グリーンSPC及びスーパーファンド・グリーン・マスターの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・ジャパン－スーパーファンド・グリーンCジャパン
損益計算書

2022年12月31日に終了した年度
（単位：日本円）

	注記	
マスターファンドから配分された正味投資損失		
受取利子		2,282,770
費用		(26,536,917)
		(24,254,147)
サブファンドの費用		
代行協会員報酬	7	1,140,919
受託会社報酬	9	1,333,635
事務管理報酬	8	332,280
管理報酬	5	368,355
専門家報酬		634,661
支払利息		54
その他費用		(1,398,046)
		2,411,858
正味投資損失		(26,666,005)
サブファンドの外貨に係る実現及び未実現利益の変動		
外貨に係る正味実現利益		680,783
外貨に係る未実利益の変動		8,398
		689,181
マスターファンドから配分された投資及び外貨に係る正味実現損失及び未実現利益の変動		
投資及び外貨に係る正味実現損失		(73,548,741)
投資及び外貨に係る未実現利益の変動		31,155,915
		(42,392,826)
営業活動から生じた純資産の正味減少額		(68,369,650)

添付の注記並びにスーパーファンド・グリーンSPC及びスーパーファンド・グリーン・マスターの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・ジャパン－スーパーファンド・グリーンCジャパン
純資産変動計算書

2022年12月31日に終了した年度
（単位：日本円）

営業活動	
正味投資損失	**(26,666,005)**
投資及び外貨に係る正味実現損失	**(72,867,958)**
投資及び外貨に係る未実現利益の変動	**31,164,313**
	(68,369,650)
資本取引	
円クラス受益証券の買戻し	**(49,533,719)**
米ドル・クラス受益証券の買戻し	**(12,268,432)**
	(61,802,151)
当期純資産減少額	**(130,171,801)**
期首純資産残高	**378,628,619**
期末純資産残高	**248,456,818**
期末純資産の内訳：	
円クラス	**134,790,697**
米ドル・クラス	**113,666,121**
	248,456,818

添付の注記並びにスーパーファンド・グリーンSPC及びスーパーファンド・グリーン・マスターの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・ジャパン－スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・システマティック・オールウェザー

貸借対照表

2022年12月31日現在
（単位：日本円）

	注記	
資産		
マスターファンドへの投資		388,153,429
現金		15,106,308
外貨建て現金（原価：462,221円）		497,342
その他資産		1,805,334
		405,562,413
負債		
前受申込金		200,000
未払金及び未払費用	3,5,7	1,140,417
マスターファンドへの未払金		2,130,000
		3,470,417
純資産		402,091,996

ゴールド円クラス受益証券１口当たり純資産
発行済3,827,813口に基づく
（単位：日本円） 64.79円

円クラス受益証券１口当たり純資産
発行済4,258,577口に基づく
（単位：日本円） 36.18円

添付の注記並びにスーパーファンドSPCの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・ジャパン－スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・システマティック・オールウェザー

損益計算書

2022年12月31日に終了した年度
（単位：日本円）

	注記	
マスターファンドから配分された正味投資損失		
受取利息		225,482
費用		(13,955,204)
		(13,729,722)
サブファンドの費用		
受託会社報酬	9	1,333,635
販売報酬	7	2,054,248
専門家報酬		1,205,299
事務管理報酬	10	1,046,831
管理報酬	5	455,424
代行協会員報酬	8	315,826
支払利息		80
その他の費用		2,251,674
		8,663,017
正味投資損失		(22,392,739)
サブファンドの外貨に係る実現損失及び未実現利益の変動		
外貨に係る正味実現損失		(417,080)
外貨に係る未実現利益の変動		88,370
		(328,710)
マスターファンドから配分された投資及び外貨に係る正味実現損失及び未実現利益の変動		
投資及び外貨に係る正味実現損失		(92,613,781)
投資及び外貨に係る未実現利益の変動		20,668,108
		(71,945,673)
営業活動から生じた純資産の正味減少額		(94,667,122)

添付の注記並びにスーパーファンドSPCの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・ジャパン－スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・システマティック・オールウェザー

純資産変動計算書

2022年12月31日に終了した年度
（単位：日本円）

営業活動	
正味投資損失	(22,392,739)
投資及び外貨に係る正味実現損失	(93,030,861)
投資及び外貨に係る未実現利益の変動	20,756,478
	(94,667,122)
資本取引	
ゴールド円クラス受益証券の発行	61,230,000
円クラス受益証券の発行	25,870,000
ゴールド円クラス受益証券の買戻し	(12,370,773)
円クラス受益証券の買戻し	(9,379,326)
	65,349,901
当期純資産減少額	(29,317,221)
期首純資産残高	431,409,217
期末純資産残高	402,091,996
期末純資産残高の内訳：	
ゴールド円クラス	248,008,244
円クラス	154,083,752
	402,091,996

添付の注記並びにスーパーファンドSPCの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・ジャパン

財務諸表注記

2022年12月31日現在

（単位：日本円及び米ドル）

１．設立及び主な活動

スーパーファンド・ジャパン（以下、「当信託」という。）は、UBSファンド・サービシズ（ケイマン）リミテッド（以下、「退任受託会社」という。）及びスーパーファンド・ジャパン・トレーディング（ケイマン）リミテッド（以下、「管理会社」という。）の間で締結された信託証書（以下、「信託証書」という。）に従ってケイマン諸島の法律に基づいて設立された。当信託は、信託証書に従ってケイマン諸島の信託法に基づいて2009年６月５日に組織され、2009年６月29日にケイマン諸島のミューチュアル・ファンド法セクション４（１）（ｂ）に基づいて登録された。当信託の旧名称はスーパーファンド・グリーン・ゴールド・ジャパンであった。当信託の名称は2018年１月１日にスーパーファンド・ジャパンへ変更された。退任・指名・変更証書に従い、2015年５月８日付でハーニーズ・フィデューシャリー（ケイマン）リミテッド（以下、「受託会社」という。）が当信託の受託会社に指名された。受託会社の当信託に関する主な営業拠点はケイマン諸島である。

当信託はオープン・エンド型のアンブレラ・ファンドであり、スーパーファンド・ジャパン　サブファンド・グリーン、スーパーファンド・グリーンＣジャパン及びスーパーファンド・ジャパン　サブファンド・システマティック・オールウェザー（以下、それぞれ「サブファンド」、及び総称して「サブファンズ」という。）が設定されている。各サブファンドは独立した資産及び負債のプールとして、他のサブファンドと分別して管理されている。

管理会社は当信託の再編を行うことを希望し、2020年12月18日に受託会社は2021年１月１日からこの再編を実施することを決議した。

スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーンは、その資産のほぼすべてをケイマン諸島の適用免除会社であるスーパーファンド・グリーンSPC及びスーパーファンド・グリーン・ゴールドSPCの分別ポートフォリオＢに投資している。

スーパーファンド・グリーンＣジャパンは、「マスター・フィーダー」構造の一部であり、その資産のほぼすべてをケイマン諸島の適用免除会社であるスーパーファンド・グリーンSPC（以下、「グリーン・マスターファンド」という。）の分別ポートフォリオＣに投資している。

スーパーファンド・グリーン・ゴールドSPCは、「マスター・フィーダー」構造の一部であり、その資産のほぼすべてをケイマン諸島の適用免除会社であるスーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPC（以下、「グリーン・ゴールド・マスターファンド」という。）のスーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスター・分別ポートフォリオに投資している。グリーン・ゴールド・マスターファンドの目的は、テクニカル分析の利用を通じて長期のキャピタル・ゲインを達成することである。グリーン・ゴールド・マスターファンドは、金先物を含む様々な種類の先物契約にその資産を投資しており、金現物にも投資する場合がある。

グリーン・マスターファンド、すなわちスーパーファンド・グリーンSPCは、「マスター・フィーダー」構造の一部であり、その資産のほぼすべてをケイマン諸島の適用免除会社であるスーパーファンド・グリーン・マスター（以下、「グリーン・アンダーライング・マスターファンド」という。）に投資している。グリーン・アンダーライング・マスターファンドの目的は、株式及び証券市場の動きの影響を受けない投資形態として、平均以上の長期的なキャピタル・ゲインを達成するための投資を投資家に提供することである。グリーン・アンダーライング・マスターファンドは、投資機会及び取引戦略を利用する意向で

あるため、対象とする先物投資の特性に関する見解を事前に決めているわけではなく、どのような制約も受けることはない。

2021年７月１日付で、スーパーファンド・シャープパリティは、その名称をスーパーファンド・ジャパン・サブファンド・システマティック・オールウェザーへ変更した。

スーパーファンド・ジャパン　サブファンド・システマティック・オールウェザーは、「マスター・フィーダー」構造の一部であり、その資産のほぼすべてをケイマン諸島の適用免除会社であるスーパーファンドSPC（以下、「システマティック・オールウェザー・マスターファンド」という。）の分別ポートフォリオであるシステマティック・オールウェザー・ファンドに投資している。

システマティック・オールウェザー・マスターファンドの主な目的は、先物及び／又は先渡契約のレバレッジ取引を通じて資産増加を達成することである。システマティック・オールウェザー・ファンド分別ポートフォリオは主にロングオンリーのリスクパリティ戦略を採用し、この目的を追求する。この戦略は、スーパーファンドにより独自開発されたコンピューターによる完全自動化トレーディングシステムにより運用される。さらに他の戦略も限られた重みづけで合わせて使用される可能性がある。また、これらの戦略は、先物及び/又は先渡契約を空売りする可能性がある。

グリーン・マスターファンド及びシステマティック・オールウェザー・マスターファンドを総称して「マスターファンド」という。グリーン・アンダーライング・マスターファンドは「アンダーライング・マスターファンド」という。

管理会社は、代行協会員契約に従って、スーパーファンド・ジャパン株式会社（以下、「販売会社」という。）を当信託の日本における代行協会員に選任している。代行協会員は１口当たり純資産価額を公表し、日本証券業協会（以下、「JSDA」という。）に財務諸表を提出する責任を有している。当信託の年次監査済財務諸表は、日本における開示義務の一環として有価証券報告書及び有価証券届出書に含まれており、関東財務局に提出されている。グリーン・マスターファンド、グリーン・アンダーライング・マスターファンド及びシステマティック・オールウェザー・マスターファンドの財務諸表は本報告書に含まれており、当信託の財務諸表と共に読まれるべきである。

２．重要な会計方針

当財務諸表は、米国会計基準審議会（以下、「FASB」という。）の会計基準編纂書（以下、「ASC」という。）に詳述される米国で一般に公正妥当と認められる会計原則（以下、「GAAP」という。）に従って作成されている。当信託はGAAPにおける投資会社に該当するため、FASB ASC 946「金融サービス－投資会社」に規定される投資会社向けの会計・報告指針に従っている。

当信託が適用した重要な会計方針は以下のとおりである。

（ａ）見積りの使用

GAAPに準拠した財務諸表の作成にあたって、経営陣は、財務諸表日現在の資産及び負債の報告金額並びに偶発資産及び負債の開示、並びに当報告期間中の収益及び費用の報告額に影響を及ぼす見積り及び仮定を行うことが求められている。実際の結果は、それらの見積りとは異なる可能性がある。

（ｂ）ファンドへの投資（公正価値）

投資ファンドへの投資は、その純資産価額（以下、「NAV」という。）で表示されており、投資ファンドの経営陣により報告される。投資ファンドに適用される契約上の買戻し及び流動性に関する条件に基づいて、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーンが保有する投資ファンドにおける持分を売却する際には、当該投資ファンドのNAV報告額のうち該当する金額で、当該投資ファンドと共に取引が行われる。ASU－2015－07により、実務上の簡便法としてNAVを用いて投資対象の公正価値を測定し、これらのすべての投資対象を公正価値の階層に分類するための要件が撤廃された。実務上の簡便法としてNAVを用いて算出された2022年12月31日現在の資産額は、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーンが2,643,192,097円であった。

添付の損益計算書において、投資ファンドへの投資に係る正味実現利益及び未実現利益は、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーンに対して生じた利息、配当、費用、有価証券の取引に係る実現損益及び未実現損益、並びに投資ファンドからの報酬の持分相当額を含めて計上した。評価には不確実性を伴うため、NAVの見積もりは、既存の証券市場が存在した場合に使用されると考えられる価値、又は自己売買により得られる可能性のある価値と異なる場合があり、その差異が大きい可能性がある。

（ｃ）マスターファンドの分別ポートフォリオへの投資

マスターファンドの分別ポートフォリオへの投資は、取引日基準で会計処理されている。投資は当初は原価で測定され、当初認識後は公正価値で測定される。公正価値は、当信託に帰属する純資産（マスターファンドの事務管理会社により報告される。）に基づき決定される。投資に係る実現損益及び未実現損益は、損益計算書に計上される。マスターファンド及びアンダーライング・マスターファンドの投資に関する評価方針は、本報告書に含まれているマスターファンド及びアンダーライング・マスターファンドの財務諸表注記に記載されている。

（ｄ）投資収益及び費用

各サブファンドは、期首現在のマスターファンドの分別ポートフォリオの純資産価額に対する持分割合に基づき、マスターファンドの分別ポートフォリオの収益、費用並びに実現損益及び未実現損益の持分相当額を、週次で損益計算書に計上している。また、各サブファンドの収益及び費用についても発生主義で計上している。

（ｅ）１口当たり純資産価額

１口当たり純資産価額（以下、「１口当たりNAV」という。）は、日本円、米ドル及び金の単位オンスで表示されており、特定のクラスに帰属するサブファンドの純資産価額を、計算時における当該クラスの発行済み受益証券口数で除し、金の単位オンスで表示されている受益証券については、さらに評価日におけるロンドンの金１オンス当たりの午前決め値で除することで計算される。

（ｆ）受取利息及び支払利息

受取利息及び支払利息は発生主義で計上されている。

（g）現金

現金は日本円建て及び外貨建ての要求払いの預金及び利付預金から構成されており、いずれも当初の満期が３ヶ月以内で流動性が高いとみなされている。

（h）外貨

外貨建て又は外貨で会計処理される資産及び負債は、貸借対照表日現在で適用される為替レートで日本円に換算される。外貨建て取引は取引日の為替レートで日本円に換算される。換算によって生じる実現損益及び未実現損益は、損益計算書に含まれる。当信託は投資に係る為替レートの変動により生じる損益と保有有価証券の市場価格の変動により生じる損益を区別していない。このような変動は、投資及び外貨に係る正味実現損益及び未実現損益に含まれる。

（i）法人税等

ケイマン諸島では、収益又は利益に対して課税されることはなく、当信託は、税制優遇措置法第６条に従って、2059年６月５日までの期間における将来の収益又は利益に関するすべての現地における税金を免除する旨の誓約をケイマン諸島の総督より受け取っている。よって、法人税等に関する引当金はこれらの財務諸表に含まれていない。

当信託は、税務調査が実施された場合に、テクニカル・メリットに基づいて容認される可能性が高い（50%超の確率）不特定のタックス・ポジションについてのみ税務便益を認識している。当信託は、すべての主要な税管轄区域におけるすべての税務調査対象年度について分析を行っている。税務調査対象年度とは、各管轄区域の出訴期限法で定義された税務当局による税務調査の対象となりうる年度である。

経営陣は、当信託のタックス・ポジションを分析した結果、未確定のタックス・ポジションに関して、税務費用に係る負債又は税務便益に係る資産を計上する必要はないと判断した。さらに経営陣は、今後12ヶ月の間に未認識の税務便益の合計額が著しく変化する合理的な可能性のあるタックス・ポジションも存在しないと考えている。

（j）収益及び費用の配分

特定のサブファンドに関連付けることが可能な収益及び費用は、純資産価額の算定において、各サブファンドに配分又は費用計上されている。その他の収益及び費用は、サブファンド間で比例配分されるか、あるいは受託会社の判断により配分されている。

（k）ファンドへの投資に関する未収金

未収金は、買戻通知で請求する金額が確定した時点で資産に計上される。一般的に、未払金は、その請求の性質に応じて、対象投資ファンドが当該通知を受領した時点又は会計年度の最終日の時点で発生する場合がある。

（l）マスターファンドからの未収金

マスターファンドからの未収金は、マスターファンドが未払いの買戻金額である。

（m）前受申込金

前受申込金は申込みの通知を受理し、申込金額を受領した時点で計上されている。

（n）公正価値による投資の評価　－　定義及び階層

USGAAPは公正価値の階層を規定しており、公正価値を測定する際に用いられる評価手法への入力データの優先順位を、以下に説明される３つのレベルに分類している。

レベル１：　活発な市場における同一資産又は負債について経営陣が入手可能な未調整の相場価格に基づく評価。レベル１の有価証券に対しては、評価調整及び大量保有による割引価値の利用は適用されない。評価は活発な市場において容易にかつ定期的に入手可能な相場価格に基づいているため、当該レベルに分類される有価証券の評価については重要な判断は必要とされない。

レベル２：　活発でない市場における相場価格、あるいは重要なデータがすべて直接又は間接的に観察可能な価格に基づく評価。

レベル３：　公正価値測定の全体に対して重要であるが観察不能なデータに基づく評価。

マスターファンド及びアンダーライング・マスターファンドが保有する投資の公正価値の階層については、本報告書に含まれているそれぞれの財務諸表の注記に開示されている。

３．金融商品

市場リスク、信用リスク及び流動性リスク

スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン

通常の事業の過程において、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーンは、市場リスク、信用リスク及び流動性リスクを招く可能性のある様々な金融商品を売買しており、そのリスクの金額は、財務諸表からは明白ではない。

市場リスクとは、金利、為替レート又は株式及びコモディティ価格の変動が、投資対象ファンド、結果的にスーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーンが保有しているポジションに影響を及ぼすリスクである。スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーンは、これらのファンドが保有している投資対象を通じて、市場価格で評価されている金融商品に関して市場リスクにさらされている。

信用リスクとは、契約相手が債務不履行に陥るリスクである。信用リスクは、通常、取引所外で金融商品の取引を行う場合に高くなる。これは、取引所外で取引される金融商品の契約相手は、取引所清算機関の履行保証を受けていないためである。

流動性リスクとは、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーンが目的を達成するために行う資金調達において困難が生じるリスクである。流動性リスクは、公正価値に近い金額で投資対象を速やかに売却できなかったことにより生じる場合がある。管理会社は、ファンドへの投資に際して、その株式又は受益証券を合理的な期間内に買い戻すための機会を提供するファンドを選んで投資することを目指すものの、買戻しが請求された際に、常に、その請求どおりに買戻し処理を行うのに十分なほど当該投資ファンドの投資対象が流動的であるとの保証はない。流動性が不足すると、受益証券の流動性及び投資価値に影響を及ぼす場合がある。

スーパーファンド・グリーンCジャパン及びスーパーファンド・ジャパン　サブファンド・システマティック・オールウェザー

スーパーファンド・グリーンCジャパン及びスーパーファンド・ジャパン　サブファンド・システマティック・オールウェザーのマスターファンドへの投資は、これらを通じて間接的に、マスターファンドの投資対象である金融商品及び市場に関連する多様なリスクにさらされている。

スーパーファンド・グリーンCジャパン及びスーパーファンド・ジャパン　サブファンド・システマティック・オールウェザーがさらされている金融リスクの種類は、市場リスク、信用リスク及び流動性リスクである。スーパーファンド・グリーンCジャパン及びスーパーファンド・ジャパン　サブファンド・システマティック・オールウェザーがさらされている金融リスクに関しては、マスターファンドの財務諸表を参照のこと。

マスターファンドが保有する投資に関する詳細（投資を公正価値で測定する際に用いられる市場価格の観察可能性のレベルに関する内訳を含む。）については、本報告書に含まれているマスターファンドの財務諸表の注記２に開示されている。

４．受益証券保有者資本

	口数
スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン	
ゴールド円クラス：	
期首残高	**9,269,983**
期中の発行	**3,285,877**
期中の買戻し	**(2,802,381)**
	9,753,479
スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン	
シルバー円クラス：	
期首残高	**―**
期中の発行	**1,569,439**
	1,569,439
スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン	
円クラス：	
期首残高	**7,793,466**
期中の発行	**1,842,956**
期中の買戻し	**(627,123)**
	9,009,299

	口数
スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン	
ゴールド米ドル・クラス：	
期首残高	**199,421**
期中の発行	**501,424**
期中の買戻し	**(92,408)**
	608,437
スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン	
シルバー米ドル・クラス：	
期首残高	**-**
期中の発行	**2,333,353**
	2,333,353
スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン	
米ドル・クラス：	
期首残高	**1,751,688**
期中の発行	**211,797**
期中の買戻し	**(238,012)**
	1,725,473
スーパーファンド・グリーンCジャパン	
円クラス：	
期首残高	**2,758,361**
期中の買戻し	**(694,247)**
	2,064,114
スーパーファンド・グリーンCジャパン	
米ドル・クラス：	
期首残高	**1,550,687**
期中の買戻し	**(115,148)**
	1,435,539

	口数
スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・システマティック・オールウェザー	
ゴールド円クラス：	
期首残高	**3,207,858**
期中の発行	**792,141**
期中の買戻し	**(172,186)**
	3,827,813

スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・システマティック・オールウェザー	
円クラス：	
期首残高	**3,936,412**
期中の発行	**556,928**
期中の買戻し	**(234,763)**
	4,258,577

各サブファンドには、最低申込単位が設定されている。スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン及びスーパーファンド・ジャパン　サブファンド・システマティック・オールウェザーは、5,000口以上で100口ごとに申込みが可能で、スーパーファンド・グリーンCジャパンは、100,000口以上で100口ごとに申込みが可能である。販売会社は、管理会社と協議のうえ、特定の申込みについてはこれらの条件の全体又は一部を免除することができる。

信託証書に記載されている場合を除き、すべての受益証券は平等であり、ほぼ同等の権利及び条件を有している。

受益証券の申込みには申込手数料が適用される。特定の投資家の申込みに適用される申込手数料は、当該投資家による各シリーズの申込総額（以下、「購入金額」という。）に基づき決定される。各申込みに適用される申込手数料は、購入金額に5.40%（税抜きでは５%）を上限とする料率を乗じた金額である。

受益証券保有者は、通常、当信託の販売会社に書面による事前の通知を提示することにより、毎月最終日付ですべて又は一部の受益証券の買戻しを要求することができる。当該買戻しは、該当月の最終日に決定される受益証券１口当たり純資産価額で行われる。

当初申込みから12ヶ月以内に買戻請求が行われるか、あるいは当信託による強制的な買戻しが行われる場合、管理会社の単独の裁量により、当信託から受益証券保有者に対して、買戻価格の２%の買戻手数料が請求される可能性がある。当該買戻手数料の請求は当信託の利益のために行われる。

管理会社の単独の裁量により認められる場合を除き、受益証券保有者は、いかなる状況においても、買戻後の保有残高が各シリーズにおける最低当初投資額を下回るような一部買戻しを請求することはできない。

５．管理報酬

当信託の投資活動は、共通支配下に置かれている関連当事者である管理会社により管理されている。投資顧問契約に基づいて、管理会社は、各サブファンドの純資産価額の0.1%（年率）相当の月次管理報酬を後払いで受領している。

2022年12月31日現在の未払金及び未払費用に含まれている未払管理報酬は、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーンが226,413円、スーパーファンド・グリーンＣジャパンが21,891円、スーパーファンド・ジャパン　サブファンド・システマティック・オールウェザーが34,962円である。

６．成功報酬

各サブファンドのレベルで支払われる成功報酬はない。マスターファンドが支払う成功報酬については、本報告書に添付されているマスターファンドの財務諸表注記に開示されている。

７．販売会社報酬

関連会社であるスーパーファンド・ジャパン株式会社（「販売会社」）はスーパーファンド・ジャパン　サブファンド・システマティック・オールウェザーの販売会社として、スーパーファンド・ジャパン　サブファンド・システマティック・オールウェザー純資産価額の0.6%（年率）相当の報酬を毎月受領する権利を有している。

2022年12月31日現在、未払金及び未払費用に含まれている未払販売会社報酬は、スーパーファンド・ジャパン　サブファンド・システマティック・オールウェザーの244,775円であり、そのほかのサブファンドについては未払販売会社報酬はない。その他のサブファンドにつきマスターファンドが支払う販売会社報酬については、本報告書に添付されているマスターファンドの財務諸表注記に開示されている。

８．代行協会員報酬

代行協会員は、各サブファンドの純資産価額の0.1%（年率）相当の報酬を受領する権利を有している。

2022年12月31日現在、未払金及び未払費用に含まれている未払代行協会員報酬は、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーンが226,418円、スーパーファンド・グリーンＣジャパンが21,892円、スーパーファンド・ジャパン　サブファンド・システマティック・オールウェザーが34,968円である。

９．受託会社報酬

2015年５月８日付で、ハーニーズ・フィデューシャリー（ケイマン）リミテッド（以下、「受託会社」という。）が、当信託の受託会社となった。

信託証書に規定されたとおり、当信託は、各サブファンドにつき年間8,500米ドルの報酬を受託会社に支払うことに合意している。

2022年12月31日に終了した年度において、サブファンドであるスーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン、スーパーファンド・グリーンＣジャパン及びスーパーファンド・ジャパン　サブファンド・システマティック・オールウェザーに対する未払受託会社報酬はない。

10. 事務管理報酬

2022年４月１日付で、NAVファンド・アドミニストレーション・グループが当信託の事務管理会社に任命された（以下、「当事務管理会社」という。）。事務管理契約に基づいて、当信託はNAVファンド・アドミニストレーション・グループに対し、毎月最終評価日において計算された報酬を後払いで支払っており、その金額はスーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン、スーパーファンド・グリーンＣジャパン及びスーパーファンド・ジャパン　サブファンド・システマティック・オールウェザーそれぞれにつき年間6,900米ドルである。2022年４月１日以前は、エイペックス・ファンド・サービシーズ・エス・エーが当信託の事務管理会社を務めていた。

2022年12月31日現在の未払金及び未払費用に含まれている未払事務管理報酬は、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーンが255,671円、スーパーファンド・グリーンＣジャパンが255,671円、スーパーファンド・ジャパン　サブファンド・システマティック・オールウェザーが157,336円である。

11. 関連当事者間取引

管理会社及び販売会社は、共通支配下に置かれている関連当事者である。管理会社及び販売会社に支払われる報酬は、独立第三者間条件に基づく交渉により設定されたものではない。

当信託は、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーンを通じて、スーパーファンドの投資会社グループの一部である対象ファンドへの投資を実行した。管理会社の取締役であるテニソン・ブリッグス（Tennyson Briggs）及びヨセフ・ホルツァー（Josef Holzer）が、対象ファンドの取締役も務めている。2022年12月31日現在、この対象ファンドが保有するスーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーンの純資産の公正価値は、純資産において99.93%を占める2,643,192,097円である。期中において、その他のスーパーファンドの関連投資会社の売却と外貨建て取引に係る実現利益は、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーンが238,845,135円であった。

12. 公正価値

2022年12月31日現在、経営陣は、各クラスの金融商品の公正価値を見積るために以下の手法及び仮定を使用した。現金、外貨建て現金、ファンドへの投資に関する未収金、マスターファンドからの未収金、その他の資産、未払買戻金、前受申込金並びに未払金及び未払費用を含む当信託の特定の金融商品に関しては、これらの金融商品が直ちに期日を迎える又は短期的な性質のものであるため、帳簿価額は公正価値に近似している。

公正価値の見積りは、市況及び金融商品に関する情報に基づいて、特定の時点に行われる。これらの見積りは本来主観的なものであり、不確定要因及び重要な判断を伴うため、正確に行えるものではない。仮定の変更により、見積りに重要な影響を及ぼす可能性がある。マスターファンド及びアンダーライング・マスターファンドが保有する投資の公正価値測定の分類に関する情報については、マスターファンド及びアンダーライング・マスターファンドの財務諸表を参照のこと。

次へ

スーパーファンド・ジャパン
財務諸表注記（続き）
2022年12月31日現在（単位：日本円及び米ドル）

13. 財務ハイライト

スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン	ゴールド円クラス	円クラス	シルバー円クラス(3)
１株当たりの業績（期中発行済み受益証券１口に関して）（1）	(円)	(円)	(円)
期首受益証券１口当たりの純資産価額	140.71	80.12	100.00
投資活動による収入			
正味投資損失	(0.86)	(0.31)	(0.19)
投資及び外貨に係る正味実現及び未実現損失の変動	(9.53)	(10.33)	(0.26)
投資活動による損失合計	(10.39)	(10.64)	(0.45)
期末受益証券１口当たり純資産価額	130.32	69.48	99.55
総利回り（2）	(7.39)%	(13.28)%	(0.45)%
補足情報：			
平均純資産比率			
営業費用及びその他費用	0.55 %	0.40 %	0.18 %
正味投資損失	(0.55)%	(0.40)%	(0.18)%

（１）期中平均発行済み口数に基づく。
（２）各投資家の利回りは、受益証券の申込み及び買戻しの時期により変動する可能性がある。
（３）シルバー円クラスは2022年９月１日に運用を開始した。上記の比率は年率に換算されていない。

スーパーファンド・ジャパン
財務諸表注記（続き）
2022年12月31日現在（単位：日本円及び米ドル）

13. 財務ハイライト（続き）

スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン（続き）	ゴールド米ドルクラス	米ドルクラス	シルバー米ドルクラス(3)
１株当たりの業績（期中発行済み受益証券に関して）（1）	（米ドル）	（米ドル）	（米ドル）
期首受益証券１口当たり純資産価額	1.29	0.97	1.00
投資活動による収入			
正味投資損失	(0.03)	(0.01)	0.00
投資及び外貨に係る正味実現及び未実現利益／（損失）の変動	(0.25)	(0.21)	0.12
投資活動による利益／（損失）合計	(0.28)	(0.22)	0.12
期末受益証券１口当たり純資産価額	1.01	0.75	1.12
総利回り（2）	(22.08)%	(23.13)%	12.00 %
補足情報：			
平均純資産比率			
営業費用及びその他費用	1.63 %	1.20 %	0.17 %
正味投資損失	(1.63)%	(1.20)%	(0.17)%

（1）期中平均発行済み口数に基づく。
（2）各投資家の利回りは、受益証券の申込み及び買戻しの時期により変動する可能性がある。
（3）シルバー米ドル・クラスは2022年９月１日に運用を開始した。上記の比率は年率に換算されていない。

スーパーファンド・ジャパン
財務諸表注記（続き）
2022年12月31日現在（単位：日本円及び米ドル）

13. 財務ハイライト（続き）

スーパーファンド・グリーンCジャパン	円クラス	米ドルクラス
１株当たりの業績（期中発行済み受益証券１口に関して）（1）	（円）	（米ドル）
期首受益証券１口当たり純資産価額	82.54	0.85
投資活動による収入		
正味投資損失	(6.06)	(0.06)
投資及び外貨に係る正味実現及び未実現損失の変動	(11.17)	(0.19)
投資活動による損失合計	(17.23)	(0.25)
期末受益証券１口当たり純資産価額	65.31	0.60
総利回り（2）	(20.87)%	(28.95)%
補足情報：		
平均純資産比率		
営業費用及びその他費用	7.93 %	8.21 %
正味投資損失	(7.32)%	(7.61)%

（1）期中平均発行済み口数に基づく。
（2）各投資家の利回りは、受益証券の申込み及び買戻しの時期により変動する可能性がある。

スーパーファンド・ジャパン
財務諸表注記（続き）
2022年12月31日現在（単位：日本円及び米ドル）

13. 財務ハイライト（続き）

スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・システマティック・オールウェザー	**ゴールド円クラス**	**円クラス**
１株当たりの業績（期中発行済み受益証券１口に関して）（1）	（円）	（円）
期首受益証券１口当たり純資産価額	76.18	47.51
投資活動による収入		
正味投資損失	(3.67)	(2.05)
投資及び外貨に係る正味実現及び未実現損失の変動	(7.72)	(9.28)
投資活動による損失合計	(11.39)	(11.33)
期末受益証券１口当たり純資産価額	64.79	36.18
総利回り（2）	(14.95)%	(23.85)%
補足情報：		
平均純資産比率		
営業費用及びその他費用	4.94 %	4.99 %
正味投資損失	(4.89)%	(4.94)%

（１）期中平均発行済み口数に基づく。
（２）各投資家の利回りは、受益証券の申込み及び買戻しの時期により変動する可能性がある。

次へ

スーパーファンド・ジャパン
財務諸表注記（続き）
2022年12月31日現在
（単位：日本円及び米ドル）

14. 後発事象

これらの財務諸表を作成するにあたり、経営陣は、当該財務諸表の公表が可能となった2023年６月29日までのすべての重要な後発事象を評価し開示した。

2022年12月31日より後に、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン・ゴールド円クラスに対し37,910,000円、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン円クラスに対し1,500,000円、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン・シルバー円クラスに対し4,000,000円、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン・ゴールド米ドル・クラスに対し3,500米ドル、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・システマティック・オールウェザー・ゴールド円クラスに対し500,000円、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・システマティック・オールウェザー円クラスに対し500,000円の申込みが処理された。

スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン・ゴールド円クラスに対し約33,515,466円、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン円クラスに対し約9,091,059円、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン・シルバー円クラスに対し約691,187円、スーパーファンド・グリーンC円クラスに対し約2,580,291円、スーパーファンド・グリーンC米ドル・クラスに対し約73,517米ドル、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・システマティック・オールウェザー・ゴールド円クラスに対し約11,647,062円、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・システマティック・オールウェザー円クラスに対し約75,474,851円の買戻しが処理された。

次へ

スーパーファンド・グリーン・ゴールドSPC － スーパーファンド・グリーン・ゴールド
分別ポートフォリオ A
貸借対照表

2022年12月31日現在
（単位：米ドル）

	注記	米ドル	千円
資産			
MMFへの投資（原価：2,628,432米ドル）	2(g)	2,628,432	411,980
マスターファンドへの投資	2(c),4	3,434,811	538,372
現金		259,149	40,619
ブローカーに対する債権	3	633,675	99,322
未決済先物契約に係る未実現利益	2(g),4,5	114,358	17,924
その他の資産		2,509	393
		7,072,934	1,108,612
負債			
未払買戻金		47,323	7,417
未払金及び未払費用	7,9,10	42,409	6,647
		89,732	14,065
純資産		6,983,202	1,094,547

	米ドル	円
クラスA参加型株式１株当たり純資産：		
発行済 5,784.66 株に基づく		
（単位：米ドル）	910.35	142,688.26
（単位：オンス（金））	0.50オンス	
クラスA２参加型株式１株当たり純資産：		
発行済 1,920.59 株に基づく		
（単位：米ドル）	894.06	140,134.96
（単位：オンス（金））	0.49オンス	

添付の注記及びスーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPCの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・グリーン・ゴールドSPC － スーパーファンド・グリーン・ゴールド

分別ポートフォリオ A

要約投資明細書

2022年12月31日現在

（単位：米ドル）

銘柄（純資産における%）	数量	原価	公正価値
MMFへの投資（37.64%）			
ブラックロック・インスト・米ドル・リクイディティ・コア（9.41%）	657,107.53	657,108	657,108
ゴールドマンサックス・米ドル・リキッド・リザーブズ・インスト（9.41%）	657,107.53	657,108	657,108
インベスコ・グローバル・米ドル・コーポ1937（9.41%）	657,107.53	657,108	657,108
JPモルガン・リクイディティ・米ドル・リクイディティ・インストU39（9.41%）	657,108.16	657,108	657,108
MMFへの投資合計		米ドル	2,628,432

銘柄（純資産における%）	満期	想定元本	公正価値
先物契約（1.63%）			
金（1.63%）	2023年２月	3,469,780	114,358
先物契約に係る未実現利益		米ドル	114,358

添付の注記及びスーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPCの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・グリーン・ゴールドSPC － スーパーファンド・グリーン・ゴールド
分別ポートフォリオ A
損益計算書

2022年12月31日に終了した年度
（単位：米ドル）

	注記	米ドル	千円
マスターファンドから配分された正味投資損失			
収益		14,639	2,295
費用		(10,667)	(1,672)
		3,972	623
ファンド収益			
受取利息		44,595	6,990
		44,595	6,990
ファンド費用			
管理報酬	7	242,851	38,064
販売会社報酬	9	137,010	21,475
専門家報酬		9,616	1,507
事務管理報酬	10	8,348	1,308
支払利息		12	2
一般管理費		16,145	2,531
		413,982	64,888
正味投資損失		(365,415)	(57,275)
ファンドの投資及び外貨に係る実現損失及び未実現利益の変動			
投資及び外貨に係る正味実現損失		(198,725)	(31,148)
投資及び外貨に係る未実現利益の変動		56,680	8,884
		(142,045)	(22,264)

添付の注記及びスーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPCの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・グリーン・ゴールドSPC － スーパーファンド・グリーン・ゴールド

分別ポートフォリオ A

損益計算書（続き）

2022年12月31日に終了した年度

（単位：米ドル）

	注記	米ドル	千円
マスターファンドから配分された投資及び外貨に係る正味実現損失及び未実現利益の変動			
投資及び外貨に係る正味実現損失		(694,377)	(108,837)
投資及び外貨に係る未実現利益の変動		143,922	22,558
		(550,455)	(86,278)
営業活動から生じた純資産の正味減少額		(1,057,915)	(165,818)

添付の注記及びスーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPCの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・グリーン・ゴールドSPC－スーパーファンド・グリーン・ゴールド
分別ポートフォリオA
純資産変動計算書

2022年12月31日に終了した年度
（単位：米ドル）

	注記	米ドル	千円
営業活動			
正味投資損失		(365,415)	(57,275)
投資及び外貨に係る正味実現損失		(893,102)	(139,985)
投資及び外貨に係る未実現利益の変動		200,602	31,442
		(1,057,915)	(165,818)
資本取引			
参加型株式の買戻しに係る支払い：			
クラスA２（米ドル）		(345,807)	(54,202)
クラスA（米ドル）		(153,567)	(24,070)
		(499,374)	(78,272)
当期純資産減少額		(1,557,289)	(244,089)
期首純資産残高		8,540,491	1,338,637
期末純資産残高		6,983,202	1,094,547

期末純資産の内訳：	米ドル	千円
クラスA（米ドル）株式	5,266,083	825,406
クラスA２（米ドル）株式	1,717,119	269,141
	6,983,202	1,094,547

添付の注記及びスーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPCの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・グリーン・ゴールドSPC－スーパーファンド・グリーン・ゴールド

分別ポートフォリオＢ

貸借対照表

2022年12月31日現在

（単位：米ドル）

	注記	米ドル	千円
資産			
MMFへの投資（原価：1,781,168米ドル）	2(g)	1,781,168	279,180
マスターファンドへの投資	4	8,007,552	1,255,104
現金		272,830	42,763
ブローカーに対する債権	3	748,123	117,261
未決済先物契約に係る未実現利益	2(g),4,5	84,312	13,215
クラスＢジャパン（円）からの未収金		75,910	11,898
その他資産		2,760	433
		10,972,655	1,719,854
資産合計			
負債			
マスターファンドへの未払金		56,933	8,924
未払買戻金	2(l)	17,527	2,747
未払金及び未払費用	7,9,10	48,604	7,618
		123,064	19,289
純資産		10,849,591	1,700,565

	米ドル	円
クラスＢ参加型株式１株当たり純資産：		
発行済 628.65 株に基づく		
（単位：米ドル）	913.93	143,249.39
（単位：オンス（金））	0.50オンス	

	米ドル	円
クラスＢジャパン（米ドル）参加型株式１株当たり純資産：		
発行済 540.79 株に基づく		
（単位：円）	1,127.48	176,721.22
（単位：オンス（金））	0.62オンス	

	米ドル	円
クラスＢジャパン（円）参加型株式１株当たり純資産：		
発行済 963,477.28 株に基づく		
（単位：円）	－	1,315.36
（単位：オンス（金））	0.01オンス	

添付の注記及びスーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPCの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・グリーン・ゴールドSPC－スーパーファンド・グリーン・ゴールド

分別ポートフォリオＢ

要約投資明細書

2022年12月31日現在

（単位：米ドル）

銘柄（純資産における%）	数量	原価	公正価値
MMFへの投資（16.40%）			
ブラックロック・インスト・米ドル・リクイディティ・コア（4.10%）	445,291.88	445,292	445,292
ゴールドマンサックス・米ドル・リキッド・リザーブズ・インスト499（4.10%）	445,291.88	445,292	445,292
インベスコ・グローバル・米ドル・コーポ1937（4.10%）	445,291.88	445,292	445,292
JPモルガン・リクイディティ・米ドル・リクイディティ・インストU39（4.10%）	445,292.33	445,292	445,292
MMFへの投資合計		米ドル	1,781,168

銘柄（純資産における%）	満期	想定元本	公正価値
先物契約（0.78%）			
金（0.78%）	2023年２月	2,739,300	84,312
先物契約に係る未実現利益		米ドル	84,312

添付の注記及びスーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPCの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・グリーン・ゴールドSPC－スーパーファンド・グリーン・ゴールド
分別ポートフォリオＢ
損益計算書

2022年12月31日に終了した年度
（単位：米ドル）

	注記	米ドル	千円
マスターファンドから配分された正味投資損失			
収益		34,849	5,462
費用		(22,695)	(3,557)
		12,154	1,905
ファンド収益			
受取利息		12,427	1,948
		12,427	1,948
ファンド費用			
管理報酬	7	239,445	37,531
販売会社報酬	9	211,634	33,172
成功報酬		162,862	25,527
専門家報酬		12,676	1,987
事務管理報酬	10	7,660	1,201
支払利息		314	49
一般管理費		12,634	1,980
		647,225	101,446
正味投資損失		(622,644)	(97,593)
ファンドの投資及び外貨に係る実現損失及び未実現利益の変動			
投資及び外貨に係る正味実現損失		(281,073)	(44,055)
投資及び外貨に係る未実現利益の変動		44,188	6,926
		(236,885)	(37,129)

添付の注記及びスーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPCの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・グリーン・ゴールドSPC－スーパーファンド・グリーン・ゴールド

分別ポートフォリオＢ

損益計算書（続き）

2022年12月31日に終了した年度

（単位：米ドル）

	注記	米ドル	千円
マスターファンドから配分された投資及び外貨に係る実現損失及び未実現利益の変動			
投資及び外貨に係る正味実現損失		(1,572,696)	(246,504)
投資及び外貨に係る未実現利益の変動		547,562	85,825
		(1,025,134)	(160,680)
営業活動から生じた純資産の正味減少額		(1,884,663)	(295,402)

添付の注記及びスーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPCの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・グリーン・ゴールドSPC－スーパーファンド・グリーン・ゴールド
分別ポートフォリオB
純資産変動計算書

2022年12月31日に終了した年度
（単位：米ドル）

	米ドル	千円
営業活動		
正味投資損失	(622,644)	(97,593)
投資及び外貨に係る正味実現損失	(1,853,769)	(290,560)
投資及び外貨に係る未実現利益の変動	591,750	92,751
	(1,884,663)	(295,402)
資本取引		
参加型株式の発行に係る収入：		
クラスB（米ドル）	329,363	51,624
クラスBジャパン（円）	5,659,116	887,010
クラスBジャパン（米ドル）	707,837	110,946
参加型株式の買戻しに係る支払い：		
クラスB（米ドル）	(26,585)	(4,167)
クラスBジャパン（円）	(5,607,573)	(878,931)
クラスBジャパン（米ドル）	(267,326)	(41,901)
	794,832	124,582
当期純資産減少額	(1,089,831)	(170,820)
期首純資産残高	11,939,422	1,871,385
期末純資産残高	10,849,591	1,700,565

期末純資産の内訳：	米ドル	千円
クラスB（米ドル）株式	574,545	90,054
クラスBジャパン（米ドル）株式	609,728	95,569
クラスBジャパン（円）株式	9,665,318	1,514,942
	10,849,591	1,700,565

添付の注記及びスーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPCの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

財務諸表注記

2022年12月31日（単位：米ドル）

１．設立及び主な活動

スーパーファンド・グリーン・ゴールドSPC（以下、「当社」という。）は、2004年10月８日にケイマン諸島の会社法に基づいて適用免除会社として設立され、2005年９月28日にケイマン諸島のミューチュアル・ファンド法に基づいて登録された。

当社の目的は、テクニカル分析の利用を通じて長期のキャピタル・ゲインを達成することである。当社の資産は一般的な会社資産と分別ポートフォリオ資産に分けることができる。分別ポートフォリオに帰属する資産の内訳は、分別ポートフォリオに帰属する株式資本及び剰余金と分別ポートフォリオに帰属する又は保有されるその他の資産である。一般資産は、分別ポートフォリオ資産ではない当社の資産である。特定の分別ポートフォリオに関する取引において負債が生じ、当該分別ポートフォリオに十分な資産がない場合、一般資産は遡求の対象となるが、その他の分別ポートフォリオの資産が遡求対象となることはない。

当社は複数クラス型ファンドであり、以下の株式の販売を通じて投資家に独立型投資ポートフォリオを提供している。クラスＡ参加型株式（スーパーファンド・グリーン・ゴールド分別ポートフォリオＡの持分）及びクラスＢ参加型株式（スーパーファンド・グリーン・ゴールド分別ポートフォリオＢの持分）、（以下、総称して「当ファンド」という。）。

分別ポートフォリオは「マスター・フィーダー」ファンド構造の一部であり、その資産のほぼすべてをケイマン諸島の適用免除有限会社であるスーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターファンドSPC（以下、「マスターファンド」という。）のスーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスター分別ポートフォリオに投資している。マスターファンドの財務諸表（要約投資明細表を含む。）は、本報告書に含まれており、当社の財務諸表と共に読まれるべきである。

2022年12月31日現在、スーパーファンド・グリーン・ゴールド分別ポートフォリオＡ（以下、「分別ポートフォリオＡ」という。）、スーパーファンド・グリーン・ゴールド分別ポートフォリオＢ（以下、「分別ポートフォリオＢ」という。）は、マスターファンドのそれぞれ18.29%、42.65%を保有している。

２．重要な会計方針

当財務諸表は、米国会計基準審議会（以下、「FASB」という。）の会計基準編纂書（以下、「ASC」という。）に詳述される米国で一般に公正妥当と認められる会計原則（以下、「USGAAP」という。）に従って作成されている。当社はUSGAAPにおける投資会社に該当するため、FASBASC946「金融サービス－投資会社」に規定される投資会社向けの会計・報告指針に従っている。

当社が適用した重要な会計方針は以下のとおりである。

（ａ）見積りの使用

USGAAPに準拠した財務諸表の作成にあたって、経営陣は、財務諸表日現在の資産及び負債の報告金額並びに偶発資産及び負債の開示、並びに当報告期間中の収益及び費用の報告額に影響を及ぼす見積り及び仮定を行うことが求められている。実際の結果は、それらの見積りとは異なる可能性がある。

（ｂ）MMF（マネー・マーケット・ファンド）への投資

マネー・マーケット・ファンドへの投資は取引日基準で会計処理されている。投資は当初原価で測定される。当初認識後の投資は、公正価値で測定される。公正価値は、各マネー・マーケット・ファンドによって報告されている通りにマスターファンドに帰属する純資産として決定される。未実現損益の実現及び変動は損益計算書に含まれている。

（ｃ）マスターファンドへの投資

マスターファンドへの投資は、取引日基準で会計処理されている。投資は当初は原価で測定され、当初認識後は公正価値で測定される。

公正価値は、当ファンドに帰属する純資産（実務的にはマスターファンドの事務管理会社により報告される。）が使用される。投資に係る実現損益及び未実現損益の変動は、損益計算書に計上される。マスターファンドへの投資の評価は、本報告書に含まれるマスターファンドの財務諸表の注記に記載されている。

（ｄ）投資収益及び費用

各分別ポートフォリオは、マスターファンドの純資産価額に対する持分割合に基づき、マスターファンドの収益、費用並びに実現損益及び未実現損益の変動の持分相当額を損益計算書に計上している。また、各分別ポートフォリオの収益及び費用についても発生主義で計上している。

（ｅ）１株当たり純資産価額

１株当たり純資産価額（以下、「１株当たりNAV」という。）は、金の単位オンスで表示されており、特定のクラスに帰属する分別ポートフォリオの純資産価額を、計算時における当該クラスの発行済み株式数で除し、金の単位オンスで表示されている株式については、さらにロンドンの金１オンス当たりの午前決め値で除することで計算される。

（ｆ）先物契約

未決済先物契約は、契約価格と、公表レート又は適切なレートが容易に入手できない場合はブローカーが提供するレートに基づく市場価値との差額として計算された公正価値で計上される。実現損益及び未実現損益の変動は、損益計算書に計上される。

（ｇ）公正価値による投資の評価－定義及び階層

USGAAPは公正価値の階層を規定しており、公正価値を測定する際に用いられる評価手法への入力データの優先順位を、以下に説明される３つのレベルに分類している。

レベル１：　活発な市場における同一資産又は負債について経営陣が入手可能な未調整の相場価格に基づく評価。レベル１の有価証券に対しては、評価調整及び大量保有による割引価値の利用は適用されない。評価は活発な市場において容易にかつ定期的に入手可能な相場価格に基づいているため、当該レベルに分類される有価証券の評価については重要な判断は必要とされない。

レベル２：　活発でない市場における相場価格、あるいは重要なデータがすべて直接又は間接的に観察可能な価格に基づく評価。

レベル３：　公正価値測定の全体に対して重要であるが観察不能なデータに基づく評価。

下表は、上述の公正価値の階層に基づく2022年12月31日現在の当ファンドの投資に係る評価の概要である。

分別ポートフォリオA	合計（米ドル）	レベル１（米ドル）	レベル２（米ドル）
MMFへの投資	2,628,432	2,628,432	－
未決済先物契約に係る未実現利益	114,358	114,358	－
合計	2,742,790	2,742,790	－

分別ポートフォリオB	合計（米ドル）	レベル１（米ドル）	レベル２（米ドル）
MMFへの投資	1,781,168	1,781,168	－
未決済先物契約に係る未実現利益	84,312	84,312	－
合計	1,865,480	1,865,480	－

マスターファンドが保有する投資の公正価値の階層は、マスターファンドの財務諸表の注記２（ｆ）に開示されている。

（ｈ）受取利息

受取利息は発生主義で計上される。

（ｉ）外貨

外貨建て又は外貨で会計処理される資産及び負債は、貸借対照表日現在で適用される為替レートで米ドルに換算される。外貨建て取引は取引日の為替レートで米ドルに換算される。換算によって生じる実現損益及び未実現損益の変動は、損益計算書に計上される。

当ファンドは投資に係る為替レートの変動により生じる損益と保有有価証券の市場価格の変動により生じる損益を区別していない。このような変動は、投資及び外貨に係る正味実現損益及び未実現損益の変動に含まれている。

（ｊ）法人税等

ケイマン諸島では、収益又は利益に対して課税されることはなく、当社は、税制優遇措置法第６条の規定に従って、2024年11月16日までの期間における将来の収益又は利益に関する現地におけるすべての税金を免除する旨の誓約をケイマン諸島の総督から受け取っている。よって、法人税等に関する引当金は当財務諸表に含まれていない。

当ファンドは、税務調査が実施された場合に、テクニカル・メリットに基づいて容認される可能性が高い（50%超の確率）特定のタックス・ポジションについてのみ税務便益を認識している。当ファンドは、すべての主要な税管轄区域におけるすべての税務調査対象年度について分析を行っている。税務調査対象年度とは、各管轄区域の出訴期限法で定義された税務当局による税務調査の対象となりうる年度である。

経営陣は当ファンドのタックス・ポジションを分析した結果、未確定のタックス・ポジションに関する未認識の税務便益について負債を計上する必要はないと判断した。さらに経営陣は、今後12ヶ月の間に未認識の税務便益の合計額が著しく変化する合理的な可能性のあるタックス・ポジションも存在しないと考えている。

（ｋ）収益及び費用の配分

特定の分別ポートフォリオに関連付けることが可能な収益及び費用は、純資産価額の算定において、該当する分別ポートフォリオに対して配分又は費用計上される。その他の収益及び費用は、分別ポートフォリオ間で比例配分されるか、あるいは取締役の判断により配分される。

（ｌ）未払買戻金

当ファンドの保有者の選択により買い戻される株式は、買戻請求を受領し、買戻金額が確定した時点で未払買戻金として分類される。

（ｍ）相殺

金融資産及び負債（未決済先物契約に係る未実現損益を含む。）は、当ファンドが認識された金額を相殺する法的な権利を有しており、当該取引を純額ベース又は同時に決済する意図がある場合は相殺され、純額で貸借対照表に計上される。当期、当ファンドは相殺の要件を満たしていない。

３．ブローカーに対する債権

ブローカーに対する債権には、ＡＤＭインベスター・サービシズ・インクに預けている現金残高（未決済の証券取引に関する未払金控除後）が含まれ、未決済先物契約に関して担保として差し入れられている証拠金が分別ポートフォリオＡに関して131,670米ドル及び分別ポートフォリオＢに関して103,950米ドル含まれている。

４．金融商品

市場リスク、信用リスク及び流動性リスク

通常の事業の過程において、当ファンドは、市場リスク及び信用リスクを招く可能性のある様々な金融商品を売買しており、そのリスクの金額は、財務諸表からは明白ではない。

市場リスクとは、金利、為替レート又は株式及びコモディティ価格の変動が、当ファンドの保有しているポジションに影響を及ぼすリスクである。当ファンドは、直接保有している金融商品の市場リスク、及び、マスターファンドが保有し市場価格で評価されている投資に係る市場リスクにさらされている。

投資戦略の一環として、当ファンドはＭＭＦ及び先物契約を締結している。当ファンドはＭＭＦに投資している。ＭＭＦは、非常に流動的な現金及び自己勘定請求書、コマーシャルペーパー及び預金証書などの高い信用格付けを有する現金同等物にのみ投資する。これらのファンドは主に13ヶ月未満の短期満期で、非常に低いレベルのリスクで高い流動性を提供している債務証券に投資している。

先物契約は組織化された取引所で売買されており、現金又は市場性のある有価証券による証拠金（担保）が要求される。当初証拠金は日次で時価評価される先物契約の価値の変動を反映するために調整される。先物契約保有者にとって契約内容の履行に関する相手先は相殺ポジションを保有する事業体ではなく取引所である。

市場リスクは、金融商品の基礎となる為替レート、指標、コモディティ及び有価証券の価値の潜在的変動により生じる。その他の市場リスクには、契約の価値の変動が、基礎となる通貨、コモディティ又は株式指標の価値の変動と直接相関していない可能性が含まれる。先物契約の取引には、当ファンドの投資収益率が上がるとともに通常の投資リスクを上回る特定のリスクが伴う可能性がある。

先物市場は変動が非常に大きく、需給関係の変動、政府のプログラム及び政策、国内外の政治及び経済事象、並びに金利の変動等の要因による影響を受ける。さらに、通常、先物取引において要求される証拠金比率は低いため、先物商品勘定のレバレッジ率が高くなる傾向がある。

その結果、先物契約における比較的少額の価格変動が契約当事者に多額の損失を発生させる可能性がある。また先物取引の流動性が低い可能性もある。特定の先物取引所は特定の先物契約に関して、１日の取引における価格変動の制限値を越える価格での取引を認めていない。この１日の取引における価格変動の

制限値を超えて価格が変動した場合、当ファンドは不利なポジションを即時に処分することができず、多額の損失を被る可能性がある。

信用リスクとは、契約相手が債務不履行に陥るリスクである。信用リスクは、通常、取引所外で金融商品の取引を行う場合に高くなる。これは、取引所外で取引される金融商品の契約相手は、取引所清算機関の履行保証を受けていないためである。当ファンドのマスターファンドの分別ポートフォリオへの投資は取引所外の取引である。

投資戦略の一環として、マスターファンドはレバレッジを利用している。レバレッジの概念は、マスターファンドの借入費用が、一般的に、保有する投資の収益率を下回るという前提に基づいている。レバレッジの利用により、マスターファンドが投資した株主資本に対する収益率が上がる可能性がある一方で、当該資本の損失リスクも増える。

スーパーファンド・キャピタル・マネジメント・インク（以下、「投資顧問会社」という。）が当社の投資顧問会社を務めている。投資顧問会社は、レバレッジ水準を維持するための内部指針及び制限値を設定している。

当ファンドは、マスターファンドへの投資により、間接的に、マスターファンドの投資対象である金融商品及び市場に関連する多様なリスクにさらされている。

当ファンドがさらされている金融リスクの種類は、市場リスク、信用リスク及び流動性リスクである。当ファンドがさらされている金融リスクに関しては、マスターファンドの財務諸表の注記４を参照のこと。

マスターファンドは、投資運用戦略に基づき、様々なデリバティブ及び非デリバティブ金融商品のポジションを維持している。2022年12月31日現在のマスターファンドの投資ポートフォリオには、先物契約、先渡契約、ＭＭＦ及びその他投資商品が含まれている。

マスターファンドへの投資は、公正価値で計上されており、当該公正価値はマスターファンドに帰属する純資産（マスターファンドの事務管理会社により報告される。）に基づいている。マスターファンドは、マスターファンドの収益、費用、並びに実現及び未実現利益及び損失の持分相当額を計上している。

マスターファンドが保有する投資に関する詳細（投資を公正価値で測定する際に用いられる市場価格の観察可能性のレベルに関する内訳を含む。）については、添付されているマスターファンドの財務諸表注記に開示されている。

５．デリバティブ契約

当ファンドはトレーディング目的で金先物取引を行っているため、当社がさらされている主要なリスク・エクスポージャーは金の価格である。これらのリスクに加えて、デリバティブ契約への投資は、その投資全体又は一部に損失を生じさせる可能性のある別のリスクにもさらされている。

当ファンドはデリバティブ取引を時価評価している。公正価値は市場価格を用いて決定されている。2022年12月31日現在でマスターファンドが保有しているデリバティブ契約の詳細（2022年12月31日に終了した年度におけるこれらのデリバティブ契約に関連する損益を含む。）については、マスターファンドの財務諸表の注記５を参照のこと。

2022年12月31日現在における金先物契約の公正価値は要約投資明細表に含まれている。下表は、2022年12月31日に終了した年度の損益計算書において、投資及び外貨に係る正味実現利益（損失）、並びに投資及び外貨に係る未実現利益（損失）の変動に含まれている、金先物に係る利益及び損失を示したものである。

	資産 デリバティブ	想定元本	未実現 利益／（損失）	実現 利益／（損失）
	米ドル	米ドル	米ドル	米ドル
先物契約				
分別ポートフォリオＡ	114,358	3,469,780	56,680	(198,725)

分別ポートフォリオB	84,312	2,739,300	44,188	(100,026)
	198,670	6,209,080	100,868	(298,751)

2022年12月31日現在の保有デリバティブ商品及びその損益計算書への影響額は、当期中における当社のデリバティブ取引高を示している。

6．株式資本

	米ドル
授権株式：	
1株当たり額面0.01米ドルの発起人株式100株	1
1株当たり額面0.01米ドルの参加型株式4,999,900株	49,999
	50,000

	株式数
発行済み及び全額払込済み：	
発起人株式	**1**
分別ポートフォリオA	
クラスA（米ドル）参加型株式：	
期首残高	**5,914.91**
期中の買戻し	**(130.25)**
期末残高	**5,784.66**
分別ポートフォリオA	
クラスA２（米ドル）参加型株式：	
期首残高	**2,258.28**
期中の買戻し	**(337.69)**
期末残高	**1,920.59**
分別ポートフォリオB	
クラスB（米ドル）参加型株式：	
期首残高	**308.14**
期中の発行	**349.40**
期中の買戻し	**(28.89)**
期末残高	**628.65**
分別ポートフォリオB	
クラスBジャパン（米ドル）参加型株式：	
期首残高	**184.19**
期中の発行	**573.27**
期中の買戻し	**(216.67)**
期末残高	**540.79**
分別ポートフォリオB	
クラスBジャパン（円）参加型株式：	
期首残高	**918,549.78**
期中の発行	**508,655.65**
期中の買戻し	**(463,728.15)**
期末残高	**963,477.28**

発起人株式

発起人株式は、額面価額でのみ発行することが可能で、株主の選択により買戻すことはできない。発起人株式は、１株当たり１票の議決権を有し、当社の解散時には以下に記載されている権利が与えられるが、当社の利益又は資産に関するその他の権利は与えられていない。2022年12月31日現在、当社の発起人株式は、当社の投資顧問会社の株主によって保有されている。

参加型株式

クラスA、クラスA２及びクラスB参加型株式は、それぞれの１株当たり純資産価額で毎週発行される。分別ポートフォリオA及びBには日本円建て株式クラスがあるが、その他の株式クラスはすべて米ド

ル建てである。クラスA及びクラスB参加型株式の申込みは米ドル、日本円、ユーロ又はスイスフランで受け付けられているが、当社は受領した申込金を米ドル又は日本円に転換している（該当する株式クラスの通貨に応じて）。

米ドル建て株式クラスに関して当社が受け付ける最低当初申込金額は、クラスA参加型株式は5,000米ドル、クラスA２参加型株式は20,000米ドル、クラスB参加型株式は50,000米ドルである。日本円建て株式クラスに関して当社が受け付ける最低当初申込金額は、クラスA参加型株式は500,000円及びクラスB参加型株式は5,000,000円である。

取締役は、単独の裁量により、これらの最低当初申込金額を下回る金額で当初申込を受け付けることができる。参加型株式は、毎週水曜日の前営業日、又は毎月最終週の最終営業日、毎月の最終営業日、又は取締役がその時々に決定する日に、該当する分別ポートフォリオの１株当たり純資産価額で買い戻すことができるが、定款で認められている事項に関する場合を除き議決権は与えられていない。参加型株式の株主は、保有株式に対して払い込んだ金額の割合に応じて、配当を受け取る権利を有している。

株式に付随する権利は、分別ポートフォリオの発行済み株式のすべての株主による書面での同意をもって、あるいは該当する分別ポートフォリオの株主総会において４分の３以上の同意により可決した特別決議の承認をもって変更することができる。

当社が解散する際に、分別ポートフォリオ及び一般資産はまず、それぞれ分別ポートフォリオの債権者及び一般債権者の債権の弁済に充当される。一般資産の残高がある場合は、発起人株式の払込済みの額面金額返済に使用され、残りは各分別ポートフォリオの純資産価額に基づき、分別ポートフォリオに割り当てられる。

各分別ポートフォリオの資産は、保有株式数に応じて各分別ポートフォリオの株主に支払われる。分別ポートフォリオに複数クラスの参加型株式が存在する場合、分別ポートフォリオの資産は、関連する純資産価額に基づき各クラスに比例配分された後、保有しているクラスの参加型株式数に応じて株主に支払われる。

2022年12月31日現在、クラスBジャパン（円）参加型株式963,731.1株、クラスB（米ドル）参加型株式161.55株及びクラスBジャパン（米ドル）参加型株式554.08株が関連当事者によって保有されている。

７．管理報酬

当ファンドの投資活動は、共通支配下に置かれている関連当事者である投資顧問会社により管理されている。投資顧問契約の条件に基づいて、投資顧問会社は、クラスA（米ドル）、クラスA２（米ドル）及びクラスB（米ドル）の各参加型株式の純資産価額の３％（年率）の管理報酬を月次で後払いで受領している。クラスAジャパン（円）、クラスBジャパン（円）、クラスBジャパン（米ドル）の各参加型株式については、純資産価額の２％（年率）の管理報酬を月次で後払いで受領している。

2022年12月31日現在、未払金及び未払費用に含まれている未払管理報酬は、分別ポートフォリオAに関しては17,826米ドル、分別ポートフォリオBに関しては18,797米ドルである。

８．成功報酬

投資顧問会社はまた、それぞれの株式クラスに関して年度末で有効な投資顧問契約の定義に基づき、各株式クラスの１株当たり純資産価額が過去の最高水準を上回った部分について、クラスA（米ドル）、クラスA２（米ドル）及びクラスA（円）は増加分の20%、クラスAジャパン（円）は増加分の15%、クラスB（米ドル）及びクラスB（円）は増加分の25%、クラスBジャパン（米ドル）及びクラスBジャパン（円）は20%を成功報酬として受け取る権利を有している。成功報酬は、分別ポートフォリオに関するその他のすべての報酬及び費用を控除後の純資産価額に基づいて計算され、月次で支払われる。

2022年12月31日現在、分別ポートフォリオA及びBに関する未払成功報酬はない。

９．販売会社報酬

共通支配下に置かれている関連当事者であるスーパーファンド・ディストリビューション・アンド・インベストメント・インク（以下、「販売会社」という。）は、当社株式の販売会社として業務を行っており、各分別ポートフォリオの参加型株式の純資産価額の1.8%（年率）相当の販売会社報酬を月次で後払いで受け取る権利を有している。

2022年12月31日現在、未払金及び未払費用に含まれている未払販売会社報酬は、分別ポートフォリオＡに関しては10,700米ドル、分別ポートフォリオＢに関しては16,486米ドルである。

販売会社は、取締役の判断により、各申込に関して７％を上限とした申込手数料を受け取る権利を有している。

2022年12月31日現在、分別ポートフォリオＡ及びＢに関する未払申込手数料はない。

10. 事務管理報酬

2022年４月１日付で、NAVファンド・アドミニストレーション・グループが当信託の事務管理会社に任命された（以下、「当事務管理会社」という。）。事務管理契約に基づいて、当信託は当事務管理会社に対し、分別ポートフォリオ毎に毎月650米ドルを事務管理報酬として支払っている。

2022年４月１日以前は、当信託はエイペックス・ファンド・サービシーズ・エス・エー（以下、「当事務管理会社」という。）に対し毎月最終評価日において計算された報酬を後払いで支払っており、金額は分別ポートフォリオＡが月間841米ドル、分別ポートフォリオＢが月間630米ドルであった。

2022年12月31日現在の未払金及び未払費用に含まれている未払事務管理報酬は、分別ポートフォリオＡにつき1,975米ドル、分別ポートフォリオＢにつき1,975米ドルである。

11. 株式買戻手数料

当初申込から12ヶ月以内にクラスＡ又はクラスＢ参加型株式の買戻しが行われるか、あるいは取締役による強制的な買戻しが行われる場合、取締役の判断により、買戻価格の２％の買戻手数料が請求され、投資顧問会社に支払われる可能性がある。

クラスＡ２参加型株式の買戻しが行われるか、あるいは取締役による強制的な買戻しが行われる場合、取締役の判断により、以下のとおり買戻価格に対する買戻手数料が請求され、投資顧問会社に支払われる。

・当初申込から12ヶ月以内に買戻しが行われる場合、５％の買戻手数料
・当初申込から24ヶ月以内に買戻しが行われる場合、４％の買戻手数料
・当初申込から36ヶ月以内に買戻しが行われる場合、３％の買戻手数料
・当初申込から48ヶ月以内に買戻しが行われる場合、２％の買戻手数料
・当初申込から60ヶ月以内に買戻しが行われる場合、１％の買戻手数料
・当初申込から60ヶ月を超えて買戻しが行われる場合、買戻手数料なし

2022年12月31日現在、未払買戻手数料は分別ポートフォリオＡが０米ドル、分別ポートフォリオＢが０米ドルである。

12. 関連当事者間取引

投資顧問会社及び販売会社は共通の支配下にある関連当事者である。投資顧問会社及び販売会社に対する未払報酬は、独立した第三者間の交渉により設定されたものではない。投資顧問会社に対して支払われる成功報酬は、かかる契約がない場合に比べてリスクが高い、又はより投機的な投資を行う誘因となる可能性がある。

13. 公正価値

2022年12月31日現在、経営陣は、各クラスの金融商品の公正価値を見積るために以下の手法及び仮定を使用した。現金、未払金及び未払費用、並びに未払買戻金を含む当ファンドの特定の金融商品に関して

は、これらの金融商品が直ちに決済される又は短期的な性質のものであるため、帳簿価額は公正価値に近似している。

ＭＭＦへの投資は、相場価格又はディーラー相場に基づく時価で計上されるため、帳簿価額は公正価値に近似している。

先物契約の未決済残高は、市場価格又はディーラーによる提示価格に基づいて市場価値で計上されているため、帳簿価額は公正価値に近似している。

公正価値の見積りは、市況及び金融商品に関する情報に基づいて、特定の時点に行われる。これらの見積りは本来主観的なものであり、不確定要因及び重要な判断を伴うため、正確に行えるものではない。仮定の変更により、見積りに重要な影響を及ぼす可能性がある。マスターファンドが保有する投資の公正価値測定の分類に関する情報については、マスターファンドの財務諸表注記を参照のこと。

次へ

14. 財務ハイライト

分別ポートフォリオA

		クラスA	クラスA２
１株当たりの業績（期中発行済参加型株式に関して）	**（1）**	（米ドル）	（米ドル）
期首の参加型株式１株当たり純資産価額		1,050.13	1,031.34
投資活動による収入			
正味投資損失		(46.30)	(45.94)
投資及び外貨に係る正味実現及び未実現損失		(93.48)	(91.34)
投資取引による損失合計		(139.78)	(137.28)
期末の参加型株式１株当たり純資産価額		910.35	894.06
総利回り	**（2）**	(13.31)%	(13.31)%
補足情報：			
平均純資産比率			
営業及びその他費用		(5.25)%	(5.24)%
正味投資損失		(4.51)%	(4.53)%

（１）期中の参加型株式の平均発行済み株式数に基づく。

（２）各投資家の利回りは、株式の申込及び買戻の時期により異なる可能性がある。

分別ポートフォリオB

１株当たりの業績（期中発行済参加型株式に関して）（1）	クラスB （米ドル）	クラスBジャパン （米ドル）	クラスBジャパン （円）
期首の参加型株式１株当たり純資産価額	1,121.93	1,387.85	1,420.42
投資活動による収入			
正味投資損失	(51.22)	(58.79)	(84.61)
投資及び外貨に係る正味実現及び未実現損失	(156.78)	(201.58)	(20.45)
投資取引による損失合計	(208.00)	(260.37)	(105.06)
期末の参加型株式１株当たり純資産価額	913.93	1,127.48	1,315.36
成功報酬前総利回り	(18.54)%	(17.91)%	(5.74)%
成功報酬	0.00 %	(0.85)%	(1.65)%
総利回り（2）	(18.54)%	(18.76)%	(7.40)%
補足情報：			
平均純資産比率			
営業費用及びその他の費用	(5.31)%	(4.29)%	(4.28)%
成功報酬	0.00 %	(0.93)%	(1.46)%
費用合計	(5.31)%	(5.22)%	(5.74)%
正味投資損失（成功報酬を除く）	(4.82)%	(3.70)%	(3.89)%

（１）期中の参加型株式の平均発行済み株式数に基づく。

（２）各投資家の利回りは、株式の申込及び買戻の時期により異なる可能性がある。

次へ

15. 後発事象

これらの財務諸表を作成するにあたり、経営陣は、当該財務諸表の公表が可能となった2023年６月27日までのすべての重要な後発事象を評価し開示した。

2022年12月31日より後、分別ポートフォリオＡに対して約51,177米ドル、分別ポートフォリオＢに対し約127,443米ドルの買戻が処理された。

次へ

スーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPC －
スーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスター分別ポートフォリオ
貸借対照表

2022年12月31日現在
（単位：米ドル）

	注記	米ドル	千円
資産			
MMFへの投資（原価：9,122,297)米ドル）	2(f)	9,122,297	1,429,829
ファンドへの投資（原価：339,912米ドル）	2(c),4	185,062	29,007
現金		658,408	103,199
ブローカーに対する債権	3	7,520,920	1,178,829
未決済先物契約に係る未実現利益	2(f),4,5	1,866,765	292,597
未決済先渡契約に係る未実現利益	2(f),4,5	138,006	21,631
スーパーファンド・グリーン・ゴールド分別ポートフォリオBからの未収金		56,933	8,924
その他の資産		10,457	1,639
		19,558,848	3,065,654
負債			
ブローカーに対する債務	3	240,003	37,618
未決済先物契約に係る未実現損失	2(f),4,5	386,519	60,583
未決済先渡契約に係る未実現損失	2(f),4,5	138,633	21,729
未払買戻金		36,222	5,677
未払金及び未払費用	8	17,538	2,749
		818,915	128,357
純資産		18,739,933	2,937,297

	米ドル	円
参加型株式１株当たり純資産：発行済6,864.33株に基づく	2,730.05	427,908.04

添付の財務諸表注記参照。

スーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPC －

スーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスター分別ポートフォリオ

要約投資明細書

2022年12月31日現在

（単位：米ドル）

銘柄（純資産における%）	数量	原価	公正価値
MMFへの投資（48.68%）			
ブラックロック・インスト・米ドル・リクイディティ・コア（12.17%）	2,280,574.05	2,280,574	2,280,574
ゴールドマンサックス・米ドル・リキッド・リザーブズ・インスト（12.17%）	2,280,574.05	2,280,574	2,280,574
インベスコ・グローバル・米ドル・コーポ1937（12.17%）	2,280,574.05	2,280,574	2,280,574
JPモルガン・リクイディティ・米ドル・リクイディティ・インストU39（12.17%）	2,280,574.57	2,280,575	2,280,575
MMFへの投資合計		米ドル	9,122,297

銘柄（純資産における%）	数量	原価	公正価値
ファンドへの投資（0.99%）			
スーパーファンド・グリーン・ゴールド・エスピー・クリプト・ファンド － クラス D・米ドル（0.99%）	414.65	339,912	185,062
ファンドへの投資合計		米ドル	185,062

銘柄（純資産における%）	満期	想定元本	公正価値
先物契約（9.96%）			
債券先物（3.21%）	2023年３月	65,710,781	601,497
コモディティ（0.86%）	2023年２月～４月	7,906,928	160,798
通貨（0.17%）	2023年３月	3,924,751	31,571
インデックス（1.31%）	2023年１～３月	12,825,666	246,427
食品／繊維／木材／ゴム（0.20%）	2023年３月	3,217,575	37,548
金（3.24%）	2023年２～10月	19,234,179	606,651
金属（0.29%）	2023年３～10月	1,309,036	54,478
エネルギー（0.68%）	2023年１～４月	5,062,267	127,795
先物契約に係る未実現利益		米ドル	1,866,765

添付の財務諸表注記参照。

スーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPC －
スーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスター分別ポートフォリオ
要約投資明細書（続き）

2022年12月31日現在
（単位：米ドル）

銘柄（純資産における%）	満期	想定元本	公正価値
先物契約（－2.06%）			
債券先物（－0.58%）	2023年３月	10,362,331	(108,838)
コモディティ（－0.48%）	2023年２～３月	4,047,762	(90,061)
通貨（－0.24%）	2023年３月	5,434,645	(44,893)
インデックス（－0.33%）	2023年１～３月	8,480,521	(62,455)
食品／繊維／木材／ゴム（－0.12%）	2023年３～５月	462,786	(23,052)
金属（－0.18%）	2023年３～10月	1,014,633	(33,438)
エネルギー（－0.13%）	2023年１～12月	1,262,160	(23,782)
先物契約に係る未実現損失		米ドル	(386,519)

銘柄（純資産における%）	満期	想定元本	公正価値
先渡契約（0.74%）			
外国為替（0.74%）	2023年３月	11,107,076	138,006
先渡契約に係る未実現利益		米ドル	138,006

銘柄（純資産における%）	満期	想定元本	公債価値
先渡契約（－0.74%）			
外国為替（－0.74%）	2023年３月	7,383,739	(138,633)
先渡契約に係る未実現損失		米ドル	(138,633)

添付の財務諸表注記参照。

スーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPC －
スーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスター分別ポートフォリオ
損益計算書

2022年12月31日に終了した年度
（単位：米ドル）

	注記	米ドル	千円
収益			
受取利息		82,368	12,910
		82,368	12,910
費用			
事務管理報酬	8	21,683	3,399
専門家報酬		15,743	2,468
支払利息		2,498	392
その他の費用		16,346	2,562
		56,270	8,820
正味投資収益		26,098	4,091
投資及び外貨に係る正味実現損失及び未実現利益の変動			
投資及び外貨に係る正味実現損失		(3,901,346)	(611,497)
投資及び外貨に係る未実現利益の変動		866,848	135,870
		(3,034,498)	(475,627)
営業活動から生じた純資産の正味減少額		(3,008,400)	(471,537)

添付の財務諸表注記参照。

スーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPC －
スーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスター分別ポートフォリオ
純資産変動計算書

2022年12月31日に終了した年度
（単位：米ドル）

	注記	米ドル	千円
営業活動			
正味投資収益		26,098	4,091
投資及び外貨に係る正味実現損失		(3,901,346)	(611,497)
投資及び外貨に係る未実現利益の変動		866,848	135,870
		(3,008,400)	(471,537)
資本取引			
参加型株式の発行		6,570,442	1,029,851
参加型株式の買戻し		(6,619,560)	(1,037,550)
		(49,118)	(7,699)
当期純資産減少額		(3,057,518)	(479,235)
期首純資産残高		21,797,451	3,416,532
期末純資産残高		18,739,933	2,937,297

添付の財務諸表注記参照。

財務諸表注記

2022年12月31日現在（単位：米ドル）

１．設立及び主な活動

スーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPC（以下、「マスターファンド」という。）は、2004年９月６日にケイマン諸島の会社法に基づいて適用免除会社として設立され、2013年６月12日にケイマン諸島のミューチュアル・ファンド法に基づいて登録された。

マスターファンドの目的は、テクニカル分析の利用を通じて長期のキャピタル・ゲインを達成することである。マスターファンドはその資産を金先物を含む様々な種類の先物契約に投資し、また金現物にも投資することができる。

マスターファンドの資産は一般資産と分別ポートフォリオ資産に分けることができる。分別ポートフォリオに帰属する資産の内訳は、分別ポートフォリオに帰属する株式資本及び剰余金と分別ポートフォリオに帰属する又は保有されるその他の資産である。一般資産は、分別ポートフォリオ資産ではないマスターファンドの資産である。特定の分別ポートフォリオに関する取引において負債が生じ、当該分別ポートフォリオに十分な資産がない場合、一般資産は遡求の対象となるが、その他の分別ポートフォリオの資産が遡求対象となることはない。2022年12月31日現在、マスターファンドは一般資産を保有していない。

2022年12月31日現在、マスターファンドが保有している分別ポートフォリオは、2006年に設立されたスーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスター分別ポートフォリオの１種類である。マスターファンドは、その資産を金先物を含む様々な先物に投資し、また金現物にも投資することができる。マスターファンドの株式は、「マスター・フィーダー」構造の一部として、スーパーファンド・グリーン・ゴールドSPC（以下、「フィーダー・ファンド」という。）に販売されている。フィーダー・ファンドは、複数クラス型ファンドであり、以下の株式の販売を通じて投資家に独立型投資ポートフォリオを提供している。クラスＡ参加型株式（スーパーファンド・グリーン・ゴールド分別ポートフォリオＡの持分）及びクラスＢ参加型株式（スーパーファンド・グリーン・ゴールド分別ポートフォリオＢの持分）。2022年12月31日現在、スーパーファンド・グリーン・ゴールド分別ポートフォリオＡとスーパーファンド・グリーン・ゴールド分別ポートフォリオＢは、マスターファンドのそれぞれ18.29%と42.65%を保有していた。

２．重要な会計方針

当財務諸表は、米国会計基準会（以下、「FASB」という。）の会計基準編纂書（以下、「ASC」という。）に詳述される米国で一般に公正妥当と認められる会計原則（以下、「US GAAP」という。）に従って作成されている。マスターファンドはUS GAAPにおける投資会社に該当するため、FASB ASC 946「金融サービス－投資会社」に規定される投資会社向けの会計・報告指針に従っている。

マスターファンドが適用した重要な会計方針は以下の通りである。

（ａ）見積りの使用

US GAAPに準拠した財務諸表の作成にあたって、経営陣は、財務諸表日現在の資産及び負債の報告金額並びに偶発資産及び負債の開示、並びに報告年度中の収益及び費用の報告額に影響を及ぼす見積り及び仮定を行うことが求められている。実際の結果は、それらの見積りとは異なる可能性がある。

（ｂ）ＭＭＦへの投資

ＭＭＦへの投資は取引日基準で会計処理されている。投資は当初原価で測定される。当初認識後の投資は、公正価値で測定される。公正価値は、それぞれのマネーマーケットファンドによって報告されるマスターファンドに帰属する純資産として決定される。実現および未実現利益と損失の変動は、損益計算書に含まれている。

（ｃ）公正価値によるファンドへの投資

投資ファンドへの投資は、投資ファンドの経営陣によって報告された純資産価額（「NAV」）で表示される。投資ファンドの運用契約の償還および流動性の条件に従って、マスターファンドの投資ファンドに対する持分の売却は、当該投資ファンドの報告されたNAVで取引される。ASU-2015-07では、実務上便宜的にNAVを用いて公正価値を測定しているすべての投資について、公正価値ヒエラルキーに分類する要件が削除された。2022年12月31日時点で、実務上便宜的にNAVを用いて測定された資産の金額は、185,062米ドルだった。

（ｄ）先物契約

未決済先物契約は、契約価格と、公表レート又は適切なレートが容易に入手できない場合はブローカーが提供するレートに基づく市場価値との差額として計算された公正価値で計上される。実現損益及び未実現損益の変動は、損益計算書に計上される。

（ｅ）先渡契約

未決済先渡契約は、契約価格と、該当する公表フォワード・レートとの差額として計算された市場価値にて計上される。実現損益と未実現損益の変動額は損益計算書に計上される。

（ｆ）公正価値による投資の評価　－　定義及び階層

USGAAPは公正価値の階層を規定しており、公正価値を測定する際に用いられる評価手法への入力データの優先順位を、以下に説明される３つのレベルに分類している。

レベル１：　活発な市場における同一資産又は負債について経営陣が入手可能な未調整の相場価格に基づく評価。レベル１の有価証券に対しては、評価調整及び大量保有による割引価値の利用は適用されない。評価は活発な市場において容易にかつ定期的に入手可能な相場価格に基づいているため、当該レベルに分類される有価証券の評価については重要な判断は必要とされない。

レベル２：　活発でない市場における相場価格、あるいは重要なデータがすべて直接又は間接的に観察可能な価格に基づく評価。

レベル３：　公正価値測定の全体に対して重要であるが観察不能なデータに基づく評価。

下表は、上述の公正価値の階層に基づく2022年12月31日現在のマスターファンドの投資に係る評価の要約である。

資産	合計	レベル１	レベル２
	（米ドル）	（米ドル）	（米ドル）
ＭＭＦへの投資	9,122,297	9,122,297	－
未決済先物契約に係る未実現利益	1,866,765	1,866,765	－
未決済先渡契約に係る未実現利益	138,006	－	138,006
合計	11,127,068	10,989,062	138,006

負債	合計	レベル１	レベル２
	（米ドル）	（米ドル）	（米ドル）
未決済先物契約に係る未実現損失	(386,519)	(386,519)	－
未決済先渡契約に係る未実現損失	(138,633)	－	(138,633)
合計	(525,152)	(386,519)	(138,633)

（ｇ）受取利息及び支払利息

受取利息及び支払利息は発生主義で計上される。

（ｈ）外貨

外貨建て又は外貨で会計処理される資産及び負債は、貸借対照表日現在で適用される為替レートで米ドルに換算される。外貨建て取引は取引日の為替レートで米ドルに換算される。換算によって生じる実現損益及び未実現損益の変動は、損益計算書に計上される。

マスターファンドは投資及び現金に係る為替レートの変動により生じる損益と、保有有価証券の市場価格の変動により生じる損益を区別していない。このような変動は、損益計算書の投資及び外貨に係る正味実現利益（損失）及び未実現利益（損失）の変動に含まれる。

（ｉ）法人税等

ケイマン諸島では、収益又は利益に対して課税されることはなく、マスターファンドは、税制優遇措置法第６条の規定に従って、2024年10月26日までの期間における将来の収益又は利益に関するすべての現地における税金を免除する旨の誓約をケイマン諸島の総督から受け取っている。よって、法人税等に関する引当金は当財務諸表に含まれていない。

マスターファンドは、税務調査が実施された場合に、テクニカル・メリットに基づいて容認される可能性が高い（50%超の確率）特定のタックス・ポジションについてのみ税務便益を認識している。マスターファンドは、すべての主要な税管轄区域におけるすべての税務調査対象年度について分析を行っている。税務調査対象年度とは、各管轄区域の出訴期限法で定義された税務当局による税務調査の対象となりうる年度である。

経営陣はマスターファンドのタックス・ポジションを分析した結果、未確定のタックス・ポジションに関する未認識の税務便益について負債を計上する必要はないと判断した。さらに経営陣は、今後12ヶ月の間に未認識の税務便益の合計額が著しく変化する合理的な可能性のあるタックス・ポジションも存在しないと考えている。

（ｊ）収益及び費用の配分

特定の分別ポートフォリオに関連付けることが可能な収益及び費用は、純資産価額の算定において、各分別ポートフォリオに配分又は費用計上される。その他の収益及び費用は、分別ポートフォリオ間で比例配分されるか、あるいは取締役の判断により配分される。

（ｋ）相殺

金融資産及び負債（未決済先物契約に係る未実現損益を含む。）は、マスターファンドが認識された金額を相殺する法的な権利を有しており、当該取引を純額ベース又は同時に決済する意図がある場合は相殺され、純額で貸借対照表に計上される。当期、マスターファンドは相殺の要件を満たしていない。

（ｌ）未払買戻金

保有者又はマスターファンドの選択により償還された参加株式は、償還要求が受領され、償還額が決定された時点で未払買戻金として分類される。

３．ブローカーに対する債権及び債務

ブローカーに対する債権及び債務には、ＡＤＭインベスター・サービシズ・インク及びＩＮＴＬ・ＦＣストーン・ファイナンシャル・インクに預けている現金残高が含まれ、未決済先物契約及び先渡契約に関して担保として差し入れられている証拠金5,391,066米ドルが含まれる。2022年12月31日現在、ブローカーに対する債権・債務には、未決済取引に関する未収金及び未払金は含まれていない。

４．金融商品

市場リスク、信用リスク及び流動性リスク

通常の事業の過程において、マスターファンドは、市場リスク、信用リスク及び流動性リスクを招く可能性のある様々な金融商品を売買しており、そのリスクの金額は、財務諸表からは明白ではない。

市場リスクとは、金利、為替レート又は株式及びコモディティ価格の変動が、マスターファンドの保有しているポジションに影響を及ぼすリスクである。マスターファンドは、市場価格で評価されている金融商品に関する市場リスクにさらされている。

投資戦略の一環として、マスターファンドは先物契約を締結している。先物契約は組織化された取引所で売買されており、現金又は市場性のある有価証券による証拠金（担保）が要求される。証拠金は日次で時価評価される先物契約の価値の変動を反映するために調整される。先物契約保有者にとって契約内容の履行に関する相手先は相殺ポジションを保有する事業体ではなく取引所である。

マスターファンドは先渡契約を締結している。先渡契約の場合、契約期間終了時まで様々な契約相手先について未実現評価益に係る信用リスク（但し担保分を除いた額）を内包する。マスターファンドは、先渡契約については、取引を信用に値する契約相手先に限定することにより信用リスクの軽減を図っている。

マスターファンドは、マネーマーケットファンドに投資する。ＭＭＦは、財務省証券、コマーシャルペーパー、預金証書などの高い信用格付けを備えた流動性の高い現金および現金同等物にのみ投資する。マネーマーケットミューチュアルファンドとも呼ばれるこれらのファンドは、主に13か月未満の短期満期でかつ、非常に低いレベルのリスクで高い流動性を提供する債券ベースの証券に投資する。

マスターファンドは、他の投資ファンドに投資している。2022年12月31日現在、マスターファンドの唯一のファンド投資は、スーパーファンド・グリーン・ゴールド・セグリゲイテッド・ポートフォリオ・クリプト・ファンド（「SF Crypto Fund」）である。SF Crypto Fundの投資目的は、主要な流動性のある「暗号通貨」の取引所取引先物契約を体系的に取引することで、大きなプラスのリターンを達成することである。従って、マスターファンドのSF Crypto Fundのポジションの価値は、暗号通貨価格の変動に影響

を受ける。暗号通貨はデジタル資産の一種である。デジタル資産は投機的な投資であり、高いリスクを伴う。デジタル資産は比較的新しい技術であり、規制が緩く、通貨交換のための中央市場がない。

市場リスクは、金融商品の基礎となる為替レート、指標、コモディティ及び有価証券の価値の潜在的変動により生じる。その他の市場リスクには、契約の価値の変動が、基礎となる通貨、コモディティ又は株式指標の価値の変動と直接相関していない可能性が含まれる。先物契約の取引には、マスターファンドの投資収益率が上がるとともに通常の投資リスクを上回る特定のリスクが伴う可能性がある。

信用リスクとは、契約相手が債務不履行に陥るリスクである。信用リスクは、通常、取引所外で金融商品の取引を行う場合に高くなる。これは、取引所外で取引される金融商品の契約相手は、取引所清算機関の履行保証を受けていないためである。マスターファンドは信用リスクの影響を最小限に抑えるために多数のブローカーを利用している。経営陣はブローカーの信用格付け及び取引結果をレビューし、マスターファンドの信用リスクの集中について問題はないと考えている。

先物市場は変動が非常に大きく、需給関係の変動、政府のプログラム及び政策、国内外の政治及び経済事象、並びに金利の変動等の要因による影響を受ける。さらに、通常、先物取引において要求される証拠金比率は低いため、先物商品勘定のレバレッジ率が高くなる傾向がある。

その結果、先物契約における比較的少額の価格変動がマスターファンドに多額の損失を発生させる可能性がある。また先物取引の流動性が低い可能性もある。特定の先物取引所は特定の先物契約に関して、１日の取引における価格変動の制限値を越える価格での取引を認めていない。この１日の取引における価格変動の制限値を超えて価格が変動した場合、マスターファンドは不利なポジションを即時に処分することができず、多額の損失を被る可能性がある。

投資戦略の一環として、マスターファンドはレバレッジを利用している。レバレッジの概念は、マスターファンドの借入費用が、一般的に、保有する投資の収益率を下回るという前提に基づいている。レバレッジの利用により、マスターファンドに投資された株主資本に対する収益率が上がる可能性がある一方で、当該株主資本の損失リスクも増える。

スーパーファンド・キャピタル・マネジメント・インク（以下、「投資顧問会社」という。）が、マスターファンドの投資顧問会社を務めている。投資顧問会社は、レバレッジ水準を維持するための内部指針及び制限値を設定している。

５．デリバティブ契約

マスターファンドは様々な先物契約及び先渡契約をトレーディング目的で行っており、これらの金融商品は主に金利、為替レート、株価及びコモディティ価格に関するリスクにさらされている。これらのリスクに加えて、デリバティブ契約への投資は、その投資全体又は一部に損失を生じさせる可能性のある別のリスクにもさらされている。

マスターファンドはデリバティブ取引を時価評価している。公正価値は市場価格を用いて決定されている。2022年12月31日現在でマスターファンドが保有しているデリバティブの公正価値は、貸借対照表に個別項目として記載されている。

下表は、2022年12月31日現在におけるデリバティブ契約の公正価値を、資産及び負債価値並びに契約種類ごとに分けて示したものである。当該金額は、貸借対照表の未決済先物契約及び未決済先渡契約に係る未実現損益に含まれている。また下表は、デリバティブに関する実現損益及び未実現損益を契約種類ごとに示しており、当該金額は損益計算書の投資及び外貨に係る正味実現損益並びに投資及び外貨に係る未実現損益の変動に含まれている。

また下表は、2022年12月31日現在の未決済契約の想定元本も契約種類ごとに示している。

デリバティブ資産	想定元本	デリバティブ負債	想定元本	未実現利益／（損失）	実現利益／（損失）

	米ドル	米ドル	米ドル	米ドル	米ドル	米ドル
先物契約						
債券先物	601,497	65,710,781	(108,838)	10,362,331	898,042	(961,526)
コモディティ	160,798	7,906,928	(90,061)	4,047,762	(131,159)	(1,996,005)
通貨	31,571	3,924,751	(44,893)	5,434,645	(118,889)	751,766
インデックス	246,427	12,825,666	(62,455)	8,480,521	47,624	(3,462,012)
食品／繊維／木材／ゴム	37,548	3,217,575	(23,052)	462,786	6,716	261,717
金	606,651	19,234,179	―	―	268,391	(855,242)
金属	54,478	1,309,036	(33,438)	1,014,633	92,894	138,207
エネルギー	127,795	5,062,267	(23,782)	1,262,160	(78,722)	2,239,719
合計	**1,866,765**	**119,191,183**	**(386,519)**	**31,064,838**	**984,897**	**(3,883,375)**

	デリバティブ資産	想定元本	デリバティブ負債	想定元本	未実現利益	実現利益
	米ドル	米ドル	米ドル	米ドル	米ドル	米ドル
先渡契約						
外国為替	138,006	11,107,076	(138,633)	7,383,739	47,394	420,099
合計	**138,006**	**11,107,076**	**(138,633)**	**7,383,739**	**47,394**	**420,099**

2022年12月31日現在の保有デリバティブ商品及びその損益計算書への影響額は、当期中におけるマスターファンドのデリバティブ取引高を示している。

６．株式資本

授権株式：

１株当たり額面0.01米ドルの参加型株式5,000,000株	**50,000米ドル**

	株式数
参加型株式：	
期首残高	**6,644.88**
期中の発行	**2,159.45**
期中の買戻し	**(1,940.00)**
期末残高	**6,864.33**

参加型株式

参加型株式には議決権が与えられており、各歴月の最初の営業日又は取締役会の定める日に、各分別ポートフォリオの１株当たり純資産価額で買戻すことができる。参加型株式の株主は、保有株式に対して払い込んだ金額の割合に応じて、宣言され支払われる配当を受け取る権利を有している。

株式に付随する権利は、分別ポートフォリオの発行済み株式のすべての株主による書面での同意をもって、あるいは分別ポートフォリオの株主総会において４分の３以上の同意により可決した特別決議の承認をもって変更することができる。

マスターファンドが解散する際、分別ポートフォリオ及び一般資産は、それぞれ分別ポートフォリオ債権者及び一般債権者の債権に対して支払われる。一般資産の残高がある場合は、各分別ポートフォリオの純資産価額に基づき、分別ポートフォリオに割り当てられる。各分別ポートフォリオの資産は、保有株式数に応じて各分別ポートフォリオの株主に支払われる。分別ポートフォリオに複数クラスの参加型株式が存在する場合、分別ポートフォリオの資産は、関連する純資産価額に基づき各クラスに比例配分された後、保有しているクラスの参加型株式数に応じて株主に支払われる。

７．公正価値

2022年12月31日現在、経営陣は、各クラスの金融商品の公正価値を見積るために以下の手法及び仮定を使用した。現金並びに未払金及び未払費用を含むマスターファンドの一部の金融商品に関しては、これらの金融商品が直ちに換金可能又は短期的な性質のものであるため、帳簿価額は公正価値に近似している。

ＭＭＦへの投資は、市場価格又はディーラーによる提示価格に基づいて市場価値で計上されているため、帳簿価額は公正価値に近似している。

先物契約の未決済残高は、市場価格又はディーラーによる提示価格に基づいて市場価値で計上されているため、帳簿価額は公正価値に近似している。

未決済先渡契約への投資は、デリバティブ契約締結日の公正価値にて初めて認識される。先渡契約の公正価値の変動から増価又は減価が生じたときは、直接損益計算書に反映される。当初計測の後は先渡契約は公正価値にて計測される。

ファンドへの投資は、アンダーライング・ファン及び／又はその事務管理会社から提示された価額が、実務上便宜的に公正価値として計上されている。

公正価値の見積りは、市況及び金融商品に関する情報に基づいて、特定の時点に行われる。これらの見積りは本来主観的なものであり、不確定要因及び重要な判断を伴うため、正確に行えるものではない。仮定の変更により、見積りに重要な影響を及ぼす可能性がある。

８．事務管理報酬

2022年４月１日付で、NAVファンド・アドミニストレーション・グループが当信託の事務管理会社に任命された（以下、「当事務管理会社」という。）。事務管理契約に基づいて、当信託は当事務管理会社に対し、事務管理報酬を支払っている。金額は、マスターファンドの純資産価額の総額が０米ドルから5,000万米ドルの間の場合は年率0.042%（毎月4.2ベーシスポイントの12分の１）、マスターファンドの純資産価額の総額が5,000万米ドルから１億米ドルの間の場合は年率2.45ベーシスポイント、マスターファンドの純資産価額の総額が１億米ドル超の場合は年率0.7ベーシスポイントで、最低事務管理報酬は月額1,375米ドルである。

2022年４月１日以前は、事務管理契約に基づいて、マスターファンドはエイペックス・ファンド・サービシーズ・エス・エーに対し、マスターファンドの純資産価額の総額が０米ドルから5,000万米ドルの間の場合は年率0.06%、マスターファンドの純資産価額の総額が5,000万米ドルから１億米ドルの間の場合は年率0.035%、マスターファンドの純資産価額の総額が１億米ドル超の場合は年率0.01%の事務管理報酬を毎週後払いで支払っており、最低事務管理報酬は31,530米ドルであった。

2022年12月31日現在の未払金及び未払費用に含まれている未払事務管理報酬は、2,875米ドルである。

９．財務ハイライト

	米ドル
１株当たりの業績（期中発行済み参加型株式に関して）（1）：	
期首の参加型株式１株当たり純資産価額	3,280.34
投資活動による収入：	
正味投資収入	3.99
投資及び外貨に係る正味実現損失及び未実利益の変動	(554.24)
投資活動による損失合計	(550.25)
期末の１株当たり純資産価額	2,730.09
総利回り（2）	(16.77)%
補足情報：	
平均純資産比率	
費用	(0.26)%
正味投資損失	0.12 %

（１）期中平均発行済み株式数に基づく。

（２）各投資家の利回りは、株式の申込み及び買戻しの時期により異なる可能性がある。

10. 関連当事者間取引

2022年12月31日現在、関連当事者によって保有されているマスターファンド参加型株式は2,686.28株であった。

マスターファンドは、投資会社のスーパーファンド・グループに属するスーパーファンド・グリーン・ゴールド・セグリゲイテッド・ポートフォリオ・クリプト・ファンド（「SF Crypto Fund」）に投資していた。マスターファンドの投資顧問は、SF Crypto Fundの投資顧問も兼ねている。2022年12月31日現在、SF Crypto Fundへの投資の公正価値は185,062米ドルであり、マスターファンドの純資産の0.99%に相当する。当期中にSF Crypto Fundの25,000米ドルの購入と257,000米ドルの売却が行われ、52,352米ドルの実現損失が発生した。

11. 後発事象

これらの財務諸表を作成するにあたり、経営陣は、当該財務諸表の公表が可能となった2023年６月27日までのすべての重要な後発事象を評価し開示した。

次へ

スーパーファンド・グリーンSPC－スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオA

貸借対照表

2022年12月31日現在

（単位：米ドル）

	注記	米ドル	千円
資産			
MMFへの投資（原価：42,148米ドル）	2(l)	42,148	6,606
スーパーファンド・グリーン・マスターへの投資	13	158,970	24,917
現金	3	119,904	18,794
その他資産		4,437	695
		325,459	51,012
負債			
未払金及び未払費用	7,9,10	7,386	1,158
		7,386	1,158
純資産	米ドル	318,073	49,855

	米ドル	円
クラスA（米ドル）株式１株当たり純資産：発行済45,325.66株に基づく	7.02	1,100.31

添付の注記及びスーパーファンド・グリーン・マスターの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・グリーンSPC－スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオA
要約投資明細書

2022年12月31日現在
（単位：米ドル）

銘柄（純資産における%）	数量	原価	公正価値
MMFへの投資（13.24%）			
ブラックロック・インスト・米ドル・リクイディティ・コア（3.31%）	10,536.74	10,537	10,537
ゴールドマンサックス・米ドル・リキッド・リザーブズ・インスト（3.31%）	10,536.74	10,537	10,537
インベスコ・グローバル・米ドル・コーポ1937（3.31%）	10,536.74	10,537	10,537
JPモルガン・リクイディティ・米ドル・リクイディティ Lvnav－インスト D（3.31%）	10,536.43	10,537	10,537
MMFへの投資合計		米ドル	42,148

添付の注記及びスーパーファンド・グリーン・マスターの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・グリーンSPC－スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオA

損益計算書

2022年12月31日に終了した年度

（単位：米ドル）

	注記	米ドル	千円
スーパーファンド・グリーン・マスターから配分された正味投資損失			
受取利息		1,576	247
費用		(719)	(113)
		857	134
サブファンドの収益			
その他の収益		4,497	705
		4,497	705
サブファンド費用			
管理報酬	7	15,855	2,485
販売会社報酬	9	9,517	1,492
事務管理報酬	10	7,522	1,179
専門家報酬		4,747	744
一般管理費		6,048	948
		43,689	6,848
正味投資損失		(38,335)	(6,009)
スーパーファンド・グリーン・マスターから配分された投資及び外貨に係る正味実現及び未実現損失の変動			
投資及び外貨に係る正味実現損失		(30,896)	(4,843)
投資及び外貨に係る未実現利益の変動		6,731	1,055
		(24,165)	(3,788)
営業活動から生じた純資産の正味減少額		(62,500)	(9,796)

添付の注記及びスーパーファンド・グリーン・マスターの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・グリーンSPC－スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオA
純資産変動計算書

2022年12月31日に終了した年度
（単位：米ドル）

	米ドル	千円
営業活動		
正味投資損失	(38,335)	(6,009)
投資及び外貨に係る正味実現損失	(30,896)	(4,843)
投資及び外貨に係る未実現利益の変動	6,731	1,055
	(62,500)	(9,796)
資本取引		
クラスA（米ドル）参加株式の買戻し	(209,936)	(32,905)
	(209,936)	(32,905)
当期純資産減少額	(272,436)	(42,702)
期首純資産残高	590,509	92,556
期末純資産残高	318,073	49,855
期末純資産残高の内訳：		
クラスA（米ドル）株式	318,073	49,855
	318,073	49,855

添付の注記及びスーパーファンド・グリーン・マスターの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・グリーンSPC－スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオB
貸借対照表

2022年12月31日現在
（単位：米ドル）

	注記	米ドル	千円
資産			
MMFへの投資（原価：1,067,600米ドル）	2(l)	1,067,600	167,336
スーパーファンド・グリーン・マスターへの投資	13	7,420,964	1,163,162
ブローカーへの債権	4	870,731	136,478
未決済先物契約に係る未実現利益	2(l),5 13	316,080	49,542
マスターファンド及び他のファンドからの未収買戻金		22,204	3,480
その他資産		4,855	761
現金	3	612,217	95,959
		10,314,651	1,616,718
負債			
未払買戻金		63,941	10,022
未払金及び未払費用	7,9,10	56,602	8,872
		120,543	18,894
純資産		10,194,108	1,597,824

	米ドル	円
クラスB（米ドル）株式1株当たり純資産：発行済 26,443.13 株に基づく	8.39	1,315.05
クラスジャパン（円）株式1株当たり純資産：発行済 655,418.42 株に基づく	—	952.25
クラスジャパン（米ドル）株式1株当たり純資産：発行済 168,020.69 株に基づく	7.63	1,195.93
クラスシルバー（米ドル）株式1株当たり純資産：発行済 235,733.95 株に基づく	11.20	1,755.49
クラスシルバー（円）株式1株当たり純資産：発行済 105,414.19 株に基づく	11.20	1,755.49
	ユーロ	円
クラスB（ユーロ）株式1株当たり純資産：発行済 11,519.76 株に基づく	8.83	1,499.16

添付の注記及びスーパーファンド・グリーン・マスターの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・グリーンSPC－スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオB
要約投資明細書

2022年12月31日現在
（単位：米ドル）

銘柄（純資産における%）	数量	原価	公正価値
MMFへの投資（10.48%）			
ブラックロック・米ドル・コア・リクイディティ（2.62%）	266,899.62	266,900	266,900
ゴールドマンサックス・米ドル・リキッド・リザーブズ・インスト（2.62%）	266,899.62	266,900	266,900
インベスコ・グローバル・米ドル・コーポ1937（2.62%）	266,899.62	266,900	266,900
JPモルガン・リクイディティ・米ドル・リクイディティLvnav－インスト D（2.62%）	266,900.00	266,900	266,900
MMFへの投資合計		米ドル	1,067,600

銘柄（純資産における%）	満期	想定元本	公正価値
先物契約（3.10%）			
金属（3.10%）	2023年３月	2,884,800	316,080
先物契約に係る未実現利益		米ドル	316,080

添付の注記及びスーパーファンド・グリーン・マスターの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・グリーンSPC－スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオB
損益計算書

2022年12月31日に終了した年度
（単位：米ドル）

	注記	米ドル	千円
スーパーファンド・グリーン・マスターから配分された正味投資損失			
受取利息		47,802	7,492
費用		(13,726)	(2,151)
		34,076	5,341
サブファンドの収益			
その他の収益		17,738	2,780
		17,738	2,780
サブファンド費用			
管理報酬	7	163,721	25,662
成功報酬	8	174,786	27,396
販売会社報酬	9	146,082	22,897
事務管理報酬	10	8,163	1,279
専門家報酬		16,685	2,615
一般管理費		18,697	2,931
		528,134	82,780
正味投資損失		(476,320)	(74,658)
サブファンドの外貨に係る利益			
外貨に係る正味実現利益		332,785	52,161
外貨に係る未実現利益の変動		316,080	49,542
		648,865	101,703
スーパーファンド・グリーン・マスターから配分された投資及び外貨に係る正味実現損失及び未実現利益の変動			
投資及び外貨に係る正味実現損失		(2,179,535)	(341,620)
投資及び外貨に係る未実現利益の変動		678,784	106,393
		(1,500,751)	(235,228)
営業活動から生じた純資産の正味減少額		(1,328,206)	(208,183)

添付の注記及びスーパーファンド・グリーン・マスターの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・グリーンSPC－スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオB
純資産変動計算書

2022年12月31日に終了した年度
（単位：米ドル）

	米ドル	千円
営業活動		
正味投資損失	(476,320)	(74,658)
投資及び外貨に係る正味実現損失	(1,846,750)	(289,460)
投資及び外貨に係る未実現利益の変動	994,864	155,935
	(1,328,206)	(208,183)
資本取引		
クラスB（米ドル）参加型株式の発行による収入	187,874	29,447
クラスジャパン（円）参加型株式の発行による収入	2,007,766	314,697
クラスジャパン（米ドル）参加型株式の発行による収入	2,136,496	334,874
クラスシルバー（米ドル）参加型株式の発行による収入	3,042,818	476,931
クラスシルバー（円）参加型株式の発行による収入	1,157,033	181,353
クラスB（ユーロ）参加型株式の発行による収入	114,864	18,004
クラスB（米ドル）参加型株式の買戻し	(8,117)	(1,272)
クラスジャパン（円）参加型株式の買戻し	(3,073,038)	(481,668)
クラスジャパン（米ドル）参加型株式の買戻し	(472,009)	(73,983)
クラスシルバー（米ドル）参加型株式の買戻し	(668,747)	(104,819)
クラスシルバー（円）参加型株式の買戻し	(87,995)	(13,792)
	4,336,945	679,773
当期純資産増加額	3,008,739	471,590
期首純資産残高	7,185,369	1,126,235
期末純資産残高	10,194,108	1,597,824
期末純資産残高の内訳：		
クラスB（米ドル）株式	221,902	34,781
クラスジャパン（円）株式	4,760,158	746,107
クラスジャパン（米ドル）株式	1,282,685	201,048
クラスシルバー（米ドル）株式	2,639,984	413,791
クラスシルバー（円）株式	1,180,533	185,037
クラスB（ユーロ）株式	108,846	17,061
	10,194,108	1,597,824

添付の注記及びスーパーファンド・グリーン・マスターの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・グリーンSPC－スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオC

貸借対照表

2022年12月31日現在

（単位：米ドル）

	注記	米ドル	千円
資産			
スーパーファンド・グリーン・マスターへの投資	13	3,530,257	553,332
現金	3	74,057	11,608
マスターファンドからの未収買戻金		28,333	4,441
その他資産		4,666	731
		3,637,313	570,112
負債			
未払買戻金		1,452	228
未払金及び未払費用	7,9,10	25,259	3,959
		26,711	4,187
純資産		3,610,602	565,926

	米ドル	円
クラスC（米ドル）株式１株当たり純資産：		
発行済 241,749.68 株に基づく	6.70	1,050.16
	－	円
クラスCジャパン（円）１株当たり純資産：		
発行済 132,938.04 株に基づく		972.04
	米ドル	円
クラスC（米ドル）株式１株当たり純資産：		
発行済 121,598.56 株に基づく	6.87	1,076.80
	ユーロ	円
クラスC（ユーロ）株式１株当たり純資産：		
発行済 23,904.42 株に基づく	6.60	1,120.55

添付の注記及びスーパーファンド・グリーン・マスターの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・グリーンSPC－スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオC
損益計算書

2022年12月31日に終了した年度
（単位：米ドル）

	注記	米ドル	千円
スーパーファンド・グリーン・マスターから配分された正味投資損失			
受取利息		31,227	4,895
費用		(15,232)	(2,387)
		15,995	2,507
サブファンド費用			
管理報酬	7	125,728	19,707
成功報酬	8	82,143	12,875
販売会社報酬	9	92,057	14,429
専門家報酬		9,392	1,472
事務管理報酬	10	8,065	1,264
支払利息		36	6
一般管理費		12,194	1,911
		329,615	51,664
正味投資損失		(313,620)	(49,157)
サブファンドの外貨に係る利益			
外貨に係る正味実現利益		5,682	891
		5,682	891
スーパーファンド・グリーン・マスターから配分された投資及び外貨に係る正味実現損失及び未実現利益の変動			
投資及び外貨に係る正味実現損失		(1,061,214)	(166,335)
投資及び外貨に係る未実現利益の変動		86,842	13,612
		(974,372)	(152,723)
営業活動から生じた純資産の正味減少額		(1,282,310)	(200,989)

添付の注記及びスーパーファンド・グリーン・マスターの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・グリーンSPC－スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオC
純資産変動計算書

2022年12月31日に終了した年度
（単位：米ドル）

	米ドル	千円
営業活動		
正味投資損失	(313,620)	(49,157)
投資及び外貨に係る正味実現損失	(1,055,532)	(165,444)
投資及び外貨に係る未実現利益の変動	86,842	13,612
	(1,282,310)	(200,989)
資本取引		
クラスCジャパン（円）参加型株式の発行	50,956	7,987
クラスC（ユーロ）参加型株式の発行	32,484	5,092
クラスCジャパン（米ドル）参加型株式の発行	1,361,503	213,402
クラスCジャパン（円）参加型株式の買戻し	(1,824,942)	(286,041)
クラスC（ユーロ）参加型株式の買戻し	(103,214)	(16,178)
クラスCジャパン（米ドル）参加型株式の買戻し	(145,787)	(22,851)
クラスC（米ドル）参加型株式の買戻し	(262,015)	(41,068)
	(891,015)	(139,658)
当期純資産減少額	(2,173,325)	(340,647)
期首純資産残高	5,783,927	906,573
期末純資産残高	3,610,602	565,926
期末純資産残高の内訳：		
クラスC（米ドル）株式	1,620,757	254,037
クラスCジャパン（円）株式	985,573	154,479
クラスCジャパン（米ドル）株式	835,457	130,950
クラスC（ユーロ）株式	168,815	26,460
	3,610,602	565,926

添付の注記及びスーパーファンド・グリーン・マスターの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

財務諸表注記

2022年12月31日現在（単位：米ドル）

１．設立及び主な活動

スーパーファンド・グリーンSPC（以下、「当社」という。）は、2003年３月24日にケイマン諸島の会社法に基づいて適用免除会社として設立され、2003年４月１日にケイマン諸島のミューチュアル・ファンド法に基づいて登録された。

当社は分別ポートフォリオ会社として設立され、以下の株式の販売を通じて投資家に独立型投資ポートフォリオを提供している。クラスＡ参加型株式（スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオＡの持分）、クラスＢ参加型株式（スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオＢの持分）、クラスＣ参加型株式（スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオＣの持分）（以下、総称して「サブファンド」という。）。

当社は、「マスター・フィーダー」構造の一部であり、その資産のほぼすべてをケイマン諸島の適用免除会社であるスーパーファンド・グリーン・マスター（以下、「マスターファンド」という。）のクラスＢ、クラスＣ及びクラスＥマスター株式に投資している。マスターファンドの財務諸表（要約投資明細表を含む）は、本報告書に含まれており、当社の財務諸表と共に読まれるべきである。2022年12月31日現在、当社はクラスＢマスター株式の100%、クラスＣマスター株式の2.01%、及びクラスＥマスター株式の100%を保有している。

当社の目的は、投資家に対して、資本及び有価証券市場の発展とは関係なく、平均以上の長期的キャピタル・ゲインを達成しうる投資を提供することである。

当社の資産は一般的な会社資産と分別ポートフォリオ資産に分けることができる。分別ポートフォリオに帰属する資産の内訳は、分別ポートフォリオに帰属する株式資本及び剰余金と分別ポートフォリオに帰属する又は保有されるその他の資産である。一般資産は、分別ポートフォリオ資産ではない当社の資産である。特定の分別ポートフォリオに関する取引において負債が生じ、当該分別ポートフォリオに十分な資産がない場合、一般資産は遡求の対象となるが、その他の分別ポートフォリオの資産が遡求対象となることはない。2022年12月31日現在の一般資産残高は、発起人株式（注記４を参照）の発行時に受領した現金１米ドルだけであり、今日までに一般資産に帰属する収益又は費用が発生していないため、貸借対照表、損益計算書及び純資産変動計算書において一般資産は個別に表示されていない。

２．重要な会計方針

当財務諸表は、米国会計基準審議会（以下、「FASB」という。）の会計基準編纂書（以下、「ASC」という。）に詳述される米国で一般に公正妥当と認められる会計原則（以下、「US GAAP」という。）に従って作成されている。当社はUS GAAPにおける投資会社に該当するため、FASB ASC 946「金融サービス－投資会社」に規定される投資会社向けの会計・報告指針に従っている。

当社が適用した重要な会計方針は以下のとおりである。

（ａ）見積りの使用

US GAAPに準拠した財務諸表の作成にあたって、経営陣は、財務諸表日現在の資産及び負債の報告金額並びに偶発資産及び負債の開示、並びに報告年度中の収益及び費用の報告額に影響を及ぼす見積り及び仮定を行うことが求められている。実際の結果は、それらの見積りとは異なる可能性がある。

（ｂ）マスターファンドへの投資

マスターファンドへの投資は、取引日基準で会計処理されている。投資は当初は原価で測定される。当初認識後は、投資は公正価値で測定される。公正価値は、当社に帰属する純資産（実務的な手段として、マスターファンドの事務管理会社により報告される。）に基づき決定される。投資に係る実現損益及び未実現損益は、損益計算書に計上される。マスターファンドの投資の評価については、本報告書に含まれるマスターファンドの財務諸表の注記に記載されている。

（ｃ）ＭＭＦへの投資

ＭＭＦへの投資は取引日基準で会計処理されている。投資は当初原価で測定される。当初認識後の投資は、公正価値で測定される。公正価値は、それぞれのマネーマーケットファンドによって報告される当社に帰属する純資産として決定される。実現および未実現利益と損失の変動は、損益計算書に含まれている。

（ｄ）先物契約

未決済先物契約は、契約価格と、公表レート又は適切なレートが容易に入手できない場合はブローカーが提供するレートに基づく市場価値との差額として計算された公正価値で計上される。実現損益及び未実現損益の変動は、損益計算書に計上される。

（ｅ）投資収益及び費用

各分別ポートフォリオは、マスターファンドの純資産価額に対する持分割合に基づき、マスターファンドの収益、費用並びに実現損益及び未実現損益変動の持分相当額を、損益計算書に計上している。また、各分別ポートフォリオの収益及び費用についても発生主義で計上している。

（ｆ）受取利息

受取利息は発生主義で計上される。

（ｇ）外貨

外貨建て又は外貨で会計処理される資産及び負債は、貸借対照表日現在で適用される為替レートで米ドルに換算される。外貨建て取引は取引日の為替レートで米ドルに換算される。換算によって生じる実現損益及び未実現損益の変動は、損益計算書に計上される。

当社は投資に係る為替レートの変動により生じる損益と保有有価証券の市場価格の変動により生じる損益を区別していない。このような変動は、投資及び外貨に係る正味実現損益及び未実現損益の変動に含まれる。

（ｈ）法人税等

ケイマン諸島では、収益又は利益に対して課税されることはなく、当社は、税制優遇措置法第６条の規定に従って、2023年４月１日までの期間における将来の収益又は利益に関する現地におけるすべての税金を免除する旨の誓約をケイマン諸島の総督から受け取っている。よって、法人税等に関する引当金は当財務諸表に含まれていない。

当社は、税務調査が実施された場合に、テクニカル・メリットに基づいて容認される可能性が高い（50%超の確率）未確定のタックス・ポジションについてのみ税務便益を認識している。当社は、すべての主要な税管轄区域におけるすべての税務調査対象年度について分析を行っている。税務調査対象年度とは、各管轄区域の出訴期限法で定義された税務当局による税務調査の対象となりうる年度である。

経営陣は当社のタックス・ポジションを分析した結果、未確定のタックス・ポジションに関して税金費用についての負債又は税務便益に対する資産を計上する必要はないと判断した。さらに経営陣は、今

後12ヶ月の間に未認識の税務便益の合計額が著しく変化する合理的な可能性のあるタックス・ポジションも存在しないと考えている。

（ｉ）収益及び費用の配分

特定の分別ポートフォリオに関連付けることが可能な収益及び費用は、純資産価額の算定において、該当する分別ポートフォリオに対して配分又は費用計上される。その他の収益及び費用は、分別ポートフォリオ間で比例配分されるか、あるいは取締役会の判断により配分される。

（ｊ）相殺

金融資産及び負債（未決済先物契約に係る未実現損益を含む。）は、当社が認識された金額を相殺する法的な権利を有しており、当該取引を純額ベース又は同時に決済する意図がある場合は相殺され、純額で貸借対照表に計上される。当期、当社は相殺の要件を満たしていない。

（ｋ）未払買戻金

保有者又は当社の選択により買い戻される参加型株式は、買戻請求を受領し、買戻金額が確定した時点で未払買戻金として分類される。

（ｌ）公正価値による投資の評価　－　定義及び階層

USGAAPは公正価値の階層を規定しており、公正価値を測定する際に用いられる評価手法への入力データの優先順位を、以下に説明される３つのレベルに分類している。

レベル１：　活発な市場における同一資産又は負債について経営陣が入手可能な未調整の相場価格に基づく評価。レベル１の有価証券に対しては、評価調整及び大量保有による割引価値の利用は適用されない。評価は活発な市場において容易にかつ定期的に入手可能な相場価格に基づいているため、当該レベルに分類される有価証券の評価については重要な判断は必要とされない。

レベル２：　活発でない市場における相場価格、あるいは重要なデータがすべて直接又は間接的に観察可能な価格に基づく評価。

レベル３：　公正価値測定の全体に対して重要であるが観察不能なデータに基づく評価。

下表は、上述の公正価値の階層に基づく2022年12月31日現在のマスターファンドの投資に係る評価の概要である。

分別ポートフォリオA	合計	レベル１	レベル２
	（米ドル）	（米ドル）	（米ドル）
MMFへの投資	42,148	42,148	－
合計	42,148	42,148	－

分別ポートフォリオB	合計	レベル１	レベル２
	（米ドル）	（米ドル）	（米ドル）
MMFへの投資	1,067,600	1,067,600	－
未決済先物契約に係る未実現利益	316,080	316,080	
合計	1,383,680	1,383,680	－

マスターファンドによって保有される投資に関する公正価値の階層については、マスターファンドの財務諸表の注記２（ｆ）に開示されている。

３．現金

現金には、要求払いの預金が含まれる。

４．ブローカーに対する債権

ブローカーに対する債権には、ＡＤＭインベスター・サービシズ・インクに預けている現金残高が含まれている。スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオＢのブローカーに対する債権には、未決済先物契約に関して担保として差し入れられている証拠金224,400米ドルが含まれる

５．デリバティブ契約

スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオＢは、様々な先物契約及び先渡契約をトレーディング目的で行っており、これらの金融商品は主に金利、為替レート、株価及びコモディティ価格に関するリスクにさらされている。これらのリスクに加えて、デリバティブ契約への投資は、その投資全体又は一部に損失を生じさせる可能性のある別のリスクにもさらされている。

スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオＢはデリバティブ取引を時価評価している。公正価値は市場価格を用いて決定されている。2022年12月31日現在でスーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオＢが保有しているデリバティブの公正価値は、貸借対照表に個別項目として記載されている。

下表は、2022年12月31日現在におけるデリバティブ契約の公正価値を、資産及び負債価値並びに契約種類ごとに分けて示したものである。当該金額は、貸借対照表の未決済先物契約及び未決済先渡契約に係る未実現損益に含まれている。また下表は、デリバティブに関する実現損益及び未実現損益を契約種類ごとに示しており、当該金額は損益計算書の投資及び外貨に係る正味実現損益並びに投資及び外貨に係る未実現損益の変動に含まれている。

また下表は、2022年12月31日現在の未決済契約の想定元本も契約種類ごとに示している。

	デリバティブ資産	想定元本	未実現利益／（損失）	実現利益／（損失）
	米ドル	米ドル	米ドル	米ドル
先物契約				
金属	316,080	2,884,800	316,080	371,338
合計	**316,080**	**2,884,800**	**316,080**	**371,338**

2022年12月31日現在の保有デリバティブ商品及びその損益計算書への影響額は、当期中におけるスーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオＢのデリバティブ取引高を示している。

６．正味払込資本

	米ドル
授権株式：	
１株当たり額面0.01米ドルの発起人株式100株	1
１株当たり額面0.01米ドルの参加型株式99,999,900株	999,999
	1,000,000

	株式数
発行済み及び全額払込済み：	
発起人株式	**100**
スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオA	
クラスA（米ドル）株式：	
期首残高	72,902.25
期中乗換出庫	(27,576.59)
期末残高	45,325.66
スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオB	
クラスB（米ドル）株式：	
期首残高	6,893.37
期中の発行	20,474.96
期中の買戻し	(925.20)
期末残高	26,443.13

	株式数
スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオB	
クラスジャパン（円）株式：	
期首残高	**746,451.07**
期中の発行	**261,779.85**
期中の買戻し	**(352,812.50)**
期末残高	**655,418.42**
スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオB	
クラスジャパン（米ドル）株式：	
期首残高	**—**
期中の発行	**223,077.87**
期中の買戻し	**(55,057.18)**
期末残高	**168,020.69**
スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオB	
クラスシルバー（米ドル）株式：	
期首残高	**—**
期中の発行	**303,312.46**
期中の買戻し	**(67,578.51)**
期末残高	**235,733.95**
スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオB	
クラスシルバー（円）株式：	
期首残高	**—**
期中の発行	**113,727.24**
期中の買戻し	**(8,313.05)**
期末残高	**105,414.19**
スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオB	
クラスB（ユーロ）株式：	
期首残高	**—**
期中の発行	**11,519.76**
期末残高	**11,519.76**
スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオC	
クラスC（米ドル）株式：	
期首残高	**268,718.53**
期中の買戻し	**(26,968.85)**
期末残高	**241,749.68**

	株式数
スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオC	
クラスC（ユーロ）株式：	
期首残高	**30,986.80**
期中の発行	**3,125.74**
期中の買戻し	**(10,208.12)**
期末残高	**23,904.42**
スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオC	
クラスCジャパン（円）株式：	
期首残高	**305,290.86**
期中の発行	**5,639.71**
期中の買戻し	**(177,992.53)**
期末残高	**132,938.04**
スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオC	
クラスCジャパン（米ドル）株式：	
期首残高	**—**
期中の発行	**136,749.64**
期中の買戻し	**(15,151.08)**
期末残高	**121,598.56**

2022年12月31日現在、当社の発起人株式は、当社の元取締役でもあるスーパーファンド・キャピタル・マネジメント・インク（以下、「投資顧問会社」という。）の株主が保有している。

当該株式に付随する権利は以下のとおりである。

発起人株式

発起人株式は、額面価額でのみ発行することが可能で、保有者の選択により買戻すことはできない。発起人株式は、１株当たり１票の議決権を有し、当社の解散時には以下に記載されている権利が与えられるが、当社の利益又は資産に関するその他の権利は与えられていない。

参加型株式

取締役会の決議により、当社は2018年４月１日から毎週換金できるようになった。参加型株式は、クラスA（米ドル）株式、クラスAジャパン（円）株式、クラスB（ユーロ）株式、クラスB（米ドル）株式、クラスジャパン（米ドル）株式、クラスシルバー（米ドル）株式、クラスB（円）株式、クラスジャパン（円）株式、クラスシルバー（円）株式、クラスC（米ドル）株式、クラスC（ユーロ）株式、クラスCジャパン（円）株式及びクラスCジャパン（米ドル）株式につき、該当する取引日ごとに、あるいは取締役の裁量により、各分別ポートフォリオの１株当たり純資産価額で買戻すことができるが、定款で認められている事項に関する場合を除き議決権は与えられていない。参加型株式の保有者は、保有株式に対して払い込んだ金額の割合に応じて、宣言され支払われる配当を受け取る権利を有している。

株式に付随する権利は、分別ポートフォリオの発行済み株式のすべての株主による書面での同意をもって、あるいは該当する分別ポートフォリオの株主総会において４分の３以上の同意により可決した特別決議の承認をもって変更することができる。

当社が解散する際に、分別ポートフォリオ及び一般資産はまず、それぞれ分別ポートフォリオの債権者及び一般債権者の債権の弁済に充当される。一般資産の残高がある場合は、発起人株式の払込済みの額面

金額返済に使用され、残りは純資産価額に基づき、分別ポートフォリオに割り当てられる。各分別ポートフォリオの資産は、保有株式数に応じて各分別ポートフォリオの株主に支払われる。分別ポートフォリオに複数クラスの参加型株式が存在する場合、分別ポートフォリオの資産は、関連する純資産価額に基づき各クラスに比例配分された後、保有しているクラスの参加型株式数に応じて株主に支払われる。

７．管理報酬

当社の投資活動は、共通支配下に置かれている関連当事者である投資顧問会社により管理されている。

投資顧問契約の条件に基づいて、投資顧問会社は、クラスＡジャパン（円）株式、クラスジャパン（米ドル）株式、クラスジャパン（円）株式、クラスシルバー（円）株式、クラスシルバー（米ドル）株式、クラスＣジャパン（円）株式、クラスＣジャパン（米ドル）株式の純資産価額の２％（年率）の管理報酬を、それ以外の株式クラスに関してはそれぞれの純資産の３％（年率）の管理報酬を月次で後払いで受領している。

2022年12月31日現在、未払金及び未払費用に含まれている未払管理報酬は、スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオＡに関しては814米ドル、スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオＢに関しては17,448米ドル、スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオＣに関しては7,724米ドルである。

８．成功報酬

また、投資顧問会社は、投資顧問契約で定義されているとおり、各株式クラスの１株当たり純資産価額の増加分に対して、スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオＡのクラスＡ（米ドル）については20%、クラスＡジャパン（円）については15%、スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオＢのクラスＢ（ユーロ）、クラスＢ（米ドル）、クラスＢ（円）については25%、クラスジャパン（米ドル）、クラスジャパン（円）、クラスシルバー（米ドル）、クラスシルバー（円）については20%、スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオＣのクラスＣ（米ドル）及びクラスＣ（ユーロ）については30%、クラスＣジャパン（円）、クラスＣジャパン（米ドル）については20%を成功報酬として受け取る権利を有している。成功報酬は、分別ポートフォリオに関するその他のすべての報酬及び費用を控除後の純資産価額に基づいて計算され、月次で支払われる。スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオＡ、Ｂ及びＣにつき、それぞれ０米ドル、174,786米ドル並びに82,143米ドルが成功報酬として課金された。

当期末において、スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオＡ、Ｂ及びＣに関する未払成功報酬の残高はそれぞれ、０米ドル、０米ドル、０米ドルである。

成功報酬は、独立第三者間の交渉により設定されたものではないため、投資顧問会社に対して支払われる成功報酬は、かかる契約がない場合に比べてリスクが高い、又はより投機的な投資を行う誘因となる可能性がある。

９．販売会社報酬

共通支配下に置かれている関連当事者であるスーパーファンド・ディストリビューション・アンド・インベストメント・インク（以下、「販売会社」という。）は、当社株式の販売会社として業務を行っており、各分別ポートフォリオの参加型株式の純資産価額の1.8%（年率）相当の販売会社報酬を月次で後払いで受け取る権利を有している。

2022年12月31日現在、未払金及び未払費用に含まれている未払販売会社報酬は、スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオＡに関しては488米ドル、スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオＢに関しては15,457米ドル、スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオＣに関しては5,481米ドルである。

販売会社は、取締役の判断により、各申込に関して７％を上限とした申込手数料を受け取る権利を有している。当期中に申込手数料は発生していない。

10. 事務管理報酬

2022年４月１日以降、事務管理契約に基づいて、当社はＮＡＶファンド・アドミニストレーション・グループ（以下、「当事務管理会社」という）に対し、毎月最終評価日において計算された事務管理報酬を払っている。分別ポートフォリオごとに450米ドルの定額報酬である。2022年４月より前は、当社はエイペックス・ファンド・サービシーズ・エス・エーに対し、毎月最終評価日において計算された事務管理報酬を支払っており、最低報酬は、スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオAが年間7,521米ドル、スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオB及びCがそれぞれ年間10,097米ドルであった。

2022年12月31日現在、未払となっている事務管理報酬はスーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオAにつき2,048米ドル、分別ポートフォリオBにつき2,049米ドル、分別ポートフォリオCにつき1,950米ドルである。

11. 株式買戻手数料

当初申込から12ヶ月以内に買戻しが行われるか、あるいは取締役による強制的な買戻しが行われる場合、取締役の判断により、買戻価格の２％の買戻手数料が発生し、投資顧問会社に支払われる可能性がある。

2022年12月31日現在、未払買戻手数料の残高はない。

12. 関連当事者間取引

2022年12月31日現在、クラスA（米ドル）株式811.47株、クラスBジャパン（円）株式655,418.42株、クラスBジャパン（米ドル）株式168,020.69株、クラスBシルバー（米ドル）株式233,613.28株、クラスBシルバー（円）株式105,414.19株、クラスCジャパン（円）株式132,938.04株、クラスCジャパン（米ドル）株式121,598.56株、及びクラスC（ユーロ）株式3,125.74株が、関連当事者によって保有されている。

投資顧問及び販売会社は共通支配下に置かれている関連当事者である。投資顧問及び販売会社に対して未払いの手数料は、独立第三者間の交渉により設定されたものではない。

13. 金融商品及び関連するリスク

当社のマスターファンドへの投資は、間接的に、マスターファンドの投資対象である金融商品及び市場に関連する多様なリスクにさらされている。

当社がさらされている金融リスクの種類は、市場リスク、信用リスク及び流動性リスクである。マスターファンドがさらされている金融リスクに関しては、マスターファンドの財務諸表を参照のこと。

マスターファンドが保有する投資に関する詳細（投資を公正価値で測定する際に用いられる市場価格の観察可能性のレベル、並びに2022年12月31日に終了した年度にマスターファンドが保有していたデリバティブに関連する損益に関する内訳を含む）については、本報告書に含まれているマスターファンドの財務諸表注記に開示されている。

市場リスク、信用リスク及び流動性リスク

通常の事業の過程において、スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオBは、市場リスク、信用リスク及び流動性リスクを招く可能性のある様々な金融商品を売買しており、そのリスクの金額は、財務諸表からは明白ではない。市場リスクとは、金利、為替レート又は株式及びコモディティ価格の変動が、マスターファンドの保有しているポジションに影響を及ぼすリスクである。スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオBは、市場価格で評価されている金融商品に関する市場リスクにさらされている。

投資戦略の一環として、スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオBは先物契約を締結している。先物契約は組織化された取引所で売買されており、現金又は市場性のある有価証券による証拠金（担保）が要求される。当初証拠金は日次で時価評価される先物契約の価値の変動を反映するために調整される。先物契約保有者にとって契約内容の履行に関する相手先は相殺ポジションを保有する事業体ではなく取引所である。

当社は、マネーマーケットファンドに投資する。MMFは、財務省証券、コマーシャルペーパー、預金証書などの高い信用格付けを備えた流動性の高い現金および現金同等物にのみ投資する。これらのMMFは、主に13か月未満の短期満期でかつ、非常に低いレベルのリスクで高い流動性を提供する債券ベースの証券に投資する。

市場リスクは、金融商品の基礎となる為替レート、指標、コモディティ及び有価証券の価値の潜在的変動により生じる。その他の市場リスクには、契約の価値の変動が、基礎となる通貨、コモディティ又は株式指標の価値の変動と直接相関していない可能性が含まれる。先物契約の取引には、マスターファンドの投資収益率が上がるとともに通常の投資リスクを上回る特定のリスクが伴う可能性がある。

信用リスクとは、契約相手が債務不履行に陥るリスクである。信用リスクは、通常、取引所外で金融商品の取引を行う場合に高くなる。これは、取引所外で取引される金融商品の契約相手は、取引所清算機関の履行保証を受けていないためである。経営陣はブローカーの信用格付け及び取引結果をレビューし、当社の信用リスクの集中について問題はないと考えている。

先物市場は変動が非常に大きく、需給関係の変動、政府のプログラム及び政策、国内外の政治及び経済事象、並びに金利の変動等の要因による影響を受ける。さらに、通常、先物取引において要求される証拠金比率は低いため、先物商品勘定のレバレッジ率が高くなる傾向がある。その結果、先物契約における比較的少額の価格変動が契約当事者に多額の損失を発生させる可能性がある。また先物取引の流動性が低い可能性もある。特定の先物取引所は特定の先物契約に関して、１日の取引における価格変動の制限値を越える価格での取引を認めていない。この１日の取引における価格変動の制限値を超えて価格が変動した場合、当社は不利なポジションを即時に処分することができず、多額の損失を被る可能性がある。

投資戦略の一環として、当社はレバレッジを利用している。レバレッジの概念は、当社の借入費用が、一般的に、保有する投資の収益率を下回るという前提に基づいている。レバレッジの利用により、当社に投資された株主資本に対する収益率が上がる可能性がある一方で、当該株主資本の損失リスクも増える。

経営陣は、レバレッジ水準を維持するための内部指針及び制限値を設定している。

14. 財務ハイライト

スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオA（米ドル）	米ドル
１株当たりの業績（期中発行済み参加型株式に関して）（1）	
期首の参加型株式１株当たり純資産価額	8.10
投資活動による収入	
正味投資損失	(0.75)
投資及び外貨に係る正味実現損失及び未実現損失の変動	(0.33)
投資活動による損失合計	(1.08)
期末の参加型株式１株当たり純資産価額	7.02
総利回り（2）	(13.33)%
補足情報：	
平均純資産比率	
営業及びその他費用	(8.23)%
正味投資損失（成功報酬を除く）	(7.22)%

（１）期中平均発行済み株式数に基づく。

（２）各投資家の利回りは、株式の申込み及び買戻しの時期により異なる可能性がある。

スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオB（米ドル）	米ドル
１株当たりの業績（期中発行済み参加型株式に関して）（1）	
期首の参加型株式１株当たり純資産価額	9.73
投資活動による収入	
正味投資収入	(0.43)
投資及び外貨に係る正味実現損失及び未実現損失の変動	(0.91)
投資活動による損失合計	(1.34)
期末の参加型株式１株当たり純資産価額	8.39
総利回り（2）	(13.77)%
補足情報：	
平均純資産比率	
営業及びその他費用	(5.57)%
正味投資損失（成功報酬除く）	(4.64)%

（１）期中平均発行済み株式数に基づく。

（２）各投資家の利回りは、株式の申込み及び買戻しの時期により異なる可能性がある。

スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオBジャパン（円）	円
１株当たりの業績（期中発行済み参加型株式に関して）（1）	
期首の参加型株式１株当たり純資産価額	1,097.38
投資活動による収入	
正味投資損失	(73.35)
投資及び外貨に係る正味実現損失及び未実現損失の変動	(71.78)
投資活動による損失合計	(145.13)
期末の参加型株式１株当たり純資産価額	952.25
成功報酬前総利回り	(10.43)%
成功報酬	(2.80)%
総利回り（2）	(13.23)%
補足情報：	
平均純資産比率	
営業及びその他費用	(4.49)%
成功報酬	(2.72)%
費用合計	(7.21)%

正味投資損失（成功報酬を除く）	(3.80)%

（１）発行以降の当期中の平均発行済み株式数に基づく。
（２）各投資家の利回りは、株式の申込み及び買戻しの時期により異なる可能性がある。

スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオＢジャパン（米ドル）	米ドル
１株当たりの業績（期中発行済み参加型株式に関して）（1）	
期首の参加型株式１株当たり純資産価額（3）	10.00
投資活動による収入	
正味投資損失	(0.24)
投資及び外貨に係る正味実現損失及び未実現損失の変動	(2.13)
投資活動による損失合計	(2.37)
期末の参加型株式１株当たり純資産価額	7.63
成功報酬前総利回り	(23.31)%
成功報酬	(0.39)%
総利回り（2）	(23.70)%
補足情報：	
平均純資産比率（4）	
営業及びその他費用	(3.05)%
成功報酬	(0.36)%
費用合計	(3.41)%
正味投資損失（成功報酬を除く）	(2.36)%

（１）発行以降の当期中の平均発行済み株式数に基づく。
（２）各投資家の利回りは、株式の申込み及び買戻しの時期により異なる可能性がある。
（３）株式は2022年５月１日に１口当たり10米ドルで発行された。
（４）平均純資産比率は年換算されていない。

スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオBシルバー（米ドル）	米ドル
１株当たりの業績（期中発行済み参加型株式に関して）（1）	
期首の参加型株式１株当たり純資産価額（3）	10.00
投資活動による収入	
正味投資収入	(0.11)
投資及び外貨に係る正味実現利益及び未実現利益の変動	1.31
投資活動による利益合計	1.20
期末の参加型株式１株当たり純資産価額	11.20
成功報酬前総利回り	12.00%
成功報酬	0.00%
総利回り（2）	12.00%
補足情報：	
平均純資産比率（4）	
営業及びその他費用	(1.52)%
正味投資損失（成功報酬を除く）	(1.07)%

（１）発行以降の当期中の平均発行済み株式数に基づく。
（２）各投資家の利回りは、株式の申込み及び買戻しの時期により異なる可能性がある。
（３）株式は2022年９月１日に１口当たり10米ドルで発行された。
（４）平均純資産比率は年換算されていない。

スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオBシルバー（円）	米ドル
１株当たりの業績（期中発行済み参加型株式に関して）（1）	
期首の参加型株式１株当たり純資産価額（3）	10.00
投資活動による収入	
正味投資損失	(0.12)
投資及び外貨に係る正味実現利益及び未実現利益の変動	1.32
投資活動による利益合計	1.20
期末の参加型株式１株当たり純資産価額	11.20
成功報酬前総利回り	12.00%
成功報酬	0.00%
総利回り（2）	12.00%
補足情報：	

平均純資産比率（4）

営業及びその他費用	(1.55)%
正味投資損失（成功報酬を除く）	(1.10)%

（1）発行以降の当期中の平均発行済み株式数に基づく。
（2）各投資家の利回りは、株式の申込み及び買戻しの時期により異なる可能性がある。
（3）株式は2022年９月１日に１口当たり10米ドルで発行された。
（4）平均純資産比率は年換算されていない。

スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオB クラスB（ユーロ）	ユーロ

１株当たりの業績（期中発行済み参加型株式に関して）（1）

期首の参加型株式１株当たり純資産価額（3）	10.00
投資活動による収入	
正味投資損失	(0.15)
投資及び外貨に係る正味実現損失及び未実現損失の変動	(1.02)
投資活動による損失合計	(1.17)
期末の参加型株式１株当たり純資産価額	8.83
成功報酬前総利回り	(11.30)%
成功報酬	(0.40)%
総利回り（2）	(11.70)%

補足情報：

平均純資産比率（4）

営業及びその他費用	(1.53)%
成功報酬	(0.43)%
費用合計	(1.96)%
正味投資損失（成功報酬を除く）	(1.13)%

（1）発行以降の当期中の平均発行済み株式数に基づく。
（2）各投資家の利回りは、株式の申込み及び買戻しの時期により異なる可能性がある。
（3）株式は2022年９月21日に１口当たり10ユーロで発行された。
（4）平均純資産比率は年換算されていない。

スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオC（米ドル）	米ドル

１株当たりの業績（期中発行済み参加型株式に関して）（1）

期首の参加型株式１株当たり純資産価額	8.22
投資活動による収入	
正味投資損失	(0.42)
投資及び外貨に係る正味実現損失及び未実現損失の変動	(1.10)
投資活動による損失合計	(1.52)
期末の参加型株式１株当たり純資産価額	6.70
総利回り(2)	(18.49)%

補足情報：

平均純資産比率	
営業及びその他費用	(5.65)%
正味投資損失（成功報酬を除く）	(5.02)%

（１）期中平均発行済み株式数に基づく。
（２）各投資家の利回りは、株式の申込み及び買戻しの時期により異なる可能性がある。

スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオＣジャパン（円）	円

１株当たりの業績（期中発行済み参加型株式に関して）(1)

期首の参加型株式１株当たり純資産価額	1,238.04
投資活動による収入	
正味投資損失	(85.70)
投資及び外貨に係る正味実現損失及び未実現損失の変動	(180.30)
投資活動による損失合計	(266.00)
期末の参加型株式１株当たり純資産価額	972.04
成功報酬前総利回り	(18.12)%
成功報酬	(3.37)%
総利回り(2)	(21.49)%

補足情報：

平均純資産比率	
営業及びその他費用	(4.70)%
成功報酬	(3.30)%
費用合計	(8.00)%
正味投資損失（成功報酬を除く）	(3.48)%

（１）発行以降の当期中の平均発行済み株式数に基づく。

（２）各投資家の利回りは、株式の申込み及び買戻しの時期により異なる可能性がある。

スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオC（ユーロ）	ユーロ
１株当たりの業績（期中発行済み参加型株式に関して）（1）	
期首の参加型株式１株当たり純資産価額	8.28
投資活動による収入	
正味投資損失	(0.43)
投資及び外貨に係る正味実現損失及び未実現損失の変動	(1.25)
投資活動による損失合計	(1.68)
期末の参加型株式１株当たり純資産価額	6.60
総利回り（2）	(20.29)%
補足情報：	
平均純資産比率	
営業及びその他費用	(5.72)%
正味投資損失（成功報酬を除く）	(5.11)%

（１）期中平均発行済み株式数に基づく。

（２）各投資家の利回りは、株式の申込み及び買戻しの時期により異なる可能性がある。

スーパーファンド・グリーン分別ポートフォリオＣジャパン（米ドル）	米ドル
１株当たりの業績（期中発行済み参加型株式に関して）（1）	
期首の参加型株式１株当たり純資産価額（3）	10.00
投資活動による収入	
正味投資損失	(0.27)
投資及び外貨に係る正味実現損失及び未実現損失の変動	(2.86)
投資活動による損失合計	(3.13)
期末の参加型株式１株当たり純資産価額	6.87
成功報酬前総利回り	(30.62)%
成功報酬	(0.68)%
総利回り（2）	(31.30)%
補足情報：	
平均純資産比率（4）	
営業及びその他費用	(3.11)%
成功報酬	(0.81)%
費用合計	(3.92)%
正味投資損失（成功報酬を除く）	(3.26)%

（１）発行以降の当期中の平均発行済み株式数に基づく。
（２）各投資家の利回りは、株式の申込み及び買戻しの時期により異なる可能性がある。
（３）株式は2022年５月21日に１口当たり10米ドルで発行された。
（４）平均純資産比率は年換算されていない。

15. 後発事象

これらの財務諸表を作成するにあたり、経営陣は、当該財務諸表の公表が可能となった2023年６月27日までのすべての重要な後発事象を評価し、開示した。

2022年12月31日の後、グリーンＳＰＣ・Ｂに対し2,671米ドルの買戻しが処理された。

次へ

スーパーファンド・グリーン・マスター
賃借対照表

2022年12月31日現在
（単位：米ドル）

	注記	米ドル	千円
資産			
MMFへの投資（原価：11,734,981米ドル）	2(f),4	11,734,981	1,839,341
ファンドへの投資（原価：452,085米ドル）	2(c),4	246,466	38,631
現金		3,952,611	619,532
ブローカーに対する債権	3	26,411,908	4,139,802
未決済先物契約に係る未実現利益	2(f),4,5	2,056,763	322,377
未決済先渡契約に係る未実現利益	2(f),4,5	190,377	29,840
未収買付金		212,680	33,335
その他の資産		9,658	1,514
		44,815,444	7,024,373
負債			
ブローカーに対する債務	3	18,271,623	2,863,894
未決済先物契約に係る未実現損失	2(f),4,5	548,042	85,900
未決済先渡契約に係る未実現損失	2(f),4,5	188,237	29,504
未払買戻金		442,094	69,294
未払金及び未払費用	8,10	26,993	4,231
		19,476,989	3,052,823
純資産		25,338,455	3,971,549

	米ドル	円
クラスA株式１株当たり純資産：（発行済 30,035.96 株に基づく）	66.96	10,495.31
クラスBマスター株式１株当たり純資産：（発行済 22,100.57 株に基づく）	265.07	41,547.07

	ユーロ	円
クラスCマスター株式１株当たり純資産：（発行済 55,683.22 株に基づく）	215.71	36,623.24

	円
クラスEマスター株式１株当たり純資産：（発行済 46,153.18 株に基づく）	13,099.64

添付の財務諸表注記参照。

スーパーファンド・グリーン・マスター
要約投資明細書

2022年12月31日現在
（単位：米ドル）

銘柄（純資産における%）	株数	原価	公正価値
MMFへの投資（46.31%）			
ブラックロック・インスト・米ドル・リクイディティ・コア（11.58%）	2,933,745.26	2,933,745	2,933,745
ゴールドマンサックス・米ドル・リキッド・リザーブズ・インスト（11.58%）	2,933,745.26	2,933,745	2,933,745
インベスコ・グローバル・米ドル・コーポ1937（11.58%）	2,933,745.21	2,933,745	2,933,745
JPモルガン・リクイディティ・米ドル・リクイディティLvnav－インスト D（11.58%）	2,933,745.77	2,933,746	2,933,746
MMFへの投資合計		米ドル	11,734,981

銘柄（純資産における%）	株数	原価	公正価値
ファンドへの投資（0.97%）			
スーパーファンド・グリーン・ゴールド・エスピー・クリプト・ファンド ― クラス D・米ドル（0.97%）	552.22	452,085	246,466
ファンドへの投資合計		米ドル	246,466

銘柄（純資産における%）	満期	想定元本	公正価値
先物契約（8.11%）			
債券先物（3.26%）	2023年３月	90,762,339	825,831
通貨（1.44%）	2023年３月	22,726,377	364,267
コモディティ（0.88%）	2023年２～４月	11,096,316	223,945
エネルギー（0.80%）	2023年１～４月	7,065,468	202,621
食品／繊維／木材／ゴム（0.16%）	2023年３月	4,107,805	40,872
金（0.04%）	2023年２～10月	424,319	11,132
インデックス（1.23%）	2023年１～３月	17,034,673	310,946
金属（0.30%）	2023年３～10月	2,224,112	77,149
先物契約に係る未実現利益		米ドル	2,056,763

銘柄（純資産における%）	満期	想定元本	公正価値
先物契約（−2.17%）			
債券先物（−0.54%）	2023年３月	14,970,504	(136,102)
通貨（−0.28%）	2023年３月	7,919,819	(70,924)
コモディティ（−0.51%）	2023年２～３月	5,561,600	(128,391)
エネルギー（−0.19%）	2023年１～12月	1,843,183	(47,674)
食品／繊維／木材／ゴム（−0.13%）	2023年２～５月	856,005	(33,664)
インデックス（−0.33%）	2023年１～３月	11,679,877	(83,861)
金属（−0.19%）	2023年３～10月	1,339,796	(47,426)
先物契約に係る未実現損失		米ドル	(548,042)

銘柄（純資産における%）	満期	想定元本	公正価値
先渡契約（0.75%）			
外国為替（0.75%）	2023年３月	15,684,216	190,377
先渡契約に係る未実現利益		米ドル	190,377

銘柄（純資産における%）	満期	想定元本	公正価値
先渡契約（−0.74%）			
外国為替（−0.74%）	2023年３月	10,370,336	(188,237)
先渡契約に係る未実現損失		米ドル	(188,237)

添付の財務諸表注記参照。

スーパーファンド・グリーン・マスター
損益計算書

2022年12月31日に終了した年度
（単位：米ドル）

	注記	米ドル	千円
収益			
受取利息		191,574	30,027
		191,574	30,027
費用			
事務管理報酬	10	24,846	3,894
専門家手数料		28,340	3,815
管理報酬	8	24,994	3,918
支払利息		3,685	578
成功報酬		141,060	22,110
その他費用		19,622	3,076
		242,547	38,017
正味投資損失		(50,973)	(7,990)
投資及び外貨に係る正味実現損失及び未実現利益の変動			
投資及び外貨に係る正味実現損失		(6,729,905)	(1,054,845)
投資及び外貨に係る未実現利益の変動		1,105,160	173,223
		(5,624,745)	(881,623)
営業活動から生じた純資産の正味減少額		(5,675,718)	(889,612)

添付の財務諸表注記参照。

スーパーファンド・グリーン・マスター
純資産変動計算書

2022年12月31日に終了した年度
（単位：米ドル）

	米ドル	千円
営業活動		
正味投資損失	(50,973)	(7,990)
投資及び外貨に係る正味実現損失	(6,729,905)	(1,054,845)
投資及び外貨に係る未実現利益の変動	1,105,160	173,223
	(5,675,718)	(889,612)
資本取引		
クラスＢマスター株式の発行による収入	8,601,653	1,348,223
クラスＣマスター株式の発行による収入	1,232,673	193,209
クラスＥマスター株式の発行による収入	3,978,947	623,660
クラスＡ株式の買戻しに係る支払	(30,000)	(4,702)
クラスＢマスター株式の買戻しに係る支払	(4,082,338)	(639,866)
クラスＣマスター株式の買戻しに係る支払	(3,145,725)	(493,061)
クラスＥマスター株式の買戻しに係る支払	(6,657,424)	(1,043,485)
	(102,214)	(16,021)
当期純資産減少額	(5,777,932)	(905,633)
期首純資産残高	31,116,387	4,877,182
期末純資産残高	25,338,455	3,971,549
期末純資産残高の内訳		
クラスＡ株式	2,011,123	315,223
クラスＢマスター株式	5,858,137	918,204
クラスＣマスター株式	12,857,988	2,015,361
クラスＥマスター株式	4,611,207	722,761
	25,338,455	3,971,549

添付の財務諸表注記参照。

財務諸表注記
2022年12月31日現在（単位：米ドル）

１．設立及び主な活動

スーパーファンド・グリーン・マスター（以下、「マスターファンド」という。）は、2001年３月22日にケイマン諸島の会社法に基づいて適用免除会社として設立され、2001年４月２日にケイマン諸島のミューチュアル・ファンド法に基づいて登録された。

2022年12月31日現在、マスターファンドはクラスＡ、クラスＢ、クラスＣ及びクラスＥの４種類の有効な株式を発行しており、そのうちクラスＢ、クラスＣ及びクラスＥについては、それぞれクラスＢマスター株式、クラスＣマスター株式及びクラスＥマスター株式（以下、総称して「マスター株式」という。）を販売している。2022年12月31日に終了した年度において、クラスＤ又はＦマスター株式は発行されていない。マスター株式は、「マスター・フィーダー」構造の一部として販売され、クラスＢ、クラスＣ及びクラスＥは、スーパーファンド・グループの他のファンドのマスターファンドとしての役割を担っている。クラスＡ株式については、依然として追加販売は行われていない。

スーパーファンド・キャピタル・マネジメント・インク（以下、「投資顧問会社」という。）が、投資顧問契約に基づいて、マスターファンドの投資顧問会社を務めている。マスターファンドの目的は、投資家に対して、資本及び有価証券市場の発展とは関係なく、平均以上の長期的キャピタル・ゲインを達成するための投資を提供することである。マスターファンドは、投資の機会及び取引戦略を有効に利用する予定であるため、将来の投資の性質に関してあらかじめ見通しを立てておらず、制限条項もない。

２．重要な会計方針

当財務諸表は、米国会計基準審議会（以下、「FASB」という。）の会計基準編纂書（以下、「ASC」という。）に詳述される米国で一般に公正妥当と認められる会計原則（以下、「US GAAP」という。）に従って作成されている。マスターファンドはUS GAAPにおける投資会社に該当するため、FASB ASC 946「金融サービス－投資会社」に規定される投資会社向けの会計・報告指針に従っている。

マスターファンドが適用した重要な会計方針は以下のとおりである。

（ａ）見積りの使用

GAAPに準拠した財務諸表の作成にあたって、経営陣は、財務諸表日現在の資産及び負債の報告金額並びに偶発資産及び負債の開示、並びに報告期間中の収益及び費用の報告額に影響を及ぼす見積り及び仮定を行うことが求められている。実際の結果は、それらの見積りとは異なる可能性がある。

（ｂ）ＭＭＦへの投資

ＭＭＦへの投資は、取引日基準で会計処理される。投資は当初取得原価で測定される。当初認識の後、投資は公正価値で測定される。公正価値は、各マネー・マーケット・ファンドによって報告されている通りにマスターファンドに帰属する純資産として決定される。実現及び未実現損益の変動は損益計算書に含まれている。

（ｃ）公正価値によるファンドへの投資

投資ファンドへの投資は、投資ファンドの経営陣によって報告された純資産価額（「NAV」）で表示される。投資ファンドの運用契約の償還および流動性の条件に従って、マスターファンドの投資ファンドに対する持分の売却は、当該投資ファンドの報告されたNAVで取引される。ASU-2015-07では、実務上便宜的にNAVを用いて公正価値を測定しているすべての投資について、公正価値ヒエラルキーに分類する要件が削除された。2022年12月31日時点で、実務上便宜的にNAVを用いて測定された資産の金額は、246,466米ドルだった。

（ｄ）先物契約

未決済先物契約は、契約価格と、公表レート又は適切なレートが容易に入手できない場合はブローカーが提供するレートに基づく市場価値との差額として計算された公正価値で計上される。実現損益及び未実現損益の変動は、損益計算書に計上される。

（ｅ）先渡契約

未決済先渡契約は、公表フォーワード・レートと売買レートとの差額として計算された公正価値で計上される。実現損益及び未実現損益の変動は、損益計算書に計上される。

（ｆ）公正価値による投資の評価　－　定義及び階層

USGAAPは公正価値の階層を規定しており、公正価値を測定する際に用いられる評価手法への入力データの優先順位を、以下に説明される３つのレベルに分類している。

レベル１：　活発な市場における同一資産又は負債について経営陣が入手可能な未調整の相場価格に基づく評価。レベル１の有価証券に対しては、評価調整及び大量保有による割引価値の利用は適用されない。評価は活発な市場において容易にかつ定期的に入手可能な相場価格に基づいているため、当該レベルに分類される有価証券の評価については重要な判断は必要とされない。

レベル２：　活発でない市場における相場価格、あるいは重要なデータがすべて直接又は間接的に観察可能な価格に基づく評価。

レベル３：　公正価値測定の全体に対して重要であるが観察不能なデータに基づく評価。

下表は、上述の公正価値の階層に基づく2022年12月31日現在のマスターファンドの投資に係る評価の概要である。

資産	合計	レベル１	レベル２
	米ドル	米ドル	米ドル
ＭＭＦへの投資	11,734,981	11,734,981	－
未決済先物契約に係る未実現利益	2,056,763	2,056,763	－
未決済先渡契約に係る未実現利益	190,377	－	190,377
合計	13,982,121	13,791,744	190,377

負債	合計	レベル１	レベル２
	米ドル	米ドル	米ドル
未決済先物契約に係る未実現損失	(548,042)	(548,042)	－
未決済先渡契約に係る未実現損失	(188,237)	－	(188,237)
合計	(736,279)	(548,042)	(188,237)

2022年12月31日に終了した年度において、レベル３として指定された投資及びレベル間での振替はない。

（ｇ）受取利息

受取利息は発生主義で計上される。

（ｈ）外貨

外貨建て又は外貨で会計処理される資産及び負債は、貸借対照表日現在で適用される為替レートで米ドルに換算される。外貨建て取引は取引日の為替レートで米ドルに換算される。換算によって生じる実現及び未実現損失の変動は、損益計算書に計上される。

マスターファンドは投資及び現金に係る為替レートの変動により生じる損失と、保有有価証券の市場価格の変動により生じる損失を区別していない。このような変動は損益計算書の投資及び外貨に係る正味実現利益／（損失）及び未実現利益／（損失）の変動に含まれる。

（ｉ）法人税等

ケイマン諸島では、収益又は利益に対して課税されることはなく、当社は、税制優遇措置法第６条の規定に従って、2039年８月20日までの期間における将来の収益又は利益に関するすべての現地における税金を免除する旨の誓約をケイマン諸島の総督から受け取っている。よって、法人税等に関する引当金は当財務諸表に含まれていない。

マスターファンドは、税務調査が実施された場合に、テクニカル・メリットに基づいて容認される可能性が高い（50%超の確率）未確定の申告内容についてのみ税務便益を認識している。マスターファンドは、すべての主要な税管轄区域におけるすべての税務調査対象年度について分析を行っている。税務調査対象年度とは、各管轄区域の出訴期限法で定義された税務当局による税務調査の対象となりうる年度である。

経営陣はマスターファンドの申告内容を分析した結果、未確定の申告内容に関して、税務費用のための負債又は税務便益について資産を計上する必要はないと判断した。さらに経営陣は、今後12ヶ月の間に未認識の税務便益の合計額が著しく変化する合理的な可能性のある申告内容も存在しないと考えている。

（ｊ）収益及び費用の配分

異なるクラス間の利益、損失、収益及び費用（特定の株式クラスに帰属する費用を除く。）の配分は、純資産価額の相対的な割合に基づいて行われている。

（k）相殺

金融資産及び負債（未決済先物契約に係る正味未実現利益／（損失）を含む。）は、マスターファンドが認識された金額を相殺する法的な権利を有しており、当該取引を純額ベース又は同時に決済する意図がある場合は相殺され、純額で貸借対照表に計上される。当期、マスターファンドは相殺の要件を満たしていない。

（l）未収買戻金

保有者又はマスターファンドの選択により償還された参加株式は、償還要求が受領され、償還額が決定された時点で未収買戻金として分類される。

3．ブローカーに対する債権・債務

ブローカーに対する債権・債務には、ADMインベスター・サービシズ・インク及びINTL FCストーンフィナンシャル・インクに預けている現金残高が含まれ、未決済先物契約及び未決済先渡契約に関して担保として差し入れられている証拠金6,665,389米ドルが含まれる。

4．金融商品及び関連するリスク

市場リスク、信用リスク及び流動性リスク

通常の事業の過程において、マスターファンドは、市場リスク、信用リスク及び流動性リスクを招く可能性のある様々な金融商品を売買しており、そのリスクの金額は財務諸表からは明白ではない。

市場リスクとは、金利、為替レート又は株式及びコモディティ価格の変動が、マスターファンドの保有しているポジションに影響を及ぼすリスクである。マスターファンドは、市場価格で評価されている金融商品に関する市場リスクにさらされている。

投資戦略の一環として、マスターファンドは先物契約を締結している。先物契約は組織化された取引所で売買されており、現金又は市場性のある有価証券による当初証拠金（担保）が要求される。当初証拠金は日次で時価評価される先物契約の価値の変動を反映するために調整される。先物契約保有者にとって契約内容の履行に関する相手先は相殺ポジションを保有する事業体ではなく取引所である。

マスターファンドは先渡契約を締結している。先渡契約は保有される担保の正味額について契約期間中に様々な契約相手から未実現評価増を受けるリスクを含んでいる。当社は、信用力のある契約相手とのみ取引を行うことにより先渡契約の信用リスクを軽減するよう努めている。

マスターファンドはMMFに投資している。マネー・マーケット・ファンドは、非常に流動的な現金及び自己勘定請求書、コマーシャルペーパー及び預金証書などの高い信用格付けを有する現金同等物にのみ投資する。これらMMFは主に13ヶ月未満の短期満期を有し、非常に低いレベルのリスクで高い流動性を提供している債務証券に投資している。

マスターファンドは、他の投資ファンドに投資している。2022年12月31日現在、マスターファンドの唯一のファンド投資は、スーパーファンド・グリーン・ゴールド・セグリゲイテッド・ポートフォリオ・クリプト・ファンド（「SF Crypto Fund」）である。SF Crypto Fundの投資目的は、主要な流動性のある「暗号通貨」の取引所取引先物契約を体系的に取引することで、大きなプラスのリターンを達成することである。従って、マスターファンドのSF Crypto Fundのポジションの価値は、暗号通貨価格の変動に影響を受ける。暗号通貨はデジタル資産の一種である。デジタル資産は投機的な投資であり、高いリスクを伴う。デジタル資産は比較的新しい技術であり、規制が緩く、通貨交換のための中央市場がない。

市場リスクは、金融商品の基礎となる為替レート、指標、コモディティ及び有価証券の価値の潜在的変動により生じる。その他の市場リスクには、契約価値の変動が、基礎となる通貨、コモディティ又は株式指標の価値の変動と直接相関していない可能性が含まれる。先物契約の取引には、マスターファンドの投資収益率が上がるとともに通常の投資リスクを上回る特定のリスクが伴う可能性がある。

信用リスクとは、契約相手が債務不履行に陥るリスクである。信用リスクは、通常、取引所外の金融商品の取引を行う場合に高くなる。これは、取引所外で取引される金融商品の契約相手は、取引所清算機関の履行保証を受けていないためである。マスターファンドは信用リスクの影響を最小限に抑えるために多数のブローカーを利用している。経営陣はブローカーの信用格付け及び取引結果をレビューし、マスターファンドの信用リスクの集中について問題はないと考えている。

先物市場は変動が非常に大きく、需給関係の変動、政府のプログラム及び政策、国内外の政治及び経済事象、並びに金利の変動等の要因による影響を受ける。さらに、通常、先物取引において要求される証拠金比率は低いため、先物商品勘定のレバレッジ率が高くなる傾向がある。その結果、先物契約における比較的少額の価格変動が契約当事者に多額の損失を発生させる可能性がある。また先物取引の流動性が低い可能性もある。特定の先物取引所は特定の先物契約に関して、１日の取引における価格変動の制限値を越える価格での取引を認めていない。この１日の取引における価格変動の制限値を超えて価格が変動した場合、マスターファンドは不利なポジションを即時に処分することができず、多額の損失を被る可能性がある。

投資戦略の一環として、マスターファンドはレバレッジを利用している。レバレッジの概念は、マスターファンドの借入費用が、一般的に、保有する投資の収益率を下回るという前提に基づいている。レバレッジの利用により、マスターファンドが投資した株主資本に対する収益率が上がる可能性がある一方で、当該株主資本の損失リスクも増える。

投資顧問会社はレバレッジを管理するための内部指針及び制限値を設定している。

５．デリバティブ契約

マスターファンドは様々な先物契約及び先渡契約をトレーディング目的で行っており、これらの金融商品は主に金利、為替レート、株価及びコモディティ価格に関するリスクにさらされている。またデリバティブ契約への投資は、その投資全体又は一部に損失を生じさせる可能性のある別のリスクにもさらされている。

マスターファンドはデリバティブ取引を時価評価ベースで計上している。公正価値は市場価格に基づき決定されている。2022年12月31日現在でマスターファンドが保有しているデリバティブの公正価値は、貸借対照表に個別項目として記載されている。

下表は、2022年12月31日現在におけるデリバティブ契約の公正価値を、資産及び負債価値並びに契約種類ごとに分けて示したものである。当該金額は、貸借対照表の未決済先物契約及び先渡契約に係る未実現損益に含まれている。また下表には、損益計算書の投資及び外貨に係る正味実現損益に含まれている契約種類ごとのデリバティブの実現損益が含まれている。

さらに下表は、2022年12月31日現在の未決済契約の想定元本も契約種類ごとに示している。

先物契約	デリバティブ資産	想定元本	デリバティブ負債	想定元本	未実現利益／（損失）	実現利益／（損失）
債券先物	825,831	90,762,339	(136,102)	14,970,504	1,317,683	(1,503,357)
通貨	364,267	22,726,377	(70,924)	7,919,819	113,058	(1,996,839)
コモディティ	223,945	11,096,316	(128,391)	5,561,600	(222,762)	(2,513,240)
エネルギー	202,621	7,065,468	(47,674)	1,843,183	(96,446)	3,154,982
食品／繊維／木材／ゴム	40,872	4,107,805	(33,664)	856,005	23,786	263,028
金	11,132	424,319	－	－	7,318	71,784
インデックス	310,946	17,034,673	(83,861)	11,679,877	20,859	(4,569,167)
金属	77,149	2,224,112	(47,426)	1,339,796	108,196	363,109
米ドル合計	**2,056,763**	**155,441,409**	**(548,042)**	**44,170,784**	**1,271,692**	**(6,729,700)**

先渡契約	デリバティブ資産	想定元本	デリバティブ負債	想定元本	未実現利益／（損失）	実現利益／（損失）
外国為替	190,377	15,684,216	(188,237)	10,370,336	53,948	553,413
米ドル合計	**190,377**	**15,684,216**	**(188,237)**	**10,370,336**	**53,948**	**553,413**

2022年12月31日現在、保有デリバティブ商品及びその損益計算書への影響額は、当期中におけるマスターファンドのデリバティブ取引高を示している。

6．株式資本

	2022年
授権株式：	
１株当たり額面0.01米ドルの発起人株式100株	１米ドル
１株当たり額面0.01米ドルの参加型株式99,999,900株	999,999米ドル
	1,000,000米ドル
１株当たり額面0.01ユーロの参加型株式25,000,000株	250,000ユーロ

7．正味払込資本

	株数
発行済み及び全額払込済み：	
発起人株式	1
クラスA株式：	
期首残高	30,371.07
期中買戻し	(335.11)
期末残高	30,035.96

	株数
クラスＢ株式：	
期首残高	8,225.59
期中の発行	26,937.85
期中の買戻し	(13,062.87)
期末残高	22,100.57
クラスＣ株式：	
期首残高	60,971.49
期中の発行	5,104.29
期中の買戻し	(10,392.56)
期末残高	55,683.22
クラスＥ株式：	
期首残高	63,359.48
期中の発行	36,774.39
期中の買戻し	(53,980.69)
期末残高	46,153.18

マスターファンドの発起人株式は投資顧問会社の株主が保有している。クラスＡ株式27,692.88株は、関連会社が保有している。

当該株式に付随する権利は以下のとおりである。

発起人株式

発起人株式は、額面価額でのみ発行することが可能で、株主の選択により買戻すことはできない。発起人株式は、１株当たり１票の議決権を有し、マスターファンドの解散時には以下に記載されている権利が与えられるが、マスターファンドの利益又は資産に関するその他の権利は与えられていない。

参加型株式

参加型株式は、関連する取引日における各株式クラスの１株当たり純資産価額で買戻すことができるが、定款で認められている事項に関する場合を除き議決権は与えられていない。参加型株式の株主は、保有株式に対して払い込んだ金額の割合に応じて、宣言され支払われる配当を受け取る権利を有している。

株式に付随する権利は、クラスの発行済み株式のすべての株主による書面の同意をもって、あるいは該当するクラスの株主総会において４分の３以上の同意により可決した決議の承認をもって変更することができる。

マスターファンドが解散する際に、株主に分配可能な資産は、債権者に対する支払い並びに投資顧問会社、事務管理会社、又はその他の専門的アドバイザーに対する未払報酬の支払いに充当された後、以下の優先順位で支払われる。

・　第一に、参加型株式の保有者に対して、払込済の額面金額相当額が支払われる。
・　第二に、発起人株式の保有者に対して、払込済の額面金額相当額が支払われる。
・　第三に、参加型株式の保有者に対して、保有株式数に応じて残高が支払われる。

2022年12月31日現在、マスターファンドのクラスＣ（ユーロ）参加型株式19,743.56株が関連当事者によって保有されている。

８．管理報酬

マスターファンドの投資活動は、共通支配下に置かれている関連当事者である投資顧問会社により管理されている。投資顧問契約の条件に基づいて、投資顧問会社は、クラスＡ株式の純資産価額の１％（年率）相当の管理報酬を月次で後払いで受領している。

2022年12月31日現在、未払金及び未払費用に含まれている未払管理報酬は1,709米ドルである。

９．成功報酬

また、投資顧問会社は、投資顧問契約で定義されているとおり、クラスＡ株式の純資産価額が過去の最高水準を上回った部分について、増加分の35%を成功報酬として受け取る権利を有している。成功報酬は月次で計算され、後払いされる。2022年12月31日現在、未払成功報酬残高は０米ドルである。

投資顧問会社に対する成功報酬は、独立第三者間の交渉により設定されたものではないため、投資顧問会社に対して支払われる成功報酬は、かかる契約がない場合に比べてリスクが高い、又は投機的な投資を行う誘因となる可能性がある。

10. 事務管理報酬

2022年４月１日以降、事務管理契約に基づいて、マスターファンドはＮＡＶファンド・アドミニストレーション・グループ（以下、「当事務管理会社」という。）に対し、マスターファンドの純資産価額の総額が０米ドルから5,000万米ドルの間の場合は年率0.042%、マスターファンドの純資産価額の総額が5,000万米ドルから１億米ドルの間の場合は年率0.0245%、マスターファンドの純資産価額の総額が１億米ドル超の場合は年率0.007%の事務管理報酬を毎月後払いで支払っており、最低事務管理報酬は月額1,500米ドルである。

2022年４月以前は、エイペックス・ファンド・サービシーズ・エス・エー（以下、「旧事務管理会社」という。）に対し、マスターファンドの純資産価額の総額が０米ドルから5,000万米ドルの間の場合は年率0.06％、マスターファンドの純資産価額の総額が5,000万米ドルから１億米ドルの間の場合は年率0.035%、マスターファンドの純資産価額の総額が１億米ドル超の場合は年率0.01%の事務管理報酬を毎週後払いで支払っており、最低事務管理報酬は31,530米ドルであった。

2022年12月31日現在の未払金及び未払費用に含まれている未払事務管理報酬は3,493米ドルである。

11. 公正価値

2022年12月31日現在、経営陣は、金融商品の各クラスの公正価値を見積るにあたり以下の手法及び仮定を使用した。現金、未払買戻金、並びに未払金及び未払費用を含むマスターファンドの特定の金融商品に関しては、これらの金融商品が直ちに期日を迎える又は短期的な性質のものであるため、帳簿価額は公正価値に近似している。

ＭＭＦへの投資は公正価値で測定されている。公正価値は、当該ＭＭＦによって報告されたとおりに、マスターファンドに帰属する純資産として決定される。

未決済の先物契約のポジションは、市場価格又はディーラーによる提示価格に基づく市場価値で計上されているため、帳簿価額は公正価値に近似している。関連プライベート投資ファンドへの投資の公正価値は、実務手段として、投資先ファンド及び／又はその事務管理会社から提供される価値で計上されている。

未決済の先渡契約への投資は、デリバティブ契約が締結された日の公正価値で当初認識されている。先渡契約の公正価値の変動により生じる評価増減は、損益計算書に直接計上されている。当初測定の後は、先渡契約は公正価値で測定されている。

ファンドへの投資は、アンダーライング・ファンド及び／又はその事務管理会社から提示された価額が、実務上便宜的に公正価値として計上されている。

公正価値の見積りは、市況及び金融商品に関する情報に基づいて、特定の時点に行われる。これらの見積りは本来主観的なものであり、不確定要因及び重要な判断を伴うため、正確に行えるものではない。仮定の変更により、見積に重要な影響を及ぼす可能性がある。

12. 関連当事者

投資顧問会社は、共通支配下に置かれている関連当事者である。投資顧問会社に支払われる報酬は、独立第三者間の交渉により設定されたものではない。

マスターファンドは、投資会社のスーパーファンド・グループに属するスーパーファンド・グリーン・ゴールド・セグリゲイテッド・ポートフォリオ・クリプト・ファンド（「SF Crypto Fund」）に投資していた。マスターファンドの投資顧問は、SF Crypto Fundの投資顧問も兼ねている。2022年12月31日現在、SF Crypto Fundへの投資の公正価値は246,466米ドルであり、マスターファンドの純資産の0.97%に相当する。当年度中、この投資の9,000米ドルの購入及び382,000米ドルの売却が行われた。

13. 財務ハイライト

	クラスA	クラスB	クラスC	クラスE
	米ドル	米ドル	ユーロ	円
１株当たりの業績（期中発行済み参加型株式に関して）（1）：				
期首の参加型株式１株当たり純資産価額	82.20	306.99	254.63	15,459.54
投資事業による収入				
正味投資（損失）／収入	(5.19)	1.98	0.94	54.34
投資に係る正味実現損失及び未実現損失の変動	(10.05)	(43.90)	(39.86)	(2,414.24)
投資事業による損失合計	(15.24)	(41,92)	(38.92)	(2,359.90)
期末の参加型株式１株当たり純資産価額	66.96	265.07	215.71	13,099.64
成功報酬前総利回り	(12.84)%	(13.66)%	(15.89)%	(15.27)%
成功報酬	(5.71)%	0.00 %	0.01 %	0.05 %
総利回り（2）	(18.55)%	(13.66)%	(15.29)%	(15.22)%
補足情報：				
平均純資産比率				
営業費用及びその他費用	(1.26)%	(0.26)%	(0.26)%	(0.26)%
成功報酬	(5.64)%	0.00 %	0.00 %	0.00 %
費用合計	(6.90)%	(0.26)%	(0.26)%	(0.26)%
正味投資（損失）／収入（成功報酬を除く）	(0.61)%	0.63 %	0.38 %	0.37 %

（１）期中の平均発行済み株式数に基づく。

（２）各投資家の利回りは、株式の申込み及び買戻しの時期により異なる可能性がある。

14. 後発事象

これらの財務諸表を作成するにあたり、経営陣は、当該財務諸表の公表が可能となった2023年６月27日までのすべての重要な後発事象を評価し、開示した。

2022年12月31日より後、クラスＣに対して621,000ユーロの申込が処理され、約362,000ユーロの買戻しが処理された。

次へ

スーパーファンド ＳＰＣ －分別ポートフォリオ・システマティック・オールウェザー・ファンド

貸借対照表

2022年12月31日現在

（単位：ユーロ）

		2022年	
	注記	ユーロ	千円
資産			
現金		3,947,366	670,184
ブローカーに対する債権	3	3,206,595	544,416
未決済先物契約に係る未実現利益	2(d),4,5	204,060	34,645
未決済先渡契約に係る未実現利益	2(d),4,5	9,904	1,682
スーパーファンド・ジャパン　サブファンド・システマティック・オールウェザーに係る未収金	12	15,219	2,584
その他の資産		11,760	1,997
		7,394,904	1,255,507
負債			
ブローカーに対する債務	3	505,923	85,896
未決済先物契約に係る未実現損失	2(d),4,5	201,592	34,226
未決済先渡契約に係る未実現損失	2(d),4,5	16,275	2,763
未払買戻金		86,430	14,674
未払金及び未払費用	7	28,593	4,855
		838,813	142,414
純資産		6,556,091	1,113,093

	2022年	
	ユーロ	円
クラスＳ（ユーロ）株式１株当たり純資産：（発行済 4,179.67株に基づく）	906.92	153,976.88
クラスＢジャパン（円）株式１株当たり純資産：（発行済 271,632.72 株に基づく）	―	547.67
クラスＢジャパン（ゴールド・ユーロ）株式１株当たり純資産：（発行済 2,254.74株に基づく）		
2022年12月31日現在のクラスＢジャパン（ゴールド・ユーロ）株式の価値合計：1,000.99オンス（金）	0.44オンス	
2022年12月31日現在の金の価格：1,703.90ユーロ		

添付の財務諸表注記参照。

スーパーファンド ＳＰＣ　－分別ポートフォリオ・システマティック・オールウェザー・ファンド

要約投資明細書

2022年12月31日現在
（単位：ユーロ）

銘柄（純資産における%）	満期	想定元本	公正価値
先物契約（3.12%）			
債券（0.41%）	2023年３月	3,063,272	26,857
通貨（1.03%）	2023年３月	4,149,755	67,268
コモディティ（0.08%）	2023年２～４月	439,400	5,130
エネルギー（0.42%）	2023年２～３月	760,299	27,324
食品／繊維／木材／ゴム（0.15%）	2023年３月	579,322	9,559
金（0.83%）	2023年２月	1,705,932	54,689
インデックス（0.20%）	2023年１～３月	869,348	13,233
先物契約に係る未実現利益合計			204,060

銘柄（純資産における%）	満期	想定元本	公正価値
先物契約（－3.08%）			
債券（－0.58%）	2023年３月	2,681,949	(37,790)
通貨（－0.17%）	2023年３月	2,007,590	(11,434)
コモディティ（0.00%）	2023年２～３月	11,934	(101)
エネルギー（－0.01%）	2023年２月	74,974	(336)
食品／繊維／木材／ゴム（－0.02%）	2023年２～３月	120,275	(1,013)
インデックス（－2.30%）	2023年１～３月	5,130,805	(150,848)
金属（0.00%）	2023年３月	55,395	(70)
先物契約に係る未実現損失合計			(201,592)

銘柄（純資産における%）	満期	想定元本	公正価値
先渡契約（0.15%）			
外国為替（0.15%）	2023年３月	884,418	9,904
先渡契約に係る未実現利益合計			9,904

添付の財務諸表注記参照。

スーパーファンド ＳＰＣ　－分別ポートフォリオ・システマティック・オールウェザー・ファンド

要約投資明細書

2022年12月31日現在
（単位：ユーロ）

銘柄（純資産における%）	満期	想定元本	公正価値
先渡契約（－0.25%）			
外国為替（－0.25%）	2023年３月	891,271	(16,275)
先渡契約に係る未実現損失合計			(16,275)

添付の財務諸表注記参照。

スーパーファンド ＳＰＣ　－分別ポートフォリオ・システマティック・オールウェザー・ファンド

損益計算書

2022年12月31日に終了した年度
（単位：ユーロ）

	注記	2022年 ユーロ	2022年 千円
投資収益			
その他収益		3,733	634
		3,733	634
費用			
投資顧問報酬	7	75,364	12,795
専門家報酬		38,209	6,487
成功報酬	8	27,439	4,659
事務管理報酬	9	19,897	3,378
支払利息		8,780	1,491
その他費用		37,007	6,283
		206,696	35,093
正味投資損失		(202,963)	(34,459)
投資及び外貨に係る実現及び未実現損失			
投資及び外貨に係る正味実現損失		(1,725,690)	(292,988)
投資及び外貨に係る未実現損失の変動		(99,405)	(16,877)
		(1,825,095)	(309,865)
営業活動から生じた純資産の正味減少額		(2,028,058)	(344,324)

添付の財務諸表注記参照。

スーパーファンド ＳＰＣ　－分別ポートフォリオ・システマティック・オールウェザー・ファンド

純資産変動計算書

2022年12月31日に終了した年度
（単位：ユーロ）

	2022年	
	ユーロ	千円
営業活動		
正味投資損失	(202,963)	(34,459)
投資及び外貨に係る正味実現損失	(1,725,690)	(292,988)
投資及び外貨に係る未実現損失の変動	(99,405)	(16,877)
	(2,028,058)	(344,324)
資本取引		
参加型株式の発行による収入：		
クラスＢジャパン（ゴールド・ユーロ）	645,717	109,630
クラスＢジャパン（円）	269,742	45,797
参加型株式の買戻しによる支払い：		
クラスＢジャパン（ゴールド・ユーロ）	(339,888)	(57,706)
クラスＢジャパン（円）	(169,930)	(28,851)
	405,641	68,870
当期純資産減少額	(1,622,417)	(275,454)
期首純資産残高	8,178,508	1,388,547
期末純資産残高	6,556,091	1,113,093
期末純資産残高の内訳：		
クラスＳ（ユーロ）利益参加シェア	3,790,611	643,570
クラスＢジャパン（ゴールド・ユーロ）利益参加シェア	1,705,578	289,573
クラスＢジャパン（円）利益参加シェア	1,059,902	179,950
	6,556,091	1,113,093

添付の財務諸表注記参照。

財務諸表注記

2022年１月１日から2022年12月31日までの期間

（単位：ユーロ）

１．設立及び主な活動

スーパーファンドSPC分別ポートフォリオ・システマティック・オールウェザー・ファンド（「以下、「当ファンド」という。）は、スーパーファンドSPC（以下、「当社」という。）の分別ポートフォリオの一つである。当社は、2005年１月４日にケイマン諸島の会社法に基づいて適用免除分別ポートフォリオ会社として設立され、2005年１月18日にケイマン諸島のミューチュアル・ファンド法に基づいて登録された。

当ファンドの投資目的は、先物、先渡契約又はオプションのレバレッジ取引を通じて、キャピタル・ゲインを達成することである。当ファンドは、主にロング・オンリーのリスクパリティ戦略を通じて投資目的を達成する。この戦略はスーパーファンド・グループの関連会社が独自に開発した運用戦略である。また、他の戦略が限られた重しづけで用いられることもある。他の戦略には、先物／先渡契約の短期売り戦略も含まれている。

当社の資産は、一般資産または分別ポートフォリオ資産のいずれかである。分別ポートフォリオに帰属する資産は、分別ポートフォリオに帰属する株式資本および準備金を表す資産と、その分別ポートフォリオに帰属または保有するその他の資産で構成されている。一般資産は、分別ポートフォリオ資産ではない当社の資産で構成されている。特定の分別ポートフォリオに関する取引から発生し、その分別ポートフォリオ内に十分な資産がない場合の負債は、他の分別ポートフォリオの資産からではなく、一般資産でまかなう。

2022年12月31日現在、当社は１つの分別ポートフォリオ、すなわち、スーパーファンドSPC分別ポートフォリオ・システマティック・オールウェザー・ファンドを有しており、当ファンドは３つの参加株式クラスを発行している。すなわち、クラスＳ（ユーロ）、クラスＢジャパン（ゴールド・ユーロ）、クラスＢジャパン（円）である。

スーパーファンド・キャピタル・マネジメント・インク（以下、「投資顧問会社」という。）が、投資顧問契約に基づき、当社の投資顧問を務めている。

２．重要な会計方針

当財務諸表は、米国会計基準審議会（以下、「FASB」という。）の会計基準編纂書（以下、「ASC」という。）に詳述される米国で一般に公正妥当と認められる会計原則（以下、「US GAAP」という。）に従って作成されている。当ファンドはUS GAAPにおける投資会社に該当するため、FASB ASC 946「金融サービス－投資会社」に規定される投資会社向けの会計・報告指針に従っている。

当ファンドが適用した重要な会計方針は以下のとおりである。

（ａ）見積りの使用

US GAAPに準拠した財務諸表の作成にあたって、経営陣は、財務諸表日現在の資産及び負債の報告金額並びに偶発資産及び負債の開示、並びに当報告期間中の収益及び費用の報告額に影響を及ぼす見積り及び仮定を行うことが求められている。実際の結果は、それらの見積りとは異なる可能性がある。

（ｂ）先物契約

未決済先物契約は、契約価格と、公表レート又は適切なレートが容易に入手できない場合はブローカーが提供するレートに基づく市場価値との差額として計算された公正価値で計上される。実現損益及び未実現損益の変動は、損益計算書に計上される。

（ｃ）先渡契約

未決済先渡契約は、契約価格と、該当する公表フォワード・レートとの差額として計算された市場価値にて計上される。実現損益と未実現損益の変動額は損益計算書に計上される。

（ｄ）公正価値による投資の評価　－　定義及び階層

USGAAPは公正価値の階層を規定しており、公正価値を測定する際に用いられる評価手法への入力データの優先順位を、以下に説明される３つのレベルに分類している。

レベル１：　活発な市場における同一資産又は負債について経営陣が入手可能な未調整の相場価格に基づく評価。レベル１の有価証券に対しては、評価調整及び大量保有による割引価値の利用は適用されない。評価は活発な市場において容易にかつ定期的に入手可能な相場価格に基づいているため、当該レベルに分類される有価証券の評価については重要な判断は必要とされない。

レベル２：　活発でない市場における相場価格、あるいは重要なデータがすべて直接又は間接的に観察可能な価格に基づく評価。

レベル３：　公正価値測定の全体に対して重要であるが観察不能なデータに基づく評価。

下表は、上述の公正価値の階層に基づく当ファンドの投資に係る評価の要約である。

資産	合計	レベル１	レベル２
	（ユーロ）	（ユーロ）	（ユーロ）
未決済先物契約に係る未実現利益	204,060	204,060	－
未決済先渡契約に係る未実現利益	9,904	－	9,904
合計	213,964	204,060	9,904

負債	合計	レベル１	レベル２
	（ユーロ）	（ユーロ）	（ユーロ）
未決済先物契約に係る未実現損失	(201,592)	(201,592)	－
未決済先渡契約に係る未実現損失	(16,275)	－	(16,275)
合計	(217,867)	(201,592)	(16,275)

2022年12月31日に終わった年度において、レベル間での移動はなかった。

（ｅ）受取利息及び支払利息

受取利息及び支払利息は発生主義で計上される。

（ｆ）外貨

外貨建て又は外貨で会計処理される資産及び負債は、貸借対照表日現在で適用される為替レートでユーロに換算される。外貨建て取引は取引日の為替レートでユーロに換算される。換算によって生じる実現損益及び未実現損益の変動は、損益計算書に計上される。

当ファンドは外貨建ての有価証券への投資及び現金に係る為替レートの変動により生じる損益と、保有有価証券の市場価格の変動により生じる損益を区別していない。このような変動は投資及び外貨に係る正味実現利益／（損失）及び未実現利益／（損失）の変動に含まれる。

（ｇ）法人税等

ケイマン諸島では、収益又は利益に対して課税されることはなく、当社は、税制優遇措置法第６条の規定に従って、2025年１月18日までの期間における将来の収益又は利益に関するすべての現地における税金を免除する旨の誓約をケイマン諸島の総督から受け取っている。したがって、法人税等に関する引当金はこれらの財務諸表に含まれていない。

当ファンドは、税務調査が実施された場合に、テクニカル・メリットに基づいて容認される可能性が高い（50%超の確率）特定のタックス・ポジションについてのみ税務便益を認識している。当ファンドは、すべての主要な税管轄区域におけるすべての税務調査対象年度について分析を行っている。税務調査対象年度とは、各管轄区域の出訴期限法で定義された税務当局による税務調査の対象となりうる年度である。

経営陣は当ファンドのタックス・ポジションを分析した結果、未確定のタックス・ポジションに関して、未認識の税務便益について負債を計上する必要はないと判断した。さらに経営陣は、今後12ヵ月の間に未認識の税務便益の合計額が著しく変化する合理的な可能性のあるタックス・ポジションも存在しないと考えている。

（ｈ）収益及び費用の配分

特定の分別ポートフォリオに関連付けることが可能な収益及び費用は、純資産価額の算定において、各分別ポートフォリオに配分又は費用計上される。その他の収益及び費用は、分別ポートフォリオ間で比例配分されるか、あるいは取締役会の判断により配分される。

（ｉ）相殺

金融資産及び負債（未決済先物契約に係る未実現損益を含む。）は、当ファンドが認識された金額を相殺する法的な権利を有しており、当該取引を純額ベース又は同時に決済する意図がある場合は相殺され、純額で貸借対照表に計上される。当期、当ファンドは相殺の要件を満たしていない。

（ｊ）１株当たり純資産価額

１株当たり純資産価額（以下、「１株当たりNAV」という。）は、クラスＳ（ユーロ）参加シェアではユーロで、クラスＢジャパン（円）参加シェアでは円で表示されている。クラスＢジャパン（ゴールド・ユーロ）参加シェアは金の単位オンスで表示されており、特定のクラスに帰属する分別ポートフォリオの純資産価額を、計算時における当該クラスの発行済み株式数で除し、金の単位オンスで表示されている株式については、さらにロンドンの金１オンス当たりの午前決め値で除することで計算される。

（ｋ）未払買戻金

当ファンドの保有者の選択により買い戻される株式は、買戻請求を受領し、買戻金額が確定した時点で未払買戻金として分類される。

（ｌ）未受領申込金

未受領申込金は、2022年12月31日以前に発行された株式に関して保有者から受領する予定の金額を表す。

３．ブローカーに対する債権／ブローカーに対する債務

ブローカーに対する債権には、ＡＤＭインベスター・サービシズ・インク及びＩＮＴＬ　ＦＣストーン・ファイナンシャル・インクに預けている現金残高（未決済の証券取引に関する未払金控除後）が含まれ、未決済先物契約に関して担保として差し入れられている証拠金が949,173ユーロ含まれている。2022年12月31日現在、ブローカーに対する債権には、未決済取引に関する未収金及び未払金は含まれていない。

４．金融商品

市場リスク、信用リスク及び流動性リスク

通常の事業の過程において、当ファンドは、市場リスク及び信用リスクを招く可能性のある様々な金融商品を売買しており、そのリスクの金額は、財務諸表からは明白ではない。

市場リスクとは、金利、為替レート又は株式及びコモディティ価格の変動が、当ファンドの保有しているポジションに影響を及ぼすリスクである。当ファンドは、市場価格で評価されている金融商品に関する市場リスクにさらされている。

投資戦略の一環として、当ファンドは上場有価証券の取引を行い、先物及びスポットFX契約並びにスワップ契約を締結している。先物契約は組織化された取引所で売買されており、現金又は市場性のある有価証券による証拠金（担保）が要求される。証拠金は日次で時価評価される先物契約の価値の変動を反映するために調整される。先物契約保有者にとって契約内容の履行に関する相手先は相殺ポジションを保有する事業体ではなく取引所である。

スワップ契約の基礎となる有価証券の価値の増減が当ファンドに未実現損失をもたらした場合、定期的に、当ファンドは最低証拠金を維持するために追加証拠金の差入れを求められる場合がある。当ファンドはスワップの取引相手に差し入れた担保に関して市場レートでの利息を受け取っている。

これらの契約を締結する場合、契約相手が契約条件を履行できない可能性、及び基礎となる株式指標の増減によりリスクが生じる可能性がある。

その他の市場リスクには、契約の価値の変動が、基礎となる通貨、コモディティ又は株式指標の価値の変動と直接相関していない可能性が含まれる。先物契約の取引には、当ファンドの投資収益率が上がるとともに通常の投資リスクを上回る特定のリスクが伴う可能性がある。

信用リスクとは、契約相手が債務不履行に陥るリスクである。信用リスクは、通常、取引所外で取引された金融商品の場合に高くなる。これは、取引所外で取引される金融商品の契約相手については、取引所清算機関の履行保証がないためである。

流動リスクとは、当ファンドが責務を果たすための資金調達において困難に遭遇するリスクである。流動性リスクは、公正価値に近い金額で投資を迅速に売却できないことから生じる可能性がある。

先物市場は変動が非常に大きく、需給関係の変動、政府のプログラム及び政策、国内外の政治及び経済事象、並びに金利の変動等の要因による影響を受ける。さらに、通常、先物取引において要求される証拠金比率は低いため、先物商品勘定のレバレッジ率が高くなる傾向がある。その結果、先物契約における比較的少額の価格変動が取引当事者に多額の損失を発生させる可能性がある。また先物取引の流動性が低い可能性もある。特定の先物取引所は特定の先物契約に関して、１日の取引における価格変動の制限値を越

える価格での取引を認めていない。この１日の取引における価格変動の制限値を超えて価格が変動した場合、当ファンドは不利なポジションを即時に処分することができず、多額の損失を被る可能性がある。

投資戦略の一環として、当ファンドはレバレッジを利用している。レバレッジの概念は、当ファンドの借入費用が、一般的に、保有する投資の収益率を下回るという前提に基づいている。レバレッジの利用により、当ファンドに投資された株主資本に対する収益率が上がる可能性がある一方で、当該株主資本の損失リスクも増える。

当ファンドの投資顧問会社であるスーパーファンド・キャピタル・マネジメント・インクは、適切なレバレッジ水準を維持するための内部指針及び制限値を設定している。

５．デリバティブ契約

当ファンドは様々な先物及びスワップ契約をトレーディング目的で行っており、これらの金融商品は主に金利、為替レート、株価及びコモディティ価格に関するリスクにさらされている。これらのリスクに加えて、デリバティブ契約への投資は、その投資全体又は一部に損失を生じさせる可能性のある別のリスクにもさらされている。

当ファンドはデリバティブ取引を時価評価している。公正価値は市場価格を用いて決定されている。

2022年12月31日現在、当ファンドはいかなるデリバティブポジションも保有していなかった。

下表には、契約種類ごとのデリバティブ契約の実現損益及び未実現損益を含んでいる。この金額は2022年12月31日に終了した年度の損益計算書の投資及び外貨に係る正味実現利益、並びに投資及び外貨に係る未実現利益の変動に含まれている。

	デリバティブ資産		デリバティブ負債		未実現利益（損失）	実現利益（損失）
	公正価値	想定元本	公正価値	想定元本		
	ユーロ	ユーロ	ユーロ	ユーロ	ユーロ	ユーロ
先物契約						
債券先物	26,857	3,063,272	(37,790)	2,681,949	31,359	(526,231)
通貨	67,268	4,149,755	(11,434)	2,007,590	69,945	(195,757)
コモディティ	5,130	439,400	(101)	11,934	(4,841)	(70,372)
エネルギー	27,324	760,299	(336)	74,974	(17,680)	296,745
食品／繊維／木材／ゴム	9,559	579,322	(1,013)	120,275	8,146	9,439
金	54,689	1,705,932	—	—	28,305	(165,750)
インデックス	13,233	869,348	(150,848)	5,130,805	(212,195)	(1,372,324)
金属	—	—	(70)	55,395	(70)	31,464
合計	204,060	11,567,329	(201,592)	10,082,922	(97,031)	(1,992,786)

	デリバティブ資産	想定元本	デリバティブ負債	想定元本	未実現損失	実現損失
	ユーロ	ユーロ	ユーロ	ユーロ	ユーロ	ユーロ
先渡契約						
外国為替	9,904	884,418	(16,275)	891,271	(2,374)	266,341
合計	9,904	884,418	(16,275)	891,271	(2,374)	266,341

６．株式資本

	2022年
	ユーロ
授権株式：	

１株当たり額面0.01ユーロの経営株式（100株）	1
１株当たり0.001ユーロの参加型株式（99,999,000株）	99,999
	100,000

	2022年 株式数
発行済み及び全額払込済み：	
経営株式	100
クラスＢジャパン（ゴールド・ユーロ）株式：	
期首残高	1,954.21
期中の発行	691.79
期中の買戻し	(391.26)
期末残高	2,254.74
クラスＢジャパン（円）株式：	
期首残高	258,250.60
期中の発行	52,288.16
期中の買戻し	(38,906.04)
期末残高	271,632.72
クラスＳ（ユーロ）株式：	
期首残高	4,179.67
期末残高	4,179.67

当該株式に付随する権利は以下のとおりである。

経営株式

経営株式は、額面価額でのみ発行され、所有者の選択による償還はできない。当経営株式は、１株につき１票の議決権を有し、下記のような解散の際にその保有者に権利を付与するが、その他に当ファンドの利益や資産に参加する権利は付与されない。2022年12月31日現在、経営株式は投資顧問会社の関連会社が保有していた。

参加型株式

分別ポートフォリオ・システマティック・オールウェザー・ファンドの初回の最小購入金額は、クラスＢジャパン（ゴールド・ユーロ）株式では50,000ユーロ、クラスＢジャパン（円）株式では5,000,000円である。既存の株主によるその後の購入には、クラスＢジャパン（ゴールド・ユーロ）株式は5,000ユーロ、クラスＢジャパン（円）株式は500,000円の最低購入額が必要となる。

目論見書に記載されている最低投資額及び保有額は、通貨の変動または同様の変化を考慮して、取締役が独自の裁量で随時調整することができるものとする。

参加型株式は、任意の償還日にそれぞれの種類の株式１株当たりの純資産額で償還することができ、定款で認められた事項を除き、議決権を持たない。参加型株式の保有者は、それぞれ保有する株式の払込金額に応じて、宣言され支払われる配当を受け取る権利を有している。2022年12月31日時点で、クラスＳ（ユーロ）3,337.62株、クラスＢジャパン（ゴールド・ユーロ）2,254.74株、クラスＢジャパン（円）271,632.72株がそれぞれ関連会社によって保有されている。

当社の清算時には、分別ポートフォリオ及び一般資産は、まず最初に分別ポートフォリオ債権者及び一般債権者の請求を返済する。一般資産の残高がある場合は、経営株式の名目払込資本金の返済に充てら

れ、残額は各分別ポートフォリオの純資産価額に応じて分別ポートフォリオに移転される。各分別ポートフォリオの資産は、それぞれの分別ポートフォリオの株主に対して、保有する株式数に応じて支払われる。分別ポートフォリオに複数の種類の参加株式がある場合、分別ポートフォリオの資産は、相対的な純資産価値に応じて各種類に比例して配分され、保有する当該種類の参加株式の数に応じて株主に支払われる。

７．投資顧問報酬

当ファンドの投資活動は、共通の支配下にあることから関連当事者である投資顧問会社によって管理されている。投資顧問契約の条件に基づき、投資顧問会社は、分別ポートフォリオ・システマティック・オールウェザー・ファンド内の各クラスの株式の純資産価値の年率1.0%の投資顧問報酬を、毎月、前月の最終評価日から15日以内に受け取る。

2022年12月31日現在、未払い金及び未払費用には、5,662ユーロの未払投資顧問報酬が含まれている。

８．成功報酬

投資顧問会社は、目論見書で定義される通り、各株式クラスの１株当たり純資産価額が過去の最高水準を上回った部分について、クラスＢ及びクラスＳは増加額の20%を成功報酬として受け取る権利を有している。クラスＳ（ユーロ）は利益が当初インデックス値の150%を上回った場合にのみ支払われる。成功報酬はそれぞれ月次で計算され後払いされる。

ゴールド・クラスの株式に関しては、１株当たりの純資産価額及びハイ・ウォーターマークは、当該クラスの関連通貨建て及び金オンスの両方で計算される。ハイ・ウォーターマークを基準とする成功報酬の計算方法においては、投資顧問会社が他の全ての投資対象で新たな取引利益を達成した期間中に関連通貨建ての金価格が下落した場合、成功報酬が支払われる際の基準となる１株当たりの関連通貨建て価額が、過去に達成された１株当たりの関連通貨建て価額の最高値を下回るような可能性がある。この成功報酬の計算方法においては、金価格の上昇のみに起因する関連通貨建ての１株当たりの純資産価値の上昇は、成功報酬の対象にならない。

2022年12月31日現在、当期中に請求された成功報酬は27,439ユーロだった。

投資顧問会社に支払われる成功報酬は、独立第三者間の交渉により設定されたものではないため、この成功報酬が存在することにより、当該契約が存在しない場合と比べて、よりリスクの高い又はより投機的な性質の強い投資を行う誘因となる可能性がある。

９．事務管理報酬

2022年４月１日付で、ＮＡＶファンド・アドミニストレーション・グループ（以下、「当事務管理会社」という。）が当ファンドの事務管理会社に任命された。2022年４月１日以前はエイペックス・ファンド・サービシズ・エス・エーが、当ファンドの事務管理会社だった。

当期中に発生した事務管理報酬は19,897ユーロであり、2022年12月31日現在で3,944ユーロが未払いとなっていた。

10．公正価値

2022年12月31日現在において、経営陣が金融商品の各クラスの公正価値の見積もりに用いた手法と想定条件は以下の通りである。当ファンドの金融商品の一定部分の簿価は、現金、未払い買戻金、対ブローカー未収金・未払金、未払金・未払費用を含め、直ちに換金可能又は短期的な性質のものであるため、公正価値に極めて近い。

先物契約の未決済残高は、市場からの気配値又はディーラーからの気配値に基づいて時価にて形状される。従って簿価は公正価値に近似している。関連プライベート投資ファンドへの投資は、公正価値についての実際的な便宜地として投資先ファンド又はその事務管理会社から提供される価値にて計上される。

未決済の先渡契約に対する投資は、デリバティブ契約の締結日の公正価値にて初めて認識される。先渡契約の公正価値の変動から増価又は減価が生じた時は、直接損益計算書に計上される。当初計測の後は先渡契約は公正価値にて測定される。

公正価値の見積もりは、市場の状況と金融商品に関する情報に基づいて、特定の時点において行われる。この見積もりは本来主観的なものであり、不確定要因及び重要な判断を伴うため、正確に行えるものではない。仮定の変更により、見積りに重要な影響を及ぼす可能性がある。

11. 販売会社報酬

スーパーファンド・ディストリビューション・アンド・インベストメント・インク（以下、「販売会社」という。）は、当ファンドの販売会社を務めている。販売会社は販売会社報酬を一切課さないことに同意している。

12. 関連当事者間取引

投資顧問会社及び販売会社は、共通支配下に置かれている関連当事者である。投資顧問会社及び販売会社に対する支払報酬は、独立第三者間条件に基づく交渉により設定されたものではない。

スーパーファンド・ジャパンからの未収金 － スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・システマティック・オールウェザーには、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・システマティック・オールウェザーのために当ファンドが事前に受領した出資金15,219ユーロが含まれる。

次へ

12. 財務ハイライト

スーパーファンド ＳＰＣ －分別ポートフォリオ・システマティック・オールウェザー・ファンド

分別ポートフォリオ ・システマティック・オールウェザー・ファンド	クラスＳ（ユーロ）	クラスＢジャパン（円）	クラスＢジャパン（ゴールド・ユーロ）
	ユーロ	円	金オンス
１株当たりの業績（期中発行済み参加型株式に関して）（１）			
期首の参加型株式１株当たり純資産価額	1,183.01	706.64	0.58
正味投資損失	23.93)	14.66)	0.02)
投資及び外貨に係る正味実現及び未実現利益／（損失）の変動	(252.16)	(144.31)	(0.12)
投資活動による損失合計	(276,09)	(158.97)	(0.14)
期末の参加型株式１株当たり純資産価額	906.92	547.67	0.44
総利回り（２）	(23.34)%	(22.54)%	(24.14)%
補足情報：			
平均純資産比率			
営業費用及びその他の費用	2.37 %	2.36 %	2.36 %
成功報酬	―	―	1.26 %
費用合計	2.37 %	2.36 %	3.62 %
正味投資損失	(2.32)%	(2.31)%	(3.57)%

（１）期中平均発行済み参加型株式数に基づく。

（２）各投資家の利回りは、株式の申込み及び買戻しの時期により異なる可能性がある。

次へ

13. 後発事象

これらの財務諸表を作成するにあたり、経営陣は、当該財務諸表の公表が可能となった2023年６月27日までのすべての重要な後発事象を評価し、開示した。

次へ

SUPERFUND JAPAN – SUPERFUND JAPAN SUB-FUND GREEN

Statement of Assets and Liabilities

December 31, 2022
(stated in Japanese Yen)

	Note	
Assets		
Investment in funds, at fair value (Cost: ¥2,694,563,551)	2(b),3,11	2,643,192,097
Receivables from investment in funds		779,526
Cash		16,689,058
Cash denominated in foreign currencies (Cost: ¥2,894,168)		2,745,644
Other assets		1,797,354
		2,665,203,679
Liabilities		
Subscriptions received in advance		5,120,000
Payable to investment in funds		10,779,526
Accounts payable and accrued expenses	5,8,10	4,222,650
		20,122,176
Net assets		¥ 2,645,081,503

The accompanying notes are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND JAPAN – SUPERFUND JAPAN SUB-FUND GREEN

Statement of Assets and Liabilities (continued)

December 31, 2022
(stated in Japanese Yen)

Net assets per Class Gold JPY Units, based on 9,753,479 units outstanding (the total value of Class Gold JPY Shares in ounces of gold at December 31, 2022 is 5,314.82 Oz and the price of gold at December 31, 2022 is ¥239,153.01)	¥ Oz	130.32 0.001
Net assets per Class Silver JPY Units, based on 1,559,439 units outstanding (the total value of Class Silver JPY Shares in ounces of silver at December 31, 2022 is 49,449.93 Oz and the price of silver at December 31, 2022 is ¥3,139.50)	¥ Oz	99.55 0.032
Net assets per Class JPY Units, based on 9,009,299 units outstanding expressed in Japanese Yen	¥	69.48
Net assets per Class Gold USD Units, based on 608,437 units outstanding (the total value of Class Gold USD Shares in ounces of gold at December 31, 2022 is 335.28 Oz and the price of gold at December 31, 2022 is ¥239,153.01)	US$ Oz	1.01 0.001
Net assets per Class Silver USD Units, based on 2,333,353 units outstanding (the total value of Class Silver USD Shares in ounces of silver at December 31, 2022 is 109,545.32 Oz and the price of silver at December 31, 2022 is ¥3,139.50)	US$ Oz	1.12 0.047
Net assets per Class USD Units, based on 1,725,473 units outstanding expressed in US$	US$	0.75

The accompanying notes are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND JAPAN – SUPERFUND JAPAN SUB-FUND GREEN

Schedule of Investments

December 31, 2022
(stated in Japanese Yen)

Description (% of net assets)	Redemption Term	Number of shares	Cost	Fair value
INVESTMENTS IN FUNDS, at fair value (99.93%)				
Managed Futures				
Superfund Green Gold SPC B, Class B Japan (JPY) and Class B Japan (USD) (51.02%)	Weekly	964,285.25	1,376,419,063	1,349,491,742
Superfund Green SPC B, Class B Japan (JPY), Class B Japan (USD), Class B Japan (Silver USD) and Class B Japan (Silver JPY) (48.91%)	Weekly	1,166,114.46	1,318,144,488	1,293,700,355
Total investments in funds, at fair value (99.93%)			2,694,563,551	2,643,192,097

The accompanying notes are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND JAPAN – SUPERFUND JAPAN SUB-FUND GREEN

Statement of Operations

Year ended December 31, 2022
(stated in Japanese Yen)

	Note	
Expenses		
Administration fees	10	1,207,500
Professional fees		4,997,804
Trustee fees	9	1,333,635
Agent member company fees	8	2,476,095
Management fees	5	2,476,014
Other expenses		1,280,083
		13,771,131
Net investment loss		(13,771,131)
Net realized loss and movement in unrealized gain/(loss) on investments and foreign currency		
Net realized gain on investments and foreign currency		238,845,135
Movement in unrealized loss on investments and foreign currency		(383,483,310)
		(144,638,175)
Net decrease in net assets resulting from operations	¥	(158,409,306)

The accompanying notes are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND JAPAN – SUPERFUND JAPAN SUB-FUND GREEN

Statement of Changes in Net Assets

Year ended December 31, 2022
(stated in Japanese Yen)

Operations	
Net investment loss	(13,771,131)
Net realized gain on investments and foreign currency	238,845,135
Movement in unrealized loss on investments and foreign currency	(383,483,310)
	(158,409,306)
Capital transactions	
Proceeds from issue of Class Gold JPY Units	493,860,024
Proceeds from issue of Class Silver JPY Units	161,464,268
Proceeds from issue of Class JPY Units	141,949,268
Proceeds from issue of Class Gold USD Units	75,935,090
Proceeds from issue of Class USD Units	23,831,957
Proceeds from issue of Class Silver USD Units	324,257,014
Payments for redemption of Class Gold JPY Units	(474,844,264)
Payments for redemption of Class JPY Units	(52,332,047)
Payments for redemption of Class Silver JPY Units	(1,033,000)
Payments for redemption of Class Gold USD Units	(13,582,154)
Payments for redemption of Class USD Units	(28,980,529)
	650,525,627
Increase in net assets for year	492,116,321
Net assets at beginning of year	2,152,965,182
Net assets at end of year	¥ 2,645,081,503
Net assets at end of year consist of:	
Class Gold JPY	1,271,056,197
Class Gold USD	80,183,485
Class JPY	625,993,630
Class USD	168,681,909
Class Silver JPY	155,248,277
Class Silver USD	343,918,005
	¥ 2,645,081,503

The accompanying notes are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND JAPAN – SUPERFUND GREEN C JAPAN

Statement of Assets and Liabilities

December 31, 2022
(stated in Japanese Yen)

	Note		
Assets			
Investment in Master Fund			238,951,236
Cash			10,421,288
			249,372,524
Liabilities			
Accounts payable and accrued expenses	3,5,7		915,706
			915,706
Net assets		¥	248,456,818
Net assets per Class JPY Units, based on 2,064,114 units outstanding expressed in Japanese Yen		¥	65.30
Net assets per Class USD Units, based on 1,435,539 units outstanding expressed in US$		US$	0.60

The accompanying notes and the attached financial statements of Superfund Green SPC and Superfund Green Master are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND JAPAN – SUPERFUND GREEN C JAPAN

Statement of Operations

Year ended December 31, 2022
(stated in Japanese Yen)

	Note	
Net investment loss allocated from Master Fund		
Interest income		2,282,770
Expenses		(26,536,917)
		(24,254,147)
Sub-Fund expenses		
Administration fees	10	1,140,919
Trustee fees	9	1,333,635
Agent member company fees	8	332,280
Management fees	5	368,355
Professional fees		634,661
Interest expenses		54
Other expenses		(1,398,046)
		2,411,858
Net investment loss		(26,666,005)
Sub-Fund realized gain and movement in unrealized gain on foreign currency		
Net realized gain on foreign currency		680,783
Movement in unrealized gain on foreign currency		8,398
		689,181
Net realized loss and movement in unrealized gain on investments and foreign currency allocated from Master Fund		
Net realized loss on investments and foreign currency		(73,548,741)
Movement in unrealized gain on investments and foreign currency		31,155,915
		(42,392,826)
Net decrease in net assets resulting from operations	¥	(68,369,650)

The accompanying notes and the attached financial statements of Superfund Green SPC and Superfund Green Master are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND JAPAN – SUPERFUND GREEN C JAPAN

Statement of Changes in Net Assets

Year ended December 31, 2022
(stated in Japanese Yen)

Operations		
Net investment loss		(26,666,005)
Net realized loss on investments and foreign currency		(72,867,958)
Movement in unrealized gain on investments and foreign currency		31,164,313
		(68,369,650)
Capital transactions		
Payments for redemption of Class JPY Units		(49,533,719)
Payments for redemption of Class USD Units		(12,268,432)
		(61,802,151)
Decrease in net assets for year		(130,171,801)
Net assets at beginning of year		378,628,619
Net assets at end of year	¥	248,456,818
Net assets at end of year consist of:		
Class JPY		134,790,697
Class USD		113,666,121
	¥	248,456,818

The accompanying notes and the attached financial statements of Superfund Green SPC and Superfund Green Master are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND JAPAN – SUPERFUND JAPAN SUB-FUND SYSTEMATIC ALL WEATHER

Statement of Assets and Liabilities

December 31, 2022
(stated in Japanese Yen)

	Note		
Assets			
Investment in Master Fund			388,153,429
Cash			15,106,308
Cash denominated in foreign currencies (Cost: ¥462,221)			497,342
Other assets			1,805,334
			405,562,413
Liabilities			
Subscriptions received in advance			200,000
Accounts payable and accrued expenses	3,5,7		1,140,417
Payable to Master fund			2,130,000
			3,470,417
Net assets		¥	402,091,996
Net assets per Class Gold JPY Units, based on 3,827,813 units outstanding expressed in Japanese Yen		¥	64.79
Net assets per Class JPY Units, based on 4,258,577 units outstanding expressed in Japanese Yen		¥	36.18

The accompanying notes and the attached financial statements of Superfund SPC are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND JAPAN – SUPERFUND JAPAN SUB-FUND SYSTEMATIC ALL WEATHER

Statement of Operations

Year ended December 31, 2022
(stated in Japanese Yen)

	Note	
Net investment loss allocated from Master Fund		
Interest income		225,482
Expenses		(13,955,204)
		(13,729,722)
Sub-Fund expenses		
Trustee fees	9	1,333,635
Distribution fees	7	2,054,248
Professional fees		1,205,299
Administration fees	10	1,046,831
Management fees	5	455,424
Agent member company fees	8	315,826
Interest expenses		80
Other expenses		2,251,674
		8,663,017
Net investment loss		(22,392,739)
Sub-Fund realized loss and movement in unrealized gain on foreign currency		
Net realized loss on foreign currency		(417,080)
Movement in unrealized gain on foreign currency		88,370
		(328,710)
Net realized loss and movement in unrealized gain on investments and foreign currency allocated from Master Fund		
Net realized loss on investments and foreign currency		(92,613,781)
Movement in unrealized gain on investments and foreign currency		20,668,108
		(71,945,673)
Net decrease in net assets resulting from operations		¥ (94,667,122)

The accompanying notes and the attached financial statements of Superfund SPC are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND JAPAN – SUPERFUND JAPAN SUB-FUND SYSTEMATIC ALL WEATHER

Statement of Changes in Net Assets

Year ended December 31, 2022
(stated in Japanese Yen)

Operations	
Net investment loss	(22,392,739)
Net realized loss on investments and foreign currency	(93,030,861)
Movement in unrealized gain on investments and foreign currency	20,756,478
	(94,667,122)
Capital transactions	
Proceeds from issue of Class Gold JPY Units	61,230,000
Proceeds from issue of Class JPY Units	25,870,000
Payments for redemption of Class Gold JPY Units	(12,370,773)
Payments for redemption of Class JPY Units	(9,379,326)
	65,349,901
Decrease in net assets for year	(29,317,221)
Net assets at beginning of year	431,409,217
Net assets at end of year	¥ 402,091,996
Net assets at end of year consist of:	
Class Gold JPY	248,008,244
Class JPY	154,083,752
	¥ 402,091,996

The accompanying notes and the attached financial statements of Superfund SPC are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND JAPAN

Notes to Financial Statements

December 31, 2022
(stated in Japanese Yen and United States Dollars)

1. Incorporation and principal activity

Superfund Japan (the "Trust") was established under the laws of the Cayman Islands by a trust deed (the "Trust Deed") executed by UBS Fund Services (Cayman) Ltd. (the "Retiring Trustee") and Superfund Japan Trading (Cayman) Limited (the "Manager"). The Trust was formed under the Trusts Act of the Cayman Islands pursuant to the Trust Deed on June 5, 2009 and was registered on June 29, 2009 under Section 4(1) (b) of the Mutual Funds Act of the Cayman Islands. The Trust's original name was Superfund Green Gold Japan. The name of the Trust was changed to Superfund Japan on January 1, 2018. Pursuant to a Deed of Retirement, Appointment and Variation, effective May 8, 2015, Harneys Fiduciary (Cayman) Limited (the "Trustee") has been appointed to be the trustee of the Trust. The Trustee provides the principal place of business for the Trust in the Cayman Islands.

The Trust is structured as an open-ended umbrella fund and has established Superfund Japan Sub-Fund Green, Superfund Green C Japan and Superfund Japan Sub-Fund Systematic All Weather (each a "Sub-Fund" and collectively the "Sub-funds"). Each Sub-Fund represents a separate pool of assets and liabilities which are managed separately from the other Sub-Fund.

Superfund Japan Sub-Fund Green invests substantially all of its assets in the segregated portfolio B of Superfund Green Gold SPC and Superfund Green SPC, Cayman Islands exempted Companies.

Superfund Green C Japan is part of a "master-feeder" structure, whereby it invests substantially all of its assets in the segregated portfolio C of Superfund Green SPC (the "Greens Master Fund"), a Cayman Islands exempted Company.

Superfund Green Gold SPC, is part of a "master-feeder" structure whereby it invests substantially all of its assets in Superfund Green Gold Master Segregated Portfolio of Superfund Green Gold Master SPC (the "Green Gold Master Fund"), a Cayman Islands exempted company. The Green Gold Master Fund's objective is long term capital appreciation through the use of technical analysis. The Green Gold Master Fund invests its assets in a variety of futures contracts, including gold futures and may also invest in physical gold.

The Green Master Fund, Superfund Green SPC is part of a "master-feeder" structure whereby it invests substantially all of its assets in Superfund Green Master (the "Green Ultimate Master Fund"), a Cayman Islands exempted company. The Green Ultimate Master Fund's objective is to provide investors with a form of investment independent of the development of equity and securities markets, and which potentially will achieve above average returns on long term capital appreciation. The Green Ultimate Master Fund intends to take advantage of investment opportunities and trading strategies and therefore has no pre-determined views on the characteristics of its future investments and is not subject to any restrictions.

1. Incorporation and principal activity (continued)

On July 1, 2021, the name of the Superfund Sharpe Parity was changed to Superfund Japan Sub-Fund Systematic All Weather.

Superfund Japan Sub-Fund Systematic All Weather is part of a "master-feeder" structure, whereby it invests substantially all of its assets in Systematic All Weather Fund, a segregated portfolio of Superfund SPC (the "Systematic All Weather Master Fund"), a Cayman Islands exempted Company.

The Systematic All Weather Master Fund's objective is to achieve capital appreciation through the leveraged trading of futures and forward contracts. The Segregated Portfolio Systematic All Weather Fund will pursue its objective mainly by employing a long-only risk parity strategy that utilizes proprietary trading strategies developed by members of the Superfund group of affiliated companies. Additionally, other strategies may be mixed-in with limited weight. These, other, strategies may also short-sell futures and/or forward contracts.

The Green Master Fund and the Systematic All Weather Master Fund are collectively referred to as the "Master Funds". The Green Ultimate Master Fund is referred to as the "Ultimate Master Fund".

The Manager has appointed Superfund Japan Co. Ltd. (the "Distributor"), as the Agent Member Company for the Trust in Japan pursuant to an Agent Member Company Agreement. The Agent Member Company is responsible for publicizing the net asset value per unit and submitting the financial statements to Japan Securities Dealers Association ("JSDA"). The Trust's annual audited financial statements are included in the Annual Securities Report and Securities Registration Statements and filed with the Kanto Local Finance Bureau, as part of Japanese filing requirements. The accompanying financial statements of the Green Master Fund, the Green Ultimate Master Fund and the Systematic All Weather Master Fund are included in this report and should be read in conjunction with the Trust's financial statements.

2. Significant accounting policies

The financial statements are prepared in conformity with accounting principles generally accepted in the United States of America ("GAAP") as detailed in Financial Accounting Standards Board's ("FASB") Accounting Standard Codification ("ASC").The Trust qualifies as an investment company under GAAP and follows the accounting and reporting guidance applicable to investment companies in FASB ASC 946, *Financial Services – Investment Companies.*

The significant accounting policies adopted by the Trust are as follows:

(a) Use of estimates

The preparation of financial statements in accordance with GAAP requires management to make estimates and assumptions that affect the reported amounts of assets and liabilities and disclosure of contingent assets and liabilities at the date of the financial statements, and the reported amounts of revenues and expenses during the reporting period. Actual results could differ from those estimates.

2. Significant accounting policies (continued)

(b) Investments in funds, at fair value

Investments in investment funds are presented at their net asset value ("NAV") as reported by the management of the investment funds. In accordance with the redemption and liquidity terms of the governing agreements of the investment funds, a divestment of Superfund Japan Sub-Fund Green's ownership interest in an investment fund is transacted with such investment fund at the applicable reported NAV of the investment fund. ASU-2015-07 removed the requirement to categorize within the fair value hierarchy all investments for which fair value is measured using the NAV practical expedient. The amount of assets measured using the NAV practical expedient at December 31, 2022, was ¥2,643,192,097 of Superfund Japan Sub-Fund Green.

Net realized and unrealized gain on investments in investment funds in the accompanying statement of operations included Superfund Japan Sub-Fund Green's proportionate share of interest, dividends, expenses, realized and unrealized gains and losses on security transactions and fees from the investment funds. Because of the uncertainty of the valuation, the estimated NAVs may differ from the value that would have been used had a ready market for the securities existed or from the value that could be received in a principal to principal transaction, and the difference could be material.

(c) Investments in the Master Funds' Segregated Portfolios

Investments in the Master Funds' Segregated Portfolios are accounted for on a trade date basis. Investments are initially measured at cost. Subsequent to initial recognition, investments are measured at fair value. Fair value is determined as the net assets attributable to the Trust, as reported by the Master Fund's administrator. Realized and unrealized gains and losses on investments are included in the statement of operations. The valuation policy of the Master Funds' and Ultimate Master Funds' investments are discussed in the notes to the Master Funds' and Ultimate Master Funds' financial statements included in this report.

(d) Investment income and expenses

Each Sub-Fund records its proportionate share of the Master Funds' Segregated Portfolios income, expenses and realized and unrealized gains and losses in its statement of operations weekly based on the value of its respective share of the net asset value of the Master Funds' Segregated Portfolio at the beginning of the period. In addition, each Sub-Fund also accrues its own income and expenses.

(e) Net asset value per unit

The net asset value per unit (the "NAV per unit") is expressed in both Japanese Yen, United States Dollars and ounces of gold and calculated by dividing the net asset value of the relevant Sub-Fund attributable to a particular class by the number of units of that class outstanding then, for units expressed in ounces of gold, further dividing the value obtained by the London AM gold fixing per ounce price prevailing on the relevant valuation day.

(f) Interest income and expense

Interest income and expense are recorded on an accrual's basis.

2. Significant accounting policies (continued)

(g) Cash

Cash is comprised of cash denominated in Japanese Yen and foreign currency due on demand as well as interest bearing deposits, all of which are considered to be highly liquid with original maturities of three months or less.

(h) Foreign currency

Assets and liabilities denominated or accounted for in foreign currencies are translated into Japanese Yen at the applicable exchange rates at the date of the statements of assets and liabilities.

Foreign currency transactions are translated into Japanese Yen at the rate of exchange ruling at the date of the transaction. Realized and unrealized gains and losses arising from translation are included in the statement of operations. The Trust does not isolate that portion of the results of operations resulting from changes in foreign exchange rates on investments from the fluctuations arising from changes in market prices of investments held. Such fluctuations are included with the net realized and unrealized gain or loss from investments and foreign currency.

(i) Taxation

There are no taxes on income or gains in the Cayman Islands and, in accordance with the provisions of Section 6 the Tax Concessions Act, the Trust has received an undertaking from the Governor in Cabinet of the Cayman Islands exempting it from all local taxation on future profits, income or gains until June 5, 2059. Accordingly, no provision for income taxes is included in these financial statements.

The Trust recognizes the tax benefits of uncertain tax positions only where the position is more-likely-than-not (i.e. greater than 50 percent) to be sustained assuming examination by a tax authority based on the technical merits of the position. The Trust analyzes all open tax years for all major taxing jurisdictions. Open tax years are those that are open for exam by taxing authorities, as defined by the statute of limitations in each jurisdiction.

Management has analyzed the Trust's tax positions and has concluded that no liability for tax expenses or assets for tax benefits should be recorded in relation to uncertain tax positions. Further, management is not aware of any tax positions for which it is reasonably possible that the total amounts of unrecognized tax benefits will significantly change in the next twelve months.

(j) Allocation of income and expenses

Income and expenses that are identifiable with a particular Sub-Fund are allocated to or charged against the Sub-Fund in computing its net asset value. Other income and expenses are allocated pro-rata between the Sub-Funds or otherwise at the discretion of the Trustee.

(k) Receivable from investments in funds

Receivables are recognized as assets when the amounts requested in the redemption notice become fixed. This generally may occur either at the time of the receipt of the notice by the underlying investment fund, or on the last day of a fiscal period, depending on the nature of the request.

2. Significant accounting policies (continued)

(l) Receivable from Master Funds

Receivable from Master Funds represent redemptions payable from the Master Funds.

(m) Subscriptions received in advance

Subscriptions received in advance are recognized when the subscription request and subscription amount have been received.

(n) Valuation of investments at fair value - definition and hierarchy

US GAAP establishes a fair value hierarchy that prioritizes the inputs to valuation techniques used to measure fair value into three broad levels explained below:

Level 1: Valuations based on the unadjusted quoted prices in active markets for identical assets or liabilities that management has the ability to access. Valuation adjustments and block discounts are not applied to Level 1 securities. Since valuations are based on quoted prices that are readily and regularly available in an active market, valuation of these securities does not entail a significant degree of judgment.

Level 2: Valuations based on quoted prices in markets that are not active or for which all significant inputs are observable, either directly or indirectly.

Level 3: Valuations based on inputs that are unobservable and significant to the overall fair value measurement.

The fair value hierarchy for the investments held by the Master Funds and the Ultimate Masters Funds are disclosed in the notes to their respective financial statements, included elsewhere in this report.

3. Financial instruments

Market risk, credit risk and liquidity risk

Superfund Japan Sub-Fund Green

In the normal course of its business, Superfund Japan Sub-Fund Green purchases and sells various financial instruments which may result in both market, credit and liquidity risks, the amount of which is not apparent from the financial statements.

Market risk is the risk that changes in interest rates, foreign exchange rates or equity and commodity prices will affect the positions held by the underlying investment funds and consequently, Superfund Japan Sub-Fund Green. Superfund Japan Sub-Fund Green is exposed to market risk on financial instruments that are valued at market prices through the underlying investments held by these funds.

Credit risk is the risk of counterparty default. Credit risk is generally higher when a non-exchange traded financial instrument is involved because the counterparty for non-exchange traded financial instruments is not backed by an exchange clearing house.

3. Financial instruments (continued)

Market risk, credit risk and liquidity risk (continued)

Liquidity risk is the risk that Superfund Japan Sub-Fund Green will encounter difficulty in raising funds to meet commitments. Liquidity risk may result from the inability to sell investments quickly at an amount close to fair value. Although the Manager will seek to select investments in funds that offer the opportunity to have their shares or units redeemed within a reasonable timeframe, there can be no assurance that the liquidity of the investments of such investment funds will always be sufficient to meet redemption requests as, and when, made. Any lack of liquidity may affect the liquidity of the Units and the value of their investments.

Superfund Green C Japan and Superfund Japan Sub-Fund Systematic All Weather

Superfund Green C Japan and Superfund Japan Sub-Fund Systematic All Weather's investment in the Master Funds, indirectly exposes the funds to various types of risk, which are associated with the financial instruments and markets in which the Master Funds invest.

The types of financial risk to which the Superfund Green C Japan and Superfund Japan Sub-Fund Systematic All Weather are exposed to are market risk, credit risk and liquidity risk. Refer to the Master Funds' financial statements for information regarding financial risk to which Superfund Green C Japan and Superfund Japan Sub-Fund Systematic All Weather are exposed.

Details of the investments held by the Master Funds, including a breakdown of the levels of their market price observability used in measuring investments at fair value, are disclosed in Note 2 of the Master Funds' financial statements included elsewhere in this report.

4. Unitholders' capital

	Number of units
SUPERFUND JAPAN SUB-FUND GREEN	
Class Gold JPY:	
Balance at beginning of year	9,269,983
Issued during the year	3,285,877
Redeemed during year	(2,802,381)
	9,753,479
SUPERFUND JAPAN SUB-FUND GREEN	
Class Silver JPY:	
Balance at beginning of year	-
Issued during the year	1,569,439
	1,559,439
SUPERFUND JAPAN SUB-FUND GREEN	
Class JPY:	
Balance at beginning of year	7,793,466
Issued during the year	1,842,956
Redeemed during year	(627,123)
	9,009,299
SUPERFUND JAPAN SUB-FUND GREEN	
Class Gold USD:	
Balance at beginning of year	199,421
Issued during the year	501,424
Redeemed during year	(92,408)
	608,437

SUPERFUND JAPAN

Notes to Financial Statements

December 31, 2022
(stated in Japanese Yen and United States Dollars)

4. Unitholders' capital (continued)

SUPERFUND JAPAN SUB-FUND GREEN

Class Silver USD:	
Balance at beginning of year	-
Issued during the year	2,333,353
	2,333,353

SUPERFUND JAPAN SUB-FUND GREEN

Class USD:	
Balance at beginning of year	1,751,688
Issued during the year	211,797
Redeemed during year	(238,012)
	1,725,473

SUPERFUND GREEN C JAPAN

Class JPY:	
Balance at beginning of year	2,758,361
Redeemed during year	(694,247)
	2,064,114

SUPERFUND GREEN C JAPAN

Class USD	
Balance at beginning of year	1,550,687
Redeemed during year	(115,148)
	1,435,539

SUPERFUND JAPAN

Notes to Financial Statements

December 31, 2022
(stated in Japanese Yen and United States Dollars)

4. Unitholders' capital (continued)

SUPERFUND JAPAN SUB-FUND SYSTEMATIC ALL WEATHER

Class Gold JPY:	
Balance at beginning of year	3,207,858
Issued during the year	792,141
Redeemed during year	(172,186)
	3,827,813

SUPERFUND JAPAN SUB-FUND SYSTEMATIC ALL WEATHER

Class JPY	
Balance at beginning of year	3,936,412
Issued during the year	556,928
Redeemed during year	(234,763)
	4,258,577

Each Sub-Fund is subject to a minimum investment amount for each series: for Superfund Japan Sub-Fund Green and Superfund Japan Sub-Fund Systematic All Weather, the minimum amount for subscription is 5,000 units or more in increments of 100 units respectively, for Superfund Green C Japan, the minimum amount for subscription is 100,000 units or more in increments of 100 units. The Distributor may, in consultation with the Manager, waive such minimums in whole or in part for certain subscriptions at their discretion.

All of the units shall, except as described in the Trust Deed, rank parri passu and have substantially the same rights, terms and conditions.

There is a sales charge applicable to subscriptions of units. The sales charges applicable to a particular investor's subscription is based upon the aggregate purchase price for the relevant subscription for each series by the investor (the "Purchase Amount"). The sales charges applicable to each subscription is an amount equal to the Purchase Amount for such subscription multiplied by a rate of up to 5.40% (5% without tax)

The unitholders will generally be permitted to request to repurchase all or some of their units effective as at the last day of each month, by providing a prior written notice to the Distributor of the Trust. Any such repurchase will take place at the net asset value per unit, determined on the last day of a given month.

Where requests for repurchase of the units are made within twelve months of initial subscription or where a compulsory redemption is made by the Trust, a repurchase fee of two percent of the repurchase price may be charged by the Trust to the unitholder, at the sole discretion of the Manager. Such repurchase fee shall be for the benefit of the Trust.

4. Unitholders' capital (continued)

In no event may a unitholder make a partial repurchase request that would result in such unitholder holding units that are less than the amount of the relevant minimum initial investment for each series, unless otherwise waived by the Manager in their sole discretion.

5. Management fees

The Trust's investment activities are managed by the Manager, a related party by virtue of common control. Under the terms of the Advisory Agreement, the Manager receives a management fee monthly in arrears at the rate of 0.1% per annum of the net asset value of each Sub-Fund.

Included in accounts payable and accrued expenses at December 31, 2022, are management fees payable of ¥226,413 for Superfund Japan Sub-Fund Green, ¥21,891 for Superfund Green C Japan and ¥34,962 for Superfund Japan Sub-Fund Systematic All Weather.

6. Incentive fees

There are no incentive fees payable at the Sub-Fund level. The Master Funds pay incentive fees as disclosed in the notes of their financial statements, which are attached elsewhere in this report.

7. Distribution fees

Superfund Japan Co., Ltd. (the "Distributor"), a related party by virtue of common control, acts as distributor of the Sub-Fund Superfund Japan Sub-Fund Systematic All Weather shares and is entitled to a distribution fee monthly in arrears at the rate of 0.6% per annum of the net asset value of the Sub-Fund Superfund Japan Sub-Fund Systematic All Weather.

Included in accounts payable and accrued expenses at December 31, 2022, are distribution fee payable of ¥244,775 for Superfund Japan Sub-Fund Systematic All Weather and there were no distribution fees payable in respect of other Sub-Fund. For other Sub-Fund the Master Funds pay distribution fees as disclosed in the notes of their financial statements, which are attached elsewhere in this report.

8. Agent member company fees

The Agent Member Company is entitled to receive a fee of 0.1% per annum of the net asset value of each Sub-Fund.

Included in accounts payable and accrued expenses at December 31, 2022, are agency fees payable of ¥226,418 for Superfund Japan Sub-Fund Green, ¥21,892 for Superfund Green C Japan and ¥34,968 for Superfund Japan Sub-Fund Systematic All Weather.

9. Trustee fees

Effective May 8, 2015, Harneys Fiduciary (Cayman) Limited (the "Trustee") has been appointed to be the trustee of the Trust.

9. Trustee fees (continued)

As defined in the Trust Deed, the Trust has agreed to pay the Trustee a fee of US$8,500 per annum per Sub-Fund.

There were no trustee fees payable in the Sub-Fund Superfund Japan Sub-Fund Green, Superfund Green C Japan and Superfund Japan Sub-Fund Systematic All Weather for the year ended December 31, 2022.

10. Administration fees

Effective April 1, 2022, NAV Fund Administration Group is appointed as administrator of the Trust (the "Administrator"). Under the terms of the Administration Agreement, the Trust pays to NAV Fund Administration Group a fee calculated at the last valuation day in each month in arrears at the rate of US$6,900 per annum for each of Sub-Fund Green, Superfund Green C Japan and Superfund Japan Sub-Fund Systematic All Weather and. Prior to April 1, 2022, Apex Fund Services S.A. was the Administrator of the Trust.

Included in accounts payable and accrued expenses at December 31, 2022 are administration fees payable of ¥255,671 for Sub-Fund Green, ¥255,671 for Superfund Green C Japan and ¥157,336 for Superfund Japan Sub-Fund Systematic All Weather.

11. Related party transactions

The Manager and the Distributor are related parties by virtue of common control. Fees payable to the Manager and to the Distributor have not been set by arms-length negotiations.

The Trust, through Superfund Japan Sub-Fund Green has invested into underlying funds, which are part of the Superfund group of investment companies. Tennyson Briggs and Josef Holzer, directors of the Manager, are also directors of these underlying fund. As at December 31, 2022, these funds have a fair value of ¥2,643,192,097 representing 99.93% of the net assets of Superfund Japan Sub-Fund Green. During the year a realized gain of ¥238,845,135 was made by Superfund Japan Sub-Fund Green on the sale of other Superfund investment companies and foreign currency transactions.

12. Fair value

At December 31, 2022, the following methods and assumptions were used by management to estimate the fair value of each class of financial instruments. For certain of the Trust's financial instruments, including cash, cash denominated in foreign currency, receivables from investment in funds, receivable from Master Fund, Other assets, redemptions payable, subscription in advance and accounts payable and accrued expenses, the carrying amounts approximate fair value due to the immediate or short-term nature of these financial instruments.

Fair value estimates are made at a specific point in time, based on market conditions and information about the financial instruments. These estimates are subjective in nature and involve uncertainties and matters of significant judgement and therefore, cannot be determined with precision. Changes in assumptions could significantly affect the estimates. Refer to the Master Funds' and the Ultimate Master Funds' financial statements for information in relation to fair value measurements classification of investments held by the Master Funds and the Ultimate Master Funds.

13. Financial highlights

SUPERFUND JAPAN SUB-FUND GREEN	Class Gold JPY	Class JPY	Class Silver JPY[3]
Per share operating performance (for a Unit outstanding throughout the year/period)[1]	(¥)	(¥)	(¥)
Net asset value per Unit at beginning of year/period	140.71	80.12	100.00
Income from investment operations			
Net investment loss	(0.86)	(0.31)	(0.19)
Net realized and movement in unrealized loss on investments and foreign currency	(9.53)	(10.33)	(0.26)
Total loss from investment operations	(10.39)	(10.64)	(0.45)
Net asset value per Unit at end of year/period	130.32	69.48	99.55
Total return[2]	(7.39)%	(13.28)%	(0.45)%
Supplemental data:			
Ratio to average net assets			
Operating and other expenses	0.55%	0.40%	0.18%
Net investment loss	(0.55)%	(0.40)%	(0.18)%

(1) Based on average units outstanding during the year.

(2) An individual investor's return may vary due to the timing of unit subscriptions and redemptions.

(3) Class Silver JPY commenced operations from September 1, 2022. The above ratios have not been annualized.

EDINET提出書類
スーパーファンド・ジャパン・トレーディング（ケイマン）リミテッド(E23303)
有価証券報告書（外国投資信託受益証券）

13. Financial highlights (continued)

SUPERFUND JAPAN SUB-FUND GREEN (continued)	Class Gold USD	Class USD	Class Silver USD[3]
Per share operating performance			
(for a Unit outstanding throughout the year/period)[1]	(US$)	(US$)	(US$)
Net asset value per Unit at beginning of year/period	1.29	0.97	1.00
Income from investment operations			
Net investment loss	(0.03)	(0.01)	0.00
Net realized and movement in unrealized gain/(loss) on investments and foreign currency	(0.25)	(0.21)	0.12
Total (loss)/gain from investment operations	(0.28)	(0.22)	0.12
Net asset value per Unit at end of year/period	1.01	0.75	1.12
Total return[2]	(22.08)%	(23.13)%	12.00%
Supplemental data:			
Ratio to average net assets			
Operating and other expenses	1.63%	1.20%	0.17%
Net investment loss	(1.63)%	(1.20)%	(0.17)%

(1) Based on average units outstanding during the year.

(2) An individual investor's return may vary due to the timing of unit subscriptions and redemptions.

(3) Class Silver USD commenced operations from September 1, 2022. The above ratios have not been annualized.

EDINET提出書類
スーパーファンド・ジャパン・トレーディング（ケイマン）リミテッド(E23303)
有価証券報告書（外国投資信託受益証券）

13. Financial highlights (continued)

SUPERFUND GREEN C JAPAN	Class JPY	Class USD
Per share operating performance (for a Unit outstanding throughout the year)[1]	(¥)	(US$)
Net asset value per Unit at beginning of year	82.54	0.85
Income from investment operations		
Net investment loss	(6.06)	(0.06)
Net realized and movement in unrealized loss on investments and foreign currency	(11.17)	(0.19)
Total loss from investment operations	(17.23)	(0.25)
Net asset value per Unit at end of year	65.31	0.60
Total return[2]	(20.87)%	(28.95)%
Supplemental data:		
Ratio to average net assets		
Operating and other expenses	7.93%	8.21%
Net investment loss	(7.32)%	(7.61)%

(1) Based on average units outstanding during the year.

(2) An individual investor's return may vary due to the timing of unit subscriptions and redemptions.

EDINET提出書類
スーパーファンド・ジャパン・トレーディング（ケイマン）リミテッド(E23303)
有価証券報告書（外国投資信託受益証券）

13. Financial highlights (continued)

SUPERFUND JAPAN SUB-FUND SYSTEMATIC ALL WEATHER	Class Gold JPY	Class JPY
Per share operating performance		
(for a Unit outstanding throughout the year)[1]	(¥)	(¥)
Net asset value per Unit at beginning of year	76.18	47.51
Income from investment operations		
Net investment loss	(3.67)	(2.05)
Net realized and movement in unrealized loss on investments and foreign currency	(7.72)	(9.28)
Total loss from investment operations	(11.39)	(11.33)
Net asset value per Unit at end of year	64.79	36.18
Total return[2]	(14.95)%	(23.85)%
Supplemental data:		
Ratio to average net assets		
Operating and other expenses	4.94%	4.99%
Net investment loss	(4.89)%	(4.94)%

(1) Based on average units outstanding during the year.

(2) An individual investor's return may vary due to the timing of unit subscriptions and redemptions.

EDINET提出書類
スーパーファンド・ジャパン・トレーディング（ケイマン）リミテッド(E23303)
有価証券報告書（外国投資信託受益証券）

14. Subsequent events

In preparing these financial statements, management has evaluated and disclosed all material subsequent events up to June 29, 2023, which is the date that the financial statements were available for issue.

Subsequent to December 31, 2022, ¥37,910,000, ¥1,500,000, ¥4,000,000, US$3,500, ¥500,000, and ¥500,000 subscriptions were processed for Superfund Japan Sub-Fund Green Class Gold JPY, Superfund Japan Sub-Fund Green Class JPY, Superfund Japan Sub-Fund Green Class Silver JPY, Superfund Japan Sub-Fund Green Class Gold USD, Superfund Japan Sub-Fund Systematic All Weather Class Gold JPY and Superfund Japan Sub-Fund Systematic All Weather Class JPY respectively.

Redemptions in the amount of approximately ¥33,515,466, ¥9,091,059, ¥691,187, ¥2,580,291, US$73,517, ¥11,647,062 and ¥75,474,851 were processed for Superfund Japan Sub-Fund Green Class Gold JPY, Superfund Japan Sub-Fund Green Class JPY, Superfund Japan Sub-Fund Green Class Silver JPY, Superfund Japan Sub-Fund Green C Class JPY, Superfund Japan Sub-Fund Green C Class USD, Superfund Japan Sub-Fund Systematic All Weather Class Gold JPY and Superfund Japan Sub-Fund Systematic All Weather Class JPY respectively.

SUPERFUND GREEN GOLD SPC – SUPERFUND GREEN GOLD SEGREGATED PORTFOLIO A

Statement of Assets and Liabilities

December 31, 2022
(stated in United States dollars)

	Notes		
Assets			
Investment in money market funds (cost: US$2,628,432)	2(g)		2,628,432
Investment in Master Fund	2(c),4		3,434,811
Cash			259,149
Due from broker	3		633,675
Unrealized gain on open futures contracts	2(g),4,5		114,358
Other assets			2,509
			7,072,934
Liabilities			
Redemptions payable			47,323
Accounts payable and accrued expenses	7,9,10		42,409
			89,732
Net assets		US$	6,983,202
Net assets per Class A Participating Share, based on 5,784.66 shares outstanding			
expressed in United States dollars		US$	910.35
expressed in ounces of gold		Oz.	0.50
Net assets per Class A2 Participating Share, based on 1,920.59 shares outstanding			
expressed in United States dollars		US$	894.06
expressed in ounces of gold		Oz.	0.49

The accompanying notes and the attached financial statements of Superfund Green Gold Master SPC are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND GREEN GOLD SPC – SUPERFUND GREEN GOLD SEGREGATED PORTFOLIO A

Condensed Schedule of Investments

December 31, 2022
(stated in United States dollars)

Description (% of net assets)	Number of Shares	Cost	Fair value
FUND INVESTMENT (37.64%)			
Blackrock Inst US Dol Core Iulad (9.41%)	657,107.53	657,108	657,108
Goldman Liq Reserve Inst (9.41%)	657,107.53	657,108	657,108
Invesco Global USD Corp 1937 (9.41%)	657,107.53	657,108	657,108
JP Morgan USD Liq Inst U39 (9.41%)	657,108.16	657,108	657,108
Total money market funds		US$	2,628,432

Description (% of net assets)	Expiration dates	Notional amount	Fair value
FUTURES CONTRACTS (1.63%)			
Gold (1.63%)	February 2023	3,469,780	114,358
Unrealized gain on open futures contracts		US$	114,358

The accompanying notes and the attached financial statements of Superfund Green Gold Master SPC are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND GREEN GOLD SPC – SUPERFUND GREEN GOLD SEGREGATED PORTFOLIO A

Statement of Operations

Year ended December 31, 2022
(stated in United States dollars)

	Note	
Net investment income allocated from Master Fund		
Income		14,639
Expenses		(10,667)
		3,972
Fund income		
Interest income		44,595
		44,595
Fund expenses		
Management fee	7	242,851
Distribution fees	9	137,010
Professional fees		9,616
Administration fees	10	8,348
Interest expense		12
General and administrative expenses		16,145
		413,982
Net investment loss		(365,415)
Fund realized loss and movement in unrealized gain on investments and foreign currency		
Net realized loss on investments and foreign currency		(198,725)
Movement in unrealized gain on investments and foreign currency		56,680
		(142,045)
Net realized loss and movement in unrealized gain on investments and foreign currency allocated from Master Fund		
Net realized loss on investments and foreign currency		(694,377)
Movement in unrealized gain on investments and foreign currency		143,922
		(550,455)
Net decrease in net assets resulting from operations	US$	(1,057,915)

The accompanying notes and the attached financial statements of Superfund Green Gold Master SPC are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND GREEN GOLD SPC – SUPERFUND GREEN GOLD SEGREGATED PORTFOLIO A

Statement of Changes in Net Assets

Year ended December 31, 2022
(stated in United States dollars)

Operations		
Net investment loss		(365,415)
Net realized loss on investments and foreign currency		(893,102)
Movement in unrealized gain on investments and foreign currency		200,602
		(1,057,915)
Capital transactions		
Payments for redemptions of Participating Shares:		
Class A2 (USD)		(345,807)
Class A (USD)		(153,567)
		(499,374)
Decrease in net assets for year		(1,557,289)
Net assets at beginning of year	US$	8,540,491
Net assets at end of year	US$	6,983,202
Net assets at year end consist of:		
Class A (USD) Shares		5,266,083
Class A2 (USD) Shares		1,717,119
	US$	6,983,202

The accompanying notes and the attached financial statements of Superfund Green Gold Master SPC are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND GREEN GOLD SPC – SUPERFUND GREEN GOLD SEGREGATED PORTFOLIO B

Statement of Assets and Liabilities

December 31, 2022
(stated in United States dollars)

	Note		
Assets			
Investment in money market funds (cost: US$1,781,168)	2(g)		1,781,168
Investment in Master Fund	4		8,007,552
Cash			272,830
Due from broker	3		748,123
Unrealized gain on open futures contracts	2(g),4,5		84,312
Receivable from Class B Japan JPY			75,910
Other assets			2,760
Total assets			10,972,655
Liabilities			
Payable to Master Fund			56,933
Redemptions payable	2(l)		17,527
Accounts payable and accrued expenses	7,9,10		48,604
			123,064
Net assets		US$	10,849,591
Net assets per Class B Participating Share, based on 628.65 shares outstanding			
expressed in United States dollars		US$	913.93
expressed in ounces of gold		Oz.	0.50
Net assets per Class B Japan USD Participating Share, based on 540.79 shares outstanding			
expressed in United States dollars		US$	1,127.48
expressed in ounces of gold		Oz.	0.62
Net assets per Class B Japan JPY Participating Share, based on 963,477.28 shares outstanding			
expressed in Japanese Yen		JPY	1,315.36
expressed in ounces of gold		Oz.	0.01

The accompanying notes and the attached financial statements of Superfund Green Gold Master SPC are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND GREEN GOLD SPC – SUPERFUND GREEN GOLD SEGREGATED PORTFOLIO B

Condensed Schedule of Investments

December 31, 2022
(stated in United States dollars)

Description (% of net assets)	Number of Shares	Cost	Fair value
FUND INVESTMENT (16.40%)			
Blackrock Inst US Dol Core Iulad (4.10%)	445,291.88	445,292	445,292
Goldman Liq Reserve Inst 499 (4.10%)	445,291.88	445,292	445,292
Invesco Global USD Corp 1937 (4.10%)	445,291.88	445,292	445,292
JP Morgan USD Liq Inst U39 (4.10%)	445,292.33	445,292	445,292
Total money market funds		US$	1,781,168

Description (% of net assets)	Expiration dates	Notional amount	Fair value
FUTURES CONTRACTS (0.78%)			
Gold (0.78%)	February 2023	2,739,300	84,312
Unrealized gain on open futures contracts		US$	84,312

The accompanying notes and the attached financial statements of Superfund Green Gold Master SPC are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND GREEN GOLD SPC – SUPERFUND GREEN GOLD SEGREGATED PORTFOLIO B

Statement of Operations

Year ended December 31, 2022
(stated in United States dollars)

	Note	
Net investment income allocated from Master Fund		
Income		34,849
Expenses		(22,695)
		12,154
Fund income		
Interest income		12,427
		12,427
Fund expenses		
Management fee	7	239,445
Distribution fees	9	211,634
Incentive fees		162,862
Professional fees		12,676
Administration fees	10	7,660
Interest expense		314
General and administrative expenses		12,634
		647,225
Net investment loss		(622,644)
Fund realized loss and movement in unrealized gain on investments and foreign currency		
Net realized loss on investments and foreign currency		(281,073)
Movement in unrealized gain on investments and foreign currency		44,188
		(236,885)
Net realized loss and movement in unrealized gain on investments and foreign currency allocated from Master Fund		
Net realized loss on investments and foreign currency		(1,572,696)
Movement in unrealized gain on investments and foreign currency		547,562
		(1,025,134)
Net decrease in net assets resulting from operations	US$	(1,884,663)

The accompanying notes and the attached financial statements of Superfund Green Gold Master SPC are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND GREEN GOLD SPC – SUPERFUND GREEN GOLD SEGREGATED PORTFOLIO B

Statement of Changes in Net Assets

Year ended December 31, 2022
(stated in United States dollars)

Operations		
Net investment loss		(622,644)
Net realized loss on investments and foreign currency		(1,853,769)
Movement in unrealized gain on investments and foreign currency		591,750
		(1,884,663)
Capital transactions		
Proceeds from issue of Participating Shares:		
Class B (USD)		329,363
Class B Japan (JPY)		5,659,116
Class B Japan (USD)		707,837
Payments for redemptions of Participating Shares:		
Class B (USD)		(26,585)
Class B Japan (JPY)		(5,607,573)
Class B Japan (USD)		(267,326)
		794,832
Decrease in net assets for year		(1,089,831)
Net assets at beginning of year	US$	11,939,422
Net assets at end of year	US$	10,849,591
Net assets at end of year consist of:		
Class B (USD) Shares		574,545
Class B Japan (USD) Shares		609,728
Class B Japan (JPY) Shares		9,665,318
	US$	10,849,591

The accompanying notes and the attached financial statements of Superfund Green Gold Master SPC are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND GREEN GOLD SPC

Notes to Financial Statements

December 31, 2022
(stated in United States dollars)

1. Incorporation and principal activity

Superfund Green Gold SPC (the "Company") was incorporated as an exempted company under the Companies Act of the Cayman Islands on October 8, 2004 and was registered under the Mutual Funds Act of the Cayman Islands on September 28, 2005.

The Company's objective is long-term capital appreciation through the use of technical analysis. The assets of the Company can either be general assets or segregated portfolio assets. The assets attributable to a segregated portfolio comprise assets representing the share capital and reserves attributable to the segregated portfolio and other assets attributable to or held within that segregated portfolio. The general assets comprise the assets of the Company which are not segregated portfolio assets. Where a liability arises from a transaction in respect of a particular segregated portfolio and there are insufficient assets within that segregated portfolio, then there will be recourse to the general assets, but not to the assets of any other segregated portfolio.

The Company is a multi-class fund which has established separate and distinct portfolios of investments available to investors through the offering of Class A Participating Shares (representing interests in Superfund Green Gold Segregated Portfolio A) and Class B Participating Shares (representing interests in Superfund Green Gold Segregated Portfolio B), (collectively the "Funds").

The segregated portfolios are part of a "master-feeder" fund structure whereby they invest substantially all of their assets in the Superfund Green Gold Master Segregated Portfolio of Superfund Green Gold Master Fund SPC (the "Master Fund"), a Cayman Islands exempted limited company. The financial statements of the Master Fund, including the condensed schedule of investments, are included in this report and should be read in conjunction with the Company's financial statements.

At December 31, 2022, Superfund Green Gold Segregated Portfolio A ("Segregated Portfolio A") and Superfund Green Gold Segregated Portfolio B ("Segregated Portfolio B") held 18.29% and 42.65% of the Master Fund, respectively.

2. Significant accounting policies

The financial statements are prepared in conformity with accounting principles generally accepted in the United States of America ("US GAAP") as detailed in the Financial Accounting Standards Board's ("FASB") Accounting Standards Codification ("ASC"). The Company qualifies as an investment company under US GAAP and follows the accounting and reporting guidance applicable to investment companies in FASB ASC 946, *Financial Services – Investment Companies*.

2. Significant accounting policies (continued)

The significant accounting policies adopted by the Funds are as follows:

(a) Use of estimates

The preparation of financial statements in accordance with US GAAP requires management to make estimates and assumptions that affect the reported amounts of assets and liabilities and disclosure of contingent assets and liabilities at the date of the financial statements, and the reported amounts of revenues and expenses during the reporting period. Actual results could differ from those estimates.

(b) Investment in money market funds

Investments in money market funds are accounted for on the trade date basis. Investments are initially measured at cost. Subsequent to initial recognition, investments are measured at fair value. Fair value is determined as the net assets attributable to the Funds, as reported by the respective money market fund. Realized and movement in unrealized gains and losses are included in the statement of operations.

(c) Investment in Master Fund

Investments in the Master Fund are accounted for on a trade date basis. Investments are initially measured at cost. Subsequent to initial recognition, investments are measured at fair value.

Fair value is determined as the net assets attributable to the Funds, as a practical expedient, as reported by the Master Fund's administrator. Realized and movement in unrealized gains and losses on investments are included in the statement of operations. The valuation of the Master Fund's investments is discussed in the notes to the Master Fund's financial statements included in this report.

(d) Investment income and expenses

Each segregated portfolio records its proportionate share of the Master Fund's income, expenses and realized and movement in unrealized gains and losses in its statement of operations based on the value of its respective share of the net asset value of the Master Fund. In addition, each segregated portfolio also accrues its own income and expenses.

(e) Net asset value per share

The net asset value per share ("NAV per Share") is expressed in ounces of gold and calculated by dividing the net assets of the relevant segregated portfolio attributable to a particular class by the number of shares of that class outstanding then, for shares expressed in ounces of gold, further dividing the value obtained by the London AM gold fixing per ounce price.

(f) Futures contracts

Open futures contracts are carried at fair value calculated as the difference between the contract price and the market value based upon rates reported in published sources or those provided by the broker, if applicable rates are not readily available. Realized and movement in unrealized gains and losses are included in the statement of operations.

2. Significant accounting policies (continued)

(g) Valuation of investments at fair value – definition and hierarchy

US GAAP establishes a fair value hierarchy that prioritizes the inputs to valuation techniques used to measure fair value into three broad levels explained below:

Level 1: Valuations based on the unadjusted quoted prices in active markets for identical assets or liabilities that management has the ability to access. Valuation adjustments and block discounts are not applied to Level 1 securities. Since valuations are based on quoted prices that are readily and regularly available in an active market, valuation of these securities does not entail a significant degree of judgment.

Level 2: Valuations based on quoted prices in markets that are not active or for which all significant inputs are observable, either directly or indirectly.

Level 3: Valuations based on inputs that are unobservable and significant to the overall fair value measurement.

The following table summarizes the valuation of the Funds' investments based on the fair value hierarchy described above as at December 31, 2022.

Segregated Portfolio A		Total	Level 1	Level 2
Investment in money market fund		2,628,432	2,628,432	-
Unrealized gain on open futures contracts		114,358	114,358	-
Total	US$	2,742,790	2,742,790	-

Segregated Portfolio B		Total	Level 1	Level 2
Investment in money market fund		1,781,168	1,781,168	-
Unrealized gain on open futures contracts		84,312	84,312	-
Total	US$	1,865,480	1,865,480	-

The Fair value hierarchy for the investment held by the Master Fund is disclosed in Note 2(f) of the Master Fund's financial statements.

(h) Interest income

Interest income is recorded on an accrual's basis.

(i) Foreign currency

Assets and liabilities denominated or accounted for in foreign currencies are translated into United States dollars at the applicable exchange rates at the date of the statement of assets and liabilities. Foreign currency transactions are translated into United States dollars at the rate of exchange ruling at the date of the transaction. Realized and movement in unrealized gains and losses arising from translation are included in the statement of operations.

The Funds do not isolate that portion of the results of operations resulting from changes in foreign exchange rates on investments from the fluctuations arising from changes in market prices of securities held. Such fluctuations are included with the net realized and movement in unrealized gain or loss from investments and foreign currency.

2. Significant accounting policies (continued)

(j) Taxation

There are no taxes on income or gains in the Cayman Islands and in accordance with the provisions of section 6 of the Tax Concessions Act, the Company has received an undertaking from the Governor in Cabinet of the Cayman Islands exempting it from all local taxation on future profits, income or gains until November 16, 2024. Accordingly, no provision for income taxes is included in these financial statements.

The Funds recognize the tax benefits of uncertain tax positions only where the position is more-likely-than-not (i.e. greater than 50-percent) to be sustained assuming examination by a tax authority based on the technical merits of the Position. The Funds analyses all open tax years for all major taxing jurisdictions. Open tax years are those that are open for examination by taxing authorities, as defined by the statute of limitations in each jurisdiction.

Management has analyzed the Funds' tax positions and has concluded that no liability for unrecognized tax benefits should be recorded related to uncertain tax positions. Further, management is not aware of any tax positions for which it is reasonably possible that the total amounts of unrecognized tax benefits will significantly change in the next twelve months.

(k) Allocation of income and expenses

Income and expenses that are identifiable with a particular segregated portfolio are allocated to or charged against the segregated portfolio in computing its net asset value. Other income and expenses are allocated pro-rata between the segregated portfolios or otherwise at the discretion of the Directors.

(l) Redemptions payable

Shares redeemed at the option of the holder of the Funds are classified as redemptions payable when a redemption request has been received and the redemption amount determined.

(m) Offsetting

Financial assets and liabilities including unrealized gain or loss on open futures contracts are offset and the net amount is reported in the statement of assets and liabilities when the Funds have a legally enforceable right to offset the recognized amounts and the transactions are intended to be settled on a net basis or simultaneously. The Funds did not meet the requirements for offsetting during the year.

3. Due from broker

Due from broker includes cash balances maintained at ADM Investor Services, Inc., net of amounts due for unsettled trades in securities and includes margin cash of US$131,670 for Segregated Portfolio A and US$103,950 for Segregated Portfolio B pledged as collateral against open future contracts.

4. Financial instruments

Market risk, credit risk and liquidity risk

In the normal course of its business, the Funds purchase and sell various financial instruments which may result in both market and credit risks, the amount of which is not apparent from the financial statements.

Market risk is the risk that changes in interest rates, foreign exchange rates or equity and commodity prices will affect the positions held by the Funds. The Funds are exposed to market risk on financial instruments held directly as well as investments held by the Master Fund that are valued at market prices.

As part of its investment strategy, the Funds enters into money market funds and futures contracts. The Funds invests into money market funds. Money market funds invest only in highly liquid cash and cash equivalent securities that have high credit ratings such as treasury bills, commercial paper and certificates of deposit. These funds invest primarily in debt-based securities which have a short-term maturity of less than 13 months and offer high liquidity with very low level of risk.

Futures contracts are traded on organized exchanges and require initial margin (collateral) in the form of cash or marketable securities. The initial margin is adjusted to reflect changes in the value of the futures contracts which is marked to market on a daily basis. Holders of futures contracts look to the exchange for performance under the contract and not to the entity holding the offsetting futures position.

Market risks arise due to the possible movement in foreign exchange rates, indices, commodities and securities' values underlying these instruments. Other market risks include the possibility that a change in the value of the contract may not directly correlate with changes in the value of the underlying currencies, commodities or stock indices. Certain risks exist when trading in futures contracts as they may increase the total return of the Funds' investments but may also entail greater than ordinary investment risks.

Futures markets are highly volatile and are influenced by factors such as changing supply and demand relationships, governmental programmes and policies, national and international political and economic events and changes in interest rates. In addition, because of the low margin deposits normally required in futures trading, a high degree of leverage may be typical of a futures trading account.

4. Financial instruments (continued)

Market risk, credit risk and liquidity risk (continued)

As a result, a relatively small price movement in a futures contract may result in substantial losses to the trader. Futures trading may also be illiquid. Certain futures exchanges do not permit trading in particular futures contracts at prices that represent a fluctuation in price during a single day's trading beyond certain set limits. If prices fluctuate during a single day's trading beyond those limits, the Funds could be prevented from promptly liquidating unfavourable positions and thus be subject to substantial losses.

Credit risk is the risk of counterparty default. Credit risk is generally higher when a non-exchange traded financial instrument is involved because the counterparty for non-exchange traded financial instruments is not backed by an exchange clearing house. The Funds' investment in the segregated portfolio of the Master Fund is not exchange traded.

As part of its investment strategy, the Master Fund utilizes leverage. The concept of leveraging is based on the premise that the Master Fund's cost of borrowing will be at rates that normally will be lower than the rate of return earned on the investments it holds. While the use of leverage may increase the returns on equity capital invested by the Master Fund, the use of leverage also increases the risk of loss of such capital.

Superfund Capital Management Inc. (the "Investment Adviser") acts as the investment adviser of the Funds. The Investment Adviser has internal guidelines and limits to maintain levels of leverage.

The Funds' investment in the Master Fund indirectly exposes it to various types of risk, which are associated with the financial instruments and markets in which the Master Fund invests.

The types of financial risk to which the Funds are exposed are market risk, credit risk and liquidity risk. Refer to Note 4 of the Master Fund's financial statements for information regarding financial risk to which the Funds are exposed.

The Master Fund maintains positions in a variety of derivative and non-derivative financial instruments as dictated by its investment management strategy. The Master Fund's investment portfolio as at December 31, 2022 is comprised of futures, forwards, money market funds and other investment funds.

The investment in the Master Fund is recorded at fair value and is based on the net assets attributable to the Master Fund as reported by the Master Fund's administrator. The Master Fund records its proportionate share of the Master Fund's income, expenses, and realized and unrealized gains and losses.

Details of the investments held by the Master Fund, including a breakdown of the levels of their market price observability used in measuring investments at fair value, are disclosed in the notes to the Master Fund's financial statements which are attached.

5. Derivative contracts

The Funds transact in gold futures contracts for trading purposes and hence its primary risk exposure is gold prices. Investments in derivative contracts are subject to additional risks that can result in a loss of all or part of an investment.

The Funds records its derivative activities on a mark-to-market basis. Fair values are determined by using quoted market prices. Refer to Note 5 of the Master Fund's financial statements for details of the derivative contracts held by the Master Fund as at December 31, 2022, including the gains and losses on these contracts for the year ended December 31, 2022.

The fair value amounts of gold future contracts as at December 31, 2022 has been included in the condensed schedules of investments. The table below indicates the gains and losses on gold futures, as included in net realized gain/(loss) on investments and foreign currency and movement in unrealized gain/(loss) on investments and foreign currency within the statements of operations for the year ended December 31, 2022:

	Asset derivatives	Notional amounts	Unrealized gain/(loss)	Realized gain/(loss)
Futures contracts				
Segregated Portfolio A	114,358	3,469,780	56,680	(198,725)
Segregated Portfolio B	84,312	2,739,300	44,188	(100,026)
	198,670	6,209,080	100,868	(298,751)

The derivative instruments held as at December 31, 2022 and their effect on the statement of operations are indicative of the volume of derivative activity of the Funds during the year.

6. Share capital

Authorized:		
100 Founder Shares of US$0.01 each		1
4,999,900 Participating Shares of US$0.01 each		49,999
	US$	50,000

SUPERFUND GREEN GOLD SPC

Notes to Financial Statements (continued)

December 31, 2022
(stated in United States dollars)

6. Share capital (continued)

	Number of shares
Issued and fully paid:	
Founder Shares	1
Segregated Portfolio A	
Class A (USD) Participating Shares:	
Balance at beginning of year	5,914.91
Redeemed during year	(130.25)
Balance at end of year	5,784.66
Segregated Portfolio A	
Class A2 (USD) Participating Shares:	
Balance at beginning of year	2,258.28
Redeemed during year	(337.69)
Balance at end of year	1,920.59
Segregated Portfolio B	
Class B (USD) Participating Shares:	
Balance at beginning of year	308.14
Issued during year	349.40
Redeemed during year	(28.89)
Balance at end of year	628.65
Segregated Portfolio B	
Class B Japan (USD) Participating Shares:	
Balance at beginning of year	184.19
Issued during year	573.27
Redeemed during year	(216.67)
Balance at end of year	540.79
Segregated Portfolio B	
Class B Japan (JPY) Participating Shares:	
Balance at beginning of year	918,549.78
Issued during year	508,655.65
Redeemed during year	(463,728.15)
Balance at end of year	963,477.28

6. Share capital (continued)

Founder Shares

Founder Shares may only be issued at par value and are not redeemable at the option of the holder. They carry one vote per share and confer on the holder thereof rights in a winding up as described below but confer no other right to participate in the profits or assets of the Company. At December 31, 2022, the Company's Founder Shares were held by a shareholder of the Investment Adviser.

Participating Shares

Classes A, A2 and B Participating Shares are issued on a weekly basis at the relevant net asset value per share. There is a Japanese yen ("JPY") share class in Segregated Portfolios A and B, all other share classes are denominated in United States dollars. Subscriptions for Classes A and B Participating Shares are accepted in United States dollars, Japanese yen, Euro or Swiss francs however, the Company converts subscription payments received to United States dollars or Japanese yen (as the case may be).

The minimum initial subscription which is accepted by the Company in respect of USD share class is US$5,000 for Class A Participating Shares, US$20,000 for Class A2 Participating Shares and US$50,000 for Class B Participating Shares. The minimum initial subscription which is accepted by the Company in respect of JPY share classes is JPY500,000 for Class A Participating Shares, and JPY5,000,000 for Class B Participating Shares.

The Directors may in their sole discretion accept initial subscriptions in lesser amounts. Participating Shares are redeemable at the net asset value per share of their respective segregated portfolio on the last business day before each Wednesday or, in the last week of each month, the last business day of the month, or such other day as the Directors may from time to time determine and are non-voting except for matters allowed by the articles of association. Holders of Participating Shares are entitled to receive all dividends and are paid in proportion to the amounts paid up on shares held by them respectively.

The rights attached to any shares may be varied with the consent in writing of all the holders of the issued shares of the segregated portfolio, or with the sanction of a special resolution passed by three fourths of the votes cast at a meeting of the holders of the shares of that segregated portfolio.

On a winding up of the Company, segregated portfolio and general assets will be applied first in satisfaction of claims of the segregated portfolio creditors and general creditors, respectively. The balance of general assets, if any, will be used to repay the nominal paid-in capital on the Founder Shares, with any balance transferred to the segregated portfolios in proportion to the net asset value of each segregated portfolio.

The assets of each segregated portfolio will be paid to the shareholders of the respective segregated portfolio in proportion to the number of shares held. If there is more than one class of Participating Shares in a segregated portfolio, the assets of the segregated portfolio will be allocated pro rata to each class according to the relative net asset values and then paid to the shareholders in proportion to the number of Participating Shares of the relevant class held.

At December 31, 2022, 963,731.1 of Class B Japan (JPY) Shares, 161.55 of Class B (USD) shares and 554.08 of Class B Japan (USD) Shares were held by related parties.

7. Management fees

The Funds' investment activities are managed by the Investment Adviser, a related party by virtue of common control. Under the terms of the Investment Advisory Agreement, the Investment Adviser receives a management fee monthly in arrears at the rate of 3% per annum of the net asset value of Class A (USD), Class A2 (USD) and Class B (USD) Participating Shares. For Class A Japan (JPY), Class B Japan (JPY) and Class B Japan (USD) Participating Shares the management fee is charged at the rate of 2% per annum of the net asset value of these Participating Shares.

Included in accounts payable and accrued expenses at December 31, 2022 are management fees payable of US$17,826 for Segregated Portfolio A and US$18,797 for Segregated Portfolio B.

8. Incentive fees

The Investment Adviser is also entitled to receive an incentive fee of 20% of the increase in the NAV per Share of Class A (USD), Class A2 (USD) and Class A (JPY), 15% of the increase in the NAV per Share of Class A Japan (JPY), 25% of the increase in the NAV per Share of Class B (USD) and Class B (JPY) and 20% for Class B Japan (USD) and Class B Japan (JPY) above the previous high watermarks, as defined in the Investment Advisory Agreement in force at year end, of the respective share class. Incentive fees are calculated based on the net asset value after all other fees and expenses of the segregated portfolios and are payable monthly.

As at December 31, 2022 there were no incentive fees payable for Segregated Portfolios A and B.

9. Distribution fees

Superfund Distribution and Investment, Inc. (the "Distributor"), a related party by virtue of common control, acts as distributor of the Company's shares and is entitled to a distribution fee monthly in arrears at the rate of 1.8% per annum of the net asset value of each segregated portfolio's Participating Shares.

Included in accounts payable and accrued expenses at December 31, 2022 are distribution fees payable of US$10,700 for Segregated Portfolio A and US$16,486 for Segregated Portfolio B.

The Distributor is entitled, at the discretion of the Directors, to receive a subscription charge of up to 7% of each subscription.

As at December 31, 2022, there were no subscription fees payable for Segregated Portfolios A and B.

10. Administration fees

Effective from April 1, 2022, the Funds appointed NAV Fund Services (Cayman) Ltd. as an administrator (the "Administrator") of the Funds. Under the terms of the administration agreement, the Funds pays to the Administrator administration fees at the rate of US$650 per month for the Segregated Portfolio.

Prior to April 1, 2022, the Funds paid to Apex Fund Services S.A. (the "Administrator") a fee calculated at the last valuation day in each month in arrears at the rate of US$841 per month for Segregated Portfolio A and US$630 per month for Segregated Portfolio B.

Included in accounts payable and accrued expenses at December 31, 2022 are administration fees payable of US$1,975 for Segregated Portfolio A and US$1,975 for Segregated Portfolio B.

11. Share redemption fees

At the discretion of the Directors, when a redemption of Class A or Class B Participating Shares is made within twelve months of the initial subscription or any compulsory redemption is made by the Directors, a redemption charge of 2% of the redemption price may be charged and paid to the Investment Adviser.

At the discretion of the Directors, when a redemption of Class A2 Participating Shares is made or any compulsory redemption is made by the Directors, a redemption charge of the redemption price may be charged and paid to the Investment Adviser as follows:

- redemption is made less than 12 months from initial subscription, 5% redemption charge
- redemption is made less than 24 months from initial subscription, 4% redemption charge
- redemption is made less than 36 months from initial subscription, 3% redemption charge
- redemption is made less than 48 months from initial subscription, 2% redemption charge
- redemption is made less than 60 months from initial subscription, 1% redemption charge
- redemption is made greater than 60 months from initial subscription, no redemption charge

At December 31, 2022, there were redemption fees payable of US$nil and US$nil for Segregated Portfolios A and B.

12. Related party transactions

The Investment Advisor and the Distributor are related parties by virtue of common control. The fees payable to the Investment Adviser and the Distributor have not been set by arms-length negotiations. The incentive fee payable to the Investment Adviser may create an incentive to make investments which are riskier or more speculative than would be the case in the absence of such an arrangement.

13. Fair value

At December 31, 2022, the following methods and assumptions were used by management to estimate the fair value of each class of financial instruments. For certain of the Funds' financial instruments, including cash, accounts payable and accrued expenses and redemptions payable, the carrying amounts approximate fair value due to the immediate or short-term nature of these financial instruments.

Investment in money market funds are recorded at market values based on quoted market prices or dealer quotes and therefore, the carrying amount approximates fair value.

Investments in open futures contract positions are recorded at market values based on quoted market prices or dealer quotes and therefore, the carrying amount approximates fair value.

Fair value estimates are made at a specific point in time, based on market conditions and information about the financial instruments. These estimates are subjective in nature and involve uncertainties and matters of significant judgment and therefore, cannot be determined with precision. Changes in assumptions could significantly affect the estimates. Refer to the notes of the Master Fund's financial statements for information in relation to fair value measurement classification of the investments held by the Master Fund.

14. Financial highlights

Segregated Portfolio A	Class A	Class A2
Per share operating performance (for a Participating Share outstanding throughout the year)[1]	US$	US$
Net asset value per share at beginning of year	1,050.13	1,031.34
Income from investment operations		
Net investment loss	(46.30)	(45.94)
Net realized and movement in unrealized loss on investments and foreign currency	(93.48)	(91.34)
Total loss from investment operations	(139.78)	(137.28)
Net asset value per share at end of year	910.35	894.06
Total return [2]	(13.31) %	(13.31) %
Supplemental data:		
Ratio to average net assets		
Operating and other expenses	(5.25) %	(5.24) %
Net investment loss	(4.51) %	(4.53) %

[1] Based on average shares outstanding during the year.

[2] An individual investor's return may vary due to the timing of transactions.

EDINET提出書類
スーパーファンド・ジャパン・トレーディング（ケイマン）リミテッド(E23303)
有価証券報告書（外国投資信託受益証券）

14. Financial highlights (continued)

Segregated Portfolio B	Class B	Class B Japan	Class B Japan JPY
Per share operating performance (for a Participating Share outstanding throughout the year)[1]	US$	US$	JPY
Net asset value per share at beginning of year	1,121.93	1,387.85	1,420.42
Income from investment operations			
Net investment loss	(51.22)	(58.79)	(84.61)
Net realized and movement in unrealized loss on investments and foreign currency	(156.78)	(201.58)	(20.45)
Total loss from investment operations	(208.00)	(260.37)	(105.06)
Net asset value per share at end of year	913.93	1,127.48	1,315.36
Total return before incentive fee	(18.54) %	(17.91) %	(5.74) %
Incentive fee	0.00 %	(0.85) %	(1.65) %
Total return [2]	(18.54) %	(18.76) %	(7.40) %
Supplemental data:			
Ratio to average net assets			
Operating and other expenses	(5.31) %	(4.29) %	(4.28) %
Incentive fee	0.00 %	(0.93) %	(1.46) %
Total operating and other expenses	(5.31) %	(5.22) %	(5.74) %
Net investment loss (excluding incentive fee)	(4.82) %	(3.70) %	(3.89) %

[1] Based on average shares outstanding during the year.

[2] An individual investor's return may vary due to the timing of share subscriptions and redemptions.

15. Subsequent events

In preparing these financial statements, management has evaluated and disclosed all material subsequent events up to June 27, 2023, which is the date the financial statements were available to be issued.

Subsequent to December 31, 2022, redemptions in the amount of approximately US$ 51,177 and US$ 127,443 were processed for Segregated Portfolio A and Segregated Portfolio B respectively.

SUPERFUND GREEN GOLD MASTER SPC – SUPERFUND GREEN GOLD MASTER SEGREGATED PORTFOLIO

Statement of Assets and Liabilities

December 31, 2022
(stated in United States dollars)

	Notes		
Assets			
Investments in money market fund (cost US$9,122,297)	2(f)		9,122,297
Investment in fund (cost US$339,912)	2(c),4		185,062
Cash			658,408
Due from brokers	3		7,520,920
Unrealized gain on open futures contracts	2(f),4,5		1,866,765
Unrealized gain on open forward contracts	2(f),4,5		138,006
Receivable from Superfund Green Gold Segregated Portfolio B			56,933
Other assets			10,457
			19,558,848
Liabilities			
Due to brokers	3		240,003
Unrealized loss on open futures contracts	2(f),4,5		386,519
Unrealized loss on open forward contracts	2(f),4,5		138,633
Redemptions payable			36,222
Accounts payable and accrued expenses	8		17,538
			818,915
Net assets		US$	18,739,933
Net assets per Participating Shares, based on 6,864.33 shares outstanding		US$	2,730.05

See accompanying notes to financial statements.

SUPERFUND GREEN GOLD MASTER SPC – SUPERFUND GREEN GOLD MASTER SEGREGATED PORTFOLIO

Condensed Schedule of Investments

December 31, 2022
(stated in United States dollars)

Description (% of net assets)	Number of shares	Cost	Fair value
INVESTMENT IN MONEY MARKET FUNDS (48.68%)			
Blackrock Inst US Dol Core Iulad (12.17%)	2,280,574.05	2,280,574	2,280,574
GS USD Liq Res-Inst (12.17%)	2,280,574.05	2,280,574	2,280,574
Invesco Global USD Corp 1937 (12.17%)	2,280,574.05	2,280,574	2,280,574
JP Morgan USD Liq Inst U39 (12.17%)	2,280,574.57	2,280,575	2,280,575
Total investment in money market funds		US$	9,122,297

Description (% of net assets)	Number of shares	Cost	Fair value
INVESTMENT IN FUNDS (0.99%)			
Superfund Green Gold SP Crypto Fund - Class D USD (0.99%)	414.65	339,912	185,062
Total investment in funds		US$	185,062

Description (% of net assets)	Expiration date	Notional amount	Fair value
FUTURES CONTRACTS (9.96%)			
Bond futures (3.21%)	March 2023	65,710,781	601,497
Commodity (0.86%)	February 2023- April 2023	7,906,928	160,798
Currencies (0.17%)	March 2023	3,924,751	31,571
Index (1.31%)	January 2023 - March 2023	12,825,666	246,427
Food/Fibers/Lumber/Rubber (0.20%)	March 2023	3,217,575	37,548
Gold (3.24%)	February 2023 - October 2023	19,234,179	606,651
Metals (0.29%)	March 2023 - October 2023	1,309,036	54,478
Energy (0.68%)	January 2023 - April 2023	5,062,267	127,795
Unrealized gain on futures contracts		US$	1,866,765

See accompanying notes to financial statements

SUPERFUND GREEN GOLD MASTER SPC – SUPERFUND GREEN GOLD MASTER SEGREGATED PORTFOLIO

Condensed Schedule of Investments (continued)

December 31, 2022
(stated in United States dollars)

Description (% of net assets)	Expiration date	Notional amount	Fair value
FUTURES CONTRACTS (-2.06%)			
Bond futures (-0.58%)	March 2023	10,362,331	(108,838)
Commodity (-0.48%)	February 2023- March 2023	4,047,762	(90,061)
Currencies (-0.24%)	March 2023	5,434,645	(44,893)
Index (-0.33%)	January 2023 - March 2023	8,480,521	(62,455)
Food/Fibers/Lumber/Rubber (-0.12%)	March 2023 - May 2023	462,786	(23,052)
Metals (-0.18%)	March 2023 - October 2023	1,014,633	(33,438)
Energy (-0.13%)	January 2023 - December 2023	1,262,160	(23,782)
Unrealized loss on futures contracts		US$	(386,519)

Description (% of net assets)	Expiration date	Notional amount	Fair value
FORWARD CONTRACTS (0.74%)			
Foreign exchange (0.74%)	March 2023	11,107,076	138,006
Unrealized gain on forward contracts		US$	138,006

Description (% of net assets)	Expiration date	Notional amount	Fair value
FORWARD CONTRACTS (-0.74%)			
Foreign exchange (-0.74%)	March 2023	7,383,739	(138,633)
Unrealized loss on forward contracts		US$	(138,633)

See accompanying notes to financial statements.

SUPERFUND GREEN GOLD MASTER SPC – SUPERFUND GREEN GOLD MASTER SEGREGATED PORTFOLIO

Statement of Operations

Year ended December 31, 2022
(stated in United States dollars)

	Note	
Income		
Interest income		82,368
		82,368
Expenses		
Administration fees	8	21,683
Professional fees		15,743
Interest expense		2,498
Other expenses		16,346
		56,270
Net investment income		26,098
Net realized loss and movement in unrealized gain on investments and foreign currency		
Net realized loss on investments and foreign currency		(3,901,346)
Movement in unrealized gain on investments and foreign currency		866,848
		(3,034,498)
Net decrease in net assets resulting from operations	US$	(3,008,400)

See accompanying notes to financial statements.

SUPERFUND GREEN GOLD MASTER SPC – SUPERFUND GREEN GOLD MASTER SEGREGATED PORTFOLIO

Statement of Changes in Net Assets

Year ended December 31, 2022
(stated in United States dollars)

Operations		
Net investment income		26,098
Net realized loss on investments and foreign currency		(3,901,346)
Movement in unrealized gain on investments and foreign currency		866,848
		(3,008,400)
Capital transactions		
Proceeds from issue of Participating Shares		6,570,442
Payments for redemption of Participating Shares		(6,619,560)
		(49,118)
Decrease in net assets for year		(3,057,518)
Net assets at beginning of year	US$	21,797,451
Net assets at end of year	US$	18,739,933

See accompanying notes to financial statements.

SUPERFUND GREEN GOLD MASTER SPC – SUPERFUND GREEN GOLD MASTER SEGREGATED PORTFOLIO

Notes to Financial Statements

December 31, 2022
(stated in United States dollars)

1. Incorporation and principal activity

Superfund Green Gold Master SPC (the "Master Fund") was incorporated as an exempted company under the Companies Act of the Cayman Islands on September 6, 2004 and was registered under the Mutual Funds Act of the Cayman Islands on June 12, 2013.

The Master Fund's objective is long-term capital appreciation through the use of technical analysis. The Master Fund invests its assets in a variety of futures contracts, including gold futures, and may also invest in physical gold.

The assets of the Master Fund can either be general assets or segregated portfolio assets. The assets attributable to a segregated portfolio comprise assets representing the share capital and reserves attributable to the segregated portfolio and other assets attributable to or held within that segregated portfolio. The general assets comprise the assets of the Master Fund which are not segregated portfolio assets. Where a liability arises from a transaction in respect of a particular segregated portfolio and there are insufficient assets within that segregated portfolio, then there will be recourse to the general assets, but not to the assets of any other segregated portfolio. The Master Fund had no general assets at December 31, 2022.

At December 31, 2022, the Master Fund had one segregated portfolio which was established in 2006, the Superfund Green Gold Master Segregated Portfolio. The Master Fund invests its assets in a variety of futures, including gold futures and also may invest in physical gold. The Master Fund's shares are offered to Superfund Green Gold SPC (the "Feeder Fund") as part of a "master-feeder" structure. The Feeder Fund is a multi-class fund which has established separate and distinct portfolios of investments available to investors through the offering of Class A Participating Shares (representing interests in Superfund Green Gold Segregated Portfolio A) and Class B Participating Shares (representing interests in Superfund Green Gold Segregated Portfolio B). At December 31, 2022, Superfund Green Gold Segregated Portfolio A and Superfund Green Gold Segregated Portfolio B held 18.29% and 42.65% of the Master Fund, respectively.

2. Significant accounting policies

The financial statements are prepared in conformity with accounting principles generally accepted in the United States of America ("US GAAP") as detailed in the Financial Accounting Standards Board's ("FASB") Accounting Standards Codification ("ASC"). The Master Fund qualifies as an investment company under US GAAP and follows the accounting and reporting guidance applicable to investment companies in FASB ASC 946, Financial Services – Investment Companies.

2. Significant accounting policies (continued)

The significant accounting policies adopted by the Master Fund are as follows:

(a) Use of Estimates

The preparation of financial statements in accordance with US GAAP requires management to make estimates and assumptions that affect the reported amounts of assets and liabilities and disclosure of contingent assets and liabilities at the date of the financial statements, and the reported amounts of revenues and expenses during the reporting year. Actual results could differ from those estimates.

(b) Investment in money market funds

Investments in money market fund are accounted for on the trade date basis. Investments are initially measured at cost. Subsequent to initial recognition, investments are measured at fair value. Fair value is determined as the net assets attributable to the Master Fund, as reported by the respective money market fund. Realized and movement in unrealized gains and losses are included in the statement of operations.

(c) Investments in funds, at fair value

Investments in investment funds are presented at their net asset value ("NAV") as reported by the management of the investment funds. In accordance with the redemption and liquidity terms of the governing agreements of the investment funds, a divestment of the Master Fund's ownership interest in an investment fund is transacted with such investment fund at the applicable reported NAV of the investment fund. ASU-2015-07 removed the requirement to categorize within the fair value hierarchy all investments for which fair value is measured using the NAV practical expedient. The amount of assets measured using the NAV practical expedient at December 31, 2022, was $185,062.

(d) Futures contracts

Open futures contracts are carried at fair value calculated as the difference between the contract price and the market value based upon rates reported in published sources or those provided by the broker, if applicable rates are not readily available. Realized and movement in unrealized gains and losses are included in the statement of operations.

(e) Forward contracts

Open forward contracts are carried at fair value calculated as the difference between the prevailing forward exchange rates and the deal rate. Realized and movement in unrealized gains and losses are included in the statement of operations.

SUPERFUND GREEN GOLD MASTER SPC – SUPERFUND GREEN GOLD MASTER SEGREGATED PORTFOLIO

Notes to Financial Statements (continued)

December 31, 2022
(stated in United States dollars)

2. Significant accounting policies (continued)

(f) Valuation of investments at fair value – definition and hierarchy

US GAAP establishes a fair value hierarchy that prioritizes the inputs to valuation techniques used to measure fair value into three broad levels explained below:

Level 1: Valuations based on the unadjusted quoted prices in active markets for identical assets or liabilities that management has the ability to access. Valuation adjustments and block discounts are not applied to Level 1 securities. Since valuations are based on quoted prices that are readily and regularly available in an active market, valuation of these securities does not entail a significant degree of judgment.

Level 2: Valuations based on quoted prices in markets that are not active or for which all significant inputs are observable, either directly or indirectly.

Level 3: Valuations based on inputs that are unobservable and significant to the overall fair value measurement.

The following table summarizes the valuation of the Master Fund's investments based on the fair value hierarchy described above as at December 31, 2022.

Assets		Total	Level 1	Level 2
Investments in money market fund		9,122,297	9,122,297	-
Unrealized gain on open futures contracts		1,866,765	1,866,765	-
Unrealized gain on open forward contracts		138,006	-	138,006
Total	US$	11,127,068	10,989,062	138,006

Liabilities		Total	Level 1	Level 2
Unrealized loss on open futures contracts		(386,519)	(386,519)	-
Unrealized loss on open forward contracts		(138,633)	-	(138,633)
Total	US$	(525,152)	(386,519)	(138,633)

(g) Interest income and expense

Interest income and expense are recorded on an accrual basis.

(h) Foreign currency

Assets and liabilities denominated or accounted for in foreign currencies are translated into United States dollars at the applicable exchange rates at the date of the statement of assets and liabilities. Foreign currency transactions are translated into United States dollars at the rate of exchange ruling at the date of the transaction. Realized and movement in unrealized gains and losses arising from translation are included in the statement of operations.

2. Significant accounting policies (continued)

(h) Foreign currency (continued)

The Master Fund does not isolate that portion of the results of operations resulting from changes in foreign exchange on investments and cash from the fluctuations arising from changes in market prices of securities held. Such fluctuations are included with the net realized loss and movement in unrealized gain on investments and foreign currency in the statement of operations.

(i) Taxation

There are no taxes on income or gains in the Cayman Islands and in accordance with the provisions of section 6 of the Tax Concessions Act, the Master Fund has received an undertaking from the Governor in Cabinet of the Cayman Islands exempting it from all local taxation on future profits, income or gains until October 26, 2024. Accordingly, no provision for income taxes is included in these financial statements.

The Master Fund recognizes the tax benefits of uncertain tax positions only where the position is more-likely-than-not (i.e. greater than 50-percent) to be sustained assuming examination by a tax authority based on the technical merits of the position. The Master Fund analyzes all open tax years for all major taxing jurisdictions. Open tax years are those that are open for examination by taxing authorities, as defined by the statute of limitations in each jurisdiction.

Management has analyzed the Master Fund's tax positions and has concluded that no liability for unrecognized tax benefits should be recorded related to uncertain tax positions. Further, management is not aware of any tax positions for which it is reasonably possible that the total amounts of unrecognized tax benefits will significantly change in the next twelve months.

(j) Allocation of income and expenses

Income and expenses that are identifiable with a particular segregated portfolio are allocated to or charged against the segregated portfolio in computing its net asset value. Other income and expenses are allocated pro-rata between the segregated portfolios or otherwise at the discretion of the Directors.

(k) Offsetting

Financial assets and liabilities including unrealized gain or loss on open futures contracts are offset and the net amount is reported in the statement of assets and liabilities when the Master Fund has a legally enforceable right to offset the recognized amounts and the transactions are intended to be settled on a net basis or simultaneously. The Master Fund did not meet the requirements for offsetting during the year.

(l) Redemptions payable

Participating Shares redeemed at the option of the holder or the Master Fund are classified as redemptions payable when a redemption request has been received and the redemption amount determined.

3. Due from/to brokers

Due from/to brokers include cash balances maintained at ADM Investor Services, Inc. and INTL FC Stone Financial Inc. and includes margin cash of US$5,391,066 pledged as collateral against open future contracts and forwards contracts. At December 31, 2022 due from/to brokers included amounts receivable and payable for unsettled trades of US$Nil and US$Nil, respectively.

4. Financial instruments

Market risk, credit risk and liquidity risk

In the normal course of its business, the Master Fund purchases and sells various financial instruments which may result in market, credit and liquidity risks, the amount of which is not apparent from the financial statements.

Market risk is the risk that changes in interest rates, foreign exchange rates or equity and commodity prices will affect the positions held by the Master Fund. The Master Fund is exposed to market risk on financial instruments that are valued at market prices.

As part of its investment strategy, the Master Fund enters into futures contracts. Futures contracts are traded on organized exchanges and require initial margin (collateral) in the form of cash or marketable securities. The initial margin is adjusted to reflect changes in the value of the futures contracts which is marked to market on a daily basis. Holders of futures contracts look to the exchange for performance under the contract and not to the entity holding the offsetting futures position.

The Master Fund enters into forward contracts. Forward contracts contain credit risk for unrealized appreciation from various counterparties for the duration of the contract, net of collateral held. The Master Fund seeks to reduce its credit risk for forward contracts by only transacting with creditworthy counterparties.

The Master Fund invests into money market funds. Money market funds invest only in highly liquid cash and cash equivalent securities that have high credit ratings such as treasury bills, commercial paper and certificates of deposit. Also called a money market mutual fund, these funds invest primarily in debt-based securities which have a short-term maturity of less than 13 months, and offer high liquidity with very low level of risk.

The Master Fund invests into other investment funds. At December 31, 2022 the Master Fund's only fund investment is in Superfund Green Gold Segregated Portfolio Crypto Fund (the "SF Crypto Fund"). The SF Crypto Fund's investment objective is to achieve significant positive returns by systematically trading exchange traded futures contracts on major liquid "cryptocurrencies". Consequently, the value of the Master Fund's position in the SF Crypto Fund will be impacted by changes in cryptocurrency prices. Cryptocurrencies are a type of digital asset. Digital assets represent a speculative investment and involve a high degree of risk. Digital assets are a relatively new technology, are loosely regulated and there is no central marketplace for currency exchange.

4. Financial instruments (continued)

Market risk, credit risk and liquidity risk (continued)

Market risks arise due to the possible movement in foreign exchange rates, indices, commodities and securities' values underlying these instruments. Other market risks include the possibility that a change in the value of the contract may not directly correlate with changes in the value of the underlying currencies, commodities or stock indices. Certain risks exist when trading in futures contracts as they may increase the total return of the Master Fund's investments but may also entail greater than ordinary investment risks.

Credit risk is the risk of counterparty default. Credit risk is generally higher when a non-exchange traded financial instrument is involved because the counterparty for non-exchange traded financial instruments is not backed by an exchange clearing house. In order to minimize the impact of credit risk, the Master Fund utilizes a number of brokers. Management reviews the credit rating and results of the brokers and is comfortable with the concentration of credit risk by the Master Fund.

Futures markets are highly volatile and are influenced by factors such as changing supply and demand relationships, governmental programs and policies, national and international political and economic events and changes in interest rates. In addition, because of the low margin deposits normally required in futures trading, a high degree of leverage may be typical of a futures trading account.

As a result, a relatively small price movement in a futures contract may result in substantial losses to the Master Fund. Futures trading may also be illiquid. Certain futures exchanges do not permit trading in particular futures contracts at prices that represent a fluctuation in price during a single day's trading beyond certain set limits. If prices fluctuate during a single day's trading beyond those limits, the Master Fund could be prevented from promptly liquidating unfavourable positions and thus be subject to substantial losses.

As part of its investment strategy, the Master Fund utilizes leverage. The concept of leveraging is based on the premise that the Master Fund's cost of borrowing will be at rates that normally will be lower than the rate of return earned on the investment it holds. While the use of leverage may increase the returns on equity capital invested in the Master Fund, the use of leverage also increases the risk of loss on such capital.

Superfund Capital Management Inc. (the "Investment Advisor") acts as the investment advisor of the Master Fund. The Investment Advisor has internal guidelines and limits to maintain levels of leverage.

5. Derivative contracts

The Master Fund transacts in a variety of futures contracts and forward contracts for trading purposes with each instrument's primary risk exposure being interest rate, foreign currency exchange rate, equity price and commodity price risks. Investments in derivative contracts are subject to additional risks that can result in a loss of all or part of an investment.

The Master Fund records its derivative activities on a mark-to-market basis. Fair values are determined by using quoted market prices. The fair value of derivative instruments held by the Master Fund as at December 31, 2022 is included as a separate line item in the statement of assets and liabilities.

5. Derivative contracts (continued)

The following table indicates the fair value amounts of derivative contracts as at December 31, 2022, disaggregated by asset and liability values and by contract type. The amounts are included in unrealized gain or loss on open futures contracts and open forwards contracts within the statement of assets and liabilities. The table also includes the realised gains and losses and unrealised gains and losses on derivatives by contract type, as included in the net realised gain or loss on investments and foreign currency and the movement in unrealized gain or loss on and investments and foreign currency within the statement of operations.

The table also includes the notional amount of open contracts, by contract type as at December 31, 2022:

	Asset derivatives	Notional amount	Liability derivatives	Notional amount	Unrealized gain/(loss)	Realized gain/(loss)
Futures contracts						
Bond futures	601,497	65,710,781	(108,838)	10,362,331	898,042	(961,526)
Commodity	160,798	7,906,928	(90,061)	4,047,762	(131,159)	(1,996,005)
Currencies	31,571	3,924,751	(44,893)	5,434,645	(118,889)	751,766
Index	246,427	12,825,666	(62,455)	8,480,521	47,624	(3,462,012)
Food/Fibers/Lumber/ Rubber	37,548	3,217,575	(23,052)	462,786	6,716	261,717
Gold	606,651	19,234,179	-	-	268,391	(855,242)
Metals	54,478	1,309,036	(33,438)	1,014,633	92,894	138,207
Energy	127,795	5,062,267	(23,782)	1,262,160	(78,722)	2,239,719
Total US$	**1,866,765**	**119,191,183**	**(386,519)**	**31,064,838**	**984,897**	**(3,883,375)**

Forward contracts	Asset derivatives	Notional Amount	Liability derivatives	Notional Amount	Unrealized gain/(loss)	Realized gain/(loss)
Foreign Exchange	138,006	11,107,076	(138,633)	7,383,739	47,394	420,099
Total US$	**138,006**	**11,107,076**	**(138,633)**	**7,383,739**	**47,394**	**420,099**

The derivative instruments held as at December 31, 2022 and their effect on the statement of operations are indicative of the volume of derivative activity of the Master Fund during the year.

SUPERFUND GREEN GOLD MASTER SPC – SUPERFUND GREEN GOLD MASTER SEGREGATED PORTFOLIO

Notes to Financial Statements (continued)

December 31, 2022
(stated in United States dollars)

6. Share capital

Authorized:		
5,000,000 Participating Shares of US$0.01 each	US$	50,000

	Number
Participating Shares:	
Balance at beginning of year	6,644.88
Issued during year	2,159.45
Redeemed during year	(1,940.00)
Balance at end of year	6,864.33

Participating Shares

Participating Shares carry voting rights and are redeemable at the net asset value per share of their respective segregated portfolio on the first business day of each calendar month or such other day as the directors may determine. Holders of Participating Shares are entitled to receive all dividends declared and paid in proportion to the amounts paid up on shares held by them respectively.

The rights attached to any shares may be varied with the consent in writing of all the holders of the issued shares of the segregated portfolio, or with the sanction of a special resolution passed by three fourths of the votes cast at a meeting of the holders of the shares of that segregated portfolio.

On a winding up of the Master Fund, segregated portfolio and general assets will be applied first in satisfaction of claims of the segregated portfolio creditors and general creditors, respectively. The balance of general assets, if any, will be transferred to the segregated portfolios in proportion to the net asset value of each segregated portfolio. The assets of each segregated portfolio will be paid to the shareholders of the respective segregated portfolio in proportion to the number of shares held. If there is more than one class of Participating Shares in a segregated portfolio, the assets of the segregated portfolio will be allocated pro-rata to each class according to the relative net asset values and then paid to the shareholders in proportion to the number of Participating Shares of the relevant class held.

7. Fair value

At December 31, 2022, the following methods and assumptions were used by management to estimate the fair value of each class of financial instruments. For certain of the Master Fund's financial instruments, including cash and accounts payable and accrued expenses, the carrying amounts approximate fair value due to the immediate or short-term nature of these financial instruments.

Investment in money market funds are recorded at market values based on quoted market prices or dealer quotes and therefore, the carrying amount approximates fair value.

Investments in open futures contract positions are recorded at market values based on quoted market prices or dealer quotes and therefore, the carrying amount approximates fair value.

7. Fair value (continued)

Investments in open forward contracts are recognized initially at fair value on the date the derivative contract is entered into. Any appreciation or depreciation arising from changes in fair value of forward contracts are taken directly to the statement of operations. Subsequent to initial measurement, forward contracts are measured at fair value.

Investments in funds are recorded at the value provided by the underlying funds and/or their administrator, as a practical expedient for fair value.

Fair value estimates are made at a specific point in time, based on market conditions and information about the financial instruments. These estimates are subjective in nature and involve uncertainties and matters of significant judgment and therefore, cannot be determined with precision. Changes in assumptions could significantly affect the estimates.

8. Administration fees

Effective from April 1, 2022, the Master Fund appointed NAV Fund Services (Cayman) Ltd. as an administrator (the "Administrator") of the Master Fund. Under the terms of the administration agreement, the Master Fund pays to the Administrator administration fees at the rate of 4.2 basis points 0.042% per annum (1/12 of 4.2 bps per month) of net assets of the Master Fund US$0 and US$50 million, 2.45 basis points per annum when the gross net asset value of the Master Fund is between US$50 million to US$100 million, 0.7 basis points per annum when the gross net asset value of the Master Fund is over US$100 million, subject to minimum of US$1,375 per month.

Prior to April 1, 2022, Under the terms of the administration agreement, the Master Fund pays to Apex Fund Services S.A. each week in arrears a fee calculated at the rate of 0.06% per annum when the gross net asset value of the Master Fund is between US$0 and US$50 million, 0.035% per annum when the gross net asset value of the Master Fund is between US$50 million to US$100 million, 0.01% per annum when the gross net asset value of the Master Fund is over US$100 million, subject to a minimum annual fee of US$31,530.

Included in accounts payable and accrued expenses at December 31, 2022 are administration fees payable of US$2,875.

9. Financial highlights

Per share operating performance (for a Participating Share outstanding throughout the year) [1]		
Net asset value per Participating Share at beginning of year		3,280.34
Income from investment operations		
Net investment income		3.99
Net realized loss and movement in unrealized gain on investments and foreign currency		(554.24)
Total loss from investment operations		(550.25)
Net asset value per Participating Share at end of year	**US$**	2,730.09
Total return [2]		(16.77)%
Supplemental data:		
Ratio to average net assets		
Expenses		(0.26)%
Net investment income		0.12%

[1] Based on average shares outstanding during the year.

[2] An individual investor's return may vary due to the timing of share subscriptions and redemptions.

10. Related party transactions

At December 31, 2022, 2,686.28 Participating Shares of the Master Fund were held by a related party.

The Master Fund has invested into the SF Crypto Fund which is part of the Superfund group of investment companies. The Investment Advisor of the Master Fund is also the Investment Advisor of the SF Crypto Fund. As at December 31, 2022, the investment in SF Crypto Fund has a fair value of US$185,062, representing 0.99% of the net assets of the Master Fund. There were purchases and sales made of US$25,000 and US$257,000 respectively in the SF Crypto Fund during the year and a realized loss of US$52,352 was incurred.

11. Subsequent events

In preparing these financial statements, management has evaluated and disclosed all material subsequent events up to June 27, 2023, which is the date that the financial statements were available to be issued.

SUPERFUND GREEN SPC - SUPERFUND GREEN SEGREGATED PORTFOLIO A

Statement of Assets and Liabilities

December 31, 2022
(stated in United States dollars)

	Note		
Assets			
Investment in money market funds (cost: $42,148)	2(l)		42,148
Investment in Superfund Green Master	13		158,970
Cash	3		119,904
Other assets			4,437
			325,459
Liabilities			
Accounts payable and accrued expenses	7,9,10		7,386
			7,386
Net assets		US$	318,073
Net assets per Class A (USD) Share, based on 45,325.66 shares outstanding		US$	7.02

The accompanying notes and the attached financial statements of Superfund Green Master are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND GREEN SPC - SUPERFUND GREEN SEGREGATED PORTFOLIO A

Condensed Schedule of Investments

December 31, 2022
(stated in United States dollars)

Description (% of net assets)	Number of Shares	Cost	Fair value
FUND INVESTMENT (13.24%)			
Blackrock Inst US Dol Core Iulad (3.31%)	10,536.74	10,537	10,537
GS USD Liq Res-Inst (3.31%)	10,536.74	10,537	10,537
Invesco Global USD Corp 1937(3.31%)	10,536.74	10,537	10,537
JPM Li-USD Liq Lvnav-Inst D (3.31%)	10,536.43	10,537	10,537
Total money market funds		US$	42,148

The accompanying notes and the attached financial statements of Superfund Green Master are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND GREEN SPC - SUPERFUND GREEN SEGREGATED PORTFOLIO A

Statement of Operations

Year ended December 31, 2022
(stated in United States dollars)

	Note	
Net investment income allocated from Superfund Green Master		
Interest income		1,576
Expenses		(719)
		857
Sub-Fund income		
Other income		4,497
		4,497
Sub-Fund expenses		
Management fees	7	15,855
Distribution fees	9	9,517
Administration fees	10	7,522
Professional fees		4,747
General and administrative expenses		6,048
		43,689
Net investment loss		(38,335)
Net realized loss and movement in unrealized gain on investments and foreign currencies allocated from Superfund Green Master		
Net realized loss on investments and foreign currencies		(30,896)
Movement in unrealized gain on investments and foreign currencies		6,731
		(24,165)
Net decrease in net assets resulting from operations	US$	(62,500)

The accompanying notes and the attached financial statements of Superfund Green Master are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND GREEN SPC - SUPERFUND GREEN SEGREGATED PORTFOLIO A

Statement of Changes in Net Assets

Year ended December 31, 2022
(stated in United States dollars)

	Note	
Operations		
Net investment loss		(38,335)
Net realized loss on investments and foreign currencies		(30,896)
Movement in unrealized gain on investments and foreign currencies		6,731
		(62,500)
Capital transactions		
Redemption of Class A (USD) Participating Shares		(209,936)
		(209,936)
Decrease in net assets for year		(272,436)
Net assets at beginning of year		590,509
Net assets at end of year	US$	318,073
Net assets at end of year consist of:		
Class A (USD) Shares		318,073
	US$	318,073

The accompanying notes and the attached financial statements of Superfund Green Master are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND GREEN SPC - SUPERFUND GREEN SEGREGATED PORTFOLIO B

Statement of Assets and Liabilities

December 31, 2022
(stated in United States dollars)

	Note		
Assets			
Investment in money market funds (cost: $1,067,600)	2(l)		1,067,600
Investment in Superfund Green Master	13		7,420,964
Due from broker	4		870,731
Unrealized gain on open futures contracts	2(l),5,13		316,080
Redemption receivable from Master Fund and other Funds			22,204
Other assets			4,855
Cash	3		612,217
			10,314,651
Liabilities			
Redemptions payable			63,941
Accounts payable and accrued expenses	7,9,10		56,602
			120,543
Net assets		US$	10,194,108
Net assets per Class B (USD) Share, based on 26,443.13 shares outstanding		US$	8.39
Net assets per Class Japan (JPY) Share, based on 655,418.42 shares outstanding		JPY	952.25
Net assets per Class Japan (USD) Share, based on 168,020.69 shares outstanding		US$	7.63
Net assets per Class Silver (USD) Share, based on 235,733.95 shares outstanding		US$	11.20
Net assets per Class Silver (JPY) Share, based on 105,414.19 shares outstanding		US$	11.20
Net assets per Class B (EUR) Share, based on 11,519.76 shares outstanding		EUR	8.83

The accompanying notes and the attached financial statements of Superfund Green Master are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND GREEN SPC - SUPERFUND GREEN SEGREGATED PORTFOLIO B

Condensed Schedule of Investments

December 31, 2022
(stated in United States dollars)

Description (% of net assets)	Number of Shares	Cost	Fair value
INVESTMENT IN MONEY MARKET FUNDS (10.48%)			
Blackrock Inst US Dol Core Iulad (2.62%)	266,899.62	266,900	266,900
GS USD Liq Res-Inst (2.62%)	266,899.62	266,900	266,900
Invesco Global USD Corp 1937 (2.62%)	266,899.62	266,900	266,900
JPM Li-USD Liq Lvnav-Inst D (2.62%)	266,900.00	266,900	266,900
Total investment in money market funds		US$	1,067,600

Description (% of net assets)	Expiration date	Notional Amount	Fair Value
FUTURES CONTRACTS (3.10%)			
Metals (3.10%)	March 2023	2,884,800	316,080
Unrealized gain on futures contracts		US$	316,080

The accompanying notes and the attached financial statements of Superfund Green Master are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND GREEN SPC - SUPERFUND GREEN SEGREGATED PORTFOLIO B

Statement of Operations

Year ended December 31, 2022
(stated in United States dollars)

	Note	
Net investment income allocated from Superfund Green Master		
Interest income		47,802
Expenses		(13,726)
		34,076
Sub-Fund income		
Other income		17,738
		17,738
Sub-Fund expenses		
Management fees	7	163,721
Incentive fees	8	174,786
Distribution fees	9	146,082
Administration fees	10	8,163
Professional fees		16,685
General and administrative expenses		18,697
		528,134
Net investment loss		(476,320)
Sub-Fund gain on foreign currency		
Net realized gain on foreign currencies		332,785
Movement in unrealized gain on foreign currencies		316,080
		648,865
Net realized loss and movement in unrealized gain on investments and foreign currencies allocated from Superfund Green Master		
Net realized loss on investments and foreign currencies		(2,179,535)
Movement in unrealized gain on investments and foreign currencies		678,784
		(1,500,751)
Net decrease in net assets resulting from operations	US$	(1,328,206)

The accompanying notes and the attached financial statements of Superfund Green Master are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND GREEN SPC - SUPERFUND GREEN SEGREGATED PORTFOLIO B

Statement of Changes in Net Assets

Year ended December 31, 2022
(stated in United States dollars)

Operations		
Net investment loss		(476,320)
Net realized loss on investments and foreign currencies		(1,846,750)
Movement in unrealized gain on investments and foreign currencies		994,864
		(1,328,206)
Capital transactions		
Proceeds from issue of Class B (USD) Participating Shares		187,874
Proceeds from issue of Class Japan (JPY) Participating Shares		2,007,766
Proceeds from issue of Class Japan (USD) Participating Shares		2,136,496
Proceeds from issue of Class Silver (USD) Participating Shares		3,042,818
Proceeds from issue of Class Silver (JPY) Participating Shares		1,157,033
Proceeds from issue of Class B (Euro) Participating Shares		114,864
Redemption of Class B (USD) Participating Shares		(8,117)
Redemption of Class Japan (JPY) Participating Shares		(3,073,038)
Redemption of Class Japan (USD) Participating Shares		(472,009)
Redemption of of Class Silver (USD) Participating Shares		(668,747)
Redemption of Class Silver (JPY) Participating Shares		(87,995)
		4,336,945
Increase in net assets for year		3,008,739
Net assets at beginning of year		7,185,369
Net assets at end of year	US$	10,194,108
Net assets at end of year consist of:		
Class B (USD) Shares		221,902
Class Japan (JPY) Shares		4,760,158
Class Japan (USD) Shares		1,282,685
Class Silver (USD) Shares		2,639,984
Class Silver (JPY) Shares		1,180,533
Class B (EUR) Shares		108,846
	US$	10,194,108

The accompanying notes and the attached financial statements of Superfund Green Master are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND GREEN SPC - SUPERFUND GREEN SEGREGATED PORTFOLIO C

Statement of Assets and Liabilities

December 31, 2022
(stated in United States dollars)

	Note		
Assets			
Investment in Superfund Green Master	13		3,530,257
Cash	3		74,057
Redemption receivable from Master Fund			28,333
Other assets			4,666
			3,637,313
Liabilities			
Redemptions payable			1,452
Accounts payable and accrued expenses	7,9,10		25,259
			26,711
Net assets		US$	3,610,602
Net assets per Class C (USD) Share, based on 241,749.68 shares outstanding		US$	6.70
Net assets per Class C Japan (JPY) Share, based on 132,938.04 shares outstanding		JPY	972.04
Net assets per Class C Japan (USD) Share, based on 121,598.56 shares outstanding		US$	6.87
Net assets per Class C (EUR) Share, based on 23,904.42 shares outstanding		EUR	6.60

The accompanying notes and the attached financial statements of Superfund Green Master are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND GREEN SPC - SUPERFUND GREEN SEGREGATED PORTFOLIO C

Statement of Operations

Year ended December 31, 2022
(stated in United States dollars)

	Note	
Net investment income allocated from Superfund Green Master		
Interest income		31,227
Expenses		(15,232)
		15,995
Sub-Fund expenses		
Management fees	7	125,728
Incentive fees	8	82,143
Distribution fees	9	92,057
Professional fees		9,392
Administration fees	10	8,065
Interest expense		36
General and administrative expenses		12,194
		329,615
Net investment loss		(313,620)
Sub-Fund gain/(loss) on foreign currency		
Net realized gain on foreign currencies		5,682
		5,682
Net realized loss and movement in unrealized gain on investments and foreign currencies allocated from Superfund Green Master		
Net realized loss on investments and foreign currencies		(1,061,214)
Movement in unrealized gain on investments and foreign currencies		86,842
		(974,372)
Net decrease in net assets resulting from operations	US$	**(1,282,310)**

The accompanying notes and the attached financial statements of Superfund Green Master are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND GREEN SPC - SUPERFUND GREEN SEGREGATED PORTFOLIO C

Statement of Changes in Net Assets

Year ended December 31, 2022
(stated in United States dollars)

Operations		
Net investment loss		(313,620)
Net realized loss on investments and foreign currencies		(1,055,532)
Movement in unrealized gain on investments and foreign currencies		86,842
		(1,282,310)
Capital transactions		
Proceeds from issue of Class C Japan (JPY) Participating Shares		50,956
Proceeds from issue of Class C (EUR) Participating Shares		32,484
Proceeds from issue of Class C Japan (USD) Participating Shares		1,361,503
Redemption of Class C Japan (JPY) Participating Shares		(1,824,942)
Redemption of Class C (EUR) Participating Shares		(103,214)
Redemption of Class C Japan (USD) Participating Shares		(145,787)
Redemption of Class C (USD) Participating Shares		(262,015)
		(891,015)
Decrease in net assets for year		(2,173,325)
Net assets at beginning of year		5,783,927
Net assets at end of year	US$	3,610,602
Net assets at end of year consist of:		
Class C (USD) Shares		1,620,757
Class C Japan (JPY) Shares		985,573
Class C Japan (USD) Shares		835,457
Class C (EUR) Shares		168,815
	US$	3,610,602

The accompanying notes and the attached financial statements of Superfund Green Master are an integral part of these financial statements.

SUPERFUND GREEN SPC

Notes to Financial Statements

December 31, 2022
(stated in United States dollars)

1. Incorporation and principal activity

Superfund Green SPC (the "Company") was incorporated as an exempted company under the Companies Act of the Cayman Islands on March 24, 2003 and was registered under the Mutual Funds Act of the Cayman Islands on April 1, 2003.

The Company is organized in the form of a segregated portfolio company which has established separate and distinct portfolios of investments available to investors through the offering of Class A Participating Shares (representing interests in Superfund Green Segregated Portfolio A), Class B Participating Shares (representing interests in Superfund Green Segregated Portfolio B), and Class C Participating Shares (representing interests in Superfund Green Segregated Portfolio C), (collectively "the Sub–Funds").

The Company is part of a "master–feeder" structure whereby it invests substantially all of its assets in Class B, Class C and Class E Master Shares of Superfund Green Master (the "Master Fund") a Cayman Islands exempted company. The financial statements of the Master Fund, including the condensed schedule of investments, are included in this report and should be read in conjunction with the Company's financial statements. As at December 31, 2022 the Company held 100% of the Class B Master Shares, 2.01% of Class C Master Shares and 100% of the Class E Master Shares.

The Company's objective is to provide investors with a form of investment independent of the development of equity and securities markets, which is expected achieve above average returns on long term capital appreciation.

The assets of the Company can either be general company or segregated portfolio assets. The assets attributable to a segregated portfolio comprise assets representing the share capital and reserves attributable to the segregated portfolio and other assets attributable to or held within that segregated portfolio. The general assets comprise the assets of the Company which are not segregated portfolio assets. Where a liability arises from a transaction in respect of a particular segregated portfolio and there are insufficient assets within that segregated portfolio, then there will be recourse to the general assets, but not to the assets of any other segregated portfolio. At December 31, 2022, the general assets are not presented separately on the statements of assets and liabilities, operations and changes in net assets as there is only a cash balance of US$1, representing the amount received upon issuance of the Founder Shares (see note 4), and no income or expenses have been attributed to the general assets to date.

2. Significant accounting policies

The financial statements are prepared in conformity with accounting principles generally accepted in the United States of America ("US GAAP") as detailed in the Financial Accounting Standards Board's ("FASB") Accounting Standards Codification ("ASC"). The Company qualifies as an investment company under US GAAP and follows the accounting and reporting guidance applicable to investment companies in FASB ASC 946, *Financial Services – Investment Companies*.

The significant accounting policies adopted by the Company are as follows:

(a) Use of estimates

The preparation of financial statements in accordance with US GAAP requires management to make estimates and assumptions that affect the reported amounts of assets and liabilities and disclosure of contingent assets and liabilities at the date of the financial statements, and the reported amounts of revenues and expenses during the reporting year. Actual results could differ from those estimates.

(b) Investment in the Master Fund

Investments in the Master Fund are accounted for on a trade date basis. Investments are initially measured at cost. Subsequent to initial recognition, investments are measured at fair value. Fair value is determined as the net assets attributable to the Company, as a practical expedient, as reported by the Master Fund's administrator. Realized and unrealized gains and losses on investments are included in the statement of operations. The valuation of the Master Fund's investments is discussed in the notes to the Master Fund's financial statements included elsewhere in this report.

(c) Investment in money market funds

Investments in money market fund are accounted for on the trade date basis. Investments are initially measured at cost. Subsequent to initial recognition, investments are measured at fair value. Fair value is determined as the net assets attributable to the Company, as reported by the respective money market fund. Realized and movement in unrealized gains and losses are included in the statement of operations.

(d) Futures contracts

Open futures contracts are carried at fair value calculated as the difference between the contract price and the market value based upon rates reported in published sources or those provided by the broker if applicable rates are not readily available. Realized and movement in unrealized gains and losses are included in the statement of operations.

2. Significant accounting policies (continued)

(e) Investment income and expenses

Each segregated portfolio records its proportionate share of the Master Fund's income, expenses and realized and movement in unrealized gains and losses in its statement of operations based on the value of its respective share of the net asset value of the Master Fund. In addition, each segregated portfolio also accrues its own income and expenses.

(f) Interest income

Interest income is recorded on an accrual basis.

(g) Foreign currency

Assets and liabilities denominated or accounted for in foreign currencies are translated into United States dollars at the applicable exchange rates at the date of the statement of assets and liabilities. Foreign currency transactions are translated into United States dollars at the rate of exchange ruling at the date of the transaction. Realized and movement in unrealized gains and losses arising from translation are included in the statement of operations.

The Company does not isolate that portion of the results of operations resulting from changes in foreign exchange rates on investments from the fluctuations arising from changes in market prices of securities held. Such fluctuations are included within the net realized and movement in unrealized gain or loss on investments and foreign currencies.

(h) Taxation

There are no taxes on income or gains in the Cayman Islands and, in accordance with the provisions of Section 6 of the Tax Concessions Act, the Company has received an undertaking from the Governor in Cabinet of the Cayman Islands exempting it from all local taxation on future profits, income or gains until April 1, 2023. Accordingly, no provision for income taxes is included in these financial statements.

The Company recognizes the tax benefits of uncertain tax positions only where the position is more-likely-than-not (i.e. greater than 50-percent) to be sustained assuming examination by a tax authority based on the technical merits of the position. The Company analyzes all open tax years for all major taxing jurisdictions. Open tax years are those that are open for examination by taxing authorities, as defined by the statute of limitations in each jurisdiction.

Management has analyzed the Company's tax positions, and has concluded that no liability for tax expenses or assets for tax benefits should be recorded in relation to uncertain tax positions. Further, management is not aware of any tax positions for which it is reasonably possible that the total amounts of unrecognized tax benefits will significantly change in the next twelve months.

2. Significant accounting policies (continued)

(i) Allocation of income and expenses

Income and expenses that are identifiable with a particular segregated portfolio is allocated to or charged against the segregated portfolio in computing its net asset value. Other income and expenses are allocated pro rata between the segregated portfolios or otherwise at the discretion of the Board of Directors.

(j) Offsetting

Financial assets and liabilities including net unrealized gain/(loss) on open futures contracts are offset and the net amount is reported in the statement of assets and liabilities when the Company has a legally enforceable right to offset the recognized amounts and the transactions are intended to be settled on a net basis or simultaneously. The Company did not meet the requirements for offsetting during the year.

(k) Redemptions payable

Participating Shares redeemed at the option of the holder or the Company are classified as redemptions payable when a redemption request has been received and the redemption amount has been determined.

(l) Valuation of investments at fair value - definition and hierarchy

US GAAP establishes a fair value hierarchy that prioritizes the inputs to valuation techniques used to measure fair value into three broad levels explained below:

Level 1: Valuations based on the unadjusted quoted prices in active markets for identical assets or liabilities that management has the ability to access. Valuation adjustments and block discounts are not applied to Level 1 securities. Since valuations are based on quoted prices that are readily and regularly available in an active market, valuation of these securities does not entail a significant degree of judgment.

Level 2: Valuations based on quoted prices in markets that are not active or for which all significant inputs are observable, either directly or indirectly.

Level 3: Valuations based on inputs that are unobservable and significant to the overall fair value measurement.

2. Significant accounting policies (continued)

(l) Valuation of investments at fair value - definition and hierarchy (continued)

The following table summarizes the valuation of the Company's investments based on the fair value hierarchy described above as at December 31, 2022.

Segregated Portfolio A		Total	Level 1	Level 2
Investment in money market fund		42,148	42,148	-
Total	US$	42,148	42,148	-

Segregated Portfolio B		Total	Level 1	Level 2
Investment in money market fund		1,067,600	1,067,600	-
Unrealized gain on open futures contracts		316,080	316,080	-
Total	US$	1,383,680	1,383,680	-

The fair value hierarchy of the investments held by the Master Fund is disclosed in Notes 2(f) of the Master Fund's financial statements.

3. Cash

Cash consists of cash due on demand.

4. Due from broker

Due from broker include cash balances maintained at ADM Investor Services, Inc. Due from broker in Superfund Green Segregated Portfolio B includes margin cash of US$224,400 pledged as collateral against open future contracts.

5. Derivative contracts

Superfund Green Segregated Portfolio B transacts in a variety of futures contracts for trading purposes with each instrument's primary risk exposure being commodity price risk. Investments in derivative contracts are subject to additional risks that can result in a loss of all or part of an investment.

Superfund Green Segregated Portfolio B records its derivative activities on a mark-to-market basis. Fair values are determined by using quoted market prices. The fair value of derivative instruments held by the Superfund Green Segregated Portfolio B as at December 31, 2022 is included as a separate line item in the statement of assets and liabilities.

The following table indicates the fair value amounts of derivative contracts as at December 31, 2022, disaggregated by asset and liability values and by contract type. The amounts are included in unrealized gain or loss on open futures within the statement of assets and liabilities. The table also includes the realised gains and losses on derivatives by contract type, as included in the net realised gain or loss on investments and foreign currency within the statement of operations.

SUPERFUND GREEN SPC

Notes to Financial Statements (continued)

December 31, 2022
(stated in United States dollars)

5. Derivative contracts (continued)

The table also includes the notional amount of open contracts, by contract type as at December 31, 2022:

Futures contracts		Asset derivatives	Notional Amount	Unrealized gain/(loss)	Realized gain/(loss)
Metals		316,080	2,884,800	316,080	371,338
Total	**US$**	**316,080**	**2,884,800**	**316,080**	**371,338**

The derivative instruments held as at December 31, 2022 and their effect on the statement of operations are indicative of the volume of derivative activity of Superfund Green Segregated Portfolio B during the year.

6. Net paid in capital

Authorized:		
100 Founder Shares of US$0.01 each		1
99,999,900 Participating Shares of US$0.01 each		999,999
	US$	1,000,000

	Number
Issued and fully paid:	
Founder Shares	100
Superfund Green Segregated Portfolio A	
Class A (USD) Shares:	
Balance at beginning of year	72,902.25
Switch out during the year	(27,576.59)
Balance at end of year	45,325.66
Superfund Green Segregated Portfolio B	
Class B (USD) Shares:	
Balance at beginning of year	6,893.37
Issued during the year	20,474.96
Redeemed during year	(925.20)
Balance at end of year	26,443.13

SUPERFUND GREEN SPC

Notes to Financial Statements (continued)

December 31, 2022
(stated in United States dollars)

6. Net paid in capital (continued)

Superfund Green Segregated Portfolio B	
Class Japan (JPY) Shares:	
Balance at beginning of year	746,451.07
Issued during the year	261,779.85
Redeemed during year	(352,812.50)
Balance at end of year	655,418.42
Superfund Green Segregated Portfolio B	
Class Japan (USD) Shares:	
Balance at beginning of year	-
Issued during the year	223,077.87
Redeemed during year	(55,057.18)
Balance at end of year	168,020.69
Superfund Green Segregated Portfolio B	
Class Silver (USD) Shares:	
Balance at beginning of year	-
Issued during the year	303,312.46
Redeemed during year	(67,578.51)
Balance at end of year	235,733.95
Superfund Green Segregated Portfolio B	
Class Silver (JPY) Shares:	
Balance at beginning of year	-
Issued during the year	113,727.24
Redeemed during year	(8,313.05)
Balance at end of year	105,414.19
Superfund Green Segregated Portfolio B	
Class B (EUR) Shares:	
Balance at beginning of year	-
Issued during the year	11,519.76
Balance at end of year	11,519.76
Superfund Green Segregated Portfolio C	
Class C (USD) Shares:	
Balance at beginning of year	268,718.53
Redeemed during year	(26,968.85)
Balance at end of year	241,749.68

6. Net paid in capital (continued)

Superfund Green Segregated Portfolio C	
Class C (EUR) Shares:	
Balance at beginning of year	30,986.80
Issued during the year	3,125.74
Redeemed during year	(10,208.12)
Balance at end of year	23,904.42

Superfund Green Segregated Portfolio C	
Class C Japan (JPY) Shares:	
Balance at beginning of year	305,290.86
Issued during the year	5,639.71
Redeemed during year	(177,992.53)
Balance at end of year	132,938.04

Superfund Green Segregated Portfolio C	
Class C Japan (USD) Shares:	
Balance at beginning of year	-
Issued during the year	136,749.64
Redeemed during year	(15,151.08)
Balance at end of year	121,598.56

At December 31, 2022, the Company's Founder Shares are held by a shareholder of Superfund Capital Management, Inc. (the "Investment Adviser") who is also a former director of the Company.

The rights attaching to the shares are as follows:

Founder shares

Founder Shares may only be issued at par value and are not redeemable at the option of the holder. They carry one vote per share and confer on the holder thereof rights in a winding up as described below, but confer no other right to participate in the profits or assets of the Company.

Participating shares

Per director's resolution the Company moved to weekly liquidity from April 1, 2018. Participating Shares are redeemable at the net asset value per share of their respective segregated portfolio on the relevant dealing day for Class A (USD) Shares, Class A Japan (JPY) Shares, Class B (EUR) Shares, Class B (USD) Shares, Class Japan (USD) Shares, Class Silver (USD) Shares, Class B (JPY) Shares, Class Japan (JPY) Shares, Class Silver (JPY) Shares, Class C (USD) Shares, Class C (EUR) Shares, Class C Japan (JPY) Shares and Class C Japan (USD) or otherwise at the discretion of the Directors, and are non-voting except for matters allowed by the Articles of Association. Holders of Participating Shares are entitled to receive all dividends declared and paid in proportion to the amounts paid up on shares held by them respectively.

6. Net paid in capital (continued)

Participating shares (continued)

The rights attached to any shares may be varied with the consent in writing of all the holders of the issued shares of the segregated portfolio, or with the sanction of a special resolution passed by three-fourths of the votes cast at a meeting of the holders of the shares of that segregated portfolio.

On a winding up of the Company, segregated portfolio and general assets will be applied first in satisfaction of claims of the segregated portfolio creditors and general creditors, respectively. The balance of general assets, if any, will be used to repay the nominal paid-in capital on the Founder Shares, with any balance transferred to the segregated portfolios in proportion to the net asset value of each segregated portfolio. The assets of each segregated portfolio will be paid to the shareholders of the respective segregated portfolio in proportion to the number of shares held. If there is more than one class of Participating Shares in a segregated portfolio, the assets of the segregated portfolio will be allocated pro-rata to each class according to the relative net asset values and then paid to the shareholders in proportion to the number of Participating Shares of the relevant class held.

7. Management fees

The Company's investment activities are managed by the Investment Adviser, a related party by virtue of common control.

Under the terms of the Investment Advisory Agreement, the Investment Adviser receives a management fee paid monthly in arrears at the rate of 2% per annum of the net asset value for Class A Japan (JPY), Class Japan (USD), Class Japan (JPY), Class Silver (JPY), Class Silver (USD), Class C Japan (JPY), Class C Japan (USD) and 3% for all other share classes.

Included in accounts payable and accrued expenses at December 31, 2022, are management fees payable of US$814 for Superfund Green Segregated Portfolio A, US$17,448 for Superfund Green Segregated Portfolio B and US$7,724 for Superfund Green Segregated Portfolio C.

8. Incentive fees

The Investment Adviser is also entitled to receive an incentive fee of 20% of the increase in the net asset value per Superfund Green Segregated Portfolio A Class A (USD) and 15% of the increase in the net asset value per Class A Japan (JPY), 25% of the increase in the net asset value per Superfund Green Segregated Portfolio B Class B (EUR), Class B (USD) and Class B (JPY) and 20% of the increase in the net asset value per Class Japan (USD), Class Japan (JPY), Class Silver (JPY) and Class Silver (USD) and 30% of the increase in the net asset value per Superfund Green Segregated Portfolio C Class C (USD) Shares and Class C (EUR) and 20% of the increase in net asset value per Class C Japan (JPY) and Class C Japan (USD) Shares as defined in the Investment Advisory Agreement. Incentive fees are calculated based on the net asset value after all other fees and expenses of the segregated portfolios and are payable monthly. Incentive fees were charged US$Nil, US$174,786 and US$82,143 for Superfund Green Segregated Portfolios A, B and C respectively.

8. Incentive fees (continued)

Included in accounts payable and accrued expenses at December 31, 2022, are incentive fees payable of US$Nil, US$Nil and US$Nil for Superfund Green Segregated Portfolio A, B, and C respectively.

The incentive fees have not been set by arms-length negotiations and therefore the incentive fees payable to the Investment Adviser may create an incentive to make investments that are riskier or more speculative than would be the case in the absence of such an arrangement.

9. Distribution fees

Superfund Distribution and Investment Inc. (the "Distributor"), a related party by virtue of common control, acts as distributor of the Company's shares and is entitled to a distribution fee monthly in arrears at the rate of 1.8% per annum of the net asset value of each segregated portfolio's Participating Shares.

Included in accounts payable and accrued expenses at December 31, 2022, are distribution fees payable of US$488 for Superfund Green Segregated Portfolio A, US$15,457 for Superfund Green Segregated Portfolio B and US$5,481 for Superfund Green Segregated Portfolio C.

The Distributor is entitled, at the discretion of the Directors, to receive a subscription charge of up to 7% of each subscription.

10. Administration fees

Effective from April 1, 2022, under the terms of the Administration agreement, the Company pays to NAV Fund Administration Group (the "Administrator") a fee calculated at the last valuation day in each month, subject to a flat fee of US$450 per month per segregated portfolio. Prior to April 2022, the Company paid to Apex Fund Services S.A. a fee calculated at the last valuation day in each month, subject to a minimum annual fee of US$7,521, US$10,097 and US$10,097.

As at December 31, 2022, administration fees payable of US$2,048 for Superfund Green Segregated Portfolio A, US$2,049 for Superfund Green Segregated Portfolio B and US$1,950 for Superfund Green Segregated Portfolio C.

11. Share redemption fees

At the discretion of the Directors, when a redemption is made within twelve months of the initial subscription or any compulsory redemption is made by the Directors, a redemption charge of 2% of the redemption price may be charged and paid to the Investment Adviser.

There were no redemption fees payable at December 31, 2022.

12. Related party transactions

At December 31, 2022, 811.47 of Class A (USD) shares, 655,418.42 of Class B Japan (JPY) shares, 168,020.69 of Class B Japan (USD) shares, 233,613.28 of Class B Silver (USD) shares, 105,414.19 of Class B Silver (JPY) shares, 132,938.04 of Class C Japan (JPY), 121,598.56 of Class C Japan (USD) shares and 3,125.74 of Class C (EUR) shares were held by related parties.

The Investment Adviser and the Distributor are related parties by virtue of common control. Fees payable to the Investment Adviser and to the Distributor have not been set by arms-length negotiations.

13. Financial instruments and associated risk

The Company's investment in the Master Fund indirectly exposes it to various types of risk, which are associated with the financial instruments and markets in which the Master Fund invests.

The types of financial risk to which the Company is exposed are market risk, credit risk and liquidity risk. Refer to the Master Fund's financial statements for information regarding financial risk to which the Master Fund is exposed.

Details of the investments held by the Master Fund, including a breakdown of the levels of their market price observability used in measuring investments at fair value and gains/losses associated with derivative instruments held by the Master Fund during the year ended December 31, 2022, are disclosed in the notes to the Master Fund's financial statements included elsewhere in this report.

Market risk, credit risk and liquidity risk

In the normal course of its business, Superfund Green Segregated Portfolio B purchases and sells various financial instruments which may result in market, credit and liquidity risks, the amount of which is not apparent from the financial statements. Market risk is the risk that changes in interest rates, foreign exchange rates or equity and commodity prices will affect the positions held by the Superfund Green Segregated Portfolio B. Superfund Green Segregated Portfolio B is exposed to market risk on financial instruments that are valued at market prices.

As part of its investment strategy, Superfund Green Segregated Portfolio B enters into futures contracts. Futures contracts are traded on organized exchanges and require initial margin (collateral) in the form of cash or marketable securities. The initial margin is adjusted to reflect changes in the value of the futures contracts, which is marked to market on a daily basis. Holders of futures contracts look to the exchange for performance under the contract and not to the entity holding the offsetting futures position.

The Company invests into money market funds. Money market funds invests only in highly liquid cash and cash equivalent securities that have high credit ratings such as treasury bills, commercial paper and certificates of deposit. These funds invest primarily in debt-based securities which have a short term maturity of less than 13 months, and offer high liquidity with very low level of risk.

13. Financial instruments and associated risk (continued)

Market risk, credit risk and liquidity risk (continued)

Market risks arise due to the possible movement in foreign exchange rates, indices, commodities and securities' values underlying these instruments. Other market risks include the possibility that a change in the value of the contract may not directly correlate with changes in the value of the underlying currencies, commodities or stock indices. Certain risks exist when trading in futures contracts as they may increase the total return of the Company's investments but may also entail greater than ordinary investment risks.

Credit risk is the risk of counterparty default. Credit risk is generally higher when a non-exchange traded financial instrument is involved because the counterparty for non-exchange traded financial instruments is not backed by an exchange clearing house. Management reviews the credit ratings and results of the broker and is comfortable with the concentration of credit risk by the Company.

Futures markets are highly volatile and are influenced by factors such as changing supply and demand relationships, governmental programs and policies, national and international political and economic events and changes in interest rates. In addition, because of the low margin deposits normally required in futures trading, a high degree of leverage may be typical of a futures trading account. As a result, a relatively small price movement in a futures contract may result in substantial losses to the trader. Futures trading may also be illiquid. Certain futures exchanges do not permit trading in particular futures contracts at prices that represent a fluctuation in price during a single day's trading beyond certain set limits. If prices fluctuate during a single day's trading beyond those limits, the Company could be prevented from promptly liquidating unfavourable positions and thus be subject to substantial losses.

As part of its investment strategy, the Company utilizes leverage. The concept of leveraging is based on the premise that the Company's cost of borrowing will be at rates that normally will be lower than the rate of return earned on the investments it holds. While the use of leverage may increase the returns on equity capital invested by the Company, the use of leverage also increases the risk of loss of such capital.

Management has internal guidelines and limits to manage leverage.

14. Financial highlights

Superfund Green - Segregated Portfolio A (USD)	
Per share operating performance (for a Participating Share outstanding throughout the year) [1]	
Net asset value per Participating Share at beginning of year	8.10
Income from investment operations	
Net investment loss	(0.75)
Net realized loss and movement in unrealized loss on investments and foreign currencies	(0.33)
Total loss from investment operations	(1.08)
Net asset value per Participating Share at end of year	US$7.02
Total return [2]	(13.33) %
Supplemental data:	
Ratio to average net assets	
Operating and other expenses	(8.23) %
Net investment loss (excluding incentive fee)	(7.22) %

[1] Based on average shares outstanding during the year.
[2] An individual investor's return may vary due to the timing of share subscriptions and redemptions.

14. Financial highlights (continued)

Superfund Green - Segregated Portfolio B (USD)	
Per share operating performance (for a Participating Share outstanding throughout the year) [1]	
Net asset value per Participating Share at beginning of year	9.73
Income from investment operations	
Net investment income	(0.43)
Net realized loss and movement in unrealized loss on investments and foreign currencies	(0.91)
Total loss from investment operations	(1.34)
Net asset value per Participating Share at end of year	US$8.39
Total return [2]	(13.77) %
Supplemental data:	
Ratio to average net assets	
Operating and other expenses	(5.57) %
Net investment loss (excluding incentive fee)	(4.64) %

[1] Based on average shares outstanding during the year.
[2] An individual investor's return may vary due to the timing of share subscriptions and redemptions.

14. Financial highlights (continued)

Superfund Green - Segregated Portfolio B Japan (JPY)	
Per share operating performance (for a Participating Share outstanding throughout the year) [1]	
Net asset value per Participating Share at beginning of year	1,097.38
Income from investment operations	
Net investment loss	(73.35)
Net realized loss and movement in unrealized loss on investments and foreign currencies	(71.78)
Total loss from investment operations	(145.13)
Net asset value per Participating Share at end of year	JPY952.25
Total return before incentive fee	(10.43) %
Incentive fee	(2.80) %
Total return [2]	(13.23) %
Supplemental data:	
Ratio to average net assets	
Operating and other expenses	(4.49) %
Incentive fee	(2.72) %
Total expenses	(7.21) %
Net investment loss (excluding incentive fee)	(3.80) %

[1] Based on average shares outstanding during the year.

[2] An individual investor's return may vary due to the timing of share subscriptions and redemptions.

14. Financial highlights (continued)

Superfund Green - Segregated Portfolio B Japan (USD)	
Per share operating performance (for a Participating Share outstanding throughout the year) [1]	
Net asset value per Participating Share at beginning of year[3]	10.00
Income from investment operations	
Net investment loss	(0.24)
Net realized loss and movement in unrealized loss on investments and foreign currencies	(2.13)
Total loss from investment operations	(2.37)
Net asset value per Participating Share at end of year	US$7.63
Total return before incentive fee	(23.31) %
Incentive fee	(0.39) %
Total return [2]	(23.70) %
Supplemental data:	
Ratio to average net assets[4]	
Operating and other expenses	(3.05) %
Incentive fee	(0.36) %
Total expenses	(3.41) %
Net investment loss (excluding incentive fee)	(2.36) %

[1] Based on average shares outstanding during the year.
[2] An individual investor's return may vary due to the timing of share subscriptions and redemptions.
[3] Shares were issued at $10 on May 1, 2022.
[4] The ratios to average net assets have not been annualized.

14. Financial highlights (continued)

Superfund Green - Segregated Portfolio B Silver (USD)	
Per share operating performance (for a Participating Share outstanding throughout the year) [1]	
Net asset value per Participating Share at beginning of year[3]	10.00
Income from investment operations	
Net investment income	(0.11)
Net realized gain and movement in unrealized gain on investments and foreign currencies	1.31
Total gain from investment operations	1.20
Net asset value per Participating Share at end of year	US$11.20
Total return before incentive fee	12.00 %
Incentive fee	0.00 %
Total return [2]	12.00 %
Supplemental data:	
Ratio to average net assets[4]	
Operating and other expenses	(1.52) %
Net investment loss (excluding incentive fee)	(1.07) %

[1] Based on average shares outstanding during the year.
[2] An individual investor's return may vary due to the timing of share subscriptions and redemptions.
[3] Shares were issued at $10 on September 1, 2022.
[4] The ratios to average net assets have not been annualized.

14. Financial highlights (continued)

Superfund Green - Segregated Portfolio B Silver (JPY)	
Per share operating performance (for a Participating Share outstanding throughout the year) [1]	
Net asset value per Participating Share at beginning of year [3]	10.00
Income from investment operations	
Net investment loss	(0.12)
Net realized gain and movement in unrealized gain on investments and foreign currencies	1.32
Total gain from investment operations	1.20
Net asset value per Participating Share at end of year	US$11.20
Total return before incentive fee	12.00 %
Incentive fee	0.00 %
Total return [2]	12.00 %
Supplemental data:	
Ratio to average net assets [4]	
Operating and other expenses	(1.55) %
Net investment loss (excluding incentive fee)	(1.10) %

[1] Based on average shares outstanding during the year.
[2] An individual investor's return may vary due to the timing of share subscriptions and redemptions.
[3] Shares were issued at US$10 on September 1, 2022.
[4] The ratios to average net assets have not been annualized.

SUPERFUND GREEN SPC

Notes to Financial Statements (continued)

December 31, 2022
(stated in United States dollars)

14. Financial highlights (continued)

Superfund Green - Segregated Portfolio B Class B (EUR)	
Per share operating performance (for a Participating Share outstanding throughout the year) [1]	
Net asset value per Participating Share at beginning of year[3]	10.00
Income from investment operations	
Net investment loss	(0.15)
Net realized loss and movement in unrealized loss on investments and foreign currencies	(1.02)
Total loss from investment operations	(1.17)
Net asset value per Participating Share at end of year	EUR8.83
Total return before incentive fee	(11.30) %
Incentive fee	(0.40) %
Total return [2]	(11.70) %
Supplemental data:	
Ratio to average net assets[4]	
Operating and other expenses	(1.53) %
Incentive fee	(0.43) %
Total expenses	(1.96) %
Net investment loss (excluding incentive fee)	(1.13) %

[1] Based on average shares outstanding during the year.
[2] An individual investor's return may vary due to the timing of share subscriptions and redemptions.
[3] Shares were issued at EUR10 on September 21, 2022.
[4] The ratios to average net assets have not been annualized.

14. Financial highlights (continued)

Superfund Green - Segregated Portfolio C (USD)	
Per share operating performance (for a Participating Share outstanding throughout the year) [1]	
Net asset value per Participating Share at beginning of year	8.22
Income from investment operations	
Net investment loss	(0.42)
Net realized loss and movement in unrealized loss on investments and foreign currencies	(1.10)
Total loss from investment operations	(1.52)
Net asset value per Participating Share at the end of the year	US$6.70
Total return [2]	(18.49) %
Supplemental data:	
Ratio to average net assets	
Operating and other expenses	(5.65) %
Net investment loss (excluding incentive fee)	(5.02) %

[1] Based on average shares outstanding during the year.

[2] An individual investor's return may vary due to the timing of share subscriptions and redemptions.

SUPERFUND GREEN SPC

Notes to Financial Statements (continued)

December 31, 2022
(stated in United States dollars)

14. Financial highlights (continued)

Superfund Green - Segregated Portfolio C Japan (JPY)	
Per share operating performance (for a Participating Share outstanding throughout the year) [1]	
Net asset value per Participating Share at beginning of year	1,238.04
Income from investment operations	
Net investment loss	(85.70)
Net realized loss and movement in unrealized loss on investments and foreign currencies	(180.30)
Total loss from investment operations	(266.00)
Net asset value per Participating Share at the end of year	JPY972.04
Total return before incentive fee	(18.12) %
Incentive fee	(3.37) %
Total return [2]	(21.49) %
Supplemental data:	
Ratio to average net assets	
Operating and other expenses	(4.70) %
Incentive fee	(3.30) %
Total expenses	(8.00) %
Net investment loss (excluding incentive fee)	(3.48) %

[1] Based on average shares outstanding during the year.

[2] An individual investor's return may vary due to the timing of share subscriptions and redemptions.

14. Financial highlights (continued)

Superfund Green - Segregated Portfolio C (EUR)	
Per share operating performance (for a Participating Share outstanding throughout the year) [1]	
Net asset value per Participating Share at beginning of year	8.28
Income from investment operations	
Net investment loss	(0.43)
Net realized loss and movement in unrealized loss on investments and foreign currencies	(1.25)
Total loss from investment operations	(1.68)
Net asset value per Participating Share at the end of year	EUR6.60
Total return [2]	(20.29) %
Supplemental data:	
Ratio to average net assets	
Operating and other expenses	(5.72) %
Net investment loss (excluding incentive fee)	(5.11) %

[1] Based on average shares outstanding during the year.

[2] An individual investor's return may vary due to the timing of share subscriptions and redemptions.

SUPERFUND GREEN SPC

Notes to Financial Statements (continued)

December 31, 2022
(stated in United States dollars)

14. Financial highlights (continued)

Superfund Green - Segregated Portfolio C Japan (USD)	
Per share operating performance (for a Participating Share outstanding throughout the year) [1]	
Net asset value per Participating Share at beginning of year[3]	10.00
Income from investment operations	
Net investment loss	(0.27)
Net realized loss and movement in unrealized loss on investments and foreign currencies	(2.86)
Total loss from investment operations	(3.13)
Net asset value per Participating Share at the end of year	US$6.87
Total return before incentive fee	(30.62) %
Incentive fee	(0.68) %
Total return [2]	(31.30) %
Supplemental data:	
Ratio to average net assets[4]	
Operating and other expenses	(3.11) %
Incentive fee	(0.81) %
Total expenses	(3.92) %
Net investment loss (excluding incentive fee)	(3.26) %

[1] Based on average shares outstanding during the year.
[2] An individual investor's return may vary due to the timing of share subscriptions and redemptions.
[3] Shares were issued at $10.00 on May 21, 2022.
[4] The ratios to average net assets have not been annualized.

15. Subsequent events

In preparing these financial statements, management has evaluated and disclosed all material subsequent events up to June 27, 2023, which is the date that the financial statements were available to be issued.

Subsequent to December 31, 2022, redemptions in the amount of approximately US$ 2,671 were processed for Green SPC B.

SUPERFUND GREEN MASTER

Statement of Assets and Liabilities

December 31, 2022
(stated in United States dollars)

	Note		
Assets			
Investments in money market funds (cost: US$11,734,981)	2(f), 4		11,734,981
Investments in funds (cost: US$452,085)	2(c), 4		246,466
Cash			3,952,611
Due from brokers	3		26,411,908
Unrealized gain on open futures contracts	2(f),4,5		2,056,763
Unrealized gain on open forwards contracts	2(f),4,5		190,377
Subscriptions receivable			212,680
Other assets			9,658
			44,815,444
Liabilities			
Due to brokers	3		18,271,623
Unrealized loss on open futures contracts	2(f),4,5		548,042
Unrealized loss on open forwards contracts	2(f),4,5		188,237
Redemptions payable			442,094
Accounts payable and accrued expenses	8,10		26,993
			19,476,989
Net assets		US$	25,338,455
Net assets per Class A Master Share, based on 30,035.96 shares outstanding		US$	66.96
Net assets per Class B Master Share, based on 22,100.57 shares outstanding		US$	265.07
Net assets per Class C Master Share, based on 55,683.22 shares outstanding		€	215.71
Net assets per Class E Master Share, based on 46,153.18 shares outstanding		¥	13,099.64

See accompanying notes to financial statements.

SUPERFUND GREEN MASTER

Condensed Schedule of Investments

December 31, 2022
(stated in United States dollars)

Description (% of net assets)	Number of shares	Cost	Fair Value
INVESTMENT IN MONEY MARKET FUNDS (46.31%)			
Blackrock Inst US Dol Core Iulad (11.58%)	2,933,745.26	2,933,745	2,933,745
GS USD Liq Res-Inst (11.58%)	2,933,745.26	2,933,745	2,933,745
Invesco Global USD Corp I937 (11.58%)	2,933,745.21	2,933,745	2,933,745
JPM LI-USD Liq Lvnav-Inst D (11.58%)	2,933,745.77	2,933,746	2,933,746
Total investment in money market funds		US$	11,734,981

Description (% of net assets)	Number of shares	Cost	Fair Value
INVESTMENT IN FUNDS (0.97%)			
Superfund Green Gold SP Crypto Fund - Class D USD(0.97%)	552.22	452,085	246,466
Total investment in funds		US$	246,466

Description (% of net assets)	Expiration date	Notional Amount	Fair Value
FUTURES CONTRACTS (8.11%)			
Bond futures (3.26%)	March 2023	90,762,339	825,831
Currencies (1.44%)	March 2023	22,726,377	364,267
Commodity (0.88%)	February - April 2023	11,096,316	223,945
Energy (0.80%)	January - April 2023	7,065,468	202,621
Food/Fibers/Lumber/Rubber (0.16%)	March 2023	4,107,805	40,872
Gold (0.04%)	February - October 2023	424,319	11,132
Index (1.23%)	January - March 2023	17,034,673	310,946
Metals (0.30%)	March - October 2023	2,224,112	77,149
Unrealized gain on futures contracts		US$	2,056,763

See accompanying notes to financial statements.

SUPERFUND GREEN MASTER

Condensed Schedule of Investments (continued)

December 31, 2022
(stated in United States dollars)

Description (% of net assets)	Expiration date	Notional Amount	Fair Value
FUTURES CONTRACTS (-2.17%)			
Bond futures (-0.54%)	March 2023	14,970,504	(136,102)
Currencies (-0.28%)	March 2023	7,919,819	(70,924)
Commodity (-0.51%)	February - March 2023	5,561,600	(128,391)
Energy (-0.19%)	January - December 2023	1,843,183	(47,674)
Food/Fibers/Lumber/Rubber (-0.13%)	February - May 2023	856,005	(33,664)
Index (-0.33%)	January - March 2023	11,679,877	(83,861)
Metals (-0.19%)	March - October 2023	1,339,796	(47,426)
Unrealized loss on futures contracts		US$	(548,042)

Description (% of net assets)	Expiration date	Notional Amount	Fair Value
FORWARD CONTRACTS (0.75%)			
Foreign Exchange (0.75%)	March 2023	15,684,216	190,377
Unrealized gain on forward contracts		US$	190,377

Description (% of net assets)	Expiration date	Notional Amount	Fair Value
FORWARD CONTRACTS (-0.74%)			
Foreign Exchange (-0.74%)	March 2023	10,370,336	(188,237)
Unrealized loss on forward contracts		US$	(188,237)

See accompanying notes to financial statements.

SUPERFUND GREEN MASTER

Statement of Operations

Year ended December 31, 2022
(stated in United States dollars)

	Note	
Income		
Interest income		191,574
		191,574
Expenses		
Administration fees	10	24,846
Professional fees		28,340
Management fee	8	24,994
Interest expense		3,685
Incentive fee		141,060
Other expenses		19,622
		242,547
Net investment loss		(50,973)
Net realized loss and movement in unrealized gain/(loss) on investments and foreign currencies		
Net realized loss on investments and foreign currencies		(6,729,905)
Movement in unrealized gain on investments and foreign currencies		1,105,160
		(5,624,745)
Net decrease in net assets resulting from operations	US$	(5,675,718)

See accompanying notes to financial statements.

SUPERFUND GREEN MASTER

Statement of Changes in Net Assets

Year ended December 31, 2022
(stated in United States dollars)

Operations		
Net investment loss		(50,973)
Net realized loss on investments and foreign currencies		(6,729,905)
Movement in unrealized gain on investments and foreign currencies		1,105,160
		(5,675,718)
Capital transactions		
Proceeds from issue of Class B Master Shares		8,601,653
Proceeds from issue of Class C Master Shares		1,232,673
Proceeds from issue of Class E Master Shares		3,978,947
Payments for redemptions of Class A Master Shares		(30,000)
Payments for redemptions of Class B Master Shares		(4,082,338)
Payments for redemptions of Class C Master Shares		(3,145,725)
Payments for redemptions of Class E Master Shares		(6,657,424)
		(102,214)
Decrease in net assets for year		**(5,777,932)**
Net assets at beginning of year		31,116,387
Net assets at end of year	US$	**25,338,455**
Net assets at end of year consist of:		
Class A Shares		2,011,123
Class B Master Shares		5,858,137
Class C Master Shares		12,857,988
Class E Master Shares		4,611,207
	US$	25,338,455

See accompanying notes to financial statements.

SUPERFUND GREEN MASTER

Notes to Financial Statements

December 31, 2022
(stated in United States dollars)

1. Incorporation and principal activity

Superfund Green Master (the "Master Fund") was incorporated as an exempted company under the Companies Act of the Cayman Islands on March 22, 2001 and was registered under the Mutual Funds Act of the Cayman Islands on April 2, 2001.

At December 31, 2022, the Master Fund has four active classes namely Class A, Class B, Class C and Class E Shares, of which Class B, Class C and Class E shares offer Class B Master Shares, Class C Master Shares and Class E Master Shares (collectively, the "Master Shares") respectively. No Class D or F Master Shares were in issue during the year ended December 31, 2022. The Master Shares are offered as part of "master-feeder" structures whereby Class B, Class C and Class E act as master funds for other funds in the Superfund group. The Class A Shares remain closed to subscriptions.

Superfund Capital Management, Inc. (the "Investment Adviser") acts as the Master Fund's investment adviser pursuant to an Investment Advisory Agreement. The Master Fund's objective is to provide investors with a form of investment independent of the development of equity and securities markets, and which potentially will achieve above average returns on long term capital appreciation. The Master Fund intends to take advantage of investment opportunities and trading strategies and therefore has no pre-determined views on the characteristics of its future investments and is not subject to any restrictions.

2. Significant accounting policies

The financial statements are prepared in conformity with accounting principles generally accepted in the United States of America ("US GAAP") as detailed in the Financial Accounting Standards Board's ("FASB") Accounting Standards Codification ("ASC"). The Master Fund qualifies as an investment company under US GAAP and follows the accounting and reporting guidance applicable to investment companies in FASB ASC 946, *Financial Services – Investment Companies*.

The significant accounting policies adopted by the Master Fund are as follows:

(a) Use of Estimates

The preparation of financial statements in accordance with US GAAP requires management to make estimates and assumptions that affect the reported amounts of assets and liabilities and disclosure of contingent assets and liabilities at the date of the financial statements, and the reported amounts of revenues and expenses during the reporting period. Actual results could differ from those estimates.

2. Significant accounting policies (continued)

(b) Investment in money market funds

Investments in money market fund are accounted for on the trade date basis. Investments are initially measured at cost. Subsequent to initial recognition, investments are measured at fair value. Fair value is determined as the net assets attributable to the Master Fund, as reported by the respective money market fund. Realized and movement in unrealized gains and losses are included in the statement of operations.

(c) Investment in funds

Investments in investment funds are presented at their net asset value ("NAV") as reported by the management of the investment funds. In accordance with the redemption and liquidity terms of the governing agreements of the investment funds, a divestment of the Master Fund's ownership interest in an investment fund is transacted with such investment fund at the applicable reported NAV of the investment fund. ASU-2015-07 removed the requirement to categorize within the fair value hierarchy all investments for which fair value is measured using the NAV practical expedient. The amount of assets measured using the NAV practical expedient at December 31, 2022, was US$246,466.

(d) Futures contracts

Open futures contracts are carried at fair value calculated as the difference between the contract price and the market value based upon rates reported in published sources or those provided by the broker if applicable rates are not readily available. Realized and movement in unrealized gains and losses are included in the statement of operations.

(e) Forward contracts

Open forward contracts are carried at fair value calculated as the difference between the prevailing forward exchange rates and the deal rate. Realized and movement in unrealized gains and losses are included in the statement of operations.

(f) Valuation of investments at fair value-definition and hierarchy

US GAAP establishes a fair value hierarchy that prioritizes the inputs to valuation techniques used to measure fair value into three broad levels explained below:

Level 1: Valuations based on the unadjusted quoted prices in active markets of identical assets or liabilities that management has the ability to access. Valuation adjustments and block discounts are not applied to Level 1 securities. Since valuations are based on quoted prices that are readily and regularly available in an active market, valuation of these securities does not entail a significant degree of judgment.

Level 2: Valuations based on quoted prices in markets that are not active or for which all significant inputs are observable, either directly or indirectly.

Level 3: Valuations based on inputs that are unobservable and significant to the overall fair value measurement.

2. Significant accounting policies (continued)

(f) Valuation of investments at fair value-definition and hierarchy (continued)

The following table summarizes the valuation of the Master Fund's investments based on the fair value hierarchy as described above as at December 31, 2022.

Assets		Total	Level 1	Level 2
Investments in money market funds		11,734,981	11,734,981	-
Unrealized gain on open futures contracts		2,056,763	2,056,763	-
Unrealized gain on open forward contracts		190,377	-	190,377
Total	US$	13,982,121	13,791,744	190,377

Liabilities		Total	Level 1	Level 2
Unrealized loss on open futures contracts		(548,042)	(548,042)	-
Unrealized loss on open forward contracts		(188,237)	-	(188,237)
Total	US$	(736,279)	(548,042)	(188,237)

There were no investments designated as Level 3 and there were no transfers in or out from level 3 during the year ended December 31, 2022.

(g) Interest income

Interest income is recorded on an accrual's basis.

(h) Foreign currency

Assets and liabilities denominated or accounted for in foreign currencies are translated into United States dollars at the applicable exchange rates at the date of the statement of assets and liabilities. Foreign currency transactions are translated into United States dollars at the rate of exchange ruling at the date of the transaction. Realized and movement in unrealized losses arising from translation are included in the statement of operations.

The Master Fund does not isolate that portion of the results of operations resulting from changes in foreign exchange rates on investments and cash from the fluctuations arising from changes in market prices of securities held. Such fluctuations are included in the net realized gain/(loss) and movement in unrealized gain/(loss) on investments and foreign currencies in the statement of operations.

(i) Taxation

There are no taxes on income or gains in the Cayman Islands and in accordance with the provisions of section 6 of the Tax Concessions Act, the Master Fund has received an undertaking from the Governor in Cabinet of the Cayman Islands exempting it from all local taxation on future profits, income or gains until August 20, 2039. Accordingly, no provision for income taxes is included in these financial statements.

2. Significant accounting policies (continued)

(i) Taxation (continued)

The Master Fund recognizes the tax benefits of uncertain tax positions only where the position is more-likely-than-not (i.e. greater than 50-percent) to be sustained assuming examination by a tax authority based on the technical merits of the position. The Master Fund analyses all open tax years for all major taxing jurisdictions. Open tax years are those that are open for examination by taxing authorities, as defined by the statute of limitations in each jurisdiction.

Management has analysed the Master Fund's tax positions and has concluded that no liability for tax expenses or assets for tax benefits should be recorded in relation to uncertain tax positions. Further, management is not aware of any tax positions for which it is reasonably possible that the total amounts of unrecognized tax benefits will significantly change in the next twelve months.

(j) Allocation of income and expenses

Gains, losses, income and expenses (other than expenses attributable to a specific share class) are allocated among different share classes based on their relative weighting in the net asset value.

(k) Offsetting

Financial assets and liabilities including net unrealized gain/(loss) on open futures contracts are offset and the net amount is reported in the statement of assets and liabilities when the Master Fund has a legally enforceable right to offset the recognized amounts and the transactions are intended to be settled on a net basis or simultaneously. The Master Fund did not meet the requirements for offsetting during the year.

(l) Redemptions payable

Participating Shares redeemed at the option of the holder or the Master Fund are classified as redemptions payable when a redemption request has been received and the redemption amount determined.

3. Due from/to brokers

Due from/to brokers include cash balances maintained at ADM Investor Services, Inc. and INTL FC Stone Financial Inc., and includes margin cash of US$6,665,389 pledged as collateral against open future and forwards contracts.

4. Financial instruments and associated risks

Market risk, credit risk and liquidity risk

In the normal course of its business, the Master Fund purchases and sells various financial instruments which may result in market, credit and liquidity risks, the amount of which is not apparent from the financial statements.

4. Financial instruments and associated risks (continued)

Market risk, credit risk and liquidity risk (continued)

Market risk is the risk that changes in interest rates, foreign exchange rates or equity and commodity prices will affect the positions held by the Master Fund. The Master Fund is exposed to market risk on financial instruments that are valued at market prices.

As part of its investment strategy, the Master Fund enters into futures contracts. Futures contracts are traded on organized exchanges and require initial margin (collateral) in the form of cash or marketable securities. The initial margin is adjusted to reflect changes in the value of the futures contracts, which is marked to market on a daily basis. Holders of futures contracts look to the exchange for performance under the contract and not to the entity holding the offsetting futures position.

The Master Fund enters into forward contracts. Forward contracts contain credit risk for unrealized appreciation from various counterparties for the duration of the contract, net of collateral held. The Master Fund seeks to reduce its credit risk for forward contracts by only transacting with creditworthy counterparties.

The Master Fund invests into money market funds. Money market funds invests only in highly liquid cash and cash equivalent securities that have high credit ratings such as treasury bills, commercial paper and certificates of deposit. These funds invest primarily in debt-based securities which have a short-term maturity of less than 13 months, and offer high liquidity with very low level of risk.

The Master Fund invests into other investment funds. At December 31, 2022 the Master Fund's only fund investment is in Superfund Green Gold Segregated Portfolio Crypto Fund (the "SF Crypto Fund"). The SF Crypto Fund's investment objective is to achieve significant positive returns by systematically trading exchange traded futures contracts on major liquid "cryptocurrencies". Consequently, the value of the Master Fund's position in the SF Crypto Fund will be impacted by changes in cryptocurrency prices. Cryptocurrencies are a type of digital asset. Digital assets represent a speculative investment and involve a high degree of risk. Digital assets are a relatively new technology, are loosely regulated and there is no central marketplace for currency exchange.

Market risks arise due to the possible movement in foreign exchange rates, indices, commodities and securities' values underlying these instruments. Other market risks include the possibility that a change in the value of the contract may not directly correlate with changes in the value of the underlying currencies, commodities or stock indices. Certain risks exist when trading in futures contracts as they may increase the total return of the Master Fund's investments but may also entail greater than ordinary investment risks.

Credit risk is the risk of counterparty default. Credit risk is generally higher when a non-exchange traded financial instrument is involved because the counterparty for non-exchange traded financial instruments is not backed by an exchange clearing house. In order to minimize the impact of credit risk, the Master Fund utilizes a number of brokers. Management reviews the credit ratings and results of the brokers and is comfortable with the concentration of credit risk by the Master Fund.

4. Financial instruments and associated risks (continued)

Market risk, credit risk and liquidity risk (continued)

Futures markets are highly volatile and are influenced by factors such as changing supply and demand relationships, governmental programs and policies, national and international political and economic events and changes in interest rates. In addition, because of the low margin deposits normally required in futures trading, a high degree of leverage may be typical of a futures trading account. As a result, a relatively small price movement in a futures contract may result in substantial losses to the trader. Futures trading may also be illiquid. Certain futures exchanges do not permit trading in particular futures contracts at prices that represent a fluctuation in price during a single day's trading beyond certain set limits. If prices fluctuate during a single day's trading beyond those limits, the Master Fund could be prevented from promptly liquidating unfavourable positions and thus be subject to substantial losses.

As part of its investment strategy, the Master Fund utilizes leverage. The concept of leveraging is based on the premise that the Master Fund's cost of borrowing will be at rates that normally will be lower than the rate of return earned on the investments it holds. While the use of leverage may increase the returns on equity capital invested by the Master Fund, the use of leverage also increases the risk of loss of such capital.

The Investment Adviser has internal guidelines and limits to manage leverage.

5. Derivative contracts

The Master Fund transacts in a variety of futures contracts and forward contacts for trading purposes with each instrument's primary risk exposure being interest rate, foreign currency exchange rate, equity price and commodity price risks. Investments in derivative contracts are subject to additional risks that can result in a loss of all or part of an investment.

The Master Fund records its derivative activities on a mark-to-market basis. Fair values are determined by using quoted market prices. The fair value of derivative instruments held by the Master Fund as at December 31, 2022 is included as a separate line item in the statement of assets and liabilities.

The following table indicates the fair value amounts of derivative contracts as at December 31, 2022, disaggregated by asset and liability values and by contract type. The amounts are included in unrealized gain or loss on open futures and forward contracts within the statement of assets and liabilities. The table also includes the realised gains and losses on derivatives by contract type, as included in the net realised gain or loss on investments and foreign currency within the statement of operations.

5. Derivative contracts (continued)

The table also includes the notional amount of open contracts, by contract type as at December 31, 2022:

Futures contracts		Asset derivatives	Notional Amount	Liability derivatives	Notional Amount	Unrealized gain/(loss)	Realized gain/(loss)
Bond futures		825,831	90,762,339	(136,102)	14,970,504	1,317,683	(1,503,357)
Currencies		364,267	22,726,377	(70,924)	7,919,819	113,058	(1,996,839)
Commodity		223,945	11,096,316	(128,391)	5,561,600	(222,762)	(2,513,240)
Energy		202,621	7,065,468	(47,674)	1,843,183	(96,446)	3,154,982
Food/Fibers/Lumber/Rubber		40,872	4,107,805	(33,664)	856,005	23,786	263,028
Gold		11,132	424,319	-	-	7,318	71,784
Index		310,946	17,034,673	(83,861)	11,679,877	20,859	(4,569,167)
Metals		77,149	2,224,112	(47,426)	1,339,796	108,196	363,109
Total	**US$**	**2,056,763**	**155,441,409**	**(548,042)**	**44,170,784**	**1,271,692**	**(6,729,700)**

Forward contracts		Asset derivatives	Notional Amount	Liability derivatives	Notional Amount	Unrealized gain/(loss)	Realized loss
Foreign Exchange		190,377	15,684,216	(188,237)	10,370,336	53,948	553,413
Total	**US$**	**190,377**	**15,684,216**	**(188,237)**	**10,370,336**	**53,948**	**553,413**

The derivative instruments held as at December 31, 2022 and their effect on the statement of operations are indicative of the volume of derivative activity of the Master Fund during the year.

6. Share capital

		2022
Authorized:		
100 Founder Shares of US$0.01 each		1
99,999,900 Participating Shares of US$0.01 each		999,999
	US$	1,000,000
25,000,000 Participating Shares of €0.01 each	€	250,000

7. Net paid in capital

	Number of shares
Issued and fully paid:	
Founder Shares	1
Class A Shares:	
Balance at beginning of year	30,371.07
Redeemed during year	(335.11)
Balance at end of year	30,035.96
Class B Shares:	
Balance at beginning of year	8,225.59
Issued during year	26,937.85
Redeemed during year	(13,062.87)
Balance at end of year	22,100.57
Class C Shares:	
Balance at beginning of year	60,971.49
Issued during year	5,104.29
Redeemed during year	(10,392.56)
Balance at end of year	55,683.22
Class E Shares:	
Balance at beginning of year	63,359.48
Issued during year	36,774.39
Redeemed during year	(53,980.69)
Balance at end of year	46,153.18

The Master Fund's Founder Shares are held by a shareholder of the Investment Adviser. 27,692.88 Class A Shares are held by a related party.

The rights attaching to the shares are as follows:

Founder Shares

Founder Shares may only be issued at par value and are not redeemable at the option of the holder. They carry one vote per share and confer on the holder thereof rights in a winding up as described below but confer no other right to participate in the profits or assets of the Master Fund.

7. Net paid in capital (continued)

Participating Shares

Participating Shares are redeemable at the net asset value per share of their respective share class on the relevant dealing day and are non-voting except for matters allowed by the Articles of Association. Holders of Participating Shares are entitled to receive all dividends declared and paid in proportion to the amounts paid up on shares held by them respectively.

The rights attached to any shares may be varied with the consent in writing of all the holders of the issued shares of the class, or with the sanction of a resolution passed by three-fourths of the votes cast at a meeting of the holders of the shares of that class.

On a winding up of the Master Fund, the assets available for distribution among the shareholders will be applied in the following priority after the satisfaction of all claims of creditors and payment of outstanding fees to the Investment Adviser, administrator, or other professional advisers:

- First, in payment to the holders of the Participating Shares a sum equivalent to the nominal amount paid up thereon;
- Second, in payment to the holders of the Founder Shares a sum equivalent to the nominal amount paid up thereon; and
- Third, in payment of the balance to the holders of the Participating Shares in proportion to the number of shares held by each shareholder.

At December 31, 2022, 19,743.56 Class C (EUR) shares of the Master Fund were held by related parties.

8. Management fees

The Master Fund's investment activities are managed by the Investment Adviser, a related party by virtue of common control. Under the terms of the Investment Advisory Agreement, the Investment Adviser receives a management fee monthly in arrears at the annual rate of 1% of the net asset value of the Class A Shares.

Included in accounts payable and accrued expenses at December 31, 2022 are management fees payable of US$1,709.

9. Incentive fees

The Investment Adviser is also entitled to receive an incentive fee of 35% of the increase in net asset value of the Class A Shares above the previous high watermark, as defined in the Investment Advisory Agreement, calculated and payable monthly in arrears. As at December 31, 2022, there were no incentive fees payable.

The incentive fees to be paid to the Investment Adviser have not been set by arms-length negotiations and therefore the incentive fees payable to the Investment Adviser may create an incentive to make investments that are riskier or more speculative than would be the case in the absence of such an arrangement.

10.Administration fees

Effective from April 1, 2022, under the terms of the Administration Agreement, the Master Fund pays to NAV Fund Services (Cayman) Ltd (the "New Administrator") monthly in arrears a fee calculated at the rate of 0.042% per annum when the gross net asset value of the Master Fund is between $0 and $50 million, 0.0245% per annum when the gross net asset value of the Master Fund is between $50 million to $100 million, 0.007% per annum when the gross net asset value of the Master Fund is over $100 million, subject to a minimum monthly fee of US$1,500.

Prior to April 2022, the Master Fund paid to Apex Fund Services S.A. (the "Old Administrator") each week in arrears a fee calculated at the rate of 0.06% per annum when the gross net asset value of the Master Fund is between $0 and $50 million, 0.035% per annum when the gross net asset value of the Master Fund is between $50 million to $100 million, 0.01% per annum when the gross net asset value of the Master Fund is over $100 million, subject to a minimum annual fee of US$31,530.

Included in accounts payable and accrued expenses at December 31, 2022 are administration fees payable of US$3,493.

11. Fair value

At December 31, 2022, the following methods and assumptions were used by management to estimate the fair value of each class of financial instruments. For certain of the Master Fund's financial instruments, including cash, redemptions payable and accounts payable and accrued expenses, the carrying amounts approximate fair value due to the immediate or short term nature of these financial instruments.

Investments in money market funds are measured at fair value. Fair value is determined as the net assets attributable to the Master Fund, as reported by the respective money market fund.

Investments in open futures contract positions are recorded at market values based on quoted market prices or dealer quotes and therefore, the carrying amount approximates fair value.

Investments in open forward contracts are recognized initially at fair value on the date the derivative contract is entered into. Any appreciation or depreciation arising from changes in fair value of forward contracts are taken directly to the statement of operations. Subsequent to initial measurement, forward contracts are measured at fair value.

Investment in Funds are recorded at the value provided by the underlying funds and/or their administrator, as a practical expedient for fair value.

Fair value estimates are made at a specific point in time, based on market conditions and information about the financial instruments. These estimates are subjective in nature and involve uncertainties and matters of significant judgment and therefore, cannot be determined with precision. Changes in assumptions could significantly affect the estimates.

12. Related party transactions

The Investment Adviser is a related party by virtue of common control. Fees payable to the Investment Adviser have not been set by arms-length negotiations.

The Master Fund has invested into the SF Crypto Fund which is part of the Superfund group of investment companies. The Investment Adviser of the Master Fund is also the investment adviser of the SF Crypto Fund. As at December 31, 2022 the investment in the SF Crypto Fund had a fair value of US$ 246,466, representing 0.97% of the net assets of the Master Fund. Purchases of US$9,000 and sales of US$382,000 were made of this investment during the year.

13. Financial highlights

	Class A (USD)	Class B (USD)	Class C (EUR)	Class E (JPY)
Per share operating performance (for a Participating Share outstanding throughout the year) [1]:				
Net asset value per Participating Share at beginning of year	82.20	306.99	254.63	15,459.54
Income from investment operations				
Net investment (loss)/income	(5.19)	1.98	0.94	54.34
Net realized loss and movement unrealized loss on investments	(10.05)	(43.90)	(39.86)	(2,414.24)
Total loss from investment operations	(15.24)	(41.92)	(38.92)	(2,359.90)
Net asset value per Participating Share at end of year	US$66.96	US$265.07	€ 215.71	¥13,099.64
Total return before incentive fees	(12.84) %	(13.66) %	(15.28) %	(15.27) %
Incentive fees	(5.71) %	0.00 %	(0.01) %	0.05 %
Total return [2]	(18.55) %	(13.66) %	(15.29) %	(15.22) %
Supplemental data:				
Ratio to average net assets				
Operating and other expenses	(1.26) %	(0.26) %	(0.26) %	(0.26) %
Incentive fee	(5.64) %	0.00 %	0.00 %	0.00 %
Total expenses	(6.90) %	(0.26) %	(0.26) %	(0.26) %
Net investment (loss)/income (excluding incentive fee)	(0.61) %	0.63 %	0.38 %	0.37 %

[1] Based on average shares outstanding during the year.
[2] An individual investor's return may vary due to the timing of share subscriptions and redemptions.

14. Subsequent events

In preparing these financial statements, management has evaluated and disclosed all material subsequent events up to June 27, 2023, which is the date that the financial statements were available for issue.

Subsequent to December 31, 2022, subscriptions in the amount of approximately € 621,000 and redemptions in the amount of € 362,000 in Class C were processed.

SUPERFUND SPC SEGREGATED PORTFOLIO SYSTEMATIC ALL WEATHER FUND
(a Segregated Portfolio of Superfund SPC)

Statement of Assets and Liabilities

December 31, 2022
(stated in Euro)

	Note		
Assets			
Cash			3,947,366
Due from brokers	3		3,206,595
Unrealized gain on open futures contracts	2(d),4,5		204,060
Unrealized gain on open forward contracts	2(d),4,5		9,904
Receivable from Superfund Japan – Superfund Japan Sub-Fund Systematic All Weather	12		15,219
Other assets			11,760
			7,394,904
Liabilities			
Due to brokers	3		505,923
Unrealized loss on open futures contracts	2(d),4,5		201,592
Unrealized loss on open forward contracts	2(d),4,5		16,275
Redemptions payable			86,430
Accounts payable and accrued expenses	7		28,593
			838,813
Net assets		€	6,556,091
Net assets per Class S (EUR) Share, based on 4,179.67 shares outstanding		€	906.92
Net assets per Class B Japan (JPY) Share, based on 271,632.72 shares outstanding		JPY	547.67
Net assets per Class B Japan (Gold EUR) Share, based on 2,254.74 shares outstanding (the total value of Class B Japan (Gold EUR) Shares in ounces of gold at December 31, 2022 is 1,000.99 Oz and the price of gold at December 31, 2022 is € 1,703.90)		Oz	0.44

See accompanying notes to financial statements.

SUPERFUND SPC SEGREGATED PORTFOLIO SYSTEMATIC ALL WEATHER FUND
(a Segregated Portfolio of Superfund SPC)

Condensed Schedule of Investments

December 31, 2022
(stated in Euro)

Description (% of net assets)	Expiration dates	Notional amount	Fair value
FUTURES CONTRACTS (3.12%)			
Bond Futures (0.41%)	March 2023	3,063,272	26,857
Currencies (1.03%)	March 2023	4,149,755	67,268
Commodity (0.08%)	February - April 2023	439,400	5,130
Energy (0.42%)	February - March 2023	760,299	27,324
Food/Fibers/Lumber/Rubber (0.15%)	March 2023	579,322	9,559
Gold (0.83%)	February 2023	1,705,932	54,689
Index (0.20%)	January - March 2023	869,348	13,233
Unrealized gain on futures contracts		€	204,060

Description (% of net assets)	Expiration dates	Notional amount	Fair value
FUTURES CONTRACTS (-3.08%)			
Bond Futures (-0.58%)	March 2023	2,681,949	(37,790)
Currencies (-0.17%)	March 2023	2,007,590	(11,434)
Commodity (0.00%)	February - March 2023	11,934	(101)
Energy (-0.01%)	February 2023	74,974	(336)
Food/Fibers/Lumber/Rubber (-0.02%)	February - March 2023	120,275	(1,013)
Index (-2.30%)	January - March 2023	5,130,805	(150,848)
Metals (0.00%)	March 2023	55,395	(70)
Unrealized loss on futures contracts		€	(201,592)

Description (% of net assets)	Expiration dates	Notional amount	Fair value
FORWARD CONTRACTS (0.15%)			
Foreign Exchange (0.15%)	March 2023	884,418	9,904
Unrealized gain on forward contracts		€	9,904

Description (% of net assets)	Expiration dates	Notional amount	Fair value
FORWARD CONTRACTS (-0.25%)			
Foreign Exchange (-0.25%)	March 2023	891,271	(16,275)
Unrealized loss on forward contracts		€	(16,275)

See accompanying notes to financial statements.

SUPERFUND SPC SEGREGATED PORTFOLIO SYSTEMATIC ALL WEATHER FUND
(a Segregated Portfolio of Superfund SPC)

Statement of Operations

Year ended December 31, 2022
(stated in Euro)

	Note	
Investment income		
Other income		3,733
		3,733
Expenses		
Management fees	7	75,364
Professional fees		38,209
Performance fees	8	27,439
Administration fees	9	19,897
Interest expenses		8,780
Other expenses		37,007
		206,696
Net investment loss		(202,963)
Net realized loss and movement in unrealized loss on investments and foreign currencies		
Net realized loss on investments and foreign currencies		(1,725,690)
Movement in unrealized loss on investments and foreign currencies		(99,405)
		(1,825,095)
Net decrease in net assets resulting from operations	€	(2,028,058)

See accompanying notes to financial statements.

SUPERFUND SPC SEGREGATED PORTFOLIO SYSTEMATIC ALL WEATHER FUND
(a Segregated Portfolio of Superfund SPC)

Statement of Changes in Net Assets

Year ended December 31, 2022
(stated in Euro)

Operations		
Net investment loss		(202,963)
Net realized loss on investments and foreign currencies		(1,725,690)
Movement in unrealized loss on investments and foreign currencies		(99,405)
		(2,028,058)
Capital transactions		
Proceeds from issue of participating shares		
Class B Japan (Gold EUR)		645,717
Class B Japan (JPY)		269,742
Payments for redemptions of participating shares		
Class B Japan (Gold EUR)		(339,888)
Class B Japan (JPY)		(169,930)
		405,641
Decrease in net assets during the year		**(1,622,417)**
Net assets at beginning of year		8,178,508
Net assets at end of year	€	**6,556,091**
Net assets at end of year consist of:		
Class S (EUR) Participating Share		3,790,611
Class B Japan (Gold EUR) Participating Share		1,705,578
Class B Japan (JPY) Participating Share		1,059,902
	€	6,556,091

See accompanying notes to financial statements.

SUPERFUND SPC SEGREGATED PORTFOLIO SYSTEMATIC ALL WEATHER FUND
(a Segregated Portfolio of Superfund SPC)

Notes to Financial Statements

December 31, 2022
(stated in Euro)

1. Incorporation and principal activity

Superfund SPC Segregated Portfolio Systematic All Weather Fund (the "Fund"), is a segregated portfolio of Superfund SPC (the "Company"), which was incorporated as an exempted segregated portfolio company under the Companies Act of the Cayman Islands on January 4, 2005 and was registered under the Mutual Funds Act of the Cayman Islands on January 18, 2005.

The investment objective of the Fund is to achieve capital appreciation through the leveraged trading of futures and forward contracts. The Fund pursues its objective mainly by employing a long-only risk parity strategy that utilizes proprietary trading strategies developed by members of the Superfund group of affiliated companies. Additionally, other strategies may be mixed-in with limited weight. These, other, strategies are also short-sell futures and/or forward contracts.

The assets of the Company can either be general assets or segregated portfolio assets. The assets attributable to a segregated portfolio comprise assets representing the share capital and reserves attributable to the segregated portfolio and other assets attributable to or held within that segregated portfolio. The general assets comprise the assets of the Company which are not segregated portfolio assets. Where a liability arises from a transaction in respect of a particular segregated portfolio and there are insufficient assets within that segregated portfolio, then there will be recourse to the general assets, but not to the assets of any other segregated portfolio.

As at December 31, 2022, the Company has one segregated portfolio namely, Superfund SPC Segregated Portfolio Systematic All Weather Fund, and the Fund had issued three participating share classes: Class S (EUR), Class B Japan (Gold EUR), Class B Japan (JPY).

Superfund Capital Management, Inc. (the "Investment Adviser") acts as the Fund's investment adviser pursuant to an Investment Advisory Agreement.

2. Significant accounting policies

The financial statements are prepared in conformity with accounting principles generally accepted in the United States of America ("US GAAP") as detailed in the Financial Accounting Standards Board's ("FASB") Accounting Standards Codification ("ASC"). The Fund qualifies as an investment company under US GAAP and follows the accounting and reporting guidance applicable to investment companies in FASB ASC 946, *Financial Services – Investment Companies*.

The significant accounting policies adopted by the Fund are as follows:

(a) Use of estimates

The preparation of financial statements in accordance with US GAAP requires management to make estimates and assumptions that affect the reported amounts of assets and liabilities and disclosure of contingent assets and liabilities at the date of the financial statements, and the reported amounts of revenues and expenses during the reporting period. Actual results could differ from those estimates.

2. Significant accounting policies (continued)

(b) Futures contracts

Open futures contracts are carried at fair value calculated as the difference between the contract price and the market value based upon rates reported in published sources or those provided by the broker if applicable rates are not readily available. Realized and movement in unrealized gains and losses are included in the statement of operations.

(c) Forward contracts

Open forward contracts are carried at fair value calculated as the difference between the prevailing forward exchange rates and the deal rate. Realized and movement in unrealized gains and losses are included in the statement of operations.

(d) Valuation of investments at fair value-definition and hierarchy

US GAAP establishes a fair value hierarchy that prioritizes the inputs to valuation techniques used to measure fair value into three broad levels explained below:

Level 1: Valuations based on the unadjusted quoted prices in active markets of identical assets or liabilities that management has the ability to access. Valuation adjustments and block discounts are not applied to Level 1 securities. Since valuations are based on quoted prices that are readily and regularly available in an active market, valuation of these securities does not entail a significant degree of judgment.

Level 2: Valuations based on quoted prices in markets that are not active or for which all significant inputs are observable, either directly or indirectly.

Level 3: Valuations based on inputs that are unobservable and significant to the overall fair value measurement.

The following table summarizes the valuation of the Fund's investments based on the fair value hierarchy as described above.

		Total	Level 1	Level 2
Unrealized gain on open futures contracts		204,060	204,060	-
Unrealized gain on open forward contracts		9,904	-	9,904
Total	€	213,964	204,060	9,904

		Total	Level 1	Level 2
Unrealized loss on open futures contracts		(201,592)	(201,592)	-
Unrealized loss on open forward contracts		(16,275)	-	(16,275)
Total	€	(217,867)	(201,592)	(16,275)

They were no transfers between the levels during the year ended December 31, 2022.

2. Significant accounting policies (continued)

(e) Interest income and expense

Interest income and expense are recorded on an accruals basis.

(f) Foreign currency

Assets and liabilities denominated or accounted for in foreign currencies are translated into Euro at the applicable exchange rates at the date of the statement of assets and liabilities. Foreign currency transactions are translated into Euro at the rate of exchange ruling at the date of the transaction. Realized and movement in unrealized gains and losses arising from translation are included in the statement of operations.

The Fund does not isolate that portion of the results of operations resulting from changes in foreign exchange rates on investments and cash from the fluctuations arising from changes in market prices of securities held. Such fluctuations are included in the net realized gain/(loss) and movement in unrealized gain/(loss) on investments and foreign currencies in the statement of operations.

(g) Taxation

There are no taxes on income or gains in the Cayman Islands and in accordance with the provisions of section 6 of the Tax Concessions Act, the Company has received an undertaking from the Governor in Cabinet of the Cayman Islands exempting it from all local taxation on future profits, income or gains until January 18, 2025. Accordingly, no provision for income taxes is included in these financial statements. The Fund recognizes the tax benefits of uncertain tax positions only where the position is more-likely-than-not (i.e. greater than 50-percent) to be sustained assuming examination by a tax authority based on the technical merits of the position. The Fund analyzes all open tax years for all major taxing jurisdictions. Open tax years are those that are open for examination by taxing authorities, as defined by the statute of limitations in each jurisdiction.

Management has analyzed the Fund's tax positions and has concluded that no liability for tax expenses or assets for tax benefits should be recorded in relation to uncertain tax positions. Further, management is not aware of any tax positions for which it is reasonably possible that the total amounts of unrecognized tax benefits will significantly change in the next twelve months.

(h) Allocation of income and expenses

Gains, losses, income and expenses (other than expenses attributable to a specific share class) are allocated among different share classes based on their relative net asset value.

2. Significant accounting policies (continued)

(i) Offsetting

Financial assets and liabilities including net unrealized gain/(loss) on open futures contracts are offset and the net amount is reported in the statement of assets and liabilities when the Fund has a legally enforceable right to offset the recognized amounts and the transactions are intended to be settled on a net basis or simultaneously. The Fund did not meet the requirements for offsetting during the year.

(j) Net asset value per unit

The net asset value per unit (the "NAV per unit") is expressed in Euro for Class S (EUR) Participating Shares and JPY for Class B Japan (JPY) Participating Shares. The NAV per unit for Class B (Gold EUR) Participating Shares is expressed in ounces of gold and calculated by dividing the net asset value by the number of units of that class outstanding then, for units expressed in ounces of gold, further dividing the value obtained by the London AM gold fixing per ounce price prevailing on the relevant valuation day.

(k) Redemptions payable

Participating Shares redeemed at the option of the holder or the Fund are classified as redemptions payable when a redemption request has been received and the redemption amount determined.

(l) Subscription receivable

Subscriptions receivable represent amounts due from shareholders in respect of shares issued to them before December 31, 2022.

3. Due from/to brokers

Due from/to brokers includes cash balances maintained at ADM Investor Services, Inc. and INTL FCStone Financial Inc., net of amounts due for unsettled trades in securities and includes margin cash of €949,173 pledged as collateral against open futures contracts. At December 31, 2022, there are no amounts receivable and payable for unsettled trades included within due from/to brokers.

4. Financial instruments

Market risk, credit risk and liquidity risk

In the normal course of its business, the Fund purchases and sells various financial instruments which may result in market, credit and liquidity risks, the amount of which is not apparent from the financial statements.

4. Financial instruments (continued)

Market risk, credit risk and liquidity risk (continued)

Market risk is the risk that changes in interest rates, foreign exchange rates or equity and commodity prices will affect the positions held by the Fund. The Fund is exposed to market risk on financial instruments that are valued at market prices.

Futures contracts are traded on organized exchanges and require initial margin (collateral) in the form of cash or marketable securities. The initial margin is adjusted to reflect changes in the value of the futures contracts, which is marked to market on a daily basis. Holders of futures contracts look to the exchange for performance under the contract and not to the entity holding the offsetting futures position. Accordingly, the amount of risk due to non-performance of counterparties to futures contracts is minimal.

Forward foreign currency contracts are non-exchange traded contracts whereby the Fund agrees to receive or deliver a fixed quantity of foreign currency for an agreed-upon price on an agreed future date. Risks arise from the possible inability of counterparties to meet the terms of their contracts and from movements in currency and securities values and interest rates.

Market risks arise due to the possible movement in foreign exchange rates, indices, commodities and securities' values underlying these instruments. Other market risks include the possibility that a change in the value of the contract may not directly correlate with changes in the value of the underlying currencies, commodities or stock indices. Certain risks exist when trading in futures contracts as they may increase the total return of the Fund's investments, but may also entail greater than ordinary investment risks.

Credit risk is the risk of counterparty default. Credit risk is generally higher when a non-exchange traded financial instrument is involved because the counterparty for non-exchange traded financial instruments is not backed by an exchange clearing house. In order to minimize the impact of credit risk, the Fund utilizes a number of brokers. Management reviews the credit ratings and results of the brokers and is comfortable with the concentration of credit risk by the Fund.

Liquidity risk is the risk that the Fund will encounter difficulty in raising funds to meet commitments. Liquidity risk may result from the inability to sell investments quickly at an amount close to fair value.

4. Financial instruments (continued)

Market risk, credit risk and liquidity risk (continued)

Futures markets are highly volatile and are influenced by factors such as changing supply and demand relationships, governmental programs and policies, national and international political and economic events and changes in interest rates. In addition, because of the low margin deposits normally required in futures trading, a high degree of leverage may be typical of a futures trading account. As a result, a relatively small price movement in a futures contract may result in substantial losses to the trader. Futures trading may also be illiquid. Certain futures exchanges do not permit trading in particular futures contracts at prices that represent a fluctuation in price during a single day's trading beyond certain set limits. If prices fluctuate during a single day's trading beyond those limits, the Fund could be prevented from promptly liquidating unfavourable positions and thus be subject to substantial losses.

As part of its investment strategy, the Fund utilizes leverage. The concept of leveraging is based on the premise that the Fund's cost of borrowing will be at rates that normally will be lower than the rate of return earned on the investments it holds. While the use of leverage may increase the returns on equity capital invested by the Fund, the use of leverage also increases the risk of loss of such capital.

The Investment Adviser has internal guidelines and limits to maintain levels of leverage.

5. Derivative contracts

The Fund transacts in a variety of futures for trading purposes with each instrument's primary risk exposure being interest rate, foreign currency exchange rate, equity price and commodity price risks. Investments in derivative contracts are subject to additional risks that can result in a loss of all or part of an investment.

The Fund records its derivative activities on a fair value basis. Fair values are determined by using quoted market prices. The fair value of derivative instruments held by the Fund is included as a separate line item in the statement of assets and liabilities.

The following table indicates the fair value amounts of derivative contracts as at December 31, 2022, disaggregated by asset and liability values and by contract type. The amounts are included in unrealized gain on open futures contracts and unrealized loss on open futures contracts within the statement of assets and liabilities.

SUPERFUND SPC SEGREGATED PORTFOLIO SYSTEMATIC ALL WEATHER FUND
(a Segregated Portfolio of Superfund SPC)

Notes to Financial Statements (continued)

December 31, 2022
(stated in Euro)

5. Derivative contracts (continued)

The table also includes the notional amount of open contracts, by contract type as at December 31, 2022, and their effect on the statement of operations and are indicative of the volume of derivative activity of the Fund during the year.

	Derivative Assets		Derivative Liabilities			
Futures contracts	Asset derivatives	Notional amount	Liability derivatives	Notional amount	Movement in unrealized gain/(loss)	Realized gain/ (loss)
Bond Futures	26,857	3,063,272	(37,790)	2,681,949	31,359	(526,231)
Currencies	67,268	4,149,755	(11,434)	2,007,590	69,945	(195,757)
Commodity	5,130	439,400	(101)	11,934	(4,841)	(70,372)
Energy	27,324	760,299	(336)	74,974	(17,680)	296,745
Food/Fibers/Lumber/ Rubber	9,559	579,322	(1,013)	120,275	8,146	9,439
Gold	54,689	1,705,932	-	-	28,305	(165,750)
Index	13,233	869,348	(150,848)	5,130,805	(212,195)	(1,372,324)
Metals	-	-	(70)	55,395	(70)	31,464
Total	**€ 204,060**	**11,567,329**	**(201,592)**	**10,082,922**	**(97,031)**	**(1,992,786)**

Forwardcontracts	Asset derivatives	Notional amount	Liability derivatives	Notional amount	Unrealized loss	Realized gain
Foreign Exchange	9,904	884,418	(16,275)	891,271	(2,374)	266,341
Total	**€ 9,904**	**884,418**	**(16,275)**	**891,271**	**(2,374)**	**266,341**

6. Net paid in capital

Authorized:		
100 Management Shares of €0.01 each		1
99,999,000 Participating Shares of €0.001 each		99,999
	€	100,000

SUPERFUND SPC SEGREGATED PORTFOLIO SYSTEMATIC ALL WEATHER FUND
(a Segregated Portfolio of Superfund SPC)

Notes to Financial Statements (continued)

December 31, 2022
(stated in Euro)

6. Net paid in capital (continued)

	Number of shares
Issued and fully paid:	
Management shares	100
Class B Japan (Gold EUR) Shares:	
Balance at beginning of year	1,954.21
Issued during the year	691.79
Redeemed during the year	(391.26)
Balance at end of year	2,254.74
Class B Japan (JPY) Shares:	
Balance at beginning of year	258,250.60
Issued during the year	52,288.16
Redeemed during the year	(38,906.04)
Balance at end of year	271,632.72
Class S (EUR) Shares:	
Balance at beginning of year	4,179.67
Balance at end of year	4,179.67

Management Shares

Management Shares may only be issued at par value and are not redeemable at the option of the holder. They carry one vote per share and confer on the holder thereof rights in a winding up as described below but confer no other right to participate in the profits or assets of the Company. At December 31, 2022, the Company's Management Shares were held by affiliates of the Investment Adviser.

Participating Shares

The minimum initial subscription amount is €50,000 for Class B Japan (Gold EUR) Shares and JPY5,000,000 for Class B Japan (JPY) Shares of the Segregated Portfolio Systematic All Weather Fund. Subsequent purchases by existing shareholders will be subject to a minimum purchase requirement of €5,000 for Class B Japan (Gold EUR) Shares and JPY500,000 for Class B Japan (JPY) Shares.

The minimum investment and holding amounts set forth as per Offering Memorandum may be adjusted by the Directors from time to time, in their sole discretion, to account for currency alterations or similar changes.

6. Net paid in capital (continued)

Participating Shares (continued)

Participating Shares may be redeemed at the net asset value per share of their respective share class on any redemption date and are non-voting except for matters allowed by the articles of association. Holders of Participating Shares are entitled to receive all dividends declared and paid in proportion to the amounts paid up on shares held by them respectively. At December 31, 2022, 3,337.62, 2,254.74 and 271,632.72 of Class S (EUR), Class B Japan (Gold EUR), Class B Japan (JPY) Shares were held by related parties respectively.

On a winding up of the Company, segregated portfolio and general assets will be applied first in satisfaction of claims of the segregated portfolio creditors and general creditors, respectively. The balance of general assets, if any, will be used to repay the nominal paid-in capital on the Management Shares, with any balance transferred to the segregated portfolios in proportion to the net asset value of each segregated portfolio. The assets of each segregated portfolio will be paid to the shareholders of the respective segregated portfolio in proportion to the number of shares held. If there is more than one class of Participating Shares in a segregated portfolio, the assets of the segregated portfolio will be allocated pro-rata to each class according to the relative net asset values and then paid to the shareholders in proportion to the number of Participating Shares of the relevant class held.

7. Management fees

The Fund's investment activities are managed by the Investment Adviser, a related party by virtue of common control. Under the terms of the Investment Advisory Agreement, the Investment Adviser receives a management fee of 1.0% per annum of the net asset value of each class of Shares within the Segregated Portfolio Systematic All Weather Fund payable monthly within 15 days following the last valuation date of the month.

Included in the accounts payable and accrued expenses at December 31, 2022 are management fees payable of €5,662.

8. Performance fees

The Investment Adviser is entitled to receive a performance fee of 20% of the increase in the net asset value per Class B and Class S (EUR) will pay only if profits are above 150% of the initial index value, as defined in the Offering Memorandum, calculated and payable monthly in arrears respectively.

8. Performance fees (continued)

With respect to the classes of Gold Shares, both the net asset value per share and high watermark of the Shares are calculated in both the relevant currency of such classes of Shares and ounces of gold. The calculation of the performance fees on a high watermark basis may lead to a situation where, if the gold price in relevant currency declines during a period in which the Investment Adviser achieves new trading profits with all of its other investments, the relevant currency value per share on which the performance fee is paid out may be below a previously achieved currency value per share. This method of calculating the performance fees ensures that any net asset value per share increase in relevant currency that is solely due to rising gold prices will not be charged a performance fee.

As at December 31, 2022, performance fees of $27,439 were charged.

The performance fees to be paid to the Investment Adviser have not been set by arms-length negotiations and therefore the performance fees payable to the Investment Adviser may create an incentive to make investments that are riskier or more speculative than would be the case in the absence of such an arrangement.

9. Administration fees

Effective from April 1, 2022 NAV Fund Administration Group (the "Administrator") is appointed as the Administrator of the Fund. Prior to April 1, 2022, Apex Fund Services S.A. was the administrator of the Fund.

The administration fees incurred for the financial year amounted to €19,897, of which €3,944 is payable as at December 31, 2022.

10. Fair value

At December 31, 2022, the following methods and assumptions were used by management to estimate the fair value of each class of financial instruments. For certain of the Fund's financial instruments, including cash, subscription received in advance, redemptions payable, amounts due from/to brokers and accounts payable and accrued expenses, the carrying amounts approximate fair value due to the immediate or short-term nature of these financial instruments.

Investments in open futures contract positions are recorded at market values based on quoted market prices or dealer quotes and therefore, the carrying amount approximates fair value. Investments in affiliated private investment funds are recorded at the value provided by the underlying funds and/or their administrator, as a practical expedient for fair value.

Investments in open forward contracts are recognized initially at fair value on the date the derivative contract is entered into. Any appreciation or depreciation arising from changes in fair value of forward contracts are taken directly to the statement of operations. Subsequent to initial measurement, forward contracts are measured at fair value.

10. Fair value (continued)

Fair value estimates are made at a specific point in time, based on market conditions and information about the financial instruments. These estimates are subjective in nature and involve uncertainties and matters of significant judgment and therefore, cannot be determined with precision. Changes in assumptions could significantly affect the estimates.

11. Distribution Fees

Superfund Distribution and Investment Inc. (the "Distributor") acts as distributor of the Fund's shares. The Distributor has agreed not to charge any distribution fees.

12. Related party transactions

The Investment Adviser and the Distributor are related parties by virtue of common control. Fees payable to the Investment Adviser and to the Distributor have not been set by arms-length negotiations.

Receivable from Superfund Japan – Superfund Japan Sub-Fund Systematic All Weather include amount of €15,219 for capital contributions received in advance by the Fund on behalf of the Superfund Japan – Superfund Japan Sub-Fund Systematic All Weather.

12. Financial highlights

Segregated Portfolio Systematic All Weather Fund	Class S (EUR)	Class B Japan (JPY)	Class B Japan (Gold EUR)
Per share operating performance (for a Participating Share outstanding throughout the year) [1]:	**(€)**	**(JPY)**	**(ounces of Gold)**
Net asset value per Participating Share at beginning of year	1,183.01	706.64	0.58
Net investment loss	(23.93)	(14.66)	(0.02)
Net realized and movement in unrealized gain on investments and foreign currencies	(252.16)	(144.31)	(0.12)
Total gain from investment operations	(276.09)	(158.97)	(0.14)
Net asset value per Participating Share at end of year	906.92	547.67	0.44
Total return [2]	(23.34)%	(22.54)%	(24.14)%
Supplemental data:			
Ratio to average net assets			
Operating and other expenses	2.37%	2.36%	2.36%
Performance fees	-	-	1.26%
Total expenses	2.37%	2.36%	3.62%
Net investment loss	(2.32)%	(2.31)%	(3.57)%

[1] The amounts are based on the average number of Participating Shares outstanding during the year.

[2] An individual investor's return may vary due to the timing of share subscriptions and redemptions.

EDINET提出書類
スーパーファンド・ジャパン・トレーディング（ケイマン）リミテッド(E23303)
有価証券報告書（外国投資信託受益証券）

13. Subsequent events

In preparing these financial statements, management has evaluated and disclosed all material subsequent events up to June 27, 2023, which is the date that the financial statements were available for issue.

（２）【損益計算書】

当ファンドの損益計算書については、上記（１）の項目に記載したファンドの損益計算書を参照されたい。

（３）【投資有価証券明細表等】

①【投資株式明細表】

該当なし

②【株式以外の投資有価証券明細表】

（2023年12月31日現在）

サブファンド		国	公正価額
グリーン	スーパーファンド・グリーンSPC Bの株式（クラス・ジャパン）	ケイマン諸島	469,716,882円
	スーパーファンド・グリーンSPC Bの株式（クラス・シルバー）	ケイマン諸島	392,163,296円
	スーパーファンド・グリーン・ゴールドSPC Bの株式（クラスＢ・ジャパン）	ケイマン諸島	1,179,140,941円
グリーンＣ	スーパーファンド・グリーンSPC Cの株式（クラスＣ・ジャパン）	ケイマン諸島	150,340,968円
レインボー・オールシーズンズ	スーパーファンドSPCの株式（分別ポートフォリオ・レインボー・オールシーズンズ・クラスＢジャパン・日本円）	ケイマン諸島	63,175,860円
	スーパーファンドSPCの株式（分別ポートフォリオ・レインボー・オールシーズンズ・クラスＢジャパン・ゴールド・ユーロ）	ケイマン諸島	1,650,879.18ユーロ（280,286,267円）

③【投資不動産明細表】

該当なし

④【その他投資資産明細表】

該当なし

⑤【借入金明細表】

該当なし

2【ファンドの現況】

【純資産額計算書】

（2024年３月31日現在）

グリーン	Ⅰ　資産総額（円）	2,460,218,693
	Ⅱ　負債総額（円）	15,223,053
	Ⅲ　純資産総額（Ⅰ－Ⅱ）（円）	2,444,995,640
	Ⅳ　発行済数量	23,012,502.32
	Ⅴ　１単位当たり純資産額（Ⅲ／Ⅳ）（円）	106.25
グリーンC	Ⅰ　資産総額（円）	181,647,350
	Ⅱ　負債総額（円）	1,651,337
	Ⅲ　純資産総額（Ⅰ－Ⅱ）（円）	179,996,014
	Ⅳ　発行済数量	3,288,088.00
	Ⅴ　１単位当たり純資産額（Ⅲ／Ⅳ）（円）	54.74
レインボー・オールシーズンズ	Ⅰ　資産総額（円）	408,317,676
	Ⅱ　負債総額（円）	1,937,013
	Ⅲ　純資産総額（Ⅰ－Ⅱ）（円）	406,380,663
	Ⅳ　発行済数量	5,500,879.86
	Ⅴ　１単位当たり純資産額（Ⅲ／Ⅳ）（円）	73.88

（注１）各シリーズに係る１単位当たり純資産額についての詳細な情報は、「第二部　ファンド情報、第１　ファンドの状況、５　運用状況、（３）運用実績、①　純資産の推移、（ｂ）１口当たりの純資産価額の推移」を参照されたい。

（注２）円貨への換算は、対応する数字につき所定の換算率で単純計算の上、小数点第１位を四捨五入している。したがって、合計の数字が一致しない場合がある。

第４【外国投資信託受益証券事務の概要】

１．受益証券の名義書換

令和６年６月28日付有価証券届出書（その後の訂正を含む。）により募集の対象となる受益証券については、該当事項なし。

２．受益権者名簿の閉鎖期間

該当事項なし。

３．受益権者に付与される特権

該当事項なし。

４．受益証券の譲渡制限

管理会社及び受託会社は、受益証券の譲渡を制限する権利を留保する。

第二部【特別情報】

第１【管理会社の概況】

１【管理会社の概況】

（１）資本の額

（ｉ）払込資本金総額は、１米ドル（156.74円）である。

（ii）授権資本は、50,000,000円であり、50,000,000株から構成されている。

（iii）発行済株式は１株である。

（iv）最近５年間における資本の額の増減はない。

（２）管理会社の組織

管理会社はケイマン諸島の会社法（その後の改正を含む。）に基づき設立された適用免除有限責任会社である。

管理会社の付属定款によれば、管理会社は、少なくとも１人の者で構成される取締役会によって運営され、その者は管理会社の株主である必要はない。取締役は既存の取締役、又は管理会社の定時総会における株主によって選出され、管理会社の株主が採択した通常決議によって解任されうる。

現在の管理会社の取締役は、テニソン・ブリッグス氏及びヨセフ・ホルツァー氏である。

テニソン・ブリッグス氏は、関連会社からなるスーパーファンド・グループに22年以上在籍している。同氏はマイクロソフト認定プロフェッショナルデベロッパーとして、データ分析、受注管理、バックオフィスにおける取引調整及び収支会計といった取引プロセス全体において使用される重要なインフラストラクチャー・システムを扱う企業内ソフトウェア開発者チームを統括した。同氏はスーパーファンド・キャピタル・マネジメント・インクの取締役であり、全米先物協会（NFA）にプリンシパルとして登録されている。ブリッグス氏は西インド諸島のグレナダ国籍を有する。

ヨセフ・ホルツァー氏は、1993年にウィーン工科大学を優秀な成績において卒業し、コンピューター科学の修士号を取得した。1995年にホルツァー氏はテレトレーダー・ソフトウェアGmbHを共同設立し、1998年まで同社のマネージング・ディレクターを務めた。また2000年にホルツァー氏はテレトレーダーSp．ｚｏ.o.を共同設立し、2005年まで同社のマネージング・ディレクターを務めた。テレトレーダーSp．ｚｏ.o.は金融情報及びソリューションをグローバルに提供する大手企業である。2005年に同氏は多数の投資会社から成るスーパーファンド・グループに加わり、スーパーファンド独自の受注管理システムの開発を担当した。現在、ホルツァー氏はスーパーファンド・グループのソフトウェア開発の責任者を務めている。ホルツァー氏はオーストリア国籍を有する。

管理会社の取締役会は、その構成員から議長を１人選出し、かつ代理議長を選出することができる。また、秘書役を選出し、かつ管理会社の運営及び管理に必要であると考えられる場合に、マネージャー、アシスタント・ジェネラル・マネージャー、秘書役補佐及びその他の役員を随時任命することができる。

取締役は、適切であると認める場合に業務の処理のために会議を開く。取締役会又は取締役委員会の通知を受領する権利のあるすべての取締役によって署名された書面による決議は、取締役会又は（場合により）取締役委員会により決議されたと同様に正当かつ有効であるとみなされる。かかる取締役会又は（場合により）取締役委員会は、正式に開催され、かつ１人以上の取締役によってそれぞれ署名された同様の形式の数種類の書類から構成されるが、代理取締役によって署名された決議は、かかる代理取締役を任命した者による署名を必要とせず、代理取締役を任命した取締役によって署名された場合は、代理取締役による署名を必要としない。

いずれの取締役も、管理会社の取締役会のいずれの会議においても、自己の代理として他の取締役を任命することによって、職務を執行することができる。取締役会は、少なくとも２人の取締役が取締役

会の会議に出席又は少なくとも２人の代理人を出席させている場合にのみ、審議し、かつ有効に機能することができる。かかる会議において出席し又は代理人を出席させている取締役の投票の過半数によって決議がなされ、取締役会の決議は書面にて可決するものとする。

取締役会は、管理会社の企業理念並びに経営及び事業に関する事項を決定する権限を持つものとする。

２【事業の内容及び営業の概況】

管理会社は、信託証書の満期まで管理会社としての職務を継続するが、受託会社が承認したその他の法人に後継を託して辞任する権利も付与されている。管理会社が当ファンドに対して提供する投資運用業務は、非排他的なものである。管理会社は、第三者に対しても自由に投資顧問業務を提供することができる（下記「４　利害関係人との取引制限」参照）。

現在、管理会社は、以下の投資信託の投資管理会社として行為している。

名　称	設 立 国	種　類 （基本的性格）	純資産額合計（通貨別） （2024年３月31日現在）
スーパーファンド・ジャパン （当ファンド）	ケイマン諸島	適用免除、オープン・エンド型ユニット・トラスト	2,395,002,862円 4,204,492.99米ドル （約659,012,231円）

３【管理会社の経理状況】

１．スーパーファンド・ジャパン・トレーディング（ケイマン）リミテッド（以下「SJT」という。）の2023年及び2022年12月31日に終了した事業年度の財務書類は、米国において一般に公正妥当と認められた会計原則に基づいて作成された原文の財務書類を、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）第328条第５項但書の規定に従って日本語に翻訳して作成されたものである。

２．以下に記載された2023年及び2022年12月31日に終了した期間の財務書類は、本国における独立監査人であり、外国監査法人等（公認会計士法（昭和23年法律第103号）第１条の３第７項に規定される外国監査法人等をいう。）であるBDOケイマンリミテッドから監査証明に相当すると認められる証明を受けており、当該監査証明に相当すると認められる証明に係る監査報告書に相当するものを添付のとおり受領している。

３．BDOケイマンリミテッドの監査報告書に相当するものは、専らSJTによる利用にのみ供される。また、同監査報告書に相当するものは、2024年５月３日付及び2023年６月27日付で作成されており、BDOケイマンリミテッドは、同日以降、それぞれの日付を延長するようないかなる性質の手続も行っていない。

４．当社の原文の財務書類は、米ドルで作成され、表示されている。翻訳された日本文の財務書類には主要な金額について円換算額が併記されている。以下の邦貨による金額は、2024年５月31日現在における株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値（１米ドル＝156.74円）で換算され、千円未満を四捨五入して表示されている。したがって、合計数値は関係数値の合計額と必ずしも一致しない。

（1）【貸借対照表】

スーパーファンド・ジャパン・トレーディング（ケイマン）リミテッド

貸借対照表

2023年12月31日現在

（単位：米ドル）

		2023年		2022年	
	注記	米ドル	千円	米ドル	千円
資産					
現金		318,246	49,882	357,824	56,085
未収管理報酬	4	480	75	2,180	342
資産合計		318,726	49,957	360,004	56,427
負債					
未払専門家報酬		5,320	834	4,817	755
その他の未払専門家報酬		2,127	333	2,065	324
負債合計		7,447	1,167	6,882	1,079
株主持分					
株式資本	3	1	0	1	0
資本剰余金	3	420,786	65,954	420,786	65,954
利益剰余金		(109,508)	(17,164)	(67,665)	(10,606)
		311,279	48,790	353,122	55,348
負債及び株主持分合計		318,726	49,957	360,004	56,427

添付の財務諸表注記参照。

スーパーファンド・ジャパン・トレーディング（ケイマン）リミテッド
損益計算書

2023年12月31日に終了した年度
（単位：米ドル）

		2023年		2022年	
	注記	米ドル	千円	米ドル	千円
収益					
管理報酬	4	19,748	3,095	29,849	4,679
正味為替差損益		(25,258)	(3,959)	(56,261)	(8,818)
		(5,510)	(864)	(26,412)	(4,140)
費用					
財務諸表作成費		7,035	1,103	6,609	1,036
専門家報酬		26,425	4,142	39,252	6,152
その他の費用		2,873	450	477	75
		36,333	5,695	46,338	7,263
当期純損失		(41,843)	(6,558)	(72,750)	(11,403)

添付の財務諸表注記参照。

スーパーファンド・ジャパン・トレーディング（ケイマン）リミテッド

株主持分変動計算書

2023年12月31日に終了した年度

（単位：米ドル）

	株式数	株式資本	資本剰余金	利益剰余金	合計
		米ドル	米ドル	米ドル	米ドル
2023年１月１日現在残高	1	1	420,786	(67,665)	353,122
当期純損失	―	―	―	(41,843)	(41,843)
2023年12月31日現在残高	1	1	420,786	(109,508)	311,279

	株式数	株式資本	資本剰余金	利益剰余金	合計
		千円	千円	千円	千円
2023年１月１日現在残高	1	0	65,954	(10,606)	55,348
当期純損失	―	―	―	(6,558)	(6,558)
2023年12月31日現在残高	1	0	65,954	(17,164)	48,790

	株式数	株式資本	資本剰余金	利益剰余金	合計
		米ドル	米ドル	米ドル	米ドル
2022年１月１日現在残高	1	1	420,786	5,085	425,872
当期純損失	―	―	―	(72,750)	(72,750)
2022年12月31日現在残高	1	1	420,786	(67,665)	353,122

	株式数	株式資本	資本剰余金	利益剰余金	合計
		千円	千円	千円	千円
2022年１月１日現在残高	1	0	65,954	797	66,751
当期純損失	―	―	―	(11,403)	(11,403)
2022年12月31日現在残高	1	0	65,954	(10,606)	55,348

添付の財務諸表注記参照。

スーパーファンド・ジャパン・トレーディング（ケイマン）リミテッド
キャッシュ・フロー計算書

2023年12月31日に終了した年度
（単位：米ドル）

	2023年		2022年	
	米ドル	千円	米ドル	千円
営業活動によるキャッシュ・フロー				
当期純利益／損失	(41,843)	(6,558)	(72,750)	(11,403)
営業活動における現金への当期純損失の調整：				
未収管理報酬の減少	1,700	266	6,226	982
その他未払金及び未払費用の増加／（減少）	565	89	(6,296)	(987)
営業活動において（使用した）／得た現金純額	(39,578)	(6,203)	(72,820)	(11,414)
期中の現金の純（減少）／増加	(39,578)	(6,203)	(72,820)	(11,414)
期首現金残高	357,824	56,085	430,644	67,499
期末現金残高	318,246	49,882	357,824	56,085

添付の財務諸表注記参照。

財務諸表注記

2023年12月31日現在

（単位：米ドル）

１．会社設立及び基礎情報

スーパーファンド・ジャパン・トレーディング（ケイマン）リミテッド（以下「当社」という。）は、2004年10月８日にケイマン諸島の会社法に基づいて適用免除有限会社として設立され、2006年１月１日に開業した。

当社の主な活動は、スーパーファンド・ジャパン（以下「当信託」という。）に対して投資運用サービスを提供することである。

当社は本信託の投資運用会社を務め、代行協会員契約に従って、スーパーファンド・ジャパン株式会社を日本における当信託の代行協会員として選任している。代行協会員は、１口当たり純資産価額を公表し、日本証券業協会に財務諸表を提出する責任がある。スーパーファンド・ジャパン株式会社は、当信託の販売売会社としての業務も行っている。当社及び当信託の年次監査済財務諸表は、日本における開示義務の一環として有価証券報告書及び有価証券届出書に含まれており、関東財務局に提出されている。

２．重要な会計方針

（ａ）準拠表明

これらの財務諸表は、米国において一般に公正妥当と認められた会計原則（「US GAAP」）に基づいて作成されたものである。

（ｂ）外貨換算

当社の財務諸表は米ドル（USD）建てで表示されている。

外貨建て取引は、取引日現在の為替レートで換算される。期末日現在の外貨建て資産及び負債はすべて、同日の為替レートで米ドル（$）に換算される。換算により生じる為替換算差額は、損益計算書において認識される。

（ｃ）見積りの使用

US GAAPに準拠した財務諸表の作成にあたって、経営陣は財務諸表日現在の資産及び負債の報告金額並びに偶発資産及び負債の開示かつ当期中の収益及び費用の報告額に影響を及ぼす見積り及び仮定を行うことが求められている。実際の結果は、それらの見積額とは異なる可能性がある。公正価値は特定時点における市況及び金融商品の情報を基準に見積られる。これらの見積りは主観的なものであり不確実性及び重要な判断を伴うため、正確に算出することはできない。仮定の変更は見積りに重要な影響を与える場合がある。

（ｄ）現金

現金は銀行預金を含んでおり、全額が満期まで３カ月以内で流動性が高いとみなされている。

（ｅ）未収管理報酬

未収管理報酬は投資運用サービスの提供先である当信託に請求した管理報酬である。

当社の方針においては一般貸倒引当金を設定しないが、すべての未収金は12カ月を経過した後に回収不能とみなされ償却される。

（ｆ）収益及び費用

収益及び費用は発生主義で計上される。

（ｇ）法人税等

ケイマン諸島では収益又は利益に対して課税されることはなく、当社は2024年10月26日まで現地におけるすべての収益、利益及び資本に係る税金を免除する旨の合意をケイマン諸島の総督から受け取っている。よって、法人税等に関する引当金は当該財務諸表に含まれていない。

（ｈ）運用資産

運用中の当信託の各サブファンドの資産及び負債は、当社の資産又は負債ではないため、これらの財務諸表には表示されていない。

３．株式資本

	2023年（米ドル）	2022年（米ドル）
授権済：		
１株当たり額面１円の償還可能参加議決権付株式50,000,000株	351,212	351,212
発行済および払込済：		
１株当たり額面１円の償還可能参加議決権付株式１株	1	1
資本剰余金	420,786	420,786

４．管理報酬

当社は信託の各サブファンドの純資産の0.10%（年率）の管理報酬を、各サブファンドによって、半年ごと、四半期ごと又は月ごとに後払いで受領している。管理報酬は、独立第三者間条件での交渉に基づき設定されたものではない。

2023年12月31日に終了した年度において、当社は、当信託から19,748米ドル（2022年：29,849米ドル）の管理報酬を稼得しており、そのうち480米ドル（2022年：2,180米ドル）が期末日現在未払いとなっていた。

５．関連当事者間取引

当社は信託の投資運用活動に対して一定の支配力及び重要な影響力を有することから、信託の関連当事者とみなされる。

2023年12月31日及び2022年12月31日に終了した年度において、取締役は当社から取締役報酬及び費用を受領しておらず、期末日現在において未払いとなっている取締役報酬及び費用はない。

６．金融商品の公正価値

金融資産及び負債の帳簿価額は満期までの期間が比較的短いため、公正価値に近似している。

７．金融商品及び関連リスク

信用リスク

信用リスクは、債務条件に従い取引相手先による当社への債務の不履行により当社に生じる可能性のある潜在的な損失を表す。当社を信用リスクにさらす可能性のある金融資産は、主に現金及び現金同等物並びに未収管理報酬である。信用リスクに関する最大エクスポージャーは、これらの金融資産の帳簿価額と等しい。当社は現金を信用のある金融機関に預けており、また未収管理報酬は短期的な性質であることから、現金及び現金同等物並びに未収管理報酬に関する信用リスクは低いと考えている。

当社は、米ドルの他の通貨に対する為替レートの変動により、当社の米ドル以外の通貨建ての資産及び負債の報告価値に不利な影響が及ぶリスクにさらされている。

８．後発事象

これらの財務諸表を作成するにあたり、経営陣は、当該財務諸表の公表が可能となった2024年５月３日までのすべての重要な後発事象を評価し開示した。

次へ

Superfund Japan Trading (Cayman) Limited

Balance Sheet

31 December 2023
(Stated in United States Dollars)

	Notes	31 December 2023 $	31 December 2022 $
Assets			
Cash		**318,246**	357,824
Management fees receivable	4	**480**	2,180
Total assets		**318,726**	360,004
Liabilities			
Professional fee payable		**5,320**	4,817
Other professional services fees payable		**2,127**	2,065
Total liabilities		**7,447**	6,882
Shareholder's equity			
Share capital	3	**1**	1
Share premium	3	**420,786**	420,786
Accumulated losses		**(109,508)**	(67,665)
		311,279	353,122
Total liabilities and shareholder's equity		**318,726**	360,004

See accompanying notes to financial statements.

Superfund Japan Trading (Cayman) Limited

Statement of Operations

Year ended 31 December 2023
(Stated in United States Dollars)

	Notes	2023 $	2022 $
Income			
Management fees	4	**19,748**	29,849
Net loss on foreign exchange		**(25,258)**	(56,261)
		(5,510)	(26,412)
Expenses			
Financial statement reporting fees		**7,035**	6,609
Professional fees		**26,425**	39,252
Other expenses		**2,873**	477
		36,333	46,338
Net loss for the year		**(41,843)**	(72,750)

See accompanying notes to financial statements.

Superfund Japan Trading (Cayman) Limited

Statement of Changes in Shareholder's Equity

Year ended 31 December 2023

(Stated in United States Dollars)

	Number of Shares	Share Capital	Share Premium	Accumulated losses	Total
		$	$	$	$
Balance at 1 January 2023	**1**	**1**	**420,786**	**(67,665)**	**353,122**
Net loss for the year	**-**	**-**	**-**	**(41,843)**	**(41,843)**
Balance at 31 December 2023	**1**	**1**	**420,786**	**(109,508)**	**311,279**

	Number of Shares	Share Capital	Share Premium	(Accumulated losses)/Retained earnings	Total
		$	$	$	$
Balance at 1 January 2022	1	1	420,786	5,085	425,872
Net loss for the year	-	-	-	(72,750)	(72,750)
Balance at 31 December 2022	1	1	420,786	(67,665)	353,122

See accompanying notes to financial statements.

Superfund Japan Trading (Cayman) Limited

Statement of Cash Flows

Year ended 31 December 2023
(Stated in United States Dollars)

	2023	2022
	$	$
Cash flows used in operating activities		
Net loss for the year	**(41,843)**	(72,750)
Adjustments to reconcile net loss for the year to net cash used in operating activities:		
Decrease in management fees receivable	**1,700**	6,226
Increase/(Decrease) in other payables and accrued expenses	**565**	(6,296)
Net cash used in operating activities	**(39,578)**	(72,820)
Net decrease in cash during the year	**(39,578)**	(72,820)
Cash balance at beginning of the year	**357,824**	430,644
Cash balance at end of the year	**318,246**	357,824

See accompanying notes to financial statements.

Superfund Japan Trading (Cayman) Limited

Notes to Financial Statements

31 December 2023
(Stated in United States Dollars)

1. Incorporation and background information

Superfund Japan Trading (Cayman) Limited (the "Company") was incorporated as an exempted company with limited liability under the Companies Act of the Cayman Islands on 8 October 2004 and commenced operations on 1 January 2006.

The principal activity of the Company is the provision of investment management services to Superfund Japan (the "Trusts").

The Company serves as the investment manager for the Trusts and has appointed Superfund Japan Co., Limited as the Agent Member Company for the Trusts in Japan, pursuant to Agent Member Company Agreements. The Agent Member Company is responsible for publicizing the net asset value per unit and submitting the financial statements to the Japan Securities Dealers Association. Superfund Japan Co., Limited also serves as distributor of the Trusts. The Company's and Trusts' annual audited financial statements are included in the Annual Securities Report and Securities Registration Statements and filed with the Kanto Local Finance Bureau Japan, as part of Japanese filing requirements.

2. Significant accounting policies

(a) Statement of compliance

These financial statements are prepared in accordance with accounting principles generally accepted in the United States of America ("US GAAP").

(b) Foreign currency translation

The financial statements of the Company are presented in United States Dollars (USD). Transactions in foreign currencies are translated at the foreign exchange rate ruling at the date of the transaction. All assets and liabilities denominated in foreign currencies at the year-end are translated to United States Dollars ($) at the foreign exchange rate ruling at that date. Foreign exchange differences arising on translation are recognized in the statement of operations.

(c) Use of estimates

The preparation of the financial statements in accordance with US GAAP requires management to make estimates and assumptions that affect the reported amounts of assets and liabilities and disclosure of contingent assets and liabilities at the date of the financial statements and the reported amounts of income and expenses during the year. Actual results could differ from those estimates. Fair value estimates are made at a specific point in time, based on market conditions and information about the financial instrument. These estimates are subjective in nature and involve uncertainties and matters of significant judgement and therefore cannot be determined with precision. Changes in assumptions could significantly affect the estimates.

Superfund Japan Trading (Cayman) Limited

Notes to Financial Statements (continued)

31 December 2023
(Stated in United States Dollars)

2. Significant accounting policies *(continued)*

(d) Cash

Cash comprises cash at bank, all of which is considered to be highly liquid with maturities of three months or less.

(e) Management fees receivable

Management fees receivable comprise management fees billed to the Trusts, to whom investment management services have been provided.

The Company's policy is not to make a general provision for bad debts, however all amounts receivable are deemed uncollectible and written-off after a period of 12 months has elapsed.

(f) Income and expenses

Income and expenses are recorded on an accrual basis.

(g) Taxation

There are no taxes on income or gains in the Cayman Islands and the Company has received an undertaking from the Governor in Cabinet of the Cayman Islands exempting it from all local income, profits and capital taxes until 26 October 2024 should such taxes be enacted. Accordingly, no provision for income taxes is made in these financial statements.

(h) Assets under management

The assets and liabilities of each of the sub-funds of the Trusts under management are not shown in these financial statements since such items are not assets or liabilities of the Company.

3. Share capital

	2023 ($)	2022 ($)
Authorized:		
50,000,000 participating, redeemable, voting shares of JPY 1 each	**351,212**	351,212
Issued and fully paid:		
1 participating, redeemable, voting share of JPY 1	**1**	1
Share premium	**420,786**	420,786

Superfund Japan Trading (Cayman) Limited

Notes to Financial Statements (continued)

31 December 2023
(Stated in United States Dollars)

4. Management fees

The Company receives a management fee at the rate of 0.10% per annum of the net assets of each sub-fund of the Trusts, paid semi-annually, quarterly or monthly in arrears, depending on the sub-fund. Management fees have not been set by arms-length negotiations.

During the year ended 31 December 2023, the Company earned management fees of **$19,748** (2022: $29,849) from the Trusts, of which **$480** (2022: $2,180) was outstanding at that date.

5. Related party transactions

The Trusts are related parties by virtue of the degree of control and significant influence that the Company exerts over their investment management functions.

During the year ended 31 December 2023 and 2022, there were no director fees and expenses incurred by the Company and no director fees and expenses payable as at 31 December 2023.

6. Fair value of financial instruments

The carrying values of financial assets and liabilities approximate fair values due to the relatively short periods to maturity.

7. Financial instruments and associated risks

Credit Risk

Credit risk represents the potential loss that the Company would incur if the counterparties failed to perform pursuant to the terms of their obligations to the Company. Financial assets which potentially expose the Company to credit risk consist mainly of cash and cash equivalents and management fees receivables. The maximum exposure to credit risk equals the carrying value of these financial assets. The credit risk on cash and cash equivalents and management fees receivables are considered low as the Company maintains cash balances with a reputable financial institution and the management fees receivables are short term in nature.

The Company is exposed to risks that the exchange rate of the United States Dollars relative to other currencies may change in a manner which has an adverse effect on the reported value of the Company's assets and liabilities denominated in currencies other than the United States Dollars.

8. Subsequent events

In preparing these financial statements, management has evaluated and disclosed all material subsequent events up to 3 May 2024, which is the date that the financial statements were available to be issued.

（２）【損益計算書】

管理会社の損益計算書については、上記（１）の項目に記載した管理会社の損益計算書を参照されたい。

4【利害関係人との取引制限】

管理会社のその他の活動若しくは投資に関して、又は管理会社によって運用されるその他の投資ポートフォリオの活動に関して、一切制限はない。管理会社及び／又はその取締役は、当ファンドに類似する業務及び目的をもつその他のファンドの運用に関与することを許容される。かかるその他のファンドの活動は、当ファンドの活動と競争関係を生ずることがあり、この場合、管理会社の活動は利益相反とみなされることがある。

管理会社は、常に衡平かつ公正に義務を遂行することを目指す。上記の一般性を害することなく、管理会社は、サブファンドの事業及び活動を推進するために合理的に必要な時間のみを費やすことが要求される。

管理会社に支払われる報酬は、独立当事者間の交渉によって定められたものではない。テニソン・ブリッグス氏及びヨセフ・ホルツァー氏は、いずれも管理会社の取締役であり、マスターファンド及びアンダーライング・マスターファンドの取締役でもある。

テニソン・ブリッグス氏及びヨセフ・ホルツァー氏は、投資顧問会社、販売会社並びにマスターファンド及びアンダーライング・マスターファンドのマネジメント株式の株主と関係を有する。

（注）ファンドのマネジメント株式の保有者は、ファンドの実際の所有者である。マネジメント株式には議決権が付随するのに対し、パーティシペーティング株式には議決権が付随しない。ファンドの投資家はパーティシペーティング株式を保有しているため、議決権を有しない。

5【その他】

訴訟及びその他の重大な出来事等

管理会社は、その設立以来、訴訟又は仲裁手続に関与したことは一切ない。また、管理会社の取締役又は株主が認識している限りにおいて、管理会社により、又は管理会社に対して訴訟ないし仲裁手続が係争中であるか、若しくは提起が予定されているということはない。

第２【その他の関係法人の概況】

１【名称、資本金の額及び事業の内容】

（１）ハーニーズ・フィデューシャリー（ケイマン）リミテッド
（Harneys Fiduciary (Cayman) Limited）

（ⅰ）発行済株式資本額
9,134,063米ドル（1,431,673,035円）（2023年12月31日現在）

（ⅱ）事業の内容
ハーニーズ・フィデューシャリー（ケイマン）リミテッドは、ケイマン諸島の銀行及び信託会社法（その後の改正を含む。）に従いケイマン諸島の金融当局により発行された免許を保有する、信託業務専門の会社である。

（２）NAVコンサルティング・インク
（NAV Consulting, Inc.）

（ⅰ）発行済株式資本額
1,000米ドル（156,740円）（2023年12月31日現在の払込済資本金残高）

（ⅱ）事業の内容
NAVは世界各地において、2,000超のヘッジ・ファンド顧客、プライベート・エクイティ及び不動産ファンド顧客、並びにマネージド・アカウント顧客に対してサービスを提供している。NAVは、その革新的な技術、及び処理能力の継続的な向上への注力により、ファンドの純資産価額の算出をいかなる事務管理会社よりも高速で行うことができる。米国及びインドにチームを有するNAVは、常に稼働する週７日24時間体制のサポートを顧客に対して提供することができる。NAVのオペレーションはすべてISAE 3402タイプ２認証済みである。NAVコンサルティング・インクは、NAVを構成する一員であり、当ファンドの純資産価額の計算並びにその他特定の会計、事務、データ処理業務及び関連する専門業務を含む役務を提供する。

（３）NAVファンド・サービシズ（ケイマン）リミテッド
（NAV Fund Services (Cayman) Ltd.）

（ⅰ）発行済株式資本額
540,000米ドル（84,639,600円）（2023年12月31日現在の株式額面総額及び追加払込済資本金残高）

（ⅱ）事業の内容
NAVファンド・サービシズ（ケイマン）リミテッドは、NAVを構成する一員であり、登録兼名義変更代理人／管理者として、投資者向けの以下の役務を提供する。

- 申込及び償還の処理
- マネー・ロンダリング防止
- ワールドチェック及びOFAC（米国財務省外国資産管理局）リストにおける投資者の確認、並びに投資者リスク及びケイマン法上効力を有する制裁リストの監視
- デュアル・コントロールド振込処理

（４）スーパーファンド・ジャパン株式会社

（ⅰ）資本金
275百万円（2024年３月31日現在）

（ⅱ）事業の内容
金融商品取引業。

2【関係業務の概要】

（1）ハーニーズ・フィデューシャリー（ケイマン）リミテッド
(Harneys Fiduciary (Cayman) Limited)

ハーニーズ・フィデューシャリー（ケイマン）リミテッドは、当ファンドの受託会社として行為する。

（2）NAVコンサルティング・インク
(NAV Consulting, Inc.)

NAVコンサルティング・インクは、当ファンドの事務管理会社として行為する。

（3）NAVファンド・サービシズ（ケイマン）リミテッド
(NAV Fund Services (Cayman) Ltd.)

NAVファンド・サービシズ（ケイマン）リミテッドは、当ファンドの事務管理会社として行為する。

（4）スーパーファンド・ジャパン株式会社

スーパーファンド・ジャパン株式会社は、当ファンドの販売会社として、受益証券の販売及び買戻しを行い、また当ファンドの代行協会員としてその一切の業務を行う。

3【資本関係】

該当なし。

第３【投資信託制度の概要】

ケイマン諸島における信託は、世界のいかなる地域に在住する者によっても、世界のいかなる地域における資産又は投資をもっても、またいかなる通貨によっても設立することができる。ケイマン諸島における信託の設立は、ケイマン諸島の信託法（その後の改正を含む。）、不正処分法（その後の改正を含む。）及び永久権法（その後の改正を含む。）により規定されている。

１　ユニット・トラスト及びミューチュアル・ファンドの一般規制

ユニット・トラストは、信託を規定する法律に加え、ミューチュアル・ファンド法の規制対象ともなり得る、ケイマン諸島における信託の一種である。ユニット・トラストは、信託証書又は受託者による信託宣言により設立される。かかるユニット・トラストが「ミューチュアル・ファンド」の定義に該当し、とりわけ投資家が任意に信託受益権を償還又は買い戻すことができる場合、ケイマン諸島におけるミューチュアル・ファンドとして登録されなければならないことがある。当ファンドは、ミューチュアル・ファンド法上、登録義務を負うものではないため、同法第４項に定める「ミューチュアル・ファンド」として登録されていない。

（注）なお、当ファンドは、当ファンドの財務書類に対するCIMAからの監督を強化する目的から、現在、ミューチュアル・ファンド法第４項（３）に定める「登録ミューチュアル・ファンド」としてCIMAへ登録するための準備を進めている。

ユニット型投資信託はまた、そのいずれの投資家もケイマン諸島に居住又は定住していない場合、信託法（その後の改正を含む。）の規定に基づく適用免除信託として登録することができる。当ファンドは、当該法律に規定された要件を満たしており、ケイマン諸島における適用免除信託として登録されている。

ケイマン諸島におけるユニット・トラストの財産は、信託証書又は信託宣言に基づいて受託者に帰属し、当該信託証書又は信託宣言により、通常、譲渡自由及び買戻し可能な多数の受益権に分割される。当ファンドは、信託証書に基づき設立されるケイマン諸島におけるオープン・エンド型アンブレラ・ユニット・トラストとして設立された。

２　適用免除信託

当ファンドは、ケイマン諸島の法律に基づき、適用免除信託として登録された。適用免除信託として登録された信託には、当該信託、受託者又は受益権者に対して発生する資産又は収入に対し、当該信託証書の日付から50年の間に成立し、収入、固定資産、利益若しくは増額分に対する税金、又は相続税を課す、ケイマン諸島におけるいかなる法律も適用されない旨の保証を受けるための申請を行うことができる。

ユニット・トラストを、適用免除信託として登録するためには、信託登録所は、当該信託の受益権者にはいかなる時点においてもケイマン諸島に居住又は定住する者（この目的上は、企業を含む。）も含まないという要件を満たすことを確認する必要がある。ケイマン諸島において、適用免除又は通常非居住企業として設立された企業は、当該目的においてのみケイマン諸島に居住していないとみなされる。ユニット型投資信託は、一度適用免除として登録されると、いずれかの受益権者がある時点においてケイマン諸島に居住又は定住したという理由で適用免除信託としての登録を取り消されることはないが、かかる受益権者は、ユニット・トラストにおける利益に関して、税制上の恩恵を失う。

ユニット・トラストが一度適用免除信託として登録されると、受託者は、ケイマン諸島の信託の信託登録所に対し、当該ユニット・トラストの信託財産、権限及び規定を記載又は記録したすべての書類を提出しなければならない。登録の申請は、信託証書の締結後に行われる。信託が適用免除信託として登録された後、税制上の登録が行われる。当ファンドは、すでにかかる税務登録を取得している。

3　ユニット・トラストの構造

ケイマン諸島におけるユニット・トラストは、通常、（ｉ）単一シリーズの受益権又は（ii）複数シリーズの受益権をもって設立される。単一シリーズのユニット型投資信託においては、単一種類の買戻可能受益権が、通常は当初募集金額により募集され、その後は純資産価額により、投資家に対して販売される。すべての投資家は、信託証書の規定に基づき、受益権者集会に参加する権利を有している。複数シリーズのユニット・トラストにおいては、様々な種類の買戻可能受益権が、当初募集金額で、投資家に対して販売される。

当ファンドは、ケイマン諸島の法律に基づき、複数シリーズのユニット・トラストとして設立された。

4　マネー・ロンダリング防止規則

ケイマン諸島

ケイマン諸島におけるマネー・ロンダリングの防止を目的とした規則を遵守するため、事務管理会社は、すべての潜在的な投資家に対し身元証明書の提出を求める（但し、ケイマン諸島のマネー・ロンダリング防止規則（その後の改正を含む。）（以下「マネー・ロンダリング防止規則」という。）に基づき免除が事務管理会社に適用される場合を除く。）。申込の際の状況が以下のとき、完全な身元証明の書類を必要としない場合がある。

（ａ）潜在的な投資家が、承認された金融機関における当該投資家名義の口座から投資活動の支払いを行うとき

（ｂ）潜在的な投資家が、承認された行政当局の規制を受け、かつ承認された法域を基盤とする若しくはかかる法域において設立された又はかかる法域の法律を準拠法と しているとき

（ｃ）潜在的な投資家の代理として、承認された行政当局の規制を受け、かつ承認された法域を基盤とする若しくはかかる法域において設立された又はかかる法域の法律を準拠法としている仲介者が申込を行うとき

上記の例外措置のための金融機関、行政当局又は法域の確認は、ケイマン諸島が十分と認める他の法域のマネー・ロンダリングの防止に関する規則を参考に、マネー・ロンダリング防止規則に従い決定される。

受託会社及び事務管理会社は、潜在的な投資家の身元を確認するために必要な情報を要求する権利を有する。事務管理会社はまた、本受益証券の譲受人に関する身元証明書を要求する権利を有する。潜在的な投資家又は譲受人が、確認のために求められた情報を提出することが遅れた又は提出しなかった場合、受託会社及び事務管理会社は、申込の受付又は（状況により）特定の譲渡の登録を拒否することができる。このとき、本受益証券の申込において、受領した資金は当初の支払金引落し口座に利息を付さずに返却される。

また、受益権者への償還金の支払いが、特定の法域において適用あるマネー・ロンダリングの防止に関する規則若しくは他の法令に違反する結果となる、又は受託会社若しくは事務管理会社がかかる規則若しくは法令を遵守するために受益権者に対して償還金の支払いを拒否することが必要若しくは適当であると、受託会社若しくは事務管理会社が判断又は通知した場合、受託会社及び事務管理会社は受益権者に対して償還金の支払いを拒否する権利を有する。

何らかの情報等により、ケイマン諸島の居住者（受託会社、事務管理会社及びその従業員を含む。）が、ある者がマネー・ロンダリングに関与していることを知った若しくはその疑いを持った又はそれを知り若しくはその疑いを持つ合理的な理由を有する場合、かかる居住者はケイマン諸島の犯罪収益法（その後の改正を含む。）及びテロリズム法（その後の改正を含む。）に従い、かかる情報等を報告することが要求される。かかる報告は、法律等で規制された情報開示制限の違反とみなされることはない。

日本

販売会社は、受益証券の発行又は譲渡に関して、犯罪による収益の移転防止に関する法律（平成19年法律第22号）その他の販売会社に適用のあるマネー・ロンダリングの防止に関する法令を遵守するものとし、これらの法令に従って必要な詳細情報を入手するものとする。

なお、前記にかかわらず、管理会社又は受託会社からの書面による請求があった場合には、販売会社は、マネー・ロンダリングの防止に関するその他の法令を遵守するものとする。

販売会社が、かかるマネー・ロンダリングの防止に係る法令を遵守することができなかった場合、又はこれらの法令に従って必要な詳細情報を入手することができなかった場合、販売会社は、当該申込を拒否し、かかる申込は、事務管理会社に送付しないものとする。

第４【参考情報】

2023年１月１日から2023年12月31日までの間に下記の書類が関東財務局長に提出された。

1	有価証券届出書	2023年６月14日
2	有価証券報告書	2023年６月30日
3	有価証券届出書の訂正届出書	2023年６月30日
4	有価証券報告書の訂正届出書	2023年７月７日
5	有価証券届出書の訂正届出書	2023年７月７日
6	半期報告書	2023年９月29日
7	有価証券届出書の訂正届出書	2023年９月29日

第５【その他】

該当なし

（翻訳）
独立監査人による監査報告書

スーパーファンド・ジャパン（ケイマン諸島グランドケイマン）の
受託会社御中

監査意見

我々は、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン、スーパーファンド・グリーンCジャパン及びスーパーファンド・ジャパン・サブファンド・レインボー・オールシーズンズで構成されるスーパーファンド・ジャパン（以下、「当信託」という。）の財務諸表の監査を行った。当該財務諸表は、要約投資明細書を含む2023年12月31日現在の貸借対照表、同日に終了した年度の損益計算書及び純資産変動計算書、並びに財務諸表注記で構成されている。

我々の意見によれば、添付の財務諸表はすべての重要な点において、2023年12月31日現在の当信託の財政状態及び同日に終了した年度の財務業績を米国で一般に公正妥当と認められる会計原則に従って適正に表示している。

監査意見の根拠

我々は、国際監査基準（以下、「ISA」という。）に従って監査を実施した。同基準に基づく我々の責任については、監査報告書の「財務諸表の監査に関する監査人の責任」のセクションで詳述されている。我々は国際会計士倫理基準審議会の「職業会計士の倫理規程」（以下、「IESBA規程」という。）に従い、当信託とは独立しており、IESBA規程に従って倫理的責任を果たした。我々の得た監査証拠は監査意見の根拠を成すに十分かつ適切であると我々は判断している。

財務諸表に関する受託会社の責任

受託会社には、米国で一般に公正妥当と認められる会計原則に従って財務諸表を作成し、公正な表示を行う責任、及び、不正又は誤謬による重大な虚偽記載のない財務諸表の作成にあたり受託会社が必要と判断した内部統制に関する責任がある。

財務諸表の作成にあたり、受託会社は、継続企業としての当信託の継続能力を評価し、必要に応じて継続企業に関係する事項を開示し、経営陣が当信託を清算するか営業を停止するかのいずれかを行うことを意図している、又はそうする以外の現実的な選択肢がない場合を除き、継続企業ベースの会計を行う責任がある。

財務諸表の監査に関する監査人の責任

我々の目的は、全体として、財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかに関する合理的な保証を得て、我々の意見を含めた監査報告書を発行することにある。合理的な保証は、高い水準の保証であるが、ISAに準拠して実施された監査が、存在するすべての重要な虚偽表示を常に発見することを確約するものではない。虚偽表示は、不正又は誤謬から発生する可能性があり、個別に又は集計すると、当該財務諸表の利用者の経済的意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

ISAに準拠した監査の一環として、我々は、監査を通じて職業的専門家としての判断を行使し、職業専門家としての懐疑心を保持する。また、下記を実施することが含まれている。

- **不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別、評価し、当該リスクに対応した監査手続きを立案、実施し、監査意見の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。不正による重要な虚偽の表示を発見できないリスクは、誤謬による当該リスクよりも高くなる。これは、不正には、共謀、文書の偽造、意図的な除外、虚偽の言明又は内部統制の無効化が伴うためである。**

- **状況に応じて適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を理解する。ただし、これは、当信託の内部統制の有効性に対する意見を表明するためではない。**
- **使用されている会計方針の適切性、経営者によって行われた会計上の見積もり及び関連する開示の妥当性を評価する。**
- **経営者が継続企業の前提により会計処理を実施したことの適切性について、又は入手した監査証拠に基づいて、当信託の継続企業としての存続能力に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して、重要な不確実性が認められるかどうかについて結論を下す。重要な不確実性が存在するとの結論に至った場合、当監査人の監査報告書において、財務諸表の関連する開示を参照するよう促すか、又は当該開示が適切でない場合は、我々の意見を修正する必要がある。我々の結論は、当監査人の監査報告書の日付までに入手した監査証拠に基づいている。しかし、将来の事象又は状況により、当信託が継続企業として存続しなくなる可能性がある。**
- **開示を含めて、財務諸表の全体的な表示、構成及び内容を評価し、財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかを評価する。**

我々は、特に、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施の過程で識別した内部統制の重要な不備を含めて、監査上の重要な発見事項について統治責任者とコミュニケーションをとる。

利用の制限

本報告書は2023年12月５日付のエンゲージメント・レターの条件に従い、スーパーファンド・ジャパン及びその受託会社のためにのみ作成されたものであり、その他の目的をもたない。我々の書面による明示的な事前の同意がある場合を除いて、法律で許容される最大限の範囲において、我々のその他の目的又は当報告書が提示されたか又は当報告書を入手したその他の人物に対して責任又は善管注意義務を負うものではない。

BDO
2024年６月21日

Independent Auditor's Report

To the Trustee of
Superfund Japan
Grand Cayman, Cayman Islands

Opinion

We have audited the financial statements of Superfund Japan, comprising Superfund Japan Sub-Fund Green, Superfund Green C Japan and Superfund Japan Sub-Fund Rainbow All Seasons (the "Trust"), which comprise the statement of assets and liabilities, including the condensed schedule of investments, as of December 31, 2023, and the statement of operations, statement of changes in net assets for the year then ended, and the related notes to the financial statements.
In our opinion, the accompanying financial statements present fairly, in all material respects, the financial position of the Trust as of December 31, 2023, and its financial performance for the year then ended in accordance with accounting principles generally accepted in the United States of America.

Basis for Opinion

We conducted our audit in accordance with International Standards on Auditing("ISAs"). Our responsibilities under those standards are further described in the *Auditor's Responsibilities for the Audit of the Financial Statements* section of our report. We are independent of the Trust in accordance with the International Ethics Standards Board for Accountants ' *Code of Ethics for Professional Accountants* ("IESBA Code"), and we have fulfilled our ethical responsibilities in accordance with the IESBA Code. We believe that the audit evidence we have obtained is sufficient and appropriate to provide a basis for our opinion.

Responsibilities of the Trustee for the Financial Statements

The Trustee is responsible for the preparation and fair presentation of the financial statements in accordance with accounting principles generally accepted in the United States of America, and for such internal control as the trustee determines is necessary to enable the preparation of financial statements that are free from material misstatement, whether due to fraud or error.
In preparing the financial statements, the trustee is responsible for assessing the Trust's ability to continue as a going concern, disclosing, as applicable, matters related to going concern and using the going concern basis of accounting unless management either intends to liquidate the Trust or to cease operations, or has no realistic alternative but to do so.

Auditor's Responsibilities for the Audit of the Financial Statements

Our objectives are to obtain reasonable assurance about whether the financial statements as a whole are free from material misstatement whether due to fraud or error, and to issue an auditor's report that includes our opinion. Reasonable assurance is a high level assurance, but is not a guarantee that an audit conducted in accordance with ISAs will always detect a material misstatement when it exists. Misstatements can arise from fraud or error and are considered material if, individually or in the aggregate, they could reasonably be expected to influence the economic decisions of users taken on the basis of these financial statements.
As part of an audit in accordance with ISAs, we exercise professional judgment and maintain professional skepticism throughout the audit. We also:

- Identify and assess the risks of material misstatement of the financial statements, whether due to fraud or error, design and perform audit procedures responsive to those risks, and obtain audit evidence that is sufficient and appropriate to provide a basis for our opinion. The risk of not detecting a material misstatement resulting from fraud is higher than for one resulting from error, as fraud may involve collusion, forgery, intentional omissions, misrepresentations, or the override of internal control.
- Obtain an understanding of internal control relevant to the audit in order to design audit procedures that are appropriate in the circumstances, but not for the purpose of expressing an opinion on the effectiveness of the Trust's internal control.
- Evaluate the appropriateness of accounting policies used and the reasonableness of accounting estimates and related disclosures made by management.
- Conclude on the appropriateness of management's use of the going concern basis of accounting and, based on the audit evidence obtained, whether a material uncertainty exists related to events or conditions that may cast significant doubt on the Trust's ability to continue as a going concern. If we conclude that a material uncertainty exists, we are required to draw attention in our auditor's report to the related disclosures in the financial statement or, if such disclosures are inadequate, to modify our opinion. Our conclusions are based on the audit evidence obtained up to the date of our auditor's report. However, future events or conditions may cause the Trust to cease to continue as a going concern.
- Evaluate the overall presentation, structure and content of the financial statements, including the disclosures, and whether the financial statements represent the underlying transactions and events in a manner that achieves fair presentation.

We communicate with those charged with governance regarding, among other matters, the planned scope and timing of the audit and significant audit findings, including any significant deficiencies in internal control that we identify during our audit.

Restriction on Use

This report has been prepared for and only for the Superfund Japan and its Trustee in accordance with the terms of our engagement letter dated December 5, 2023 and for no other purpose. To the fullest extent permitted by law, we do not accept or assume any liability or duty of care for any other purpose or to any other person to whom this report is shown or into whose hands it may come save where expressly agreed by our prior consent in writing.

June 21, 2024

次へ

（翻訳）

独立監査人による監査報告書

スーパーファンド・ジャパン・トレーディング（ケイマン）リミテッド（ケイマン諸島グランド・ケイマン）
取締役会御中

監査意見

我々は、スーパーファンド・ジャパン・トレーディング（ケイマン）リミテッド（以下、「当社」という。）の財務諸表の監査を行った。当該財務諸表は、2023年12月31日現在の貸借対照表及び同日に終了した年度の損益計算書、株主持分変動計算書及びキャッシュ・フロー計算書並びに財務諸表注記で構成されている。

我々の意見によれば、添付の財務諸表は、米国で一般に公正妥当と認められている会計原則に準拠して、当社の2023年12月31日現在の財政状態、並びに同日に終了した年度の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を、すべての重要な点において適正に表示している。

監査意見の根拠

我々は、国際監査基準（以下、「ISA」という。）に準拠して監査を行った。本基準のもとでの我々の責任は、本報告書の「*財務諸表の監査に関する監査人の責任*」区分に詳述されている。我々は、国際会計士倫理基準審議会の定める職業会計士の倫理規程（以下、「IESBA規程」という。）に基づき当社に対して独立性を保持しており、また、当該IESBA規程で定められる倫理上の責任を果たした。我々は、我々の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

取締役会は、財務諸表とともに表示されるその他の記載内容に対して責任を負う。その他の記載内容は、取締役会報告書に含まれる情報から構成されるが、財務諸表及びその監査報告書は含まれない。

我々の財務諸表監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、我々はその他の記載内容に対していかなる保証の結論も表明しない。

財務諸表監査における我々の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は我々が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか考慮すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な虚偽記載の兆候があるかどうか注意を払うことにある。

我々は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な虚偽記載があると判断した場合には、当該事実を報告することが求められている。我々は、その他の記載内容に関して報告すべき事項はない。

財務諸表に関する取締役会の責任

取締役会は、米国で一般に公正妥当と認められる会計基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示すること、及び不正又は誤謬による重要な虚偽の表示がない財務諸表の作成に必要であると取締役が判断した内部統制について責任を負っている。

財務諸表の作成にあたり、取締役会は、継続企業としての当社の存続能力の評価、継続企業に関する事項の開示（該当する場合）及び継続企業の前提による会計処理の実施に責任を有する。ただし、経営者が当社を清算若しくは事業を停止する意思を有する場合、又はそうする以外に現実的な代替案がない場合はこの限りではない。

財務諸表の監査に関する監査人の責任

我々の目的は、全体として、財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかに関する合理的な保証を得て、我々の意見を含めた監査報告書を発行することにある。合理的な保証は、高い水準の保証であるが、ISAに準拠して実施された監査が、存在するすべての重要な虚偽表示を常に発見することを確約するものではない。虚偽表示は、不正又は誤謬から発生する可能性があり、個別に又は集計すると、当該財務諸表の利用者の経済的意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

ISAに準拠した監査の一環として、我々は、監査を通じて職業的専門家としての判断を行使し、職業専門家としての懐疑心を保持する。また、下記を実施することが含まれている。

- **不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別、評価し、当該リスクに対応した監査手続きを立案、実施し、監査意見の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。不正による重要な虚偽の表示を発見できないリスクは、誤謬による当該リスクよりも高くなる。これは、不正には、共謀、文書の偽造、意図的な除外、虚偽の言明又は内部統制の無効化が伴うためである。**
- **状況に応じて適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を理解する。ただし、これは、当社の内部統制の有効性に対する意見を表明するためではない。**
- **使用されている会計方針の適切性、経営者によって行われた会計上の見積もり及び関連する開示の妥当性を評価する。**
- **経営者が継続企業の前提により会計処理を実施したことの適切性について、又は入手した監査証拠に基づいて、当社の継続企業としての存続能力に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して、重要な不確実性が認められるかどうかについて結論を下す。重要な不確実性が存在するとの結論に至った場合、当監査人の監査報告書において、財務諸表の関連する開示を参照するよう促すか、又は当該開示が適切でない場合は、我々の意見を修正する必要がある。我々の結論は、当監査人の監査報告書の日付までに入手した監査証拠に基づいている。しかし、将来の事象又は状況により、当社が継続企業として存続しなくなる可能性がある。**
- **開示を含めて、財務諸表の全体的な表示、構成及び内容を評価し、財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかを評価する。**

我々は、特に、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施の過程で識別した内部統制の重要な不備を含めて、監査上の重要な発見事項について統治責任者とコミュニケーションをとる。

利用の制限

当報告書は、2023年12月５日付のエンゲージメント・レターの条件に従って、スーパーファンド・ジャパン・トレーディング（ケイマン）リミテッドのためにのみ作成されているのであり、その他の目的を持たない。我々の書面による明示的な事前の同意がある場合を除いて、法律で許容される最大限の範囲において、我々のその他の目的又は当報告書が提示されたか又は当報告書を入手したその他の人物に対して責任又は善管注意義務を負うものではない。

BDO
2024年５月３日

Independent Auditor's Report

To the Directors of
Superfund Japan Trading (Cayman) Limited
Grand Cayman, Cayman Islands

Opinion

We have audited the financial statements of Superfund Japan Trading (Cayman) Limited (the "Company"), which comprise the balance sheet as of December 31, 2023, and the statement of operations, statement of changes in shareholder's equity and statement of cash flows for the year then ended, and the notes to the financial statements.
In our opinion, the accompanying financial statements present fairly, in all material respects, the financial position of the Company as of December 31, 2023 and its financial performance and its cash flows for the year then ended in accordance with accounting principles generally accepted in the United States of America.

Basis for Opinion

We conducted our audit in accordance with International Standards on Auditing ("ISAs"). Our responsibilities under those standards are further described in the *Auditor's Responsibilities for the Audit of the Financial Statements* section of our report. We are independent of the Company in accordance with the International Ethics Standards Board for Accountants' *Code of Ethics for Professional Accountants* ("IESBA Code"), and we have fulfilled our ethical responsibilities in accordance with the IESBA Code. We believe that the audit evidence we have obtained is sufficient and appropriate to provide a basis for our opinion.

Other Information

The directors are responsible for the other information presented with the financial statements. The other information comprises the information included in the directors' report, but does not include the financial statements and our auditor's report thereon.
Our opinion on the financial statements does not cover the other information and we do not express any form of assurance conclusion thereon.
In connection with our audit of the financial statements, our responsibility is to read the other information and, in doing so, consider whether the other information is materially inconsistent with the financial statements or our knowledge obtained in the audit or otherwise appears to be materially misstated. If, based on the work we have performed, we conclude that there is a material misstatement of this other information, we are required to report that fact. We have nothing to report in this regard.

Responsibilities of the Directors for the Financial Statements

The directors are responsible for the preparation and fair presentation of the financial statements in accordance with accounting principles generally accepted in the United States of America, and for such internal control as the directors determine is necessary to enable the preparation of financial statements that are free from material misstatement, whether due to fraud or error.

In preparing the financial statements, the directors are responsible for assessing the Company's ability to continue as a going concern, disclosing, as applicable, matters related to going concern and using the going concern basis of accounting unless management either intends to liquidate the Company or to cease operations, or has no realistic alternative but to do so.

Auditor's Responsibilities for the Audit of the Financial Statements

Our objectives are to obtain reasonable assurance about whether the financial statements as a whole are free from material misstatement whether due to fraud or error, and to issue an auditor's report that includes our opinion. Reasonable assurance is a high level assurance, but is not a guarantee that an audit conducted in accordance with ISAs will always detect a material misstatement when it exists. Misstatements can arise from fraud or error and are considered material if, individually or in the aggregate, they could reasonably be expected to influence the economic decisions of users taken on the basis of these financial statements.

As part of an audit in accordance with ISAs, we exercise professional judgment and maintain professional skepticism throughout the audit. We also：

- Identify and assess the risks of material misstatement of the financial statements, whether due to fraud or error, design and perform audit procedures responsive to those risks, and obtain audit evidence that is sufficient and appropriate to provide a basis for our opinion. The risk of not detecting a material misstatement resulting from fraud is higher than for one resulting from error, as fraud may involve collusion, forgery, intentional omissions, misrepresentations, or the override of internal control.
- Obtain an understanding of internal control relevant to the audit in order to design audit procedures that are appropriate in the circumstances, but not for the purpose of expressing an opinion on the effectiveness of the Company's internal control.
- Evaluate the appropriateness of accounting policies used and the reasonableness of accounting estimates and related disclosures made by management.
- Conclude on the appropriateness of management's use of the going concern basis of accounting and, based on the audit evidence obtained, whether a material uncertainty exists related to events or conditions that may cast significant doubt on the Company's ability to continue as a going concern. If we conclude that a material uncertainty exists, we are required to draw attention in our auditor's report to the related disclosures in the financial statement or, if such disclosures are inadequate, to modify our opinion. Our conclusions are based on the audit evidence obtained up to the date of our auditor's report. However, future events or conditions may cause the Company to cease to continue as a going concern.
- Evaluate the overall presentation, structure and content of the financial statements, including the disclosures, and whether the financial statements represent the underlying transactions and events in a manner that achieves fair presentation.

We communicate with those charged with governance regarding, among other matters, the planned scope and timing of the audit and significant audit findings, including any significant deficiencies in internal control that we identify during our audit.

Restriction on Use

This report has been prepared for and only for Superfund Japan Trading (Cayman) Limited in accordance with the terms of our engagement letter dated December 5, 2023 and for no other purpose. To the fullest extent permitted by law, we do not accept or assume any liability or duty of care for any other purpose or to any other person to whom this report is shown or into whose hands it may come save where expressly agreed by our prior consent in writing.

BDO
May 3, 2024

（翻訳）
独立監査人による監査報告書

スーパーファンド・ジャパン（ケイマン諸島グランドケイマン）の
受託会社御中

監査意見

我々は、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン、スーパーファンド・グリーンCジャパン及びスーパーファンド・ジャパン・サブファンド・システマティック・オールウェザーで構成されるスーパーファンド・ジャパン（以下、「当信託」という。）の財務諸表の監査を行った。当該財務諸表は、投資明細書（該当する場合のみ）を含む2022年12月31日現在の貸借対照表、同日に終了した年度の損益計算書及び純資産変動計算書、並びに重要な会計方針の要約を含む財務諸表注記で構成されている。

我々の意見によれば、添付の財務諸表はすべての重要な点において、2022年12月31日現在の当信託の財政状態及び同日に終了した年度の財務業績を米国で一般に公正妥当と認められる会計原則に従って適正に表示している。

監査意見の根拠

我々は、国際監査基準（以下、「ISA」という。）に従って監査を実施した。同基準に基づく我々の責任については、監査報告書の「財務諸表の監査に関する監査人の責任」のセクションで詳述されている。我々は国際会計士倫理基準審議会の「職業会計士の倫理規程」（以下、「IESBA規程」という。）に従い、当信託とは独立しており、IESBA規程に従って倫理的責任を果たした。我々の得た監査証拠は監査意見の根拠を成すに十分かつ適切であると我々は判断している。

財務諸表に関する受託会社の責任

受託会社には、米国で一般に公正妥当と認められる会計原則に従って財務諸表を作成し、公正な表示を行う責任、及び、不正又は誤謬による重大な虚偽記載のない財務諸表の作成にあたり受託会社が必要と判断した内部統制に関する責任がある。

財務諸表の作成にあたり、受託会社は、継続企業としての当信託の継続能力を評価し、必要に応じて継続企業に関係する事項を開示し、経営陣が当信託を清算するか営業を停止するかのいずれかを行うことを意図している、又はそうする以外の現実的な選択肢がない場合を除き、継続企業ベースの会計を行う責任がある。

財務諸表の監査に関する監査人の責任

我々の目的は、全体として、財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかに関する合理的な保証を得て、我々の意見を含めた監査報告書を発行することにある。合理的な保証は、高い水準の保証であるが、ISAに準拠して実施された監査が、存在するすべての重要な虚偽表示を常に発見することを確約するものではない。虚偽表示は、不正又は誤謬から発生する可能性があり、個別に又は集計すると、当該財務諸表の利用者の経済的意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

ISAに準拠した監査の一環として、我々は、監査を通じて職業的専門家としての判断を行使し、職業専門家としての懐疑心を保持する。また、下記を実施することが含まれている。

- 不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別、評価し、当該リスクに対応した監査手続きを立案、実施し、監査意見の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。不正による重要な虚偽の表示を発見できないリスクは、誤謬による当該リスクよりも高くなる。これは、不正には、共謀、文書の偽造、意図的な除外、虚偽の言明又は内部統制の無効化が伴うためである。

- **状況に応じて適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を理解する。ただし、これは、当信託の内部統制の有効性に対する意見を表明するためではない。**
- **使用されている会計方針の適切性、経営者によって行われた会計上の見積もり及び関連する開示の妥当性を評価する。**
- **経営者が継続企業の前提により会計処理を実施したことの適切性について、又は入手した監査証拠に基づいて、当信託の継続企業としての存続能力に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して、重要な不確実性が認められるかどうかについて結論を下す。重要な不確実性が存在するとの結論に至った場合、当監査人の監査報告書において、財務諸表の関連する開示を参照するよう促すか、又は当該開示が適切でない場合は、我々の意見を修正する必要がある。我々の結論は、当監査人の監査報告書の日付までに入手した監査証拠に基づいている。しかし、将来の事象又は状況により、当信託が継続企業として存続しなくなる可能性がある。**
- **開示を含めて、財務諸表の全体的な表示、構成及び内容を評価し、財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかを評価する。**

我々は、特に、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施の過程で識別した内部統制の重要な不備を含めて、監査上の重要な発見事項について統治責任者とコミュニケーションをとる。

その他の事項

本報告書は2022年11月29日付のエンゲージメント・レターの条件に従い、スーパーファンド・ジャパン及びその受託会社のためにのみ作成されたものであり、その他の目的をもたない。我々の書面による明示的な事前の同意がある場合を除いて、法律で許容される最大限の範囲において、我々のその他の目的又は当報告書が提示されたか又は当報告書を入手したその他の人物に対して責任又は善管注意義務を負うものではない。

2023年６月29日

Independent Auditor's Report

To the Trustee of
Superfund Japan
Grand Cayman, Cayman Islands

Opinion

We have audited the financial statements of Superfund Japan, comprising Superfund Japan Sub-Fund Green, Superfund Green C Japan and Superfund Japan Sub-Fund Systematic All Weather (the "Trust"), which comprise the statement of assets and liabilities, including the schedule of investments (where applicable), as of December 31, 2022, and the statement of operations and the statement of changes in net assets for the year then ended and the notes to the financial statements, including a summary of significant accounting policies.

In our opinion, the accompanying financial statements present fairly, in all material respects, the financial position of the Trust as of December 31, 2022, and its financial performance for the year then ended in accordance with accounting principles generally accepted in the United States of America.

Basis for Opinion

We conducted our audit in accordance with International Standards on Auditing("ISAs"). Our responsibilities under those standards are further described in the Auditor's Responsibilities for the Audit of the Financial Statements section of our report. We are independent of the Trust in accordance with the International Ethics Standards Board for Accountants' Code of Ethics for Professional Accountants("IESBA Code"), and we have fulfilled our ethical responsibilities in accordance with the IESBA Code. We believe that the audit evidence we have obtained is sufficient and appropriate to provide a basis for our opinion.

Responsibilities of the Trustee for the Financial Statements

The Trustee is responsible for the preparation and fair presentation of the financial statements in accordance with accounting principles generally accepted in the United States of America, and for such internal control as the Trustee determines is necessary to enable the preparation of financial statements that are free from material misstatement, whether due to fraud or error.

In preparing the financial statements, the Trustee is responsible for assessing the Trust's ability to continue as a going concern, disclosing, as applicable, matters related to going concern and using the going concern basis of accounting unless management either intends to liquidate the Trust or to cease operations, or has no realistic alternative but to do so.

Auditor's Responsibilities for the Audit of the Financial Statements

Our objectives are to obtain reasonable assurance about whether the financial statements as a whole are free from material misstatement whether due to fraud or error, and to issue an auditor's report that includes our opinion. Reasonable assurance is a high level assurance, but is not a guarantee that an audit conducted in accordance with ISAs will always detect a material misstatement when it exists. Misstatements can arise from fraud or error and are considered material if, individually or in the aggregate, they could reasonably be expected to influence the economic decisions of users taken on the basis of these financial statements.

As part of an audit in accordance with ISAs, we exercise professional judgment and maintain professional skepticism throughout the audit. We also:

- Identify and assess the risks of material misstatement of the financial statements, whether due to fraud or error, design and perform audit procedures responsive to those risks, and obtain audit evidence that is sufficient and appropriate to provide a basis for our opinion. The risk of not detecting a material misstatement resulting from fraud is higher than for one resulting from error, as fraud may involve collusion, forgery, intentional omissions, misrepresentations, or the override of internal control.
- Obtain an understanding of internal control relevant to the audit in order to design audit procedures that are appropriate in the circumstances, but not for the purpose of expressing an opinion on the effectiveness of the Trust's internal control.
- Evaluate the appropriateness of accounting policies used and the reasonableness of accounting estimates and related disclosures made by management.
- Conclude on the appropriateness of management's use of the going concern basis of accounting and, based on the audit evidence obtained, whether a material uncertainty exists related to events or conditions that may cast significant doubt on the Trust's ability to continue as a going concern. If we conclude that a material uncertainty exists, we are required to draw attention in our auditor's report to the related disclosures in the financial statement or, if such disclosures are inadequate, to modify our opinion. Our conclusions are based on the audit evidence obtained up to the date of our auditor's report. However, future events or conditions may cause the Trust to cease to continue as a going concern.
- Evaluate the overall presentation, structure and content of the financial statements, including the disclosures, and whether the financial statements represent the underlying transactions and events in a manner that achieves fair presentation.

We communicate with those charged with governance regarding, among other matters, the planned scope and timing of the audit and significant audit findings, including any significant deficiencies in internal control that we identify during our audit.

Other Matter

This report has been prepared for and only for the Superfund Japan and its Trustee in accordance with the terms of our engagement letter dated November 29, 2022 and for no other purpose. To the fullest extent permitted by law, we do not accept or assume any liability or duty of care for any other purpose or to any other person to whom this report is shown or into whose hands it may come save where expressly agreed by our prior consent in writing.

June 29, 2023

次へ

（翻訳）

独立監査人による監査報告書

スーパーファンド・ジャパン・トレーディング（ケイマン）リミテッド（ケイマン諸島グランド・ケイマン）
取締役会御中

監査意見

我々は、スーパーファンド・ジャパン・トレーディング（ケイマン）リミテッド（以下、「当社」という。）の財務諸表の監査を行った。当該財務諸表は、2022年12月31日現在の貸借対照表及び同日に終了した年度の損益計算書、株主持分変動計算書及びキャッシュ・フロー計算書並びに重要な会計方針の要約が含まれる財務諸表注記で構成されている。
我々の意見によれば、添付の財務諸表は、米国で一般に公正妥当と認められている会計原則に準拠して、当社の2022年12月31日現在の財政状態、並びに同日に終了した年度の営業成績を、すべての重要な点において適正に表示している。

その他の記載内容
取締役会は、財務諸表とともに表示されるその他の記載内容に対して責任を負う。その他の記載内容は、取締役会報告書及び取締役の責任に関する声明に含まれる情報から構成されるが、財務諸表及びその監査報告書は含まれない。
我々の財務諸表監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、我々はその他の記載内容に対していかなる保証の結論も表明しない。
財務諸表監査における我々の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は我々が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか考慮すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な虚偽記載の兆候があるかどうか注意を払うことにある。
我々は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な虚偽記載があると判断した場合には、当該事実を報告することが求められている。我々は、その他の記載内容に関して報告すべき事項はない。

監査意見の根拠
我々は、国際監査基準（以下、「ISA」という。）に準拠して監査を行った。本基準のもとでの我々の責任は、本報告書の「*財務諸表の監査に関する監査人の責任*」区分に詳述されている。我々は、国際会計士倫理基準審議会の定める職業会計士の倫理規程（以下、「IESBA規程」という。）に基づき当社に対して独立性を保持しており、また、当該IESBA規程で定められる倫理上の責任を果たした。我々は、我々の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

財務諸表に関する取締役会の責任
取締役会は、米国で一般に公正妥当と認められる会計基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示すること、及び不正又は誤謬による重要な虚偽の表示がない財務諸表の作成に必要であると取締役が判断した内部統制について責任を負っている。

財務諸表の作成にあたり、取締役会は、継続企業としての当社の存続能力の評価、継続企業に関する事項の開示（該当する場合）及び継続企業の前提による会計処理の実施に責任を有する。ただし、経営者が当社を清算若しくは事業を停止する意思を有する場合、又はそうする以外に現実的な代替案がない場合はこの限りではない。

財務諸表の監査に関する監査人の責任

我々の目的は、全体として、財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかに関する合理的な保証を得て、我々の意見を含めた監査報告書を発行することにある。合理的な保証は、高い水準の保証であるが、ISAに準拠して実施された監査が、存在するすべての重要な虚偽表示を常に発見することを確約するものではない。虚偽表示は、不正又は誤謬から発生する可能性があり、個別に又は集計すると、当該財務諸表の利用者の経済的意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

ISAに準拠した監査の一環として、我々は、監査を通じて職業的専門家としての判断を行使し、職業専門家としての懐疑心を保持する。また、下記を実施することが含まれている。

- **不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別、評価し、当該リスクに対応した監査手続きを立案、実施し、監査意見の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。不正による重要な虚偽の表示を発見できないリスクは、誤謬による当該リスクよりも高くなる。これは、不正には、共謀、文書の偽造、意図的な除外、虚偽の言明又は内部統制の無効化が伴うためである。**
- **状況に応じて適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を理解する。ただし、これは、当社の内部統制の有効性に対する意見を表明するためではない。**
- **使用されている会計方針の適切性、経営者によって行われた会計上の見積もり及び関連する開示の妥当性を評価する。**
- **経営者が継続企業の前提により会計処理を実施したことの適切性について、又は入手した監査証拠に基づいて、当社の継続企業としての存続能力に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して、重要な不確実性が認められるかどうかについて結論を下す。重要な不確実性が存在するとの結論に至った場合、当監査人の監査報告書において、財務諸表の関連する開示を参照するよう促すか、又は当該開示が適切でない場合は、我々の意見を修正する必要がある。我々の結論は、当監査人の監査報告書の日付までに入手した監査証拠に基づいている。しかし、将来の事象又は状況により、当社が継続企業として存続しなくなる可能性がある。**
- **開示を含めて、財務諸表の全体的な表示、構成及び内容を評価し、財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかを評価する。**

我々は、特に、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施の過程で識別した内部統制の重要な不備を含めて、監査上の重要な発見事項について統治責任者とコミュニケーションをとる。

その他の事項

当報告書は、2022年11月29日付のエンゲージメント・レターの条件に従って、スーパーファンド・ジャパン・トレーディング（ケイマン）リミテッド及びその取締役会のためにのみ作成されているのであり、その他の目的を持たない。我々の書面による明示的な事前の同意がある場合を除いて、法律で許容される最大限の範囲において、我々のその他の目的又は当報告書が提示されたか又は当報告書を入手したその他の人物に対して責任又は善管注意義務を負うものではない。

2023年６月27日

Independent Auditor's Report

To the Directors of
Superfund Japan Trading (Cayman) Limited
Grand Cayman, Cayman Islands

Opinion

We have audited the financial statements of Superfund Japan Trading (Cayman) Limited (the "Company"), which comprise the balance sheet as of December 31, 2022, and the statement of operations, statement of changes in shareholder's equity and statement of cash flows for the year then ended, and the notes to the financial statements, including a summary of significant accounting policies.

In our opinion, the accompanying financial statements present fairly, in all material respects, the financial position of the Company as of December 31, 2022 and its financial performance for the year then ended in accordance with accounting principles generally accepted in the United States of America.

Other Information

The directors are responsible for the other information presented with the financial statements. The other information comprises the information included in the directors' report and statement of directors' responsibilities, but does not include the financial statements and our auditor's report thereon.

Our opinion on the financial statements does not cover the other information and we do not express any form of assurance conclusion thereon.

In connection with our audit of the financial statements, our responsibility is to read the other information and, in doing so, consider whether the other information is materially inconsistent with the financial statements or our knowledge obtained in the audit or otherwise appears to be materially misstated. If, based on the work we have performed, we conclude that there is a material misstatement of this other information, we are required to report that fact. We have nothing to report in this regard.

Basis for Opinion

We conducted our audit in accordance with International Standards on Auditing ("ISAs"). Our responsibilities under those standards are further described in the *Auditor's Responsibilities for the Audit of the Financial Statements* section of our report. We are independent of the Company in accordance with the International Ethics Standards Board for Accountants' *Code of Ethics for Professional Accountants* ("IESBA Code"), and we have fulfilled our ethical responsibilities in accordance with the IESBA Code. We believe that the audit evidence we have obtained is sufficient and appropriate to provide a basis for our opinion.

Responsibilities of the Directors for the Financial Statements

The directors are responsible for the preparation and fair presentation of the financial statements in accordance with accounting principles generally accepted in the United States of America, and for such internal control as the directors determine is necessary to enable the preparation of financial statements that are free from material misstatement, whether due to fraud or error.

In preparing the financial statements, the directors are responsible for assessing the Company's ability to continue as a going concern, disclosing, as applicable, matters related to going concern and using the going concern basis of accounting unless management either intends to liquidate the Company or to cease operations, or has no realistic alternative but to do so.

Auditor's Responsibilities for the Audit of the Financial Statements

Our objectives are to obtain reasonable assurance about whether the financial statements as a whole are free from material misstatement whether due to fraud or error, and to issue an auditor's report that includes our opinion. Reasonable assurance is a high level assurance, but is not a guarantee that an audit conducted in accordance with ISAs will always detect a material misstatement when it exists. Misstatements can arise from fraud or error and are considered material if, individually or in the aggregate, they could reasonably be expected to influence the economic decisions of users taken on the basis of these financial statements.

As part of an audit in accordance with ISAs, we exercise professional judgment and maintain professional skepticism throughout the audit. We also：

- Identify and assess the risks of material misstatement of the financial statements, whether due to fraud or error, design and perform audit procedures responsive to those risks, and obtain audit evidence that is sufficient and appropriate to provide a basis for our opinion. The risk of not detecting a material misstatement resulting from fraud is higher than for one resulting from error, as fraud may involve collusion, forgery, intentional omissions, misrepresentations, or the override of internal control.
- Obtain an understanding of internal control relevant to the audit in order to design audit procedures that are appropriate in the circumstances, but not for the purpose of expressing an opinion on the effectiveness of the Company's internal control.
- Evaluate the appropriateness of accounting policies used and the reasonableness of accounting estimates and related disclosures made by management.
- Conclude on the appropriateness of management's use of the going concern basis of accounting and, based on the audit evidence obtained, whether a material uncertainty exists related to events or conditions that may cast significant doubt on the Company's ability to continue as a going concern. If we conclude that a material uncertainty exists, we are required to draw attention in our auditor's report to the related disclosures in the financial statement or, if such disclosures are inadequate, to modify our opinion. Our conclusions are based on the audit evidence obtained up to the date of our auditor's report. However, future events or conditions may cause the Company to cease to continue as a going concern.
- Evaluate the overall presentation, structure and content of the financial statements, including the disclosures, and whether the financial statements represent the underlying transactions and events in a manner that achieves fair presentation.

We communicate with those charged with governance regarding, among other matters, the planned scope and timing of the audit and significant audit findings, including any significant deficiencies in internal control that we identify during our audit.

Other Matter

This report has been prepared for and only for the Superfund Japan Trading (Cayman) Limited and its directors in accordance with the terms of our engagement letter dated November 29, 2022 and for no other purpose. To the fullest extent permitted by law, we do not accept or assume any liability or duty of care for any other purpose or to any other person to whom this report is shown or into whose hands it may come save where expressly agreed by our prior consent in writing.

June 27, 2023